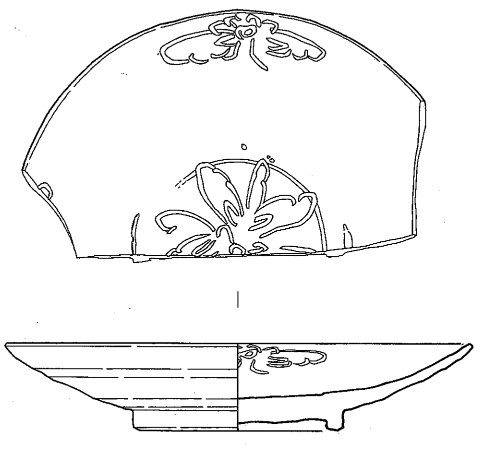
太宰府市の文化財　第47集

御笠団印出土地周辺遺跡 I

－第７・９・10次調査－



２０００

太宰府市教育委員会

御笠団印出土地周辺遺跡Ⅰ　正誤表

頁・行	誤	正
168頁　34～43行目の図版番号	9-25-（末尾数字）	9-26-（末尾数字）
174頁　16～18行目の図版番号	10-30-（末尾数字）	10-31-（末尾数字）
174頁　32行目の図版番号	10-31-1	10-30-1
174頁　36行目の図版番号	10-31-2	10-30-2
226頁　茶色土層石製品	製紡錘車	紡錘車

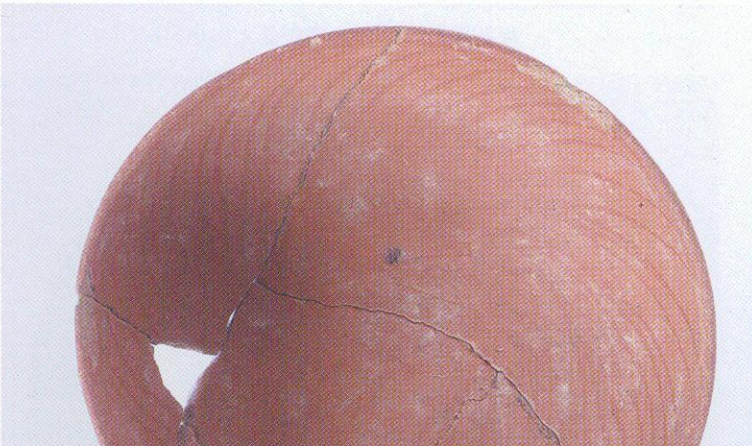
御笠団印出土地周辺遺跡 Ⅰ

－御笠団印出土地西側の調査－

2000

太宰府市教育委員会

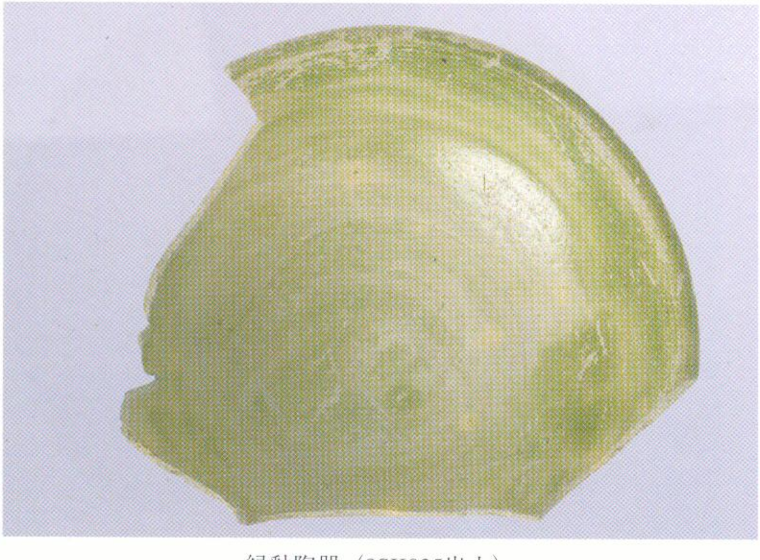
御笠団印出土地周辺遺跡 第7・9・10次調査全景合成写真（上が北）



暗文土師器（9SK045出土）

玉石（第９次調査茶色土層出土）

緑釉陶器（第10次調査表土出土）



緑釉陶器（9SK035出土）

序

本書は、平成５年度から６年度にかけて発掘調査を行いました御笠団印出土地周辺遺跡第７・９・10次調査の埋蔵文化財発掘調査報告書です。

古代の律令により国毎に軍団が置かれますが、この筑前国には御笠団および遠賀団が置かれたことが、出土した軍団印の存在で知られています。

今回報告いたします調査地は、御笠団印の出土地点のすぐ西側に位置しており、軍団制度が存在した当時を含む７世紀から９世紀にかけての遺跡が広がっています。今回の調査では当時の生活や生産に関する貴重な資料を得ることができました。

本書が学術研究はもとより文化財への理解と認識を深める一助となり、広く活用されることを心より願います。

最後になりましたが、文化財に対して御理解いただきました皆様をはじめ、関係された諸機関の皆様方に心からお礼申しあげます。

太宰府市教育委員会
教育長　　長野治己

例　言

1.本書は、太宰府市坂本３丁目746-1他において平成５・６年度に太宰府市教育委員会が行なった御笠団印出土地周辺遺跡第７・９・10次調査の発掘調査報告書である。

2.各調査は太宰府市教育委員会の井上信正が主に担当した他、狭川真一（現、（財）元興寺文化財研究所）が行った。調査は平成５年度に第７次・第９次調査を、平成６年度に第10次調査を行った。整理作業は調査終了後随時行なってきたが、主として平成11年度に実施した。整理作業も井上が主に担当し、中島恒次郎、上村英士（現、筑後市教育委員会）が作業の一部を行った。

3.測量は、井上のほか、塩地潤一（現、大分市教育委員会）、河田聡（現、豊浦町教育委員会）、藤尾薫（現、筑紫野市教育委員会）、林大智（現、石川県埋蔵文化財センター）が行った。

4.遺構の実測は井上のほか、城戸康利、山村信榮、山本麻里子、井上由紀子、石木晴香、河田聡、藤尾薫、柴田剛（現、筑後市教育委員会）、立野真崇が行った。遺物実測は、井上のほか、阿部浩子、森部順子、相川寿美子、酒井三保子、白水文恵、黒木美幸、松隈里恵子、平島義孝、島純子、深江暁子が行った。

5.遺構写真撮影は井上のほか、城戸康利、山村信榮、塩地潤一、河田聡、藤尾薫、石木晴香が行い、空中写真は(有)空中写真企画が行なった。なお調査地全景の写真合成は、（株）写測エンジニアリングが行った。遺物写真撮影は井上が行った。

6.10SE075の出土瓦分類作業は、井上の指示のもと、平島義孝、島純子が行った。

7.浄書は、井上のほか、阿部浩子、福井円、平島義孝、島純子、深江暁子が行った。

8.遺構実測図および遺構配置図は全て国土調査法第II座標系を基準としている。したがって図中に記載される方位は特に注記のないかぎり座標北（G.N.）を指している。

9.本書に掲載される遺構番号は、以下の要領で理解される。なお遺跡名を略することもある。

御　10　SD　100

遺跡名　調査次数　遺構種別　遺構番号

10.本書に使用した分類は、基本的に以下のものによっている。なお、陶磁器分類については、山本信夫の助言を得た。

土器・陶磁器　『大宰府条坊跡　II』　太宰府市教育委員会　1983

『宮ノ本遺跡II－窯跡篇－』　太宰府市教育委員会　1992

小田富士雄『天観寺山窯跡群』、『世界陶磁全集2』　他

焼塩壷　森田勉「焼塩壷考」『大宰府古文化論叢』　九州歴史資料館　1983

11.出土した金属製品の応急処置は、下川可容子が担当した。また御9SK030の残存脂肪分析は（株）ズコーシャが、第10次調査の土坑の炭化材の分析はパリノ・サーヴェイ（株）が行った。

12.出土遺物および図面、写真等の記録は太宰府市教育委員会が保管している。

13.本書の執筆編集は井上信正が行った。

目　次

I. 調査地の位置と環境

福岡平野の南東部に位置する太宰府市は、北から東にかけては三郡山系、西から南にかけては背振山系と、両山系に囲まれた狭い平野を中心に所在する。この両山系から流れる小河川は市西部で合流し、御笠川として福岡平野に流れ下っている。

太宰府市一帯は朝鮮半島や中国大陸と古くから交流を行ってきた福岡平野の最奥部で、上記のように周囲を山に囲まれ、また南東側は筑紫平野に接している。この立地を利用し、663年の白村江の敗戦を契機に、664年に三郡山系と背振山系の最狭地をふさぐように水城がつくられ、翌665年には北の四王寺山に大野城、南の基山に椽城と、市内平野部を囲むように次々と城が築かれていった。そして7c末には律令官衙の「大宰府」が平野部に設置されることになる。「大宰府」の設置前後には市内各所で整地事業が行われ、その後「大宰府条坊」と通称する計画区割りの都市的空間がつくられたことが発掘調査で確認されている。

御笠団印出土地周辺遺跡は、大宰府条坊跡の北西に隣接する場所に位置する。「御笠団」とは律令制下の筑前国におかれた軍団の一つで、この軍団印である「御笠団印（国重要文化財）」が、太宰府市坂本3丁目757-1において昭和2年、桑畑の開墾中に偶然に出土した。この発見により付近一帯が御笠団関連遺跡として広く知られるようになり、本遺跡名称もここに由来している。調査は平成12年3月現在で11次を数えるに至っている。

この付近は四王寺山から派生する小規模な丘陵と谷が交互に入り組んでおり、本報告地点付近から南の「遠賀団印」出土地辺り一帯の丘陵裾や丘陵上に遺跡が広がっていることが多い。

この一帯では、瓦窯跡や精錬炉跡などの生産遺構が多くみられる。瓦窯については、筑前国分寺に供給した国分瓦窯（国指定史跡）や、来木瓦窯、松倉瓦窯、また今回の報告地の南隣の丘陵上の坂本瓦窯（天延三年銘入り

調査次数	調査地点	調査年度	調査主体
第3次調査	坂本3丁目754-4外	昭和58年	太宰府市教育委員会
第4次調査	坂本3丁目756	昭和63年	太宰府市教育委員会
第5次調査	坂本3丁目757-10	平成3年	太宰府市教育委員会
第6次調査	坂本3丁目52	平成5年	太宰府市教育委員会
第7次調査	坂本3丁目746-15外	平成5年	太宰府市教育委員会
第8次調査	坂本3丁目41-1	平成5年	太宰府市教育委員会
第9次調査	坂本3丁目746-3外	平成5年	太宰府市教育委員会
第10次調査	坂本3丁目746-1外	平成6年	太宰府市教育委員会
第11次調査	坂本3丁目54-1	平成6年	太宰府市教育委員会

表1　御笠団印出土地周辺遺跡調査地点・調査年数（太宰府市調査分）

平瓦出土）などがあり、また大宰府史跡第160次調査や御笠団印出土地周辺遺跡第11次調査（未報告）などでは金属生産関係の遺構が検出されている。遺構の性格や時代差があるものの、この付近は生産工房が連綿と続いていたことが窺える。

また丘陵上に遺構が展開していることが近年の調査において明らかになっている。大宰府条坊跡第190次調査では丘陵上で８ｃ前半とみられる掘立柱建物や竪穴住居が数棟検出された。ここは見晴らしの良い丘陵上にあり、軍団印出土地に近いことから軍団との関連を考えるむきもある。また大宰府史跡第169・170次調査でも丘陵上や裾部で古代の大型掘立柱建物や礎石建物が検出されている。ここは金属生産工房と推定されており、大宰府の匠司との関連も指摘されている。

Fig.1　報告調査地点と周辺の調査地点（ゴチック体：報告調査地点）、1/5,000）

このように周辺は生産関連の遺跡も多く、今後刊行される調査報告書やこれからの調査例を総合して検討する必要があろう。

＜参考文献＞

太宰府市史編纂委員会編『太宰府市史』1993年

『大宰府史跡～平成６年度発掘調査概報』九州歴史資料館　平成７年３月

『大宰府史跡～平成８年度発掘調査概報』九州歴史資料館　平成９年３月

『大宰府史跡』（太宰府市の文化財第36集）太宰府市教育委員会　平成９年３月　　他

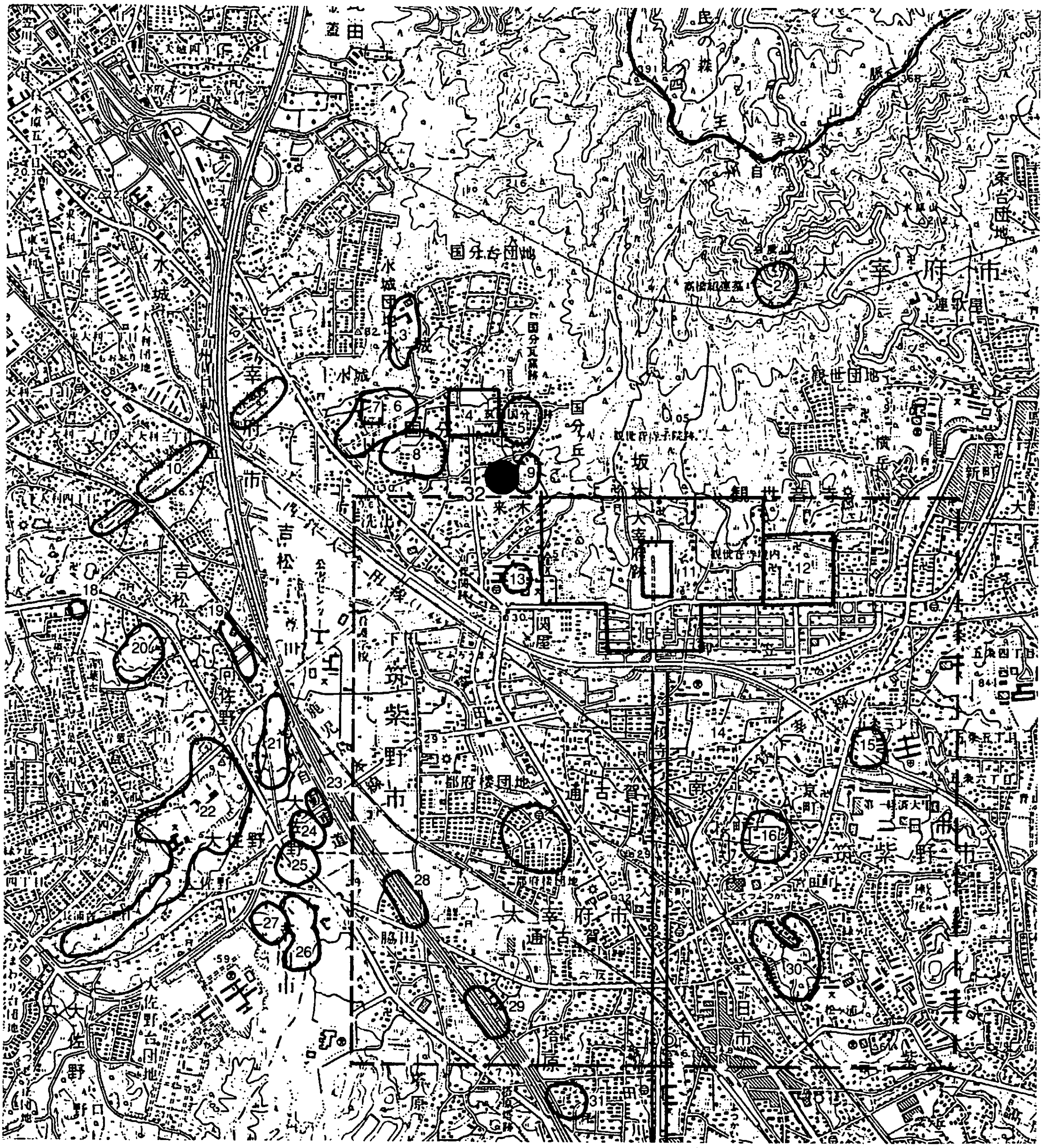


Fig.2　太宰府市とその周辺の遺跡（1/25,000）

1.大野城跡	9.御笠団印出土地	17.市ノ上遺跡	25.尾崎遺跡
2.岩屋城跡	10.水城跡	18.神ノ前窯跡	26.脇道遺跡
3.陣ノ尾遺跡	11.大宰府政庁跡	19.原口遺跡	27.殿城戸遺跡
4.筑前国分寺跡	12.観世音寺	20.篠振遺跡	28.剣塚遺跡
5.辻遺跡	13.遠賀団印出土地	21.前田遺跡	29.唐人塚遺跡
6.国分松本遺跡	14.大宰府条坊跡(破線内)	22.宮ノ本遺跡	30.峯遺跡
7.筑前国分尼寺跡	15.君畑遺跡	23.雑川遺跡	31.桶田山遺跡
8.国分千足町遺跡	16.般若寺跡	24.フケ遺跡	32.御笠団印出土地周辺遺跡 第7.9.10次調査

II. 調査組織

各調査を実施した平成５年度と平成６年度の調査組織を記載している。また整理報告についても、調査終了後に随時進めてきたが、報告書作成など主たる整理事業を進めた、平成11年度の組織を記載している。

（平成5／1993年度）

総括	教育長	長野治己
庶務	教育部長	中川シゲ子
	文化課長	佐藤恭宏
	埋蔵文化財係長	高田克二
	文化振興係長	大田重信
	主任主事	岡部大治
		川谷　豊
調査	技術主査	山本信夫（5年10月1日～）
	主任技師	山本信夫（～5年9月30日）
		狭川真一
		城戸康利
		緒方俊輔
		山村信榮
		中島恒次郎
	技　　師	塩地潤一
	技師（嘱託）	田中克子
		重松麻里子（5年6月1日～）
		井上信正（5年7月1日～）

（平成6／1994年度）

総括	教育長	長野治己
庶務	教育部長	白木三男
	文化課長	花田勝彦
	文化財保護係長	高田克二
	文化振興係長	大田重信
	主任主事	岡部大治
		川谷　豊

	主　　事	今村江利子
調査	技術主査	山本信夫
	主任技師	狭川真一
		城戸康利
		山村信榮
		中島恒次郎
		重松麻里子
	技　　師	井上信正
	技師（嘱託）	田中克子（～6年7月31日）
		下川可容子

整理報告年度（平成11年度）

総括	教育長	長野治己
庶務	教育部長	小田勝弥（～11年6月30日）
		白石純一（11年7月1日～）
	文化財課長	津田秀司
	文化財保護係長	和田敏信
	文化財調査係長	山本信夫
	主任主事	藤井泰人
		今村江利子（～11年6月30日）
		野寄美希（11年7月1日～）
	嘱　　託	鈴木弘江
調査	技術主査	城戸康利
	主任技師	山村信榮
		中島恒次郎
		井上信正
	技　　師	高橋　学
		宮崎亮一
	技師（嘱託）	下川可容子
		森田レイ子

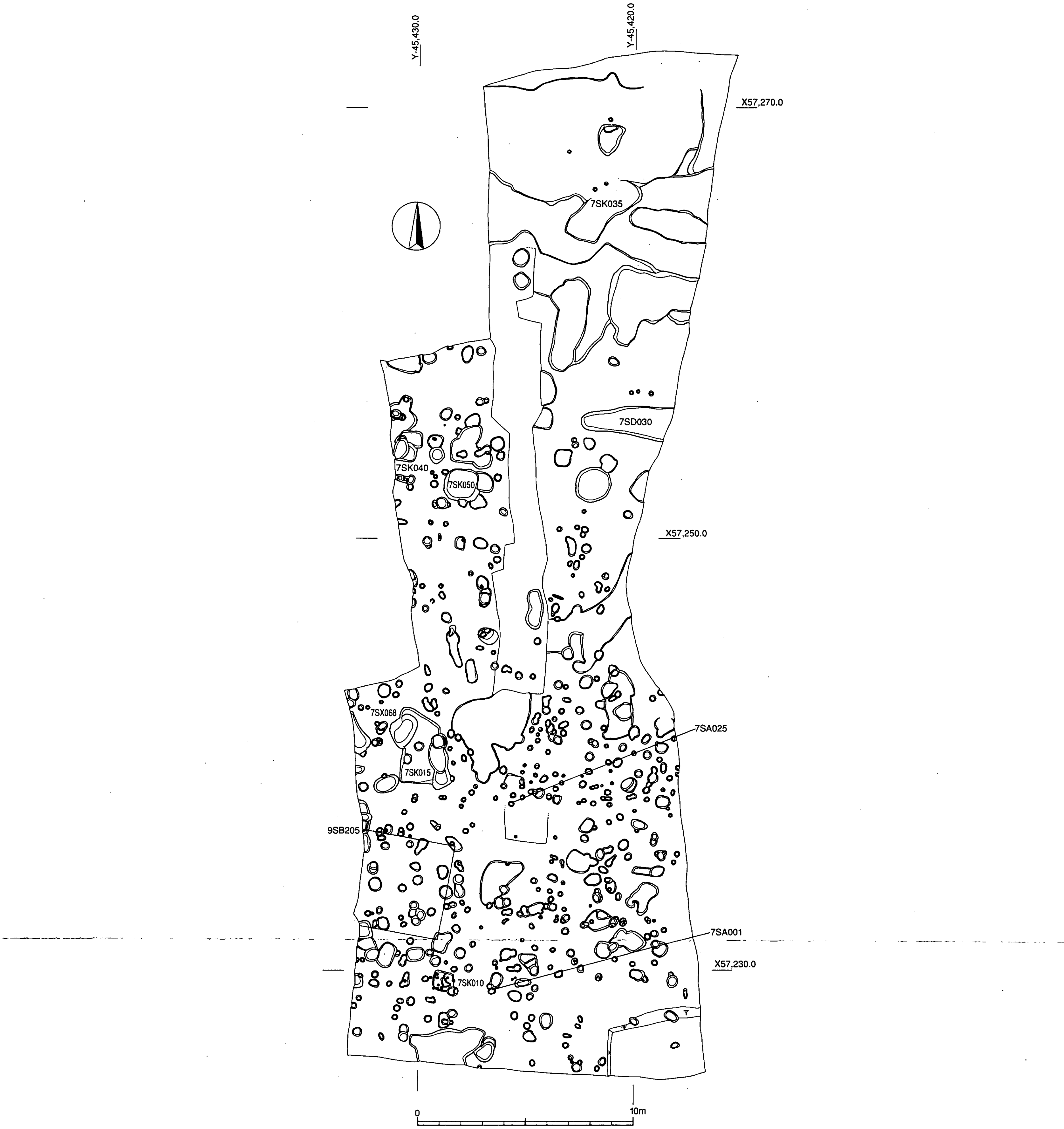


Fig.7-1　御笠団印出土地周辺遺跡 第７次調査遺構全体図（1/200）

Fig.7-2　御笠団印出土地周辺遺跡 第７次調査遺構配置図（1/200）

III. 調査に至る経緯

平成３年２月に中島正行氏より宅地造成の協議があり（対象面積5,986㎡）、同年４月16日に試掘を実施した。ここで遺構が予定地の2/3に広がっていることが確認され、平成４年1月29日に協議を行い、対象地全体の約2/3の面積を調査することで協議を行った。その後、対象地の北東部を一部先行して宅地造成を行うという話があがった。このため地権者の中島孝代氏他と契約を行い、平成５年８月18日から平成５年11月30日の期間、坂本３丁目746-15、746-16、746-17、746-18、746-19の発掘調査を行った（第７次調査、調査面積558.7㎡）。その後対象地全面を宅地造成することになり、平成５年度後半から平成６年度前半にかけて発掘調査を行うことになった。年度を越すためそれぞれの年度毎に契約を行い、平成６年１月５日より同年３月31日まで、坂本３丁目746-2、746-3、746-4、746-5の発掘調査を（第９次調査、調査面積1,754.4㎡）、平成６年４月４日から同年６月30日まで、坂本3丁目746-1、746-2、747-23の発掘調査を実施した（第10次調査、調査面積1,665.4㎡）。また平成６年５月11日には、開発対象地南西から進入する道路の敷設に伴う丘陵掘削計画の段階で文化財取扱いについての協議があった。ここは坂本瓦窯が所在する丘陵であるため、平成６年６月17日に試掘調査を実施したが、過去に造成されており特に何も見つからなかった。

IV. 調査の概要

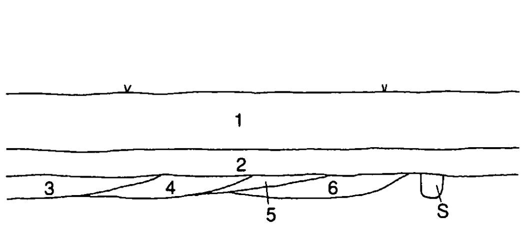
(1) 御笠団印出土地周辺遺跡第７次調査

1. 層位（Fig.7-3）

本調査区の基本的な地盤は、第９・10次調査と同様礫を含む堆積層である。この中には縄文時代の遺物をわずかに含んでおり、今回調査した遺構面は縄文時代以降に形成されたものとみられる。

調査区の北には大谷川が西流しているが、この川の氾濫による堆積層が調査区北隅に広がっている。第７次調査ではこの氾濫による堆積が複数層に分かれて検出された。青灰色砂層・茶色砂層などは平安時代前期頃までの遺物を含むものの、出土遺物のほとんどが８ｃ代の遺物である。黄色砂層は14ｃ代の遺物を含む。

これらの遺物包含層が形成された後、水田耕作土が堆積しており、調査前の状



1.表土　4.黄色砂層
2.灰色砂層　5.茶色砂層
3.茶灰色砂礫層　6.青灰色砂層

Fig.7-3　第７次調査層位模式図

況に至っている。この水田耕作土層中の最下層に灰色砂質土がみられることから、遺構面を覆う層を「灰色砂層」とし、遺物取り上げをおこなっている。

2． 遺構

(1) 溝

7SD030（Fig.7-4）

調査区中央付近で検出された東西方向に走行する溝である。検出長4.1m、最大幅1.6mを測る。およそG.N.-77° 28′ 16″ -E（溝下場任意中軸）に振れる。出土遺物は少ないものの、７ｃ代の遺物が含まれている。

(2) 柵列

7SA001（Fig.7-1）

調査区南半で検出した。1～2mの間隔で並んでいる。振れはG.N.-105° 11′ 36″ -W。６つの小穴を確認しており、更に東側に続く可能性がある。小穴の一つである7SA001dから大宰府編年Ⅶ期頃の遺物が出土している。

7SA025（Fig.7-1）

調査区南半で検出した。0.6～1.3mの間隔で並んでいる。振れはG.N.-111° 27′ 28″ -W。９つの小穴を確認しており、更に東側に続く可能性がある。ここから遺物は出土していない。

(3) 土坑

7SK010（Fig.7-1）

調査区南側で検出した。規模は0.9×1.0m、深さ0.1m程度の焼土坑である。底部には炭が堆積しており、底部には小穴が複数みられる。

7SK015（Fig.7-4、Pl.2）

不定形の土坑である。長軸4.02m、短軸2.4m、深さ約0.5m。埋土から７ｃ末の遺物が出土しており、この時期に埋没したものとみられる。

7SK035（Fig.7-4）

楕円形を呈した土坑である。長軸3.55m、短軸1.42m、深さ約0.2m。上面は青灰色砂層により削平を受ける。埋土中には礫等が廃棄されている。埋土から８ｃ前半～中頃の遺物が出土している。

7SK040（Fig.7-4）

テラスを有する不定形の土坑である。長軸1.1m、短軸0.98m、深さ0.37m。なお下層で検出

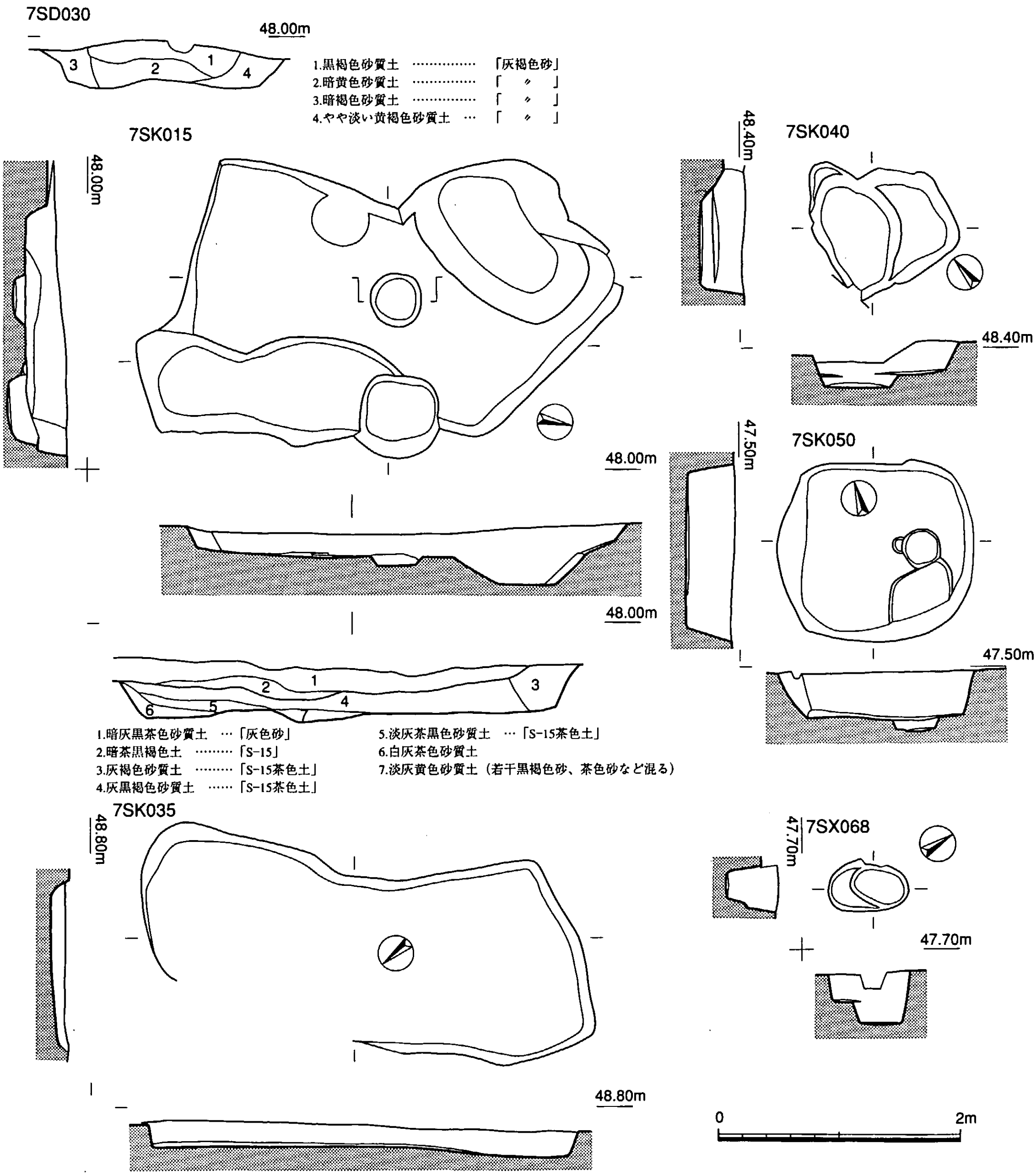


Fig.7-4 7SD030土層図およびSK015・SK035・SK040・SK050・SX068実測図（1/60）

したS-103も同一遺構とみられる。埋土から８ｃ代の遺物が出土しており、この時期に埋没したものとみられる。

7SK050（Fig.7-4、Pl.2）

平面プランが隅丸四角形～円形を呈する。規模は1.6×1.5m、深さ約0.4m。埋土には焼土および黄橙色の粘土ブロック等がかなりの量含まれている。廃棄土坑とみられ、カマド・精錬炉等を破壊し、ここに捨てたように見受けられる。埋土から８ｃ前半～中頃の遺物が検出されて

おり、この時期に埋没したものとみられる。

（4）小穴

7SX068（Fig.7-4）

平面プランは楕円形の小穴である。規模は0.68×0.39m、深さ0.45cm。ここから墨書土師器やヘラ記号を施した土師器を含む８ｃ後半頃の遺物が出土している。

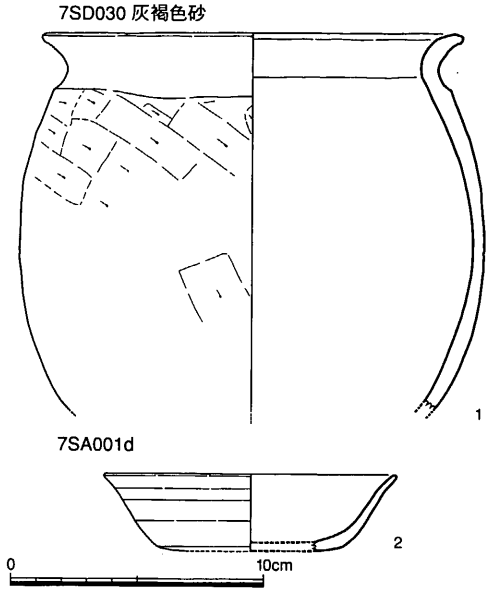


Fig.7-5　7SD030・7SA001出土遺物実測図（1/3）

3．　遺物

Ａ．土器・陶磁器・鉄製品

（1）溝出土遺物（Fig.7-5、Pl.3）

7SD030

（灰褐色砂）

土師器

甕（1）　口縁部から体部にかけて残存する。口径16.6cm、残存高15cm。内面は斜め方向にナデを施し、体部外面は手持ちヘラケズリを施す。外面の調整をここではヘラケズリとしたが、整形時にはミガキと認識していた可能性もあろう。

（2）柵列出土遺物（Fig.7-5）

7SA001

（7SA001d）

土師器

坏ａ（2）　口縁部が残存する破片である。口径11.6cm、器高3.1cm、底径7.4cm。

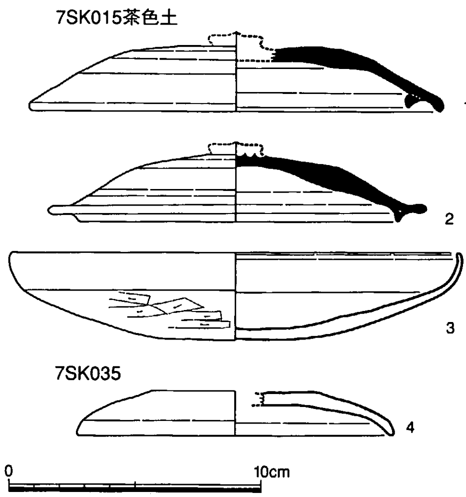


Fig.7-6　7SK015・7SK035出土遺物実測図（1/3）

（3）土坑出土遺物

7SK015（Fig.7-6、Pl.3）

（茶色土）

須恵器

蓋ｃ１（1・2）　口径12.8～16.2cm。天井部は回転ヘラケズリを施し、最頂部にはつまみ接合に伴うとみられる回転ナデが施されている。内面にはナデを施す。

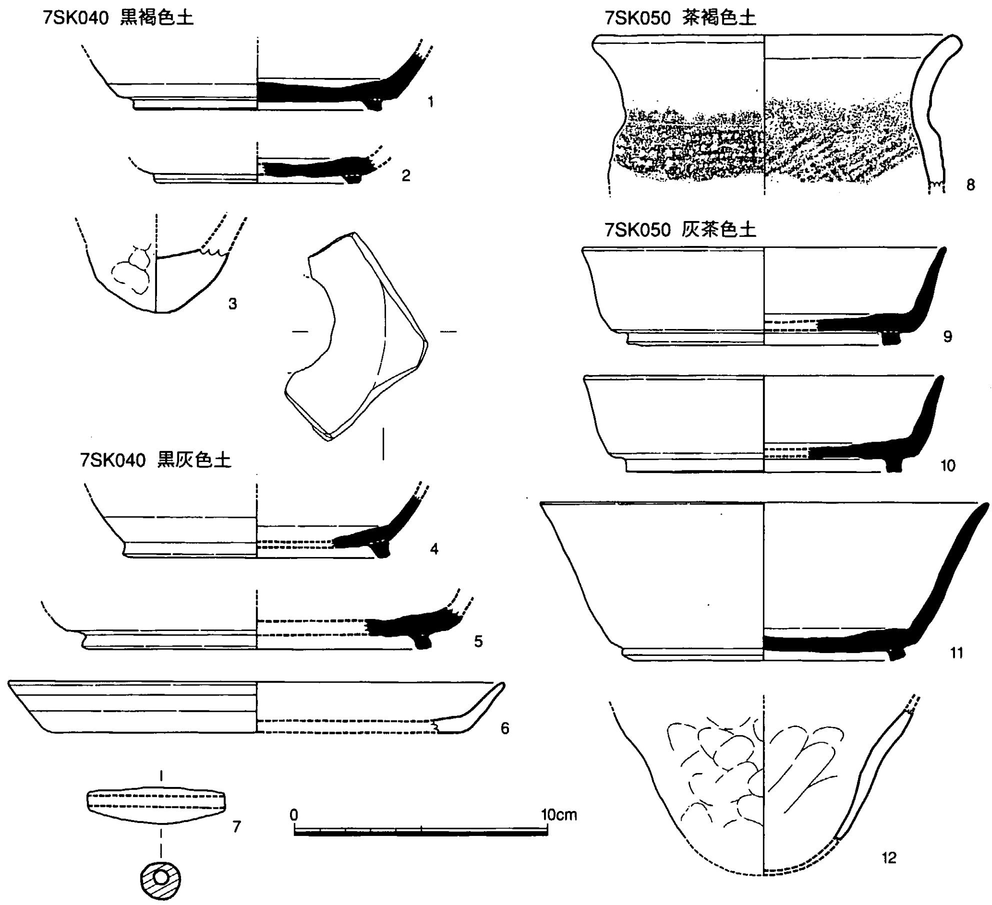


Fig.7-7　7SK040・7SK050出土遺物実測図（1/3）

土師器

皿ｂ（3）　口径17.7cm。底部外面は手持ちヘラケズリを施し、底部内面にはナデを施す。

7SK035（Fig.7-6）

土師器

蓋3（4）　口径12.6cm。内外とも風化により調整不明。

7SK040（Fig.7-7）

(黒褐色土)

須恵器

坏ｃ（1・2）　いずれも底部が残存する破片である。底径8.2～9.8cm。

製塩土器

焼塩壺（3）　II-b類。底部のみ残存する。残存高2.7cm。

（黒灰色土）

須恵器

坏ｃ（4・5）　底部のみ残存する破片である。底径10.6～13.8cm。4の底部の中心は円形に打ち欠かれているようにもみえる。5の器形は皿ｃの可能性もある。

土師器

皿ａ（6）　口縁部のみ残存する破片である。口径19.65cm。

土製品

土錐（7）　土師質の土錐である。長さ5.5cm、幅1.5cm。0.45cmほどの孔を穿っている。

7SK050（Fig.7-7）

（灰茶色土）

須恵器

坏ｃ（9～11）　口径14.2～17.8cm、器高3.9～6.3cm、底径10.8～11.2cm。いずれも内面にナデを施す。

製塩土器

焼塩壺（12）　II-ｂ類。残存高5.1cm。内外ともに指頭痕がみられる。

（茶褐色土）

製塩土器

煎熬土器（8）　口縁部のみ残存する破片である。口径14.6cm。外面は格子目叩きを、内面は平行叩きを施す。

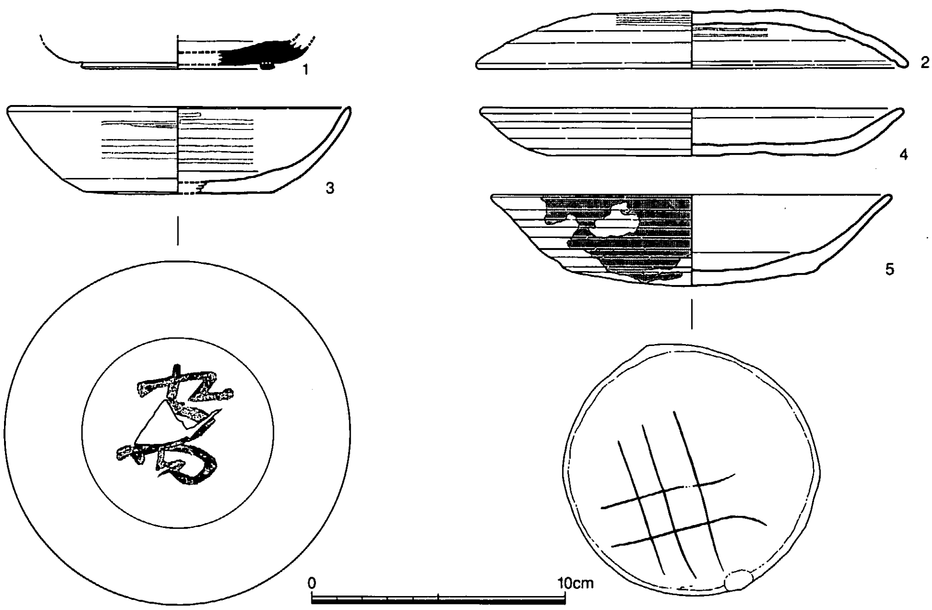


Fig.7-8　7SX068出土遺物実測図（1/3）

(4) 小穴出土遺物

7SX068 (Fig.7-8、Pl.3)

須恵器

坏ｃ (1)　底部のみ残存する破片である。底径7.7cm。

土師器

蓋ａ3 (2)　口径17.2cm、高さ2.3cm。成形後、天井部に回転ヘラケズリを施し、最終的に内外ともにミガキａを施す。

坏ａ (5)　口径15.9cm、器高3.7cm、底径9.7cm。ヘラ切り後、回転ナデを施し、最後に内面にナデを施す。体部外面の回転ナデは、工具を使用したためか凹凸が目立つ。底部外面は焼成前に施されたとみられるヘラ記号があり、また外面全体が煤けている。

坏ｄ (3)　口径13.6cm、器高3.5cm、底径7.5cm。底部外面は回転ヘラケズリを施し、体部内外面にミガキａを施す。底部内面は摩耗しているが、煤けた痕跡がわずかに認められる。底部外面には墨書が施される。内容については不明。

皿ａ (4)　口径16.8cm、器高1.95cm、底径11.3cm。底部はヘラ切り後器面調整をおこなっており、口縁部下半は回転ヘラケズリを施す。内面は磨耗により不明。

(5) 包含層出土遺物

灰色砂層 (Fig.7-9)

須恵器

坏身 (1)　口径13.0cm、残存高3.7cm。底部外面は回転ヘラケズリを施し、底部内面はナデを施す。

蓋ｃ3 (2・3)　口径15.7～17.5cm。天井部はヘラ切り後ナデを施し、内面もナデを施す。最頂部にはつまみ接合に伴うとみられる回転ナデが施されている。

坏ａ (4)　口径13.8cm、器高3.5cm、底径9.0cm。底部外面はヘラ切り後粗いナデを施し、底部内面もナデを施す。

坏ｃ (5・6)　5は口径12.0cm、器高3.6cm、底径8.1cm。底部外面はヘラ切り。底部内面はナデを施す。口縁部に煤が付着する。灯明皿として使用か。6は底部のみ残存する破片である。底径7.7cm。底部内面はナデを施す。底部外面には足の長い高台を付け、その中央部に焼成前に施されたとみられるヘラ記号がある。

須恵質土器

鉢 (7)　口縁部のみ残存する破片である。内外面ともに回転ナデを施す。東播系か。

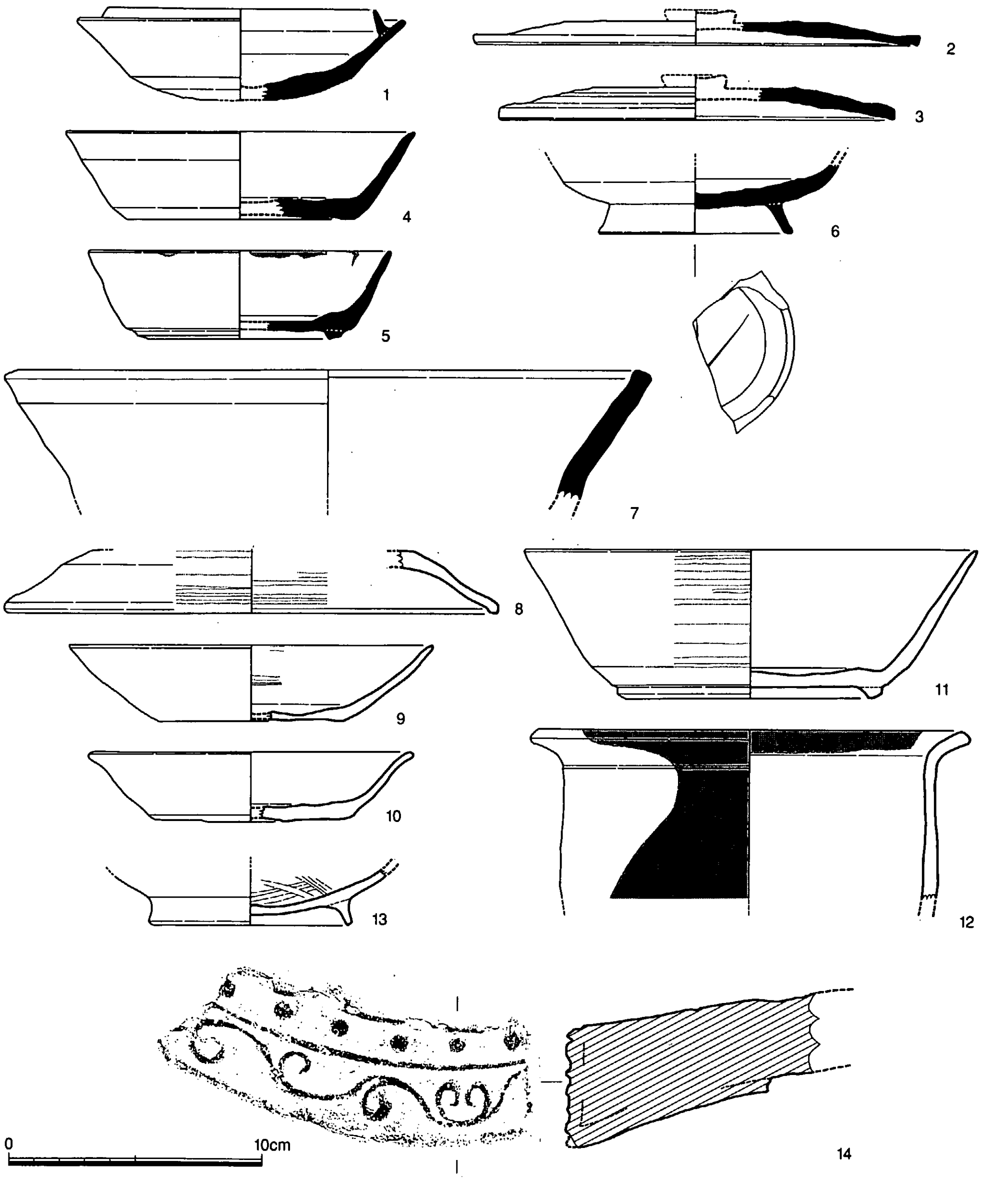


Fig.7-9　第７次調査灰色砂層出土遺物実測図（1/3）

土師器

蓋3（8）　口縁部のみ残存する破片である。口径19.4cm。ヘラ切り後、内外面とも回転ナデを施し、その後ミガキａを施す。

坏ａ（10）　口径12.9cm、器高2.8cm、底径7.6cm。ヘラ切り後、内外面ともに回転ナデを施す。その後底部内面にナデを施す。

大坏ｃ（11）　口径18.5cm、器高6.0cm、底径10.5cm。ヘラ切り後、内外面ともに回転ナデを施す。その後内外面ともにミガキａを施し、体部外面下半に回転ヘラケズリを施す。

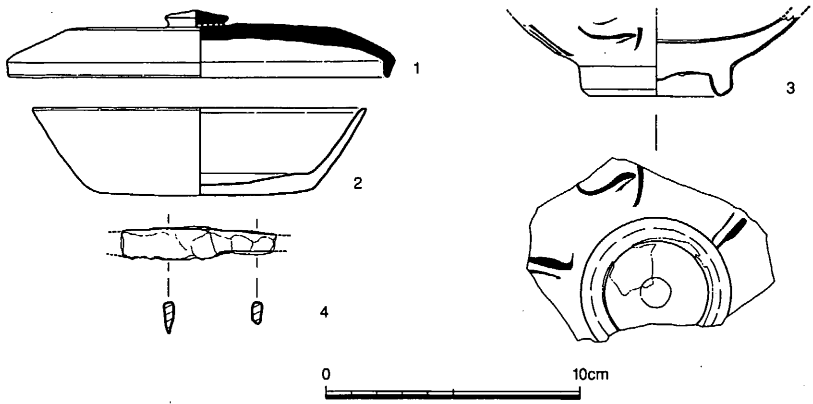


Fig.7-10　第７次調査黄色砂層出土遺物実測図（1/3）

坏ｄ（9）　口径14.4cm、器高3.1cm、底径7.3cm。全体的に磨耗しているため、体部外面下半のヘラケズリははっきりしない。内面にわずかにミガキａがみえる。

小甕（12）　口縁部から体部の一部にかけて残存する破片である。口径17.4cm、残存高6.7cm。くの字に折れる口縁をもつ。外面で口縁部と体部の境には沈線があるが、これは全周しているかどうか不明である。内外面ともヨコナデを施す。

黒色土器Ａ類

椀ｃ（13）　底部のみ残存する破片である。底径8.1cm。内面にミガキｃを施す。

瓦類

軒平瓦（14）　瓦当の文様は内区に均整唐草文、外区に珠文を施す。鴻臚館式。

黄色砂層（Fig.7-10）

須恵器

蓋ｃ3（1）　口径15.4cm、器高2.7cm。天井部はヘラ切り後、回転ヘラケズリを施す。内面はナデを施す。内面は擦った痕跡がみとめられる。墨痕は確認できないが、転用硯の可能性がある。

土師器

坏ａ（2）　口径13.2cm、器高3.5cm、底径9.0cm。全体的に磨耗しており、調整は不明である。

龍泉窯系青磁

椀（3）　Ⅳ類。残存高3.2cm、高台径6.0cm。高台はケズリ出しで成形し、外面はヘラで文様を描く。素地は白色を呈し、高台内をのぞく全面に青緑色の釉がかかる。

鉄製品

刀子（4）　刃部と柄部との境付近のみ残存している。残存長6.2cm、幅1.3cm、厚さ0.4cm。

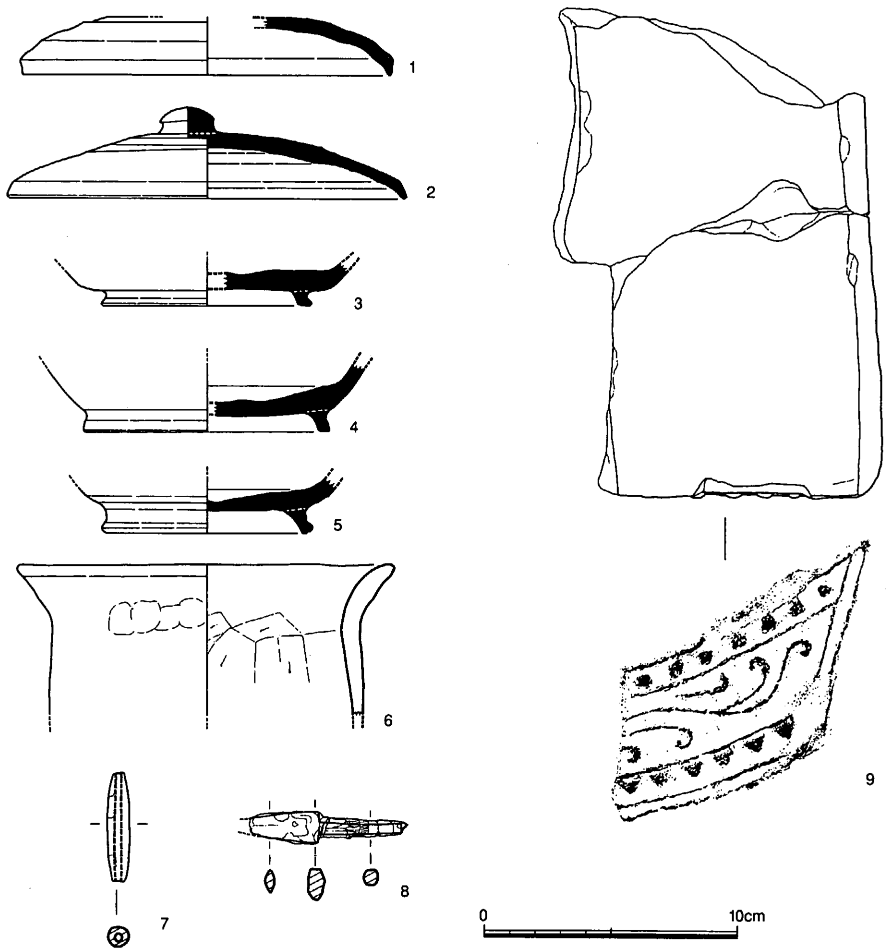


Fig.7-11　第7次調査青灰色砂層出土遺物実測図（1/3）

青灰色砂層（Fig.7-11、Pl.3）

須恵器

蓋3（1）　口縁部のみ残存する破片である。口径14.8cm。天井部は回転ヘラケズリを施し、内面はナデを施す。

蓋ｃ3（2）　口径15.9cm、器高3.6cm。天井部は回転ヘラケズリを施す。胎土に白色砂粒を多く含み、かなり粗い胎土に見受けられるものの、作りは比較的丁寧である。大宰府近隣以外からの搬入品であろうか。

坏ｃ（3～5）　いずれも底部のみ残存する破片である。底径8.4～9.8cm。いずれも底部内面にナデを施す。5は底部外面に回転ヘラケズリを施す。

土師器

甕（6）　口縁部が残存する破片である。口径15.0cm。体部内面はヘラケズリを施す。二次

的に火にかけられたようで、外面は赤色化し、口縁部内面は黒色化している。

瓦類

軒平瓦（9）　残存長19.5cm、残存幅15.5cm、厚さ6.7cm。焼成はややあまい。瓦当の文様は内区に偏行唐草文、外区上部に珠文、外区下部に鋸歯文を施す。老司Ⅱ式。

土製品

土錐（7）　土師質の土錐である。長さ4.3cm、幅0.9cm。0.3cmほどの孔を穿っている。

鉄製品

鏃（8）　残存長6.3cm、最大幅1.3cm、厚さ0.6cm。柄部には木質が残存している。全体を錆で覆われているが、Ｘ線撮影でくびれ部を確認し、かつ断面形状から鏃と判断したが、刀子の可能性も否定できない。

４．小結

第７次調査では、調査区北側を流れる大谷川の氾濫原の範囲とその堆積状況について確認できた。特に青灰色砂層には比較的多くの８ｃ代の遺物を含んでいる。大谷川上流部にある遺跡の一部を破壊して堆積している可能性も考えられ、大谷川上流の状況を知る上で参考となろう。この氾濫原一帯は遺構密度が低く、付近で建物等は見つかっていない。氾濫原から離れるにしたがって遺構密度は高くなり、調査区南半には建物や柵列などが集中していることから、川の氾濫に備えて建物を配置していたことも考えられる。

その他、7SX068から墨書土師器やヘラ記号を施した土師器を含む８ｃ後半頃の遺物群が出土した。ヘラ記号を施した土師器坏は火を受けた痕跡がある。遺構の性格についてははっきりしないが、祭祀等に使用された後、ここに廃棄された可能性もあろう。

(2) 御笠団印出土地周辺遺跡第９次調査

1．　層位（Fig.9-5）

本調査区の基本的な地盤は第７・10次調査と同様、礫を含む堆積層であり、この上に遺構が展開している。この遺構面を覆う層を「茶色土層」とし、遺物取り上げをおこなっている。

なお調査区南側には、「茶灰色土層」「暗茶色土層」が部分的に広がっている。この中には７ｃ末頃の遺物を含んでおり、この下から７ｃ末以前の遺構が検出された。そこで「茶灰色土層」「暗茶色土層」除去後に検出された遺構面を第２面、「茶灰色土層」「暗茶色土層」に切り込む遺構およびその他の遺構を含む面を第１面としている。

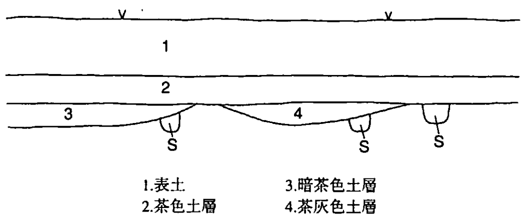


Fig.9-5　第９次調査　層位模式図

2．　遺構

(1) 溝

9SD012（Fig.9-1）

調査区の中央の東西溝群の一つである。幅約1.4m、深さ約0.1m。溝の振れはG.N.-90° 42′ 58″ -W（溝下場任意中軸）。本溝は西の延長上にある9SD080や第10次調査で検出した10SD100に繋がる可能性がある。８ｃの遺物が多いものの、平安前期に埋没したとみられる。

9SD015（Fig.9-3）

調査区の南で検出した東西溝である。幅約0.5m、深さ約0.15m。溝の振れはG.N.-91° 07′ 40″ -W（溝下場任意中軸）。溝の西端は暗茶色土層およびS-20に切られている。７ｃ末に埋没したとみられる。

9SD050（Fig.9-1）

調査区の中央の東西溝群の一つである。幅約1.6m、深さ最大約0.2m。溝の振れはG.N.-90° 22′ 37″ -W（溝下場任意中軸）。埋土中からは７ｃ末～８ｃ前葉の遺物が出土している。他の溝群と比べて出土遺物が古い傾向にあるが、これらが全て混入したとはいいきれないため、出土遺物より溝埋没時期を推定している。なお、本溝の西の延長上にある9SD085に繋がる可能性もあるが、出土遺物の時期が異なるため、現在のところ別遺構と考えている。

9SD055（Fig.9-1）

調査区の中央の東西溝群の一つである。幅１～1.4m、深さ0.05～0.1m。溝の振れはG.N.-91° 35′ 28″ -W（溝下場任意中軸）。出土遺物は少ない上、破片資料ばかりであるが、黒色土器Ａ類片も出土していることから、おそらく平安時代前期頃に埋没したものとみられる。なお

Fig.9-1　御笠団印出土地周辺遺跡 第 9 次調査第 1 面遺構全体図（1/200）

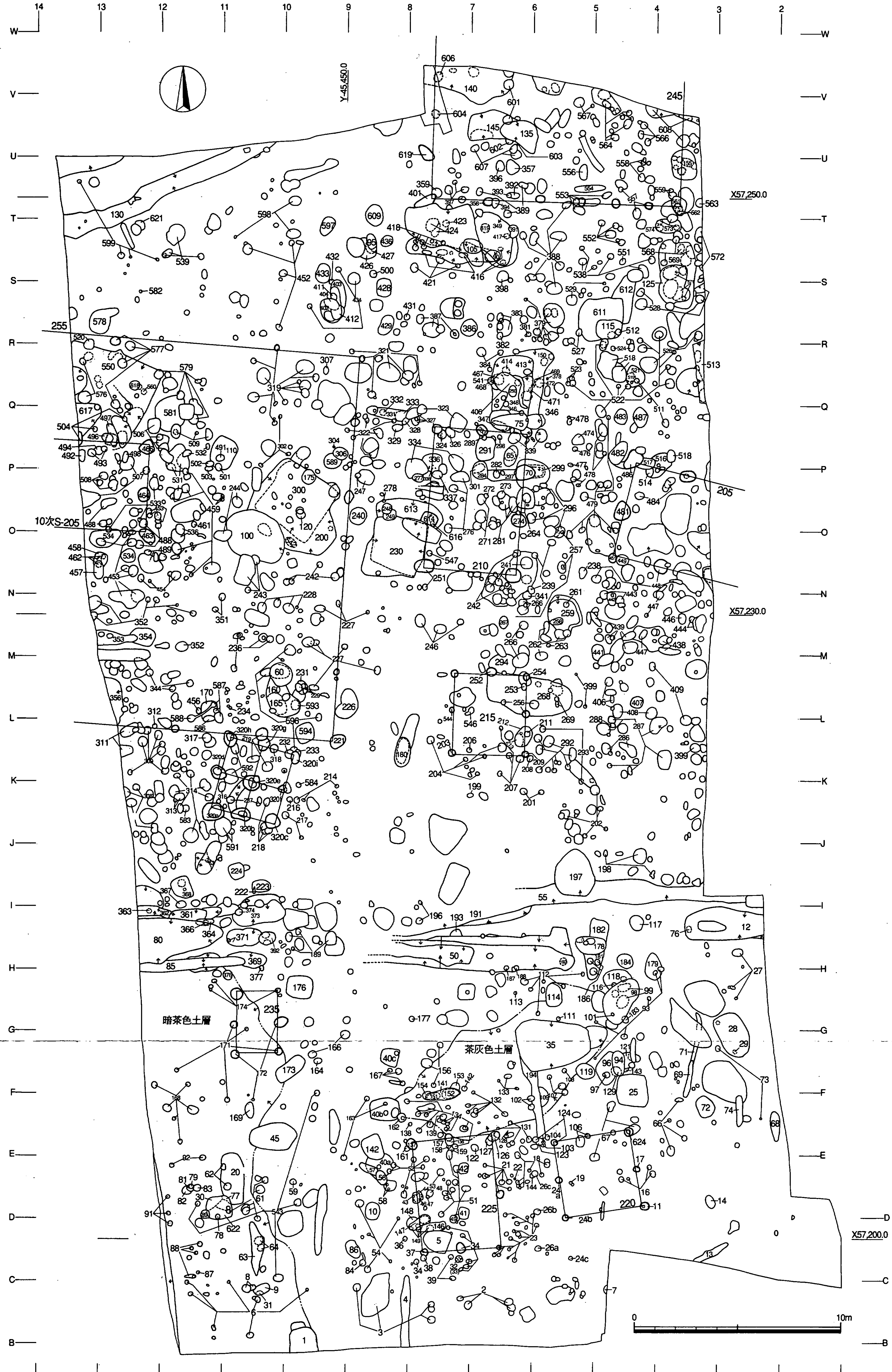


Fig.9-2　御笠団印出土地周辺遺跡 第 9 次調査第 1 面遺構配置図（1/200）

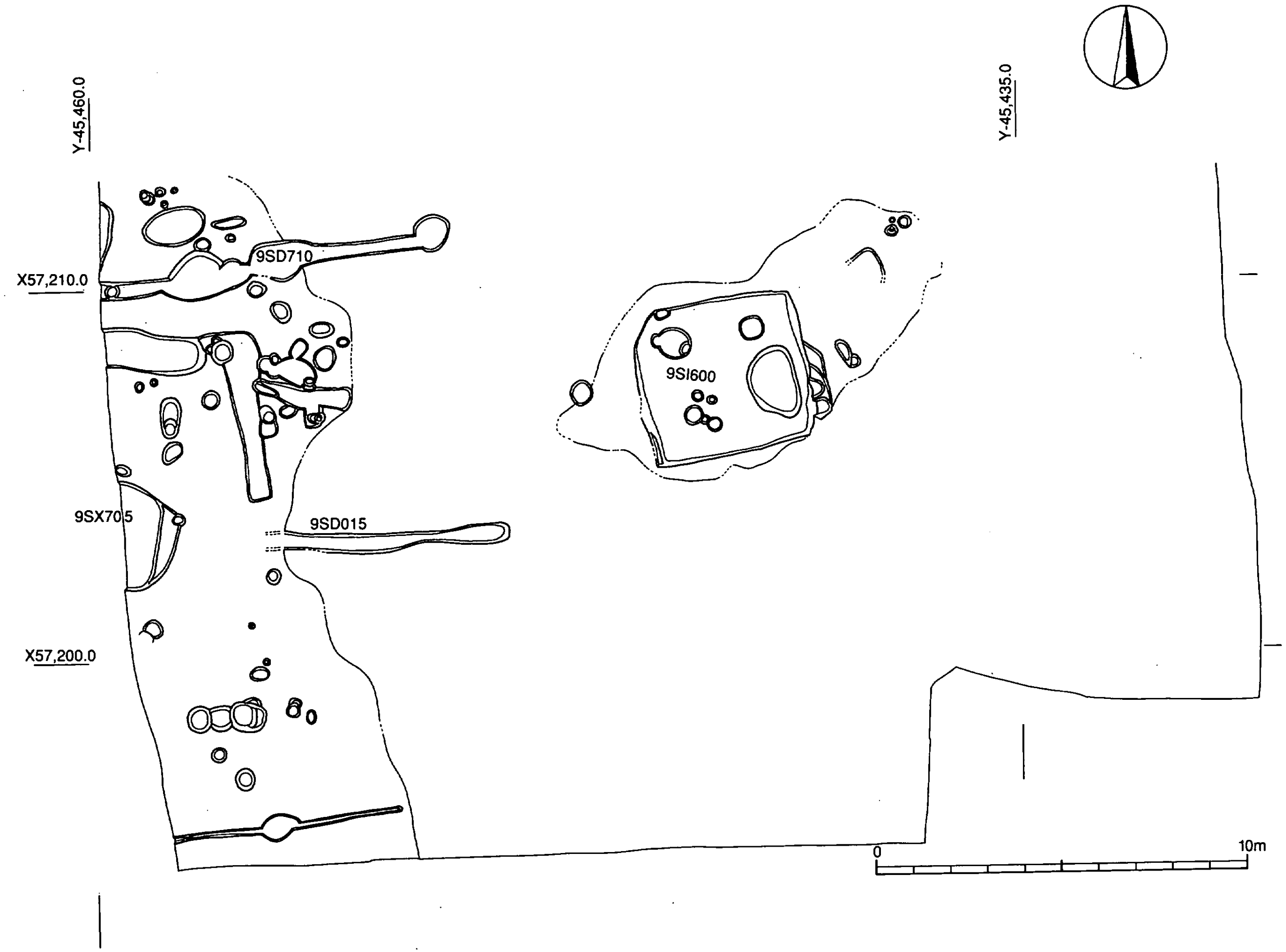


Fig.9-3　御笠団印出土地周辺遺跡 第９次調査 第２面遺構全体図（1/200）

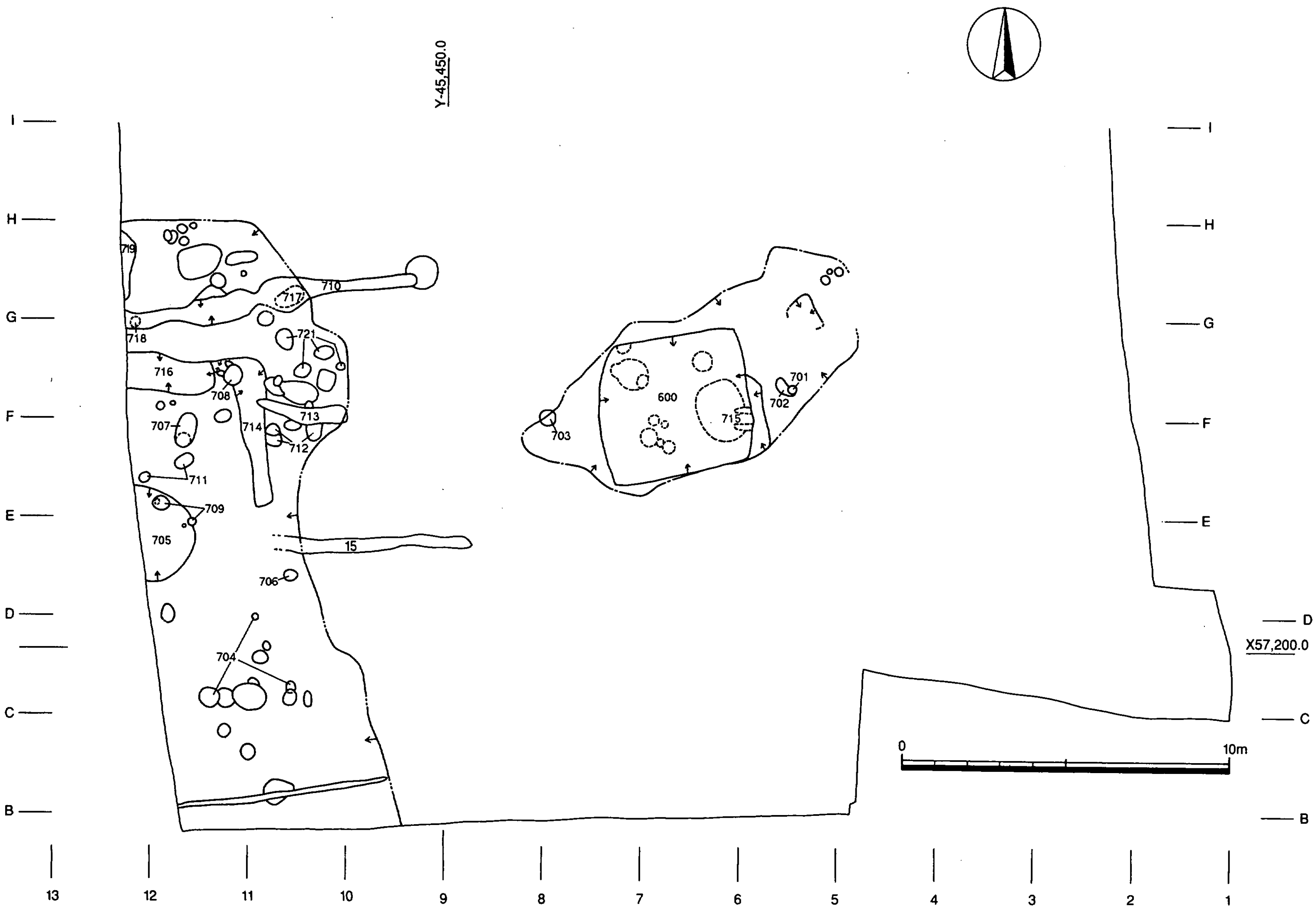


Fig.9-4　御笠団印出土地周辺遺跡 第９次調査 第２面遺構配置図（1/200）

本溝の西の延長上にある9SD361・362・373などの溝群に繋がる可能性がある。

9SD080（Fig.9-1）

調査区の中央の東西溝群の一つである。幅約1.3m、深さ0.1～0.2m。溝の振れはG.N.-86°19′56″-W（溝下場任意中軸）。本溝は第10次調査の10SD100と同遺構である。また東の延長上にある9SD012にも繋がる可能性はある。ここからは大宰府編年Ⅶ～Ⅷ期頃の遺物が出土している。

9SD085（Fig.9-1）

調査区の中央の東西溝群の一つである。幅約0.6～0.8m、深さ約0.15m。溝の振れはG.N.-91°22′49″-W（溝下場任意中軸）。本溝は第10次調査の10SD090と同一遺構である。また本溝の東の延長上にある9SD055に繋がる可能性あるが、出土遺物の時期が異なるため、現在のところ別遺構の可能性を考えている。

9SD130（Fig.9-1）

調査区北端を北東から南西方向に流れる流路跡である。さらに北を流れる大谷川に平行して流れている。この西の延長は第10次調査で検出した10SD005である。埋土中には奈良時代の遺物が多くみられるものの、９ｃ後半前後の遺物が散見される他、平安時代後期の遺物とみられるものもごくわずかに出土している。平安時代後期の遺物はごくわずかであり混入の可能性も考えられることから、平安時代前期には基本的に埋没しているものと考える。

9SD194（Fig.9-1）

調査区の南で検出された南北溝である。幅0.4～0.6m、深さ0.05～0.2m、溝の振れはG.N.-11°7′45″-W（溝下場任意中軸）。本溝は茶灰色土層に切り込んでおり、かつ9SK035に北端を切られている。埋土中からは８ｃ前半を中心とする時期の遺物が出土している。

9SD361・362・373（Fig.9-1）

当初は連続する土坑群と認識していたが、一連の溝と考える。幅約0.5m、深さ0.05～0.25m程度。それぞれの振れについては、9SD361がG.N.-99°27′44″-W、9SD362がG.N.-86°11′09″-W、9SD373がG.N.-101°11′07″-W（いずれも下場任意中軸）であるが、全体をみるとほぼ東西に走行している。なお本溝の東の延長上にある9SD055に繋がる可能性がある。埋没時期は出土遺物より平安時代前期以降とみられる。

9SD710（Fig.9-3）

調査区の南で検出した東西溝である。幅約0.4m、深さ約0.15mの規模だが、部分的に幅が1.4mとなるところもある。溝の振れはG.N.-95°46′57″-W（溝下場任意中軸）。溝の西端は暗茶色土層の下層で検出した。出土遺物からも埋没時期は７ｃ末頃とみられる。

（2）柵列

9SA245（Fig.9-1）

整理段階で確認したもので、調査区の北東側に位置し、四角に囲んでいるかのように小穴群が巡っている。ほぼ正方位をむいており、東西約12m、南北約6.5m検出した。調査区を超えて北にのびるとみられるが、すぐ北には大谷川の氾濫原があり、第７次調査からは遺構がほとんど検出されていないことから、それほど長くのびることはないとみられる。関連する遺構から８ｃの遺物が出土しているが、出土状況が不明であるため、時期の確定にはいたっていない。

9SA255（Fig.9-1、Fig.10-1）

整理段階で確認したもので、調査区の中央北側に位置する。第９・10次の両調査区にまたがって広がっており、四角に囲むように小穴群が巡っている。特に明瞭に小穴群が並んでいるのは第10次調査区で、第9次調査区については小穴の確定にはやや疑問の残る点がある。関連する遺構から８ｃ代とみられる遺物が出土しているが、出土状況も不明であるため、時期の確定にはいたっていない。なおこの柵列の中心には10SB205があり、本遺構との関連も考えられる。

（3）掘立柱建物

9SB205（Fig.9-6）

整理段階で確認したもので、調査区の中央東側に位置する。4×2間側柱の東西棟で、南北4.65m、東西8.15m。南北軸はGN-11°18′36″Eに向く。遺構の東半部は第７次調査に展開する。柱穴の一つであるS-481から平安時代前期頃とみられる土師器坏片が検出されており、廃絶時期はこれ以前とみられる。

9SB210（Fig.9-6）

整理段階で確認したもので、調査区の中央に位置する。3×2間側柱の南北棟で、南北6.65m、東西4.1m。南北軸はGN-4°11′06″Eに向く。柱穴の一つであるS-70から８ｃ中～後半頃の遺物が出土しており、廃絶時期はこれ以前とみられる。

9SB215（Fig.9-6）

整理段階で確認したもので、調査区の中央に位置する。2×2間側柱で、南北3.85m、東西3.65m。南北軸はGN-0°20′58″Eに向く。柱穴であるS-209・213から大宰府編年Ⅵ期頃の遺物が出土しており、廃絶時期はこれ以前とみられる。

9SB220（Fig.9-6）

整理段階で確認したもので、調査区の南に位置する。2×2間側柱で、南北3.57m、東西3.75m。南北軸はGN-7°18′21″Wに向く。柱穴の一つであるS-17から大宰府編年Ⅷ期頃の遺物が出土しており、廃絶時期はこれ以前とみられる。

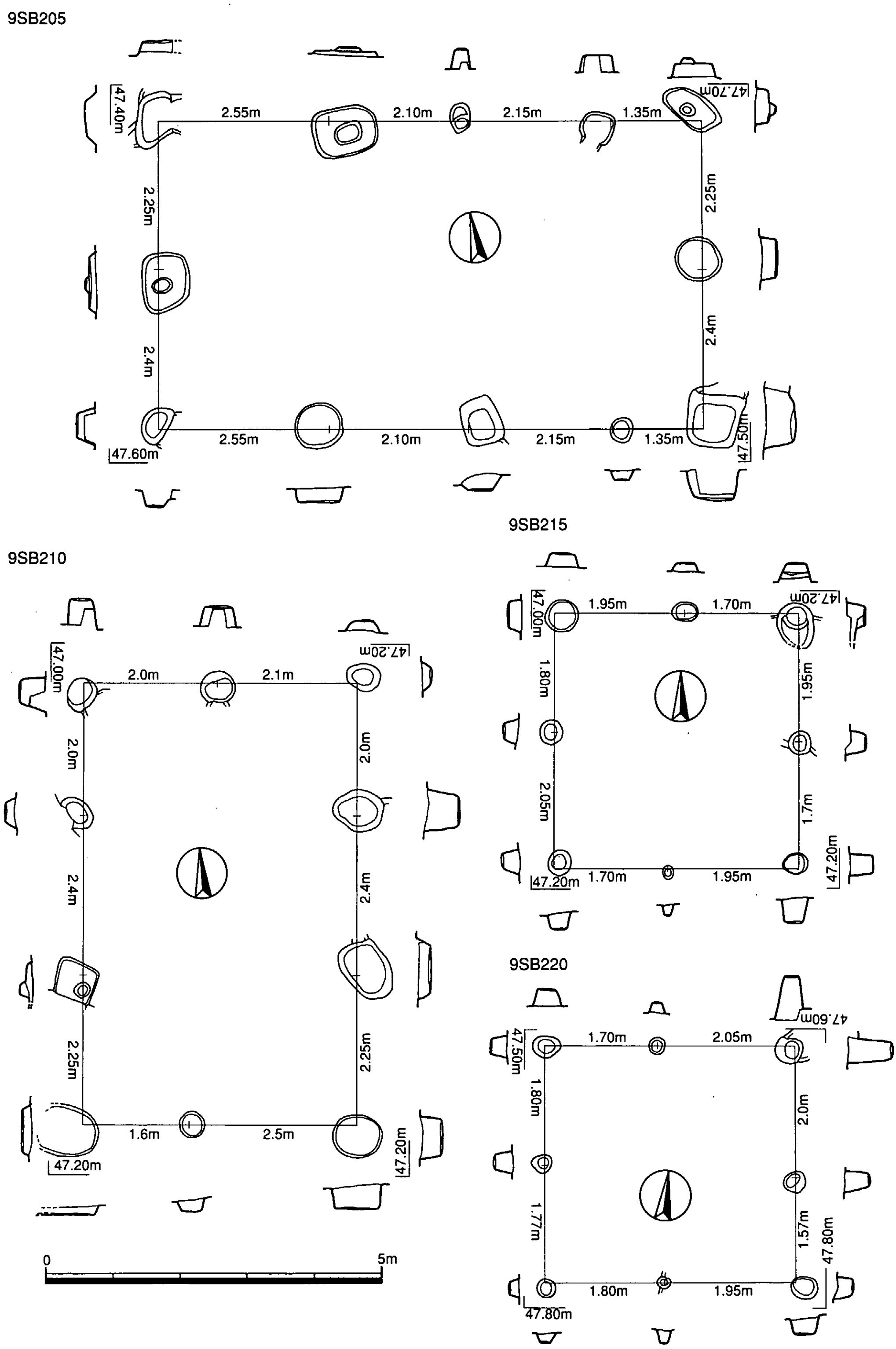


Fig.9-6　9SB205・SB210・SB215・SB220実測図（1/100）

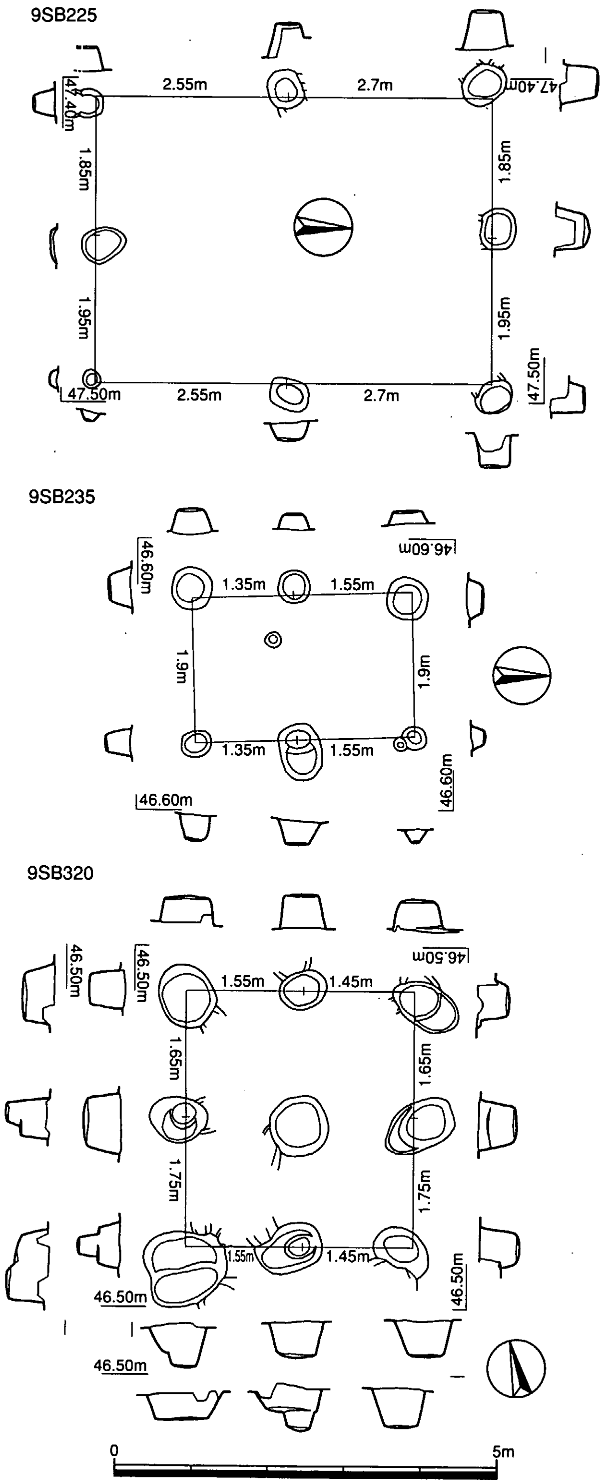


Fig.9-7　9SB225・SB235・SB320実測図（1/100）

9SB225（Fig.9-7）

整理段階で確認したもので、調査区の南に位置する。2×2間側柱の南北棟で、南北5.25m、東西3.8m。南北軸はGN-2°43′33″Wに向く。柱穴の一つであるS-37から黒色土器片、S-157から越州窯系青磁片が出土していることから、平安時代前期以前に廃絶したものとみられる。

9SB235（Fig.9-7）

整理段階で確認したもので、調査区の南に位置する。2×1間側柱の南北棟で、南北2.9m、東西1.9m。南北軸はGN-1°44′08″Wに向く。暗茶色土層の上に展開していることから、８ｃ以降の建物とみられる。

9SB320（Fig.9-7、Pl.6）

調査区の中央西側に位置する。2×2間総柱の建物で、南北3.4m、東西3.0m。南北軸はGN-13°23′33″Eに向く。柱痕部分は橙赤色土により埋め戻しがなされている。出土遺物は８ｃ代の甕が出土している。

(4) 竪穴住居

9SI160（Fig.9-8）

調査区中央付近で検出した。全体的に削平が進んでおり、カマド部分のみ残存しているものとみら

れる。検出長は1.95×1.5m。カマドは西～南西側に付設されるとみられる。カマドの中央には立石を据えている。カマドの右裾からは小田編年Ⅳ～Ⅴ型式とみられる須恵器蓋が出土している。

9SI300（Fig.9-8）

調査区中央西側で検出された遺構である。平面プランは方形を呈す。規模は3.0×3.4m、深さ約0.2m。北東辺の中央にカマドを有す（S-175）。カマドの中央には立石を据えており、この上にはつぶれた状態で土師器甕（Fig.9-17-6）が出土した。また東西端および南東端には、黄色土と茶褐色土ブロックで作りつけられた約0.4mのテラスを有す。埋土から小田編年Ⅳ型式とみられる遺物を出土している。なお本遺構の上面には9SX200が堆積しており、本遺構の埋土中の遺物を一部含むとみられる。

9SI400（Fig.9-8、Pl.6）

調査区中央東側で検出された遺構である。規模は2.6×3.9m、深さ約0.2m。

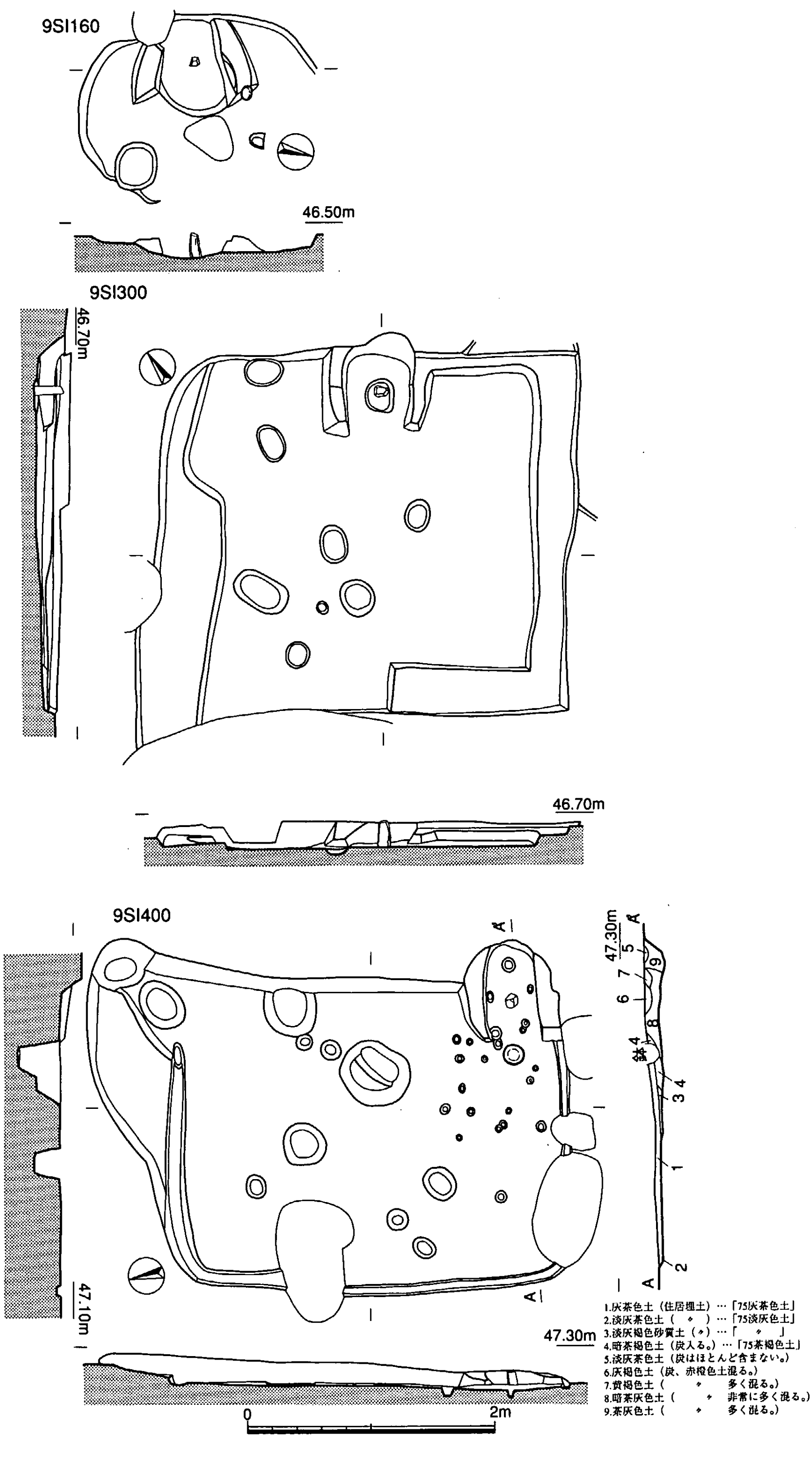


Fig.9-8　9SI160・SI300・SI400実測図（1/60）

北東側にやや張り出した部分があるが、壁溝は方形に巡っていることから、基本的には平面プ

ランは長方形を呈すとみられる。カマドは南東隅に東向きに付設している（S-75）。カマドの中央には立石を据えており、灰の掻き出し部に土師器の鉢（Fig.9-18-13）が据えられていた。埋土からは７ｃ末頃（～８ｃ前？）の遺物を出土している。

9SI550（Fig.9-9）

調査区北側で検出された遺構である。平面プランは方形を呈す。規模は4.4×4.45ｍ。遺構の南側は削平がすすんでおり、残存状況は悪い。カマドは北東辺の中央に付設する。遺物は少ないものの、10SK015に切られていることから７ｃ代の遺構と考えられる。なお埋土中からごくわずかに８ｃ代の遺物もみられるが、混入の可能性を考える。

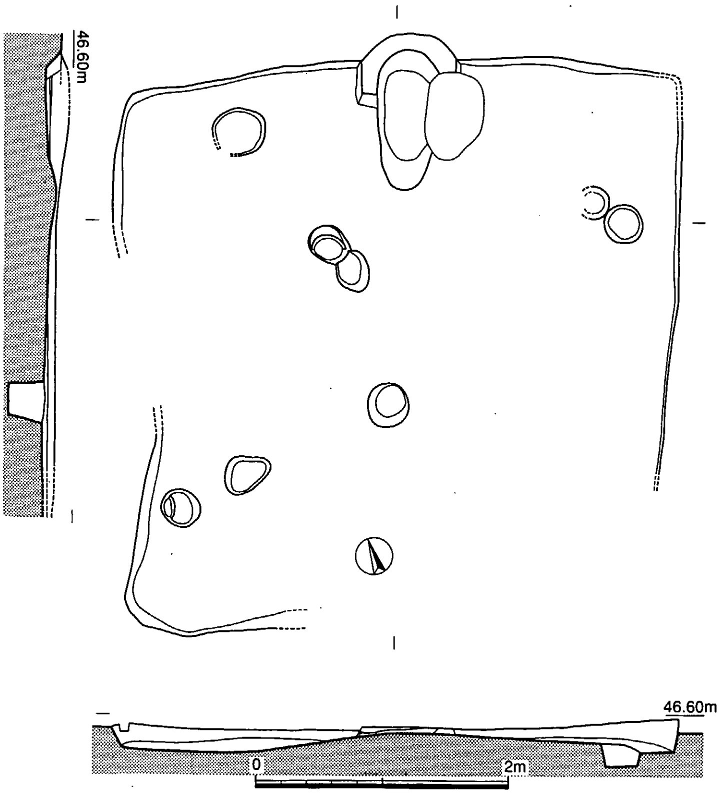


Fig.9-9　9SI550実測図（1/60）

9SI600（Fig.9-10、Pl.7）

調査区南の茶灰色土包含層を除去した時点で検出した遺構である。平面プランは方形を呈す。規模は比較的大きく5.05×4.2ｍ、深さは最大約0.35ｍである。カマドは東辺のやや南寄りに付設する。遺物は７ｃ後半を中心とした時期の遺物が多い。本遺構を覆う茶灰色土層出土遺物と比較すると、住居の廃絶から茶灰色土の堆積までの時間は比較的短時間であった可能性がある。

（5）土坑

9SK001（Fig.9-11）

調査区南端で検出した。1.35×1.3ｍほど検出し、南半部は調査区外に延びている。深さは約0.8ｍ。埋土は３層ほどに分層されるが、第２層の灰黄色土層から薩摩産とみられる土師器耳皿を出土した。このほか大宰府編年Ⅷ期頃の遺物を出土している。

9SK005（Fig.9-1）

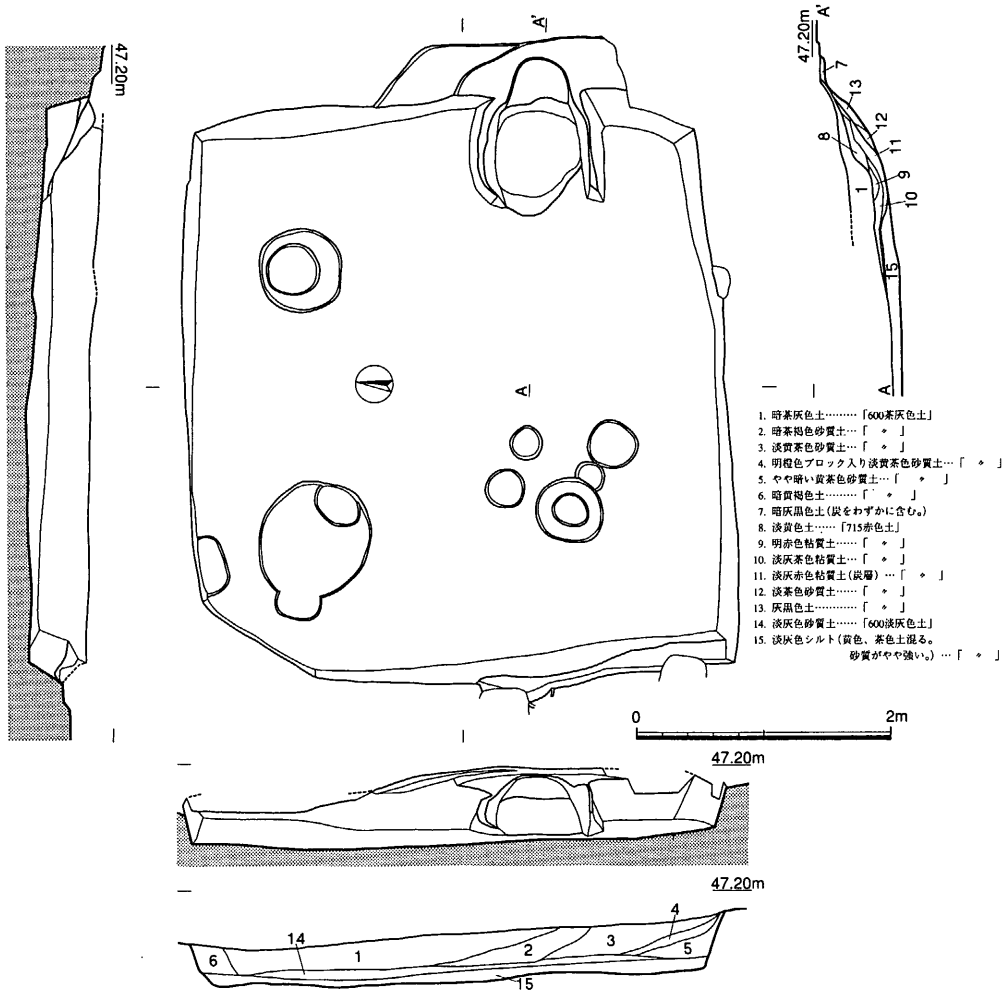


Fig.9-10　9SI600実測図（1/60）

調査区南側で検出した。規模は1.35×1.0m、深さ0.25cm程度の焼土坑である。底には炭が堆積しており、底部には小穴が複数みられる。

9SK025（Fig.9-11）

調査区南部の東側で検出した。規模は約1.5m程度の隅丸方形を呈し、深さは約0.25m。底面は径0.8m、深さ5cm程度の不定形の掘り込みがなされて灰褐色土が堆積しており、さらにこの最下部に深さ5cm程度の小穴状の掘り込みを施す。ここから８ｃ後半頃の遺物を出土している。

9SK030（Fig.9-12、Pl.7）

調査区南部の西側の暗茶色土層に切り込んでいる。規模は0.8×0.6m程度、深さ0.12m程度残存している焼土坑で、底部に炭が堆積している。その上に土師器の甕が２個体並べられて出土した。過去に削平を受けており、甕の大半は欠損している。甕内部の器壁に接した埋土のサンプルを採取し残存脂肪分析を行ったところ、高級脂肪酸が検出された。残存脂肪酸組成分析に

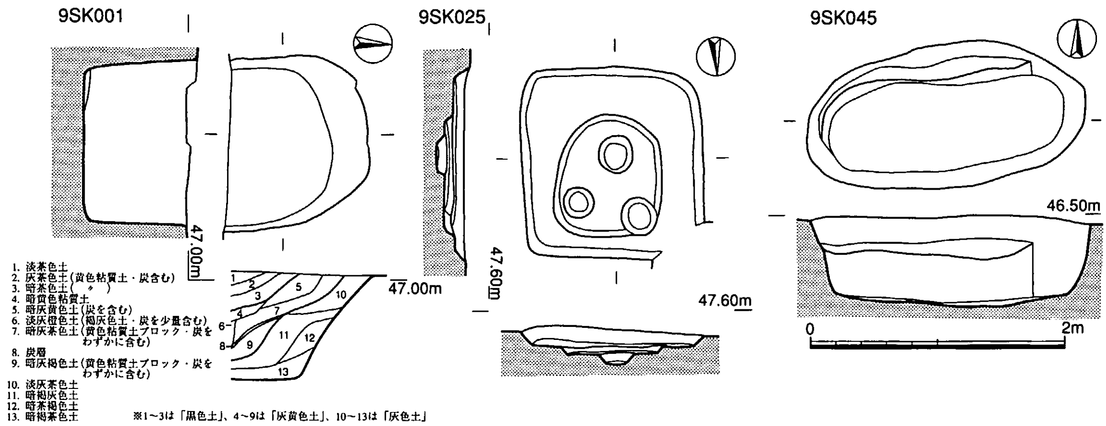


Fig.9-11　9SK001・9SK025・9SK045実測図（1/60）

基づく数理解析の結果、クラスター分析からこれらのサンプルがヒト遺体を直接埋葬したことに関わる遺跡の試料やヒトの体脂肪試料に類似しており、東側に頭部があった可能性が報告されている。これより墓の可能性もあるわけだが、早急に結論せず類例の増加を待ちたい。

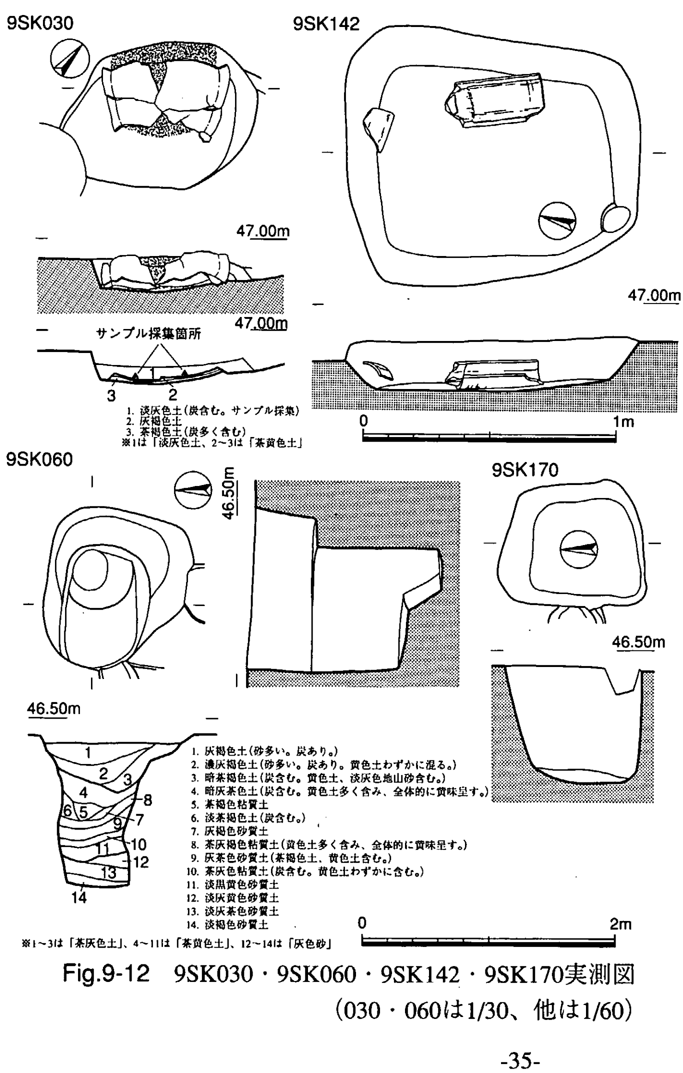


Fig.9-12　9SK030・9SK060・9SK142・9SK170実測図
（030・060は1/30、他は1/60）

9SK035（Fig.9-13、Pl.8）

調査区南部の中央で検出した。規模は3.4×2.65ｍ、深さ最大0.65ｍの大型の土坑である。下層から暗茶色土、黄茶色土、灰褐色土の順で堆積しており、灰褐色土を除いて、いずれも埋め戻しによる堆積とみられる。ここからは大宰府編年Ⅸ期頃の遺物を出土している。

9SK045（Fig.9-11、Pl.8）

調査区南部の西側で検出した。規模は2.2×1.15ｍ、深さ約0.7ｍ。ほぼ垂直に掘り込まれており、一見土坑墓のようにみえる。ここからは７ｃ後半の遺物が出土しており、底に近い茶色土層から在地系暗文土師器が出土している。

9SK060（Fig.9-12）

調査区中央の西側で検出した。規模は1.36×1.38m、深さ1.55m程度。垂直に深く掘り込まれており、素掘りの井戸の可能性も考えられる。出土遺物は細片が多いが、これらより８ｃ後半～９ｃ前半に埋没したとみられる。

9SK100（Fig.9-13、Pl.9）

調査区中央の西側で検出した。規模は3.0×2.05m、深さ約0.4m。大きく３層に分層され、下から、灰茶色土、茶灰色土、茶色土（「上面」層も茶色土に含まれると考える）の順に堆積している。埋土中には炭化物やブロック土が多く含まれ、また分層しているものの、埋土に大差がなく、投げ込まれたように土層が入り乱れていることから、一括廃棄したとみられる。ここからは製塩土器を含む８ｃ中～後半の遺物が大量に出土している。

9SK110（Fig.9-14、Pl.10）

調査区中央の西側で検出した。規模は1.65×1.3m、深さ1.65m。底には、径0.4m、深さ0.35mの小穴がさらに掘られており、底には平たい小礫が数個並べられていた。本遺構は垂直に深く掘り込まれていることから、素掘りの井戸の可能性も考えられる。出土遺物から７ｃ末～８ｃ初頭に埋没したとみられる。

9SK142（Fig.9-12、Pl.10）

調査区南部の西側で検出した。規模は1.17×1.04m、

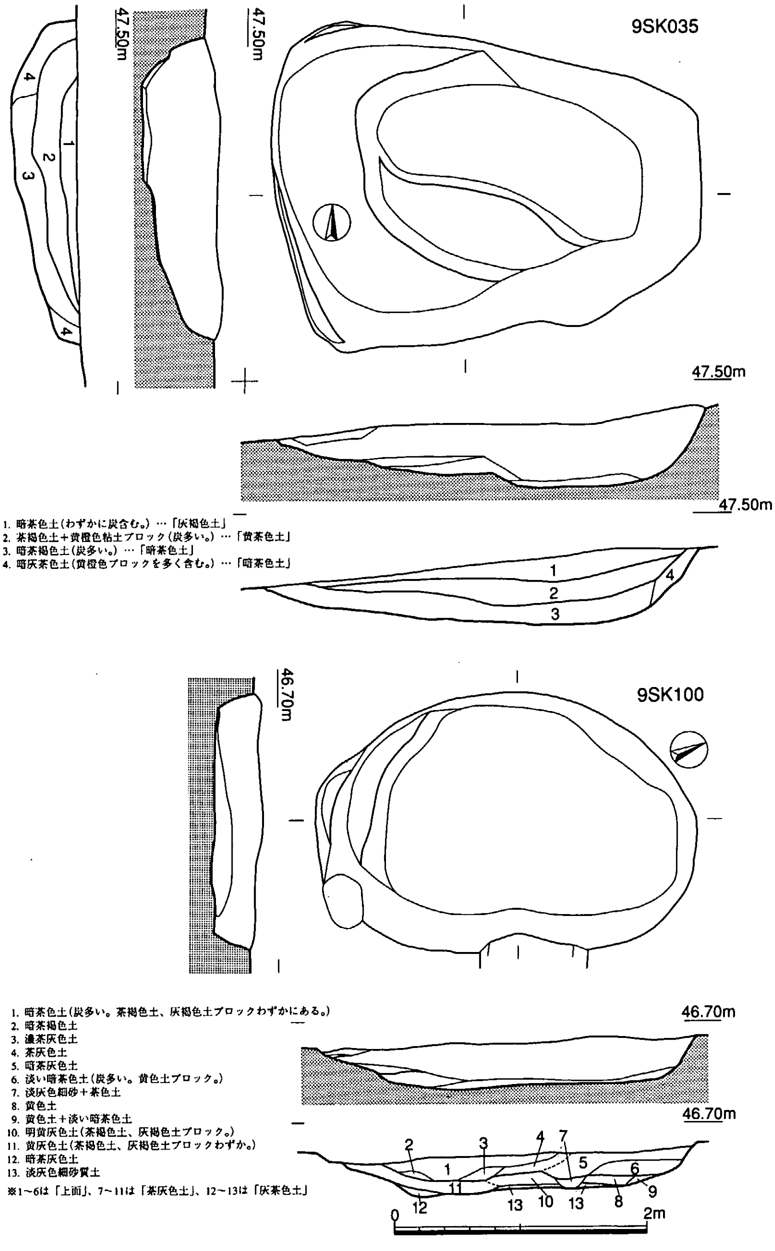


Fig.9-13　9SK035・9SK100実測図（1/60）

深さ0.2m。底からほぼ完形の丸瓦が凹面を上にして出土した。他の出土遺物から８ｃ中～後半に埋没したと考えられる。

9SK170（Fig.9-12、Pl.11）

調査区中央の西側で検出した。規模は1.15×1.0m、深さ0.9m程度。垂直に深く掘り込まれていることから、素掘りの井戸の可能性も考えられる。出土遺物は細片が多いが、これより８ｃ中～後半に埋没したとみられる。

9SK230（Fig.9-14、Pl.11）

調査区中央付近で検出した。規模は2.8×2.6mの平面プラン方形を呈し、深さ最大2.7mを測る。1.4mほど掘り下げた地点で、東半分を残して西半分を掘り下げ、さらに0.8m程掘り下げた地点で、その北半分を残して南半分を掘り下げて底に到達している。上から１段目の東テラス部から２段目の北テラス部に降りる位置に径35cm程度の小穴を穿っていることから、ちょうど階段をつけながら深く掘り下げたような印象を受ける。底部の地山はかなり酸化が進んだ灰茶色細砂のラミナ層であり、井戸の可能性も考えられる。埋土は茶黄色土、淡茶色土、茶灰色土、灰褐色土、明茶色土、茶褐色土、灰茶色土、灰茶色土上層の順に堆積している。灰褐色土より上層にはブロック土が含まれており、最終的な埋め戻しを行ったとみられる。最終埋没時期は８ｃ前半を、それ以前の埋土堆積の時期は８ｃ初頭～８ｃ前半とみられる。なお、

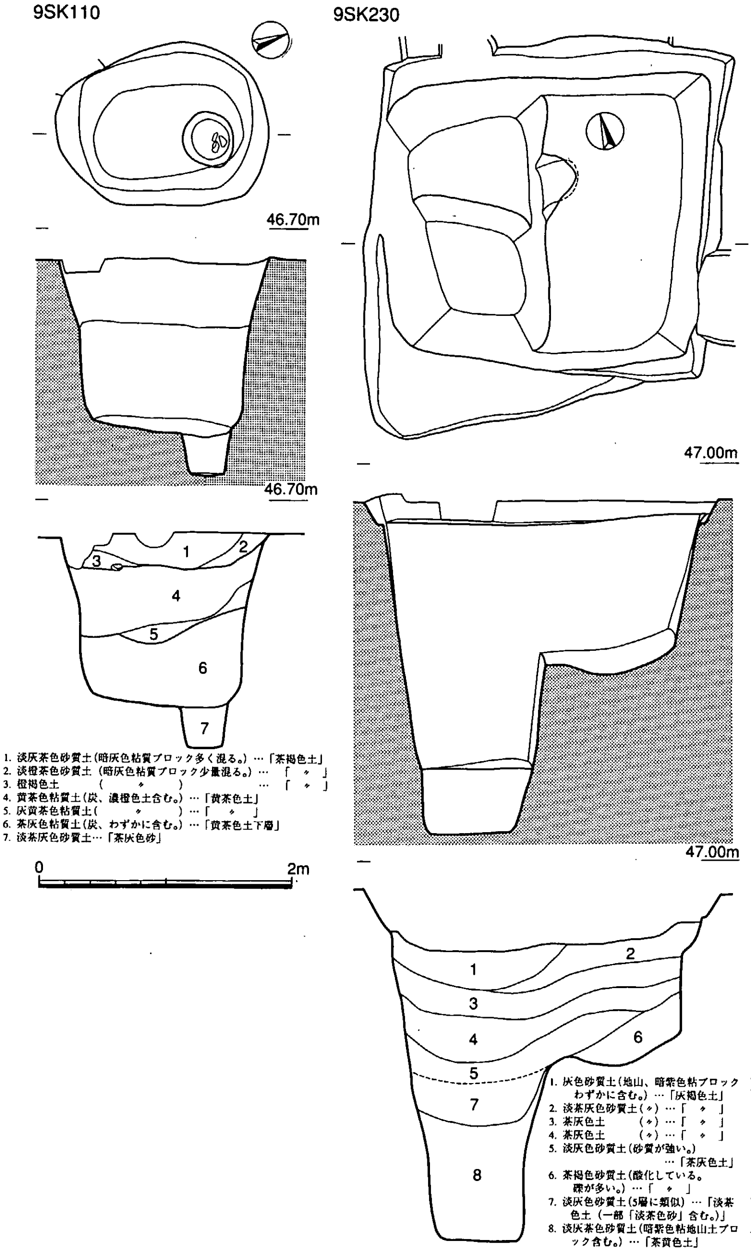


Fig.9-14　9SK110・9SK230実測図（1/60）

調査当初最上面を竪穴住居と考えたが、これは方形の掘方であったことと最上部に含まれた粘土を誤ってカマドと認識したことに起因するものである。このため、全体写真は竪穴住居風の遺構として撮影されているが、これは訂正するものである。竪穴住居として調査したのは明茶色土より上の堆積層であるが、堆積順に相違はないため、ここから出土した遺物も報告している。

（6）その他の遺構

（小穴関連）

9SX090（Fig.9-1）

調査区北部の中央付近で検出した小穴である。規模は1.0×1.15m、深さ0.1m程の平面プラン円形を呈す。ここから８ｃ前～中頃の遺物が廃棄された状態で比較的まとまって出土している。

9SX095（Fig.9-1）

調査区北部の中央付近で検出した小穴である。規模は直径0.7m、深さ0.2m程の平面プラン円形を呈す。ここから８ｃ中～後半の遺物が廃棄された状態で比較的まとまって出土している。

（竪穴住居関連）

9SX200（Fig.9-1）

9SI300の上に堆積したたまり状遺構である。出土した遺物の中には７ｃ末前後のものもあり最終堆積時期を窺うことができるが、このほか9SI300に伴うとみられる遺物も出土している。なお出土遺物は全て「S-200上層」としている。

（その他の遺構）

9SX392（Fig.9-1）

調査区北部で検出した小穴である。

9SX441（Fig.9-1）

調査区中央で検出した小穴である。

３．　遺物

Ａ．土器・陶磁器・鉄製品等（一部石製品含む）

（1）溝出土遺物

9SD012出土遺物（Fig.9-15）

土師器

椀ｃ（1）　底部が残存する破片である。底径13.0cm前後に復元される。磨耗により調整不明な部分が多いが、底部内面にはナデを施す。色調は淡黄褐色を呈す。

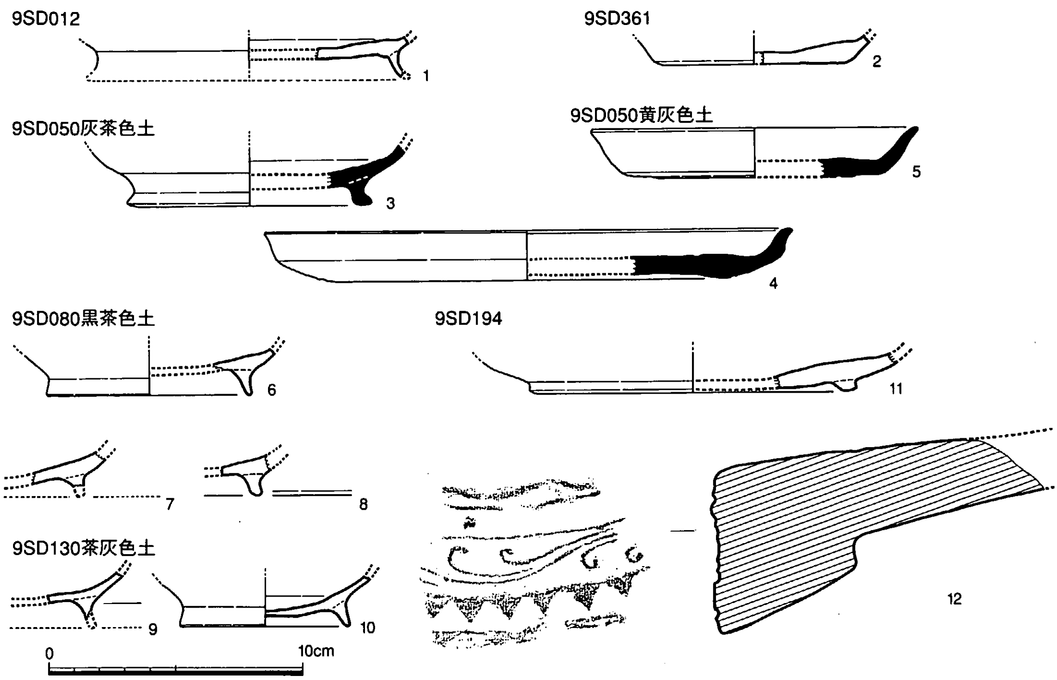


Fig.9-15　9SD012・9SD050・9SD080・9SD130・9SD194・9SD361出土遺物実測図（1/3）

9SD050出土遺物（Fig.9-15）

（灰茶色土）

須恵器

坏ｃ（3）　底部のみ残存する破片である。底径9.7cm。体部下半は回転ヘラケズリを施こし、底部内面はナデを施す。色調は灰青色を呈す。

皿ａ（4）　口径21.0cm、器高2.0cm、底径15.4cmに復元される。ヘラ切り後、回転ナデを施す。断面は茶灰色、表面は淡灰茶色を呈す。

（黄灰色土）

須恵器

皿ａ（5）　口径13.0cm、器高2.0cm、底径10.6cmに復元される。ヘラ切り後、回転ナデを施し、底部内面にはナデを施す。色調は淡茶灰色を呈す。

9SD080出土遺物（Fig.9-15）

（黒茶色土）

土師器

椀ｃ（6）　底部のみ残存する破片である。底径8.2cm、残存高1.9cm。磨耗のため調整不明。

黒色土器Ａ類

椀ｃ（7・8）　いずれも底部のみ残存する破片である。内面が黒色を呈し、ミガキｃの痕跡

が窺える。

9SD130出土遺物（Fig.9-15）

（茶灰色土）

土師器

椀ｃ（9・10）　9は、底部が残存する小破片である。10は底部がそのまま残存する。底径6.8cm、残存高2.0cm。淡褐灰色を呈す。いずれも大宰府編年Ⅷ～Ⅸ期頃か。

9SD194出土遺物（Fig.9-15）

土師器

皿ｃ（11）　底部のみ残存する破片である。底径13.0cm、器高1.7cm。色調は、明橙色を呈す。磨耗が著しく調整不明。なお器種は坏ｃの可能性もある。

瓦類

軒平瓦（12）　凹面には模骨痕跡がみられる。瓦当の文様は内区に偏行唐草文、外区上部に珠文、外区下部には鋸歯文を施す。老司Ⅱ式。

9SD361出土遺物（Fig.9-15）

土師器

坏ａ（2）　底部のみ残存する小破片である。底径8.0cm、残存高1.2cmに復元される。胎土は良好で、淡茶色を呈す。

(2) 掘立柱建物出土遺物

9SB210出土遺物（Fig.9-16）

須恵器

蓋ｃ3（1・2）　口径14.5～15.0cm。器高1.4～1.6cm。いずれも天井部は回転ヘラケズリを施し、内面はナデを施す。内面には擦った痕跡があり、転用硯として使用された可能性も考えられる。いずれもS-70出土。

坏ｃ（3）　口径14.0cm、器高4.1cm、底径10.2cm。ヘラ切り後、回転ナデを施し、底部内面にはナデを施す。胎土はきめ細かいが、白色砂粒を比較的多く含む。S-70出土。

土師器

高坏（4）　脚部の一部のみ残存する破片である。内外面ともヨコナデを施す。焼成はやや不良。明茶色を呈す。S-70出土。

甕ａ（5）　口縁部のみ残存する破片である。胴部外面は刷毛目を、胴部内面はヘラケズリを施す。口縁部は磨耗により不明。外面には黒斑がみられる。胎土には2.5mm程度の砂粒を含み、明茶色を呈す。S-70出土。

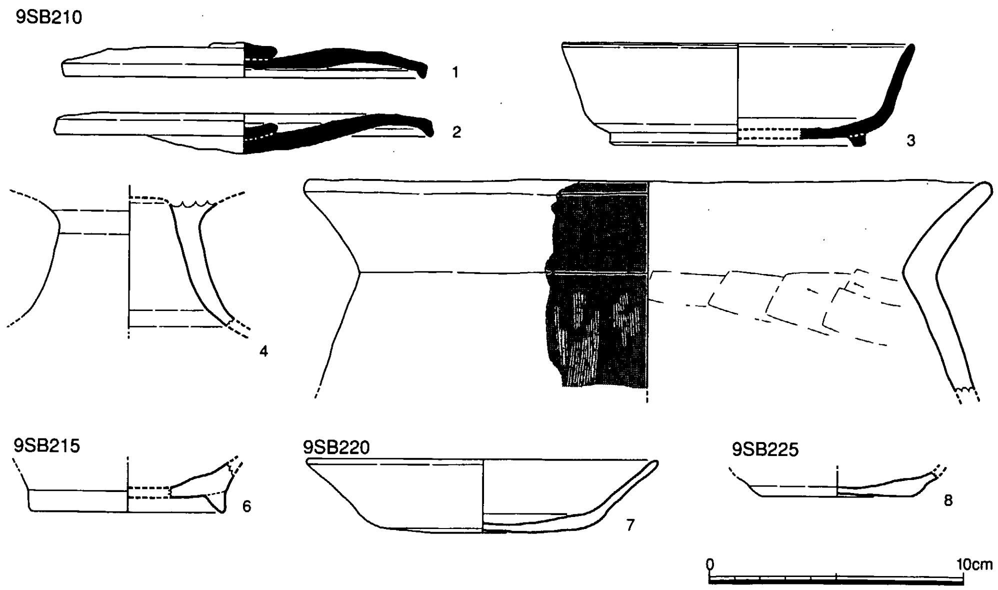


Fig.9-16　9SB210・9SB215・9SB220・9SB225出土遺物実測図（1/3）

9SB215出土遺物（Fig.9-16）

土師器

坏ｃ（6）　底部のみ残存する破片である。底径7.8cm、残存高2.0cm。内外面ともに回転ナデが施される。S-209出土。

9SB220出土遺物（Fig.9-16）

土師器

坏ａ（7）　口径14.0cm、残存高2.9cm、底径7.9cm。器面の磨耗が著しく、底部はヘラ切りのみ確認できる。S-17出土。

9SB225出土遺物（Fig.9-16）

土師器

坏ａ（8）　底部のみ残存する破片である。底径7.0cm、残存高1.0cm。かなり磨耗しているが、内面に回転ナデ、底部にヘラ切りが確認できる。S-37出土。

（3）竪穴住居出土遺物

9SI160出土遺物（Fig.9-17）

須恵器

小蓋ａ1（１）　ほぼ完形の資料である。口径10.9cm、器高2.7cm。外面天井部は平坦で、内面は天井部からなだらかに口縁部に向かって広がっていき、端部にかえりをつける。外面天井部はヘラ切り後、やや丁寧なナデを施し、焼成前にヘラ記号を施す。内面はナデを施す。今回

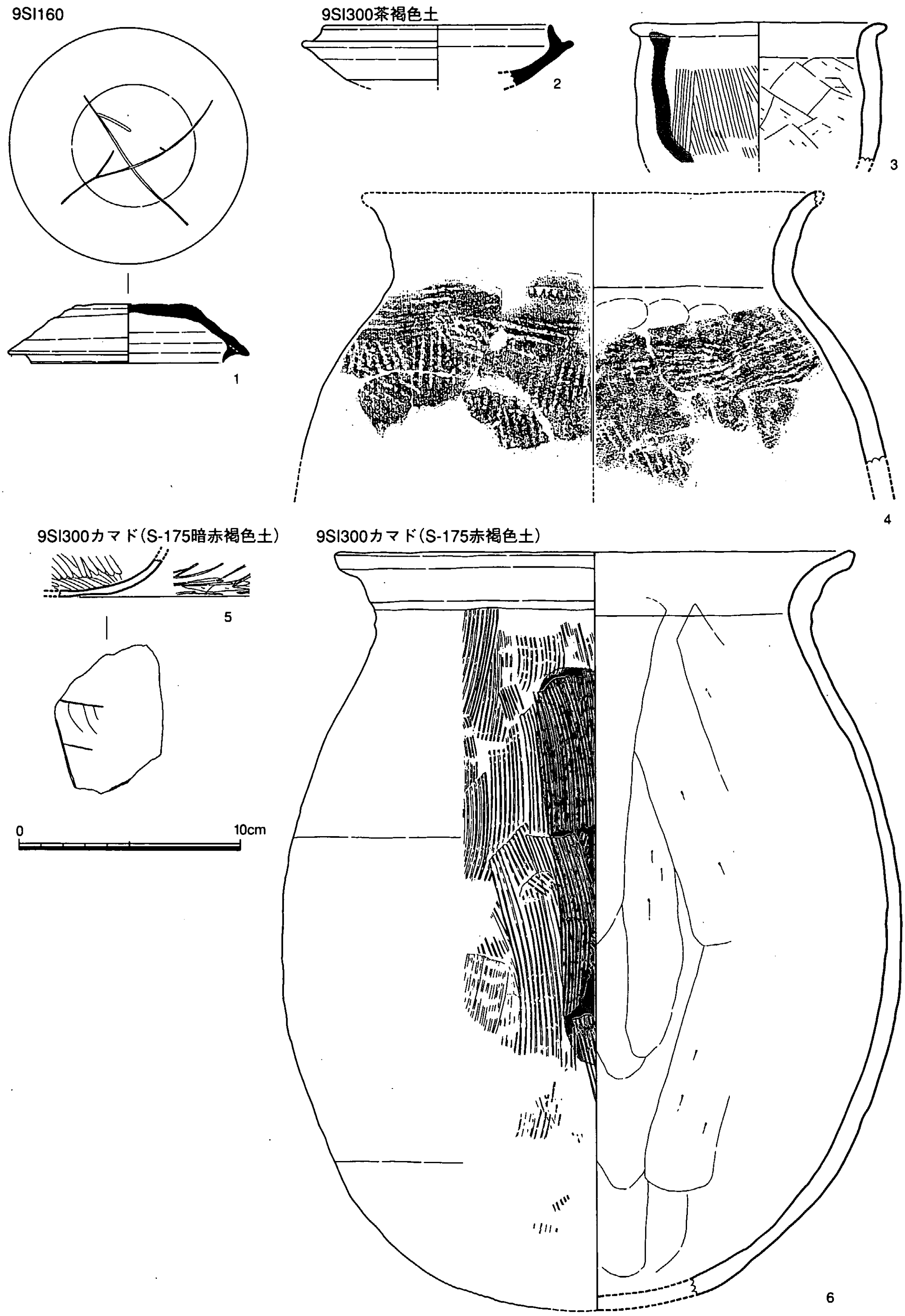


Fig.9-17　9SI160・9SI300出土遺物実測図（1/3）

蓋として報告したが、坏身の可能性もある。

9SI300出土遺物（Fig.9-17）

（茶褐色土）

須恵器

坏身（2）　口縁部のみの破片資料である。口径12.3cm、残存高2.75cm。天井部はわずかしか残存していないが、回転ヘラケズリを施しているとみられる。

土師器

小甕ａ（3）　口径11.6cm、残存高6.3cm。胴部外面は刷毛目、胴部内面はヘラケズリ、口縁部はヨコナデを施す。きめの細かい胎土で、明橙茶色～暗灰褐色を呈す。外面には煤が付着している。

製塩土器

煎熬土器（4）　口径21.0cm、残存高12.4cm。胴部外面は格子目状の叩き、胴部内面は平行叩き、口縁部はヨコナデを施す。胎土は微細な砂粒を多く含み、2mm前後の砂粒もわずかに含む。外面は暗黄橙色、内面は黄橙色を呈す。

9SI300カマド（S-175）出土遺物（Fig.9-17、Pl.13）

（暗赤褐色土）

土師器

甕（5）　底部のみ残存する破片である。小型の甕とみられ、器壁が最大0.4cm程度と薄い。底部外面はヘラケズリ後ミガキｃを施し、内面もミガキｃを施す。底部には、焼成前とみられるヘラ記号が施される。胎土は0.5mm大の砂粒をわずかに含み、暗赤褐色～赤褐色を呈す。

（赤褐色土）

甕ａ（6）　長胴の甕で胴部中央に最大径をもつ。口縁部と胴部の境の屈曲はゆるやかで、底部はやや平底ぎみである。口径23.6cm、残存高33.8cm。胴部外面は刷毛目、胴部内面はヘラケズリ、口縁部はヨコナデを施す。胴部外面には黒斑もみられる。胎土のきめは粗く、3mm大の砂粒を多く含む。焼成はややあまく、淡灰茶色～明茶色を呈す。

9SI400出土遺物（Fig.9-18、Pl.12）

（埋土）

須恵器

小蓋ａ1（1）　口径11.4cm、器高2.0cm。天井部外面はヘラ切り後ナデ、内面はナデを施す。S-348出土。

蓋1（2・5）　いずれも口縁部のみ残存する破片である。2は口径14.2cm、残存高1.9cm。天井部外面に回転ヘラケズリが施される。S-413出土。5は残存高1.6cm。S-348出土。

蓋ｃ1（3）　ほぼ完形で出土。口径14.6cm、器高2.4cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施

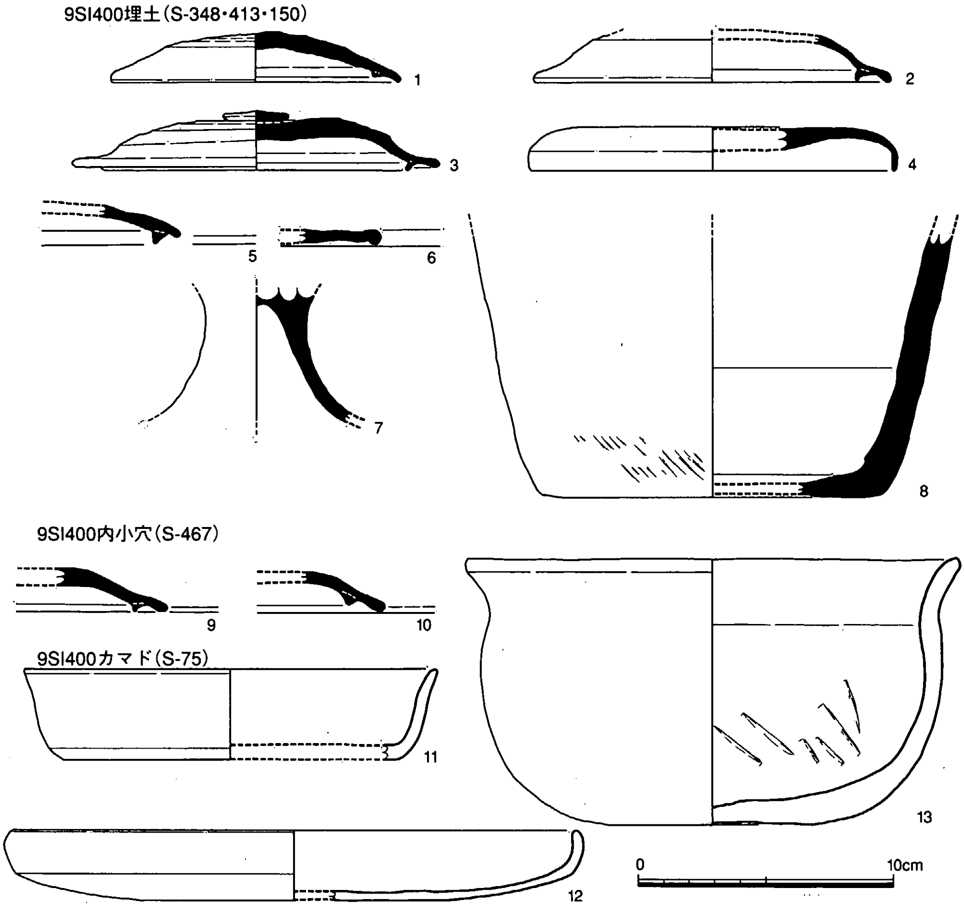


Fig.9-18　9SI400出土遺物実測図（1/3）

す。若干のひずみあり。S-348出土。

蓋2（4）　口縁部が残存する破片である。口径14.6cm、残存高1.7cm。口縁部は、端部を折り曲げたのみの成形である。内外面とも回転ナデを施し、天井部に回転ヘラケズリを施す。S-413出土。

蓋3（6）　口縁部が残存する小破片である。小片のため器高に若干の疑義があるものの、残存高0.65cmを測る。内外面とも回転ナデを施す。S-150出土。

高坏（7）　脚部のみ残存する。残存高5.0cm。S-348出土。

壺（8）　底部が残存する破片である。底径13.9cm、残存高10.4cm。平底を呈す。全体的に焼成があまいため、磨耗が進んでいるが、底部外面は切り離し後、刷毛目を施す。刷毛は胴部下端まで当たっている。胴部内面は回転ナデを施し、下半は工具によるとみられる強い回転ナデも認められる。底部内面はナデを施す。胎土はきめ細かいものの微細な砂粒を多く含む。還元は進んでおらず、内外面ともに淡茶白色を呈す。S-150出土。

（小穴）

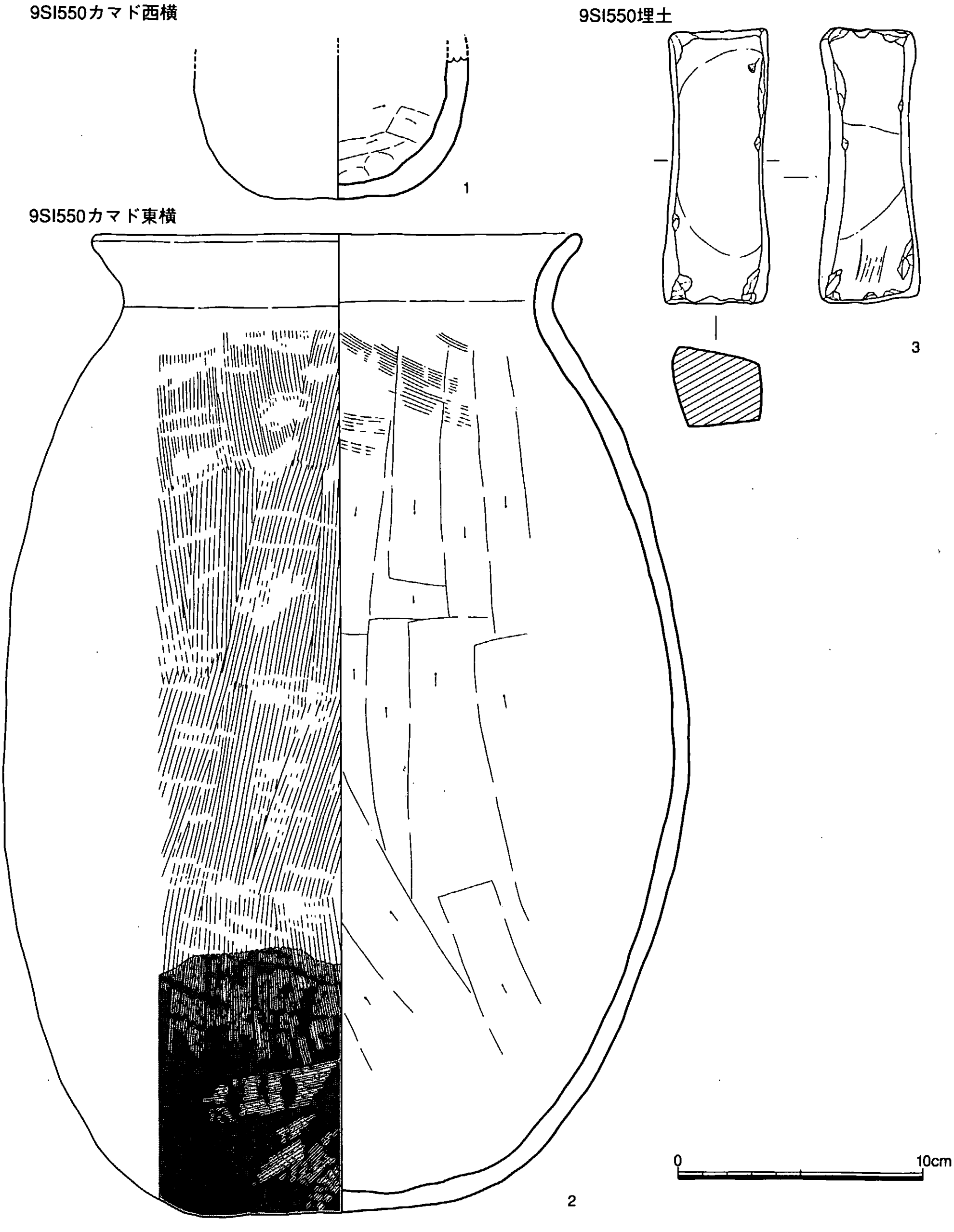


Fig.9-19　9SI550埋土出土遺物実測図（1/3）

須恵器

蓋1（9・10）　口縁部が残存する小破片である。残存高1.6～1.7cm。9は磨耗により調整は不明だが、10は天井部に回転ヘラケズリを施す。いずれもS-467出土。

（カマド（S-75））

坏ａ（11）　口径16.4cm、器高3.6cm、底径14.5cm。内外面とも回転ナデを施す。体部と底

部の境には回転ヘラケズリを施すか。S-75淡灰色土出土。

大皿ｂ（12）　口径22.3cm、器高2.8cmを測る。胎土はきめ細かく明茶色を呈す。焼成があまいため、磨耗が著しく調整不明だが底部は手持ちヘラケズリとみられる。

鉢（13）　口径19.6cm、器高10.5cm、底径11.0cm。内外面とも風化が著しく調整不明だが、胴部内面には工具による強いナデまたはヘラケズリがみられる。胎土は2mm程度の砂粒を多く含み、淡茶灰色～明茶灰色を呈す。外面には二次焼成により生じたとみられる茶褐色に変色した部分がある。

9SI550埋土（茶褐色土）出土遺物（Fig.9-19、Pl.13）

（カマド西横）

土師器

壺×甕（1）　平底を呈する底部のみ残存する。底径5.7cm、残存高6.0cm。胴部外面は不明瞭ながらも刷毛目を施すとみられ、胴部内面はヘラケズリを施す。底部内面は指頭痕が認められる。外面は二次焼成により赤褐色～淡黒褐色に変色している。

（カマド東横）

土師器

甕ａ（2）　長胴の甕で胴部中央に最大径をもつ。口縁部と胴部の境の屈曲はゆるやかで、底部は平底を呈す。口径20.1cm、残存高40.3cm、底径9.2cm。胴部外面は刷毛目、胴部内面はヘラケズリ、口縁部はヨコナデを施す。胴部下半には二次焼成により煤の痕跡もみられる。胎土は0.5～1mm程度の砂粒を多く含む。焼成は良好で明褐色を呈す。

（埋土（茶褐色土））

石製品

砥石（3）　長さ11.3cm、断面4.4×3.3cm。長軸に沿った４面を使用している。石材は砂岩。

9SI600出土遺物（Fig.9-20、Pl.12）

（茶灰色土）

須恵器

坏蓋（1）　口径14.1cm、器高3.3cm。天井部外面は回転ヘラケズリを、天井部内面はナデを施す。

蓋1（2・3）　いずれも口縁部の一部が残存する小破片である。2は残存高2.7cm。天井部外面に回転ヘラケズリを、天井部内面にナデを施す。3は残存高3.0cm。天井部外面はヘラ切り後ナデを施す。天井部内面はナデを施し、焼成前にヘラ記号を施す。

高坏（4・5）　坏部の一部が残存する破片である。いずれも坏部の底部内面にナデを施す。4には坏部の体部外面は工具などによるナデにより、掻き目または沈線状に条痕を施す。5には

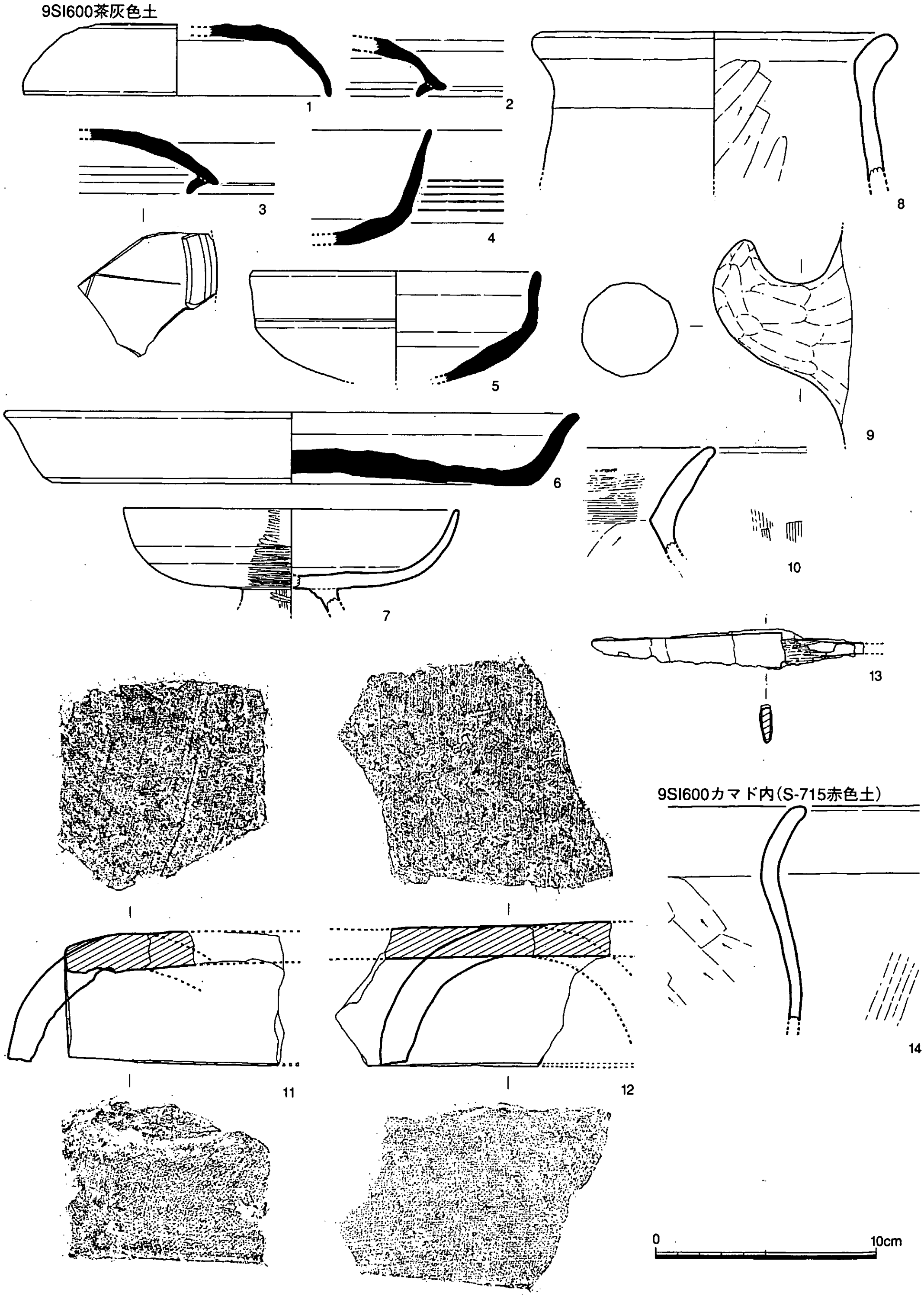


Fig.9-20　9SI600出土遺物実測図（1/3）

坏部底部と口縁部の境付近に沈線状の痕跡が見受けられる。いずれも還元は不良である。

大皿ａ（6）　残りの良い資料である。口径26.4cm、器高3.3cm、底径22.0cm。底部内面はナ

デを施し、底部外面は回転ヘラ切り後不定方向のナデまたはケズリを施す。板状圧痕もある。また口縁部と底部の境にも一周するようにヘラケズリを施すがろくろを使用しているようではない。胎土は砂粒を少量含み、橙茶褐色を呈す。焼成は良好で堅緻だが、還元はしていない。

土師器

高坏（7）　坏部の一部が残存する破片である。口径15.4cm、器高4.9cm。磨耗により調整不明な部分が多いものの、外面は坏部はミガキｃが施され、脚部は刷毛目状の条痕の上をミガキｃで再調整していることが確認される。なお外面全面に赤色顔料を塗布している。胎土は0.2～1mmの砂粒を少量含み、焼成は良好。明茶色～橙茶色を呈す。

甕（8・10）　8は口径16.7cm、残存高6.8cm。胴部外面は調整不明だが、胴部内面はヘラケズリ、口縁部はヨコナデを施す。10は甕ａである。小破片ながらも残存高5.1cmに復元される。胴部外面は刷毛目を、胴部内面はヘラケズリを施す。口縁部は刷毛目調整後、ヨコナデを施す。胎土は0.5mm程度の砂粒を含むものの、精良で、焼成は良好。明橙色を呈す。精良で丁寧な作りをしている印象を受ける。

把手（9）　直径4.3cm前後の把手である。胎土は0.5mm大の砂粒を多く含み、焼成は良好。

瓦類

丸瓦（11・12）　いずれも破片資料である。11は残存長12.6cm、残存幅7.1cm、厚さ1.5cm。12は残存長10.0cm、残存幅6.5cm、厚さ1.6cm。いずれも凹面は布目痕があり、凸面は工具によるナデを施す。11の凹面には粘土板の重ね目の痕跡がみられ、また割付の罫線とみられる傷が確認される。いずれも焼成は良好で須恵質に仕上がり、淡灰青色を呈す。

鉄製品

刀子（13）　Ｘ線撮影で上下にくびれ部を確認したが、断面の形状から刀子としている。現存長12.5cm、最大幅1.3cm、厚さ0.6cm。柄部には木質が残存している。

（カマド内（S-715赤色土））

土師器

甕ａ（14）　破片資料である。残存高10.1cm。胴部外面は刷毛目、胴部内面はヘラケズリを施す。胎土は0.5～2mmの砂粒を多く含み、焼成は良好。淡黄褐色～淡褐橙色を呈す。

(4) 土坑出土遺物

9SK001出土遺物（Fig.9-21、Pl.13）

（灰黄色土）

土師器

坏ａ（1～3）　1・2は底径6.7～7.2cm、残存高2.3～2.6cm。3は口径12.6cm、器高3.3cm、底

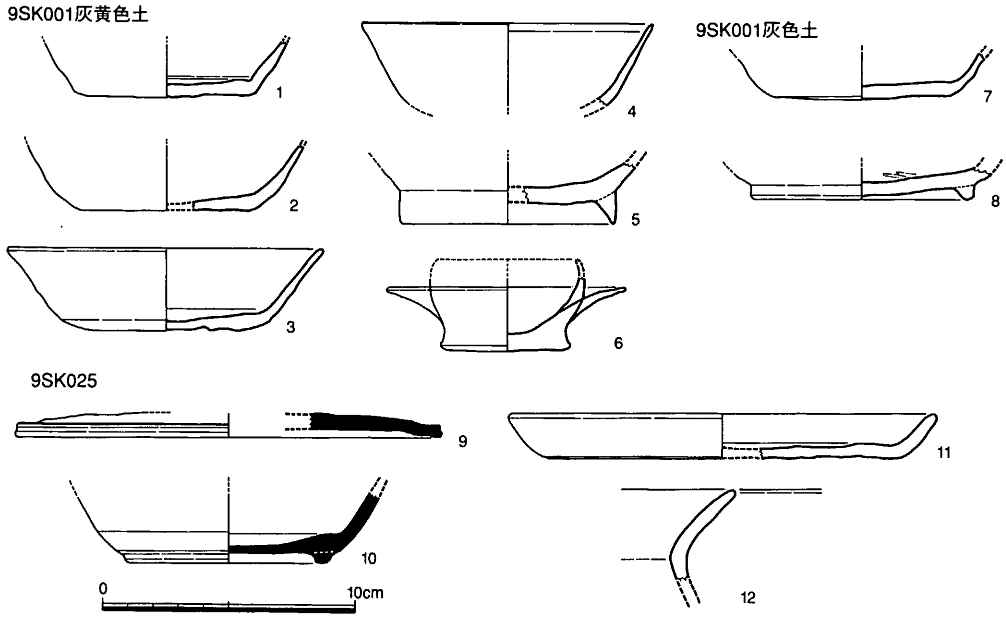


Fig.9-21　9SK001・9SK025出土遺物実測図（1/3）

径6.2cm。いずれも焼成があまいため磨耗の度合いが著しいが、１・3はヘラ切りが確認される。淡黄灰色を呈す。

坏（4）　口縁部のみ残存する破片である。口径11.5cm、器高3.3cm。焼成があまいため磨耗の度合いが著しい。淡黄灰色を呈す。

坏ｃ（5）　底部のみ残存する破片である。底径8.6cm、器高2.5cm。焼成があまいため磨耗の度合いが著しく、高台も元来より若干すり減っている可能性があるが、現況で図化している。淡黄灰色を呈す。

耳皿（6）　口縁部の半分ほどを欠損する。口径は最大9.5cm、最小6.1cm、器高2.5～3.0cm以上、底径5.2cm。底部から口縁にむかって外反ぎみに大きく開いて皿の形をつくり、口縁部の一端とその対角線上の口縁部を内側に向かって立ち上げて成形する。底部はわずかに凸レンズ気味に丸みをもった平底である。風化により調整は不明。胎土は0.5～1mm程度の砂を含み、焼成は良好。内外面とも淡黄灰色を呈し、外面の一部に黒斑がある。薩摩産とみられる。

（灰色土）

土師器

坏ａ（7）　底部が残存する破片である。底径7.1cm、残存高1.9cm。焼成があまいため磨耗の度合いが著しいが、底部には板状圧痕が認められる。淡黄灰色を呈す。

黒色土器Ａ類

椀ｃ（8）　底部が残存する破片である。底径8.9cm、残存高1.3cm。底部外面はヘラ切り、内面はミガキｃを施す。

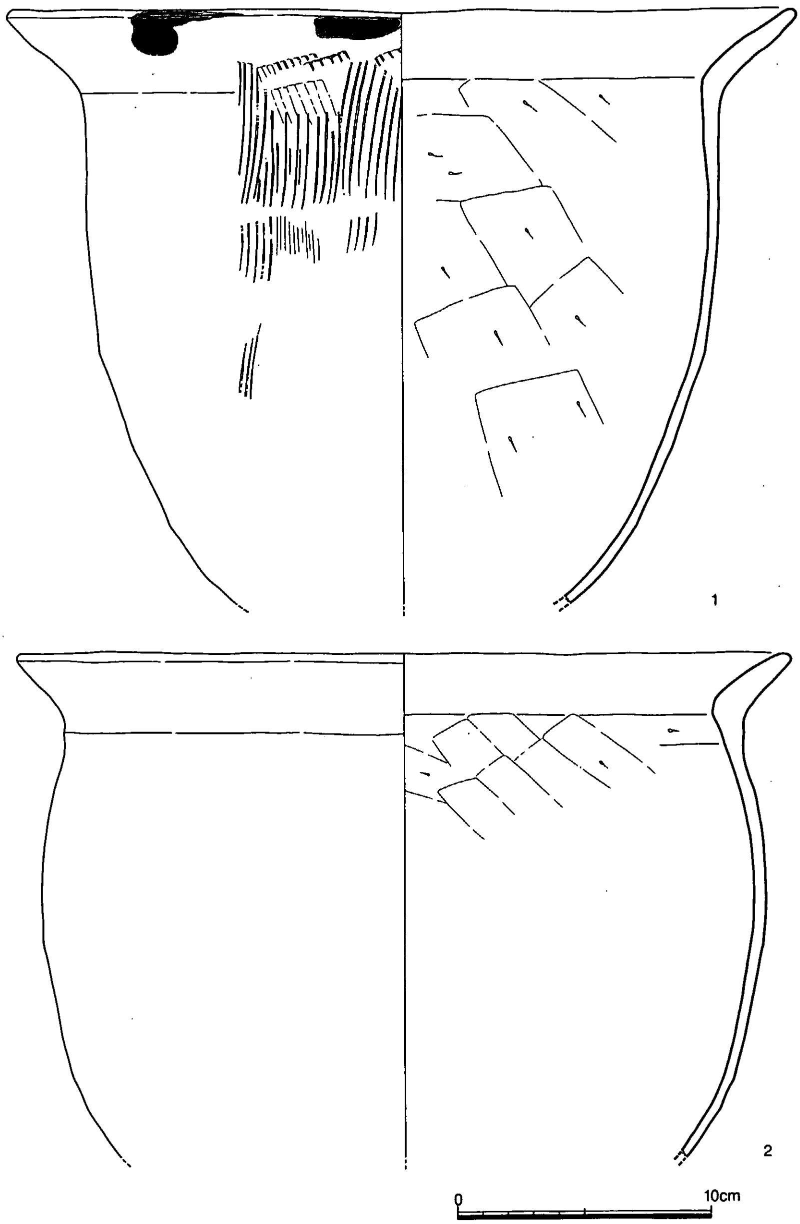


Fig.9-22　9SK030出土遺物実測図（1/3）

9SK025出土遺物（Fig.9-21）

須恵器

蓋3（9）　口縁部の一部が残存する小破片である。口径17.5cm、残存高0.95cm。天井部は回転ヘラケズリを施す。焼成・還元とも良好。明灰色を呈す。

坏c（10）　底部の一部が残存する破片である。底径8.2cm、残存高2.8cm。底部と体部の境に回転ヘラケズリを施す。焼成・還元とも良好。灰白色を呈す。

土師器

皿ａ（11）　口径17.0cm、器高1.8cm、底径14.4cm。底部はヘラ切り。内面は磨耗している。胎土は0.2～1mm程度の砂粒が若干含まれ、焼成はあまい。淡橙茶色を呈す。

甕（12）　口縁部が残存する小破片である。残存高3.6cm。風化により調整不明。胴部内面が赤色化し、口縁部が黒褐色化していることから、二次的に火を受けたことが窺える。

9SK030出土遺物（Fig.9-22、Pl.13）

土師器

甕ａ（1・2）　1はやや長胴気味の胴部にくの字に外反する口縁部をもつ。口径31.2cm、残存高23.6cmに復元される。胴部外面は縦方向に刷毛目を、胴部内面はヘラケズリを施す。口縁部は磨耗により調整不明。口縁部外面には黒斑がある。胎土は5mm以下の砂粒をやや多く含み、焼成は良好。明茶色～淡灰茶色を呈す。2は1に比べてやや胴張り気味でくの字に外反したやや肉厚な口縁を有する。口径30.6cm、残存高20.0cm。全体的に磨耗しており調整は不明瞭だが、胴部内面はヘラケズリを施す。胴部外面も刷毛目を施すとみられる。胎土は5mm以下の砂粒をわずかに含み、焼成はややあまい。明茶色～暗灰褐色を呈す。

9SK035出土遺物（Fig.9-23、Pl.13）

（黄茶色土）

土師器

椀ｃ（1～5）　いずれも底部のみ残存する破片である。底径7.2～8.1cm。残存高1.5～2.0cm。1・2など坏部底部が丸みをもつタイプと3（ないし4・5）は坏部底部が平底のタイプがある。いずれも淡黄灰色～淡黄褐色を呈す。

大椀ｃ（6）　底部のみ残存する小破片である。残存高3.6cm。2.5cmにおよぶ高い高台を有する。内外面とも摩耗により焼成不明。焼成はあまく淡黄褐色を呈す。

黒色土器Ａ類

椀ｃ（7・8）　いずれも底部のみ残存する破片である。7は底径9.3cm程度、残存高2.2cm。8は残存高2.1cm。いずれも焼成があまく、全体的に摩耗しているが、内面はミガキｃが施されていることがわずかに確認できる。胎土は良好で、外面は淡黄褐色、内面は黒褐色を呈す。

黒色土器Ｂ類

椀ｃ（9）　底部が残存する小破片である。残存高1.3cm。焼成は良好だが、全体的に摩耗しており、調整不明瞭である。内外面とも黒褐色を呈す。

緑釉陶器

椀ｃ（10）　体部中央付近で屈曲する稜椀タイプの器形である。口径13.0cm、器高5.0cm、底径6.1cm。器壁は薄い。高台を削りだしでつくり、全面に回転ナデを施した後、内面にミガ

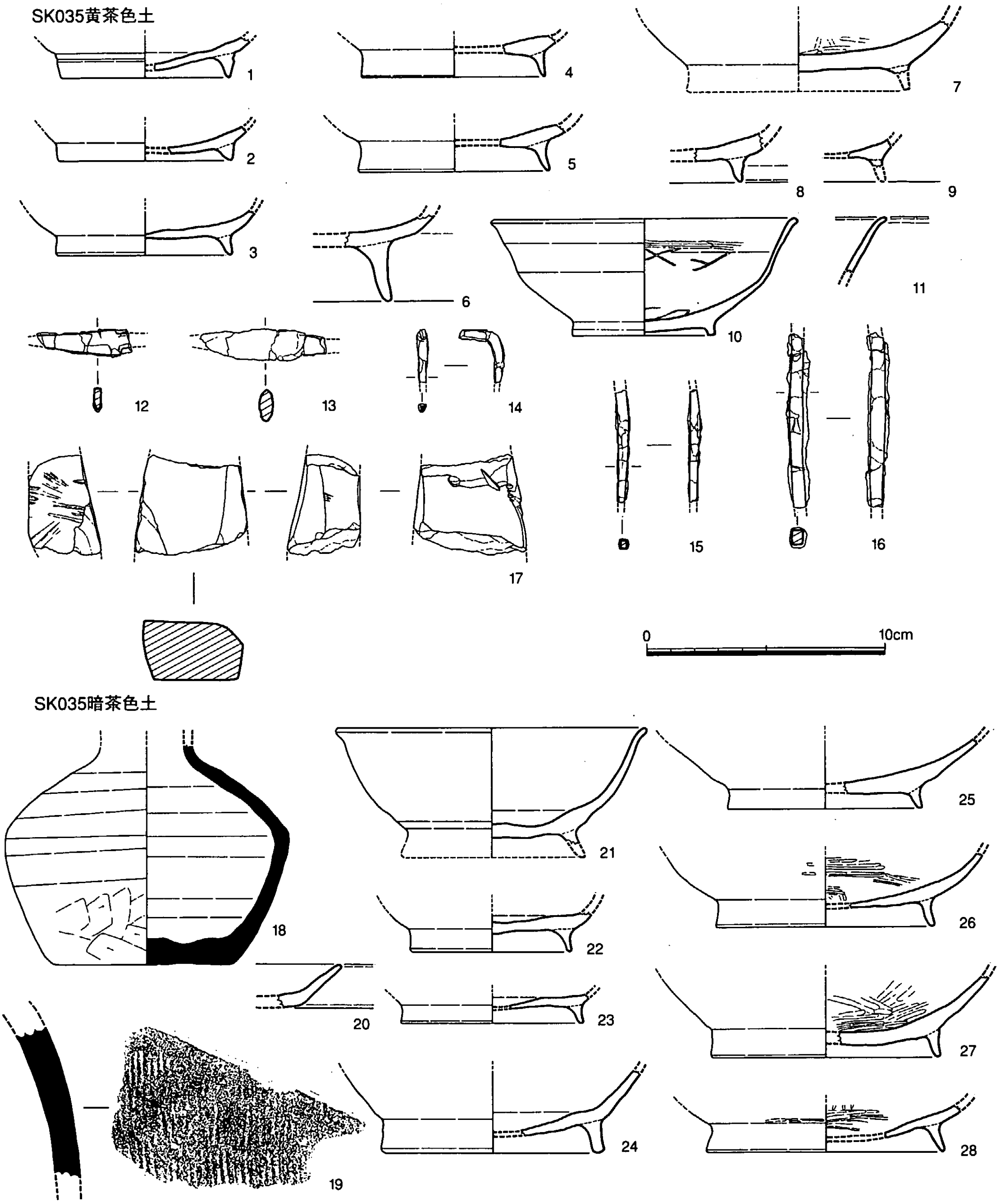


Fig.9-23　9SK035出土遺物実測図（1/3）

キｃを施す。胎土は精良。焼成は堅緻で須恵質に似た仕上がりである。釉は内面および体部上半にごく薄く施釉され、釉調は明るい淡緑灰色を呈す。また胎土から染みだしたような淡黄灰色の発色箇所が点々と散らばっている。全体的に大変丁寧な作りといえる。洛西産。

越州窯系青磁

椀（11）　Ⅰ類。口縁部のみ残存する小破片である。残存高2.5cm。釉はごく薄く全面に施

釉され、釉調はやや暗い淡灰緑色を呈す。胎土は精良で淡灰褐色を呈す。

鉄製品

刀子（12・13）　12は刃部のみ残存する。残存長4.1cm、幅1.0cm、厚さ0.4cm。13は刃部および柄部が残存しているとみられる。残存長5.4cm、幅1.4cm、幅0.7cm。Ｘ線撮影で12は外形が確認されたが、13は不明。

釘（15・16）　いずれも上下端を欠く。残存長4.7～7.4cm、幅0.4～0.7cm。断面は四角形を呈す。

不明製品（14）　ゆるやかに直角に折れ曲がっている。残存総長2.3cm、幅0.4cm。断面は四角形を呈す。

石製品

砥石（17）　上下端を欠く。残存長4.3cm、幅4.7cm、厚さ2.6cm。欠損部を除く４面を使用している。

（暗茶色土）

須恵器

壺（18）　頚部より下部が残存する資料である。最大幅12.0cm、残存高9.3cm、底部7.6cm。肩部はなで肩気味で、肩部と胴部の境に最大径を有す。底部は平底である。底部は摩耗により調整不明。底部外面は不明瞭ながら器面調整を施すとみられ、外面の胴部下半は手持ちのヘラケズリを施し、その他は回転ナデを施す。胎土は良好で0.5～1mmの砂粒を多く含む。焼成・還元ともに良好で、外面は灰茶色～茶褐色、内面は灰青色を呈す。

甕（19）　胴部の破片である。内面は同心円文の叩きを、外面は平行文の叩きを施す。内面はかなり擦られている。墨痕は確認されていないが、硯として利用したのであろうか。

土師器

坏ａ（20）　口縁部のみ残存する小破片である。残存高1.9cm。焼成は良好だが、内外面とも摩耗により調整不明。淡黄褐色～淡褐黒色を呈す。

椀ｃ（21～24）　21～23は坏部底部が平底、24は坏部底部が丸みをもつ。21は口径13.0cm程度、残存高4.9cm、残存底径7.8cm。淡黄褐色～黄褐色を呈す。22・23は底部のみ残存している。底径6.8～7.8cm。残存高1.2～1.6cm。淡黄褐色を呈す。24は底径9.4cm、残存高3.5cm。底部はヘラ切り後ナデを施す。淡黄茶色を呈す。いずれも摩耗して調整不明のものが多い。

黒色土器Ａ類

椀ｃ（25）　底部が残存する破片である。底径8.2cm、残存高2.9cm。焼成は良好だが摩耗が著しく調整不明。内面は黒褐色、外面は淡黄褐色を呈す。

黒色土器Ｂ類

椀ｃ（26～28）　いずれも底部が残存する破片で、坏部底部が丸みをもつタイプである。焼成は良好なものの摩耗が著しいものが多い。26は底部外面をヘラ切り後ナデを施していることを確認できる。内外面のミガキについては、26・28は内外面ともかろうじてミガキｃを確認できるが、27は内面のミガキｃを確認できるのみである。いずれも内外面とも黒褐色を呈す。

9SK045出土遺物（Fig.9-24、Pl.14）

（上層）

須恵器

蓋1（1）　口縁部のみ残存する小破片である。残存高1.8cm。器形について、坏身とするとその傾きからかなり浅いものとなるためここでは蓋と判断した。ただし小破片のため詳細不明。

土師器

甕ａ（2）　口縁部のみ残存する破片である。残存高5.3cm。胴部から口縁部にかけてはゆるやかに外反する。外面胴部は刷毛目、内面胴部はヘラケズリ、口縁部はヨコナデを施す。焼成は良好で、黄褐色～暗茶褐色を呈す。

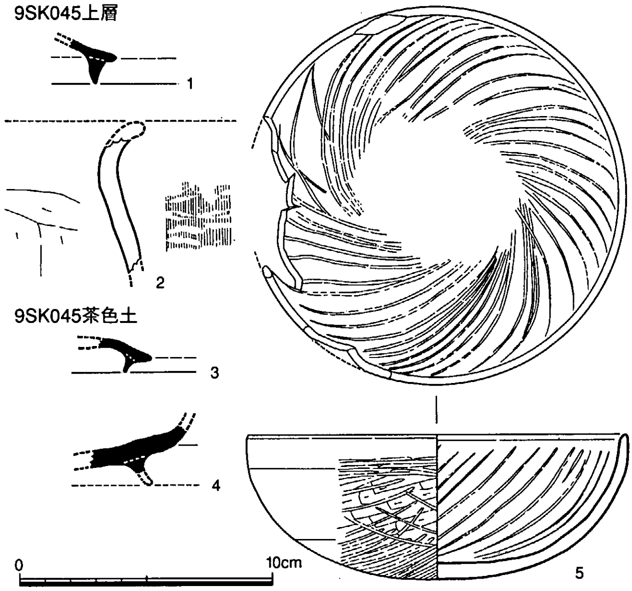


Fig.9-24　9SK045出土遺物実測図（1/3）

（茶色土）

須恵器

蓋1（3）　口縁部のみ残存する破片である。残存高1.5cm。天井部内面はナデを施すとみられる。灰黒色を呈す。

坏ｃ（4）　底部のみ残存する破片である。残存高1.5cm。ハの字に踏ん張った比較的高い高台を付すとみられる。高台取り付けに伴って回転ナデを施し、その他はいずれもナデを施す。色調は内面は茶褐色、外面は黒褐色を呈し、還元していないことから、一見土師器とみえるが、成形・調整方法より須恵器と判断している。

土師器

椀（5）　口縁の一部を欠損するのみで、ほぼ完形である。口径15.1cm、器高5.8cm。半球状の形態をしており、口縁端部の内側に面取りを施す。底部外面は細かい単位で手持ちヘラケズリを行い、その後ミガキｃを施す。外面のミガキは体部上半は水平方向に施されているが口縁

部までは至っていない。口縁部はヨコナデを施す。このヨコナデは比較的明瞭に施されており、ヨコナデを見せる意図が働いていたことも考えられる。底部内面については調整が見えにくいが、その他の内面は全面にヨコナデを施し、その後右上がり放射状に暗文状のヘラミガキを施す。胎土は精良で、わずかに0.5mm以下の砂粒を含み、茶灰色を呈す。焼成は良好。なお、茶灰色土下層で出土した破片は茶色土層の破片と一致したため、茶色土層に帰属させている。

9SK100出土遺物

（上面）（Fig.9-25、Pl.15）

須恵器

蓋ｃ3（1・2）　1は口径12.4cm、器高2.5cm。2は口径16.0cm、残存高1.3cm。いずれも天井部外面はヘラ切り後ナデ、内面はナデを施す。2はつまみ取り付けの痕跡が残っている。

蓋3（3・4）　口径17.6～18.0cm、残存高1.5～2.1cm。いずれも天井部外面はヘラ切り後ナデ、内面はナデを施す。

壺蓋（5）　ほぼ完形の資料である。口径13.8cm、器高3.1cm。天井部はヘラ切り後、回転ヘラケズリを施し、内面はナデを施す。胎土のきめはやや粗く、1mm大の砂粒をやや多く含む。

坏ａ（6）　口径14.0cm、器高3.6cm、底径9.3cm。底部はヘラ切り。底部内面はナデを施す。

坏ｃ（7・8）　7は口径13.0cm、器高3.8cm、底径7.8cm。焼成があまいため全体的に摩耗が進んでいるが、内面に回転ナデの痕跡がみられる。8は口径18.0cm、器高5.2cm、底径12.0cm。底部外面はヘラ切り後ナデを施し、底部内面はやや強めのナデを施す。

製塩土器

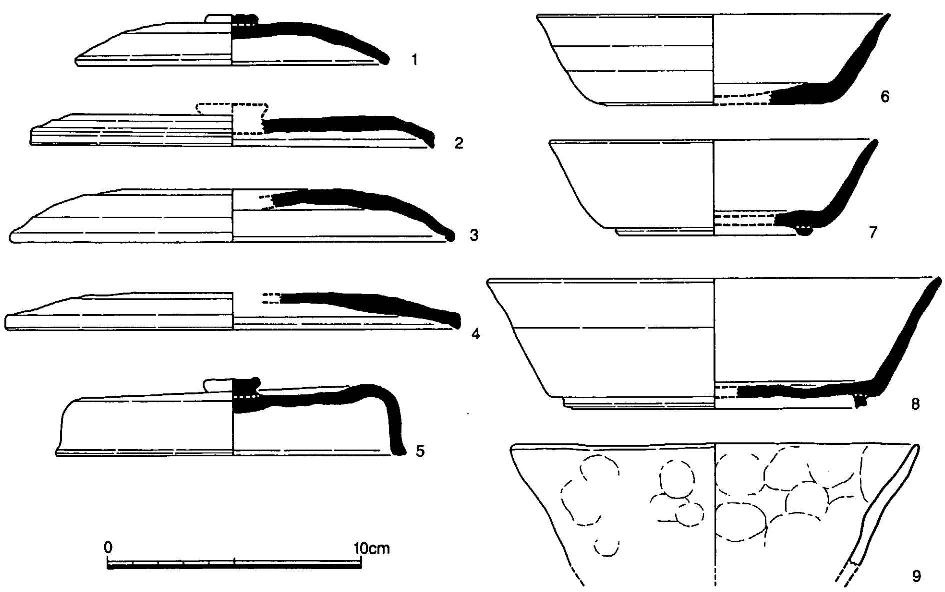


Fig.9-25　9SK100上面出土遺物実測図（1/3）

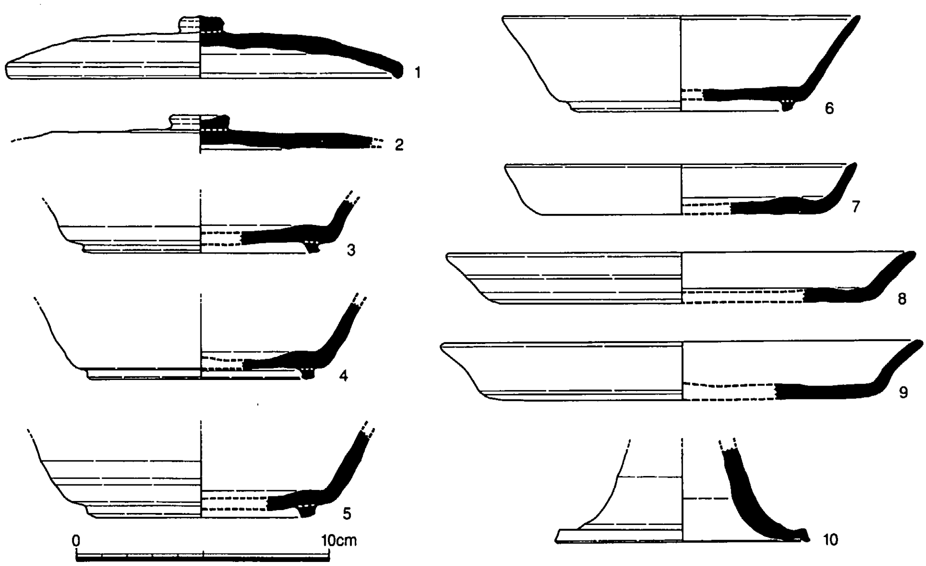


Fig.9-26　9SK100茶色土出土遺物実測図（1/3）

焼塩壺（9）　口径16.2cm、器高5.0cm。内外面とも指頭痕がみられる。II-ｂ類。

（茶色土）（Fig.9-26）

須恵器

蓋ｃ3（1）　口径15.8cm、器高2.5cm。天井部外面はヘラ切り後ナデ、内面はナデを施す。

蓋ｃ（2）　天井部のみ残存する破片である。残存高1.35cm。天井部外面はヘラ切り後ナデを施し、天井部と口縁部の境に回転ヘラケズリを施す。内面はナデを施す。

坏ｃ（3～6）　6は口径14.2cm、器高3.8cm、底径8.8cm。その他は底部のみ残存する破片で底径9.0～9.4cm、残存高2.1～3.4cm。いずれも底部外面はヘラ切りとみられ、その後に施されたナデがすべてに観察される。4・6には底部内面にナデがみられる。

皿ａ（7～9）　7は小型の皿で口径14.0cm、器高2.0cm、底径11.5cm。焼成は良好で堅緻だが、還元しておらず、赤茶色～灰赤褐色を呈す。底部外面はヘラ切り後ナデを施す。8・9は口径18.6～19.1cm、器高2.0～2.3cm、底径15.3～15.8cm。いずれも底部外面はヘラ切り後ナデを施し、底部内面はナデを施す。

高坏（10）　脚部のみ残存する破片である。底径10.1cm、残存高3.7cm。いずれも回転ナデを施す。

（茶灰色土）（Fig.9-27～9-30、Pl.14・15）

須恵器

蓋ｃ3（1～11）　いずれも天井部につまみを有することが確認された資料である。口径12.6～21.0cm。器高は2が2.2cm、3が1.9cm、7が2.9cm、8が3.0cm。低い器高のものが多いものの、6・10（ないしは8）などのようにやや高いものもある。1～4は天井部外面に回転ヘラケズリを

施し、その他はヘラ切りを行いその後ナデを施すものもある。つまみは1のように古いタイプの流れをくむものもあるが、断面四角形のボタン状のものが多い。8は他と比較して特徴の多い資料で、つまみは丸みをもって器高の高く、かつ内面に回転ヘラミガキを施している。焼成はあまい。

蓋3（12～15）　口径15.4～22.5cm、残存高0.95～2.1cm。13は天井部外面に回転ヘラケズリを施し、12・15はヘラ切り後ナデを施す。

坏ａ（48）　口径14.0cm、器高3.5cm、底径10.2cm。底部外面はヘラ切りを施し、底部内面はナデを施す。

坏ｃ（16～46）　16～34は口縁部～底部が残存するもので、39～46は底部のみ残存する。口径10.6～21.4cm、器高3.3～6.6cm、底径7.5～13.2cmを測る。16～19は小型タイプ、35～38・44は大型のタイプである。16～19は口径10.6～11.6cm、器高3.3～4.2cm、底径7.5～7.8cm。35～38・44は口径16.6～21.4cm、器高5.5～6.6cm、底径10.2～13.2cm。いずれも底部外面はヘラ切り後器面調整のナデを施し、底部内面はナデを施すものが多い。なお、45には外面底部に墨書がある。墨痕は薄く明瞭ではないが「祐」か。46には内面底部に焼成前のヘラ記号が施される。

破片（47）　薄い器壁をもつ破片である。器種は皿等の供膳具の底部と考えられるが不明。内面には明瞭に「山」字の墨書が施される。

大椀ａ（49）　底径11.4cm、器高4.8cm。底部外面は回転ヘラケズリを、底部内面はナデを施す。胎土は精良で、焼成・還元ともに良好。淡灰色を呈す。

皿ａ（50～54）　50・51はやや小型の皿で、口径14.4～15.6cm、器高1.65～1.9cm、底径11.6～13.6cm。52～54は口径18.4～19.7cm。器高1.8～3.45cm。底径14.4～15.8cm。いずれも底部外面はヘラ切り、底部内面はナデを施す。明灰色～暗灰色を呈す。

大皿ｃ×大盤ｃ（55）　底部の一部が残存する破片である。底径24.8cm、残存高2.2cm。底部外面はヘラ切り後、回転ヘラケズリ、底部内面はナデを施す。胎土は良好。焼成はややあまく、乳灰色を呈す。作りが丁寧な印象を受ける。

高坏（56～58）　56・57は皿部の一部と脚部の一部が残存する。いずれも皿部内面は摩耗しており調整不明、57は皿部外面にヘラ切りが確認できる。58は脚部が残存する。脚部底径16.0cm、残存高7.7cm。56は焼成良好だが還元は不完全。57・58は焼成・還元とも不良。いずれも淡灰褐色～淡灰黒色を呈す。

壺ａ（59・60）　59は1/3ほど残存している資料である。口径10.3cm、器高14.3cm、底径10.7cm。ややなで肩気味で、胴部中央よりやや上部に最大径を有す。最大径19.7cm。胎土は精良で、0.2～3.0mmの砂粒がみられる。焼成・還元ともに良好で、灰色～暗灰色を呈す。60は底部の一部が残存する破片である。底径9.2cm、残存高11.2cm。胴部最大径は21.6cm。胎土は精

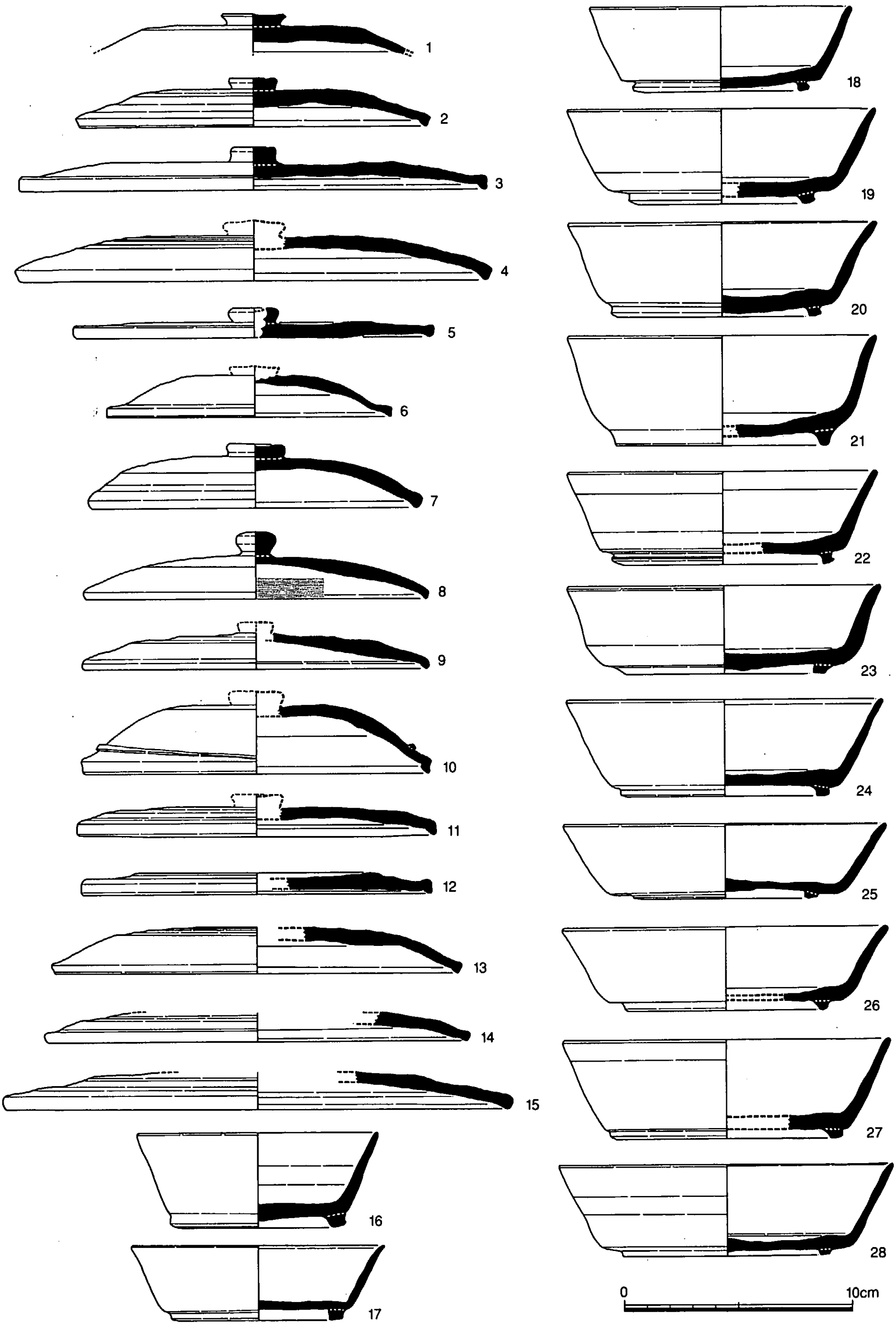


Fig.9-27　9SK100茶灰色土出土遺物実測図その１（1/3）

良。焼成・還元ともあまく、灰白色を呈す。

平瓶（61）　底部の大半が欠損する資料である。肩部と胴部の境に最大径を有し、肩部の上

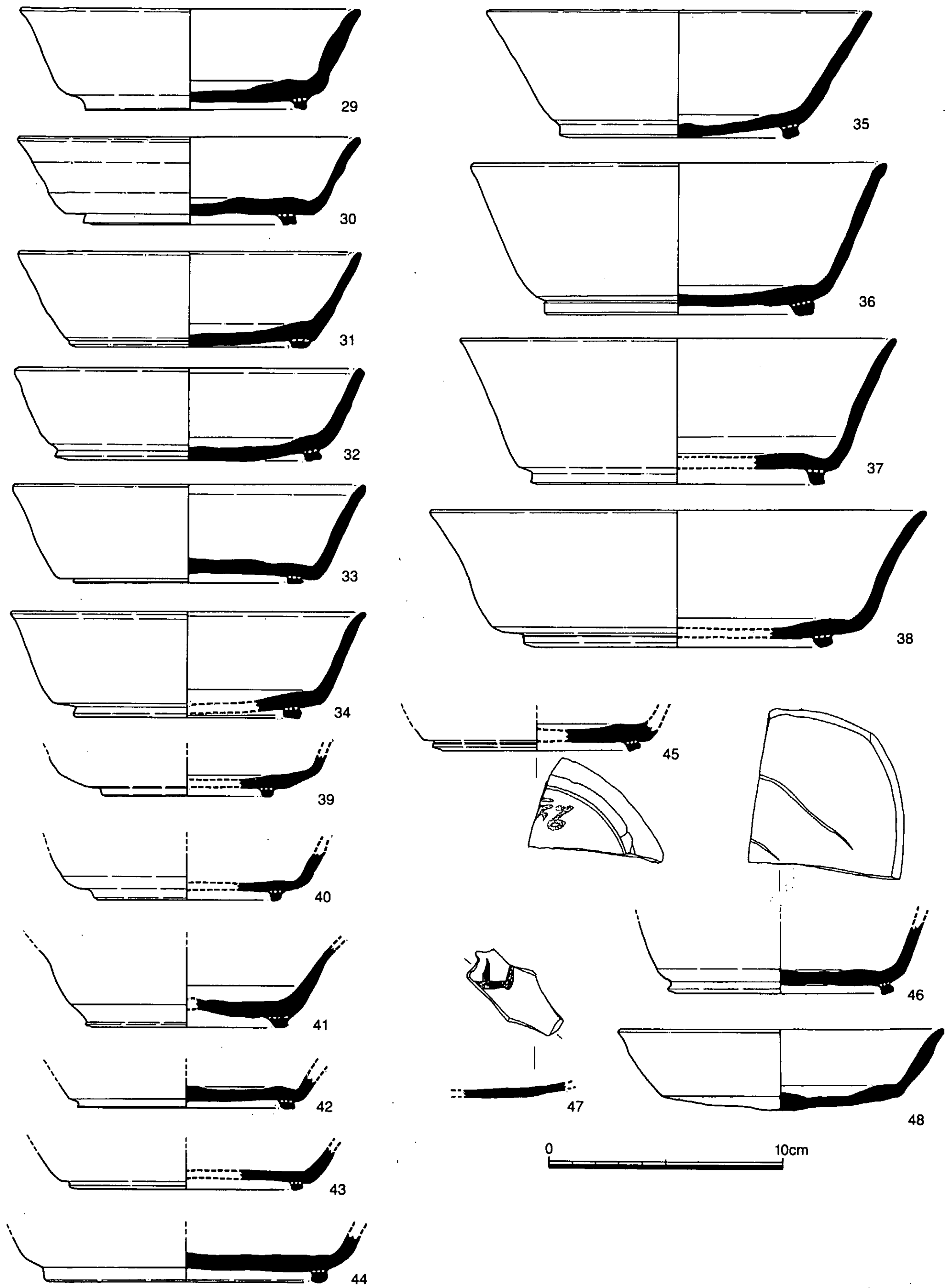


Fig.9-28　9SK100茶灰色土出土遺物実測図その２（1/3）

面に把手をつける。底部は高台を有す。口径8.9cm、器高9.7cm、高台径11.7cm。最大径19.8cm。把手は1.5×1.4cm程度。胴部外面は回転ヘラケズリを施し、その他は回転ナデで仕上げる。胎土は0.5～1mm大の砂粒を少し含み、1～2mm大の黒褐色の粒子を多く含む。焼成・還元とも良

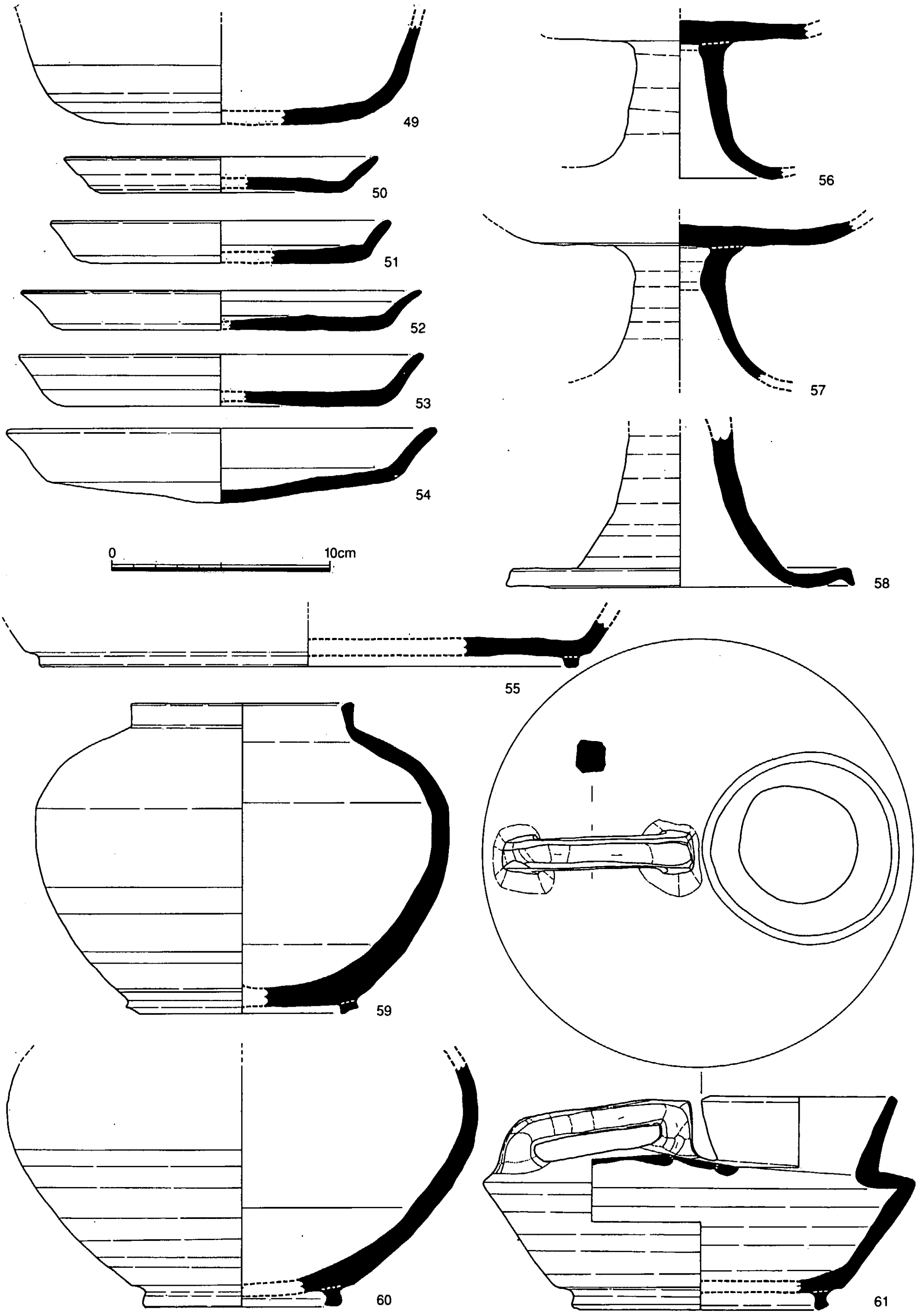


Fig.9-29　9SK100茶灰色土出土遺物実測図その３（1/3）

好で、内面は淡灰褐色、外面は暗灰褐色を呈す。

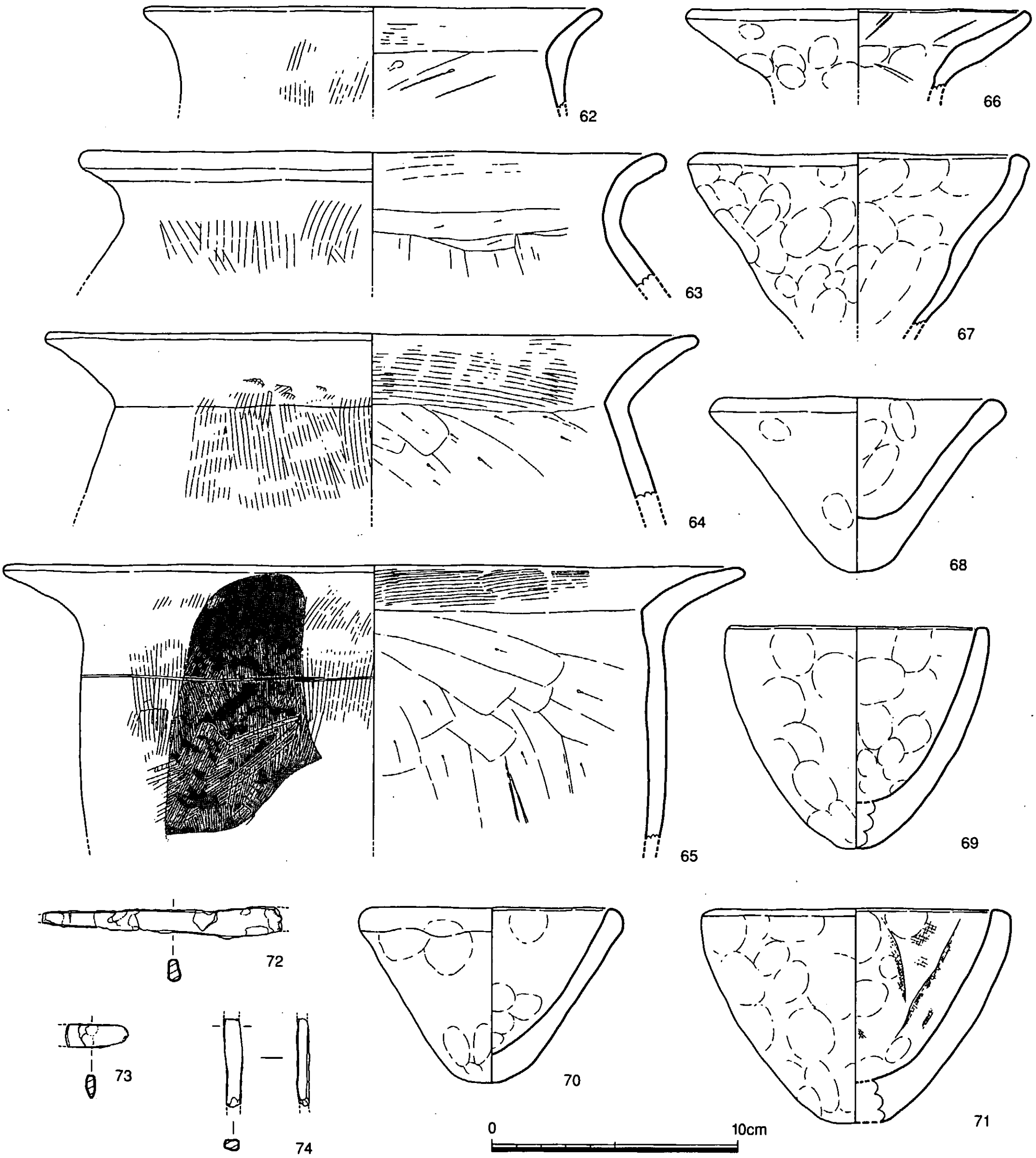


Fig.9-30　9SK100茶灰色土出土遺物実測図その４（1/3）

土師器

甕（62～65）　いずれも胴部上半が残存する破片である。口径18.8～30.2cm。62のみ小型の甕である。器形について、63は口縁部がゆるやかに外反し、やや古相の器形であるが、それ以外は口縁部と胴部の屈曲は明瞭である。調整はいずれも胴部外面は縦方向の刷毛目を、胴部内面はヘラケズリを、口縁部は横方向の刷毛目を施す。65には外面に煤が付着している。

製塩土器

焼塩壺（66～71）　いずれも小破片である。66・67のように器壁の薄いタイプとそれ以外の

器壁の厚手のタイプに分けられる。いずれもII類であり、70・71は内面に布目痕跡が確認されるII-ａ類、66は布目痕跡が確認されないII-ｂ類、その他は摩耗により調整が不明である。

鉄製品

刀子（72・73）　いずれも錆で覆われており、種別を断定するにはやや難があるが、72は刃部、73は柄部と考える。72は残存長9.7cm、幅1.0cm、厚さ0.5cm。73は残存長2.5cm、幅0.9cm、厚さ0.4cm。

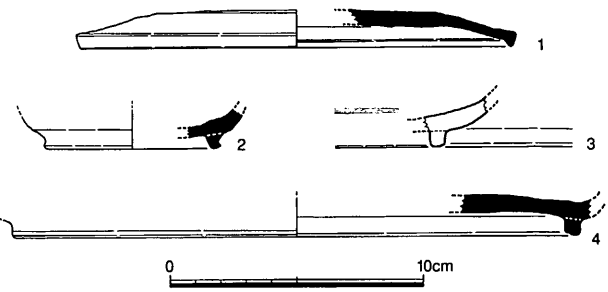


Fig.9-31　9SK100灰茶色土出土遺物実測図（1/3）

釘（74）　残存長3.6cm、幅0.5×0.6cm。種別は別のものとも考えられる。

（灰茶色土）（Fig.9-31）

須恵器

蓋3（1）　口径17.4cm、残存高1.5cm。天井部外面はヘラ切り後ナデを施し、天井部と口縁部の境の天井部よりに回転ヘラケズリを施す。内面はナデを施す。

坏ｃ（2）　底部のみ残存する破片である。底径7.0cm、器高1.6cm。

大皿ｃ×大盤ｃ（4）　底部の一部が残存する破片である。底径22.4cm、残存高1.6cm。底部は回転ヘラケズリを施し、その後、高台を取り付けている。内面はナデを施す。胎土はきめ細かく精良で、1mm程度の白色砂粒を少量含む。焼成・還元ともに良好で明灰色～暗灰色を呈す。丁寧なつくりの印象を受ける。

土師器

坏ｃ（3）　底部の一部を残存する破片である。残存高2.1cm。摩耗しているが内面にミガキａが観察できる。胎土はきめ細かく、0.5mm程以下の砂粒を少量含む。明茶色を呈す。

9SK110出土遺物（Fig.9-32）

（茶褐色土）

須恵器

蓋1（1・2）　1は口径14.4cm、残存高1.7cm。断面は淡茶灰色を呈し、表面は淡灰色を呈す。2は残存高2.4cm。天井部は回転ヘラケズリを施す。断面は赤褐色を呈し、表面は灰褐色を呈す。

坏ｃ（3・4）　いずれも底部のみ残存する破片である。3は底径6.4cm、残存高1.1cm。底部外面はヘラ切り、底部内面はナデを施す。内外面とも明灰色～暗灰褐色を呈す。4は高台の高く、坏部底部が丸みをもつ器形である。底径8.0cm、残存高2.3cm。淡灰色～暗灰色を呈す。

製塩土器

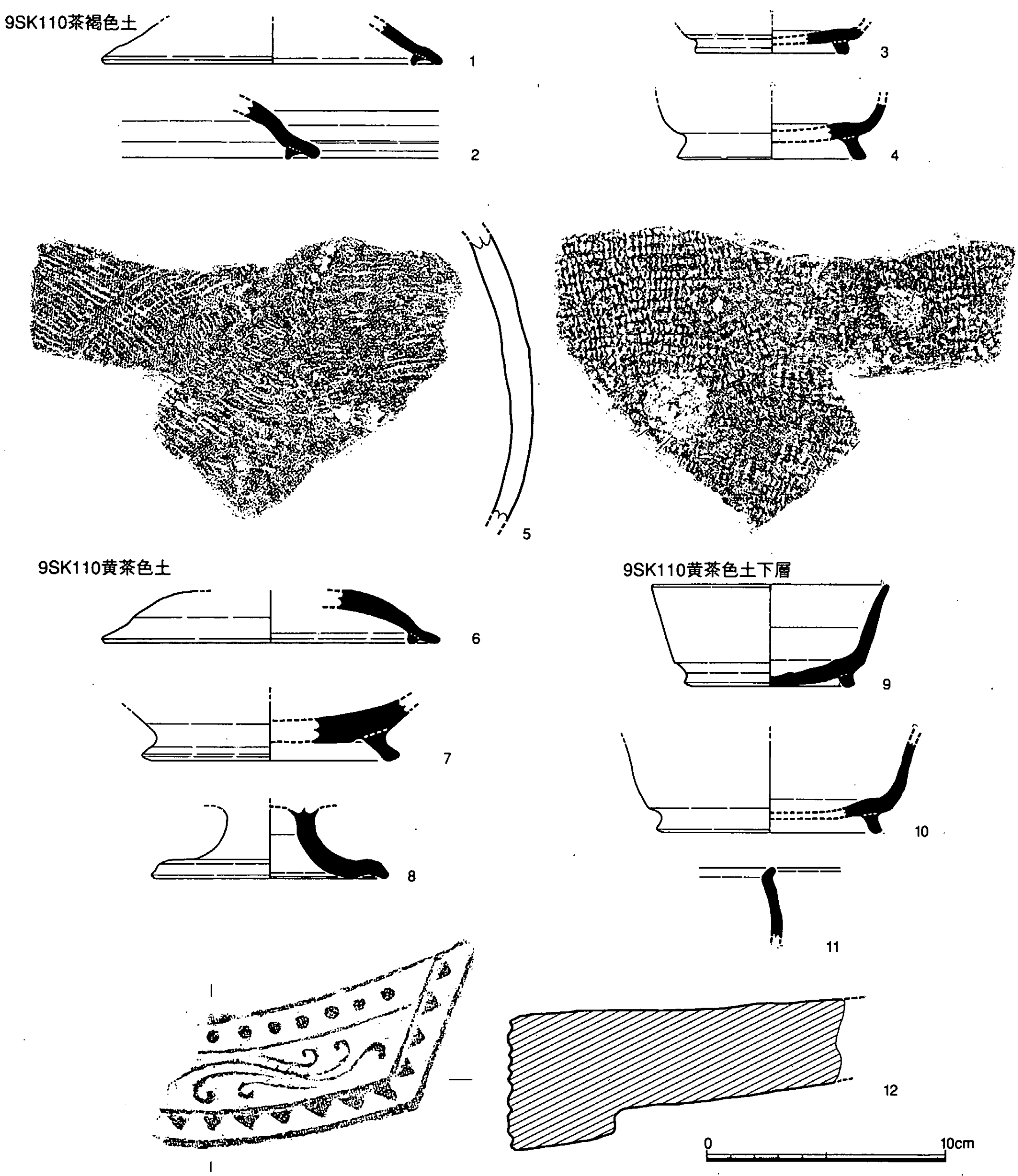


Fig.9-32　9SK110出土遺物実測図（1/3）

煎熬土器（5）　胴部の破片である。残存高12.1cm。胴部外面は格子目状の叩き、胴部内面は平行叩きを施す。胎土は1.5mm以下の砂粒を少量含む。内面は明茶色、外面は明茶色～暗褐色を呈す。

（黄茶色土）

須恵器

蓋1（6）　口径14.2cm。残存高2.2cm。全体的に摩耗しており調整不明。白茶灰色～淡褐色

を呈す。

坏ｃ（7）　底部の破片である。底径10.8cm、残存高2.5cm。比較的高い高台を有す。全体的に摩耗しているが、底部はヘラ切り。

高坏（8）　短脚の高坏の脚部の破片である。底径10.0cm、残存高2.9cm。いずれも回転ナデを施し、坏部と脚部の接合部分はナデを施す。

（黄茶色土下層）

須恵器

坏ｃ（9・10）　9は口径10.0cm、器高4.3cm、底径7.2cm。外面底部は回転ヘラ切り、内面底部はナデを施す。作りは比較的丁寧で焼成も比較的良好だが、あまり還元しておらず、茶褐色～灰褐色を呈す。

坏片（11）　口縁部のみ残存する破片である。やや内湾気味に立ち上がり、口縁部でわずかに外反する椀形を有す。残存高2.95cm。焼成はややあまく白茶色を呈す。

瓦類

軒平瓦（12）　残存長14.1cm、残存幅14.5cm、厚さ5.7cm。全体的に摩耗しているが凹部には布目痕あり。焼成はやや良好で瓦質。瓦当の文様は内区に偏行唐草文、外区上部に珠文、外区下部および左右端に鋸歯文を施す。老司II式。

9SK142出土遺物（Fig.9-33）

瓦類

丸瓦（1・2）　1はほぼ完形で出土。重ね部分は玉縁を有する。長さ38.2cm、幅17.9cm、厚

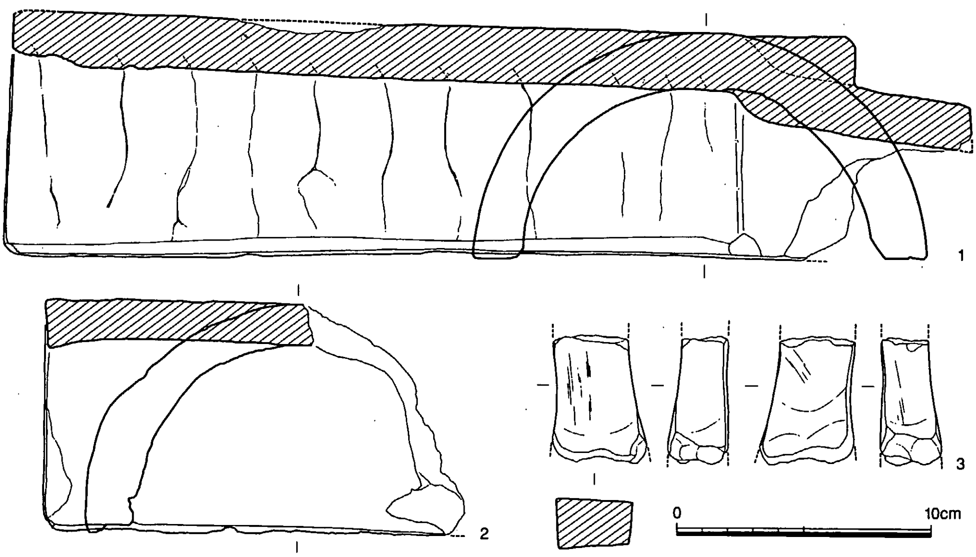


Fig.9-33　9SK142出土遺物実測図（1/3）

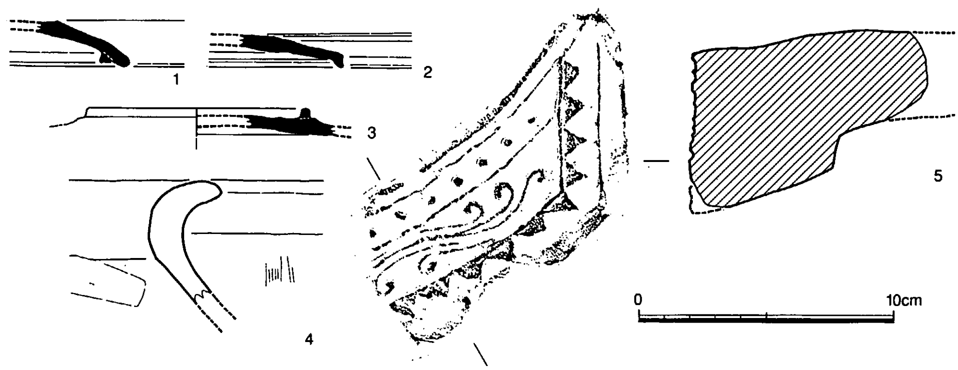


Fig.9-34　9SK170出土遺物実測図（1/3）

さ2.3cm程度。凹面には粘土紐の痕跡が明瞭に残っており13段ほど確認できる。粘土紐の幅は1.7～3cm弱。焼成はあまいため摩耗が進んでいるが、凸面はナデにより叩きを丁寧に消しており、凹面は布目痕および模骨痕が確認できる。端部の切り離し部分はきちんと削り、凹面側もケズリを施す。2は残存長16.6cm、残存幅8.9cm、厚さ1.7cm。凸面は摩耗が進んでいるが、縄目を施し、凹面は布目を施す。端部の切り離しは凹面側にヘラを入れて割っている。

石製品

砥石（3）　上下を欠損している。長さ5.1cm、断面3.8×2.0cm。長軸に沿った４面を使用している。石材は砂岩。

9SK170出土遺物（Fig.9-34）

須恵器

蓋1（1）　口縁部の小破片である。残存高1.8cm。天井部は回転ヘラケズリを施す。

蓋3（2）　口縁部の小破片である。残存高1.3cm。天井部はヘラ切りを施し、天井部と口縁部の境に回転ヘラケズリを施す。

蓋ｂ（3）　天井部の一部が残存する破片である。残存高1.2cm。つまみは輪状つまみを有す。つまみの直径は8.9cm。天井部外面はヘラ切り後ナデを、天井部内面はナデを施す。内面はわずかに擦ったような痕跡あり。

土師器

甕ａ（4）　口縁部が残存する小破片である。残存高5.1cm。口縁部の器壁は厚くゆるやかに外反している。胴部外面は刷毛目、胴部内面はヘラケズリを施す。

瓦類

軒平瓦（5）　残存長9.3cm、残存幅12.1cm、厚さ7.0cm。凹凸面とも工具によるナデを施す。焼成はやや良好。瓦当の文様は内区に偏行唐草文、外区上部に珠文、外区下部および左右端に鋸歯文を施す。老司Ⅱ式。

9SK230出土遺物

（灰茶色土上層）（Fig.9-35）

須恵器

蓋3（1）　口縁部の破片である。口径15.0cm、残存高2.4cm。天井部は回転ヘラケズリを施す。

坏ｃ（2）　底径9.0cm。残存高2.1cm。底部外面はヘラ切り。内面はナデを施す。

（灰茶色土）（Fig.9-35、Pl.14）

須恵器

蓋2（3）　口縁部の破片である。口径15.0cm。残存高2.2cm。口縁部は、端部を折り曲げたのみの成形である。天井部外面はヘラ切り後ナデ、天井部内面はナデを施す。胎土は精良で、1mmまでの白色砂粒を少量含む。焼成・還元ともに良好で、暗灰色～灰黒色を呈す。

蓋ｃ2（4）　口径16.3cm、器高2.1cm。擬宝珠をつぶしたようなつまみを有し、口縁部は、端部を折り曲げたのみの成形である。天井部外面は回転ヘラケズリを施し、天井部内面はナデを施す。胎土は1.5mmまでの白色砂粒を含むものの精良である。焼成・還元ともに良好で、淡灰色～暗灰色を呈す。全体的に丁寧な作りの印象を受ける。

蓋3（5）　口径14.4cm。残存高2.1cm。天井部外面は回転ヘラケズリを、天井部内面はナデを施す。内外面とも淡灰色を呈す。

蓋ｃ3（6・7）　6は口径14.4cm、器高2.3cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施し、天井部内面はナデを施す。焼成・還元とも良好。断面中心部は暗褐色を呈し、その他は暗灰色～青灰色を呈す。7は天井部～口縁部の一部が残存する破片である。口径14.4cm、器高1.9cm。比較的大きなつまみを有す。天井部は回転ヘラケズリを施し、内面はナデを施す。口縁端部の上面は、焼成後に研磨して削っている。胎土はきめが細く、砂粒を少量含む。焼成・還元とも良好で、断面の中心部付近が赤褐色、内面は青灰色、外面は灰色～暗灰色を呈す。

蓋ａ（8）　小蓋ａと考えられる破片である。残存高1.1cm。天井部は回転ヘラケズリを施す。内面は擦られている。転用硯として使用された可能性もあるが、墨痕等は確認できない。

坏ｃ（9・10）　9は底径9.0cm、残存高1.7cm。底部外面はヘラ切り、底部内面はナデを施す。10は口径13.2cm、器高4.3cm、底径9.6cm。ハの字に踏ん張った高台を有す。底部内面にはナデを施す。焼成・還元とも良好で、断面の中心付近は赤褐色、その他は青灰色～暗灰色を呈す。

（明茶色土）（Fig.9-35）

須恵器

蓋ｃ（11）　残存高1.4cm。天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデを施す。焼成はやや不良、還元は良好で、淡灰色～淡茶灰色を呈す。

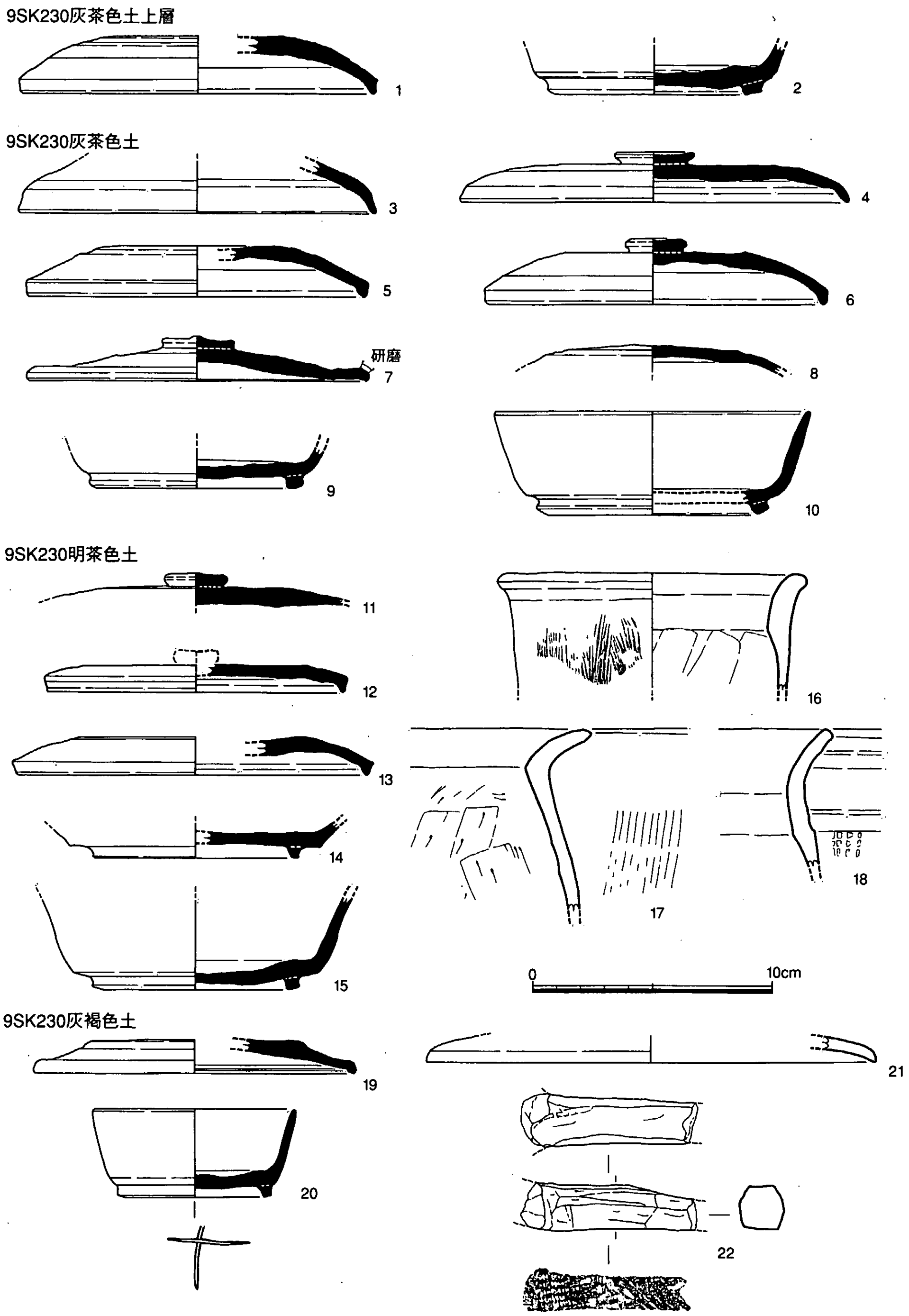


Fig.9-35　9SK230灰茶色土・明茶色土・灰褐色土出土遺物実測図（1/3）

蓋ｃ3（12）　口径12.6cm、残存高1.1cm。天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデを施す。淡灰色～暗灰色を呈す。

蓋3（13）　口径15.0cm、残存高1.6cm。天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデを

施す。灰色～灰黒色を呈す。

坏ｃ（14・15）　いずれも底部が残存する破片である。14は底径8.6cm、残存高1.5cm。15は底径8.7cm、残存高3.8cm。いずれも底部外面はヘラ切り後ナデを、底部内面はナデを施す。いずれも灰色～淡灰色を呈す

土師器

甕ａ（16・17）　16は小型の甕で、口径13.0cm、残存高4.8cm。口縁部は垂直に立ち上がり、端部がわずかに外反する。胴部もほぼ垂直に立ち上がる。胴部外面は刷毛目を、胴部内面はヘラケズリを施す。口縁部は摩耗しているが、一部にヨコナデが観察される。淡橙茶色～明橙茶色を呈す。17は口縁部の小破片で、残存高7.6cm。口縁部がくの字に屈曲する。胴部外面は刷毛目を、胴部内面はヘラケズリを施す。口縁部は摩耗している。明橙茶色～暗灰褐色を呈す。

製塩土器

煎熬土器（18）　口縁部の破片である。残存高5.8cm。全体的に摩耗がすすんでいるが、胴部外面は格子叩きが、口縁部外面にヨコナデが確認される。明橙茶色を呈す。

（灰褐色土）（Fig.9-35）

須恵器

蓋3（19）　口縁部が残存する破片である。口径13.5cm、残存高1.4cm。天井部外面はヘラ切りを施し、天井部と口縁部の境に回転ヘラケズリを施す。天井部内面はナデを施す。内面にわずかに擦ったような痕跡がある。淡灰色～暗灰色を呈す。

坏ｃ（20）　小型の坏である。口径8.5cm、器高3.7cm、底径6.4cm。底部外面はヘラ切り後ナデを施し、焼成後にヘラ記号を施す。底部内面はナデを施す。淡灰色～暗灰色を呈す。

土師器

蓋3（21）　口縁部の破片である。口径18.8cm、残存高1.1cm程度に復元される。焼成があまいため摩耗が進んでいるが、外面にわずかにミガキａとみられる痕跡が観察される。胎土は1.2mm以下の砂粒をやや多く含む。内外面ともに橙茶色～茶褐色を呈す。

不明製品（22）　棒状の遺物で長軸の両端が欠損している。残存長6.5cm、幅2.0×1.8cm。図上で底部としている面は比較的平らで、粒状目の叩きとみられる痕跡が観察され、この後ナデやヘラケズリを施す。その他の面はヘラケズリを施す。色調は、明茶色を呈す。把手あるいは甑の底とみられる。

（茶灰色土）（Fig.9-36）

須恵器

蓋ｃ（1）　天井部が残存する破片である。残存高1.4cm。天井部外面は回転ヘラケズリ、内面はナデを施す。焼成は良好。内面が還元して灰黒色を呈し、外面は暗茶褐色を呈す。

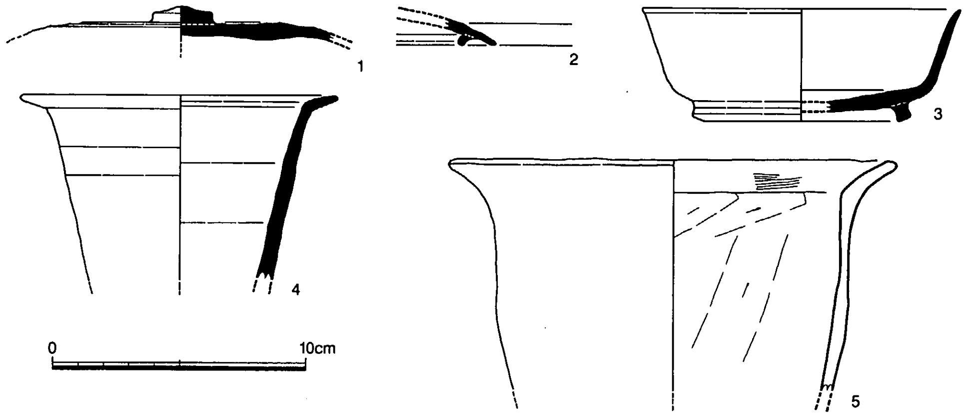


Fig.9-36　9SK230茶灰色土出土遺物実測図（1/3）

蓋1（2）　口縁部の小破片である。残存高1.1cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施す。焼成・還元とも良好で、淡灰青色を呈す。

坏ｃ（3）　口径12.6cm、器高4.5cm、底径8.7cm。ハの字に踏ん張った高台をもつ。底部外面はヘラ切り後ナデを、底部内面はナデを施す。焼成・還元とも良好で、淡黒灰色を呈す。

壺ｂ（4）　口径12.6cm、残存高7.4cm。内外面とも回転ナデを施す。焼成・還元とも良好で、灰黒色を呈す。

土師器

甕ａ（5）　口径15.7cm、残存高9.2cm。口縁部がくの字に屈曲する。二次焼成のため外面は剥離し調整不明、内面はヘラケズリ、口縁部内面は刷毛目を施す。

（淡茶色土）（Fig.9-37、Pl.12）

須恵器

蓋1（1・2）　いずれも口縁部のみ残存する破片である。1は口径14.4cm、残存高2.2cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施す。淡灰褐色を呈す。2は口径14.6cm、残存高2.2cm。淡灰青色を呈す。

蓋3（3・4）　いずれも口縁部のみ残存する破片である。3は口径15.6cm、残存高1.9cm。淡灰色～明黄茶色を呈す。4は口径18.0cm、残存高1.7cm。淡灰褐色を呈す。

坏ｃ（5～7）　いずれも底部が残存する破片である。底径8.9～9.1cm、残存高2.1～3.2cm。いずれも底部外面はヘラ切り後ナデ、底部内面はナデを施す。淡灰青色～淡灰褐色を呈す。

土師器

坏ｃ（8）　底部が残存する破片である。高台が欠損しており、推定される底径は9.1cm。残存高は0.7cm。底部外面はナデ、底部内面はミガキａを施す。底部外面には黒斑がある。胎土は精良であるが、0.5mm大の砂粒をわずかに含む。焼成は良好。明褐色を呈す。

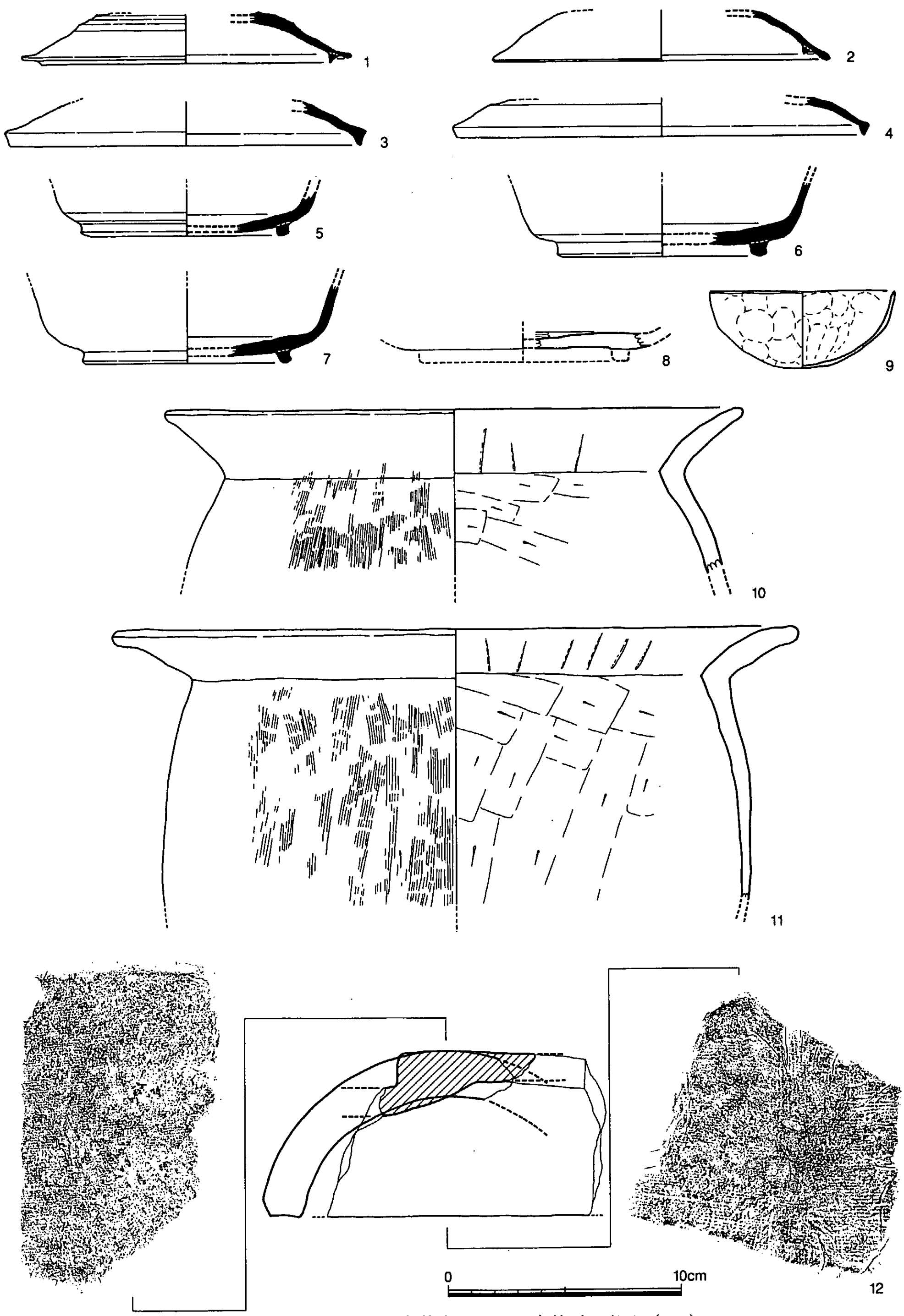


Fig.9-37　9SK230淡茶色土出土遺物実測図（1/3）

手づくね鉢（9）　口縁の1/4ほど残存する破片である。口径8.0cm、器高3.4cm。器壁が大変薄く最大で2.5mm。摩耗しているものの内外面ともに指頭痕がのこる。胎土は良好で0.5～1mm

大の砂粒をわずかに含む。黄褐色を呈す。

甕ａ（10・11）　10は口径24.9cm、残存高7.2cm。11は口径29.6cm、残存高12.0cm。いずれもくの字に外反する口縁を有す。胴部外面は刷毛目、胴部内面はヘラケズリ、口縁部外面はヨコナデを施し、口縁部内面は工具痕が認められる。ヨコナデ具の痕跡の可能性もあろう。11は外面全面に煤付着の痕跡がみられる。10は明褐色、11は明褐橙色を呈す。

瓦類

丸瓦（12）　玉縁を有する丸瓦の破片である。残存長10.2cm、残存幅10.8cm、厚さ約2.0cm。凸面は工具などで丁寧なナデを施し、凹面は布目痕がある。端部切り離しはヘラで面取りしてあり、凸面側にもさらにヘラで面取りする。

(5) その他の遺構出土遺物

9SX090出土遺物（Fig.9-38）

須恵器

小蓋3（1）　口縁部が残存する破片である。口径11.8cm、残存高1.4cm。天井部外面は回転

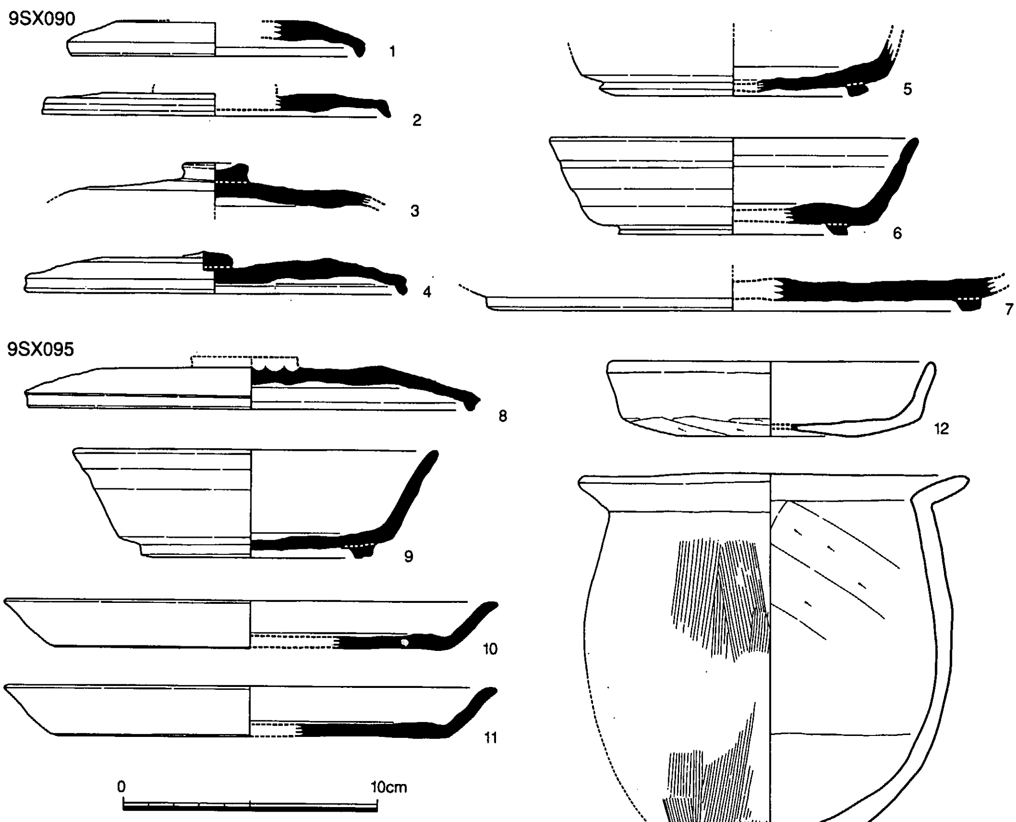


Fig.9-38　9SX090・9SX095出土遺物実測図（1/3）

ヘラケズリ、天井部内面はナデを施す。

蓋c3×蓋b3（2） 口縁部が残存する小破片である。口径13.8cm、残存高0.9cm。天井部外面は回転ナデを施し、天井部内面はナデを施す。つまみを有するとみられるが、ボタン状のつまみcを想定するとかなり大きなつまみとなるため、輪状のつまみbの可能性も考えられる。

蓋c3（3・4） 3は残存高2.0cm。天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデを施す。内面は擦った痕跡あり。4は若干のひずみがあるが、口径15.2cm、器高1.7cm。天井部外面はヘラ切り後、回転ナデを施し、天井部と口縁部の境に回転ヘラケズリを施す。天井部内面はナデを施す。

坏c（5・6） 5は底径10.6cm、残存高10.6cm。底部外面は回転ヘラ切り、底部内面はナデを施す。焼成はあまく、還元もしていないため白茶色～白褐色を呈す。生焼けか。6は口径14.4cm、器高3.9cm。底径9.0cm。底部外面はヘラ切り、底部内面はナデを施す。

大皿c（7） 底部が残存する破片である。底径19.6cm、残存高1.3cm。底部外面は回転ヘラ切り、底部内面はナデを施す。焼成は良好だが、還元は不良。灰茶色～淡灰茶色を呈す。

9SX095出土遺物（Fig.9-38）

須恵器

蓋c3（8） 1/2の破片で、大きなつまみがついていたとみられる。口径17.7cm、残存高1.7cm。天井部外面はヘラ切り後回転ナデを、天井部内面はナデを施す。内面はやや平滑になっている部分がある。

坏c（9） 口径14.5cm、器高4.3cm、底径9.2cm。底部外面はヘラ切り後ナデ、底部内面はナデを施す。

皿a（10・11） 口径はいずれも19.6cm、器高1.9～2.0cm。底径もいずれも15.8cm。底部外面はヘラ切り後ナデを行う。板状圧痕あり。底部内面はナデを施す。両者はよく似ており、接合しないが同一個体の可能性も考えられる。

土師器

皿b（12） 口径13.0cm、器高3.0cm、底径11.8cm。焼成がややあまく摩耗が進んでいるが、底部には手持ちヘラケズリが観察される。胎土は精良で1mmまでの砂粒を少量含む。内外面とも淡茶色～暗褐色を呈す。なおこの遺物は本遺構から出土した他の遺物より時期が遡るものとみられるが、参考までに報告した。

小甕a（13） 口径15.6cm、器高15.2cm。丸底の底部、くの字に外反した口縁を有す。胴部外面は刷毛目、胴部内面はヘラケズリを施す。二次焼成を受けている。

9SX200上層出土遺物（Fig.9-39、Pl.12）

須恵器

坏蓋（1）　口径11.8cm、器高3.5cm。天井部外面はヘラ切りを施す。

壺×鉢（2）　口縁部が残存する小破片である。体部はやや丸みをもち、口縁部に向かって垂直にたちあがる。口径10.6cm、残存高5.1cm。比較的薄い器壁をもつ。体部外面には掻き目が施される。

高坏（3）　短脚の高坏である。口径11.7cm、器高7.2cm。坏部の底部外面は粗い掻き目を施し、底部内面はナデを施す。

土師器

坏（4）　口径14.6cm、器高5.3cm。使用による摩耗がすすんでいるが、底部外面は手持ちヘラケズリを施し、内外面ともにミガキｃを施す。胎土は良好で0.5～1mm大の砂粒を含む。焼成は良好。外面は明橙灰色。内面は明橙灰色～淡黄褐色を呈す。なお器種については皿ｂとすべきかもしれないが、ここでは形態から坏として報告している。

甕ａ（5）　小型の甕である。底部は平底を呈し、短い口縁がゆるやかに屈曲しつつ外反する。口径12.2cm、器高12.3cm、底径6.7cm。胴部外面は刷毛目を、胴部内面はヘラケズリを施す。0.5～1mm程度の砂粒を多く含み、焼成は良好。明褐色を呈す。

9SX392出土遺物（Fig.9-40）

須恵器

小壺蓋（1）　口縁部のみ残存する小破片である。口径4.8cm、残存高1.1cm。天井部は自然釉がかかっており調整は不明だが、その他は回転ナデを施す。天井部にはつまみの付け根とみられるわずかな立ち上がりがみられる。

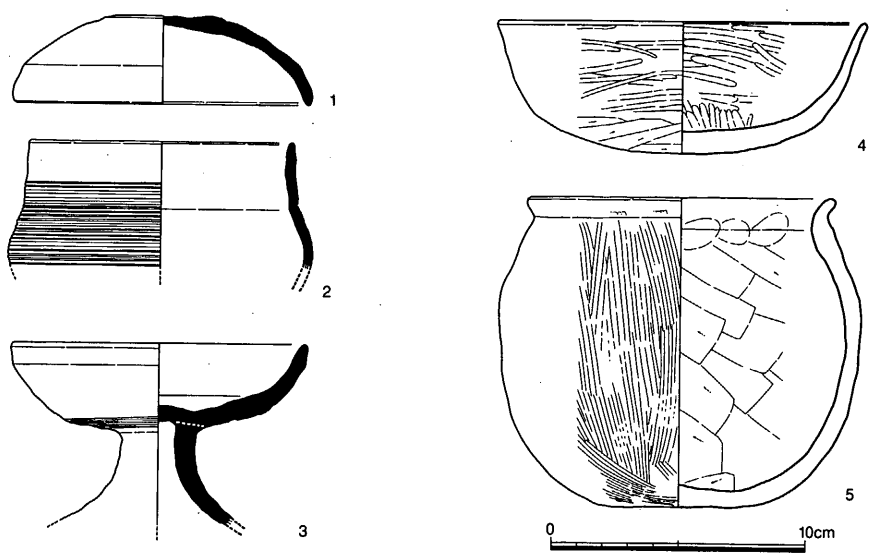


Fig.9-39　9SX200出土遺物実測図（1/3）

9SX441出土遺物（Fig.9-40、Pl.15）

須恵器

坏（2）　底径8.7cm、残存高1.3cm。底部はヘラ切り。内面はナデを施す。底部外面に焼成前に施したヘラ記号あり。

壺a（3）　口縁部のみ残存する破片である。口縁は約12cm程度に復元されるか。残存高4.5cm。内外面とも回転ナデを施し、肩部外面は搔き目を施す。

土師器

坏（4）　口径12.2cm、器高3.4cm。焼成は比較的良好だが、摩耗しており、調整不明。0.5～1mm大の砂粒をわずかに含む。また茶褐色の粒子（0.5～1mm）が多くみられる。黄橙色を呈す。

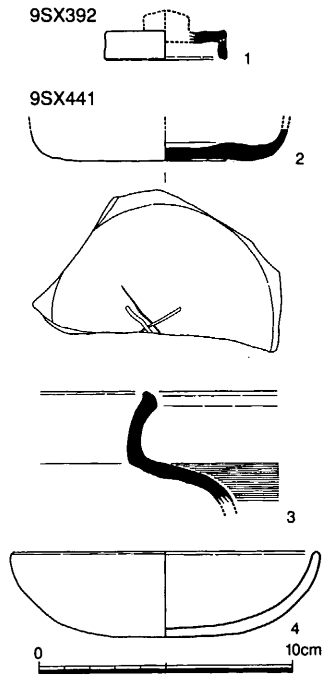


Fig.9-40　9SX392・9SX441 出土遺物実測図（1/3）

(6) 包含層出土遺物

表土出土遺物（Fig.9-41、Pl.15）

須恵器

小蓋a1（1）　口径10.0cm、器高2.0cm。天井部外面は回転ヘラ切り後ナデを施し、焼成前にヘラ記号を施す。天井部内面はナデを施す。内外面とも暗灰色を呈す。

甕（2）　口縁部が残存する破片である。口径23.2cm、残存高6.0cm。

鉢（3）　口縁部の大半を欠くものの、その他は完存する資料である。口径12.2cm、器高7.0cm、底径9.0cm。体部外面の中央のやや上寄りに搔き目を施し、体部外面下半は手持ちのヘラケズリを施す。その後体部外面下端から底部外面にかけて、雑な回転ヘラケズリを施す。底部内面はナデを施す。胎土はやや粗く3mm大の砂粒をかなり多く含む。焼成・還元ともに良好で、断面は暗赤褐色、内外面は暗青灰色を呈す。

土師器

皿a（4）　完形品である。口径12.2cm、器高1.3cm、底径7.6cm。底部外面はヘラ切り後、軽くなでを施し、底部内面はナデを施す。胎土はきめ細かく、微小な砂粒を少量含む。焼成はややあまく、内面は淡茶色、外面は淡茶色から淡褐色を呈す。なお器形を皿としているが、蓋の可能性もある。

瓦類

軒平瓦（5・6）　5は瓦当部がわずかに残存する破片である。残存長7.3cm、残存幅9.6cm、残存厚3.8cm。瓦当の文様は、内区に偏行唐草文、外区上部に珠文、外区右端に鋸歯文を施す。

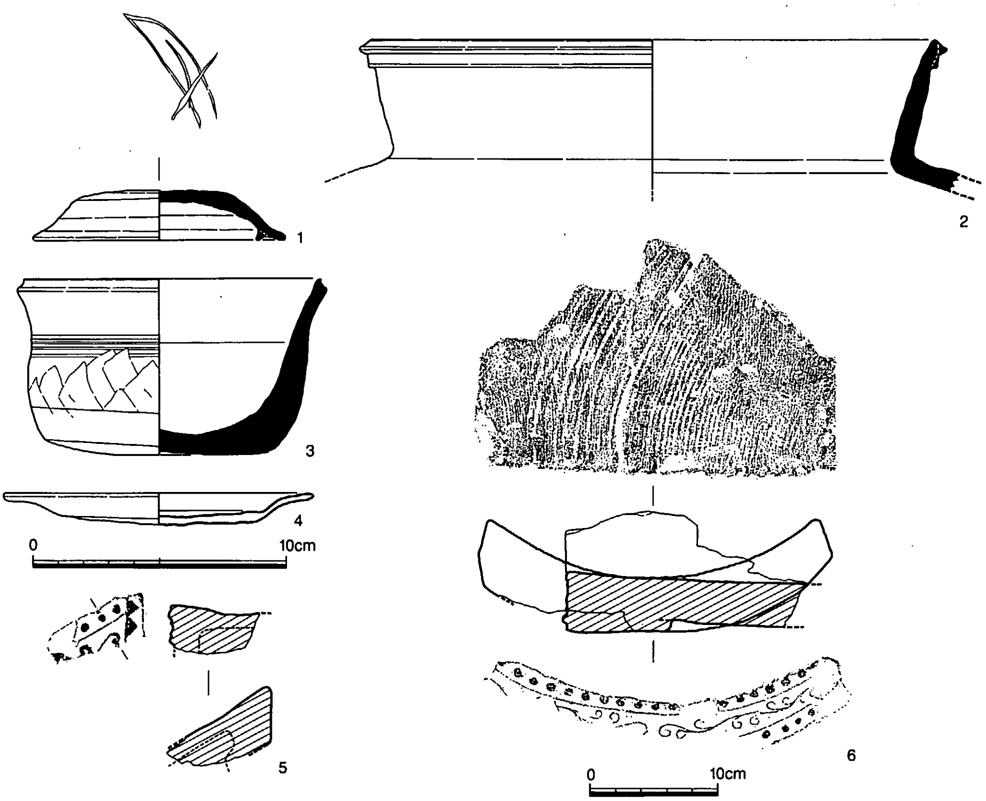


Fig.9-41　第９次調査　表土出土遺物実測図（1～4は1/3、5～6は1/6）

老司式。6は瓦当側が残存する資料である。残存長18.7cm、幅28.1cm、瓦当部分の厚さ4.7cm、本体部分は3.4cm程の厚みを有す。瓦当の文様は均整唐草文、外区は上部下部とも珠文を施す。凹面は糸切り痕および布目痕が入る。この痕跡は瓦当面の端部までおよんでいる。凸面は、ナデ等で不明ながらも格子目叩きのような調整が器表にみられる。端部の切り離しは、図上垂直方向に切断される。一枚づくりとみられる。

茶色土層出土遺物（Fig.9-42・9-43、Pl.15・16）

須恵器

坏蓋×坏身（1・2）　いずれも破片のため器種は不明だが、坏蓋として図示した。1は残存高2.4cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施し、焼成前にヘラ記号を施す。2は残存高2.2cm。天井部外面はヘラ切り後ナデを施し、焼成前にヘラ記号を施す。

坏ｃ（3）　底部のみ残存する破片である。底径9.4cm、残存高1.4cm。底部外面はヘラ切り、底部内面はナデを施す。底部外面は焼成前のヘラ記号を施す。胎土はきめ細かく1mm以下の白色砂粒を少量含む。焼成・還元とも良好で、内面は淡灰色、外面および断面は淡灰色～淡茶灰色を呈す。

小壺×椀（4）　口縁部～体部が残存する破片である。口径13.8cm、残存高3.7cm。丸みをも

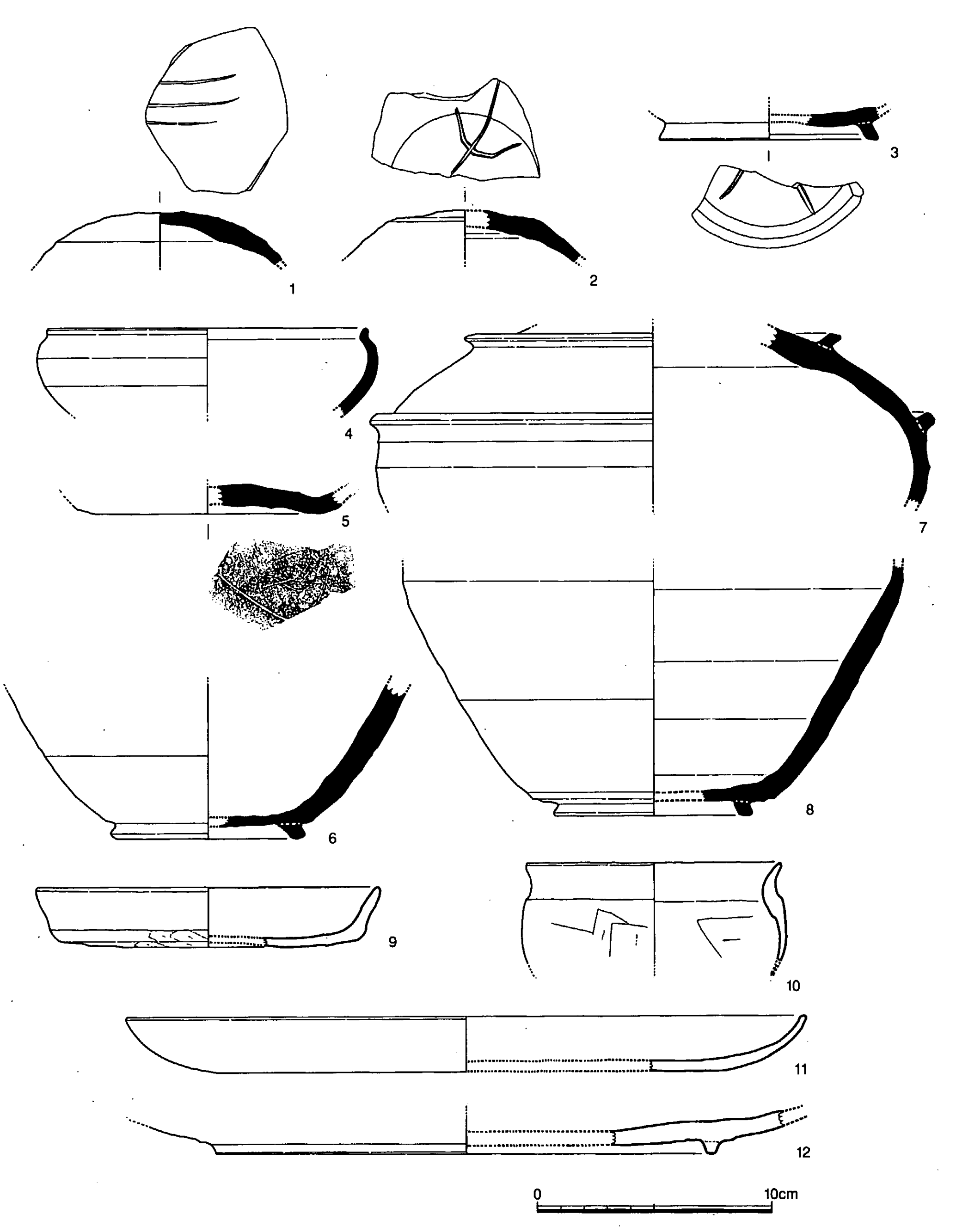


Fig.9-42　第９次調査　茶色土層出土遺物実測図その１（1/3）

つ体部に上方にわずかに立ち上がる口縁部を有す。胎土はきめ細かく、1.5mm以下の砂粒をごく少量含む。焼成・還元ともに良好で、白茶灰色～淡灰色を呈す。

壺（5・6・8）　5は無高台の底部のみ残存する破片である。底径10.0cm、残存高1.2cm。底部はヘラ切りを施し、焼成前にヘラ記号を施す。6・8は高台を有すタイプである。底径8.3～8.6cm、残存高6.7～10.7cm。いずれも胴部外面は回転ヘラケズリを施し、6には工具があたった

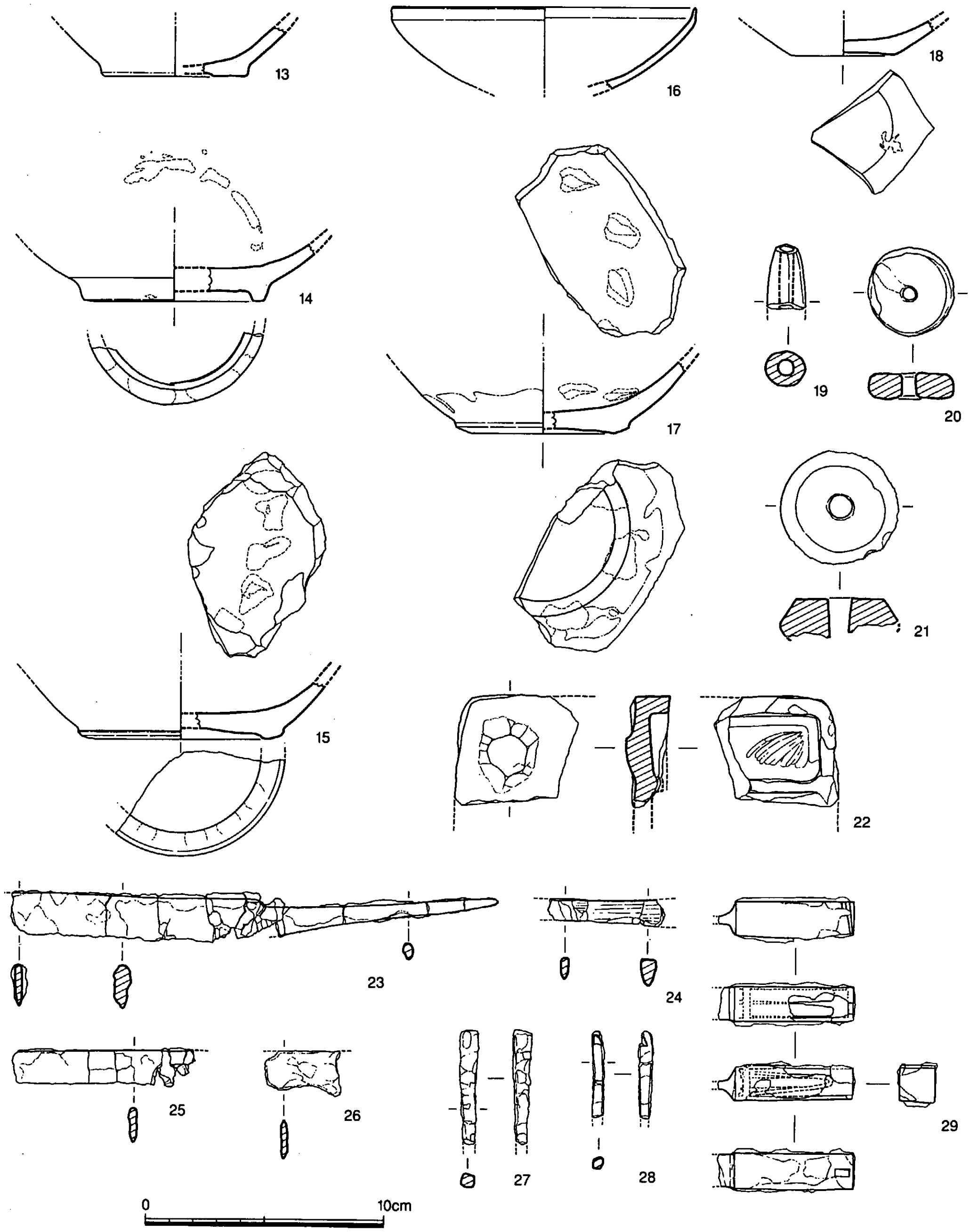


Fig.9-43　第９次調査　茶色土層出土遺物実測図その２（1/3）

痕跡が残存している。

壺e（7）　胴部が残存する破片である。最大径23.7cm、残存高7.7cm。肩部に二条の突帯を有す。内外面とも回転ナデを施すが、外面の回転ナデは幅広のヘラ状の工具でナデている可能性があり、一部ケズリ痕となっている部分もみられる。胎土は精良で、1.2mm以下の白色砂粒をわずかに含む。淡灰色～暗灰色を呈す。

土師器

皿ｂ（9）　口径14.8cm、器高2.6cm、底径12.6cm。焼成があまいため、全面的に摩耗しているが、底部は手持ちのヘラケズリとみられる。胎土はきめ細かく、2.2mm以下の砂粒を少量含み、明茶色～暗褐色を呈す。

小甕×鉢（10）　小破片である。口径11.0cm、残存高4.4cm。体部内面はヘラケズリ、体部外面もヘラケズリを施す。外面の調整はミガキにもみえる。口縁部はヨコナデを施す。胎土のきめは粗く、1mm弱の砂粒を多く含む。焼成は良好。内面は暗茶色、外面は茶褐色～褐色を呈す。

大皿ａ（11）　1/2ほど残存する破片である。口径29.1cm、残存高2.4cm。焼成がややあまいため調整不明な部分が多いが、底部外面は指頭によるナデの痕跡がみられ、口縁部内面にはミガキａの可能性がある痕跡がわずかに確認される。胎土のきめは細かく、微小な砂粒をわずかにに含む。内外面とも明橙茶色を呈す。

大皿ｃ（12）　底部が残存する小破片である。底径21.4cm、残存高1.8cm。焼成がややあまいため高台接合のための回転ナデを除いては調整不明。胎土のきめはやや粗く、1.5mmまでの砂粒を大量に含む。内外面とも淡茶白色～明橙茶色を呈す。全体的に丁寧につくられている印象を受ける。

越州窯系青磁

椀（13～17）　13はI-1ａ類。底径6.2cm、残存高2.1cm。釉調は淡茶黄色で、内外面全面にごく薄く施釉し、高台部外端は釉をふき取る。14はI-2ア類。底径7.7cm。残存高2.4cm。釉調は緑味を帯びた淡茶黄色で光沢があり、全面施釉後、高台畳付け部分のみふき取る。内外面とも目跡がみられる。15はI-5類。底径8.7cm、残存高2.4cm。釉調は淡緑色で白濁した部分がみられる。高台および高台内面以外にごく薄く施釉する。内外面とも目跡がみられる。16は小椀I-3類。口径12.8cm、残存高3.5cm。釉調は緑味を帯びた茶黄色で、全面にごく薄く施釉する。17はII-2ｂ類。底径7.3cm、残存高3.0cm。釉調は緑味を帯びた淡茶黄色で、薄く施釉される。底部は露胎している。内外面とも目跡がみられる。

坏（18）　I-1類。口径4.3cm、残存高1.5cm。釉調は濃緑色で、全面にごく薄く施釉する。底部外面の端には目跡がみられる。

土製品

錐（19）　残存長2.7cm、断面径1.5×1.7cm。胎土は精良で、焼成はややあまい。明茶色を呈す。土師質。

紡錘車（20・21）　20は土師質の資料である。直径3.8×3.6cm、厚さ1.1cm。胎土はあらく、1mm大の砂粒を多量に含む。21は須恵質の資料である。直径約5.0cm、残存厚1.7cm。胎土はき

め細かく、微小な砂粒を少量含む。焼成・還元ともに良好で、灰色を呈す。

硯（22）　須恵質に仕上がる。残存長4.5cm、残存幅5.2cm。厚さ1.9cm。陸部と海部の境を区切る仕切りを有す。底面には低い脚を有す。底面はナデを施し、側面及び上面は面取りのためのヘラケズリを施し、海部の底は細かい単位でヘラケズリ（またはミガキ）を施す。胎土はきめ細かく、0.5mm以下の白色砂粒と雲母を少量含む。焼成・還元ともに良好。灰色～暗灰色を呈す。

鉄製品

刀子（23～25）　23は残存長20.4cm、刃部残存長10.5cm、柄部長9.9cm、刃部最大幅2.1cm、柄部幅0.3～1.3cm、残存厚0.8cm、また金属残存部の厚さは0.3cm程度である。24は柄部の一部が残存する。残存長4.9cm、残存幅1.2cm、残存厚0.4～0.7cm。表面に木質が残存する。25は刃部先端が残存する。残存長7.6cm、残存幅1.5cm、残存厚0.4cm。

不明製品（26）　刀子とみられるが、詳細不明。残存長3.2cm、残存幅1.8cm、残存厚0.3cm。

釘（27・28）　27は残存長4.8cm、残存幅0.8×0.6cm。28は残存長3.7cm。残存幅0.5×0.6cm。いずれも上端は欠損していないようにみえるが、詳細不明。

鍵（29）　鍵がかかった状態で出土した。総残存長は5.8cmである。まず、筒部は全長5.0cm、幅1.5×1.8cmで、厚さ約1.5mmの鉄板で箱形につくられている。錆等で覆われている部分が多いものの、表面の一部に文様とみられる沈線が３条ほど確認される（展開図の最上段右端）。X線撮影では、筒部内部に施錠部バネの受板が観察される。また筒部の腐植により筒部内部を観察することができる。内部には施錠部が挿入されており、バネの先端が観察される。バネの長さ3.5cm、幅0.5cm。バネは２つあり、２つで一対となっているとみられる。また、弦受部－施錠部の中間に位置する区と筒部とは接合しているが、錆に覆われており、その接合状況等は不明である。弦受部は幅1.35cm、厚さ0.35cm、0.45cmほど残存している。H2地区より出土。（鍵の各部の名称は、合田芳正『古代の鍵』（考古学ライブラリー66　ニュー・サイエンス社　平成10年５月30日）による。）

茶灰色土層出土遺物（Fig.9-44）

須恵器

蓋1（1）　口縁部が残存する小破片である。残存高0.9cm。小片のためはっきりしないものの、口径は16.0cm程度に復元されるか。摩耗が著しいが、かえりの部分に回転ナデがみとめられる。胎土はきめ細かく、3mm大の砂粒をわずかに含む。焼成は土師質に仕上がり、明橙色を呈す。

蓋2（2）　口縁部が残存する小破片である。残存高1.2cm。内外面とも回転ナデがみとめられる。口縁部は端部を折り曲げたのみの成形である。胎土はきめ細かく、1.5mm以下の砂粒を

含む。焼成・還元とも良好で、淡青灰色～灰色を呈す。

坏c（3～5）

いずれも底部が残存する破片である。3は底径7.5cm、残存高2.2cm。4は底径8.9cm、残存高1.65cm。5は底径10.2cm、残存高2.7cm。いずれも底部外面は回転ヘラ切り後ナデを施し、底部内面はナデを施す。6は体部外面と高台との境に回転ヘラケズリを施す。3は淡暗茶灰色を、4・5は灰色～明灰色を呈す。

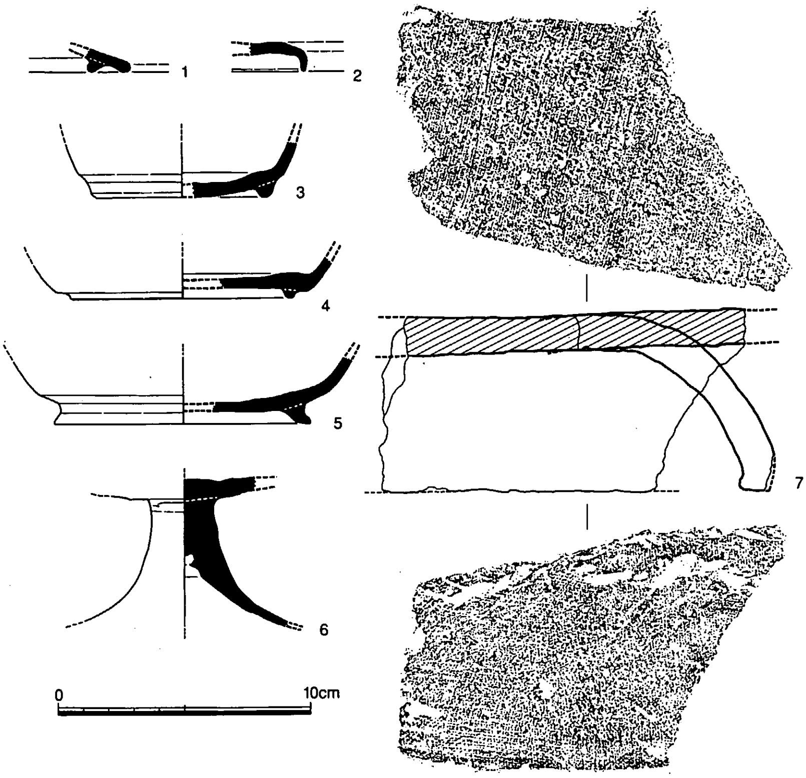


Fig.9-44　第９次調査　茶灰色土層出土遺物実測図（1/3）

高坏（6）　脚部が残存する破片である。残存高5.9cm。坏部の底部内面および脚部内面最上部はナデを施し、その他は回転ナデを施す。胎土のきめは細かいが、1mm大の砂粒を多量に含む。焼成・還元ともに良好で、灰色～灰黒色を呈す。

瓦類

丸瓦（7）　残存長14.5cm、残存幅7.8cm、厚さ約1.5cm。凹面は布目痕がみとめられ、布の継ぎ目の痕跡も確認される。凸面は工具状のもので丁寧にナデを施す。胎土のきめは粗く、1.5mm以下の砂粒を多量に含む。焼成・還元ともに良好で、明青灰色を呈す。

暗茶色土層出土遺物（Fig.9-45）

須恵器

蓋1（1～3）　1は口径13.6cm、器高1.8cm。天井部外面はヘラ切り、天井部内面はナデを施す。胎土のきめは粗く、1.5mm弱の砂粒を多く含む。焼成・還元ともに良好で、灰白色を呈す。2は口径12.6cm、残存高2.2cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施す。胎土のきめは粗く、1mm大の砂粒を多く含む。焼成はあまく、還元は不良。淡茶灰色を呈す。3は口縁部の小破片で、残存高2.3cm。天井部内面はナデを施す。胎土のきめは細かく、微小な砂粒を少量含む。焼

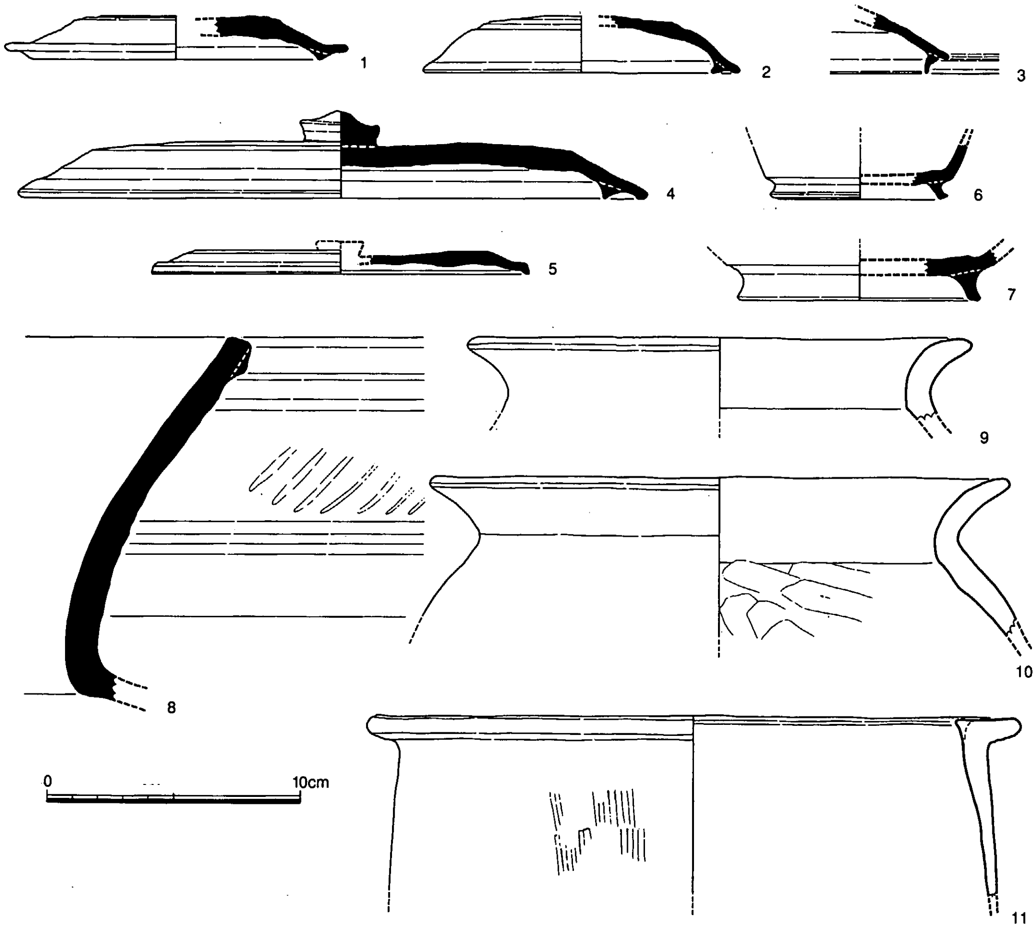


Fig.9-45　第９次調査　暗茶色土層出土遺物実測図（1/3）

成・還元ともに良好で、明灰色を呈す。

大蓋ｃ1（4）　口径25.5cm、器高3.5cm。天井部外面はヘラ切り後軽くナデ、天井部と口縁部の境に粗い回転ヘラケズリを施す。天井部内面はナデを施す。胎土はかなり粗く、4mm以下の大粒の砂粒を多く含む。焼成・還元ともに良好で、内外面とも明青灰色を呈す。

蓋ｃ3（5）　口径15.0cm、残存高0.95cm。天井部外面は回転ヘラ切り後ナデを、天井部内面はナデを施す。胎土のきめはやや粗く1mm大の砂粒を部分的に多く含む。焼成・還元ともに良好。口縁部は淡茶褐色、その他は淡灰色～暗灰色を呈す。

坏ｃ（6・7）　6は小坏の部類に入る。底径7.0cm、残存高2.2cm。ハの字に踏ん張った高台を有す。内外面とも回転ナデが観察される。胎土はきめ細かく微細な砂粒を微量含み、焼成・還元ともに良好。明灰色～黒灰色を呈す。7は底径9.6cm、残存高2.1cm。底部外面はヘラ切り後ナデを施し、底部内面はナデを施す。胎土はきめ細かいものの微小な砂粒を多く含む。焼成・還元ともに良好。内面は暗黒灰色、外面は淡茶色～明淡茶色を呈す。

大甕（8）　口縁部が残存する破片である。残存高14.5cm。口縁部内面は回転ナデ、胴部内面は叩きとみられる。口縁部外面は、口縁端部に断面三角形の突帯を付し、口縁端部から中央部にかけてナデによる条痕を水平方向に数条施し、中央部には右上がりの平行文を施す。胎土のきめは粗く2mm弱の砂粒を大量に含む。焼成はあまいが還元はしている。内外面ともに淡茶灰色を呈す。

土師器

甕（9・10）　9は口縁部のみ残存する破片である。小片のため径は不正確であるが、約20.0cm、残存高は3.2cmに復元される。焼成があまいため摩耗がすすみ、調整は不明。胎土のきめは粗く1mm大の砂粒を多く含む。内面は明茶色～橙茶色、外面は橙茶色を呈す。10は口径23.0cm。残存高6.4cm。やや摩耗が進んでおり、口縁部は調整不明。胴部外面は刷毛目か。胴部内面はヘラケズリを施す。胎土のきめは粗く、3mmまでの砂粒を多く含む。焼成は良好。口縁部は淡茶灰色、内面は暗黒灰色、外面は暗橙茶色～暗灰色を呈す。

弥生土器

甕（11）　鋤先状の口縁を有す。口径26.0cm、残存高7.1cm。内面は摩耗しており調整不明。口縁部上端および口縁部外面はヨコナデ、胴部は刷毛目を施す。胎土は2mm弱の砂粒を多量含み、焼成はややあまい。内面は明茶灰色、外面は暗茶色～褐色を呈す。

B．その他の石製品（Fig.9-46・9-47、Pl.16）

茶色土層出土石製品

鏃（1～4）　1は長さ2.3cm、残存幅1.5cm、厚さ0.3cm。抉りは深い。黒曜石製。2は残存長1.0cm、幅1.2cm、厚さ0.4cm。抉りは浅い。黒曜石製。3は長さ1.8cm、幅1.5cm、厚さ0.4cm。抉りは浅い。黒曜石製。4は長さ2.4cm、残存幅1.8cm、厚さ0.3cm。安山岩製。

石匙（5・6）　5は残存長6.3cm、幅5.6cm、厚さ1.0cm。6は残存長10.3cm、幅4.0cm、厚さ0.7cm。いずれも安山岩製。

権（7）　長さ13.3cm、幅7.4cm、厚さ2.2cm。上部に円形の孔を有す。滑石製。

玉石（巻頭図版参照）　翡翠とみられる明緑色の玉石が調査区東側のH2付近より出土している。不定形を呈し、3.95×2.6×2.0cm、重さ35.4g。表面は磨かれているようで平滑である。H2地区より出土。

9SK100茶灰色土出土石製品

砥石（1）　長さ6.8cm、幅0.8～2.4cm。厚さ1.3～1.6cm。全面に擦った痕跡がみられる。砥石としたが、自然石を使用したミガキ具などにも考えられる。砂岩製。

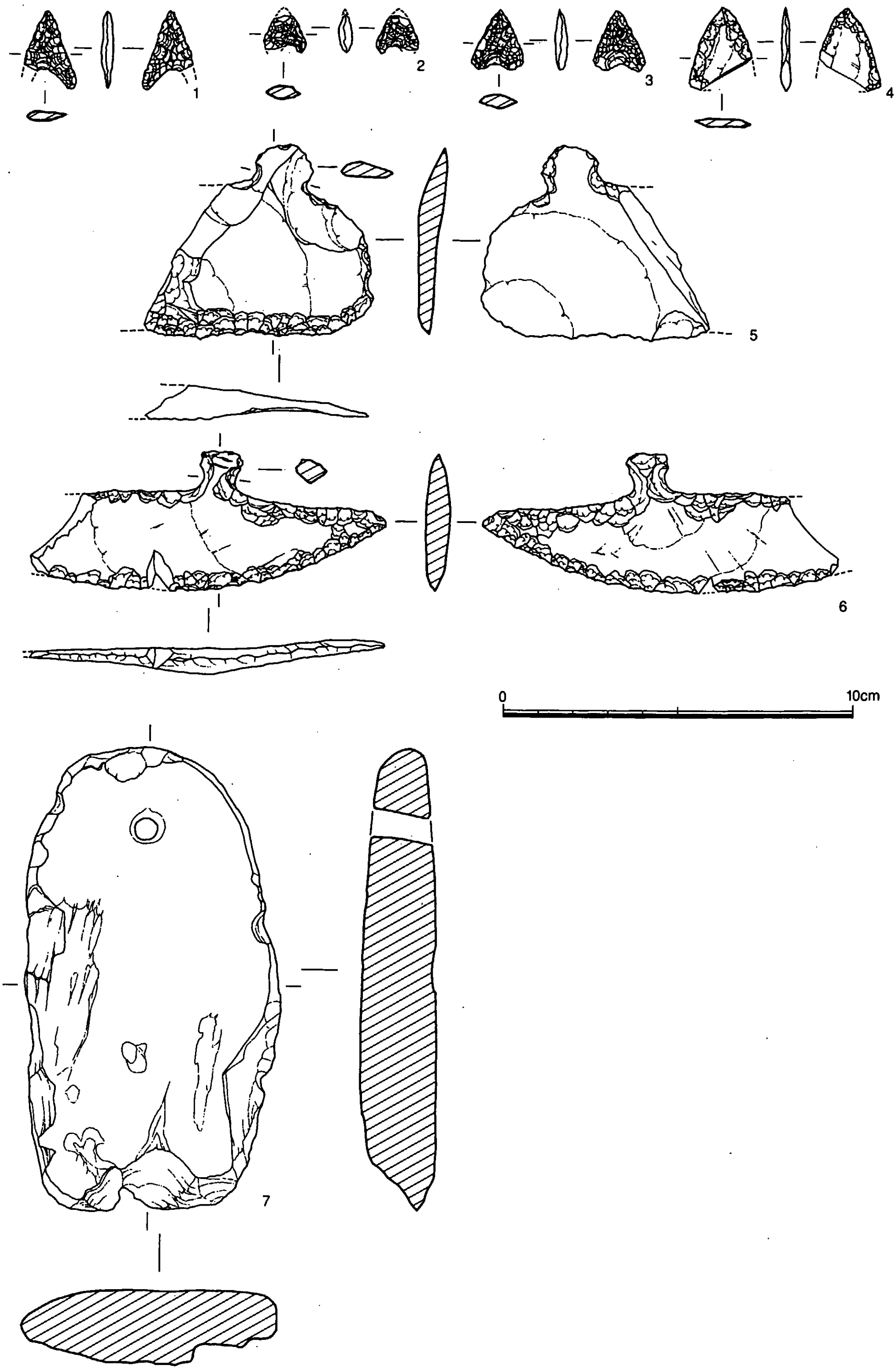


Fig.9-46　第 9 次調査　茶色土層出土石製品実測図（1/2）

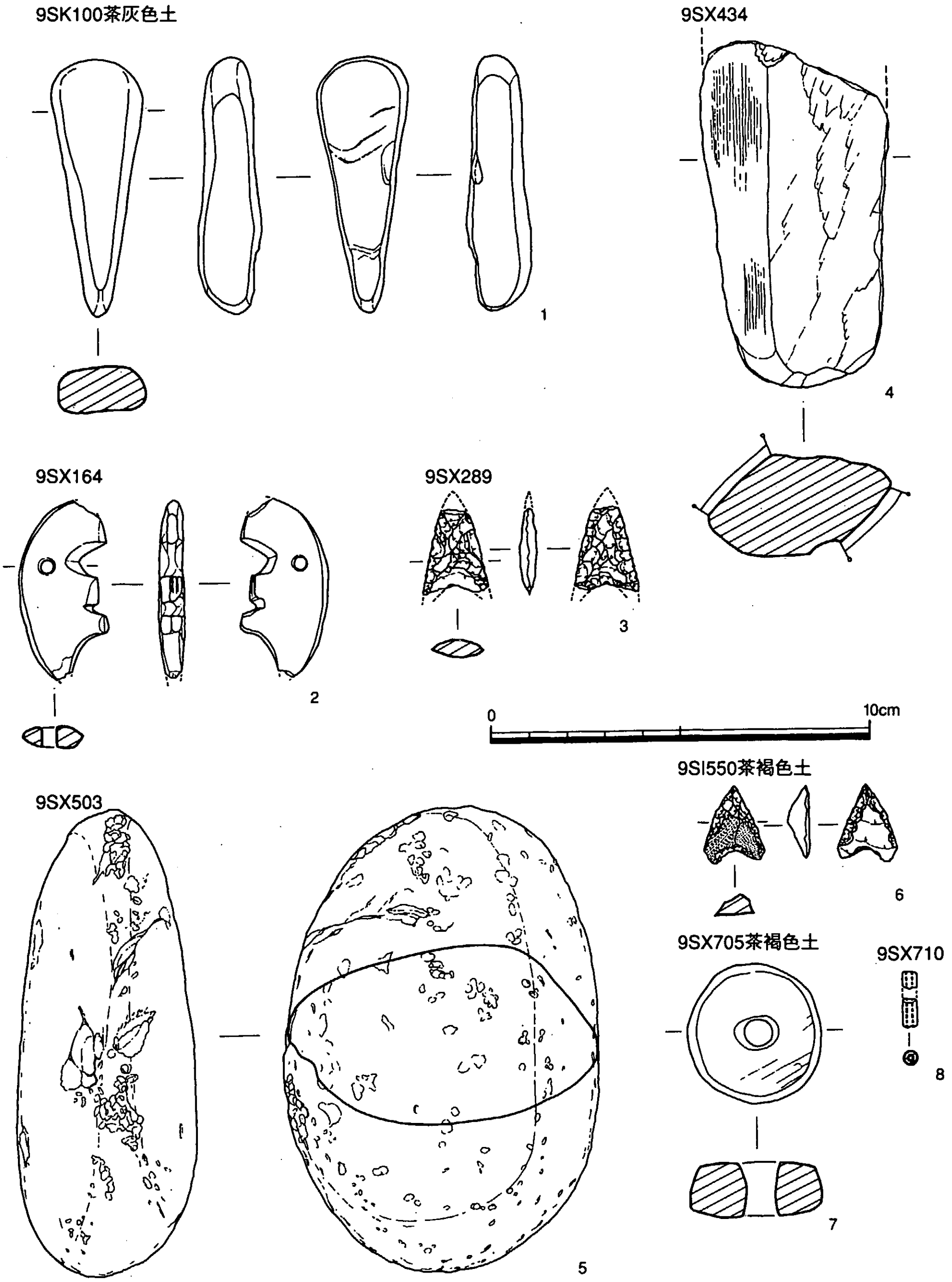


Fig.9-47　第９次調査　各遺構出土石製品実測図（1/2）

9SX164出土石製品

不明製品（2）　薄い円盤状の石材を加工した資料で、一見子持ち勾玉のようにもみえる製品である。図上の上下端は欠損している。残存長4.7cm、幅2.4cm、厚さ0.6cm。円弧を描く側面と３箇所抉りを入れた面とある。抉りの間に凸部が生じるが、図上で中央および下側の頂部には更に筋状の条線を施す。滑石製。

9SX289出土石製品

鏃（3）　残存長2.3cm、残存幅1.7cm、厚さ0.5cm。深い抉りを有するとみられるが、詳細は不明である。安山岩製。

9SX434出土石製品

砥石（4）　残存長9.2cm、幅5.0cm、厚さ2.7cm。２面を使用している。結晶片岩か。

9SX503出土石製品

叩石（5）　長さ12.3cm、幅8.4cm、厚さ4.8cm。自然石を利用したものである。敲打痕が側面に集中して認められる。

9SI550茶褐色土出土石製品

鏃（6）　残存長2.1cm、幅1.7cm、厚さ0.5cm。抉りは浅い。安山岩製。

9SX705茶褐色土出土石製品

紡錘車（7）　径3.5×3.7cm。厚さ1.5cm。滑石製。

9SX710出土石製品

管玉（8）　残存長0.8cmおよび0.45cm。直径0.38cmで、径1.6mm程の孔を穿っている。風化によりかなり脆くなっている。石材不明。淡灰緑色を呈す。

４．小結

第９次調査区では大きく３期ほどの時期の異なる遺構が展開している。最初は竪穴住居が営まれた時期（７ｃ代）、次に部分的に整地が行われて溝群や建物が展開する時期（７ｃ末～８ｃ）、８ｃ代の様相を引き継いで溝や建物が営まれる時期（９ｃ）である。この中で７ｃ末頃に整地が行われ、その後正方位を意識したように溝や建物が配されていることがわかったことは大きな成果である。７ｃ後半～末頃に整地が行われ、その後正方位を意識した区割りがなされるのは大宰府条坊跡の中でも確認されていることであり、この時期、大宰府政庁の北西地域も同様に開発が進められたことが判明したのは貴重な成果である。ただ、9SK030や9SK045のように墓と想定されるような遺構も検出されており、今後の検討課題といえる。

出土遺物も多様である。9SK001出土の薩摩産土師器耳皿や9SK035出土の洛西産緑釉陶器など国内各地から土器が持ち込まれており、また長沙窯系青磁、越州窯系青磁など輸入陶磁器も比較的多く散見される。このほか在地系暗文土師器や茶色土層からは鉄製の鍵や翡翠とみられる玉石など特殊な遺物も出土している。また遺物を多く出土する遺構もあり、付近での消費活動が盛んであったことが窺える。

Fig.10-1　御笠団印出土地周辺遺跡 第10次調査遺構全体図（1/200）

Fig.10-2　御笠団印出土地周辺遺跡 第10次調査遺構配置図（1/200）

(3) 御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査

1. 層位(Fig.10-3)

本調査区の基本的な地盤は第7・9次調査と同様、礫を含む堆積層であり、この上に遺構が展開している。この遺構面を覆う層を「茶色土層」として遺物取り上げをおこなっているが、遺構面を覆う層の一つとみられるものが「黒茶色土層」である。「黒茶色土層」が検出された調査区中央西側付近は、今回報告の調査区の中で最も遺構面の標高が低い部分であり、このため遺構面を覆う堆積層の残りが比較的良好で付近には複数の堆積層が確認されている。「黒茶色土層」もその一つであり、調査区のさらに西側に広がって遺構面を覆っている可能性がある。ここから大宰府編年Ⅶ期頃の遺物が出土しているが、検出範囲が狭いため時期の決定は難しい。堆積時期はさらに下る可能性がある。

なお調査区南西側には、「暗褐色土層」が部分的に広がっている。この中には8c後半から9世紀前半頃を中心とした時期の遺物を含んでいる。

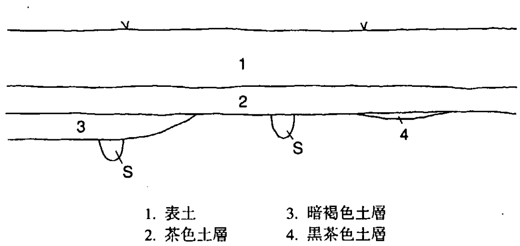


Fig.10-3 第10次調査 層位模式図

2. 遺構

(1) 溝

10SD005(Fig.10-4)

調査区北端を西流する流路跡である。さらに北を流れる大谷川に平行して流れているようである。この西の延長は第9次調査で検出した9SD130である。埋土中には7c末~8c代の遺物が多くみられるものの、9c後半前後の遺物も散見される。第9次調査でも同様の所見を得ており、平安時代前期に基本的には埋没しているものと考える。

10SD090(Fig.10-1)

調査区の中央の東西溝群の一つである。幅約0.5m、深さ0.1~0.15m、溝の振れはG.N.-92°21′58″-W(溝下場任意中軸)。本溝は第9次調査の9SD080と同遺構である。破片資料が多いものの、大宰府編年Ⅶ~Ⅷ期頃とみられる遺物等を出土している。

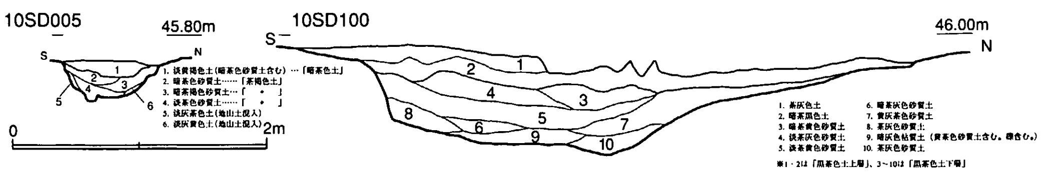


Fig.10-4 10SD005・10SD100土層図(1/60)

10SD100（Fig.10-4、Pl.18）

調査区中央を東西に走行する大溝である。幅最大4.6m、深さ0.35～0.7mを測り、特に西側については、南北にテラス状の段をもち、中央部が一段低くなっている。埋土は黒茶色系の土であるが、テラスの上下で分層し遺物を取り上げている。なお、本溝は第9次調査の9SD085と同遺構で、ここからは大宰府編年Ⅸ期頃の遺物が多く出土している。

(2) 掘立柱建物

10SB205（Fig.10-5）

整理段階で確認したもので、調査区の北部東側に位置する。4×2間側柱の東西棟で、南北4.3m、東西7.1m。南北軸はG.N.-2° 17′ 26″ Eに向く。遺構の東半部は第9次調査に展開する。これらの柱穴からは7c末～8c前半を中心とした時期の遺物が出土しており、廃絶時期は8c以前

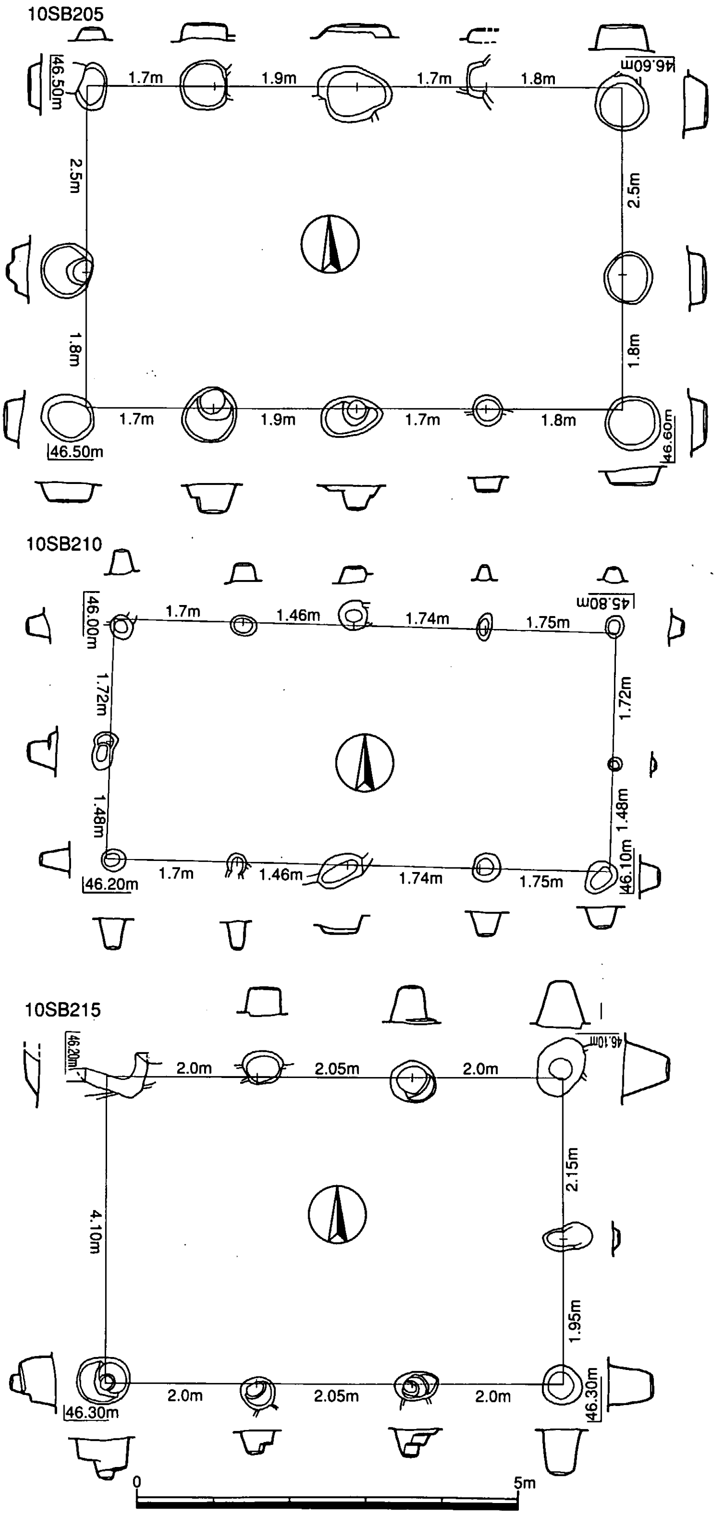


Fig.10-5　10SB205・10SB210・10SB215実測図（1/100）

とみられる。

10SB210（Fig.10-5）

整理段階で確認したもので、調査区の南部西側に位置する。4×2間側柱の東西棟で、南北3.2m、東西6.65m。南北軸はG.N.-0°53′01″Eに向く。これらの柱穴からは８ｃとみられる遺物が出土しており、廃絶時期は８ｃ以前とみられる。

10SB215（Fig.10-5）

整理段階で確認したもので、調査区の南部西側に位置する。3×2間側柱の東西棟で、南北4.1m、東西6.05m。南北軸はG.N.-1°36′49″Eに向く。これらの柱穴からは平安時代前期頃とみられる遺物が出土しており、廃絶時期はこれ以前とみられる。

(3) 竪穴住居

10SI095（Fig.10-6、Pl.）

調査区中央東側で検出した。平面プランは長方形を呈す。規模は2.7×3.6m。カマドは南東隅に東向きに付設する。埋土は茶褐色土に黄色土ブロックが混じったもので、一応上下層に分層したが、基本的には同一層である。ここからは７ｃ末頃の遺物を出土しており、関連するとみられる小穴からも同時期の遺物を出土している。

10SI105（Fig.10-6、Pl.19）

調査区中央で検出した。平面プランはやや崩れた長方形を呈す。規模は約3.98×3.0m、深さ約0.2m。カマドは持たないが、ベッド状の段を北東および北西に付設する。埋土は茶褐色土に黄色土ブロックが混じったもの

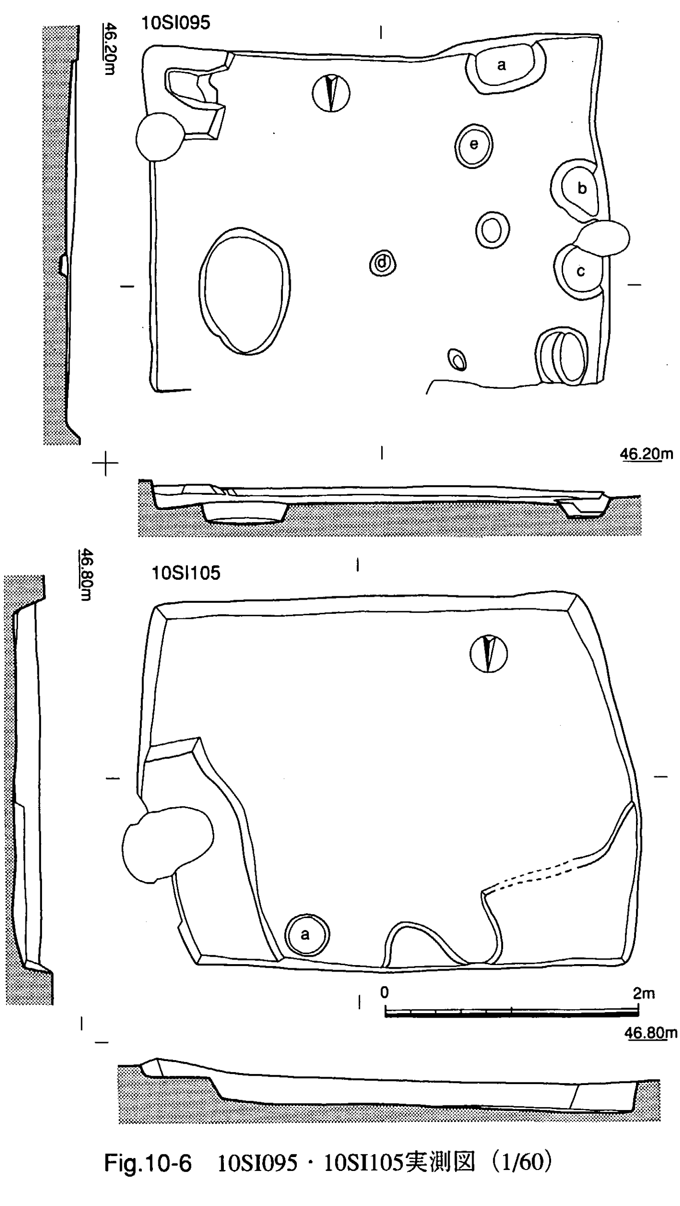


Fig.10-6　10SI095・10SI105実測図（1/60）

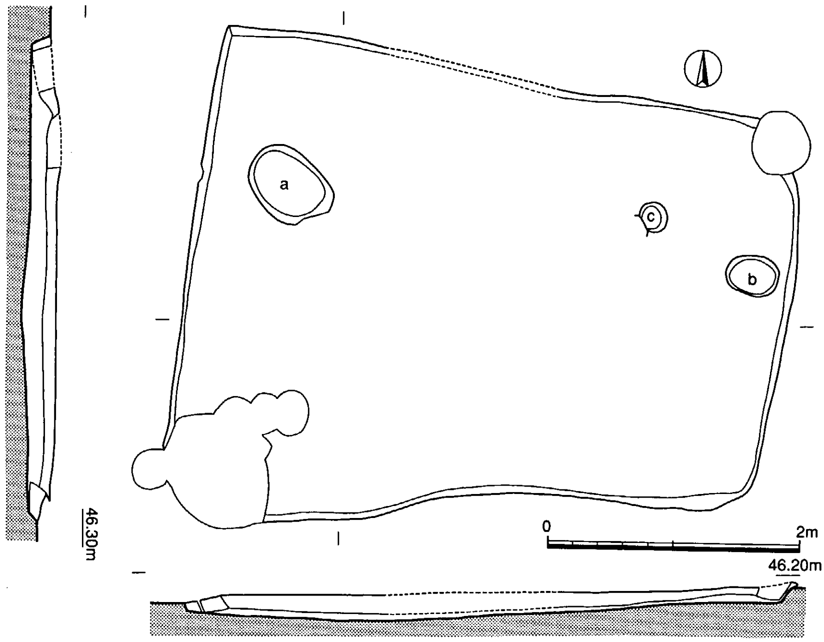


Fig.10-7　10SI115実測図（1/60）

で、一応上下層に分層したが、基本的には同一層である。茶黄色土を除去後、住居中央部には明橙色土および暗赤色土が堆積していた。これがカマドである可能性もあるが、土が堆積しているのみで断定はできなかった。埋土中の遺物は少ないものの7ｃ代の遺物が出土しており、埋土に切り込む10SX229などの小穴からも7ｃ後半頃の遺物が出土している。

10SI115（Fig.10-7、Pl.19）

調査区中央で検出した。平面プランは崩れた長方形を呈す。規模は3.9×4.78m、深さ0.1～0.16m。カマドは持たない。埋土は茶褐色土に黄色土ブロックが混じったもので、一応上下層に分層したが、基本的には同一層である。ここからは7ｃ末頃の遺物が出土している。

10SI150（Fig.10-8、Pl.20）

調査区北側で検出した。10SI200の東隣に位置する。平面プランはやや崩れた方形を呈す。規模は4.02×3.54m、深さ約0.1m。西辺の中央にカマドを付設する。埋土からは小田編年Ⅳ型式を中心とした遺物が出土している。

10SI200（Fig.10-8、Pl.20）

調査区北側で検出した。10SI150の西隣に位置する。平面プランはやや崩れた方形を呈す。規模は約3.5×4.0m、深さ約0.1～0.15m。カマドは持たないが、S-200ａの埋土中に橙色土や炭の細片が検出されており、火を扱う行為が行われた可能性はある。出土遺物は破片資料ばかりで図化できなかったが、口縁部にかえりを有す須恵器蓋1が出土していることから、埋没時期を7ｃ後半に求めることも可能といえる。

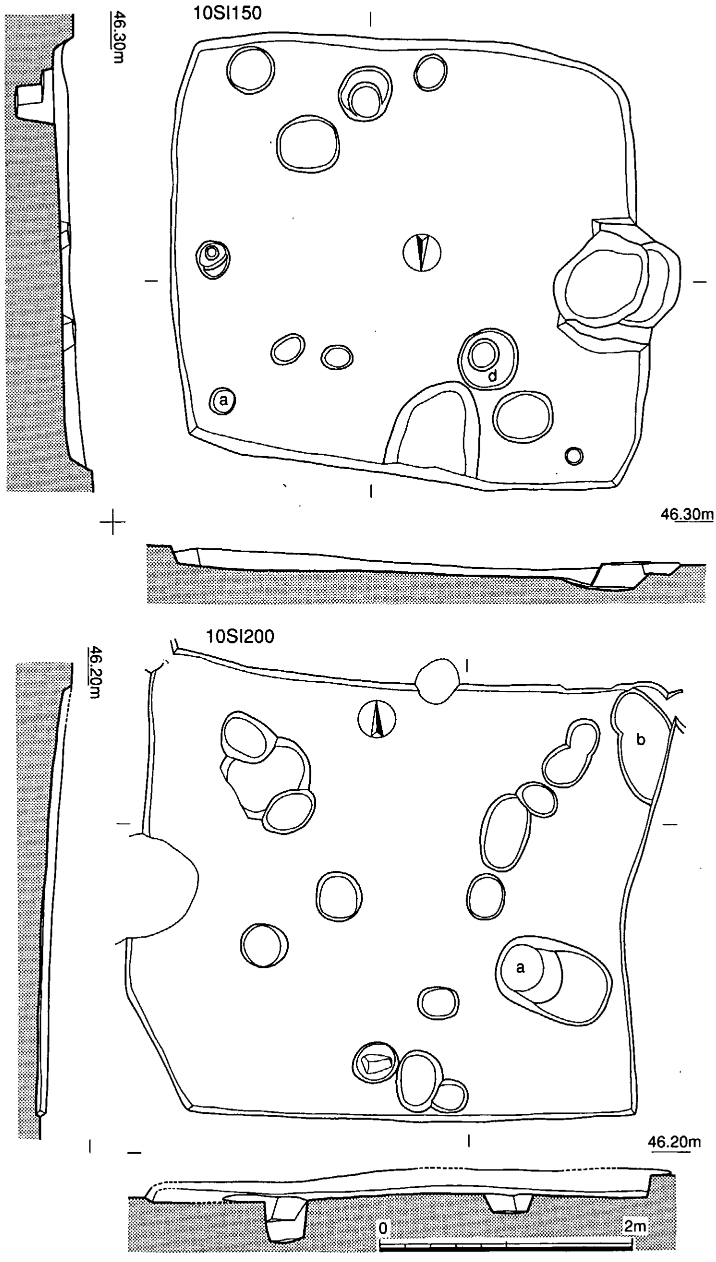


Fig.10-8　10SI150・10SI200実測図（1/60）

(4) 井戸

10SE075（Fig.10-9、Pl.21）

調査区南側で検出した。平面プランは卵形で、規模は2.65×3.22m。これを掘り下げると瓦・石が組まれた状態で検出された。瓦・石組みの規模は55～90cm×85cm程度。組み方は現地表面から約25～30cmは石組みを（1段目）、その下は瓦組みを約35～40cmの厚さで施し（2段目）、その下は瓦・石両方で組んだものを約15cmの厚さで施し（3段目）、さらにその下は石組みを施す（4段目）。4段目付近は平面プラン長方形を意識しているが、組み方が悪かったのか、上面になると形が崩れはじめ、2段目の東側付近は丸みをもたせている。使用された瓦は完形品はなく、ほとんど破片である。また、この中には瓦焼成時に溶融し接合した瓦がかなり使用されており、近くの瓦窯から不要品を持ってきて使用したものとみられる。井戸枠等は検出していないことから、これらの瓦・石組みが井戸枠として使用されたとみられる。埋土中からは大宰府編年Ⅸ期頃の遺物が出土している。なお湧水のため危険と判断し、井戸最下部までは検出していない。

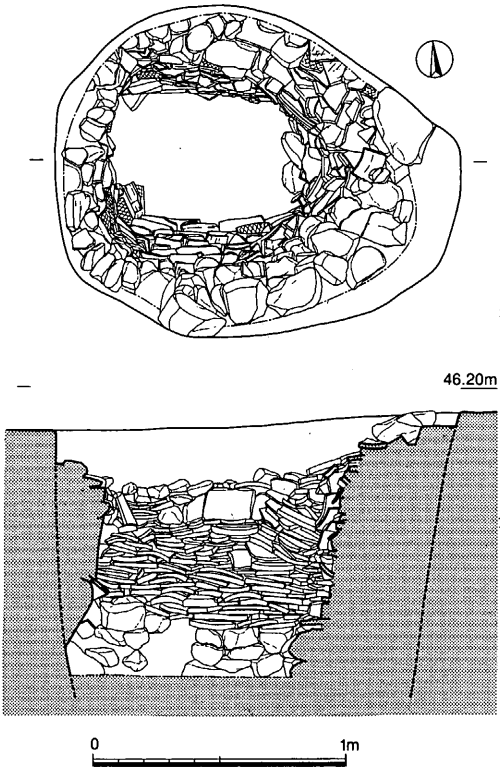


Fig.10-9　10SE075実測図（1/30）

（5）土坑

10SK010（Fig.10-10）

調査区中央の東側で検出した。規模は1.8×1.2m、深さ約0.5mで平面プラン楕円形を呈す。地山の礫が大量に廃棄されている。ここからは底部にやや丸みを有す土師器椀cが出土しており、大宰府編年Ⅷ～Ⅸ期に埋没したものとみられる。この他、老司Ⅱ式の軒平瓦等も出土している。

10SK015（Fig.10-1）

調査区北部の東側で検出した。東側は第9次調査区内で不明瞭な点が多いが、およそ2.5×1.8mほどの規模になるとみられる。9SI550および10SX110に切り込んでおり、ここから小田編年Ⅳ～Ⅴ型式の遺物を出土している。

10SK020（Fig.10-10）

調査区北部の東側で検出した。規模は1.25×0.85m、深さ0.1m程度である。10SI115に切り込む遺構で、8c代の遺物が出土している。

10SK030（Fig.10-1）

調査区北部の東側で検出した。規模は2.5×1.4m、深さ0.25m程度である。10SI115に切り込む遺構で、8c代の遺物が出土している。

10SK035（Fig.10-10）

調査区北部の西側で検出した。規模は直径0.5m、深さ0.2m程度の円形を呈した焼土坑である。底部に炭が堆積し、床面には小穴が掘削される。ここから平安前期の遺物が出土しているが、中に須恵器の円面硯も含まれている。なお検出した炭化物は広葉樹（散孔材）であることが樹種同定で判明している。

10SK040（Fig.10-11、Pl.22）

調査区中央の東側で検出した。規模は0.92×0.82cm、深さ0.2m程の隅丸方形を呈した焼土坑で、底部に炭が堆積している。炭層の上には平瓦が凹面を上にして出土している。8c代の遺構とみられる。なお検出した炭化物は広葉樹であることが樹種同定で判明している。

10SK045（Fig.10-1）

調査区中央の東側で検出した。規模は径0.9m、0.1～0.15m程度で不定形を呈す。炭を多く含

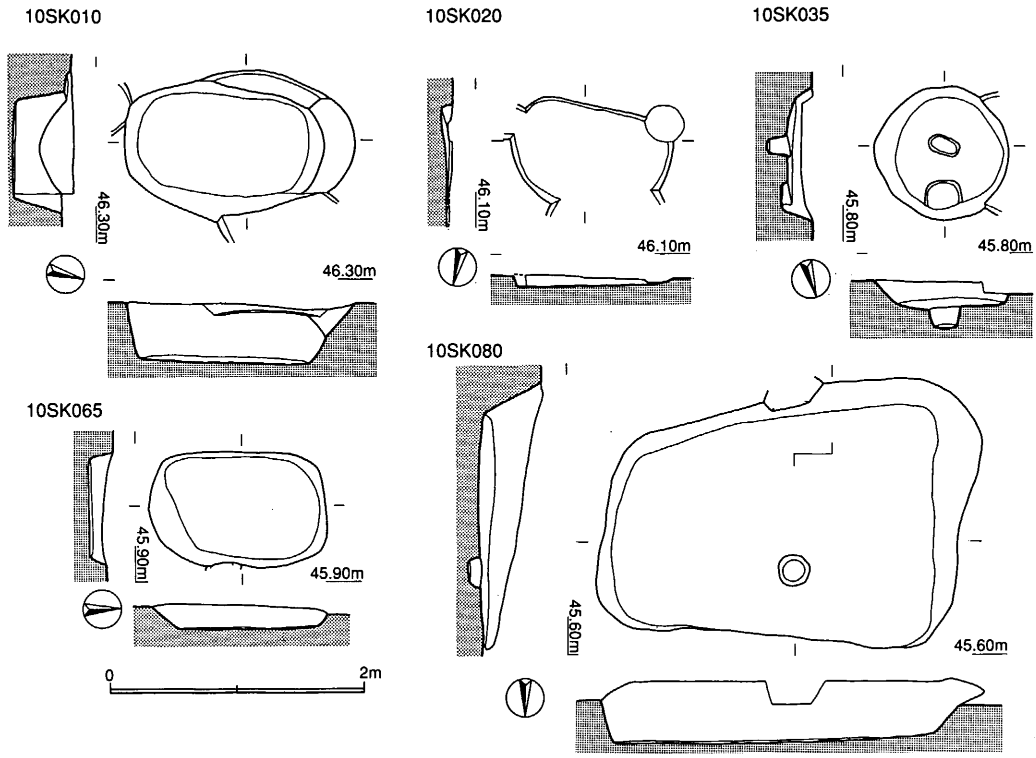


Fig.10-10　10SK010・10SK020・10SK035・10SK065・10SK080実測図（1/60）

む埋土が堆積しており、床面は小穴が複数みられる。

10SK050（Fig.10-1）

調査区中央の東側で検出した。規模は1.4×1.05m、深さ0.4m程度の不定形を呈す。炭を多く含む埋土が数層に分かれて堆積している。なお検出した炭化物はクリ近似種であることが樹種同定で判明している。

10SK065（Fig.10-10）

調査区の南西部で検出した。規模は1.4×0.9m、深さ約0.2m。底部に炭が堆積している。9～10ｃの埋没とみられる。

10SK080（Fig.10-10、Pl.）

調査区南西部で検出した。一部が暗褐色土層の下から検出されている。規模は2.8×2.05m、深さ最大0.45m。埋土中には炭層や焼土が数層に分かれて堆積しており廃棄土坑として利用していた可能性もある。ここからは８世紀前半～中頃にかけての遺物が出土している。

10SK196（Fig.10-1）

調査区北部の東側で検出した遺構である。規模は1.4×0.75m、深さ約0.2m。

10SK377（Fig.10-1）

調査区南部の中央で検出した遺構である。規模は2.7×1.45m、深さ約0.25m。

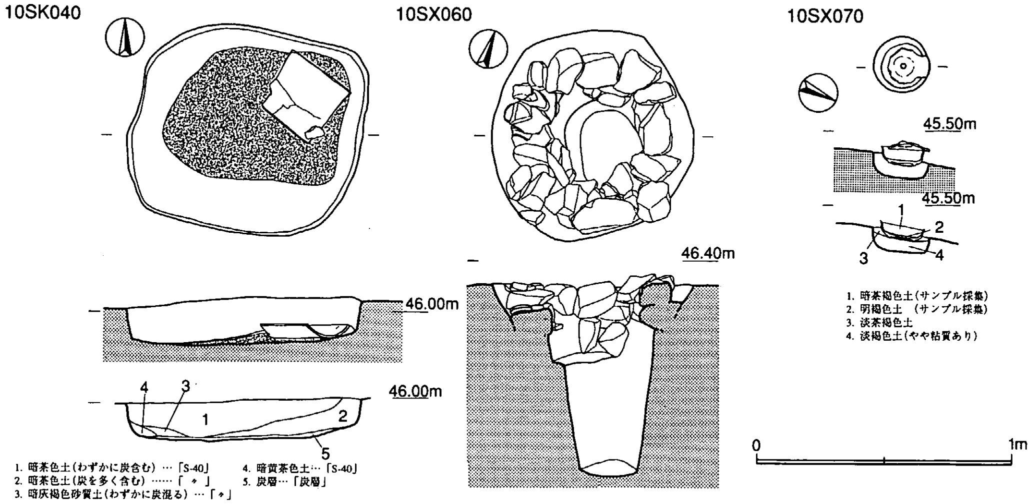


Fig.10-11 10SK040・10SX060・10SX070実測図 (1/30)

(6) その他の遺構

(小穴関連)

10SX060 (Fig.10-11、Pl.22)

調査区南部の西側で検出した小穴である。規模は0.8×0.85cmで平面プラン円形を呈す。一段テラス状の段を儲け、中央部のみ円形に掘り下げている。この部分は深さ0.75mを測る。テラス状の段の上には、中央の掘り下げ部分を囲むように10〜15cm前後の礫を並べている。礫は方形に並べられている。

10SX070 (Fig.10-11、Pl.23)

調査区南西部の暗褐色土層の除去後に検出された小穴である。径22cm、深さ約18cm程度で、円形プランを呈す。この穴にちょうど収まるように須恵器坏が蓋をした状態で出土した。埋納祭祀関連の遺構か。

(竪穴住居関連)

10SX110 (Fig.10-1)

調査区の北側東寄りで検出した平面プラン方形を呈す遺構である。埋没後9SI550や10SK015などにかなり破壊されており詳細は不明である。なお埋土中から淡黄色土を検出しており、これがカマドと考えると本遺構が竪穴住居であったことも考えられなくもないが、ここではその可能性を述べるにとどめる。

10SX179・181・182・183 (Fig.10-1)

調査区の北側で検出したたまり状遺構である。10SX179除去後に10SX181・182の小穴等および10SX183を検出している。10SX182の埋土は焼土が含まれる橙色土であり、これがカマドであった可能性も考えられ、竪穴住居であったことも考えられなくもないが、ここではその可能

性を述べるにとどめる。ここからは小田編年Ⅴ型式とみられる遺物が出土している。

10SX229（Fig.10-1）

調査区中央で検出した10SI105に切り込む小穴群である。

（炉関連）

10SX055（Fig.10-1）

調査区南西端で検出したたまり状遺構である。規模は0.6×0.45m、深さ0.15m程度。炭が堆積している。南東側の10SX416からふいごの羽口が出土しており、炉の一部の可能性も考えられる。

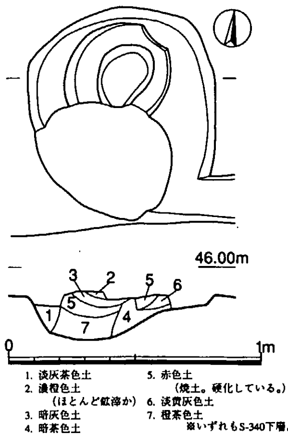


Fig.10-12　10SX340実測図（1/30）

10SX271（Fig.10-1）

調査区南西端で検出したたまり状遺構である。10SX055を覆っており、８ｃ後半～末頃の遺物が出土している。

10SX335（Fig.10-1）

調査区南西端で検出した遺構である。10SX340の西隣に位置する。上面に炭層があり、また土が赤変していることから、単に焼土坑とするより炉があった可能性を考える。

10SX340（Fig.10-12）

調査区南西端で検出した遺構である。0.75×0.85m程度のプランの中に焼土および鉄滓とみられる金属滓を含む橙色～赤色土が堆積している。精錬炉の一部とみられる。

10SX416（Fig.10-1）

10SX055の南東に掘削された小穴である。ここから羽口が出土しているが、出土状況からこの遺物は10SX055に伴うことも考えられる。

３．　遺物

Ａ．土器・陶磁器・鉄製品等（一部石製品含む）

（1）溝出土遺物

10SD005出土遺物（Fig.10-13、Pl.23）

（暗茶色土）

須恵器

皿ａ（1）　口径18.4cm、残存高2.8cm、底径16.0cm。底部外面はヘラ切り後ナデ、底部内面はナデを施す。胎土は0.5～1mm大の砂粒を少し含み、焼成・還元ともに良好。灰褐色を呈す。

土師器

坏ｃ（2）　底部が残存する破片である。底径9.5cm、器高2.0cm。全面に回転ナデが観察さ

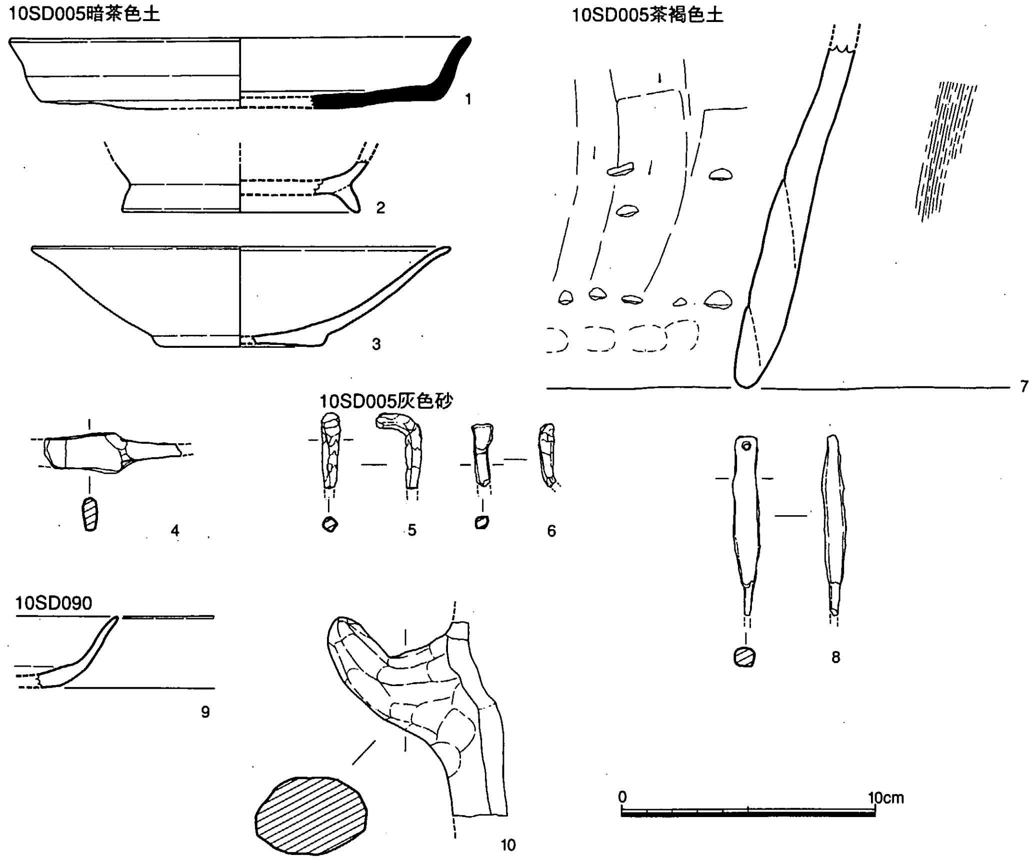


Fig.10-13　10SD005・10SD090出土遺物実測図（1/3）

れる。胎土は0.5mm大の砂粒を多く含み、焼成は良好。褐灰色を呈す。

緑釉陶器

坏（3）　口径16.7cm、器高4.0cm、底径6.6cm。摩耗により釉はほとんど残存していないが、釉は緑白色を呈す。胎土は0.5mm～1mm大の砂粒をわずかに含み、0.5～1mm大の茶褐色の粒子もわずかに含む。焼成はややあまい。黄白色を呈す。

鉄製品

刀子（4）　残存長5.5cm、幅1.4cm、厚さ0.6cm。刃部と柄部の境付近が残存している。X線撮影でここにくびれ部を確認しており、鏃の可能性もあるが、製品かどうかも不明であるため、ここでは刀子の未製品と考える。

（灰色砂）

鉄製品

釘（5・6）　5は残存高3.0cm、断面径0.5cm。6は残存長2.4cm、断面径0.5～0.6cm。

（茶褐色土）

土師器

甑（7）　甑とみられる底部の破片である。残存高13.6cm。摩耗しているが、内面はヘラケズリ、外面は刷毛目を施す。粘土紐を積み上げた状況が観察され、内面の粘土紐の接合部は所々隙間があいて孔が列に並んでいる。胎土は0.5mm大の砂粒を多く含み、2～4mmの小石も少し含む。焼成は良好。外面は黄褐色、内面は茶褐色～褐黄色を呈す。

鉄製品

不明製品（8）　残存長7.2cm、断面径0.8×0.8cm。先端に直径2mm程度の孔があいている。種別不明だが、鍵を解錠する道具の柄部で、孔は紐通し穴である可能性も考えておく。

10SD090出土遺物（Fig.10-13）

土師器

坏ａ（9）　口縁部が残存する破片である。残存高2.9cm。内外面とも摩耗により調整不明。焼成は良好で、淡灰黄色を呈す。

把手（10）　把手の断面径は3.1～4.4cm。いずれも指頭によるナデを施す。焼成は良好。黄褐色を呈す。古い遺物の混入か。

10SD100出土遺物

（黒茶色土）（Fig.10-14、Pl.24）

土師器

坏（1）　口縁部が残存する破片である。口径12.2cm、残存高3.3cm。内面底部にはナデを施す。焼成は良好で、黄灰色を呈す。

坏ｃ（2・3）　いずれも底部が残存する破片である。高台径6.4～8.7cm、残存高1.8～2.6cm。焼成は良好で、2は淡黄白色、3は褐灰色を呈す。

甕（4）　口縁部が残存する破片である。口径21.6cm、残存高9.0cm。やや内傾気味に立ち上がる胴部に大きく外反した短い口縁がとりつく。胴部外面は刷毛目を施したのち、胴部上部はナデを施す。胴部内面は工具によるとみられるナデの痕跡がみられる。胎土は0.5～1mm大の砂粒を多く含み、角閃石を含む。焼成は良好で、褐黄色を呈す。

黒色土器Ａ類

椀ｃ（5）　底部が残存する破片である。底径8.7cm、残存高2.4cm。内面にミガキｃが認められ、底部外面は切り離し後ナデを施す。内面は黒褐色、外面は淡黄褐色を呈す。

黒色土器Ｂ類

椀ｃ（6）　底部が残存する破片である。底径8.3cm、残存高2.8cm。内外面にミガキｃを施す。内外面とも黒褐色を呈す。

須恵質土器

鉢（7）　口縁部のみ残存する小破片である。残存高4.5cm。内外面とも回転ナデを施し、体

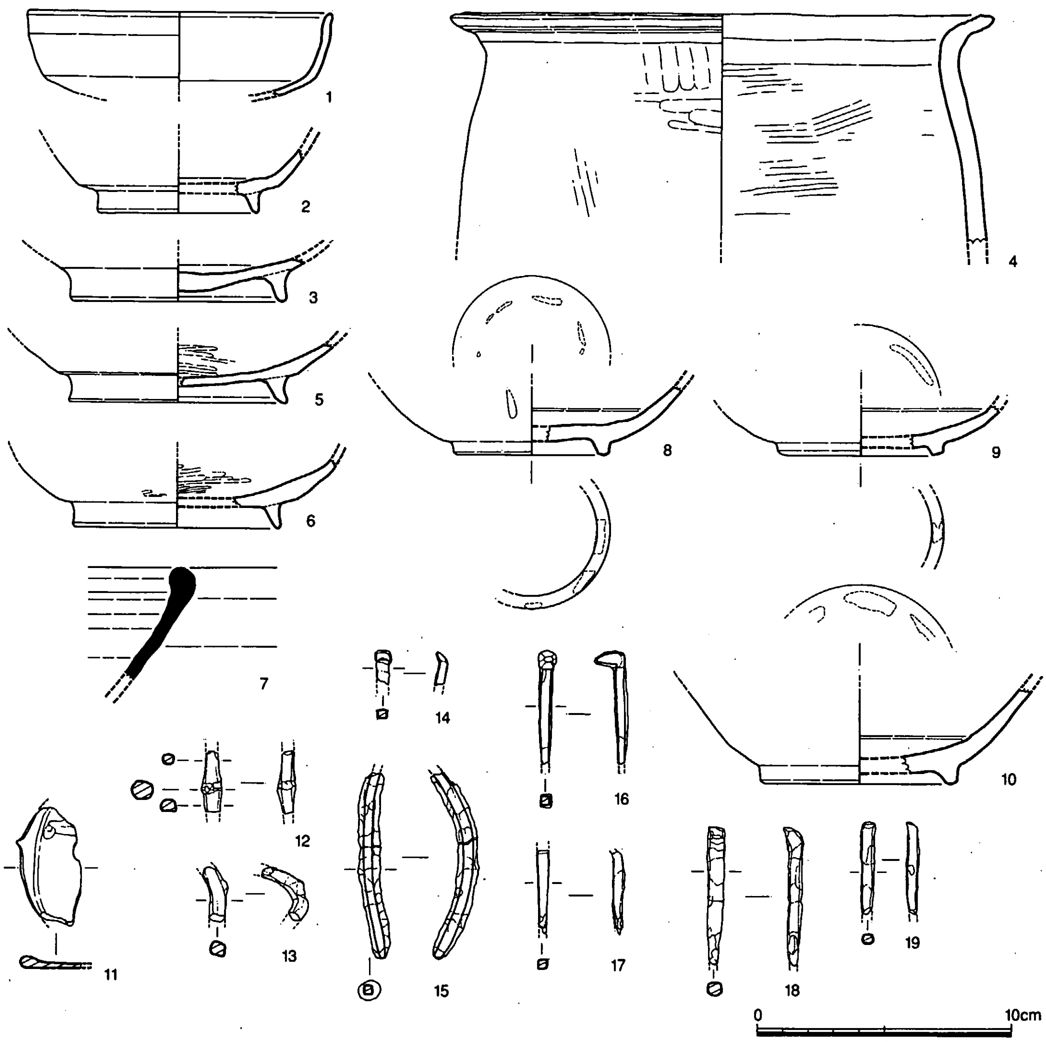


Fig.10-14　10SD100黒茶色土出土遺物実測図（1/3）

部外面の下半にナデを施す。胎土は0.5～1mm大の砂粒を含み、焼成・還元ともに良好。灰褐色を呈す。篠窯系。

越州窯系青磁

椀（8～10）　いずれもI-2類。底径6.2～7.8cm、残存高2.0～3.8cm。釉は全面施釉後、高台の畳付部のみふき取る。釉調は淡緑色～緑褐色で、9は光沢を有す。なお、8は輪花を有す。

金属製品

不明製品（11）　残存長4.7cm、残存幅2.6cm、厚み0.2～0.5cm。縁辺部に厚みを有することから、鏡の可能性も考えられる。なお、縁辺部に一ヶ所小さな突起があるが、これが製品の一部か、鋳造時に生じたバリかは不明。銅製とみられる。

鉄製品

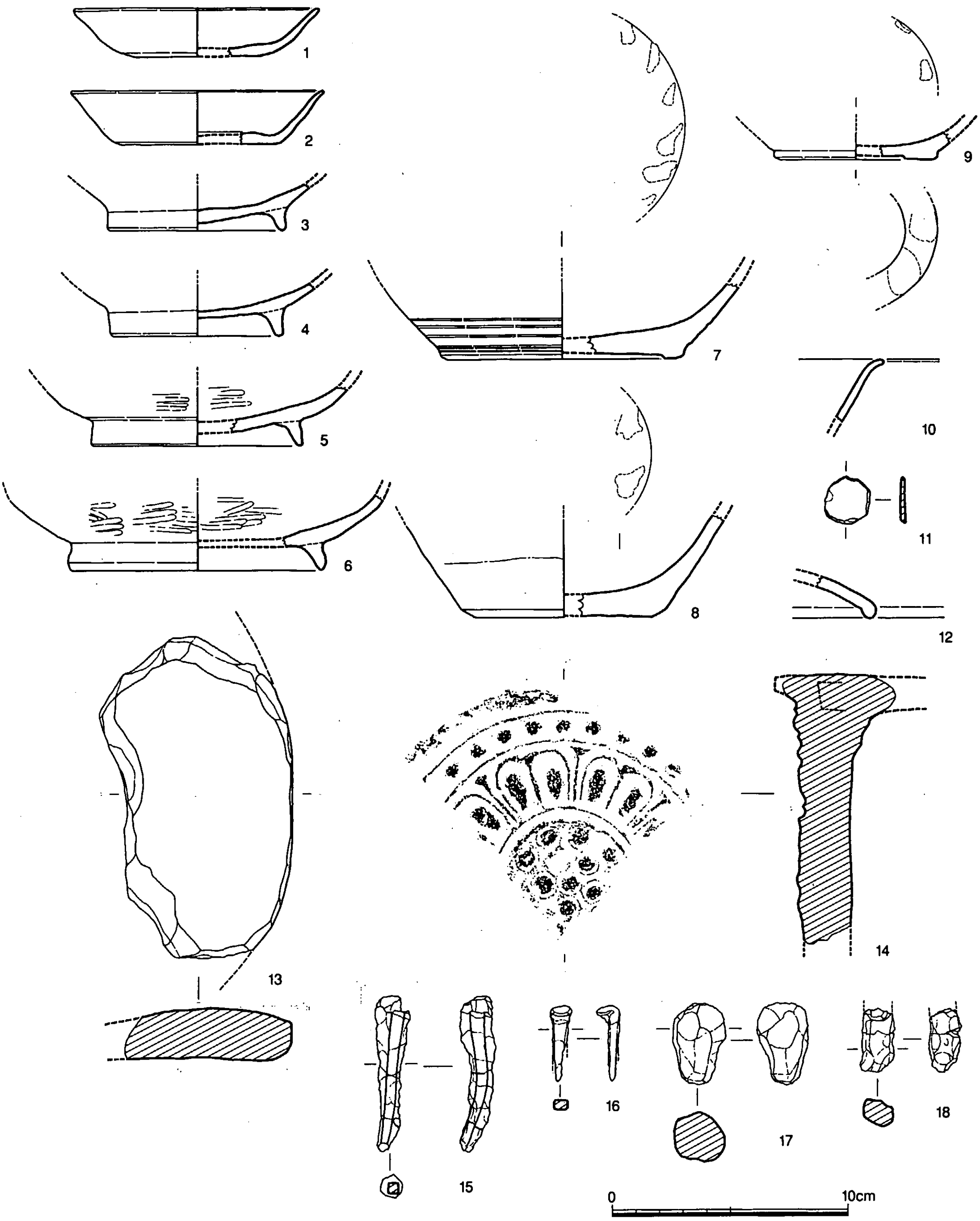


Fig.10-15　10SD100黒茶色土下層出土遺物実測図（1/3）

鏃？（12）　残存している中央部に膨らみを持つ資料である。残存長2.5cm、断面径0.5×0.5～0.9×0.9cm。ここでは鏃としたが、別の種別を検討する余地はある。

釘（13～19）　いずれも断面四角形である。14・16・18・19は頭部が残存している。

（黒茶色土下層）（Fig.10-15、Pl.25）

土師器

坏ａ（1・2）　いずれも小破片である。口径10.5～10.8cm。器高2.1～2.3cm。底径6.3～6.6cm。1は摩耗が著しいが、2は底部外面はヘラ切り後ナデ、底部内面はナデを施す。淡黄褐色～淡黄橙色を呈す。

椀ｃ（3・4）　いずれも底部が残存する破片である。底径7.4～7.6cm、残存高2.0～2.3cm。摩耗により調整不明だが、底部外面はヘラ切り痕が観察される。淡黄褐色を呈す。

黒色土器Ｂ類

椀ｃ（5・6）　底部が残存する小破片である。底径9.0～11.0cm、残存高2.5～3.4cm。内外面ともミガキｃを施す。5の底部外面はヘラ切りが観察される。焼成はややあまく、内外面とも黒褐色を呈す。

越州窯系青磁

椀（7～10）　7はI-2ａウ類。底径10.4cm、残存高3.5cm。外面底部は沈線状の条痕を施す。全面施釉後、高台畳付け部をふき取る。釉調は外面は黄味がかった緑灰色、内面は光沢のある緑灰色に発色する。8はI-5類。底径7.5cm、残存高4.2cm。体部下部～底部外面は露胎。底部を中心に回転ヘラケズリを施す。釉調は暗緑灰色に発色する。9はI-1類。底径7.0cm、残存高1.2cm。高台～底部にかけて露胎する。釉調は緑灰色に発色する。

メンコ状加工品（11）　I類の椀等を使用し、周りを打ち欠いて円形に形作っている。残存径1.9×2.0cm。厚さ0.2cm。釉は暗緑灰色に発色する。

陶器

蓋（12）　口縁部のみ残存する小破片である。残存高1.8cm。内外面とも回転ナデを施し、口縁端部は丸くおさめる。胎土は0.5～1mm大の砂粒を少し含み、焼成は良好。外面は暗茶灰色、内面は茶灰色を呈す。ここでは蓋としたが、別器種の可能性もある。

土製品

不明製品（13）　円盤状の製品の一部とみられる。図上で残存長13.8cm、残存幅8.2cm、厚さ2.3cm。胎土0.5～1mm大の砂粒を多く含み、2mm大の砂粒を少し含む。焼成は良好で、淡黄褐色を呈す。

瓦類

軒丸瓦（14）　瓦当面の一部が残存する。瓦当面の残存長は11.6cm。鴻臚館式。

鉄製品

釘（15・16）　15は全面錆に覆われているが、残存長6.7cm。16は残存長3.2cmで、頭部は直角に折れている。いずれも断面四角形を呈す。

鉄塊（17・18）　17は3.5×2.2×2.1cm。18は2.7×1.4×1.1cm。

(2) 掘立柱建物出土遺物

10SB205出土遺物 (Fig.10-16)

須恵器

蓋c3 (1) 口縁部が残存する小破片である。口径9.0cm、残存高2.7cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施し、つまみ接合に伴う回転ナデを施す。天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で、淡灰色～淡白灰色を呈す。10次調査S-202出土。

坏c (2・3) 2は口径10.9cm、器高3.3cm、底径7.2cm。底部外面はヘラ切り後ナデ、底部内面はナデを施す。9次調査S-464出土。3は底径9.7cm、残存高2.3cm。外面底部はヘラ切り、その他は摩耗して調整不明である。焼成・還元とも良好。断面は淡灰色～淡茶色、内外面は淡灰褐色～淡茶色を呈す。10次調査S-62出土。

土師器

坏c (4) 底径11.1cm、残存高3.3cm。底部外面はヘラ切り後ナデを、体部内外面はミガキaを施す。9次調査S-463出土。

甕a (5) 口縁部の破片である。残存高7.8cm。胴部外面は刷毛目、胴部内面はヘラケズリを施す。口縁部は摩耗により調整不明。胎土はきめ細かいものの、2mm以下の砂粒を多く含む。

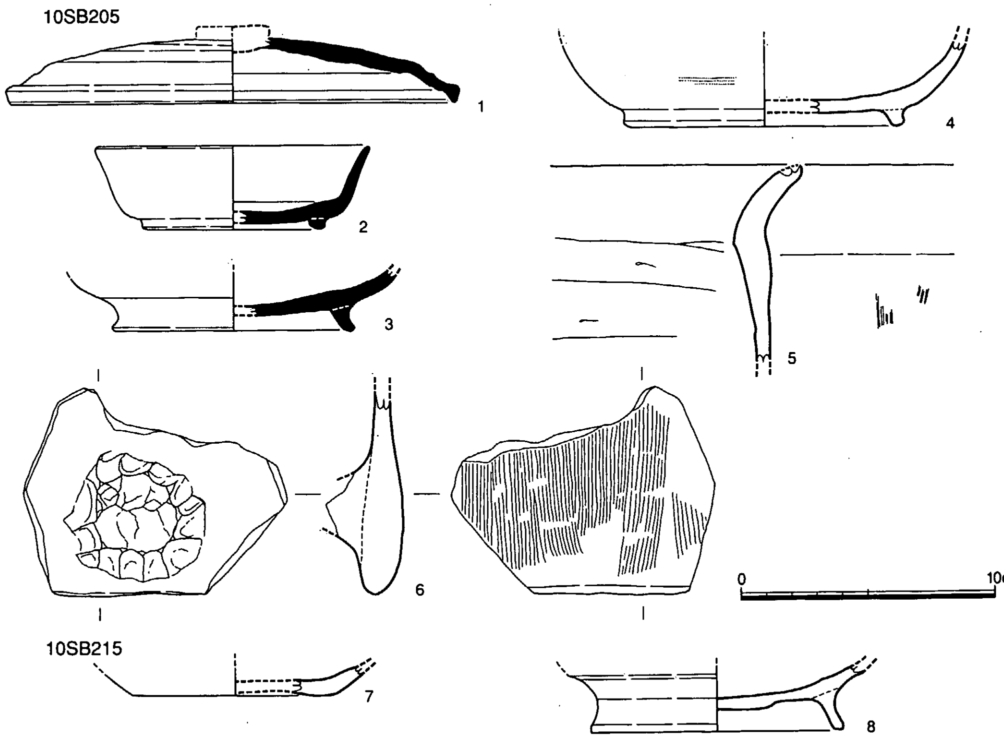


Fig.10-16 10SB205・10SB215出土遺物実測図 (1/3)

中には角閃石もわずかに含まれている。焼成はややあまく、内面は明茶橙色・外面は淡橙茶色を呈す。10次調査S-202出土。

甑（6）　底部の一部が残存する小破片で、底の穿孔部の一部が残存している。残存高10.0cm。外面は刷毛目、内面は摩耗により調整不明だが、穿孔部取り付け部分はナデを施す。胎土はややきめ細かく、3.5mmまでの砂粒を多く含む。焼成は良好。白茶色～淡褐色を呈す。9次調査S-62出土。

10SB215出土遺物（Fig.10-16）

土師器

坏a（7）　底部が残存する小破片である。底径8.6cm、残存高1.1cm。焼成があまいため摩耗が進んでいるが、底部外面はヘラ切りが観察される。淡白茶色を呈す。10次調査S-212出土。

椀c（8）　底部が残存する小破片である。底径9.8cm、残存高2.6cm。底部はやや丸みをもつ。焼成があまいため摩耗が進んでいるが、底部外面はヘラ切りが観察される。淡白茶色を呈す。10次調査S-212出土。

（3）竪穴住居出土遺物

10SI095出土遺物（Fig.10-17）

（茶黄色土下層）

須恵器

蓋1（1）　口縁部が残存する小破片である。残存高1.5cm。天内外面ともに回転ナデを施す。焼成・還元ともに良好で、灰青色を呈す。

高坏（2）　低脚の高坏である。残存高4.5cm、脚部底径11.4cm。脚部は回転ナデ、坏部の底部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好。断面は淡灰色～灰黒色、その他は黒灰色を呈す。

（10SB095ｂ）

須恵器

蓋1（3）　口縁部が残存する小破片である。残存高1.8cm。天井部外面はヘラ切り後ナデ、天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で、青灰色を呈す。

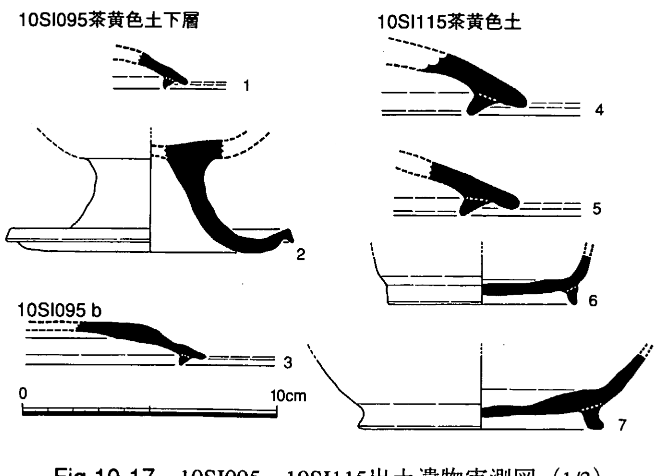


Fig.10-17　10SI095・10SI115出土遺物実測図（1/3）

10SI105出土遺物（Fig.10-18）

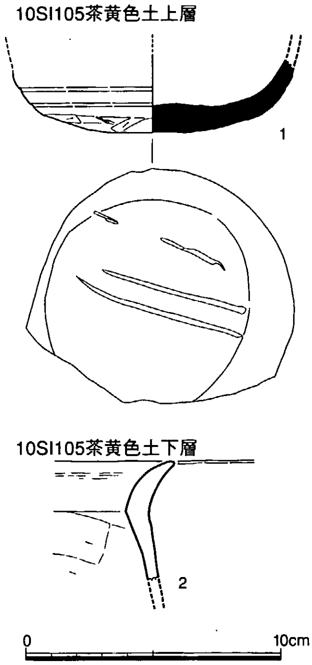


Fig.10-18　10SI105出土遺物実測図（1/3）

（茶黄色土上層）

須恵器

壺（1）　底部が残存する破片である。底径8.6cm、残存高3.2cm。底部外面は手持ちヘラケズリを施し、焼成前にヘラ記号を施す。胴部外面下端には沈線が２条巡っている。外面底部はナデを施す。焼成・還元ともに良好。暗青灰色～灰青色を呈す。

（茶黄色土下層）

土師器

甕（2）　口縁部が残存する破片である。残存高4.8cm。焼成がややあまく摩耗が進んでいるが、胴部内面はヘラケズリを施し、口縁部内面は刷毛目とみられる痕跡が確認される。胎土には角閃石を含む。焼成は良好。二次焼成を受けたようで、外面は明褐色を内面は褐色を呈す。

10SI115出土遺物（Fig.10-17、Pl.26）

須恵器

大蓋1（4・5）　大型の蓋の口縁部の破片である。4は残存高2.5cm。内外面とも回転ナデを施す。5は残存高2.2cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施す。いずれも、焼成・還元ともあまく、淡灰黄色を呈す。これらは同一個体の可能性もある。

坏c（6・7）　底部のみ残存する破片である。6は底径7.5cm、残存高2.0cm。7は底径9.6cm、残存高3.0cmで、胎土中に0.5～1mm大の砂粒が多く含まれることが特徴的である。いずれも底部外面はヘラ切り後ナデ、底部内面はナデを施し、灰青色を呈す。

10SI150出土遺物

（明茶色土）（Fig.10-19、Pl.26）

須恵器

坏蓋（1）　口径11.2cm、器高3.5cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施し、焼成前にヘラ記号を施す。焼成・還元ともに良好で、暗青灰色～淡灰青色を呈す。

土師器

甕（2）　口縁部のみ残存する破片である。残存高5.7cm。摩耗により調整不明。淡黄褐色を呈す。

（茶褐色土）

須恵器

坏蓋（3） 口径12.3cm、器高3.7cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施し、焼成前にヘラ記号を施す。焼成・還元ともに良好で、暗青灰色～淡灰青色を呈す。

坏（4） 口径12.4cm、器高3.2cm、底径7.4cm。底部外面はヘラ切りを施し、焼成前にヘラ記号を施す。その他の部分は焼成があまいため摩耗し調整不明。還元も不良で、淡灰褐色を呈す。

鉢（5） 口径14.0cm、器高6.4cm、底径8.4cm。底部外面は手持ちのヘラケズリを施し、その他は回転ナデを施す。底部内面は摩耗により調整不明。体部外面は沈線状の条痕がみられる。胎土は0.5～1mm大の砂粒を多く含み、焼成・還元ともに良好。灰茶色を呈す。

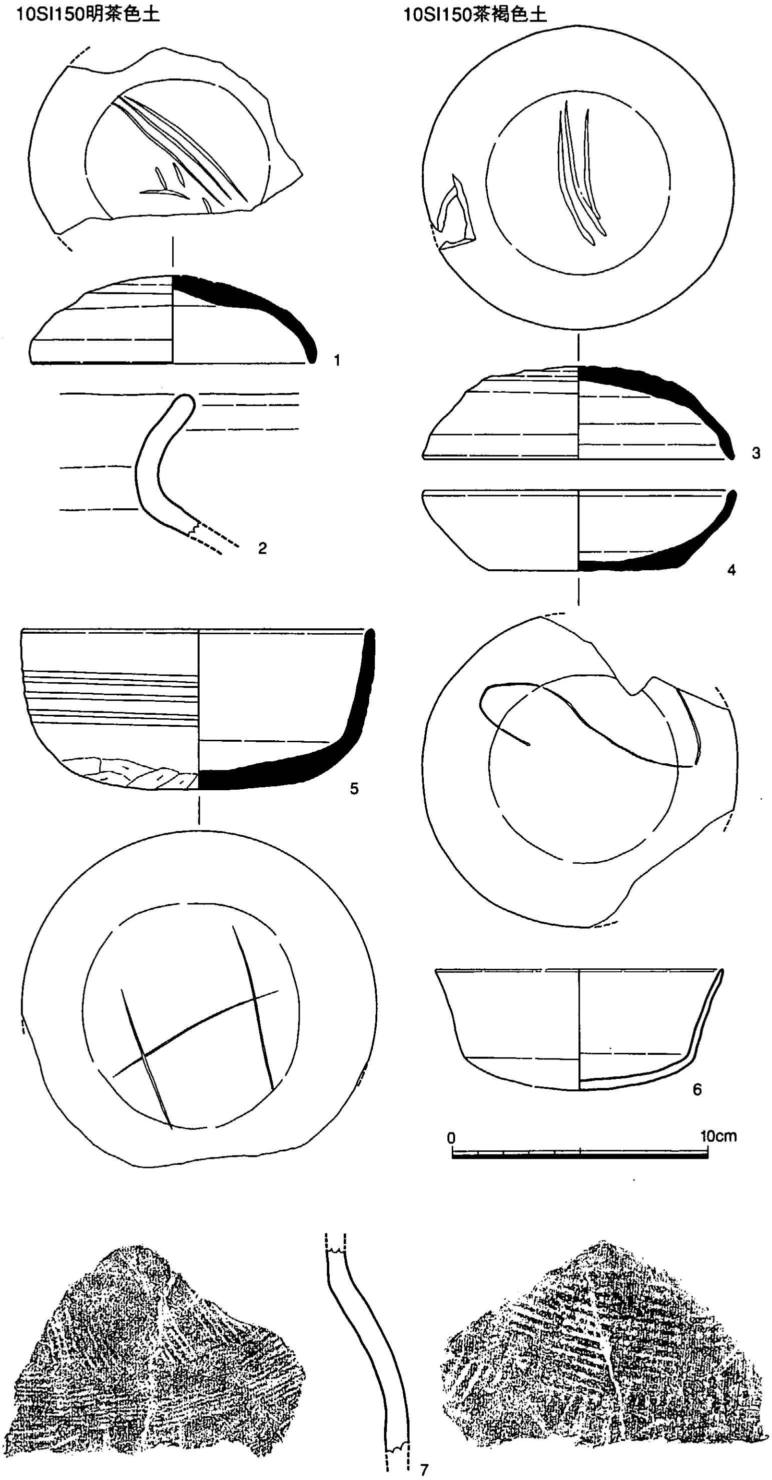


Fig.10-19 10SI150出土遺物実測図（1/3）

土師器

坏（6） 口縁端部をわずかに欠損するのみでほぼ完形である。口径11.3cm、器高4.8cm、底径9.0cm。内外面とも

摩耗により調整不明だが、底部は手持ちヘラケズリの可能性もある。胎土は0.5～1mm大の砂粒を少し含む。焼成は良好で黄橙色を呈す。口縁部の一部には黒斑がみられる。なお器種は皿bとすべきかもしれないが、ここでは坏として報告する。

製塩土器

煎熬土器（7）　胴部の小破片である。残存高8.0cm。外面は格子叩き、内面は平行叩きを施す。胎土は0.5～1mmの砂粒および2～3mmの小石を多く含む。焼成は良好で、淡黄褐色を呈す。

（10SI150ｂ）（Fig.10-20）

須恵器

坏身（1）　口径11.0cm、残存高2.4cm。内外面とも回転ナデを施す。焼成・還元ともに良好。淡灰青色～淡灰褐色を呈す。

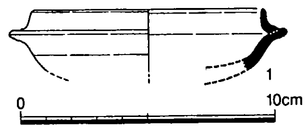


Fig.10-20　10SI150b
出土遺物実測図（1/3）

10SI150最終埋没土（10SX025）出土遺物（Fig.10-21、Pl.27）

須恵器

坏蓋（1）　口径12.7cm、残存高4.1cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施し、焼成前にヘラ記号を施す。天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともやや不良で、淡黄白色～淡灰白色を呈す。

坏身（2・3）　2は口径11.2cm、器高2.9cm、底径6.9cm。3は口径11.2cm、器高3.3cm、底径5.8cm。いずれも底部外面はヘラ切り後ナデを施し、焼成前にヘラ記号を施す。底部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好。灰青色～淡灰青色を呈す。

鉢（4・5）　4は口径9.0cm、器高4.2cm、底径7.8cm。体部外面下半には沈線を巡らす。底部外面は手持ちのヘラケズリを施し、焼成前にヘラ記号を施す。胎土は0.5～1mm大の砂粒を多く含み、焼成・還元ともに良好。淡灰青色～暗灰青色を呈す。5は坏蓋の可能性もあるが、底部と体部の境の立ち上がりが急であることから鉢と判断した。残存高2.9cm。体部外面には沈線を巡らすとみられる。底部外面は回転ヘラケズリを施し、焼成前にヘラ記号を施す。胎土は0.5～1mm大の砂粒を多く含み、焼成・還元ともに良好。淡灰青色を呈す。

椀？（6）　口縁部のみ残存する小破片である。残存高5.2cm。内外面とも回転ナデを施す。胎土は0.5mm大の砂粒を多く含み、焼成・還元ともに良好。暗青灰色を呈す。

壺（7）　底部が残存する破片である。残存高6.8cm。底径は約10cm程度か。焼成・還元とも良好で、暗灰青色を呈す。

小壺（8）　口径5.8cm、器高4.6cm、底径5.6cm。口縁部外面には条線が2～3周巡る。底部外面は摩耗により調整不明、底部内面はナデを施し、その他は回転ナデを施す。胎土は0.5mm大の砂粒をわずかに含む。焼成は良好で還元はあまり進まず、灰白色を呈す。

土師器

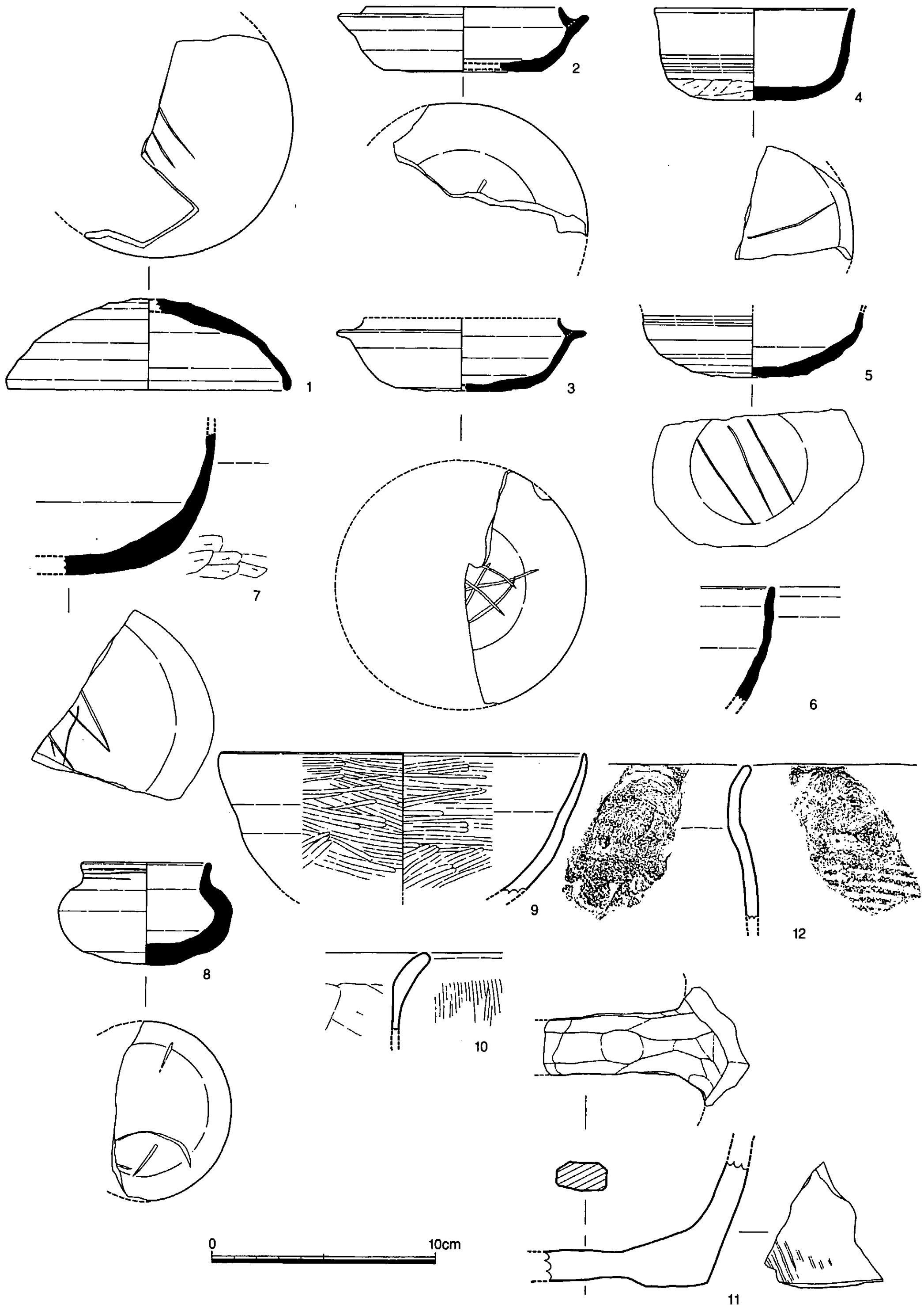


Fig.10-21　10SI150最終埋没土（10SX025）出土遺物実測図（1/3）

椀（9）　口縁部～体部が残存する破片である。口径16.5cm、残存高6.2cm。口縁部はヨコナデ、その他の内外面にはミガキｃを施す。胎土は微細砂粒を多く含み、0.5～1mm大の砂粒を少し含む。焼成は良好。内外面とも橙灰色を呈し、体部外面には黒斑が一部みられる。

甕ａ（10）　口縁部が残存する小破片である。残存高3.5cm。胴部外面は刷毛目、胴部内面はヘラケズリ、口縁部はヨコナデを施す。胎土は0.5～1mm大の砂粒を多く含み、焼成は良好。外面は茶褐色、内面は褐灰色を呈す。

甑（11）　甑の胴部および底部の穿孔部の一部とみられる。残存長9.2cm、残存高5.6cm。胴部外面は刷毛目を、穿孔部はヘラケズリで整形を施す。胎土は0.5～1mm大の砂粒を多く含み、焼成は良好。黄橙色を呈す。なお甑の底径は約30cm前後になると推定される。

製塩土器

煎熬土器（12）　口縁部～胴部の一部が残存する破片である。残存高6.9cm。器面の摩耗が進んでいるが、胴部外面は格子叩きを、胴部内面は平行叩きを施し、その他はヨコナデを施すとみられる。胎土は2～4mm大の砂粒を多く含み、焼成は良好。口縁部は褐黒色、その他は褐黄色を呈す。

(4) 井戸出土遺物

10SE075出土遺物（Fig.10-22～10-28、Pl.27）

（茶灰色土）

土師器

小皿ａ（1・2）　口径11.0cm、器高1.95～2.1cm、底径7.5～8.1cm。底部はヘラ切り。焼成は良好だが、内外面とも摩耗している。1は淡橙茶色、2は白茶褐色～白黄茶色を呈す。

小皿ｃ（3）　口径11.5cm、器高2.1cm、底径6.2cm。底部はヘラ切り後、板状圧痕を施す。焼成は良好だが、内外面とも摩耗している。白黄茶色～淡茶色を呈す。

小椀ｃ（4）　ほぼ完形で残存する。口径8.8cm、器高3.6cm、底径5.1cm。底部外面はヘラ切り、底部内面はナデを施す。焼成は良好。白茶色～淡褐色を呈す。

椀ｃ（5）　底部が残存する破片である。底径9.25cm、残存高3.1cm。焼成は良好だが、内外面とも摩耗している。白茶色～淡黄茶色～暗灰褐色を呈す。

（炭層）

土師器

小皿ａ（6～8）　口径11.0～11.6cm、器高1.9～2.3cm、底径7.8～8.0cm。6・7は焼成があまいため摩耗して調整不明。8は底部外面はヘラ切り後ナデを施し、底部内面はナデを施す。いずれも白茶色～淡茶色を呈す。

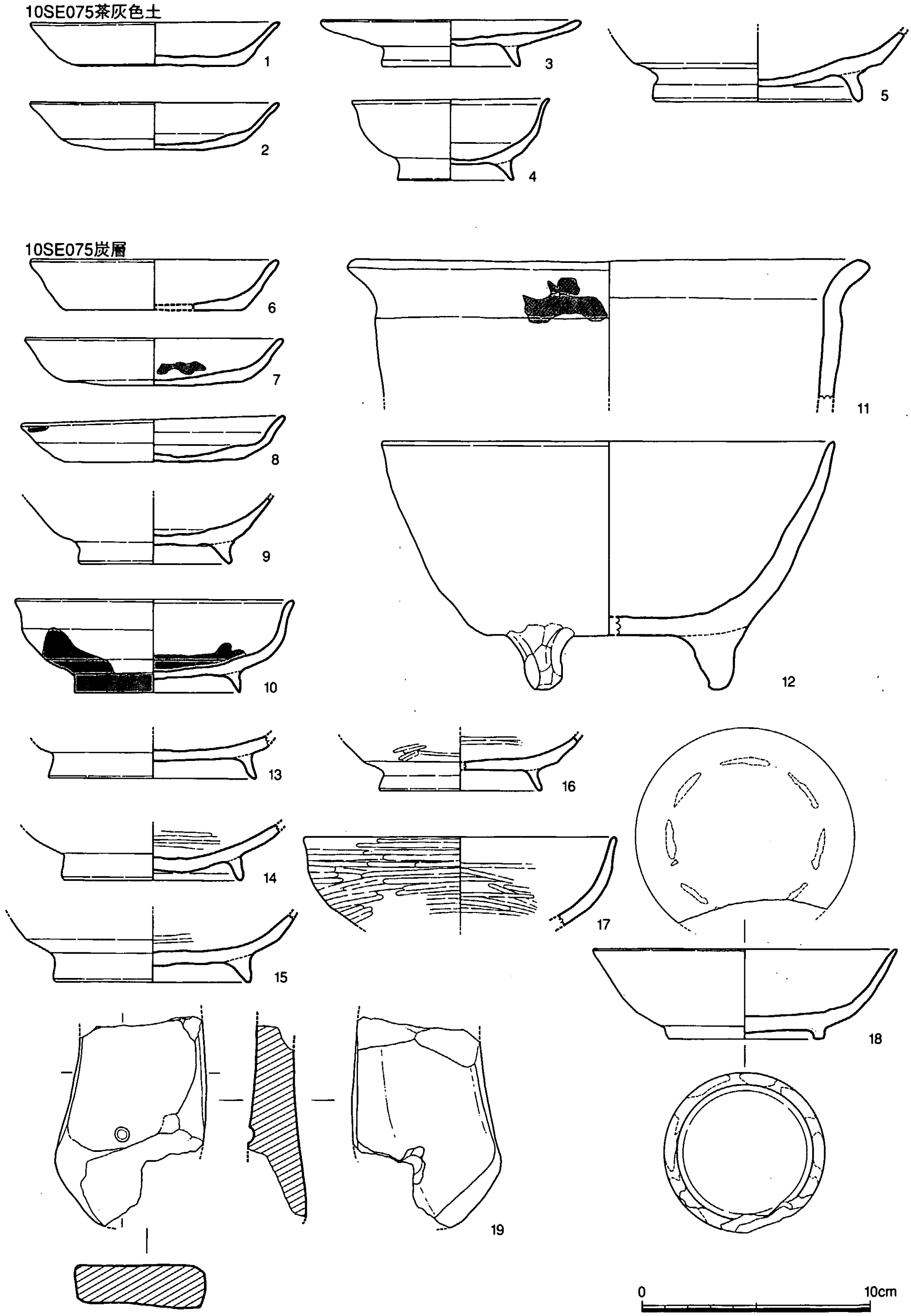


Fig.10-22　10SE075茶灰色土・炭層出土遺物実測図（1/3）

坏ｃ（9）　底部が残存する。底径6.8cm、残存高2.95cm。底部外面はヘラ切り後ナデを施す。摩耗が進んでおりその他は調整不明。淡茶色を呈す。

椀ｃ（10）　口径12.3cm、器高4.2cm、底径7.3cm。体部は丸く口縁部はやや外反している。摩耗が進んでおり調整不明な部分が多いが、底部外面はヘラ切り後ナデを施す。白茶色～淡茶色を呈し、内外面には黒斑もみられる。

甕（11）　口縁部が残存する破片である。口径23.0cm、残存高6.1cm。胴部外面は工具によるとみられる強めの縦方向のナデを施し、胴部内面はヘラケズリとみられる。胎土には砂粒をやや多く含む。淡茶色～暗灰茶色を呈し、二次焼成により外面は赤茶色～黒色を呈し、口縁部外面に煤が付着している。

脚付鉢（12）　一脚のみ残存する破片である。口径20.0cm、残存高11.0cm、底径11.4cm。脚は三脚ないしは四脚になるとみられる。焼成があまいため内外面とも摩耗が進み調整不明。胎土のきめは細かく、2mmまでの砂粒をわずかに含む。淡茶色～灰褐色を呈す。

黒色土器Ａ類

椀ｃ（13～15）　いずれも底部が残存する破片である。底径8.0～9.1cm、残存高1.9～3.0cm。焼成良好なものもあるが、摩耗が進んでいる。内面はいずれもミガキｃを施すようである。底部外面は14・15はヘラ切りが確認される。外面は淡茶色～灰褐.色、内面は黒色を呈す。

黒色土器Ｂ類

椀ｃ（16・17）　16は底部が残存する破片である。底径7.2cm、残存高2.4cm。底部はヘラ切り、内外面はともにミガキｃを施し、暗灰色～黒色を呈す。17は口径13.8cm、残存高4.0cm。内外面とも丁寧なミガキｃを施し、灰黒色～黒色を呈す。

越州窯系青磁

浅形椀×皿（18）　I-2類。口径13.4cm、器高4.1cm、底径7.0cm。釉は全面施釉後、高台畳付部のみふき取る。釉調は暗黄灰褐色～褐灰色に発色する。

石製品

砥石（19）　残存長9.3cm、幅6.5cm、厚さ2.3cm。４面とも使用している。図上下部には直径0.65cm、深さ0.2cm程度の穴が穿たれる。砂岩製。

（褐色土）

土師器

坏ａ（20）　口径11.0cm、器高2.5cm、底径7.7cm。底部外面はヘラ切り後、板状圧痕を施し、底部内面はナデを施す。白茶色～灰褐色を呈し、外面には煤が付着している。

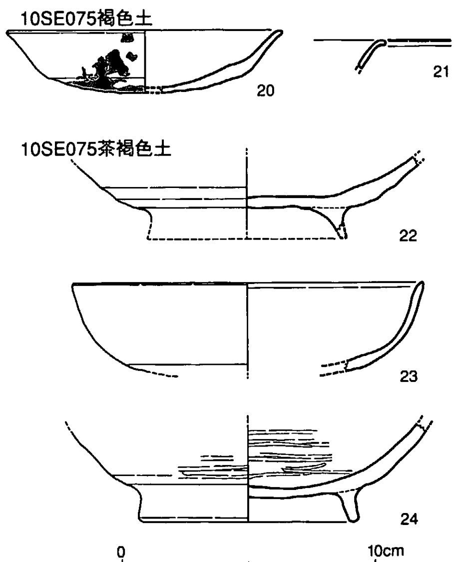


Fig.10-23　10SE075褐色土・茶褐色土出土遺物実測図（1/3）

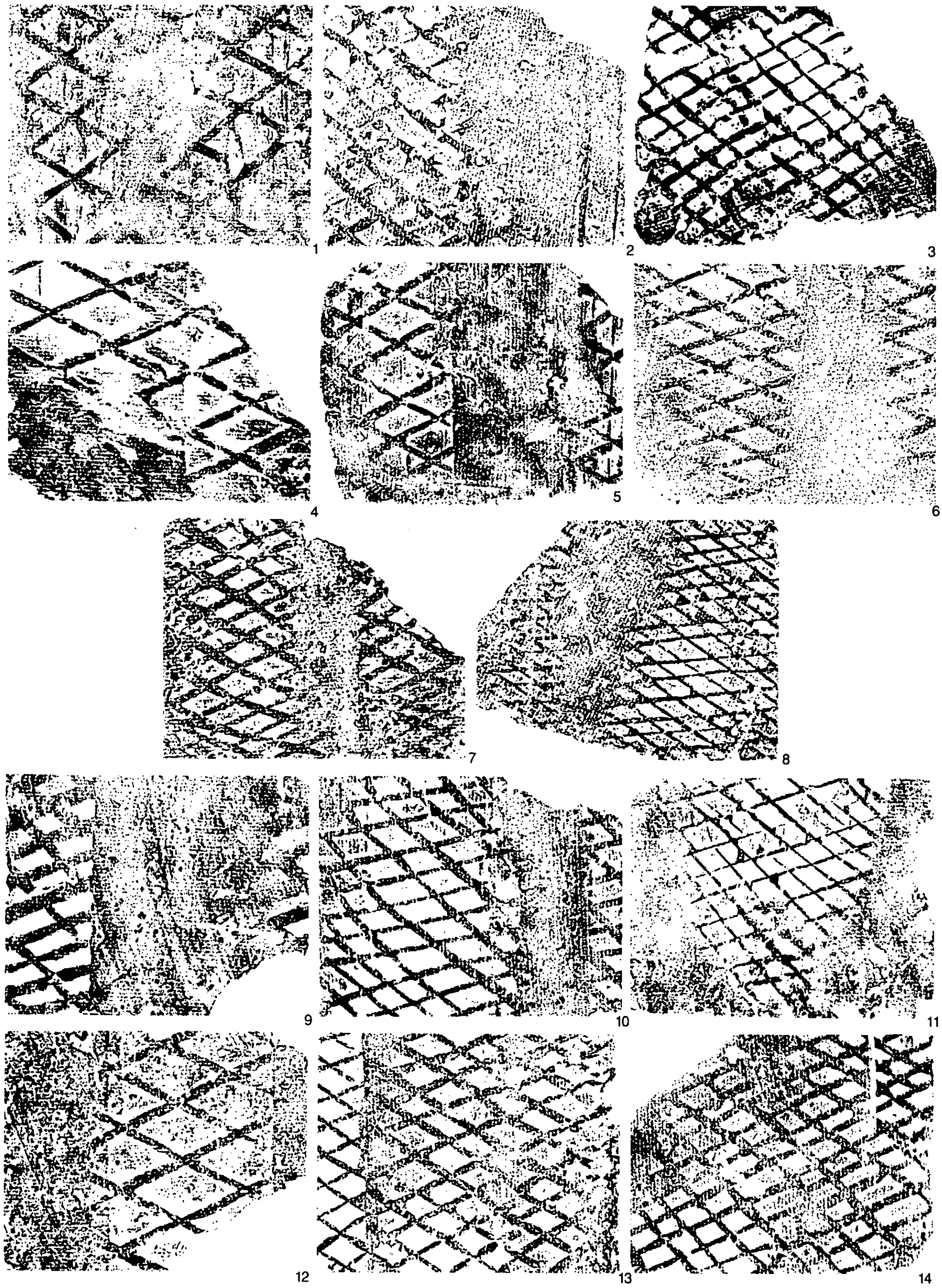


Fig.10-24　10SE075出土瓦拓影その１（1/2）

緑釉陶器

椀（21）　口縁部の小破片で、開き気味に立ち上がった体部が口縁端部でさらに外反している。全面に施釉され、釉調は暗黄緑色～黒緑色を呈す。素地は淡褐色できめの細かい胎土であ

る。

（茶褐色土）

土師器

坏ａ（23）　口縁部が残存する。口径14.0cm、残存高3.5cm、底径9.8cm。焼成は良好だが、全面に摩耗が進んでいるが、底部外面は回転へラ切りの痕跡が観察される。白橙茶色～茶白色を呈す。

坏ｃ（22）　底部が残存する破片である。残存している高台部の直径は7.6cm、残存高3.0cm。焼成は良好だが内外面とも摩耗している。白褐色～暗褐色を呈す。

黒色土器Ｂ類

椀ｃ（24）　底部が残存する破片である。底径8.8cm、残存高3.9cm。底部外面はヘラ切り後軽くナデ、板状圧痕を施す。体部は内外面ともミガキｃを施す。内外面とも黒色～黒褐色を呈す。

瓦類（Fig.10-24～10-28、御10SE075出土瓦一覧（1）～（7））

井戸枠に使用された瓦類は、完形品はなく全て破片を用いている。その数は、焼成時に瓦同士が溶接した資料が 23点（単体で換算すると50点）、単体で出土した資料（以下、単体資料）が581点におよぶ。

いずれも破片資料のため不明な点が多いものの、あえて単体資料581点について分類作業を試み、瓦の種別、叩きの種類、および范傷の形態について着目し分類作業を行った。また范傷についても傷を抽出し、便宜的にローマ数字で記号をつけている。なお本来ならこの作業を通して范の復元を試みるべきであろうが、残存部位の特定もままならない資料がほとんどで、ま

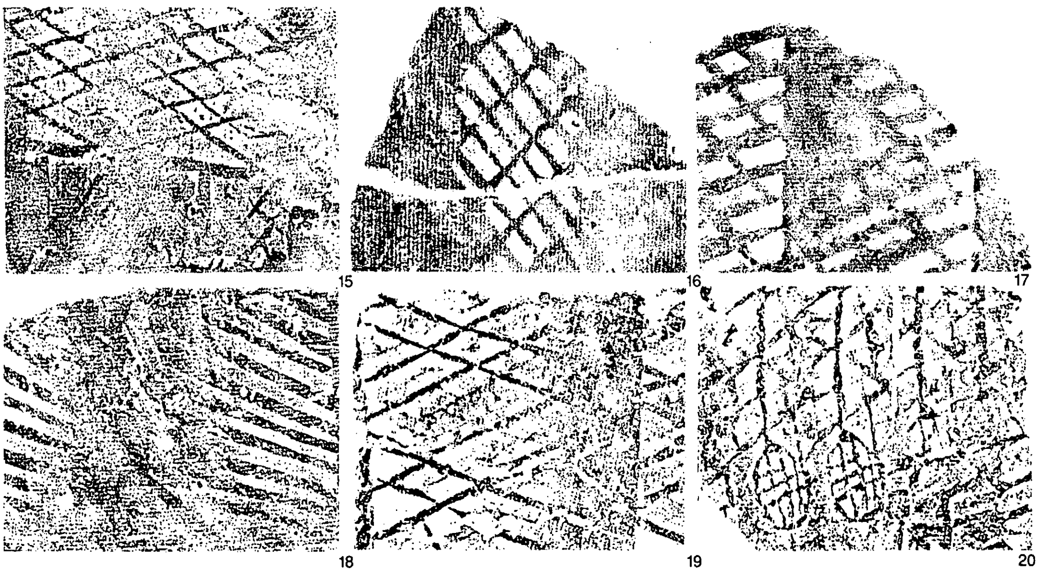


Fig.10-25　10SE075出土瓦拓影その２（1/2）

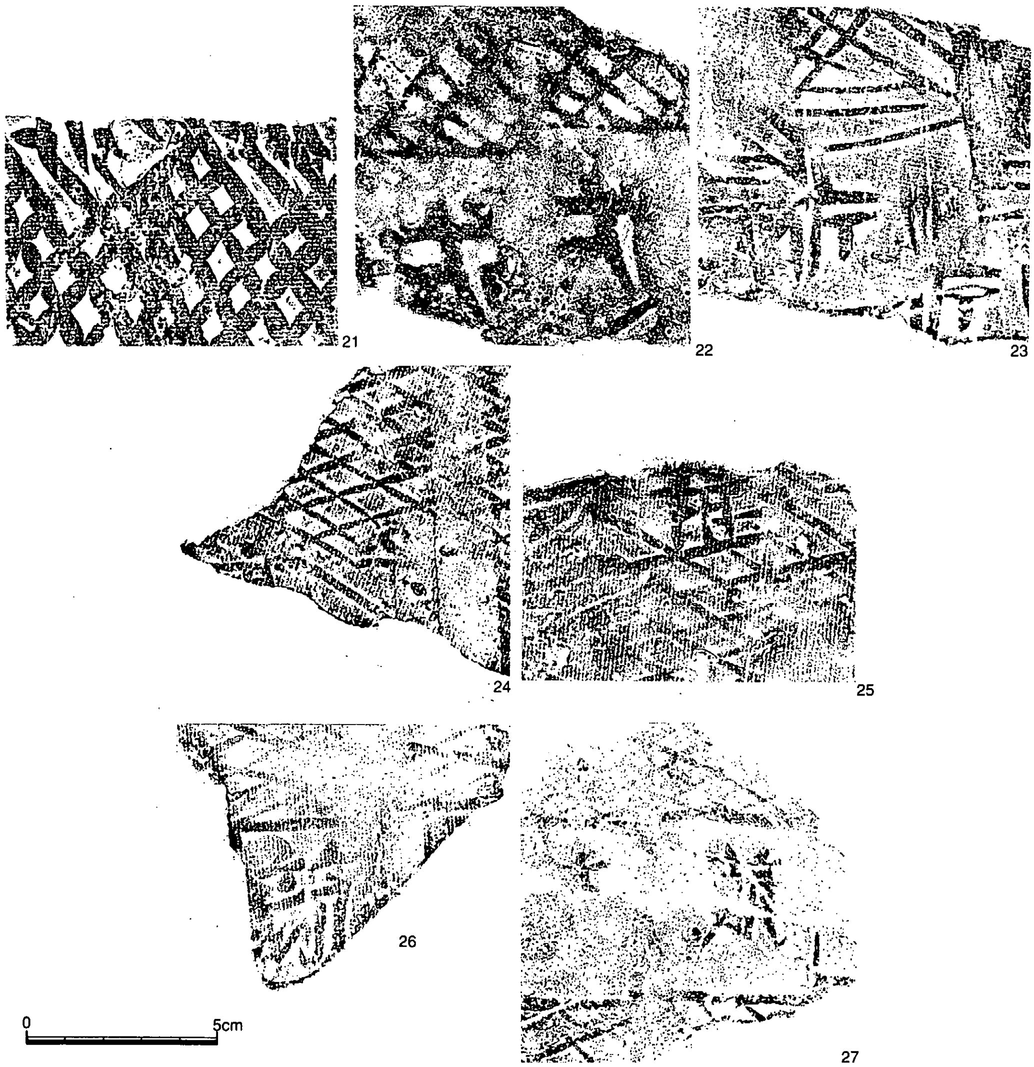


Fig.10-26　10SE075出土瓦拓影その３（文字瓦、1/2）

た范の作り方によってはこれらの分類の複数のタイプが一つの范に施されることも考えられ、今回の資料での范の復元は難しいとみられる。このため范の復元作業は行わず資料紹介にとどめることにした。

まず瓦の種別については、軒丸瓦や軒平瓦はなく、丸瓦と平瓦のみの構成である。丸瓦と平瓦の分別については、破片のため特定が難しいものが多いため、明らかに丸瓦であるものをまず抽出し、次に平瓦を抽出し、分別不能のものは不明とした。この作業により平瓦が431点、丸瓦が105点、種別不明が45点となった。

叩きの種類についてはこれらのほとんどが格子目瓦で占められている。単体資料では98％以上、溶接した資料については全てが格子目瓦である。格子目は、格子が正方形に近い正格子(Fig.10-24-1～3)、菱形を呈す斜格子（Fig.10-24-4～8)、格子が二重になる二重格子（Fig.10-

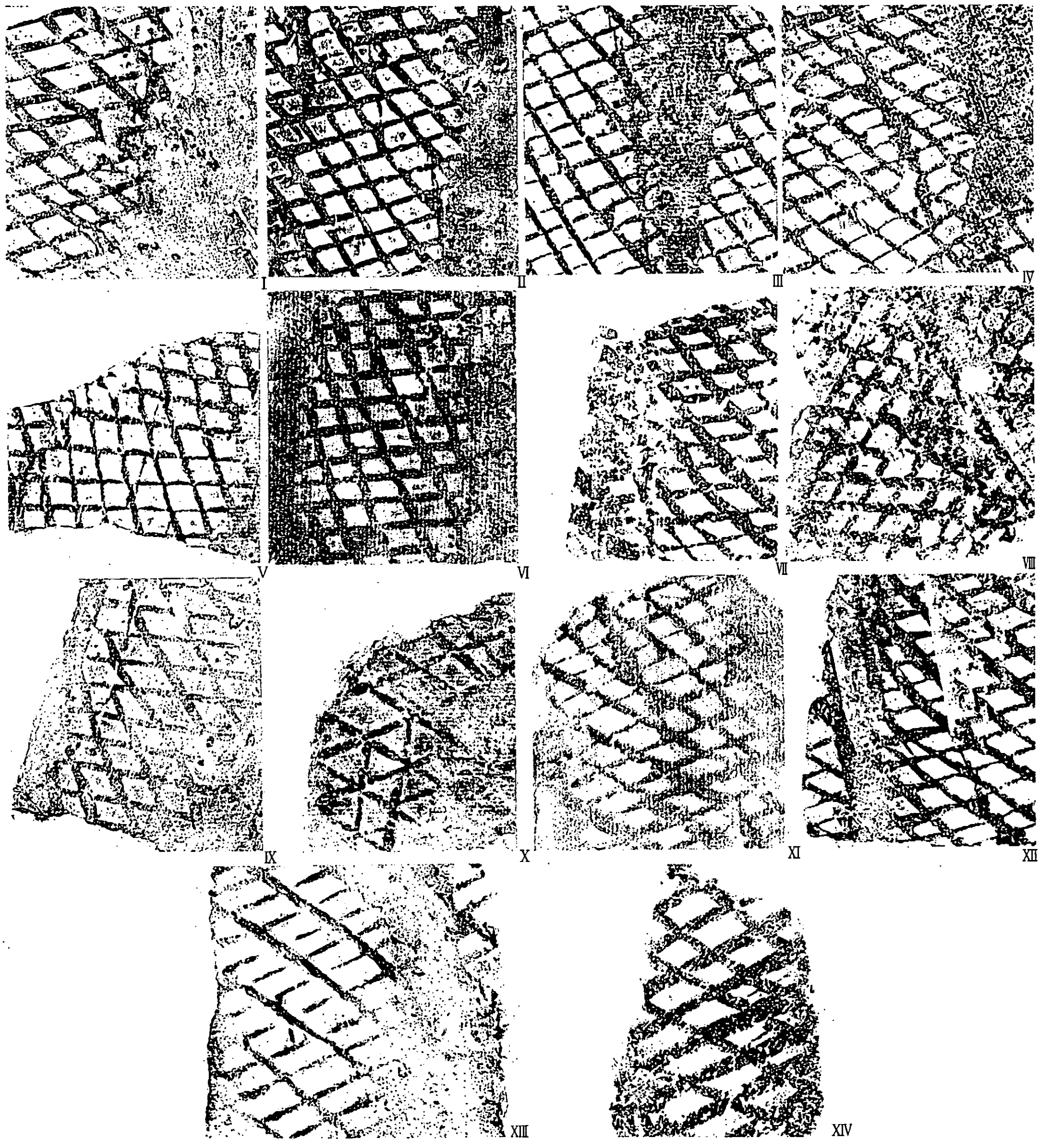


Fig.10-27　10SE075出土瓦拓影その４（范傷の拓影、1/2）

25-19）がある。斜格子の中には、一般的にみられる横長菱形の格子目（表中は単に「斜格子」と記載）の他、縦長菱形の格子目を有するもの（斜格子（縦長）、Fig.10-25-16）、格子目が菱形ではなく横長長方形を呈するもの（斜格子（横長長方形）、Fig.10-25-17）があり、斜格子の中にT字を配するもの（斜格子（T字あり）、Fig.10-25-15）、格子目に縦線を加え、更に幾何学文様を配するもの（斜格子（幾何学文）、Fig.10-25-20）など特殊なものもある。叩きの種類は、格子目の他、縄目、平行叩き（Fig.10-25-18）がある。

叩きの中でも最も多い格子目については、格子目の大きさ、格子の線の太さ、および平行線の歪みについて観察・分類作業を行った。Fig.10-24にその一般的なものについて掲載している。

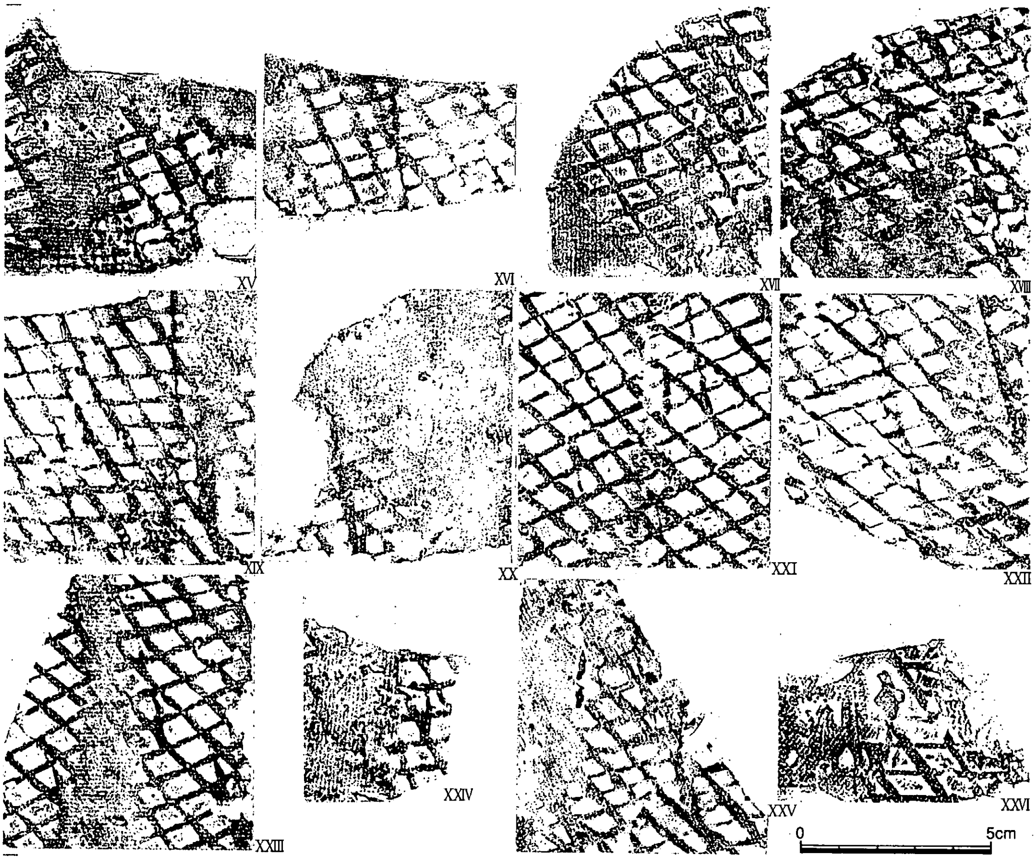


Fig.10-28　10SE075出土瓦拓影その５（范傷の拓影、1/2）

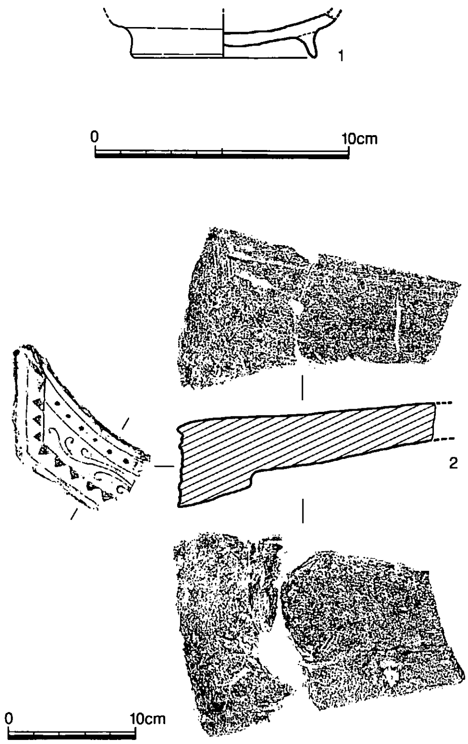
1～3は正格子の格子の大きさの分類で、1は大、2は中（表では中（中））、3は小のタイプである。4～8は斜格子の格子の大きさの分類で、4は大、5は中のなかでも比較的目が大きいタイプ（中（大））、6は中のなかで中位のタイプ（中（中））、7は中の中でも比較的目が小さいタイプ（中（小））、8は小のタイプである。9～11は格子の線の太さの分類で、9が太いタイプ、11が細いタイプ、10はその中間タイプである。12～14については格子の線の歪みの分類で、12は線が平行なもの、13は大局的には線が平行ではあるがやや歪みを生じている部分がみられるもの（中間タイプ）、14は歪みが認められるものである。

文字瓦についてはFig.10-26に掲載している。石松好雄・高橋章の分類（「大宰府出土瓦について（二）」『九州歴史資料館研究論集4』1983）に照らすと、21は「佐」の左字でⅡ-2類、22も「佐」の左字でⅡ-4b類、23は「佐」の正字でⅡ-5類、24は「前」の左字でⅥ-5類、25も「前」の左字でⅥ-6類、26は「筑」の正字でⅥ-3類、27も「筑」の正字でⅥ-4類である。

范傷は26種類確認した（Fig.10-27・10-28）。正格子の資料に范傷を比較的多く確認している。

なお資料の残存部位については表中に示しているが、ａは丸瓦・平瓦の狭端部または広端部が残存しているもの、ｂは丸瓦・平瓦の中央部が残存しているもの、ｃは丸瓦の玉縁部分が残

存しているもの、dは部位不明のものである。



（5）土坑出土遺物

10SK010出土遺物（Fig.10-29）

土師器

椀c（1）　底部が残存する破片である。底径7.4cm。残存高1.8cm。底部外面はヘラ切り、板状圧痕が観察されるが、その他は摩耗により調整不明。淡黄褐色を呈す。

瓦類

軒平瓦（2）　凹面には模骨痕が、凸面には縄目がみられる。瓦当の文様は内区に偏行唐草文、外区上部に珠文、外区下部及び横端に鋸歯文を施す。老司Ⅱ式。

Fig.10-29　10SK010出土遺物実測図（1は1/3、2は1/6）

10SK015出土遺物（Fig.10-31）

須恵器

坏蓋（1・2）　1は口径13.8cm、器高4.2cm。2は口径12.2cm、器高3.8cm、いずれも天井部外面はヘラ切りを施し、焼成前にヘラ記号を施す。天井部内面はナデを施す。1は焼成・還元ともに良好で、灰褐色を呈し、2は焼成・還元ともあまく、淡白茶色を呈す。

土師器

甕（3）　口径19.6cm、残存高7.15cm。内傾しつつ立ち上がる胴部に大きく外反する口縁部がとりつく。口縁部内面は摩耗により調整不明だが、その他の部分はすべてヨコナデを施す。胴部内面は上下にナデを施す。胎土は0.5～2mmの白砂粒を少量含む。焼成はややあまく、淡茶黄色～明茶黄色を呈す。

10SK035茶褐色土出土遺物（Fig.10-30）

須恵器

円面硯（1）　硯面と脚部の境が残存する。残存高1.8cm。いずれも回転ナデを施し、脚部の透かし部分はヘラ切りを施す。0.5～1mmの砂粒をわずかに含み、2～3mmの砂粒も一部にみられる。焼成・還元ともに良好で、灰青色を呈す。

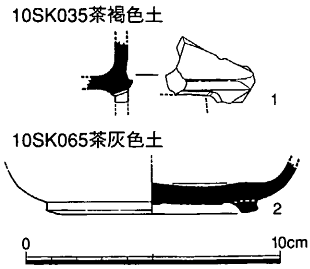


Fig.10-30　10SK035・10SK065出土遺物実測図（1/3）

10SK040出土遺物（Fig.10-32）

瓦類

平瓦（1）　残存長28.0cm、幅17.6cm、厚さ約1.1cm。凹面は図の右から左に向かう糸切り痕および布目痕が観察され、凸面は同じく図の右から左に向かう糸切り痕を施した後、縄目を施す。端部の切り離しは、図上垂直方向に切断される。一枚づくりとみられる。

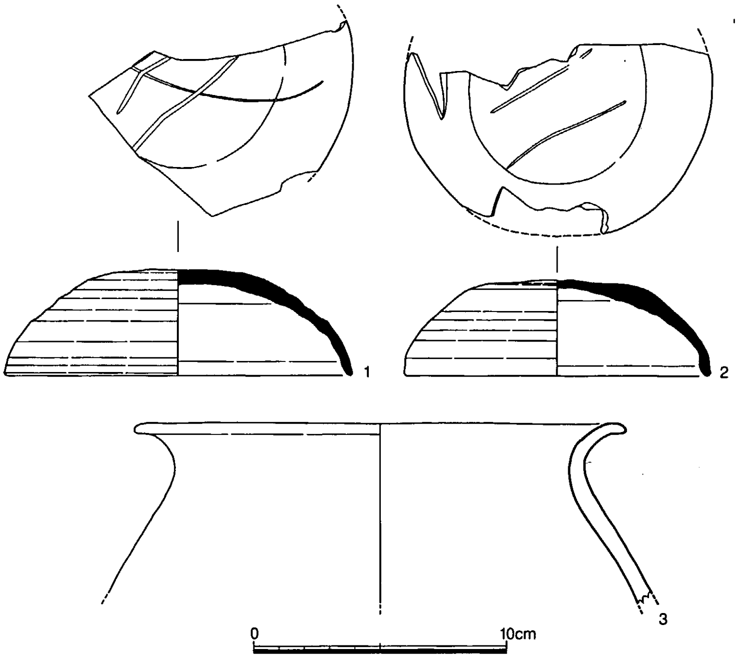


Fig.10-31　10SK015出土遺物実測図（1/3）

10SK065茶灰色土出土遺物（Fig.10-30）

須恵器

坏c（2）　底部が残存する破片である。底径8.4cm、残存高2.0cm。底部外面はヘラ切り、底部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で、内外面は青灰色～暗灰色、断面は暗灰色～暗褐色を呈す。

10SK080出土遺物（Fig.10-33、Pl.27）

（淡黄色土）

須恵器

蓋（1～3）　1は天井部のみ残存する破片で、つまみを有す。残存高1.6cm。焼成がやや不良であるため摩耗が進んでいるが、天井部外面は回転ヘラケズリを施すことが観察できる。淡茶色～暗茶色を呈す。2は口縁部が残存する破片である。口径15.2cm、残存高1.5cm。天井部外面はヘラ切りを施し、天井部内面はナデを施す。明灰色～暗灰色を呈す。3は口径15.2cm、残存高1.5cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施し、中央部付近につまみ取り付けの回転ナデの痕跡とつまみ部のわずかな立ち上がりを確認できる。

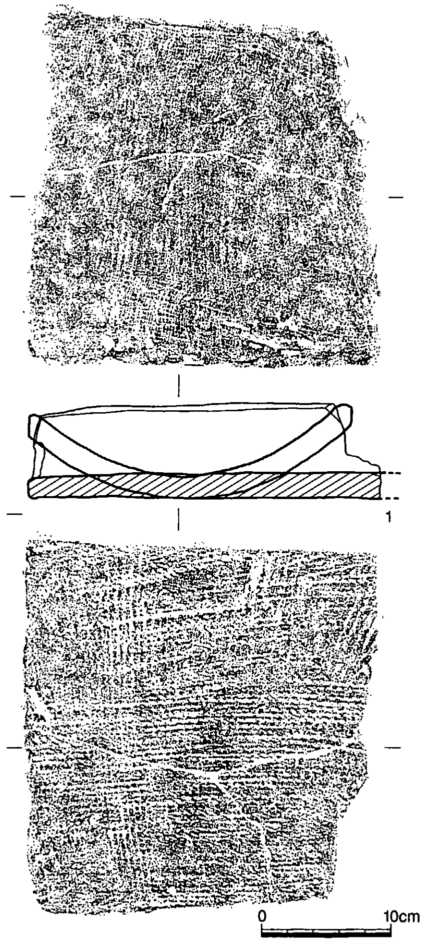


Fig.10-32　10SK040出土遺物実測図（1/6）

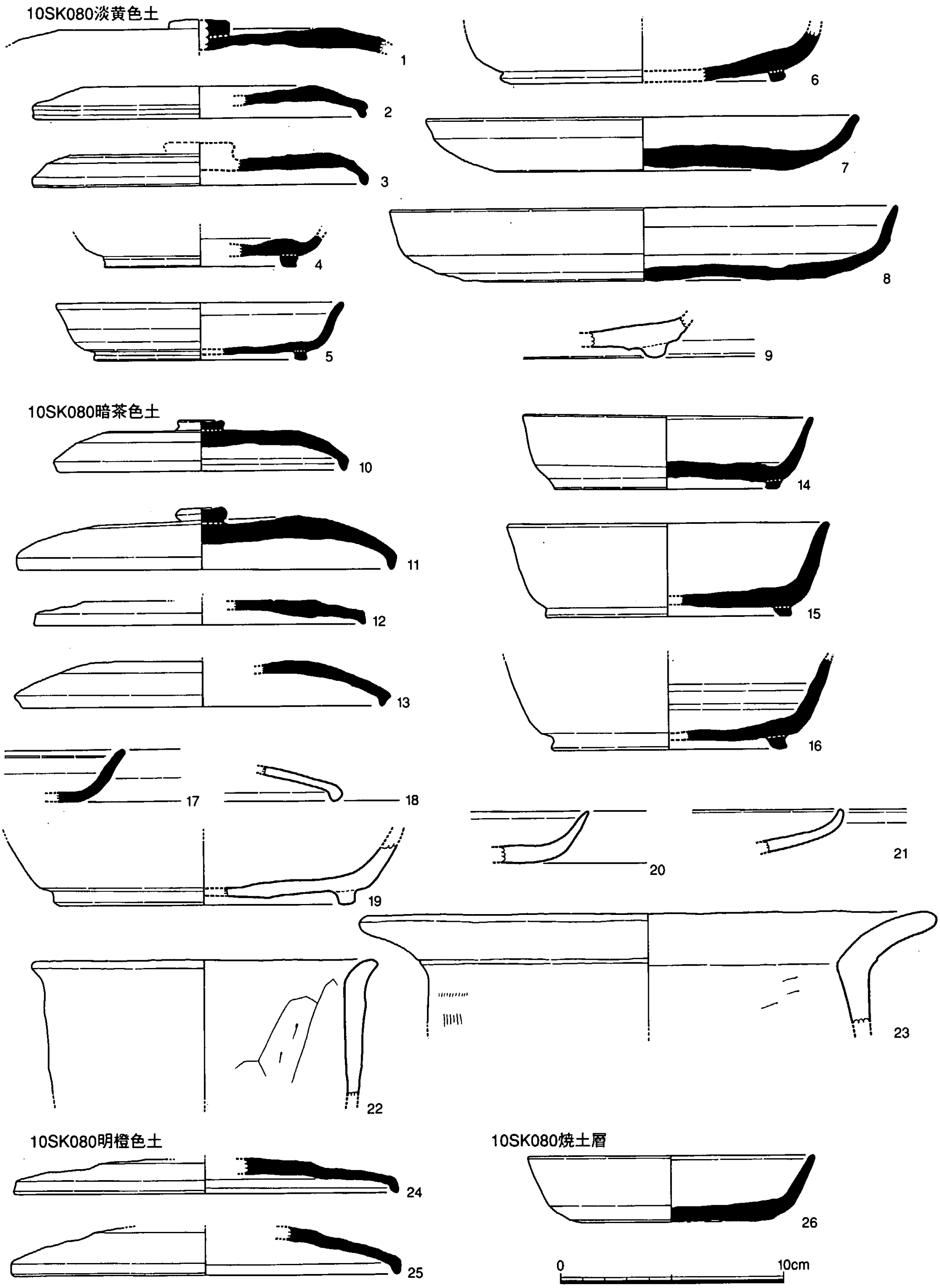


Fig.10-33　10SK080出土遺物実測図（1/3）

天井部内面はナデを施す。淡灰色を呈す。

坏c（4～6）　4は底径8.7cm、残存高1.6cm。底部外面はヘラ切り、底部内面はナデを施す。

淡灰色～暗灰色を呈す。5は口径13.0cm、器高2.7cm、底径9.7cm。底部外面はヘラ切り、底部内面はナデを施す。淡灰色～明灰色を呈す。6は底径12.9cm、残存高2.3cm。摩耗がすすんでいるが、底部外面はヘラ切りが観察できる。焼成・還元ともあまく茶白色～灰黒色を呈す。

皿a（7・8）　いずれも口縁部と底部の境がゆるやかで丸みを有するタイプである。7は口径19.6cm、器高2.5cm、底径12.7cm。焼成があまいため摩耗が進んでいるが、底部外面はヘラ切りが観察できる。還元も不良で、白茶色～灰褐色～黒灰色を呈す。8は口径23.0cm、器高3.3cm、底径21.6cm。これも焼成があまいため摩耗が進んでいるが、底部ヘラ切り後、底部と口縁部の境に回転ヘラケズリを施すことが観察できる。還元も不良で、白茶色～茶白色～黒灰色を呈す。

土師器

坏c（9）　底部の一部が残存する小破片である。残存高1.9cm。焼成があまいため摩耗が進み調整不明。胎土はきめ細かく1mmまでの砂粒を少量含む。明橙茶色～暗褐色を呈す。

（暗茶色土）

須恵器

蓋c3（10・11）　10は口径13.3cm、器高2.3cm。天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデを施す。淡灰色～暗灰色を呈す。11は口径17.2cm、器高2.8cm。天井部外面はヘラ切り後ナデを施し、天井部内面はナデを施す。内面にはわずかに擦ったような痕跡がある。淡灰色～暗灰色を呈す。

蓋3（12・13）　12は口径15.0cm、残存高1.1cm。天井部はヘラ切り後回転ナデを施し、天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で、淡灰色～暗灰灰色を呈す。13は口径17.0cm、器高2.1cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施し、天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で、明灰色～暗灰黒色を呈す。

坏c（14～16）　14は口径13.1cm、器高3.4cm、底径10.2cm。15は口径14.6cm、器高4.3cm、底径11.2cm。16は底径10.7cm、残存高4.2cm。いずれも底部外面はヘラ切り、底部内面はナデを施す。14は体部と底部の境に回転ヘラケズリを施す。15は焼成があまく茶白色～暗灰色を呈すが、その他は、焼成・還元とも良好で、淡灰色～暗灰色を呈す。

皿a（17）　口縁部のみ残存する小破片である。残存高2.4cm。底部と口縁部の屈曲はそれほど強いものではない。底部外面は摩耗により調整不明。底部内面はナデを施す。還元がややあまく、淡茶灰色～淡灰茶色を呈す。

土師器

大蓋3（18）　口縁部の一部が残存する小破片である。残存高1.6cm。焼成は良好だが、内外面とも摩耗が進む。図示していないが、ミガキaらしき痕跡がわずかにみられる。淡茶色～橙

茶色～暗灰褐色を呈す。

大坏ｃ（19）　底径13.7cm、残存高2.95cm。全体的に摩耗が進んでおり調整不明。焼成はやや良好で、淡橙茶色～淡灰褐色を呈す。

大皿ａ（20）　口縁部の一部が残存する小破片である。残存高2.4cm。内面の一部に回転ナデの痕跡が確認される他は、摩耗により調整不明。焼成は良好で、淡灰茶色～淡茶色を呈す。

高坏（21）　口縁部の一部が残存する小破片である。残存高2.0cm。焼成は良好だが、内外面とも摩耗が進む。図示していないが、内面にミガキａらしき痕跡がわずかにみられる。淡茶色～明橙茶色を呈す。

甕（22・23）　22は口径15.7cm、残存高6.3cm。直立する胴部にわずかに外反する短い口縁部がとりつく。外面および口縁部は摩耗が進んでいるが、胴部内面はヘラケズリを施す。焼成は良好。暗茶色～暗褐色を呈し、二次焼成を受け赤茶色を呈す部分も観察できる。23は口径26.0cm、残存高5.1cm。大きく外反する口縁部を有す。口縁部は摩耗が進んでいるが、口縁部外面はヨコナデとみられる。胴部外面は刷毛目、胴部内面はヘラケズリを施す。焼成は良好。淡茶色～灰褐色を呈す。

（明橙色土）

須恵器

蓋3（24・25）　口径17.4～17.6cm。残存高1.6～2.2cm。いずれも天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデを施す。いずれも焼成・還元ともに良好で、淡灰色～暗灰色を呈す。

（焼土層）

坏ａ（26）　口径13.0cm、器高3.0cm、底径9.2cm。底部外面はヘラ切り後回転ヘラケズリを施す。回転ヘラケズリは、体部と底部の境まで及ぶ。内面底部はナデを施す。焼成はややあまいものの、還元は良好。淡灰色～灰茶色を呈す。

(6) 小穴出土遺物

10SX070出土遺物（Fig.10-34、Pl.28）

須恵器

蓋ｃ3（1）　口径19.1cm、器高3.7cm。全体的に摩耗が進んでおり調整不明な部分が多いが、天井部外面は回転ヘラケズリを施す。胎土のきめは細かく、0.6mm以下の砂粒をわずかに含む。焼成・還元ともに不良で、内面は白茶色～白褐色、外面は白茶色から淡黄茶色を呈す。

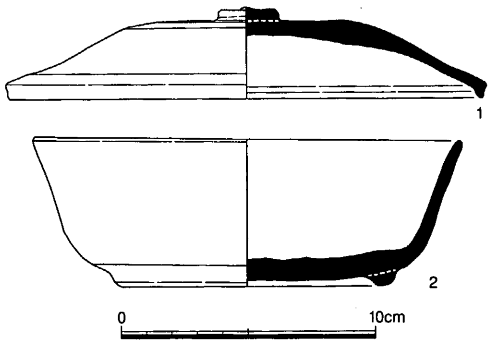


Fig.10-34　10SX070出土遺物実測図（1/3）

坏c（2）　口径17.0cm、器高5.9cm、底径11.0cm。全体的に摩耗が進んでおり調整不明な部分が多いが、底部外面はヘラ切りを施す。ヘラ切りは丁寧でケズリのようにもみえる。焼成・還元ともに不良で、茶白色～茶褐色～淡黄茶色を呈す。

（7）炉関係出土遺物

10SX271出土遺物（Fig.10-35）

須恵器

蓋4（1）　口径19.0cm、残存高2.3cm。天井部外面は回転ヘラケズリ、天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で灰青色を呈す。

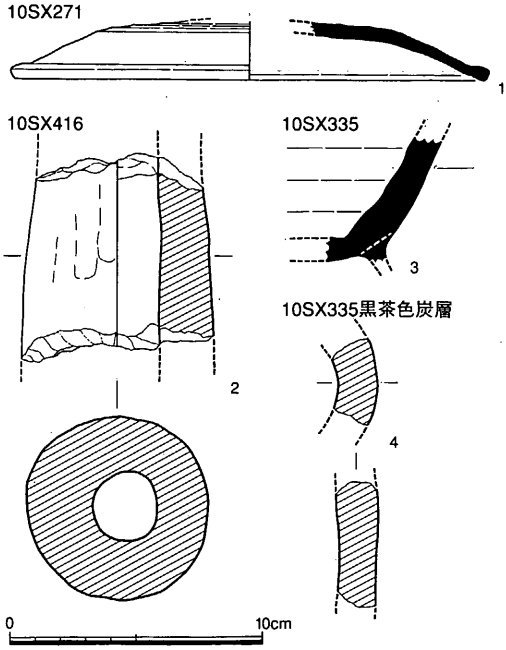


Fig.10-35　第10次調査　炉関連遺構出土遺物実測図（1/3）

10SX335出土遺物（Fig.10-35）

（S-335（上面））

須恵器

壺（3）　高台を付した底部の破片である。残存高5.0cm。内外面とも回転ナデを施す。外面の一部に回転ヘラケズリもみえる。

（黒茶色炭層）

土製品

羽口（4）　羽口の一部とみられる。残存高5.0cm。厚さ1.5～1.7cm。摩耗により調整不明。胎土は0.5～4mmの砂粒を多く含む。焼成は良好で、外面は黄灰色、内面は淡黄橙色を呈す。

10SX416出土遺物（Fig.10-35）

土製品

羽口（2）　直径6.7～7.7cm、残存高8.4cm、厚さ2.2cm。孔の直径は約2.7cm。外面に指頭によるナデの痕跡がみえる。胎土は0.5～4mmの砂粒を多く含む。焼成は良好で、淡茶白色～暗灰色を呈す。

(8) その他の遺構出土遺物

(竪穴住居等関連)

10SX179出土遺物（Fig.10-36）

須恵器

蓋1（2・3）　いずれも口縁部の小破片である。いずれも器高が低いため蓋と判断した。2は残存高1.5cm。淡灰褐色を呈す。3は残存高1.9cm。淡灰青色を呈す。

土師器

甕ａ（4）　口縁部の破片である。残存高6.0cm。口縁部および内面は摩耗が進んでおり調整不明な部分が多いが、胴部内面はナデあるいは細いヘラでヘラケズリを施しているような痕跡がみられる。胴部外面は刷毛目を施す。褐黄色を呈す。

10SX183出土遺物（Fig.10-36、Pl.28）

須恵器

蓋1（5）　口縁部の小破片である。器高が低いため蓋と判断した。残存高2.2cm。淡灰褐色を呈す。

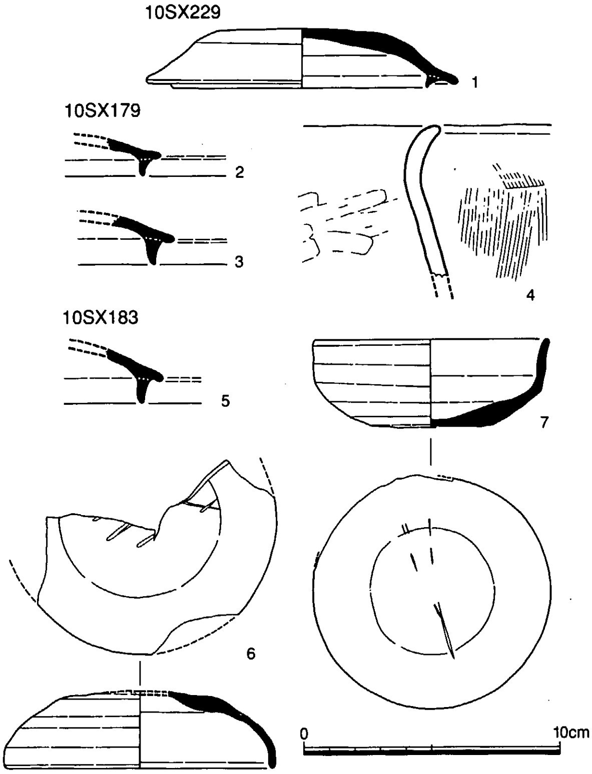


Fig.10-36　第10次調査　その他の遺構出土遺物実測図その１（1/3）

坏蓋（6）　口径10.8cm、残存高3.0cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施した後、焼成前にヘラ記号を施す。天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で、暗青灰色～淡灰青色を呈す。

坏（7）　口縁部が1/4欠損するのみの資料である。口径9.3cm、器高3.5cm、底径4.9cm。平底の底部を有し、体部の中央付近から口縁部にかけて垂直に立ち上がる。底部外面はヘラ切り後工具によるナデまたはケズリを施し、底部内面はナデを施す。胎土は微細砂粒を多く含み、0.5～1mmの砂粒を少し含む。焼成・還元ともに良好で、灰青色を呈す。

10SX229出土遺物（Fig.10-36）

須恵器

蓋ａ1（1）　口径12.4cm、器高2.4cm。天井部外面はヘラ切り後ナデを施し、板状圧痕も施す。天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で、灰褐色を呈す。

（その他の遺構）

10SX007出土遺物（Fig.10-37）

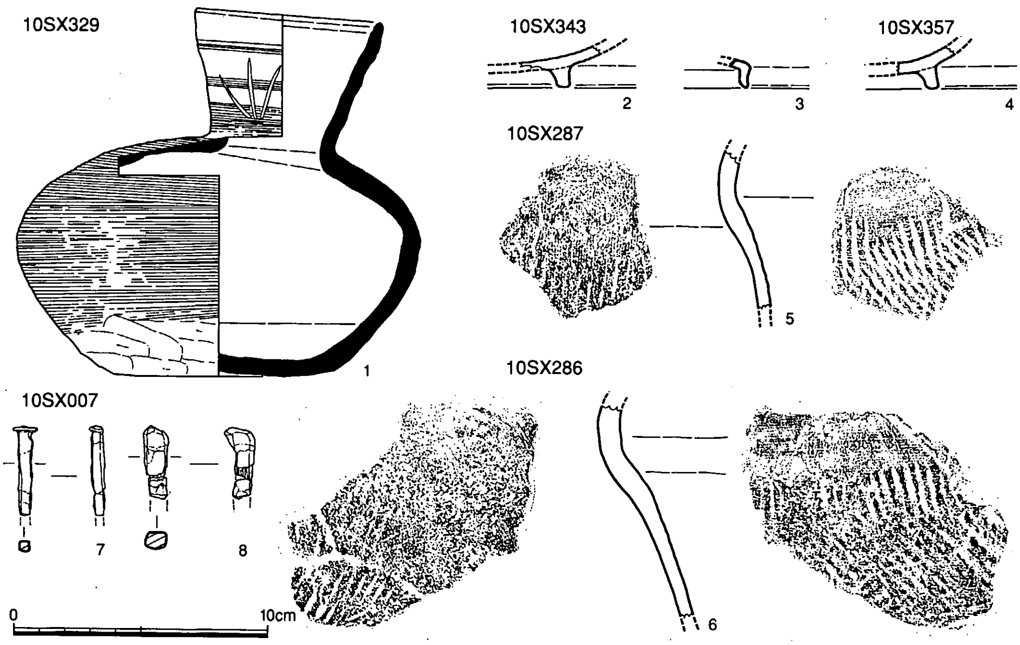


Fig.10-37　第10次調査　その他の遺構出土遺物実測図その２（1/3）

鉄製品

釘（7・8）　いずれも頭部が残存する。7は残存長3.5cm、断面は0.5×0.5cm。8は残存長2.9cm、断面は0.9×0.7cm。

10SX286出土遺物（Fig.10-37）

製塩土器

煎熬土器（6）　胴部と口縁部の境が残存する小破片である。残存高8.3cm。胴部外面は格子目叩きを、胴部内面は平行叩きを施す。

10SX287出土遺物（Fig.10-37）

製塩土器

煎熬土器（5）　胴部と口縁部の境が残存する小破片である。残存高6.4cm。胴部外面は格子目叩きを、胴部内面は平行叩きを施す。

10SX329出土遺物（Fig.10-37、Pl.28）

須恵器

平瓶（1）　口径7.5cm、器高14.7cm、底径8.8cm。胴部最大幅は胴部中央よりやや上部に位置する。胴部最大幅16.0cm。底部外面はヘラケズリを施した後、わずかにナデを施す。胴部外面は掻き目を施し、底部からのヘラケズリに掻き目の一部が消されている。口縁部外面は回転ナデを施した後、口縁部中央および下部に掻き目を施す。また口縁部から1.5cm下には２条の沈線が巡り、さらにそのすぐ下には焼成前にヘラ記号を施す。内面はいずれも回転ナデを施し、

口縁部取り付け部分はナデを施す。胎土は0.5～1mmの砂粒を多く含む。焼成・還元ともに良好。灰青色を呈す。

10SX343出土遺物（Fig.10-37）

緑釉陶器

蓋（3）　口縁部の一部が残存する小破片である。残存高1.2cm。黄白色を呈した胎土に緑白色の釉が施釉されている。摩耗により釉はほとんど残存していない。防長産。

坏c（2）　底部の一部が残存する小破片である。残存高1.7cm。黄白色を呈した胎土に緑白色の釉が施釉されている。防長産。

10SX357出土遺物（Fig.10-37）

緑釉陶器

坏c（4）　底部の一部が残存する小破片である。残存高1.7cm。黄白色を呈した胎土に緑白色の釉が施釉されている。防長産。

（7）包含層出土遺物

表土出土遺物（Fig.10-38、Pl.28）

緑釉陶器

皿c（1）　口径15.6cm、器高2.9cm、底径7.0cm。外面は回転ヘラケズリを施し、高台部もケズりだしている。内面は平滑な器面調整を施し、焼成前にヘラにより見込みおよび口縁部に文様を施す。見込みの文様は円の中に花とみられる図案を配し、口縁部も花とみられる図案を4箇所に配すると推定される。この上を暗緑色～暗黄緑色に発色した釉が全面に薄く施釉される。素地はきめ細かく、わずかに0.5mm以下の白色砂粒を含む。焼成は良好で、素地は還元しており、断面の中心部が淡褐色を呈するほかは明灰色を呈す。なお、内面の見込み部分には目跡が3箇所で確認される。全体的に堅緻で作りの良い印象を受ける。洛西産。

白磁

椀（2）　底径6.4cm、残存高4.9cm。口縁部は欠損しており不明だが、外面に櫛描きの条痕がみられる。Ⅴ-2b×Ⅴ-3b類。

撹乱出土遺物（Fig.10-38、Pl.29）

須恵器

坏c（3）　10SD100に掘り込まれた撹乱より検出された遺物である。約1/2～1/3が残存する。口径9.2cm、器高3.9cm、底径6.7cm。丸い体部にわずかに外反する口縁部を有す。底部はヘラ切り後、板状圧痕を施し、高台部は接合のために回転ナデを施す。その他の部分は内外面ともミガキcを施す。胎土はきめ細かく、白色砂粒をわずかに含む。焼成・還元ともに良好。内外

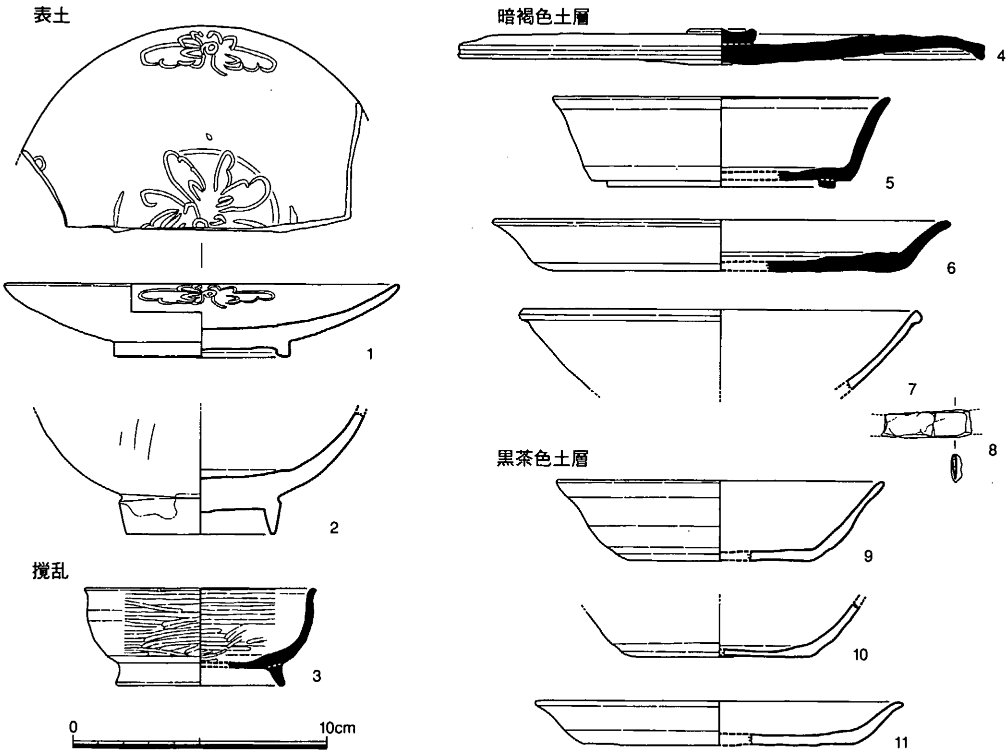


Fig.10-38　第10次調査　表土・撹乱・暗褐色土層・黒茶色土層出土遺物実測図（1/3）

面および断面のいずれも淡灰色を呈す。比較的作りの良い印象を受ける。

黒茶色土層出土遺物（Fig.10-38）

土師器

坏ａ（9・10）　9は口径13.0cm、器高3.2cm、底径7.0cm。内外面とも摩耗が進んでいるが、内面の体部下半に回転ナデの痕跡が観察できる。淡褐灰色を呈す。10は底径7.8cm、残存高2.1cm。底部外面はヘラ切り後板状圧痕を施し、底部内面はナデを施す。淡橙茶色を呈す。

皿ａ（11）　口径14.6cm、器高1.8cm、底径10.8cm。内外面とも摩耗が進んでいるが、底部外面はヘラ切りが観察される。

茶色土層出土遺物（Fig.10-39、Pl29）

須恵器

坏蓋（2）　口径11.6cm、器高2.9cm。天井部外面はヘラ切り後ナデを施し、焼成前にヘラ記号を施す。天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好。

坏身（3）　口径11.2cm、器高3.0cm、底径5.8cm。底部外面はヘラ切りを施し、焼成前にヘラ記号を施す。底部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で、暗灰青色～灰青色を呈す。

小蓋ａ1（1）　口径11.8cm、器高1.7cm。天井部外面はヘラ切り後ナデを施し、焼成前にヘラ記号を施す。天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で、灰青色を呈す。

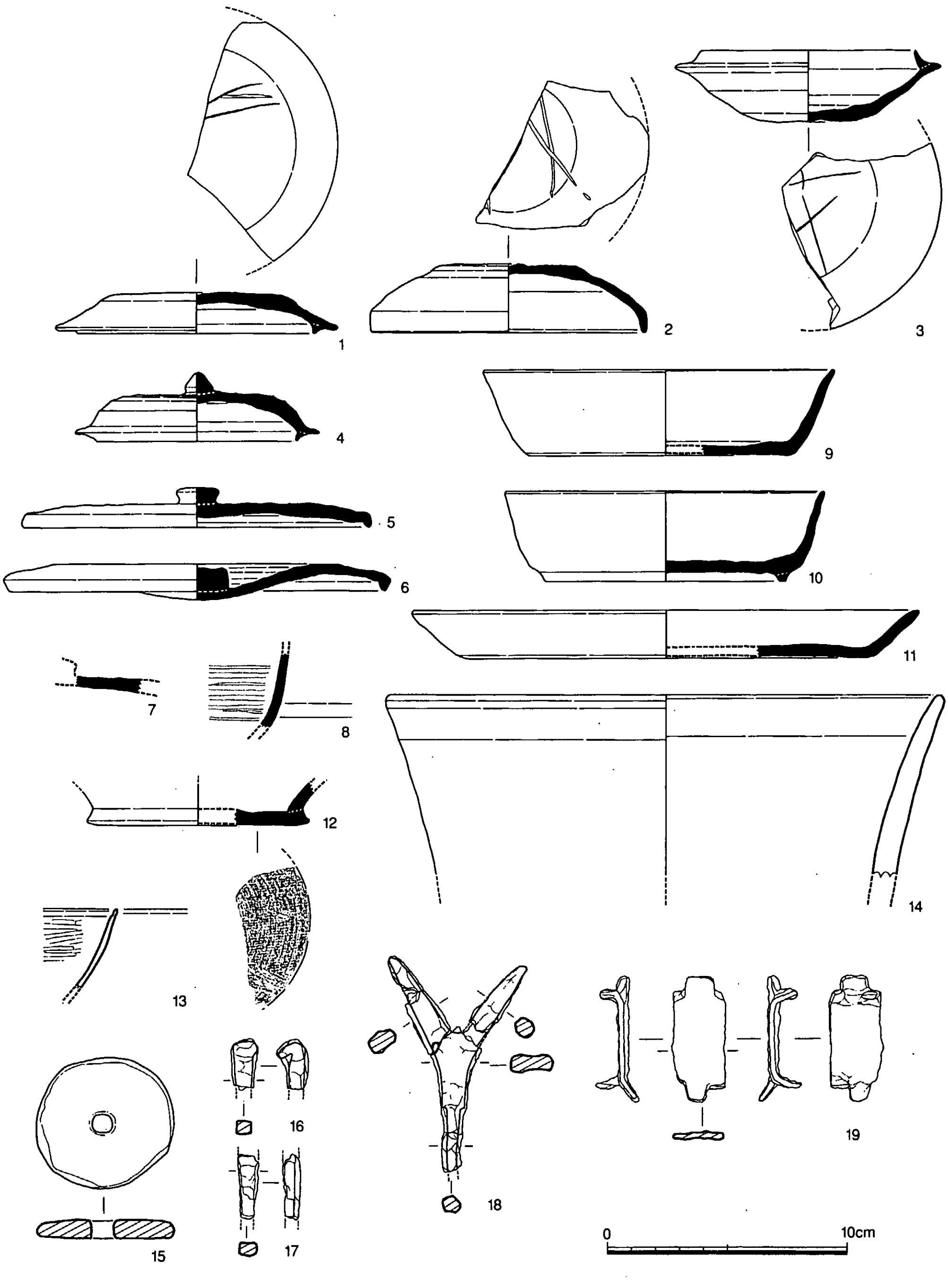


Fig.10-39　第10次調査　茶色土層出土遺物実測図（1/3）

小蓋ｃ1（4）　口縁部がやや歪んだ資料である。口径10.2cm、器高2.9cm。断面三角形の背の高いつまみを有す。天井部外面は回転ヘラケズリを施し、天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好。灰青色を呈す。

蓋ｃ3（5・6）　5は口径14.6cm、器高1.7cm。天井部外面はヘラ切り後ナデを施し、天井部

内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で、灰褐色を呈す。6は歪みのある資料であるが、口径16.2cm、器高1.5cmを測る。天井部外面は回転ヘラケズリを、天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好。淡灰青色を呈す。

蓋c（7）　天井部のみ残存している。残存高0.7cm。外面は回転ヘラケズリ、内面は回転ナデを施す。なお、内面はよく擦れており、転用硯の可能性がある。焼成・還元ともに良好で、灰青色を呈す。

椀（8）　体部の一部が残存する小破片である。残存高3.0cm。外面は回転ナデ、および外面底部は回転ヘラケズリを施し、内面はミガキａを施す。焼成・還元ともに良好で、淡灰黒色～淡灰青色を呈す。

坏ａ（9）　口径14.7cm、器高3.6cm、底径11.3cm。底部外面はヘラ切り後ナデを施し、底部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で、淡灰青色を呈す。

坏ｃ（10）　口径13.3cm、器高3.8cm、底径10.1cm。底部外面はヘラ切り後ナデを施し、底部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好で、青灰色を呈す。

皿ａ（11）　口径21.2cm、器高2.0cm、底径16.4cm。底部外面は丁寧な回転ヘラケズリを施し、底部内面は一部にナデを施す。焼成・還元ともに良好。淡灰褐色を呈す。

須恵質土器

鉢（12）　底部の破片である。底径9.3cm、残存高1.7cm。底部外面は糸切り、その他は回転ナデを施す。胎土は0.5mm程度の砂粒を少し含む。焼成・還元ともに良好。淡灰青色を呈す。

黒色土器

椀（13）　口縁部の一部が残存する小破片である。残存高3.3cm。口縁端部内面には沈線状のわずかな窪みを有す。また3mm以下の薄い器壁も特徴的である。外面は回転ナデ、内面はミガキｃを施す。胎土は0.5mm程度の砂粒をやや含む。焼成は良好。内面は黒褐色、外面は黒褐色～褐黄色を呈す。畿内等からの搬入品か。

瓦質土器

鉢（14）　口径23.4cm、残存高7.6cm。内外面とも摩耗により調整不明。胎土は0.5～1mmの砂粒を多く、また2mm大の砂粒も少し含む。焼成は良好。淡灰色～淡黒灰色を呈す。

土製品

紡錘車（15）　土師質の紡錘車である。径5.5～5.7cm。厚さ0.9cm。径0.8cm程度の孔を有す。調整は摩耗により不明。0.5～1mmの砂粒を少し含み、焼成は良好。黄橙色を呈す。

鉄製品

釘（16・17）　16は頭部が残存する。残存長2.1cm、断面径1.0×1.3cm。17は残存長2.7cm、断面形0.8×0.6cm。

鏃（18）　二股に分かれた先端部が残存している。残存長9.1cm、最大幅5.8cm、二股に分かれた部分は径0.8cmの断面円形を呈す。X線撮影により先端から6.4cmの位置でくびれが確認されるが、この部分の鏃先端側は1.0×0.7cmの断面長方形を、柄部側は0.6cm程度の断面円形を呈す。

不明製品（19）　長さ5.3cm、幅約2.2cm、厚さ0.3cmの鉄板の四隅を折り曲げている。

暗褐色土層出土遺物（Fig.10-38、Pl.28）

須恵器

蓋ｃ3（4）　口径20.9cm、器高1.4cm。天井部外面は回転ヘラケズリを施し、天井部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好。明灰色を呈す。

坏ｃ（5）　口径13.4cm、器高3.6cm、底径9.1cm。底部外面はヘラ切り、底部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好。明灰色～暗灰色を呈す。

皿ａ（6）　口径18.2cm、器高2.1cm、底径14.9cm。底部外面はヘラ切り、底部内面はナデを施す。焼成・還元ともに良好。断面の一部が淡褐色を呈す他は、明灰色～暗灰色を呈す。

白磁

椀（7）　口縁部の破片である。口径16.0cm、残存高3.2cm。I類。

鉄製品

刀子（8）　刃部の一部である。残存長3.4cm、幅1.1cm、厚さ0.2cm。

Ｂ．その他の石製品（Fig.10-40・10-41、Pl.29）

鏃（1～8）　1、3～5は黒曜石製、その他は安山岩製。1・2は抉りの深いタイプ、3～5は抉りがやや深いタイプ、6～8は抉りが浅いタイプである。1、3～5は黒曜石製、その他は安山岩製。1は10SI200茶黄色土上層、2は10SX091、3は10SK377、4は10SK030、5・6は10SI150茶褐色土、7は10SK196、8は茶色土層よりそれぞれ出土している。

磨製石斧（9）　先端部の一部のみ残存する。残存長5.7cm、残存幅2.4cm、残存厚2.3cm。玄武岩製。茶色土層出土。

柱状片刃石斧（10）　上部は欠損し先端部のみ残存する資料である。残存長6.9cm、幅2.7cm、残存厚3.6cm。なお上部が欠損したのち、二次加工して面取りし、この部分を再使用しているとみられる。泥岩製。10SD005暗茶色土出土。

石匙？（11・12）　いずれも明確には判断できないが、一応石匙として報告した。11は長さ8.0cm、幅4.2cm、厚さ0.8cm。石匙の未製品か。安山岩製。10SI105茶黄色土上層出土。12は長さ3.7cm、幅2.7cm、厚さ1.3cm。10SI105茶黄色土下層出土。

砥石（13・14）　13は残存長11.6cm、残存幅7.8cm、厚さ3.8cm。14は残存長9.5cm、残存幅

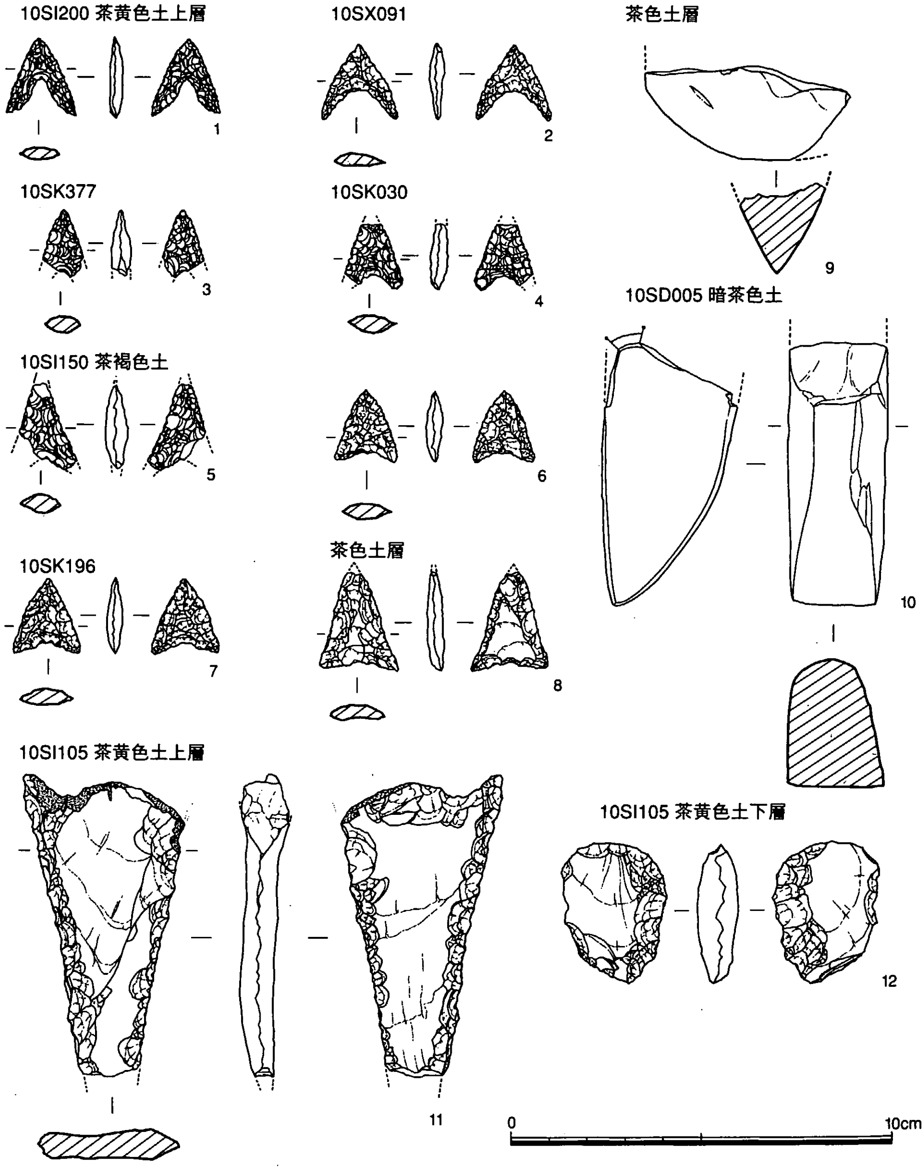


Fig.10-40　第10次調査　各遺構出土石製品実測図その１（1/2）

9.0cm、厚さ3.8cm。いずれも粗い目の砂岩製で、表面はかなり風化している。10SD005暗茶色土出土。

権（15）　長さ9.1cm、幅5.5cm、厚さ1.9cm。上部に円形の孔を有す。滑石製。出土地点は不明。

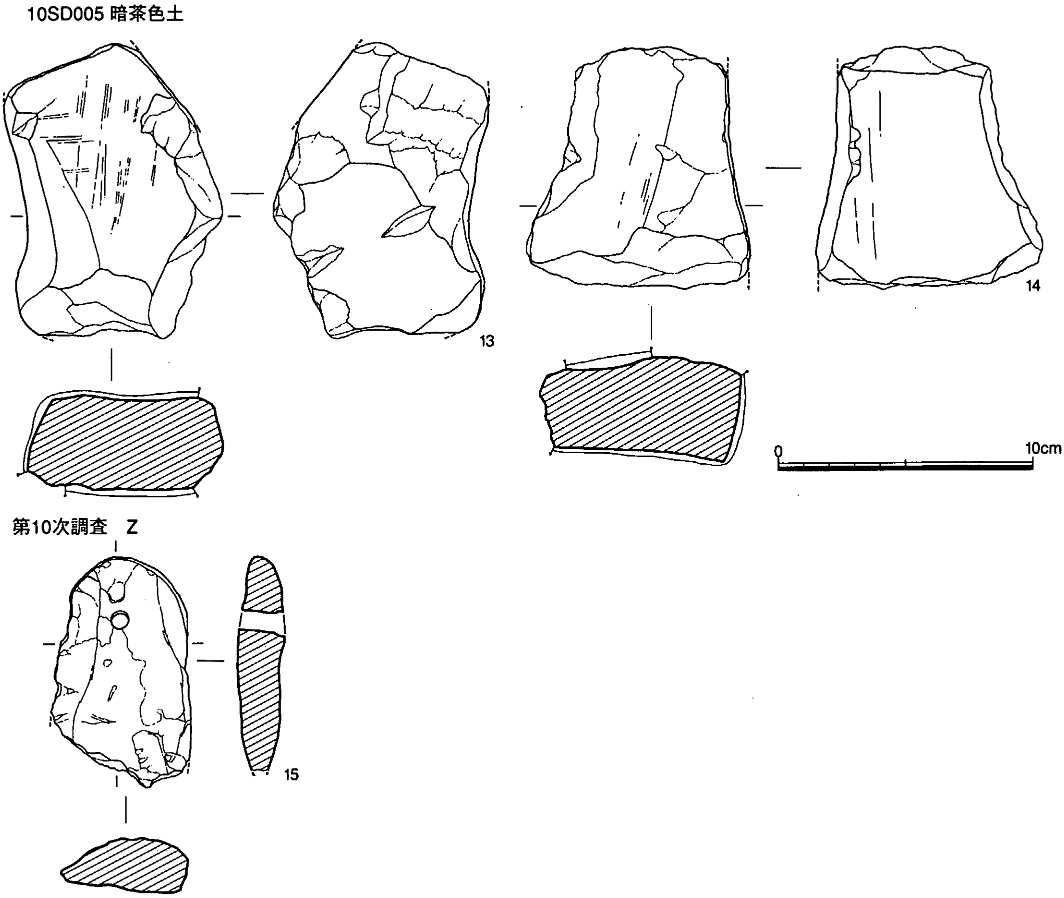


Fig.10-41　第10次調査　各遺構出土石製品実測図その２（1/3）

4．小結

第10次調査区も大きく３期ほどの時期の異なる遺構が展開しており、その内容は第９次調査と同じである。ただ小田編年Ⅳ型式の竪穴住居が比較的多く検出されており、当期の集落の中心が第10次調査区寄りにあったようである。このほか、調査区南西部では８ｃの鉄滓を含む炉跡とみられる遺構が検出されており、金属生産工房が存在したことがあきらかになっている。

このほか瓦積み井戸（10SE075）について、使用された瓦の中に溶接した瓦が複数使用されている。おそらく瓦焼成時の不良品を使用しているものとみられる。調査区のすぐ南隣の丘陵北側斜面には天延三（975）年銘入り平瓦が出土した坂本瓦窯があり、瓦窯が操業していた時期と井戸の時期が近いことから、何らかの関係のある可能性がある。

V. まとめ

本遺跡名である「御笠団印出土地周辺遺跡」とは、太宰府市坂本３丁目757-1で出土した銅印「御笠団印」(国重要文化財) に由来するものである。

「御笠団」とは、筑前国に置かれた律令制下の軍団の一つである。筑前国に置かれた軍団についての史料は少ないが、筑前、筑後、豊前、豊後、肥前、肥後の６国を対象に、軍団数をそのままにして定員を減じた太政官符が弘仁４ (813) 年８月９日に出されている (『類聚三代格』巻十八所収)。この中で、筑前国は四団四千人の兵士が二千人 (団別五百人) に減じられている。これより筑前国に四つの軍団が存在したことがわかるが、具体的な軍団名についてはここには記されておらず、長い間不明であった。

ところが明治32 (1899) 年春に、現在の太宰府市立水城小学校 (太宰府市観世音寺3丁目13) で校舎新築時に「遠賀団印」(国重要文化財) が発見され、また「御笠団印」が上記のように坂本3丁目で昭和２年に発見された。これにより筑前国の軍団の中に、遠賀団と御笠団が存在したことが明らかになったのである。ただいずれも偶然に発見されたものであり、印章の時期や軍団拠点に伴うものかどうかなど、不明な点が多いのも事実である。このため周辺の発掘調査の成果が大いに期待されるところである。

今回の調査は宅地開発の事前に行った緊急発掘調査で対象面積が6,000m²に近いという広い面積を有するものである。ここは御笠団印出土地の西側の隣接地で、このように比較的広い平地面積を有することから、軍団関連の遺跡が検出されるかと期待された調査であった。ここで十分な調査ができたかどうか反省すべき点も多いが、一応のまとめを試みたい。

今回報告した調査区は、全体的に削平が進んで遺構の残りの悪い部分が多い。このため掘立柱建物・柵列は調査段階では明らかにできず、大半が整理の段階で明らかになった状況である。また遺物も細片資料が多く、時期の決定など十分でない部分も多い。

このように遺構・遺物とも残存状況が悪い状況ではあるが、ここでは縄文時代の遺物を含む基盤の砂礫層を除くと、大きく３時期の異なる遺構が展開していることが明らかになった。最初は竪穴住居集落が営まれた時期 (Ａ期) で、その後整地が行われて溝群や建物が展開する時期 (Ｂ期)、そして８ｃ代の様相を引き継いで溝や建物が営まれる時期 (Ｃ期) である。遺物の出土状況については、Ａ期の遺物は当時の遺構が集中する部分からの出土が多いようであるが、Ｂ～Ｃ期の遺物は調査区全面で出土しており、遺物全体に占める割合も高い。

まずＡ期についてであるが、竪穴住居から出土する遺物をみると小田編年Ⅳ～Ⅵ型式に属するものが大半を占める。竪穴住居については遺構の削平の度合いが著しいものも多い上、遺物も少なく、時期の決定が難しいところであるが、基本的に小田編年Ⅲ型式以前の古い遺構・遺物が存在しないこと、および竪穴住居の最終廃絶時期が小田編年Ⅵ型式頃であることから、小

田編年Ⅳ～Ⅵ型式頃に竪穴住居で構成される集落が形成されたことは間違いないだろう。なお出土遺物より小田編年Ⅳ型式を中心とする時期、および小田編年Ⅴ～Ⅵ型式を中心とする時期という２時期の竪穴住居が存在するようである。

次にＢ期についてであるが、小田編年Ⅵ型式が主体となる７ｃ後半～末になると、各所で整地作業が行われており、住居の最終埋没土にその痕跡をみることができる。例えば第９次調査区の茶灰色土層や9SX200などがそれであり、下層の竪穴住居を完全に埋めてしまうことを目的としているとみられる。その埋め戻しの範囲は、竪穴住居のプランを超えて広い範囲で地均ししている。また10SI150上の10SX025等も同様の整地行為によるたまりとみられる。このほか第９次調査区の暗茶色土層も同時期の堆積層であることから、整地は部分的なものではなく、本調査対象地の広い範囲で行われていたとみられる。

この整地を前後して、正方位を意識したように溝や建物および柵列が配される。9SD015・9SD710は第９次調査暗茶色土層の堆積前の遺構で、整地行為の直前にも東西方向を意識した遺構が存在することは注目される。また9SD050も東西方向に走る溝で、ここから７ｃ末～８ｃ前葉の遺物が出土している。これを溝埋没時期とするかどうかは今のところ検討課題であるが、前述の9SD015・9SD710と同様に東西に走行していることから何らかの関連もあるとみられる。9SD050が古くから存在していたと仮定した場合、後述のように平安前期まで続く付近の東西溝群の先駆となるため、東西区割りの施行開始を考える上で注目される。掘立柱建物では10SB205が整地後すぐに建てられた遺構とみられ、ここからは７ｃ末～８ｃ初頭の遺物が出土している。10SB205の東脇には9SK110が掘られている。報告で述べたように、この土坑はその形態から井戸の可能性が考えられ、最終埋没が７ｃ末～８ｃ初頭ということからも10SB205と関係の深い遺構と考えられる。さらに10SB205・9SK110を取り囲むように9SA255が巡っている。これも整理段階で確認したもので不明な点が多いが、第10次調査区では2～2.5m程度の間隔でかつ同じような深さで小穴が巡っているようである。9SA255も10SB205と南北軸がほぼ等しく、同一設計のもとに設置された可能性を考えている。ただし、これらの施設の性格については、断定できる材料がなく今後の課題である。

この後８ｃ代には多くの遺構が展開する。性格を特定できないような遺構も多いが、9SB210・10SB210など2×4間の側柱掘立柱建物、および9SB320という2×2間総柱掘立柱建物などの掘立柱建物群や、第９次調査区北東側には囲繞施設とみられる9SA245などが検出されている。また井戸とみられる9SK230や廃棄土坑とみられる9SK100・10SK080など遺物を多く出土する遺構も登場する。また炭が大量に堆積しているような焼土坑や精錬炉も、その多くがわずかながらこの時期の遺物を出土している。

このように７ｃ後半～末の整地行為の後、急速に人の活動が活発化した様子が窺えるが、そ

の状況は９ｃ代にも引き継がれていく（Ｃ期)。まず目を引くのが、調査区を南北に分断するように掘削された中央部付近を東西に走行する溝群である。出土遺物から埋没するのがＣ期頃であることがわかるが、その掘削時期についてははっきりしない。ただＢ期の遺構群を見る限りこれらの溝群に近接した部分の遺構密度が他に比べて際だって低いため、溝が掘削されていたかどうかはともかく、Ｂ期の段階で既にここが土地の境界を示すような意識が働いていたことが推測される。また前述したように9SD050のように７ｃ末～８ｃ前葉に埋没した溝もあり、このころから溝で境を区切っていた可能性も考えられる。またこれらの溝群を詳しく見てみると、平行に走行している溝の一群がある。9SD085－10SD090の溝群と9SD361－9SD362－9SD372（9SD055に続くか）の溝群である。これらは第９次調査区の一部でしか確認されていないが、これらに挟まれた空間が道路として機能していたことも十分考えられる。この付近の道路遺構としては、筑前国分寺の南辺を通って水城東門付近に向かう東西道路が、本調査区の溝群から北に約160ｍ前後の地点で検出されている。本調査区の東西溝群は表３に示すようにG.N.より東に88～89度の方位に振れているが、筑前国分寺南辺道路はG.N.より東に90度を超える振れを有している。溝埋没の時期の問題や本調査区における計測が狭い範囲で行われていることなど筑前国分寺南辺道路と同列に扱うことに問題もあるが、設計の振れに違いがあることは今後周辺の調査成果を踏まえて慎重に検討していく必要がある。なお本調査区の道路遺構とみられる東西溝群は、道路中軸部分に最終的に9SD080－10SD100という大溝が掘削された段階で廃絶しているようである。この時期の掘立柱建物は9SB215・220・225・10SB215などが存在する。上記の東西溝群を挟んで近くに営まれているようであるが、この時期の遺物を含む小穴は調査区全面で検出されているため、建物も広い範囲で分布していた可能性はある。建物の規模については10SB215はＢ期の建物に類似しているが、その他については４ｍ四方程度の小規模な床面積を有したものが多い。

このようにＣ期で検出した建物の規模は小型化してはいるが、この時期の遺構全般からの出土遺物は、多種多様で量も比較的多い。各地の緑釉陶器や灰釉陶器、薩摩産の耳皿など、国内各地との交流を示す遺物が出土している他、白磁・越州窯系青磁・長沙窯系青磁などの輸入陶磁器類も多く出土している。また10SE075という瓦積み井戸や、9SK035など大型の廃棄土坑が掘削されており、活発な活動が行われていたことを裏づけている。

そして本調査区で検出した遺構の最終埋没時期は、大宰府編年Ⅸ期（９ｃ末～10ｃ初頭）である。調査区中央の東西溝10SD100の埋没がこの時期であり、その後の遺構が展開していない。

以上、遺構の変遷をまとめると、以下のような成果を得たことになる。

１、７ｃ代の竪穴住居集落が存在すること。

２、７ｃ後半～末に整地作業を行い、その後区割りされた土地利用をしていること。

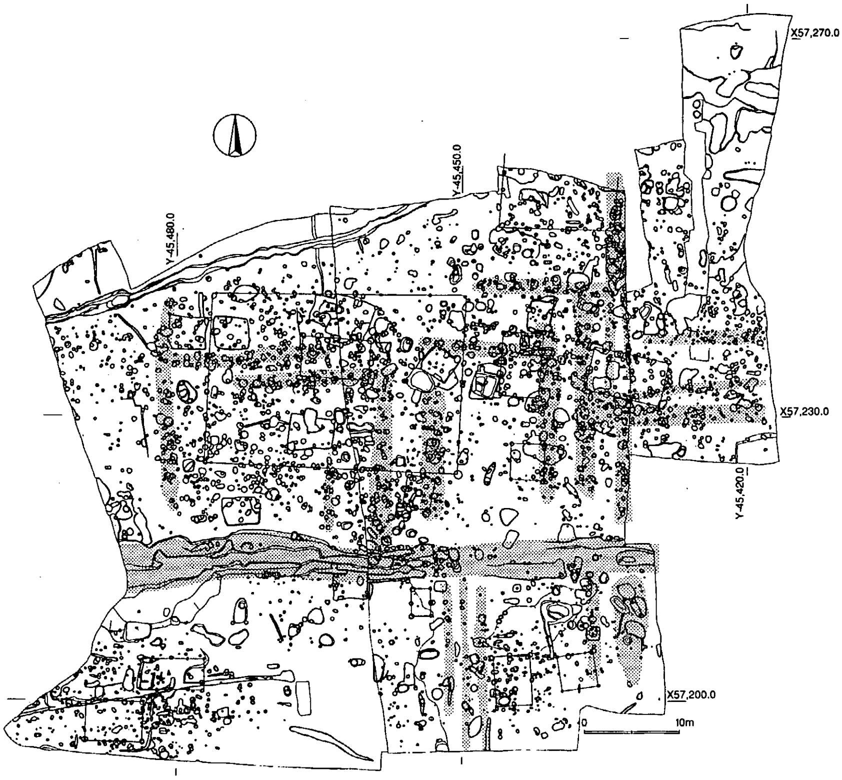


Fig.3　御笠団印出土地周辺遺跡第7・9・10次調査区割り案

3、本調査区の廃絶時期がⅨ期であること。

1について、太宰府市内でのこの頃の集落は佐野地区のカヤノ遺跡で検出されている程度で、市の歴史を考える上で貴重な事例といえる。ただ小田編年Ⅳ型式の時期については、これまで6c末～7c初頭とされてきたが、水城跡の調査成果等を踏まえて7c中頃まで時期を下らせる意見もあり、水城・大野城建設時の集落という視点からも今後検討していく必要がある。

2については報告した柵列や溝については前述のとおりであるが、このほか土地利用に関連して遺構全体をみると、遺構密度に疎密があることが注目される。大きくみると10SB205の付近、9SB205の付近、9SB220・225付近、および10SB210・215付近に遺構が密集しているようである。さらにみてみると小穴が列状に連なり、さながら柵列のように見える部分もある（Fig.3の網かけ部分）。これらの遺構のかたまりは時期差もあり単純にひとまとめにする事は意味のないことであるが、各時代を通して土地利用方法が似通っていることから生じた結果とみると重要である。8cの土地利用を平安時代も踏襲していることは大宰府条坊跡の中でも確認されており、今後条坊の成果と照らして、大宰府北西部の計画地割りを検討していく必要がある。

3については、大宰府条坊と比較すると早い段階に土地利用が終焉しているといえる。このことについて、大宰府条坊内でも10c代に埋没する溝の存在から、条坊の画期がこの時期にあ

るという所見もあり、当調査区も大宰府条坊内の画期と契機を一にしている可能性もある。

最後に御笠団との関連であるが、本調査区では軍団に直接結びつく資料は得られていない。軍団との関連を現段階では結論できないと考える。ただ7c末という早い段階から計画地割りや構築物が存在することや、選士制が廃止されたであろう時期と遺跡の廃絶時期が近接していることなどは興味深い。軍団との関係については今後の調査成果に負うところが多い。

＜参考文献＞

『大宰府条坊跡Ⅸ』～太宰府市の文化財第30集～　太宰府市教育委員会　1996

『辻遺跡』～太宰府市の文化財第33集～　太宰府市教育委員会　1997

山村信榮「7世紀後半の諸問題」『古文化談叢』41　九州古文化研究会　1998年11月

井上信正「大宰府条坊の区割りについて」『条里制研究』13　条里制研究会　1997　　他

遺構種別	遺構番号	柱穴そのものの遺構番号	柱穴の一部を含む小穴群等の遺構番号
掘立柱建物	御9SB205	7次　なし 9次　S-451、481、486	7次　S-18、47、62 9次　S-448
	御9SB210	9次　S-70、274、283、614	9次　S-241、251、327、336
	御9SB215	9次　S-203、209、252、254、271、544	9次　S-204、256
	御9SB220	9次　S-11、17、24a、24b、103	9次　S-106、143
	御9SB225	9次　S-34、37、46、137、157	9次　S-21、23、126
	御9SB235	なし	9次　S-171、172、174
	御9SB320	9次　S-320a～i	－
	御10SB205	9次　S-463、464、466、533 10次　S-62、202	9次　なし 10次　S-67、68、102、106
	御10SB210	10次　S-312、348、352	10次　S-284、296、368
	御10SB215	10次　S-212、317、322	10次　S-244、246、254
柵　列	御7SA001	7次　S-1a～f	－
	御7SA025	7次　S-25a～i	－
	御9SA245	9次　S-358、401、562、604、606、619	9次　S-155、553、557、608
	御9SA255	9次　S-221 10次　なし	9次　S-219、319、321、577 10次　S-41、42、166、194、209、214

表2　掘立柱建物・柵列の遺構番号対応表

	計測点	X座標	Y座標	溝の方向
1	9SD085東端下場任意中点	57213.220	-45456.200	G.N.-93° 16′ 46″ -E
	10SD090西端下場任意中点	57213.750	-45465.450	
2	9SD361東端下場任意中点	57215.770	-45456.000	G.N.-89° 33′ 33″ -E
	9SD362西端下場任意中点	57215.740	-45459.900	
3	9SD050東端下場任意中点	57213.800	-45440.200	G.N.-89° 00′ 44″ -E
	9SD050西端下場任意中点	57213.700	-45446.000	
4	9SD055東端下場任意中点	57216.620	-45433.000	G.N.-88° 41′ 26″ -E
	9SD055西端下場任意中点	57216.460	-45440.000	
5	9SD015東端下場任意中点	57203.410	-45449.200	G.N.-88° 21′ 48″ -E
	9SD015西端下場任意中点	57203.250	-45454.800	
6	9SD710東端下場任意中点	57211.230	-45451.400	G.N.-81° 02′ 19″ -E
	9SD710西端下場任意中点	57210.000	-45459.200	

表3　主要溝計測表

付　表

御10SE075出土瓦一覧表

遺構番号台帳

遺物計測・観察表

出土遺物一覧表

御10SE075井戸枠出土瓦一覧表（1）

種別	たたきの種類	格子目の大きさ	線の太さ	線のゆがみ	范傷の分類	残存部位	全長	幅	厚さ	丸瓦玉縁長	R番号	備考
平	正格子	大	太い	平行		b	6.1+	8.1+	1.8		011	焼成が甘い。
平	正格子	大	中間	平行		d	13.4+	9.4+	2.6		012	焼成が甘い。
平	正格子	大	中間	平行		d	12.7+	15.1+	2.3		013	范の端に縦長格子の部分がある。
平	正格子	大	中間	平行		b	17.4+	13.9+	1.8		014	正格子（大）のサンプル。
平	正格子	大	中間	中間		a	9.6+	8.8+	1.7		010	
平	正格子	中（中）	中間	平行		a	6.1+	7.4+	1.9		065	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	平行		a	6.6+	9.5+	1.9		066	
平	正格子	中（中）	中間	平行		a	12.1+	9.5+	1.7		070	
平	正格子	中（中）	中間	平行		a	12.0+	13.0+	2.0		133	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	平行		a	8.5+	8.8+	1.5		134	
平	正格子	中（中）	中間	平行		b	8.2+	9.2+	1.3		135	
平	正格子	中（中）	中間	平行		b	10.5+	14.2	1.6		136	
平	正格子	中（中）	中間	平行		b	11.3+	12.0+	1.8		137	
平	正格子	中（中）	中間	平行		a	12.6+	7.3+	1.7		138	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	平行		d	7.8+	4.7+	1.7		139	
平	正格子	中（中）	中間	平行		d	14.8+	14.7+	2.0		140	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	平行		b	8.5+	7.2+	1.6		147	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	平行		b	10.6+	11.8+	2.0		148	正格子（中）のサンプル。
平	正格子	中（中）	中間	平行		d	7.7+	6.0+	1.4		150	
平	正格子	中（中）	中間	平行		a	4.2+	7.2+	1.2		157	
平	正格子	中（中）	中間	中間		a	6.5+	7.3+	1.2		063	
平	正格子	中（中）	中間	中間		a	12.3+	7.4+	1.5		064	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	中間		a	9.4+	4.5+	1.9		071	
平	正格子	中（中）	中間	中間		a	6.4+	7.7+	1.7		144	
平	正格子	中（中）	中間	中間		a	10.3+	12.8+	1.8		145	
平	正格子	中（中）	中間	中間		a	13.1+	8.1+	1.4		146	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	中間		d	6.4+	8.5+	1.7		149	
平	正格子	中（中）	中間	中間		d	8.7+	7.9+	1.4+		152	凹面が残存していない。
平	正格子	中（中）	中間	中間		b	12.0+	8.9+	1.4		153	
平	正格子	中（中）	中間	中間		d	6.7+	8.8+	1.9		156	
平	正格子	中（中）	中間	中間		d	10.3+	8.8+	1.3+		158	凹面が残存していない。
平	正格子	中（中）	中間	中間		d	9.7+	5.3+	1.6+		159	
平	正格子	中（中）	中間	中間		a	8.9+	6.8+	1.7		161	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	7.1+	7.8+	1.1+		015	凹面が残存していない。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	12.6+	12.9+	1.7		016	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	12.8+	7.9+	1.7		017	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	9.0+	7.9+	1.2		018	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	10.2+	10.0+	1.9		019	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	8.2+	9.0+	1.8		020	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	10.5+	8.5+	1.7		021	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	9.6+	5.1+	1.6		022	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	8.1	13.3+	1.4		023	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	7.1+	12.4+	1.5		024	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	10.5+	6.5+	1.0		025	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	9.1+	6.2+	1.3		026	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	8.1+	8.9+	1.9		027	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	12.5+	6.8+	2.0		028	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	11.3+	6.1+	1.5		029	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	9.7+	11.7+	1.6		030	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	8.0+	7.9+	1.5		031	歪みあり。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	5.5+	7.8+	1.3		032	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	10.6+	7.0+	1.4		033	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	13.3+	6.7+	1.1		034	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	11.9+	3.5+	1.5		035	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	I	a	16.8+	9.4+	1.8		036	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	I	a	14.8+	11.1+	1.5		037	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	7.9+	7.1+	1.6		038	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	9.8+	10.0+	1.1		039	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	9.2+	10.6+	1.3		040	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	5.9+	8.3+	1.9		041	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	I	a・b	17.9+	17.1+	1.5		042	范傷Iのサンプル。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	4.2+	5.4+	1.8		043	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	14.3+	9.4+	1.0		044	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	8.9+	8.0+	1.9		045	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	6.4+	4.9+	1.7		046	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	7.7+	6.3+	1.4+		047	凹面が残存していない。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	9.2+	11.0+	1.8		048	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	6.7+	10.2+	1.9		049	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	6.8+	5.5+	1.6		050	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	10.8+	6.7+	2.9		051	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	10.8+	3.5+	1.7		052	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	10.0+	8.3+	2.1		053	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	11.2+	11.8+	2.2		054	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	13.2+	13.5+	1.8		055	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	10.7+	13.3+	2.1		056	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	3.5+	2.2+	2.5		057	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	7.9+	8.8+	1.7		058	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	10.7+	7.7+	1.9		059	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	11.4+	10.5+	2.0		060	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	15.5+	11.8+	1.9		061	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	4.0+	4.5+	2.1		062	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	6.7+	9.8+	1.5		067	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	5.75+	8.9+	1.2		068	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	13.2+	6.4+	1.5		069	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	5.6+	10.1+	1.5		072	范が重なりあう部分がある。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	II	a・b	20.6+	15.7+	1.7		075	范傷IIのサンプル。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	II	a・b	14.4+	13.6+	1.7		076	焼成が甘い。

御10SE075井戸枠出土瓦一覧表（2）

種別	たたきの種類	格子目の大きさ	線の太さ	線のゆがみ	范傷の分類	残存部位	全長	幅	厚さ	丸瓦玉縁長	R番号	備考
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	II	a・b	18.2+	18.1+	1.4		077	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	II	a・b	15.4+	9.9+	1.8		078	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	II	a	12.5+	8.8+	1.4		079	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	II	a	9.5+	8.3+	1.5		080	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	II	a	7.8+	9.3+	1.4		081	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	II	a	9.4+	8.4+	1.6		082	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	II	b	7.9+	10.3+	1.4		083	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	II	d	7.7+	9.1+	2.1		084	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	II	d	7.2+	10.5+	9.0+		085	凹面部が残存していない。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	III	a	12.2+	11.3+	1.1		086	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	III	a	10.1+	10.5+	2.1		087	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	III	a	10.4+	7.4+	1.3		088	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	III	a	7.6+	9.9+	1.5		089	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	III	a	15.2+	10.6+	1.8		090	范傷IIIのサンプル。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	III	a	11.8+	10.2+	1.1		091	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	III	a	9.9+	7.5+	1.2		092	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	III	a	11.1+	9.0+	1.1		093	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	IV	a・b	18.3+	14.0+	1.2		094	范傷IVのサンプル。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	IV	a	8.6+	9.0+	1.2		095	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	IV	b	9.5+	10.0+	2.0		096	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	IV	b	7.6+	11.8+	1.4		097	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	IV	b	6.1+	10.5+	1.6		098	焼成がやや甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	IV	d	8.8+	10.4+	10.0+		099	凹面が残存していない。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	IV	d	8.0+	9.8+	2.3		100	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	IV	d	6.4+	8.9+	1.3+		101	凹面が残存していない。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	V	a	10.5+	8.1+	1.2		102	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	V	d	11.2+	9.9+	2.0		103	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	V	d	7.7+	9.8+	2.4		104	范傷Vのサンプル。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	V	d	5.5+	6.4+	1.9		105	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	a	11.4+	10.9+	2.0		106	あちこち破損している。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	a	11.7+	11.6+	1.8		107	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	8.9+	11.5+	2.1		108	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	a	11.7+	9.1+	1.9		109	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	a・b	13.1+	13.3+	1.9		110	范傷VIのサンプル。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	a・b	13.2+	6.5+	1.7		111	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	a	11.1+	10.4+	1.7		112	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	a	12.9+	8.9+	1.6		113	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	a	10.8+	11.1+	2.1		114	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	a	11.0+	6.5+	1.8		115	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	6.4+	7.5+	1.8		116	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	6.6+	7.7+	1.5		117	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	7.5+	15.2+	1.4		118	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	b	9.6+	14.9+	2.0		119	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	b	8.4+	6.4+	2.1		120	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	b	7.8+	17.4+	1.7		121	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	b	10.6+	9.5+	1.7		122	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	b	9.8+	11.5+	2.5		123	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	9.9+	7.4+	2.1		124	范が重なりあう部分がある。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	d	15.2+	9.3+	2.0		125	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	d	8.4+	9.2+	1.8		126	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	d	7.9+	10.5+	1.0+		127	凹面が残存していない。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	d	7.1+	7.8+	1.05+		128	凹面が残存していない。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	5.4+	6.5+	1.6		129	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	d	10.6+	6.8+	0.8+		130	凹面が残存していない。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VII	b	10.2+	10.6+	1.7		131	范傷VIIのサンプル。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VIII	d	10.2+	12.2+	2.5		132	范傷VIIIのサンプル。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	11.2+	14.9+	1.9		141	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	8.1+	7.2+	1.6		142	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	7.3+	8.6+	1.3		143	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	7.0+	6.1+	1.7		151	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	7.4+	9.2+	1.7		154	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	14.1+	9.4+	1.7		155	
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	13.2+	10.5+	1.4+		160	范が重なりあう部分がある。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	6.9+	8.1+	2.2		403	方形の区画あり。磨滅のため詳細不明。焼成がやや甘い。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	VI	b	12.0+	5.8+	1.6		580	范はR-106～129と同じとみられる。
平	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	7.4+	6.2+	1.8		581	范はR-015～049と同じとみられる。
平	正格子	中（中）	細い	平行		a	9.4+	7.5+	2.2		073	焼成が甘い。
平	正格子	中（中）	細い	平行		a	7.2+	10.2+	2.0		074	
平	正格子	小	中間	中間		d	7.6+	6.8+	2.5		009	
平	正格子	小	中間	ゆがむ		a	6.5+	7.4+	1.8		001	
平	正格子	小	中間	ゆがむ		a	8.9+	10.2+	1.0+		002	凹面が残存していない。
平	正格子	小	中間	ゆがむ		a	8.2+	10.4+	2.3+		003	凹面が残存していない。
平	正格子	小	中間	ゆがむ		a	10.2+	12.2+	1.5		004	
平	正格子	小	中間	ゆがむ		a	9.1+	10.4+	1.9		006	
平	正格子	小	中間	ゆがむ		a	8.8+	11.0+	1.5		007	正格子（小）のサンプル。
平	正格子	小	中間	ゆがむ		b	4.0+	4.2+	1.7		008	
平	正格子（二重格子あり）	小	中間	中間		a	9.2+	9.5+	1.8		005	正格子と共に二重格子もみられる。
平	斜格子	大	太い	平行		a	11.4+	17.8+	1.6		191	
平	斜格子	大	太い	中間		d	6.4+	7.5+	1.5		212	
平	斜格子	大	太い	中間		d	12.8+	14.6+	1.8		217	
平	斜格子	大	太い	ゆがむ		b	12.0+	9.0+	1.9		203	
平	斜格子	大	中間	平行		a	11.2+	12.6+	1.5		162	格子のゆがみ（平行）のサンプル。
平	斜格子	大	中間	平行		a	9.8+	11.5+	1.5		163	范の端と端がうまく重なる。斜格子（大）のサンプル。
平	斜格子	大	中間	平行		a	12.5+	8.9+	1.2		164	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	平行		a	12.9+	7.8+	1.2		165	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	平行		a	10.5+	7.1+	1.8		166	
平	斜格子	大	中間	平行		a	9.2+	8.1+	1.6		167	
平	斜格子	大	中間	平行		a	13.2+	14.6+	1.5		168	
平	斜格子	大	中間	平行		a	8.0+	8.7+	1.5		169	焼成が甘い。

種別	たたきの種類	格子目の大きさ	線の太さ	線のゆがみ	范傷の分類	残存部位	全長	幅	厚さ	丸瓦玉縁長	R番号	備考
平	斜格子	大	中間	平行		a	10.7+	11.5+	1.6		170	
平	斜格子	大	中間	平行		a	12.6+	12.0+	2.2		171	
平	斜格子	大	中間	平行		a	11.9+	11.1+	1.4		172	
平	斜格子	大	中間	平行		a	6.4+	5.3+	1.6		173	
平	斜格子	大	中間	平行		a	9.2+	7.6+	1.4		174	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	平行		a	10.3+	14.5+	1.7		175	
平	斜格子	大	中間	平行		a	6.5+	8.6+	1.6		176	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	平行		a	12.9+	9.4+	1.6		177	焼成が甘い。R-179と合体。
平	斜格子	大	中間	平行		a	6.3+	7.2+	1.7		178	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	平行		a	8.8+	6.8+	1.6		179	焼成が甘い。R-177と合体。
平	斜格子	大	中間	平行		a	12.2+	10.3+	1.6		180	
平	斜格子	大	中間	平行		a	11.9+	12.4+	1.2		181	
平	斜格子	大	中間	平行		a	10.2+	9.3+	1.7		182	
平	斜格子	大	中間	平行		a	9.4+	10.8+	1.8		183	
平	斜格子	大	中間	平行		a	13.8	8.5+	2.1		184	R-185と合体。
平	斜格子	大	中間	平行		d					185	R-184と合体。
平	斜格子	大	中間	平行		a	16.8+	9.8+	1.4		186	
平	斜格子	大	中間	中間		a	9.6+	11.7+	1.9		187	
平	斜格子	大	中間	中間		a	7.9+	15.6+	2.4		188	
平	斜格子	大	中間	平行		b	20.6+	13.3+	2.3		189	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	中間		a	5.3+	7.7+	1.5		190	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	中間		b	6.8+	10.7+	1.7		192	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	中間		b	9.9+	9.6+	2.1		193	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	中間		b	10.0+	13.5+	2.1		194	范が重なりあう部分がある。
平	斜格子	大	中間	中間		b	11.1+	12.3+	2.2		195	
平	斜格子	大	中間	中間		d	12.9+	11.1+	1.9		196	
平	斜格子	大	中間	中間		b	13.0+	12.8+	2.2		197	
平	斜格子	大	中間	中間		b	14.5+	10.6+	2.0		198	
平	斜格子	大	中間	中間		b	9.2+	7.5+	1.6		199	
平	斜格子	大	中間	中間		b	8.8+	8.9+	1.7		200	
平	斜格子	大	中間	中間		b	10.9+	10.9+	1.6		201	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	中間		b	8.9+	9.3+	1.8		202	
平	斜格子	大	中間	中間		d	10.4+	13.5+	1.4		204	
平	斜格子	大	中間	中間		d	10.9+	9.3+	1.5		205	范が重なりあう部分がある。
平	斜格子	大	中間	平行		d	8.0+	7.2+	1.9		206	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	平行		d	11.4+	10.6+	1.2		207	
平	斜格子	大	中間	平行		d	10.4+	6.5+	1.9		208	
平	斜格子	大	中間	平行		d	7.5+	8.3+	1.6		209	
平	斜格子	大	中間	平行		b	8.7+	9.5+	1.7		210	
平	斜格子	大	中間	中間		d	7.4+	8.0+	1.4		211	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	中間		d	15.8+	13.2+	2.1		213	焼成が甘い。
平	斜格子	大	中間	ゆがむ		d	7.8+	7.4+	2.1		214	范が重なっている。
平	斜格子	大	中間	ゆがむ		d	9.7+	8.5+	2.0		215	范が重なっている。
平	斜格子	大	細い	中間		d	10.8+	8.1+	1.9		216	
平	斜格子	中（大）	中間	平行		b	11.7+	14.3+	1.9		222	范が重なっている。
平	斜格子	中（大）	中間	平行		b	8.8+	14.4+	2.1		223	范が重なっている。焼成が甘い。
平	斜格子	中（大）	中間	平行		b	9.0+	11.8+	1.7		224	焼成がやや甘い。
平	斜格子	中（大）	中間	平行		a	10.2+	7.4+	1.5		225	
平	斜格子	中（大）	中間	平行		d	11.6+	6.0+	1.9		226	焼成が甘い。
平	斜格子	中（大）	中間	平行		d	8.5+	6.4+	1.8		227	
平	斜格子	中（大）	中間	平行		b	6.6+	8.1+	1.5		228	焼成がやや甘い。
平	斜格子	中（大）	中間	平行		d	10.1+	8.2+	1.6		229	
平	斜格子	中（大）	中間	平行		d	7.0+	9.1+	1.5		231	
平	斜格子	中（大）	中間	平行		b	5.0+	4.6+	1.9		233	
平	斜格子	中（大）	中間	中間		a	10.2+	8.3+	2.0		218	焼成が甘い。
平	斜格子	中（大）	中間	中間		a	11.9+	12.9+	1.7		219	焼成がやや甘い。
平	斜格子	中（大）	中間	中間		a	9.6+	8.8+	1.5		220	斜格子（中大）のサンプル。
平	斜格子	中（大）	中間	中間		d	10.4+	11.3+	2.0		404	方形の区画があるが、区画内には何もない。拓本あり。
平	斜格子	中（大）	中間	ゆがむ		a・b	21.6+	15.1+	1.5		221	焼成が甘い。
平	斜格子	中（大）	細い	平行		d	5.5+	8.8+	1.5		232	胎土に須恵器の破片が混入している。
平	斜格子	中（大）	細い	中間		d	11.2+	6.9+	1.7		230	
平	斜格子	中（中）	太い・中間	中間		a	13.2+	25.5			290	焼成が甘い。 線の太さが太いもの・中間の双方を含む
平	斜格子	中（中）	中間	平行		a	9.9+	5.8+	1.5		291	凸面に布目痕がある。
平	斜格子	中（中）	中間	平行		a	7.5+	6.7+	1.5		292	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	平行		a	11.6+	11.8+	1.4		293	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a	14.0+	10.4+	1.6		294	
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a	10.7+	12.6+	1.7		295	焼成がやや甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a	14.7+	16.7+	2.3		296	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a	6.3+	10.4+	1.1		297	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a	12.1+	11.3+	1.8		298	焼成がやや甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	平行		a	9.2+	7.5+	1.5		299	焼成がやや甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	平行		a	8.6+	11.1+	1.5		300	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	11.9+	11.9+	1.4		306	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	6.8+	8.6+	1.7		307	格子（中中）に格子（大）も混じっている
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	10.2+	8.0+	1.8		309	范が入り混じっている。
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	11.7+	6.2+	1.3+		310	焼成が甘い。凸面の一部欠損。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a	13.3+	12.3+	2.4		311	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a	11.9+	8.3+			312	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	18.9+	14.2+	1.2		313	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a	14.2+	8.7+	1.8		314	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a	6.5+	8.9+	1.5		315	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a	14.5+	17.1+	2.3		316	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	11.7+	8.4+	2.0		317	所々に自然釉がかかっている。
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	8.3+	8.9+	2.2		318	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	8.0+	15.8+	1.6		319	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	10.1+	9.2+	1.5		320	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	15.3+	16.4+	2.0		321	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	13.0+	11.5+	1.5		322	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	7.8+	14.1+	1.8		323	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	13.7+	9.5+	2.2		324	

御10SE075井戸枠出土瓦一覧表（4）

種別	たたきの種類	格子目の大きさ	線の太さ	線のゆがみ	范傷の分類	残存部位	全長	幅	厚さ	丸瓦玉縁長	R番号	備考
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	8.8+	8.8+	1.7		325	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	9.6+	9.4+	1.6		326	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	16.8+	9.4+	1.6		327	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	13.7+	10.6+	1.9+		328	凹面のほとんど欠損。格子の線（中間）のサンプル。
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	9.5+	10.7+	2.5		329	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	12.0+	8.2+	1.2		330	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	8.5+	10.7+	2.1		331	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	8.8+	6.7+	1.5		332	范が重なっている部分がある。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		b	12.0+	9.9+	1.4		335	一部分に自然釉が付着。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		b	12.5+	10.6+	1.3		336	
平	斜格子	中（中）	中間	中間		b	10.7+	12.2+	2.0		337	約1/2部分の焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		b	16.9+	17.1+	2.3		338	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a・b	17.9+	12.5+	1.5		339	
平	斜格子	中（中）	中間	中間		b	17.0+	14.3+	2.5		340	
平	斜格子	中（中）	中間	平行		a	19.4+	13.1+	2.0		341	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		b	10.1+	14.3+	2.4		342	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a	16.5+	15.0+	2.3		343	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		b	13.3+	11.7+	1.6		344	
平	斜格子	中（中）	中間	平行		b	8.6+	8.0+	1.9		345	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	平行		b	4.4+	7.3+	1.6		346	
平	斜格子	中（中）	中間	中間		a	13.1+	10.2+	1.7		347	焼成が甘い。格子のゆがみ（中間）のサンプル。
平	斜格子	中（中）	中間	平行		b	7.4+	12.5+	1.4		348	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	平行		a	12.5+	9.6+	1.6		349	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	7.9+	10.1+	1.9		350	
平	斜格子	中（中）	中間	平行		b	8.5+	6.1+	1.8		351	范が重なっている。
平	斜格子	中（中）	中間	平行		b	7.9+	12.0+	2.2		352	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ	IX	d	8.5+	10.4+	1.6		353	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ	IX	d	9.8+	8.5+	1.5		354	范傷IXのサンプル。
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ	IX	d	9.4+	7.4+	2.1		355	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ	IX	b	10.2+	11.0+	1.2+		356	凹・凸面共に約1/2部分が欠損。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		d	11.2+	11.3+	1.4		357	
平	斜格子	中（中）	中間	中間		d	11.0+	13.1+	2.4		358	凹面のほとんどが欠損。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		d	9.9+	12.0+	1.5		359	
平	斜格子	中（中）	中間	中間		d	6.6+	6.1+	2.0		360	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	10.0+	6.0+	2.0		361	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	9.6+	9.5+	2.3		362	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	11.2+	6.9+	1.9		363	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	9.9+	10.5+	1.9		364	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	8.0+	9.6+	1.9		365	自然釉が付着している。
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	12.2+	9.9+	1.9		366	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	10.5+	9.0+	1.5		367	
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	10.2+	10.1+	1.6		368	
平	斜格子	中（中）	中間	平行		d	20.1+	13.5+	1.6		369	焼成が甘い。斜格子（中中）のサンプル。
平	斜格子	中（中）	中間	平行		d	8.5+	9.5+	1.6		370	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	平行		d	10.1+	7.9+	1.5		371	凹面の所々が欠損。
平	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		d	9.5+	10.5+	2.0		372	凹面の所々が欠損。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		d	6.8+	7.3+	1.5		373	
平	斜格子	中（中）	中間	中間	X	d	7.9+	11.5+	1.6		374	焼成が甘い。凹面の約2/3が欠損。范傷Xのサンプル。
平	斜格子	中（中）	中間	平行		d	9.7+	7.1+	1.9		375	
平	斜格子	中（中）	中間	平行		d	14.1+	10.2+	2.0		376	焼成が甘い。
平	斜格子	中（中）	中間	中間		b	11.7+	12.3+	1.6		377	
平	斜格子	中（中）	中間	平行		d	12.0+	14.1+	1.7		406	区画があるかのように見えるが、磨滅がすすみ不明。
平	斜格子	中（中）	中間・細い	平行		b	10.0+	7.2+	1.6		333	線の太さが中間・細いものの双方を含む
平	斜格子	中（中）	中間・細い	平行		b	10.8+	7.4+	1.6		334	線の太さが中間・細いものの双方を含む
平	斜格子	中（中）	中間・細い	中間		a	14.5+	15.3+	1.0		308	焼成が甘い。 線の太さが中間・細いものの双方を含む
平	斜格子	中（中）	中間・細い	ゆがむ		a	12.2+	8.9+	1.4		304	焼成が甘い。 線の太さが中間・細いものの双方を含む
平	斜格子	中（中）	細い	中間		a	11.2+	13.4+	1.5		305	范が重なっている部分あり。格子の線（細い）のサンプル。
平	斜格子	中（小）	中間	平行		a	9.3+	11.3+	2.2		251	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	5.6+	5.1+	1.4		252	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	6.9+	8.5+	1.6		253	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	7.8+	10.3+	1.5		254	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	6.4+	12.8+	1.7		255	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	14.7+	9.3+	2.4		256	凹面が半分以上欠損している。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	14.3+	11.3+	2.3		257	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ	XI	b	6.2+	6.7+	1.2		258	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ	XI	b	12.3+	7.0+	1.4		259	焼成がやや甘い。范傷XIのサンプル。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ	XI	b	12.4+	9.5+	1.9		260	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ	XI	b	20.7+	11.5+	1.6		261	
平	斜格子	中（小）	中間	中間		b	9.3+	12.2+	1.9		262	
平	斜格子	中（小）	中間	中間		b	11.0+	16.6+	2.3		263	范が重なっている部分がある。
平	斜格子	中（小）	中間	中間		b	10.9+	11.7+	1.4		264	范が重なっている部分がある。
平	斜格子	中（小）	中間	中間		b	8.9+	8.7+	1.5		265	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	6.5+	4.7+	2.0		266	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	5.2+	8.8+	1.8+		267	凹面が破損している。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	9.2+	6.6+	1.4+		268	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	10.4+	5.7+	1.9		269	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	12.0+	8.8+	2.5		270	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	10.6+	11.1+	1.9		271	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	10.5+	7.6+	1.9		272	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	11.5+	8.0+	1.2+		273	凹面が破損している。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	9.8+	9.1+	2.3		274	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ	XII	b	5.4+	5.8+	1.6		275	焼成が甘い。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ	XII	d	10.2+	6.7+	2.2		276	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ	XII	d	9.7+	7.5+	1.7		277	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ	XII	d	12.1+	10.8+	2.0		278	范傷XIIのサンプル。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	7.0+	6.9+	1.8		279	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	7.8+	8.1+	2.1		280	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	4.8+	5.8+	1.6		281	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	11.1+	9.1+	1.9		282	焼成が甘い。凹面の約半分が欠損。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		d	14.0+	13.8+	2.4		283	

御10SE075井戸枠出土瓦一覧表（5）

種別	たたきの種類	格子目の大きさ	線の太さ	線のゆがみ	范傷の分類	残存部位	全長	幅	厚さ	丸瓦玉縁長	R番号	備考
平	斜格子	中（小）	中間	中間		d	6.4+	6.9+	2.2		284	
平	斜格子	中（小）	中間	中間		d	8.5+	10.7+	1.9		285	
平	斜格子	中（小）	中間	中間		b	5.0+	7.3+	1.5		286	
平	斜格子	中（小）	中間	中間		d	8.4+	10.3+	1.6+		287	凹面が欠損。
平	斜格子	中（小）	中間	中間		d	8.3+	8.8+	1.5		288	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	5.6+	3.1+	1.5		289	
平	斜格子	中（小）	中間・細い	中間		a	9.5+	8.5+	1.9		407	范の角の跡なのかわからないが、瓦に深く沈んでいる痕跡がある。（その部分の線は細い。） 線の太さが中間・細いものの双方を含む
平	斜格子	中（小）	中間	平行		b	12.8+	13.6+	2.0		531	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	8.4+	11.1+	1.6		237	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	6.0+	10.0+	1.2		238	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	7.9+	11.8+	1.4		239	焼成が甘い。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	7.7+	13.0+	1.6		240	焼成が甘い。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	15.3+	6.8+	1.5		241	焼成が甘い。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	12.2+	12.3+	1.8		242	前（後）端面に三本の沈線が入っている。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	12.9+	13.9+	1.8		243	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	13.0+	11.3+	1.6		244	焼成が甘い。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	11.7+	13.7+	1.5		245	焼成がやや甘い。格子のゆがみ（ゆがむ）のサンプル。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	11.3+	5.8+	1.6+		246	凸面の一部破損。
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	7.5+	8.5+	2.2		247	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	12.8+	13.4+	1.9		248	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	8.6+	11.8+	2.0		249	
平	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		a	14.7+	11.5+	1.2		250	斜格子（中小）のサンプル。
平	斜格子	小	細い	平行		a	14.5+	9.5+	2.7		236	焼成がやや甘い。
平	斜格子	小	細い	中間		a	12.7+	8.6+	1.5		234	
平	斜格子	小	細い	中間		d	9.4+	9.4+	1.6		235	斜格子（小）のサンプル。
平	斜格子（横長長方形）	中（中）	太い	平行		a	14.3+	12.2+	1.7		378	格子の線（太い）のサンプル。
平	斜格子（横長長方形）	中（中）	太い	平行	XIV	d	10.7+	5.3+	1.8		386	焼成が甘い。范傷XIVのサンプル。
平	斜格子（横長長方形）	中（中）	太い・中間	中間		a	6.7+	9.0+	1.5		301	線の太さが太いもの・中間の双方を含む
平	斜格子（横長長方形）	中（中）	太い・中間	中間		a	9.9+	13.5+	2.0		302	焼成が甘い。斜格子（横長長方形）のサンプル。 線の太さが太いもの・中間の双方を含む
平	斜格子（横長長方形）	中（中）	太い・中間	中間		a	9.4+	5.9+	2.0		303	范が重なっている部分がある。 線の太さが太いもの・中間の双方を含む
平	斜格子（横長長方形）	中（中）	中間	平行	XIII	a	11.9+	8.4+	1.5		381	范傷XIIIのサンプル。
平	斜格子（横長長方形）	中（中）	中間	平行	XIII	a	12.0+	9.7+	2.1		380	焼成が甘い。
平	斜格子（横長長方形）	中（中）	中間	平行		b	7.4+	8.2+	2.1		382	
平	斜格子（横長長方形）	中（中）	中間	平行		b	7.8+	6.6+	2.2		383	
平	斜格子（横長長方形）	中（中）	中間	中間		d	8.6+	9.0+	1.8		384	
平	斜格子（横長長方形）	中（中）	中間・細い	平行	XIII	a	8.8+	7.9+	2.2		379	焼成が甘い。 線の太さが中間・細いものの双方を含む
平	斜格子（横長長方形）	中（中）	中間	中間		d	15.0+	10.9+	1.6		385	焼成が甘い。
平	斜格子（縦長）	大	中間	平行		a	6.9+	9.4+	1.6		411	
平	斜格子（縦長）	中（中）	中間	平行		a	11.3+	16.3+	1.7		410	焼成が甘い。縦長斜格子のサンプル。
平	斜格子（縦長、文字瓦）	中（中）	中間	平行		a	16.3+	14.2+	1.9		409	おそらく「佐」の文字？焼成が甘い。
平	斜格子（文字瓦）	中（大） ・中（中）	中間	中間		a	13.2+	16.2+	1.6		398	「佐」の文字がある。焼成が甘い。 格子目の大きさが中（大）・中（中）双方を含む
平	斜格子（T字あり）	中（中）	中間・細い	中間		a	13.1+	10.1+	1.8		405	格子目の中に、T字の范がまじっている。 焼成があまい。拓本あり。 線の太さが中間・細いものの双方を含む
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	太い	中間		b	17.8+	12.6+	1.9		402	「佐」の文字がある。
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	中間	平行		a	20.9+	15.4+	1.7		391	「前」の文字がある。焼成が甘い。
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	中間	平行		a	16.0+	13.2+	1.5		392	「前」の文字がある。
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	中間	平行		b	17.7+	8.1+	1.6		393	「前」の文字がある。
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	中間	平行		a	21.5+	15.6+	2.1		394	「前」の文字がある。
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	中間	平行		b	12.1+	10.5+	2.3		395	「前」の文字がある。
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	中間	平行		a	14.7+	12.2+	1.7		396	「前」の文字がある。焼成が甘い。
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	中間	平行		b	10.8+	11.6+	1.8		399	「佐」の文字がある。焼成が甘い。
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	中間	平行		b	11.8+	14.9+	1.9+		400	「佐」の文字がある。焼成が甘い。凹面の1/2程度磨滅。
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	中間	中間		b	10.0+	9.6+	1.8		387	「筑」の文字がある。
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	中間	中間		b	11.2+	13.2+	2.0		388	「筑」の文字がある。
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	中間	中間		a	16.1+	11.3+	1.4		389	「筑」の文字がある。
平	斜格子（文字瓦）	中（中）	中間	中間		b	17.8+	14.3+	1.8		390	「筑」の文字がある。
平	斜格子（幾何学文）	中（中）	中間	ゆがむ		b	11.4+	10.4+	1.5		408	格子目を貫く縦線の先端に楕円形の区画あり。Fig.10-25-20参照
平	二重格子	大	中間	中間		a	11.3+	13.2+	2.2		421	
平	二重格子	大	中間	中間		a	16.7+	13.8+	1.7		422	焼成がやや甘い。
平	二重格子	大	中間	平行		a	12.8+	14.8+	1.7		423	焼成が甘い。二重格子のサンプル。
平	二重格子	大	中間	平行		a	11.6+	10.3+	1.8		424	
平	二重格子	大	中間	平行		a	11.4+	9.8+	1.7		425	
平	二重格子	大	中間	平行		a	6.1+	7.8+	1.2		426	凸面にまで布目がある。
平	二重格子	大	中間	平行		b	7.4+	9.6+	1.9		428	
平	二重格子	大	中間	平行		b	11.4+	10.1+	1.6		429	
平	二重格子	大	中間	平行		b	10.3+	14.2+	1.7		430	全体的にかなり歪んでいる。
平	二重格子	大	中間	平行		b	17.1+	12.7+	2.4		431	
平	二重格子	大	中間	中間		d	11.5+	8.3+	1.9		432	
平	縄目	−	−	−		a	9.6+	14.3+	2.5		412	焼成が甘い。
平	縄目	−	−	−		a	10.+	6.7+	1.6		413	焼成が甘い。
平	縄目	−	−	−		d	7.4+	6.7+	2.2		414	焼成が甘い。
平	縄目	−	−	−		d	8.3+	5.9+	1.9		415	焼成が甘い。
平	縄目	−	−	−		d	5.0+	4.5+	1.6		416	焼成が甘い。
平	平行叩き	−	−	−		a・b	20.2+	18.6+	1.6		417	
平	平行叩き	−	−	−		a	11.2+	11.0+	1.5		418	焼成が甘い。凹面の約1/2が磨滅。平行叩きのサンプル。
平	不明	−	−	−		b	7.8+	6.8+	1.8		401	「佐」文字付近のみ残存。凹面の焼成が甘い。
丸	正格子	中（中）	中間	平行		c	9.4+	7.5+		4.9	444	焼成が甘い。
丸	正格子	中（中）	中間	中間		c	8.0+	8.8+		4.9+	445	
丸	正格子	中（中）	中間	中間		c	10.2+	7.8+	0.8	5.1	446	焼成が甘い。
丸	正格子	中（中）	中間	平行		c	10.9+	11.3+	1.0	5.4	447	焼成が甘い。
丸	正格子	中（中）	中間	中間		c	7.1+	5.0+	0.9	0.4+	448	
丸	正格子	中（中）	中間	中間	XVII	b	10.7+	5.8+	1.5		449	焼成がやや甘い。范傷XVIIのサンプル。
丸	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	XVIII	b	11.4+	9.3+	1.7		450	全体的にかなり湾曲している。范傷XVIIIのサンプル。
丸	正格子	中（中）	中間	中間	XIX	b	10.3+	10.4+	1.5		451	范傷XIXのサンプル。
丸	正格子	中（中）	中間	平行	XX	b	9.6+	9.7+	1.3		452	范傷XXのサンプル。
丸	正格子	中（中）	中間	中間		b	10.6+	10.4+	1.9		453	
丸	正格子	中（中）	中間	中間		b	7.5+	8.0+	1.7		454	
丸	正格子	中（中）	中間	平行		a	9.4+		1.3		455	焼成が甘い。
丸	正格子	中（中）	中間	平行		b	7.7+	8.2+	2.0		456	焼成が甘い。

御10SE075井戸枠出土瓦一覧表（6）

種別	たたきの種類	格子目の大きさ	線の太さ	線のゆがみ	范傷の分類	残存部位	全長	幅	厚さ	丸瓦玉縁長	R番号	備考
丸	正格子	中（中）	中間	平行		c	7.7+	9.8+		0.5+	457	
丸	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	11.6+		1.7		459	
丸	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	10.3+		1.3		460	
丸	正格子	中（中）	中間	中間		a	5.5+		1.5		461	
丸	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	10.1+		1.5		462	自然釉がかかっている。
丸	正格子	中（中）	中間	中間	XXI	a	15.8+		1.5		463	
丸	正格子	中（中）	中間	中間	XXI	a	14.4+		1.4		464	范傷XXIのサンプル。
丸	正格子	中（中）	中間	平行		c	8.8+	10.1+	1.0	1.1+	465	
丸	正格子	中（中）	中間	中間		c	7.4+	4.1+	1.0	5.3	433	
丸	正格子	中（中）	中間	中間		c	16.1+	7.8+	0.8	5	434	焼成がやや甘い。
丸	正格子	中（中）	中間	中間		c	19.5+	9.9+	1.1	4.9	435	
丸	正格子	中（中）	中間	中間	XV	c	12.0+	11.2+	0.8	5.2	436	范傷XVのサンプル。
丸	正格子	中（中）	中間	中間	XV	c	8.4+	5.0+	1.1	5.2	437	
丸	正格子	中（中）	中間	中間	XV	c	6.8+	6.4+	0.9	0.9+	438	
丸	正格子	中（中）	中間	中間		c	9.8+	10.0+	1.0	4.1	439	所々に自然釉がかかっている。
丸	正格子	中（中）	中間	中間		c	11.6+	8.0+	1.0	4.9	440	
丸	正格子	中（中）	中間	ゆがむ	XVI	c	10.0+	12.6+	1.1	5.4	441	范傷XVIのサンプル。
丸	正格子	中（中）	中間	中間		c	10.3+	11.0+	1.0	1.6+	442	
丸	正格子	中（中）	中間	ゆがむ		c	8.2+	14.6+		0.7+	443	
丸	斜格子	大	太い	平行		d	8.9+	12.3+	1.6		475	
丸	斜格子	大	太い	平行		a	10.2+		1.4		476	
丸	斜格子	大	太い	平行		a	12.2+		1.6		477	
丸	斜格子	大	中間	平行		c	13.0+	10.4+		4.9+	478	
丸	斜格子	大	太い	平行		c	13.0+	12.4+		5.5+	479	焼成が甘い。范が重なっている。
丸	斜格子	大	太い	平行		c	21.9+	11.9+	1.4	5.9+	480	焼成が甘い。
丸	斜格子	大	中間	平行		a	16.2+		1.8		466	
丸	斜格子	大	中間	平行		b	13.1+	14.4+	1.6		467	
丸	斜格子	大	中間	平行		d	13.9+	19.8+	1.7		468	
丸	斜格子	大	中間	平行		a	9.0+		1.6		469	
丸	斜格子	大	中間	平行		b	8.9+	12.8+	2.3		470	
丸	斜格子	大	中間	平行		d	6.3+	8.8+	1.6		471	焼成が甘い。
丸	斜格子	大	中間	平行		b	7.1+	15.2+	1.6		472	焼成がやや甘い。
丸	斜格子	大	中間	平行		d	7.5+	8.5+	1.8		473	焼成がやや甘い。
丸	斜格子	大	中間	平行		b	9.4+	8.8+	1.7		474	焼成が甘い。
丸	斜格子	大	中間	平行		c	13.6+	11.0+	1.0	1.3+	534	焼成が甘い。
丸	斜格子	中（大）	中間	平行		c	9.5+	8.3+	1.1	2.5+	481	
丸	斜格子	中（大）	中間	平行		c	12.5+	9.9+	1.1	5.3+	482	焼成が甘い。
丸	斜格子	中（大）	中間	平行		c	14.7+	11.5+	0.9	4.5+	483	
丸	斜格子	中（大）	中間	平行		d	10.0+	9.9+	2.0		484	焼成が甘い。
丸	斜格子	中（大）	中間	平行		d	6.2+	6.9+	1.9		485	
丸	斜格子	中（大）	中間	中間		c	14.3+	12.0+	1.0	5.2+	486	
丸	斜格子	中（大）	中間	中間		a	8.0+		1.5+		487	
丸	斜格子	中（大）	中間	中間		b	9.8+	7.0+	1.9		488	
丸	斜格子	中（中）	中間	平行		a	5.8+		1.7		508	
丸	斜格子	中（中）	中間	平行		a	10.4+		1.6		509	
丸	斜格子	中（中）	中間	平行		a	7.5+		1.3		510	
丸	斜格子	中（中）	中間	平行		a	16.3+		1.5		511	
丸	斜格子	中（中）	中間	平行		b	6.2+	7.9+	1.7		512	
丸	斜格子	中（中）	中間	平行		b・c	19.9+	14.0	1.4	4.5	513	
丸	斜格子	中（中）	中間	平行		c	14.2+	10.8+	1.1	5.0+	514	
丸	斜格子	中（中）	中間	平行		b	11.9+	12.2+	1.6		515	
丸	斜格子	中（中）	中間	平行		c	8.2+	9.6+	1.1	5.3	516	
丸	斜格子	中（中）	中間	平行		c	6.1+	8.1+	0.9		517	焼成が甘い。
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		d	7.3+	6.5+	2.1		489	
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		d	12.4+	7.8+	1.6		490	
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		d	7.9+	10.7+	1.6		491	
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		d	11.3+	13.6+	2.2		492	
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		b	11.0+	8.9+	1.5		493	
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		b	5.8+	15.8+	2.4		494	
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		d	10.8+	13.8+	2.0		495	
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		d	17.8+	10.5+	1.6		496	焼成が甘い。
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		c	17.8+	10.0+	0.9	4.9	497	
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		c	8.9+	10.1+	1.1	4.1	498	焼成が甘い。
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		c	12.2+		0.8	5.2	499	焼成が甘い。
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		c	10.6+	11.5+	1.2	5	500	
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		b	17.0+	12.5+	1.5		501	
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		b	11.4+	8.9+	1.8		502	
丸	斜格子	中（中）	中間	中間		d	5.3+	8.9+	1.8		504	
丸	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		c	11.0+	7.5+	1.3	0.3+	505	
丸	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		b	9.5+	8.3+	1.9		506	
丸	斜格子	中（中）	中間	ゆがむ		a	12.5+		1.2		507	焼成が甘い。
丸	斜格子	中（小）	中間	中間		d	11.0+	13.2+	1.4		503	焼成が甘い。
丸	斜格子	中（小）	中間	中間.		d	10.1+	9.5+	2.3		532	
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		c	12.0+	11.4+	0.9		518	
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		c	17.6+	12.0+	1.2	4.9+	519	自然釉がかかっている。
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		c	14.3+	16.7+	1.4	5.2+	520	
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	9.4+	8.6+	1.9		521	
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	9.2+	6.0+	2.0		522	
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	10.2+	8.3+	1.9		523	焼成が甘い。
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	17.8+	12.1+	1.8		524	焼成が甘い。
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	16.2+	10.1+	1.9		525	焼成が甘い。
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	7.0+	12.5+	1.9		526	
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	9.5+	15.2+	1.9		527	
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ		b	10.4+	7.8+	1.5		528	
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ	XXII	b	9.3+	13.3+	1.6		529	
丸	斜格子	中（小）	中間	ゆがむ	XXII	b	11.6+	8.8+	1.8		530	范傷XXIIのサンプル。
丸	斜格子（文字瓦）	中（大）・中（中）	中間	中間		b	7.4+	14.3+	1.6		397	「佐」の文字がある。 格子目の大きさが中（大）・中（中）双方を含む
丸	斜格子×二重格子	大	中間	平行		c	7.8+	6.5+	1.1	0.4+	533	焼成が甘い。二重格子か？
丸	二重格子	大	中間	平行		a	14.8+		1.5		427	焼成がやや甘い。
丸	平行叩き	−	−	−		c	11.7+		1.4	0.7+	419	焼成が甘い。
丸	平行叩き	−	−	−		c	12.9+		1.1	1.6+	420	焼成が甘い。
不明	正格子	大	中間	平行		d	3.4+	6.9+	2.5		569	焼成が甘い。
不明	正格子	中（中）	太い	中間		a	14.7+	8.2+	1.5		547	
不明	正格子	中（中）	中間	平行		a	8.8+	11.0+	1.5		543	
不明	正格子	中（中）	中間	平行		a	6.5+	8.4+	1.4		544	
不明	正格子	中（中）	中間	平行		a	10.6+	10.2+	1.6		546	焼成が甘い。

御10SE075井戸枠出土瓦一覧表 (7)

種別	たたきの種類	格子目の大きさ	線の太さ	線のゆがみ	范傷の分類	残存部位	全長	幅	厚さ	丸瓦玉縁長	R番号	備考
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ		b	9.4+	7.4+	1.0		548	凸面が約1/2欠損。
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ		b	7.1+	8.8+	1.6		555	
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ		d	8.2+	9.7+	1.7		557	
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ	XXIII	d	10.3+	8.1+	2.0		560	范傷XXIIIのサンプル。
不明	正格子	中 (中)	中間	中間		d	8.7+	5.5+	1.5		562	
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ		a	8.5+	10.8+	1.7		564	
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ		a	7.7+	11.1+	2.0		565	
不明	正格子	中 (中)	中間	中間		d	6.1+	8.7+	1.5		567	
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ		a	8.6+	12.9	1.2		568	
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ		a	9.8+	11.8+	1.3		570	
不明	正格子	中 (中)	中間	中間	XXIV	b	7.0+	6.5+	2.0		571	自然釉がかかっている。范傷XXIVのサンプル。
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ	XXV	b	13.8+	8.8+	1.2		572	范傷XXVのサンプル。
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ		b	9.5+	6.1+	1.8		574	自然釉がかかっている。
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ		d	11.6+	8.2+	1.5		575	范が重なっている部分がある。
不明	正格子	中 (中)	中間	平行		d	9.8+	8.7+	1.8		576	
不明	正格子	中 (中)	中間	中間		a	9.0+	6.4+	1.4		541	
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ		a	9.8+	4.8+	1.5		539	凹面に自然釉が付着している。
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ		a	11.8+	7.7+	2.3		542	
不明	正格子	中 (中)	中間	ゆがむ		d	11.5+	10.1+	2.0		577	
不明	正格子	小	中間	平行		d	6.2+	8.6+	1.1+		579	
不明	斜格子	大	中間	中間		a	16.8+		1.4		536	二重格子かも？格子目の中に縦線がはいる。
不明	斜格子	大	太い	中間		b	7.3+	9.4+	1.3		537	
不明	斜格子	大	太い	中間		a	10.5+		1.4		535	
不明	斜格子	大	中間	平行		d	9.2+	9.2+	1.8		538	
不明	斜格子	中 (中)	中間	平行		a	5.1+	5.2+	1.2		545	
不明	斜格子	中 (中)	中間	ゆがむ		b	10.6+	8.5+	1.5		549	自然釉がかかっている。
不明	斜格子	中 (中)	中間	平行		b	17.3+	12.3+	1.4		550	
不明	斜格子	中 (中)	中間	平行		b	5.5+	5.4+	2.2		551	
不明	斜格子	中 (中)	中間	ゆがむ	XXVI	b	9.7+	12.3+	2.3		552	凸面の約1/2程度が欠損。范傷XXVIのサンプル。
不明	斜格子	中 (中)	中間	ゆがむ		b	11.9+	5.6+	1.9		553	焼成が甘い。
不明	斜格子	中 (中)	細い	中間		b	11.0+	6.4+	1.7		554	
不明	斜格子	中 (中)	中間	中間		d	7.8+	11.8+	2.5		556	
不明	斜格子	中 (中)	中間	中間		d	13.1+	7.5+	1.6		558	焼成が甘い。
不明	斜格子	中 (中)	中間	ゆがむ		d	6.5+	7.5+	1.8		559	
不明	斜格子	中 (中)	中間	平行		d	7.7+	8.2+	1.5		561	
不明	斜格子	中 (中)	中間	中間		d	10.9+	11.3+	0.7+		563	凹面欠損。
不明	斜格子	中 (中)	中間	平行		b	7.4+	4.4+	1.5		573	
不明	斜格子	中 (中)	細い	中間		a	5.8+	8.5+	1.6		540	
不明	斜格子	小	中間	中間		a	10.6+	9.3+	1.6		566	
不明	斜格子×二重格子	中 (中)				d	6.8+	7.8+	1.4+		578	所々が欠損しているが、二重格子の可能性もある。凹面欠損。

御笠団印出土地周辺遺跡第７次調査遺構番号台帳（1）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
1	御7SA001	柵列	北東－南西に走行。	S-1d灰色砂→S-1d		VII期～	CD3～5
2		小穴群					D3付近
3		小穴				8ｃ	CD3
4		小穴群				平安か	CD3
5		たまり状遺構		茶灰色砂質土→16→灰色砂質土		8ｃ末	B5～6
6		小穴群				8ｃか	B3～4付近
7		小穴群				8ｃか	C4
8		小穴群				平安か	C5
9		小穴群				8ｃか	C4～D5
10	御7SK010	焼土坑		淡灰色砂→炭層			C5～6
11		土坑？					CD5
12		欠番					－
13		小穴群				8ｃ	B6付近
14		小穴				～9c初	B6
15	御7SK015	土坑		15茶色土→15	15→64・66	7c後	F6～7付近
16		たまり	ごく浅い		5灰色砂質土 除去後検出	8ｃ	B5～6
17		小穴群				8ｃか	CD4
18		小穴、土坑群				8ｃか	C5～6付近
19		小穴				平安か	C6
20		たまり状遺構					FG6付近
21		小穴群				8ｃ	C7
22		土坑				8ｃ	C6～7
23		小穴群				8ｃ	BC7
24		小穴群				8ｃ	C6
25	御7SA025	柵列	北東-南西方向に走行。				FG3～5
26		土坑				8ｃか	C6
27		小穴群				8ｃか	E3付近
28		土坑			29→28	8ｃか	D3
29		土坑群			29→28	弥生？	D3
30	御7SD030	溝状遺構	ほぼ東西に走行	灰褐色砂（礫混じる）		7ｃ～	L5
31		小穴				弥生？	不明
32		小穴				8ｃ？	D4
33		小穴					E4
34		小穴群					D5
35	御7SK035	土坑	礫等が廃棄されている	灰茶色砂→茶黒色土	青灰色砂層→35	8ｃか	O6付近
36		小穴				8ｃ？	E5
37		小穴群				8ｃ？	D5
38		小穴				弥生	D4
39		小穴					F3
40	御7SK040	土坑		103→黒灰色土→黒褐色土	104,106,107→40	8ｃ	K8
41		小穴群				8ｃ	E4
42		小穴群				8ｃ	D6付近
43		小穴					D6
44		小穴群				8ｃ	D6
45		土坑		灰茶色土	114,116,117→45→108	8c末～9c初	K7
46		小穴				8c初	D6
47		小穴				6c末～7c初	CD7
48		小穴				8ｃ	D7
49		小穴					D6
50	御7SK050	土坑		灰褐色土→茶褐色土→灰茶色土		8c前～中	J7
51		小穴				8ｃ	E4～5
52		小穴				8ｃ後	D6
53		小穴				8ｃ	E6
54		小穴群				8ｃ	F6
55		欠晩					－
56		小穴群				8ｃ	F6
57		小穴群				8ｃ	G4～5
58		小穴群				8ｃ	G5
59		小穴			20→59		G6
60		欠番					－
61		小穴群				8ｃ	G6～7
62		小穴群				8ｃ	E6～7付近
63		小穴群				平安？	E6～7
64		小穴群			15→64	8ｃ	F7
65		欠番					－
66		小穴	埋土は橙色粘のブロック混		15→66	8ｃ	F7
67		小穴				8ｃ	E6
68	御7SX068	小穴	墨書土器、ヘラ書き土器出土			8ｃ後	F7
69		小穴群				8ｃ代	H4～5
70		欠番					－
71		土坑			72→71	8ｃ代	GH4

御笠団印出土地周辺遺跡第７次調査遺構番号台帳（2）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
72		土坑			72→71	8ｃ代	H4
73		土坑群				平安	E7
74		小穴群				8ｃか	F7~8
75		欠番					−
76		小穴群				8・9c	G7~8
77		土坑					H6
78		小穴群				8ｃ？	I6~7
79		小穴群				8ｃ？	I6~7
80		欠番					−
81		小穴群				8ｃ頃	J5
82		欠番					−
83		欠番					−
84		溝状遺構	ほぼ東西に走行	暗茶灰色土（礫多量に含む）			D5付近
85		欠番					−
86		たまり	黄色砂のたまり。下層の青灰色砂層の遺物含む				P6付近
87		たまり状遺構	試掘トレンチの下層で検出。				N7
88		小穴群				8ｃ頃	M5~7
89		たまり状遺構	茶褐色砂埋土。礫多く含む。		91→89		N5付近
90		欠番					−
91		たまり状遺構	地盤の礫層の上にたまった薄い茶灰色砂質土層		92→91→89		MN6付近
92		たまり状遺構			92→91	~8ｃ	MN6
93		小穴				8ｃ後	L7
94		小穴群				8ｃ後	L8
95		欠番					−
96		小穴				8ｃ頃	L7
97		小穴	黒灰色土→黒褐色土		106→97	8ｃ頃	K8
98		小穴				8ｃ頃	K8
99		土坑			101→99	9c初	K8
100		欠番					−
101		土坑			101→99	8ｃ頃	K8
102		溝状遺構	ほぼ東西に走行	灰褐色土→暗灰色土	122→102	8ｃ？	J8
103	御7SK040	小穴	7SK040の下層部			8ｃ頃	K8
104		土坑			106→104→40	8ｃ頃	K8
105		欠番					−
106		土坑	灰褐色土埋土		106→40,97,104	8ｃ	K8
107		土坑			107→40	8ｃ	K8
108		小穴		暗茶色土→黄褐色土→暗褐色土	45→108	8ｃ	K7
109		小穴群				8ｃ	K7
110		欠番					−
111		小穴				8ｃ	K7
112		小穴群			113→112	8ｃ	K6
113		土坑			113→112	8ｃ	K6
114		小穴群			114→45	8ｃ	K7
115		欠番					−
116		小穴			117→116→45	8ｃ	K7
117		小穴			117→116→45	8ｃ	K7
118		小穴群				8ｃ	J7
119		小穴				8ｃ	J7
120		欠番					−
121		小穴				8ｃ	J7
122		小穴群			122→102	8ｃ	J8
123		小穴			123→124	8ｃ	J8
124		たまり	灰色砂層と同一層		123→124		J8
表土	表土		青灰色砂層→茶色砂層→黄色砂層→茶灰色砂礫層→灰色砂層→表土				調査区全面
灰色砂	灰色砂層	包含層	遺物取り上げ人工層位				調査区全面
茶灰色砂礫		包含層					Qライン以北
黄色砂	黄色砂層	包含層				14c~	QRライン
茶色砂		包含層	青灰色砂層の遺物を含む。				QRライン
青灰色砂	青灰色砂層	包含層	旧大谷川の氾濫堆積層			8・9c~	QRライン付近

御笠団印出土地周辺遺跡第９次調査遺構番号台帳（1）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
1	御9SK001	土坑		灰色土→灰黄色土→黒色土			AB9
2		小穴群					B6～7
3		小穴、土坑					B7～8
4		溝	南北に走行				B8
5	御9SK005	焼土壙		炭層→黒色土			C7
6		小穴群					B9～11
7		撹乱					B4
8		小穴群					B10
9		小土坑					B10
10		焼土坑		黒色土→炭層→淡茶色土			D8
11		小穴	御9SB220の一部	茶色土→灰色土		平安	D4
12	御9SD012	溝	北東-南西に走行		76→12		H2～3
13		溝状遺構					C3
14		小穴					D3
15	御9SD015	溝	東西に走行	灰色土	15→57	7ｃ末～	D8～10
16		小穴群					D4
17	御9SB220	小穴	御9SB220の一部			VIII期	D4
18		小穴群					D5～6
19		小穴					D5
20		たまり	暗茶色土包含層の一部か		15と切りあい不明瞭		D10
21		小穴群					D6
22		小穴					D6
23		小穴群					C6
24ａ		小穴	御9SB220の一部			平安	CD5
24ｂ		小穴	御9SB220の一部			平安	CD5
24ｃ		小穴					CD5
25	御9SK025	土坑	最下に炭が薄くみられる	下層→上層		8c後～	EF4
26		小穴群	３穴（a～c）。南北に走行。	ｂ黄茶色土→ｂ灰黄色土			CD5
27		小穴群					GH2
28		土坑					FG2
29		小穴			28除去後検出		F2
30	御9SK030	土坑	甕埋納	茶黄色土→甕→淡灰色土	77除去後検出	８c	D11
31		小穴			9除去後検出		B10
32		小穴					C7
33		小穴			32除去後検出		C7
34		小穴	御9SB225の一部				C7
35	御9SK035	土坑		暗茶色土（暗灰茶色土・暗茶褐色土）→黄茶色土（茶褐色土）→灰褐色土（暗茶色粘質土）		IX期	F5付近
36		小穴					C8
37		小穴	御9SB225の一部			平安前	C7
38		小穴			37→38		C7
39		小穴群					C7
40		小穴列	３穴（a～c）。南北に走行。				DE8
41		小穴					D7
42		小穴					D7
43		小穴					D7
44		小穴			44→43		D7
45	御9SK045	土坑	墳墓？。在地系暗文土器検出。	茶色土→茶灰色土→上層			E9～10
46		小穴	御9SB225の一部		46→44→43		D7
47		小穴					D7
48		小穴			48→47		D7
49		小穴			51→49		D7
50	御9SD050	溝	東西に走行。	黄灰色土→灰茶色土→黄黒色土			Hライン
51		小穴群					D7
52		小穴群					D7～8
53		小穴群					D7
54		小穴群					CD8
55	御9SD055	溝	東西に走行。				I2～5付近
56		小穴					D8
57		小穴					D8
58		小穴					D8
59		小穴					D9
60	御9SK060	土坑		灰色砂→茶黄色土→茶灰色土	160→60		L9～10
61		小穴群					D10
62		小穴群			20→62		D10
63		溝状遺構	ほぼ南北に走行。				C10
64		小穴群			63除去後検出		C10
65		小穴		淡黄茶色土→茶褐色土		8c中～後	P6
66		小穴群					E3
67		小穴群					E4
68		土坑					E2
69		溝	ほぼ南北に走行		71→69		F3
70	御9SB210	小穴	御9SB210の一部			8c中後～	P6付近

御笠団印出土地周辺遺跡第９次調査遺構番号台帳（2）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
71		溝	ほぼ南北に走行		71→69		FG3
72		土坑					E3
73		小穴群					EF2
74		土坑					E2
75		かまど跡	御9SI400のカマド	竈据部→竈内小穴→暗茶色土→赤橙色土→茶褐色土→淡灰褐色砂→鉢（以上、カマド部）淡灰茶色土（淡灰色土）→灰茶色土（以上、住居埋土）			P6付近
76		小穴			12除去後検出		H3
77		土坑			77→78,89		D11
78		小穴			77→78		D11
79		小穴			82→81→79		D11
80	御9SD080	溝	東西に走行。御10SD100と同一	灰茶色土→黒茶色土			H11～12
81		小穴			82→81→79		D11
82		小穴			82→81→79		D11
83		小穴			83→81		D11
84		小穴	上部が焼けて赤変している				C8
85	御9SD085	溝	東西に走行。50につながるか？なお御10SD090と同一遺構。				H11～12
86		土坑	上部が焼けて赤変している				C8
87		小穴					C11
88		小穴群					C11
89		小穴			77→89		D11
90	御9SX090	小穴	遺物多く出土。		90→351→349	8c前	S6
91		小穴群					D11
92		小穴群					D11
93		小穴群					G3付近
94		土坑			96→94		F4
95	御9SX095	小穴	遺物多く出土。		427→426→95	8c中～後	S8
96		土坑			96→94		F4
97		小穴			96→97		F4
98		土坑			99,116,118,183→98→101		G4
99		小穴群			98除去後検出		G4
100	御9SK100	土坑		灰茶色土→茶灰色土→茶色土→上面		8ｃ中～後	NO10
101		小穴			98→101		G4
102		小穴群			194→102		E6
103		小穴	御9SB220の一部		103→123		E5
104		小穴					E5
105		土坑			105→351		S7
106		小穴群					E5
107		小穴群					F5
108		小穴					F5
109		土坑					F5
110	御9SK110	土坑	井戸の可能性あり	茶灰色砂→黄茶色土下層→黄茶色土→茶褐色土	110→491,501,502		P10～11
111		小穴					G5
112		小穴群					G5
113		小穴					G6
114		土坑					G5
115		土坑	最下に有機物の層あり		611→115→512		R4
116		小穴			116,118→98		G4
117		小穴					H4
118		土坑			118→116,98		G4
119		土坑					F5
120		炉か？		壁内→茶褐色土	300→120		O9
121		土坑	炭あり。遺物なし		143→121→94		F4
122		小穴					E6
123		小穴			103→123→124		E5
124		小穴群					E5
125		たまり状遺構		茶褐色土	571→125	８ｃ後半	RS3
126		小穴			127・128→126		E6
127		小穴			127→126		E6
128		小穴			128→126		E6
129		小穴			129→96・94		F4
130	御9SD130	溝	およそ東西に走行。御10SD005と同一遺構。	淡茶色土→灰色砂→茶灰色土→灰色土			T10～13付近
131		小穴群					E6
132		小穴群	茶灰色土に切り込む小穴				E6
133		小穴群	茶灰色土に切り込む小穴				F6
134		小穴群					E7
135		たまり状遺構		灰黄色土→茶褐色土			U6

御笠団印出土地周辺遺跡第９次調査遺構番号台帳（3）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
136		小穴			157→136		E7
137		小穴	御9SB225の一部	黄色土を含む		８ｃ前～	E7
138		小穴					E7
139		小穴	玉縁の丸瓦出土				E7
140		たまり状遺構			606→140→601		V6～7
141		たまり状遺構					F7
142	御9SK142	土坑	擦り消し丸瓦が横たわって出土			8c中～後	E8
143		小穴		掘方→柱痕	143→121		F4
144		小穴			144→26c		D5
145		土坑		淡黄灰色土→淡黒褐色土			U6
146		たまり			147→146		C7
147		たまり			148→147→146		C7
148		たまり			148→147		C7
149		小穴			149→144・147		C7
150		竪穴住居埋土	御9SI400の埋土。			7c末～8c前？	U8
151		土坑状遺構			141除去後検出		F7
152		土坑状遺構			141除去後検出		F7
153		小穴			153→141		F7
154		小穴			154→141		F7
155		土坑	無文センあり	下層（灰茶色土）→暗茶色土		８ｃ後～	T3
156		小穴群					F7
157		小穴	御9SB225の一部		157→136		E7
158		小穴			159→158→136		E7
159		小穴			159→158		E7
160	御9SI160	竪穴住居？	カマドのみ残存。	暗茶色土（以上、住居埋土関連）下層Pit→淡黄灰色砂質土→黒茶色土→明橙色土→黄色土（以上、竈関連）	160→60		L9～10
161		小穴			161→137		E8
162		小穴			40b→162		E8
163		小穴群					E8
164	御9SX164	小穴					F9
165		カマド	160（竪穴住居?）関連	赤褐色埋土	160除去後検出		L10
166		小穴群					F9
167		小穴群					F8
168		小穴群					E11
169		小穴					E10
170	御9SK170	土坑					L11
171		小穴群					F10
172		小穴群					F10
173		土坑					F9
174		小穴群					G10
175		かまど	御9SI300のカマド	竈壁内→暗茶色土→暗赤褐色土（赤褐色土）→暗茶褐色土			O9
176		土坑					G9
177		小穴					G7
178		土坑			181,182→178→茶灰色土		H5
179		土坑			179→93		H4
180		土坑		黄茶色土→茶褐色土			K8
181		土坑			181→178→茶灰色土		H5
182		土坑			182→178		H4
183		小穴			183→98		G4
184		土坑					H4
185		欠番					－
186		小穴群			181除去後検出		H5
187		小穴			50→187		H6
188		小穴			50→188		H6
189		小穴群					H9
190		欠番					－
191		溝	東西に走行。55と同一遺構の可能性もある。				H6～7付近
192		小穴			50除去後検出		H5
193		小穴			193→50		H7
194	御9SD194	溝	南北に走行		茶灰色土→194→35,102,123		E5
195		欠番					－
196		小穴群					H7
197		たまり	茶色土層の可能性あり		55→197		I5
198		小穴群					I4
199		小穴					J6～7
200	御9SX200	たまり状遺構	300（竪穴住居）を覆う	上層	300→200→100	～７ｃ後	NO9～10
201		小穴					J5～6

御笠団印出土地周辺遺跡第9次調査遺構番号台帳（4）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
202		小穴群	地山のシミか				J5
203		小穴	御9SB215の一部				K7
204		小穴群					K7
205	御9SB205	掘立柱建物	2×4間				御7CDE6～7 御9NOP3～4
206		小穴	砥石出土				K7
207		小穴群				平安	K6
208		小穴					K6
209		小穴	御9SB215の一部			VI～IX期	K6
210	御9SB210	掘立柱建物	3×2間				NOP6～7
211		小穴			212→211		K6
212		土坑			213→212→211		K6
213		小穴			212下層の小穴	VI～VII期	K6
214		小穴群					J9
215	御9SB215	掘立柱建物	2×2間			VI～VII期	KL6～7
216		小穴					J9
217		小穴群				7c末～	J9
218		小穴群				平安～	J10
219		小穴群			320g→219の一部	平安	K10
220	御9SB220	掘立柱建物	2×2間			VII・VIII期	DE4～5
221		小穴	御9SA255の一部	淡茶色土→淡橙色土		8c～？	K9
222		小穴		黒色土	223→222		I10
223		たまり状遺構			223→222	平安	I10
224		土坑					I10
225	御9SB225	掘立柱建物	2×2間				CDE6～7
226		土坑					L8～9
227		小穴群				平安～	M9付近
228		小穴群					M9～10
229		小穴群			231→229	9c～	L9
230	御9SK230	土坑	井戸の可能性あり	茶黄色土→淡茶色砂→淡茶色土（灰色砂）→茶灰色土→灰褐色土→明茶色土→黄色土→茶褐色土→暗茶色土→灰茶色土	613,614→230→249	7c末・8c初	N8付近
231		小穴	茶灰色土→黄色土		231→229	9c～	L9
232		小穴			232→320i		K9
233		小穴			233→320i		K9
234		小穴群					L10
235	御9SB235	掘立柱建物	2×1間				FG10
236		小穴群					M10
237		小穴群				8c後	J10
238		小穴					N5
239		小穴群				8c前？～	N5
240		土坑					O8
241		小穴群			242→241	9c～	N6
242		小穴群			242→241		N9
243		小穴群					N10
244		小穴群				8c～	O10
245	御9SA245	柵列	中を囲むように小穴が並ぶ。				Tライン以北3～7
246		小穴群					M7
247		小穴群				平安～	O8
248		小穴			249→248	8c後～	O8
249		小穴			230→249と考える	8c後～	O8
250		小穴	石組みあり。			平安？	Q6
251		小穴群			230→251	9c～	N7
252		小穴	御9SB215の一部		268→252	平安～	L6
253		小穴			268→253	9c～	L6
254		小穴	御9SB215の一部		268→254	9c～	L6
255	御9SA255	柵列	9SB205を取り囲むように小穴が並ぶ				御9・10次調査区北半
256		小穴群					L6
257		小穴群				9c？～	N5
258		小穴			259→258		M5
259		土坑			259→258,261,262		M5
260		欠番					－
261		小穴			259→261		M5
262		小穴群			259→262	8c？	M5
263		小穴					M5
264		小穴群				8c？～	O6
265		欠番					－

御笠団印出土地周辺遺跡第９次調査遺構番号台帳（5）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
266		小穴群					M6
267		小穴群	中層より土器が一括して出土			８ｃ初～	M6
268		たまり状遺構			294→268→252,253,254,256,269	８ｃ～	L6
269		小穴群				９ｃ～	L5
270		欠番					－
271		小穴	御9SB215の一部			８ｃ後～	O6
272		小穴					O6
273		小穴					O6
274		小穴	御9SB210の一部			８ｃ中・後～	O6
275		欠番					－
276		小穴群					O7
277		小穴群				８ｃ後～	O7
278		小穴			613→278		O8
279		小穴					O9
280		欠番					－
281		小穴群				８ｃ前～	O6
282		小穴			297→282		O6
283		小穴	御9SB210の一部。		291→289→283	7・8c～	P6
284		小穴			391,297→284		O6
285		欠番					－
286		小穴群				平安～	K4
287		小穴群					K4
288		小穴					K4
289	御9SX289	小穴			291→289→283		P6
290		欠番					－
291					291→289→283		P6
292		小穴群				８ｃ～	K5
293		小穴群				平安～	K5
294		土坑			294→268		L6
295		欠番					－
296		小穴群					O5～6付近
297		溝状遺構	東西に走行		297→70,282,284	８ｃ～	O6
298		小穴					P6
299		土坑			299→70		P6
300	御9SI300	竪穴住居		茶褐色土埋土	200除去後検出	７ｃ前	O9～10
301		小穴			301→284		P6
302		小穴群				８ｃ	P10
303		小穴群				８ｃ	P10
304		小穴					P9
305		欠番					－
306		小穴			589→306		P9
307		小穴					Q9
308		小穴群				８ｃ～	J12
309		小穴群				８ｃ	K12
310		欠番					－
311		小穴群				７ｃ末～	K12
312		小穴					K12
313		小穴群				８ｃ～	J11
314		小穴群				９ｃ前	J11付近
315		欠番					－
316		小穴					J11
317		小穴					K11
318							K10
319		小穴群				８ｃ～	Q9～10付近
320	御9SB320	掘立柱建物	2×2間総柱建物。黄橙～橙赤色粘土で埋め戻し。		232,233,592→320→219の一部		JK9～11
321		小穴群				８ｃ	Q8付近
322		小穴群				平安	P8
323		小穴群				８ｃ？	P7
324		小穴					P7
325		欠番					－
326		小穴					P7
327		小穴群					P7
328		小穴					P8
329		小穴					P8
330		欠番					－
331		溝状遺構	東西に走行			平安？	P8
332		小穴			331除去後検出		P8
333		小穴			331除去後検出		P8
334		小穴群					P7
335		欠番					－

御笠団印出土地周辺遺跡第9次調査遺構番号台帳（6）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
336		小穴					P7
337		小穴					O7
338		小穴			336除去後検出		P7
339		小穴					P5～6
340		欠番					－
341		小穴					N6
342		小穴					N6
343		たまり					I11
344		小穴群				8ｃ？	L11
345		欠番					－
346		小穴		白灰砂	346→75灰茶色土	7ｃ中～	P6
347		土坑			347→400	7ｃ末頃	P6
348		たまり状遺構	御9SI400埋土	灰茶褐色土	348→250	7ｃ末？	Q6
349		たまり状遺構			90,417,419→349→391		S6
350		欠番					－
351		小穴群				8ｃ前	M11
352		小穴群					M11～13
353		溝	東西に走行				M11
354		小穴					M12
355		欠番					－
356		土坑					L12
357		小穴					T6
358		小穴	御9SA245の一部		358→394	奈良	T6
359		小穴		359黒茶色土→359	359→401		T7
360		欠番					－
361	御9SD361	溝状遺構	東西に走行。362,373と同一遺構	黒色土		平安前	H11
362	御9SD362	溝状遺構	東西に走行。361,373と同一遺構	灰茶黄色土		平安前	H11
363		小穴			362除去後検出		H11
364		小穴			361,362→364→80	8ｃ	H11
365		欠番					－
366		小穴			364除去後検出		H11
367		小穴	地山のシミか				I11
368		土坑				8ｃ？	I11
369		溝状遺構	85と同様、東西溝の一部か	茶黒色土	369→85		H10
370		欠番					－
371		たまり状遺構	出土土器の大半が角がとれて丸くなっている				H10
372		たまり状遺構					H10
373	御9SD373	溝状遺構	361,362と同様、東西溝の一部	黒黄茶色土	373→374	8ｃか？	H10
374		小穴			373→374		H10
375		欠番					－
376		小穴					G10
377		小穴				平安？～	G10
378		小穴					Q5
379		小穴群				7・8ｃ～	R5
380		欠番					－
381		小穴					R6
382		小穴					R6
383		小穴群				8ｃ後～	R6
384		小穴群				8ｃ前～	Q6
385		欠番					－
386		小穴				7・8ｃ～	R6～7
387		小穴群					R7
388		小穴群					S5付近
389		小穴群			291→389→283	8ｃ～	P6
390		欠番					－
391		小穴			349→391		S6
392	御9SX392	小穴					T6
393		小穴			392除去後検出		T6
394		小穴			358→394	8ｃ後～	T6
395		欠番					－
396		小穴					T6
397		小穴群					T7
398		小穴					S6
399		小穴					K3
400	御9SI400	竪穴住居	150,348,413は400の埋土。75がカマド。414,467,469,471,472が400に伴うか？	竈据部→竈内小穴→暗茶色土→赤橙色土→茶褐色土→淡灰褐色砂→鉢（以上、カマド部）→淡灰茶色土（淡灰色土）→灰茶色土→150→413→348（以上、住居埋土）	347→400→250上層,346,468,541	7ｃ後	Q6付近

御笠団印出土地周辺遺跡第９次調査遺構番号台帳（7）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
401		小穴	御9SA245の一部		359→401	８ｃ中・後～	T7
402		土坑			403→402	８ｃ～	R9
403		土坑			403→402		R9
404		小穴			402除去後検出	７ｃ末～	R9
405		欠番					－
406		小穴群				８ｃ後～	L4
407		土坑				７ｃ中～	L4
408		小穴群				7c後・末～	L4
409		小穴群				7・8c～	L3～4
410		欠番					－
411		小穴			412→411→403	7c後？～	R9
412		土坑			412→411		R9
413		竪穴住居埋土	御9SI400埋土	暗茶褐色砂質土	150,414,467,471→413→75,250,346,469,541		Q6
414		小穴			413除去後検出		Q6
415		欠番					－
416		小穴群				８ｃ後～	S7
417		小穴			349,351除去後検出	８ｃ後～	S6～7
418		小穴群			351除去後検出	７ｃ～	S7
419		小穴			349除去後検出		S6
420		欠番					－
421		小穴群				８ｃ後～	S7
422		欠番					－
423		小穴			撹乱除去後検出		S7
424		小穴群			撹乱除去後検出	8c中・後～	S7
425		欠番					－
426		たまり状遺構			427→426→95		S8
427		小穴			427→426→95		S8
428		土坑					R8
429		小穴					R8
430		欠番					－
431		小穴					R8
432		小穴			432→403		S9
433		土坑				８ｃ後～	S9
434	御9SX434	小穴群					S9付近
435		欠番					－
436		土坑					S8
437		欠番					－
438		小穴群					M3
439		小穴群					M4
440		欠番					－
441	御9SX441	小穴				7c末	M4
442		小穴			443→442		M4
443		小穴群			443→442		M4
444		小穴群					M3
445		欠番					－
446		小穴					M3
447		小穴群				７・８ｃ～	M3
448		小穴群					N3～4
449		小穴					N4
450		欠番					－
451		小穴	御9SB205の一部			８ｃ	N4
452		小穴群					S10付近
453		小穴群				８ｃ	ON12
454		小穴群				８ｃ～	N11～12
455		欠番					－
456		小穴	最上層で厚さ1.5cmの炭層検出	灰褐色砂質土→炭層			L11
457		小穴			458→457		N13
458		小穴			462→458→457		N13
459		小穴群				８ｃ	NO11
460		欠番					－
461		小穴		赤茶色土焼土		平安	O11
462		小穴群		赤茶色土焼土	462→458→457		N13
463		小穴	御10SB205の一部			８ｃ初～	N12
464		小穴	御10SB205の一部			８ｃ初～	O12
465		欠番					－
466		小穴	御10SB205の一部	赤茶色土焼土あり		７ｃ末～	P12
467		小穴	御9SI400に伴うか				Q6
468		小穴			400,541→468		Q6
469		小穴	御9SI400に伴うか				Q5

御笠団印出土地周辺遺跡第9次調査遺構番号台帳（8）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
470		欠番					－
471		小穴	御9SI400に伴うか				Q5
472		小穴	御9SI400に伴うか				Q5
473		欠番					
474		小穴群					P5
475		欠番					－
476		小穴					P5
477		小穴					P5
478		小穴群					O5
479		小穴群				～８ｃ	OP4～5
480		欠番					－
481		小穴	御9SB205の一部。	茶黄色土		平安前	O4
482		小穴		茶黄色土	486→482	８ｃ～	P4
483		小穴		茶黄色土			P4
484		小穴群				～８ｃ	O3～4
485		欠番					－
486		小穴	御9SB205の一部。		517→486→482		P4
487		小穴					P4
488		小穴群				～８ｃ	O12
489		小穴群				平安	N12
490		欠番					－
491		小穴	緑釉陶器片あり。		110→491	8c後・９ｃ前頃？	P11
492		小穴					P13
493		小穴群			494→493	7c末？	P12～13
494		小穴			494→493		P12～13
495		欠番					－
496		小穴				～７ｃ	P12
497		小穴					P12
498		小穴					P12
499		欠番					－
500		小穴	S-438と同遺構				S8
501		小穴			110→501	～平安	P11
502		小穴			110,503→502	８ｃ後	P11
503	御9SX503	小穴			503→502		P11
504		小穴群					P12～13
505		欠番					－
506		小穴群					P12
507		小穴群				８ｃ～	O12～13
508		小穴群				～８ｃ	O12
509		小穴群					P11
510		欠番					－
511		小穴群				～８ｃ	P3,Q4
512		小穴			611→115→512		R4
513		撹乱	御笠7次調査区埋め戻し部分				Q3
514		小穴			516→514→517		O4
515		欠番					－
516		小穴			516→514,517,518	～７ｃ	P3～4
517		小穴	御9SB205の一部。鉱滓のみ出土		514,516→517→486		P4
518		土坑群			516→518	～８ｃ	P3
519		小穴			521除去後検出	～８ｃ	Q4
520		小穴			520→550		R13
521		小穴					Q4
522		小穴群				８ｃ	Q4付近
523		小穴群				平安	Q5
524		小穴群				平安中期	Q4
525		欠番					－
526		小穴群				～８ｃ	Q4,R3
527		小穴群				平安	R5
528		小穴群				～８ｃ後	R3～4
529		小穴				～８ｃ後	R4～5
530		欠番					－
531		土坑			532→531		P11
532		小穴			532→531		P11
533		小穴群	御10SB205の一部			～８ｃ	O12
534		土坑群				～８ｃ	N12
535		欠番					－
536		小穴群				～８ｃ	NO11
537		たまり	礫がたまる			～８ｃ	O11
538		小穴群				～８ｃ	S4～5
539		小穴群				～８ｃ	S11
540		欠番					－
541		小穴			400→541→468		Q6
542		小穴			542→200		N9

御笠団印出土地周辺遺跡第９次調査遺構番号台帳（9）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
543		小穴群				～８ｃ	CDE9～11
544		小穴	御9SB215の一部			平安	L7
545		欠番					−
546		小穴					L7
547		小穴					N7
548		欠番					−
549		欠番					−
550	御9SI550	竪穴住居		カマド本体→暗赤色土→橙色土（以上、カマド部）→茶褐色土（以上、埋土）	520,御10SX110→550→御10SK015,618		Q12～13付近
551		小穴					S4
552		小穴群				～８ｃ	S4
553		小穴群					T5
554		溝					T4～5
555		欠番					−
556		小穴				～８ｃ	T5
557		小穴群				～８ｃ	T4
558		小穴群				８ｃ？	T4
559		小穴群					T3
560		小穴	550（竪穴住居）に伴う小穴				Q12
561		小穴			562→561		T3
562		小穴群	御9SA245の一部		561除去後検出		T3
563		小穴				～８ｃ	T3
564		小穴群				～８ｃ後	U4
565		欠番					−
566		小穴群					U4
567		小穴群					U5
568		小穴群					S3
569		土坑					S3
570		欠番					−
571		小穴	鉱滓出土		125除去後検出		S3
572		小穴群					S3
573		小穴群					S3
574		小穴	長沙窯系青磁椀片出土				S3
575		欠番					−
576		小穴群			550→576	平安～	Q13
577		小穴群			550→577と考える		Q12
578		土坑					R12～13
579		小穴群				８ｃ～	PQ11
580		欠番					−
581		土坑				８ｃ～	P11
582		小穴					R12
583		小穴					J11
584		小穴				平安～	J9
585		欠番					−
586		小穴					L11
587		小穴群				８ｃ後～	L11
588		小穴					L11
589		小穴			589→306		P9
590		欠番					−
591		小穴群					J10
592		小穴群			592→320d,320h	８ｃ～	K10
593		小穴群			593→160,231		L9
594		土坑					K9
595		欠番					−
596		小穴群				８ｃ	KL9～10
597		小穴					S9
598		小穴群				８ｃ	ST9～10
599		小穴群					S12,T13
600	御9SI600	竪穴住居		淡灰色土→茶灰色土	茶灰土層除去後検出	7ｃ後	EF6～7
601		小穴群		いずれも黒色土埋土			U6
602		小穴			602→145		UV6
603		小穴			603→135		U6
604		小穴	御9SA245の一部		撹乱除去後検出		U7
605		欠番					−
606		小穴	御9SA245の一部		140除去後検出	８ｃ	V7
607		小穴群					U6
608		土坑群				８ｃ後	U3
609		土坑					T8
610		欠番					−
611		土坑			612→611→115	平安前	R4～5
612		土坑			612→611		R4
613		土坑			613→248,249,278,614,230		O7～8

御笠団印出土地周辺遺跡第9次調査遺構番号台帳（10）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
614		小穴	御9SB210の一部。		613→614→230	8 c	O7
615		欠番					－
616		小穴	614底部の石の下で616検出。		614除去後検出	8 c	O7
617		たまり	550（竪穴住居）埋土の一部か？			8 c	P13
618		小穴	550（竪穴住居）柱穴の可能性あり				Q12
619		小穴	御9SA245の一部。遺物なし				U7
620		欠番					－
621		小穴			明黄色土埋土		S12
622		土坑			77除去時検出。622→30	8 c	D11
623		欠番					欠番
624		小穴					E4
以下、第2面（S-600,701,702,703,715は茶灰色土層除去後・それ以外は暗茶色土層除去後に検出されたものである）							
600		竪穴住居		淡灰色土→茶灰色土			EF6～7
701		小穴					F5
702		小穴					F5
703		小穴					F8
704		小穴群	一部に暗茶色土層の上から切り込む小穴と判断したものあり			奈良～	C10～11
705	御9SX705	土坑状遺構		茶褐色土→茶色土	705→709		DE11～12
706		小穴					D10～11
707		土坑					EF11
708		小穴			714→708		F11
709		小穴群			705→709		E11
710	御9SD710	溝	東西に走行。鉱滓出土	淡茶色土埋土			G9～12
711		小穴群					E11
712		小穴群					E10
713		溝状遺構	ほぼ東西方向に走行		714→713		F10
714		溝状遺構	ほぼ南北方向に走行		714→708,713,716		EF10～11
715		かまど	600（竪穴住居）に付設	赤色土はカマド内側の堆積層			F6
716		溝状遺構			714→716		F11
717		土坑	710（溝）に関係する可能性あり		710除去後検出		G10
718		小穴			710除去後検出		G12
719		たまり状遺構	暗茶色土包含層の一部か？				G12
720							
721		小穴群					F10

表土	表土		暗茶色土層・茶灰色土層→茶色土層→黄色土層→表土				調査区全面
茶色土	茶色土層	包含層	遺構検出時の人工層位				調査区全面
茶灰色土	茶灰色土層	包含層	調査区南中央付近の堆積層			7c末	南区
暗茶色土	暗茶色土層	包含層	調査区南西付近の堆積層			7c末	南区

御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査遺構番号台帳（1）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
1		旧河川	大谷川の氾濫原			近現代	R23
2		溝	近現代の溝				P20～S22
3		小穴群		黒色土			K20～21
4		小穴					L21
5	御10SD005	溝	ほぼ東西に走行。御9SD130と同一遺構	茶色砂→茶褐色土→灰色砂→暗茶色土	5→33		QSライン
6		小穴群					K～M,20～21
7	御10SX007	小穴群					OP20
8		小穴					K20
9		攪乱					R22
10	御10SK010	土坑			373→10		M13
11		小穴					J20～21
12		たまり					I20～21
13		小穴群					NO20
14		小穴群					N20
15	御10SK015	土坑			御9SI055,110→15		Q13
16		小穴群					P21
17		小穴群					O21
18		小穴					P21
19		小穴群					N21～22
20	御10SK020	土坑		淡茶白色土→暗茶色土→黒茶色土（以上、土層観察）なお、遺物取り上げは土色名をとっていない	115→30→20→139		M14
21		小穴群					O22
22		小穴群					P22～23付近
23		小穴					P22
24		小穴					P21
25	御10SX025	たまり	150最終埋没土。焼土、炭がたまる。		150→25→73		P16～17
26		小穴					P21～22
27		小穴群					P23
28		小穴			黒茶色土層除去後検出		K21
29		小穴		黒茶色土			F20
30	御10SK030	土坑		暗灰茶褐色砂→暗茶色土→暗茶褐色土→暗茶色土（以上、土層観察）	115→30→20,116		M14
31		たまり	2の埋土に類似	白灰色砂質土		近現代	S22
32		たまり	2の埋土に類似	白灰色砂質土		近現代	S21
33		小穴			5→33		S14
34		小穴	炭がたまる				Q19
35	御10SK035	焼土壙		炭層→茶褐色土	398→35		M19
36		小穴					R19
37		小穴					Q19
38		小穴					Q19
39		小穴群					Q18
40	御10SK040	焼土壙		炭→暗茶色土	115→40	8ｃ後～	L14
41		小穴群					Q17
42		小穴群					Q17
43		小穴群					R16～17
44		小穴群					R16
45	御10SK045	焼土坑		炭を多く含む暗茶色土	176→45→174		K13
46		小穴					Q15
47		小穴群					Q15～16
48		小穴群					R15
49		小穴群					Q14
50	御10SK050	土坑	炭が数層に分かれてたまる。	淡黄色土→下層炭層→黒褐色土（炭多量含む）→茶褐色土→炭層→暗茶色土	401→50→269の一部		J15
51		たまり					R14
52		たまり	焼土、炭がたまる				RS14
53		小穴群					R14
54		小穴群					Q15
55	御10SK055	小穴	炉関係か。炭がたまる。		55→416→271		B22
56		小穴群					Q14
57		小穴			110→57		Q14
58		小穴群			15→58		Q13
59		小穴群			110→59		PQ13
60	御10SX060	土坑	石組み土坑	灰色粘→灰褐色土→60	414→60		A19
61		小穴群			御9SI550→61	8ｃ	P13

御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査遺構番号台帳（2）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
62	御10SB205	小穴	御10SB205の一部		196→62→61	～８ｃ	P13
63		小穴群			196→63の一部		P13
64		小穴					P13
65	御10SK065	焼土壙	炭たまる。	炭層→茶灰色土	暗褐色土層→65		CD21
66		小穴群					P14
67		小穴群					P14
68		小穴群					P14
69		小穴群					P19
70	御10SX070	小穴			70→暗褐色土層		E21
71		小穴群			200→71		P18
72		小穴群			200→72		P18
73		小穴		黄色土	150→25→73		P17
74		小穴群			150→74		P17
75	御10SE075	井戸	瓦積みの井戸	暗茶褐色土→茶褐色土→褐色土→炭層→茶灰色土→上層			E13
76		小穴群			150→76		P16
77		小穴					P16
78		小穴群					P15
79		小穴群					O19
80	御10SK080	土坑		焼土層→炭層→暗赤色土→暗灰色土→明橙色土→暗茶色土→炭層→淡黄色土	80→暗褐色土層→318		E,F20
81		小穴群					O15
82		小穴群					O15
83		小穴群					O15
84		小穴			85→84		O15
85		小穴			85→84		O15
86		小穴群					O13
87		小穴			87→86の一部		O13
88		小穴群					O14
89		小穴			89→88の一部		O14
90	御10SD090	溝	東西に走行。御9SD085と同一遺構。	黒茶色土	95,383,397→90→100		H12～14
91	御10SX091	小穴群					O14
92		小穴群					O14
93		小穴群					O16
94		小穴群					O16
95	御10SI095	竪穴住居		茶黄色土下層→茶黄色土上層	95→90,100,386,389		G12～13付近
96		小穴群					O17
97		小穴群					O17
98		土坑					O17
99		小穴群					O18
100	御10SD100	大溝	東西に走行。御9SD080と同一遺構。	黒茶色土下層（砂質強い）→黒茶色土（粘質強い）			HIライン
101		小穴群			150→25→101		P17
102		小穴群					N13
103		小穴					N14
104		小穴群					N14
105	御10SI105	竪穴住居		暗赤色土→明橙色土→茶黄色土下層→茶黄色土上層	105→224の一部,226,227,228,229,231,232		IJ16～17
106		小穴群					NO14
107		小穴					N15
108		小穴群					N15
109		小穴群					N15
110	御10SX110	たまり状遺構	淡黄土はカマドか？	淡黄土→炭層→明橙色土→茶黄色土	110→57,59,御9SI550		Q13～14
110a		小穴	かまど（?）北横の小穴				Q13～14
111		小穴群					N15
112		小穴群					N19
113		小穴群					N18
114		小穴					O19
115	御10SI115	竪穴住居		茶黄色土下層→茶黄色土上層	406→115→20,30,116,131,137,139,141,403,409		LM13～15
116		小穴群			115→30→116		M14
117		小穴群					M19
118		小穴					N19
119		小穴群					M18
120		欠番					－
121		小穴群					M17
122		小穴群					N17

御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査遺構番号台帳（3）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
123		小穴群					N16
124		土坑					N16
125		欠番					−
126		土坑					N16
127		小穴群					N16
128		小穴群					M16
129		小穴群					M16
130		欠番					−
131		溝	ほぼ東西に走行	灰白色砂	115→131		M15～16
132		小穴群					M15
133		小穴群					M12
134		小穴群					L13
135		欠番					−
136		小穴					L13
137		小穴群			115→137		L14
138		小穴群					L14
139		小穴			115→20→115		M14
140		欠番					−
141		小穴群			115→141		M14
142		小穴群					M15
143		小穴群					M15
144		小穴群					M15
145		欠番					−
146		小穴群					L19
147		小穴群					L19
148		小穴群					L19付近
149		小土坑			177→149		K18
150	御10SI150	竪穴住居		明黄色土（カマド）→炭層→赤橙色土→茶褐色土→明茶色土（茶黄色土）	150→25,73,74,76,101,189,193		PQ16～17
150a		住居内小穴					P16
150b	御10SI150b	住居内小穴	S-73の可能性あり				P17
150c		住居内小穴					P17
150d		住居内小穴					P17
151		小穴群					L18
152		小穴群					L18
153		小穴群					L17
154		小穴群					L16～17
155		欠番					−
156		小穴群					L17
157		小穴群					L16
158		小穴群					LM16
159		小穴群					L15
160		欠番					−
161		小穴群					K19
162		小穴	越州窯系青磁I類出土				K18
163		小穴群					K18
164		小穴群					K17
165		欠番					−
166		小穴群					L17
167		小穴群					K16
168		小穴					K16
169		小穴群					K16
170		欠番					−
171		小穴群					K15付近
172		小穴群					K14
173		小穴群					K14
174		小穴群			45→174		K13
175		欠番					−
176		小穴			176→45		K13
177		土坑		淡褐茶色粘質土→淡茶色粘質土	177→149		K18
178		小穴					K17
179	御10SX179	たまり			183→182・181→179		N18
180		欠番					−
181	御10SX181	小穴群		茶褐色土	183→182・181→179		N18
182	御10SX182	小穴		橙赤色土	183→182・181→179		N18
183	御10SX183	たまり状遺構			183→182・181→179		N18
184		小穴群					N19
185		欠番					−
186		小穴群					O20
187		小穴群					P,Q19
188		溝	ほぼ南北方向に走行		200→188→72の一部		P,Q18
189		小穴群			150→189		P16～17
190		欠番					−

御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査遺構番号台帳（4）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
191		小穴群					Q17
192		小穴群					PQ16
193		小穴			150→193		Q16
194		小穴群	一部第９次調査区内に所在する				Q11～13
195		欠番					－
196	御10SK196	土坑			196→62,63の一部		P13
197		小穴	15,御9SI550とは無関係と考える。		15除去後検出		Q13
198		欠番					－
199		小穴群					P15
200	御10SI200	竪穴住居	茶黄色土＝（淡黄色砂質土→黄灰色砂質土→黄茶色砂質土） ※人為的に埋められたようだ。	茶色土＝茶黄色土 茶黄色土下層→茶黄色土上層	200→71,72,188		P,Q18～19
201		小穴群					OP15
202		小穴	御10SB205の一部			～８c	O14
203		小穴群					N14
204		小穴群					N15
205	御10SB205	掘立柱建物	２×４間				OP12～14
206		小穴群					O16
207		小穴					O17
208		小穴群					Q20
209		小穴					N18
210	御10SB210	掘立柱建物	２×４間				DE18～20
211		小穴群					J13
212		小穴	御10SB215の一部			平安前～	J13
213		小穴群					JK13
214		小穴群					K13～14
215	御10SB215	掘立柱建物	２×３間				BC20～22
216		小穴群					K12～13
217		小穴群					J12
218		小穴					N16
219		小穴群					N16
220		欠番					－
221		小穴群					O17
222		小穴					J17
223		小穴群					J17
224		小穴群			105→224の一部		J17
225		欠番					－
226		小穴			105→227→226		J17
227		小穴			105→227→226		J17
228		小穴群			105→228		J16
229	御10SX229	小穴群			105→232→231→229		J16
230		欠番					－
231		小穴			105→232→231→229		J16
232		小穴			105→232→231→229		J16
233		小穴					K16
234		小穴群					K16
235		欠番					－
236		小穴群					P22付近
237		小穴					O23
238		土坑			239→238		O19
239		土坑			239→238		P19
240		欠番					－
241		小穴					Q18
242		小穴					C23
243		小穴群					C22
244		小穴群					C21
245		欠番					－
246		小穴群					B21
247		小穴			248→247		B21
248		小穴			248→247		B21
249		たまり			272,273→249		B,C19
250		欠番					－
251		小穴群	越州窯系青磁椀（輪花）				B24
252		小穴群					B24
253		小穴					B23
254		小穴群					B22
255		欠番					－
256		溝	ほぼ東西に走行。近現代の溝。	灰色砂質土			CDライン
257		小穴群			257→256		C23
258		小穴			258→256		C24
259		たまり	一部にS-261の遺物を含む	灰色土	261→259		B19
260		欠番					－
261		溝	L字状に曲がる。274と同一遺構		261→259		A20～B19

御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査遺構番号台帳（5）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
262		小穴					B20
263		小穴群					B20
264		小穴群					B18～19
265		欠番					−
266		小穴	鉱滓を多く含む	茶褐色土（酸化）			A18
267		小穴群					AB18
268		小穴群					J15
269		小穴群			50→269		J15
270		欠番					−
271	御10SX271	たまり状遺構	S-55を覆う	灰褐色土	55→416→271		A22
272		小穴			249除去後検出		C19
273		小穴群			249除去後検出		B19
274		溝	南北に走行。261と同一遺構。				C19
275		欠番					−
276		小穴群					C19
277		小穴					C19
278		たまり	下層の小穴も含む				C19
279		たまり？	鉱滓含む		279→256		C19
280		欠番					−
281		小穴					D18
282		小穴群					C18
283		小穴			283→256		D18
284		小穴群					C,D18
285		欠番					−
286	御10SX286	たまり	茶色土層のたまり		288→286		C18
287	御10SX287	小穴			288→287		C18
288		小穴群					C18
289		溝	東西に走行				D16
290		欠番					−
291		土坑		淡茶色砂→茶色土→灰色砂			EF17～18
292		土坑					F18～19
293		小穴群					E,F18
294		小穴群			暗褐色土層→294→297		E18
295		欠番					−
296		小穴群					E18
297		溝	ほぼ東西に走行。近現代の溝。	淡灰色砂			E19
298		溝	ほぼ東西に走行。近現代の溝。	淡灰色砂			E18～20
299		小穴群			暗褐色土層→299→298・297		E19
300		欠番					−
301		小穴群					F21
302		土坑	灰色粗砂のたまり	灰色粗砂			CD15
303		土坑					D15
304		小穴群					C,D15
305		欠番					−
306		小穴群					C,D16
307		小穴群					D16
308		小穴群					C17付近
309		小穴群			309→256		D17
310		欠番					−
311		小穴群					D17
312	御10SB210	小穴群	御10SB210の一部		312→256		D19
313		小穴群			313→256,278		C19
314		小穴群					C20
315		欠番					−
316		土坑			316→256	8c前～中	C20
317		小穴群	御10SB215の一部		317→256		C20
318		小穴群			80→暗褐色土層→318		E20
319		小穴群			暗褐色土層→319	8c前～中	E20
320		欠番					−
321		小穴			暗褐色土層→321		E20
322		小穴	御10SB215の一部		322→324	8c	C20
323		小穴群					C20
324		小穴			322→324		C20
325		欠番					−
326		小穴群					F13付近
327		小穴群					F14
328		小穴					F14
329	御10SX329	小穴				7c	F14
330		欠番					−
331		小穴群					E14

御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査遺構番号台帳（6）

S-番号	遺構番号	種別	備考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時期	地区番号
332		小穴群					F15
333		小穴群					E15
334		小穴群	334上層とは、当遺構群中の土坑状遺構の上層を指す。				E,F16
335	御10SX335	炉		赤色焼土→淡茶色土→黒茶色炭層	335→暗褐色土層		C23
336		たまり			337→336→暗褐色土層		CD22～23
337		小穴群			337→336→暗褐色土層		CD22～23
338		小穴			338→暗褐色土層		D22
339		小穴群			339→暗褐色土層		C22
340	御10SX340	炉		340下層→赤色焼土（炉？）→340上層	340→暗褐色土層		C22
341		たまり？			341→暗褐色土層		D21～22
342		小穴群			342→暗褐色土層		D21～22
343	御10SX343	小穴			343→暗褐色土層		D21
344		小穴			344→暗褐色土層		D21
345		欠番					－
346		小穴群			346→暗褐色土層		D21
347		小穴群			347→暗褐色土層		D20
348		小穴	御10SB210の一部		348→暗褐色土層	8ｃ？	D20
349		小穴群			349→暗褐色土層		D19
350		欠番					－
351		小穴群			351→暗褐色土層		D19
352		小穴	御10SB210の一部		352→暗褐色土層	8ｃ	D20
353		溝	ほぼ東西に走行。		353→暗褐色土層		E21～22
354		小穴			354→暗褐色土層		D22
355		欠番					－
356		小穴群			356→暗褐色土層		DE21
357	御10SX357	小穴群			357→暗褐色土層		E21
358		小穴群			358→暗褐色土層		D20
359		溝			359→暗褐色土層		D20
360		欠番					－
361		小穴			361→暗褐色土層		E20
362		たまり？			367→362→347→暗褐色土層		D20
363		小穴			363→暗褐色土層		E20
364		小穴					E20
365		欠番					－
366		小穴			366→暗褐色土層		E20
367		たまり？			367→362→347→暗褐色土層		D20
368		小穴群			368→暗褐色土層		E19～20
369		小穴					IJ18
370		欠番					－
371		小穴群					J18
372		土坑	石が溜まっている。100に関連か。	下層（石廃棄）→上層（暗茶色土）	100除去後検出		I17～18付近
373		小穴			373→10		M13
374		たまり	S-100下層のたまり				IH17
375		欠番					－
376		小穴	S-100の流れで生じた窪みか		100黒茶色土除去後検出		I16
377	御10SK377	土坑		橙灰色粘土ブロックあり			FG16
378		小穴群					G15～16
379		小穴群			100黒茶色土上層除去後検出		H15付近
380		欠番					－
381		小穴			100黒茶色土下層除去後検出		H15
382		小穴群					G14
383		小穴			90除去後検出		H14
384		小穴			100黒茶色土下層除去後検出		H13
385		欠番					－
386		小穴群			95→386		G13
387		小穴					G13
388		小穴					G13
389		小穴			95→389		G13
390		欠番					－
391		小穴群					I12
392		小穴群					I13

御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査遺構番号台帳（7）

S-番号	遺構番号	種　別	備　考	埋土状況（古→新）	遺構間切合（古→新）	時　期	地区番号
393		小穴					I13
394		小穴群			100黒茶色土上層除去後検出		I14
395		欠番					−
396		小穴			100黒茶色土上層除去後検出		H16
397		小穴			397→100・90		H13
398		土坑			398→35		M19
399		小穴					I17
400		欠番					−
401		たまり			402→401→50		K15～16
402		小穴			401除去後検出		K15
403		土坑			115→403		L14
404		小穴群			110茶黄色土→404		Q14
405		欠番					−
406		たまり状遺構	下層に小穴あり。		406→115		L13
407		小穴群					NO22～23
408		小穴					J13
409		小穴			115→409		M13
410		欠番					−
411		小穴群					I17
412		小穴			S-35炭層除去後検出		M19
413		小穴					N17
414		土坑		下層→上層	414→60		A19
415		欠番					−
416	御10SX416	小穴			55→416→271		A22
417		小穴					S18
表土	表土			暗褐色土→茶色土→表土			調査区全面
撹乱	撹乱						
茶色土	茶色土層	包含層	遺物取り上げ人工層位				調査区全面
黒茶色土	黒茶色土層	包含層		黒茶色土→茶色土		～VII期	JK21
暗褐色土	暗褐色土層	包含層	調査区南西部にて検出	暗褐色土→茶色土		8c後半～9c初	CDE18～23
Z			出土位置不明遺物				

遺物計測・観察表

遺物観察表について

1. ここでは、遺構番号の数字の小さい方から順番に記している（いわゆる、S番号の順）。
2. 同一遺構内の層位は、上位の層から順番に記している。
3. R番号とは遺物に付与された整理番号で、収蔵後の検索にはこの番号を用いる。
4. 土器以外の法量は口径・高さ・底径を、長さ・幅（高さ）・厚みに読み変える。
5. 数値後の"+"は欠損状況での数値、"*"は復元状況での数値、"-"は測定不能の状況を示している。
6. 器種に記す"×"はor（あるいは）の意を示す記号である。
7. 内底ナデ、板状圧痕の記号は、"○"は存在が認められるもの、"×"は存在しないもの、"－"は観察箇所があるが、有無の確認が困難なものを示す。

石器観察について

1. 石器の設置方向は、剥片の場合は剥離面の打点部分を上とし、リングの広がりの中心部分を下としている。石核の場合は最終剥離面ないし最も明瞭な剥離面を正面としている。
2. 重量の測定には0.1桁表示の電子測りを使用した。

御笠団印出土地周辺遺跡第7次調査　遺　物　観　察　表　(1)

遺構名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種別	器種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底ナデ	板状圧痕	備考 (+は欠損、*は復原値)
S-1d	001	7-5-2		土師器	坏a	11.6*	3.1	7.4*	×	○?	-	
S-15（茶色土）	001	7-6-2		須恵器	蓋c1	15.0	2.7+		ヘラ	○		
S-15（茶色土）	002	7-6-3	3	土師器	皿b	18.0*	3.5			○	-	
S-15（茶色土）	003	7-6-1		土師器	蓋c1	16.5	2.6+			○		
S-30（灰褐色砂土）	001	7-5-1	3	土師器	甕	16.6	15.0+					内面ヨコナデ、 外面ケズリ
S-35（茶黒色土）	001	7-6-4		土師器	蓋3	12.6*	1.8+	6.5*	-	-		
S-40（黒褐色土）	001	7-7-1		須恵器	坏c		2.0+	9.8*	ヘラ	○	-	
S-40（黒褐色土）	002	7-7-2		須恵器	坏c		1.1+	8.2*	ヘラ	○	-	
S-40（黒褐色土）	003	7-7-3		製塩土器	焼塩壺	5.7+	2.7+					II-b類
S-40（黒灰色土）	001	7-7-4		須恵器	坏c		2.3+	10.6*	×	×	×	底部穿孔？
S-40（黒灰色土）	002	7-7-6		土師器	皿a	19.65*	2.1	16.8*	-	×	-	
S-40（黒灰色土）	003	7-7-5		須恵器	坏c×皿c		1.7+	13.8*	-	-	-	
S-40（黒灰色土）	004	7-7-7		土製品	土錘	5.5	1.5					
S-50（灰茶色土）	001	7-7-12		製塩土器	焼塩壺		5.1+					II-b類
S-50（灰茶色土）	002	7-7-11		須恵器	大坏c	17.8*	6.3	11.2*		○	-	
S-50（灰茶色土）	003	7-7-10		須恵器	坏c	14.2*	3.9	10.85*		○	-	
S-50（灰茶色土）	004	7-7-9		須恵器	坏c	14.4*	3.9	10.8*		○	-	
S-50（茶褐色土）	001	7-7-8		製塩土器	煎熬土器	14.5*	5.9+					
S-68	001	7-8-5	3	土師器	坏a	15.9	3.7	9.7	ヘラ	○	-	外面に煤付着 ヘラ記号
S-68	002	7-8-4	3	土師器	皿a	16.8*	2.0	11.3*	ヘラ	-	-	
S-68	003	7-8-2	3	土師器	蓋a3	17.2	2.3					
S-68	004	7-8-1		須恵器	坏c		0.9+	7.7*	ヘラ	○	-	
S-68	005	7-8-3	3	土師器	坏d	13.6	3.5	7.5		○	-	墨書あり

御笠団印出土地周辺遺跡第7次調査 遺 物 観 察 表 (2)

遺構名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種別	器種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底ナデ	板状圧痕	備考 (+は欠損、＊は復原値)
灰色砂	001	7-9-5		須恵器	坏c	12.0*	3.6	8.1*	ヘラ?	○	-	口縁部に煤付着
灰色砂	002	7-9-4		須恵器	坏a	13.8*	3.5	9.0	ヘラ?	○?	-	
灰色砂	003	7-9-6		須恵器	坏c		2.7+	7.7*	ヘラ?	○	-	外底にヘラ記号
灰色砂	004	7-9-2		須恵器	蓋c3	17.5*	1.0		ヘラ?	○	-	
灰色砂	005	7-9-3		須恵器	蓋c3	15.7*	1.3		ヘラ?	○	-	
灰色砂	006	7-9-1		須恵器	坏身	13.0*	3.7		ヘラ?	○	-	
灰色砂	007	7-9-9		土師器	坏d	14.4*	3.1	7.3*		○?	-	
灰色砂	008	7-9-11		土師器	大坏c	18.5*	6.0	10.5*	ヘラ?			
灰色砂	009	7-9-10		土師器	坏a	12.9*	2.8	7.6*	ヘラ	○?	○	
灰色砂	010	7-9-8		土師器	蓋3	19.6*	2.55+				-	
灰色砂	011	7-9-7		須恵質土器	鉢	25.6*	5.1+					東播系
灰色砂	012	7-9-12		土師器	小甕	17.4*	6.7+					内外ともヨコナデ
灰色砂	013	7-9-13		黒色土器A類	椀c	10.7*	2.25+	8.1*	-	-	-	
灰色砂	014	7-9-14		瓦	軒丸瓦							鴻臚館式
黄色砂	001	7-10-1		須恵器	蓋c3	15.4	2.7			○		
黄色砂	003	7-10-3		龍泉窯系青磁	椀IV類		3.2+	6.0*	-	-		
黄色砂	004	7-10-2		土師器	坏a	13.2*	3.5	9.0*	-	-	-	
黄色砂	005	7-10-4		鉄製品	刀子	6.2+	1.3	0.4				
青灰色砂	001	7-11-4		須恵器	坏c		2.7+	9.8*	ヘラ?	○	-	
青灰色砂	002	7-11-3		須恵器	坏c		1.9+	8.4*	-	○	-	
青灰色砂	003	7-11-2	3	須恵器	蓋c3	15.9	3.6			○		
青灰色砂	004	7-11-6		土師器	甕	15.0*	6.0+					
青灰色砂	005	7-11-5		須恵器	坏c		2.3+	8.4*		○	-	
青灰色砂	006	7-11-1		須恵器	蓋3	14.8*	2.3+			○		
青灰色砂	007	7-11-9		瓦	軒平瓦	19.5	15.5	6.7				老司II式
青灰色砂	008	7-11-7		土師器	土錘	4.3	0.9	0.9				
青灰色砂	009	7-11-8		鉄製品	鏃	6.3+	1.3	0.6				

遺構名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種別	器種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底ナデ	板状圧痕	備考 (+は欠損,*は復原値)
S-1 (灰黄色土)	001	9-21-3		土師器	坏a	12.6*	3.3	6.2*	ヘラ	○		
S-1 (灰黄色土)	002	9-21-2		土師器	坏a		2.6+	6.7*	-	-		
S-1 (灰黄色土)	003	9-21-1		土師器	坏a		2.3+	7.2*	ヘラ			
S-1 (灰黄色土)	004	9-21-5		土師器	坏c		2.5+	8.6*	ヘラ	-	-	
S-1 (灰黄色土)	005	9-21-4		土師器	坏	11.5*	3.3+		×	×		
S-1 (灰黄色土)	006	9-21-6	13	土師器	耳皿	9.5*	2.5	5.2	-	-	-	口径は最大値。
S-1 (灰色土)	001	9-21-8		黒色土器A類	坏c		1.3+	8.9*	ヘラ	-	-	
S-1 (灰色土)	002	9-21-7		土師器	坏a		1.9+	7.1	-	-	○	
S-12	001	9-15-1		土師器	椀c		1.8+		-	○	-	
S-17	001	9-16-7		土師器	坏a	14.0*	2.9	7.9*	ヘラ	-	○	
S-25	001	9-21-11		土師器	皿a	17.0*	1.8	14.4*	ヘラ	-	-	
S-25	002	9-21-12		土師器	甕		3.6+					
S-25	003	9-21-9		須恵器	蓋3	17.0*	0.95+		ヘラ	○		
S-25	005	9-21-10		須恵器	坏c		2.8+	8.2*		○		
S-30	001	9-22-2	13	土師器	甕a	30.6*	20.0+					
S-30	002	9-22-1	13	土師器	甕a	31.2*	23.6+					
S-35 (黄茶色土)	001	9-23-1		土師器	椀c		1.8+	7.2*	ヘラ?	○?		
S-35 (黄茶色土)	002	9-23-9		黒色土器B類	椀c		1.3+		-	-	-	
S-35 (黄茶色土)	004	9-23-2		土師器	椀c		1.5+	7.3*	-	-		
S-35 (黄茶色土)	005	9-23-4		土師器	椀c		1.7+	7.8*	-	-		
S-35 (黄茶色土)	006	9-23-5		土師器	椀c		2.0+	8.1*	-	-	-	
S-35 (黄茶色土)	008	9-23-7		黒色土器A類	椀c		2.2+	9.3+	-	-	-	
S-35 (黄茶色土)	009	9-23-6		土師器	大椀c		3.6+		-	-	-	
S-35 (黄茶色土)	010	9-23-11		越州窯系青磁	椀Ⅰ類		2.5+					
S-35 (黄茶色土)	011	9-23-8		黒色土器A類	椀c		2.1+		-	-		
S-35 (黄茶色土)	012	9-23-3		土師器	椀c		1.9+	7.4*	-	-	-	
S-35 (黄茶色土)	014	9-23-14		鉄製品	不明製品	2.3	0.4					
S-35 (黄茶色土)	015	9-23-13		鉄製品	刀子	5.4	1.4	0.7				
S-35 (黄茶色土)	016	9-23-12		鉄製品	刀子	4.1	1.0	0.4				
S-35 (黄茶色土)	017	9-23-15		鉄製品	釘	4.7	0.4	0.4				
S-35 (黄茶色土)	018	9-23-10	13	緑釉陶器	椀c	13.0*	5.0	6.1	-	-	-	洛西産
S-35 (茶褐色土)	001	9-23-17		石製品	砥石	4.3	4.7	2.6				砂岩　71.4g
S-35 (茶褐色土)	001	9-23-16		鉄製品	釘	7.4	0.7	0.7				
S-35 (暗茶色土)	001	9-23-24		土師器	椀c		3.5+	9.4*	ヘラ	-	-	
S-35 (暗茶色土)	002	9-23-22		土師器	椀c		1.6+	6.8	-	-	-	
S-35 (暗茶色土)	003	9-23-20		土師器	坏a		1.9+					
S-35 (暗茶色土)	004	9-23-19		須恵器	甕	6.5+						
S-35 (暗茶色土)	005	9-23-21		土師器	椀c	13.0+	4.9+	7.8+	-	-	-	
S-35 (暗茶色土)	006	9-23-28		黒色土器B類	椀c		2.0+	10.1*	-	-	-	
S-35 (暗茶色土)	007	9-23-26		黒色土器B類	椀c		3.0+	9.2*	ヘラ	-	-	
S-35 (暗茶色土)	008	9-23-25		黒色土器A類	椀c		2.9+	8.2*	-	-	-	
S-35 (暗茶色土)	009	9-23-27		黒色土器B類	椀c		3.4+	9.7*	-	-	-	
S-35 (暗茶色土)	010	9-23-18	13	須恵器	壺		9.3+	7.6	-	○		
S-35 (暗灰茶色土)	001	9-23-23		土師器	坏c		1.2+	7.8*	-	-	-	
S-37	001	9-16-8		土師器	坏a		1.0+	7.0	ヘラ	×	×	御9SB225の一部
S-45 (上層)	001	9-24-1		須恵器	蓋1		1.8+		-	-	-	
S-45 (上層)	002	9-24-2		土師器	甕		5.3+					
S-45 (茶色土)	001	9-24-3	14	須恵器	蓋1		1.5+		-	-		
S-45 (茶色土)	002	9-24-4		須恵器	坏c		1.5+		-	○?		
S-45 (茶色土)	003	9-24-5		土師器	椀	15.1	5.8		-	×	×	在地の暗文
S-50 (灰茶色土)	001	9-15-4		須恵器	皿a	21.0*	2.0	15.4*	ヘラ			
S-50 (灰茶色土)	002	9-15-3		須恵器	坏c		2.4+	9.7*	-	○	-	
S-50 (黄灰色土)	001	9-15-5		須恵器	皿a	13.0*	2.0	10.6*	ヘラ	○		

遺　構　名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種　別	器　種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底ナデ	板状圧痕	備　考 (+は欠損,*は復原値)
S-70	001	9-16-3		須恵器	坏c	14.0*	4.1	10.2*	ヘラ	○		
S-70	002	9-16-1		須恵器	蓋c3	14.5*	1.4			○		
S-70	003	9-16-2		須恵器	蓋c3	15.0*	1.6			○		
S-70	004	9-16-5		土師器	甕a	27.2*	8.3+					
S-70	005	9-16-4		土師器	高坏		5.1+					
S-75（淡灰色土）	001	9-18-11		土師器	坏a	16.4*	3.6	14.5*				
S-75（茶褐色土）	001	9-18-13	12	土師器	鉢	19.6*	10.5	11.0*				
S-75（茶褐色土）	002	9-18-12		土師器	大皿b	22.3*	2.8		-	-	-	
S-80（黒茶色土）	001	9-15-7		黒色土器A類	椀c		1.8+		-	-	-	
S-80（黒茶色土）	002	9-15-6		土師器	椀c		1.9+	8.2*	×	-	×	
S-80（黒茶色土）	003	9-15-8		黒色土器A類	椀c		1.6+		×	-	×	
S-90	001	9-38-4		須恵器	蓋c3	15.2*	1.7		ヘラ	○		
S-90	002	9-38-6		須恵器	坏c	14.4*	3.9	9.0*	ヘラ	○		
S-90	003	9-38-1		須恵器	小蓋3	11.8*	1.4			○		
S-90	004	9-38-2		須恵器	蓋c3×蓋b3	13.8*	0.9		ヘラ	○		
S-90	005	9-38-5		須恵器	坏c		2.3+	10.6*	ヘラ	○		
S-90	006	9-38-7		須恵器	大皿c		1.3+	19.6*	ヘラ	○		
S-90	007	9-38-3		須恵器	蓋c		2.0+					
S-95	001	9-38-9		須恵器	坏c	14.5*	4.3	9.2	ヘラ	○		
S-95	002	9-38-11		須恵器	皿a	19.6*	2.0	15.8*	ヘラ	○	○	
S-95	003	9-38-10		須恵器	皿a	19.6*	1.9	15.8*	ヘラ	○	○	
S-95	004	9-38-8		須恵器	蓋c3	17.7	1.7+		ヘラ	○		
S-95	005	9-38-13		土師器	小甕a	15.4	15.2			○		
S-95	006	9-38-12		土師器	皿b	13.0*	3.0	11.8*		-		
S-100（上面）	001	9-25-2		須恵器	蓋c3	16.0*	1.25+		ヘラ	○		
S-100（上面）	002	9-25-3		須恵器	蓋3	17.6*	2.1+		ヘラ	○		
S-100（上面）	003	9-25-6		須恵器	坏a	14.0*	3.6	9.3*	ヘラ	○		
S-100（上面）	004	9-25-7		須恵器	坏c	13.0*	3.8	7.8*	-	-		
S-100（上面）	005	9-25-5	15	須恵器	壺蓋a	13.8	3.1		ヘラ	○		
S-100（上面）	006	9-25-4		須恵器	蓋3	18.0	1.5		ヘラ	○		
S-100（上面）	007	9-25-1		須恵器	蓋c3	12.4*	2.5		ヘラ	○		
S-100（上面）	008	9-25-8		須恵器	坏c	18.0*	5.2	12.0*	ヘラ	○	○	
S-100（上面）	009	9-25-9		製塩土器	焼塩壺	16.2*	5.0+					II類
S-100（茶色土）	001	9-25-6		須恵器	坏c	14.2*	3.8	8.8*	ヘラ	○		
S-100（茶色土）	002	9-25-3		須恵器	坏c		2.1+	9.4*	ヘラ			
S-100（茶色土）	003	9-25-5		須恵器	坏c		3.4+	9.0*	-			
S-100（茶色土）	004	9-25-4		須恵器	坏c		3.0+	9.0*	-	○		
S-100（茶色土）	005	9-25-9		須恵器	皿a	19.1*	2.3	15.8*	ヘラ	○?		
S-100（茶色土）	006	9-25-7		須恵器	皿a	14.0*	2.0	11.5*	ヘラ			
S-100（茶色土）	007	9-25-8		須恵器	皿a	18.6*	2.0	15.3*	ヘラ	○		
S-100（茶色土）	008	9-25-1		須恵器	蓋c3	15.8*	2.5		ヘラ	○		
S-100（茶色土）	009	9-25-2		須恵器	蓋c		1.35+		ヘラ	○		
S-100（茶色土）	011	9-25-10		須恵器	高坏		3.7+	10.1*				
S-100（茶灰色土）	001	9-28-30		須恵器	坏c	14.8	3.8	9.2		○		
S-100（茶灰色土）	002	9-27-23	15	須恵器	坏c	13.8	3.9	8.9	-	○		
S-100（茶灰色土）	003	9-27-28		須恵器	坏c	14.7	4.1	9.2		○		
S-100（茶灰色土）	004	9-29-54	15	須恵器	皿a	19.7	3.5	15.8	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	006	9-27-18	15	須恵器	坏c	11.6	3.8	7.8	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	007	9-27-16		須恵器	坏c	10.6	4.2	7.8		○		
S-100（茶灰色土）	008	9-28-37		須恵器	坏c	18.8	6.3	12.7		○		
S-100（茶灰色土）	009	9-27-22	15	須恵器	坏c	13.7	4.1	9.8	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	010	9-27-19		須恵器	坏c	13.6	4.2	8.2		○		
S-100（茶灰色土）	011	9-29-52	15	須恵器	皿a	18.4	1.8	14.4	ヘラ	○		

遺構名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種別	器種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底ナデ	板状圧痕	備考 (+は欠損,*は復原値)
S-100（茶灰色土）	012	9-29-50		須恵器	皿 a	14.4	1.7	11.6	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	013	9-27-7	15	須恵器	蓋 c 3	14.7	2.9		ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	014	9-27-11	15	須恵器	蓋 c 3	15.8	1.3+		ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	015	9-27-5		須恵器	蓋 c 3	15.9	1.3			○		
S-100（茶灰色土）	016	9-27-27		須恵器	坏 c	14.4	4.4	10.3	-			
S-100（茶灰色土）	017	9-28-42		須恵器	坏 c		1.3+	9.4	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	018	9-28-36		須恵器	坏 c	18.0	6.6	11.6	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	019	9-29-55		須恵器	大皿 c ×大盤 c		2.2+	24.8	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	020	9-29-53		須恵器	皿 a	18.6	2.4	14.6	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	021	9-27-15		須恵器	蓋3	22.5	1.65+		ヘラ	-		
S-100（茶灰色土）	022	9-27-14		須恵器	蓋3	18.4	1.3+			○		
S-100（茶灰色土）	023	9-27-1		須恵器	蓋 c		1.8+			○		
S-100（茶灰色土）	024	9-27-8	14	須恵器	蓋 c 3	15.2	3.0		ヘラ	-		
S-100（茶灰色土）	025	9-28-33		須恵器	坏 c	15.2	4.3	9.7	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	026	9-29-60		須恵器	壺 a		11.2+	9.2		○		
S-100（茶灰色土）	027	9-29-59	14・15	須恵器	壺 a	10.3*	14.3	10.7*		○		
S-100（茶灰色土）	028	9-28-47	14	須恵器	破片			4.4+				墨書あり
S-100（茶灰色土）	029	9-28-45		須恵器	坏 c		1.3+	9.2*	ヘラ	○		墨書あり
S-100（茶灰色土）	030	9-27-13		須恵器	蓋3	18.0*	2.1			○		
S-100（茶灰色土）	031	9-28-43		須恵器	坏 c		1.7+	10.0*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	032	9-27-6		須恵器	蓋 c 3	12.6*	1.9+		ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	033	9-28-35		須恵器	坏 c	16.6*	5.5	10.2*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	034	9-30-62		土師器	甕	18.8*	4.0+					
S-100（茶灰色土）	035	9-30-64		土師器	甕 a	26.6*	6.7+					
S-100（茶灰色土）	036	9-30-69		製塩土器	焼塩壺	10.7*	9.1+		-	-	-	II類
S-100（茶灰色土）	037	9-30-70		製塩土器	焼塩壺	10.8*	7.2		-	-	-	II-a類？
S-100（茶灰色土）	038	9-30-71		製塩土器	焼塩壺	12.6*	8.8+		-	-	-	II-a類
S-100（茶灰色土）	039	9-27-20		須恵器	坏 c	13.6	4.2	9.2	ヘラ			
S-100（茶灰色土）	040	9-27-25		須恵器	坏 c	14.2*	3.3	8.1*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	041	9-27-24		須恵器	坏 c	13.9*	4.3	9.2*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	042	9-27-17		須恵器	坏 c	11.1*	3.3	7.5*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	043	9-28-31		須恵器	坏 c	14.8*	4.1	10.4*	ヘラ	○?		
S-100（茶灰色土）	044	9-28-32		須恵器	坏 c	15.0*	4.0	11.5*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	045	9-27-4		須恵器	蓋 c 3	21.0*	2.0*			○		
S-100（茶灰色土）	046	9-28-34		須恵器	坏 c	15.3*	4.6	9.8*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	047	9-30-68		製塩土器	焼塩壺	12.1*	7.2*		-	-		II類
S-100（茶灰色土）	048	9-30-66		製塩土器	焼塩壺	14.1*	3.2+					II-b類
S-100（茶灰色土）	050	9-28-41		須恵器	坏 c		3.3+	8.7*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	051	9-27-9		須恵器	蓋 c 3	15.2*	1.6+		ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	052	9-27-12		須恵器	蓋3	15.4*	0.95+		ヘラ			
S-100（茶灰色土）	053	9-27-2		須恵器	蓋 c 3	15.6*	2.2		ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	054	9-29-49		須恵器	大椀 a		4.8+	11.4		○		
S-100（茶灰色土）	055	9-27-10		須恵器	蓋 c 3	15.4*	3.0+		ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	056	9-28-48		須恵器	坏 a	14.0*	3.5	10.2*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	057	9-27-21		須恵器	坏 c	13.6*	4.9	9.4*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	058	9-27-26		須恵器	坏 c	14.3*	3.7	8.9*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	059	9-28-38		須恵器	大坏 c	21.4*	5.9	13.2*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	060	9-28-40		須恵器	坏 c		2.0+	8.0*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	061	9-28-29		須恵器	坏 c	14.7	4.3	9.5	ヘラ	○	○	
S-100（茶灰色土）	062	9-29-51		須恵器	皿 a	15.6*	1.9	13.6*	ヘラ	○		
S-100（茶灰色土）	063	9-28-39		須恵器	坏 c		1.5+	7.3*	-	○	-	
S-100（茶灰色土）	064	9-28-46		須恵器	坏 c		3.1+	9.6*	ヘラ	○	-	ヘラ記号
S-100（茶灰色土）	065	9-30-63		土師器	甕 a	24.0*	5.5+					

遺構名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種別	器種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底ナデ	板状圧痕	備考 (+は欠損,*は復原値)
S-100（茶灰色土）	066	9-30-67		製塩土器	焼塩壺	14.0*	7.0+					II類
S-100（茶灰色土）	067	9-30-65		土師器	甕a	30.2*	11.2+					
S-100（茶灰色土）	068	9-29-57		須恵器	高坏a	16.0+	7.8+	8.0+	ヘラ	-		
S-100（茶灰色土）	069	9-29-58		須恵器	高坏a		7.7+	16.0				
S-100（茶灰色土）	070	9-27-3		須恵器	大蓋c3	20.6	1.9			○	○	
S-100（茶灰色土）	071	9-29-56		須恵器	高坏b	11.7+	7.2+	9.5+	-	-		
S-100（茶灰色土）	072	9-29-61	14・15	須恵器	平瓶	8.9	9.7	11.7*				
S-100（茶灰色土）	073	9-28-44		須恵器	坏c		2.0+	12.0*	ヘラ	○	○	
S-100（茶灰色土）	074	9-30-72		鉄製品	刀子	9.7	1.0	0.5				
S-100（茶灰色土）	075	9-30-73		鉄製品	刀子	2.5	0.9	0.4				
S-100（茶灰色土）	076	9-30-74		鉄製品	不明製品	3.6	0.5	0.6				
S-100（茶灰色土）	077	9-47-1	16	石製品	砥石	6.8	2.4	1.6				砂岩　23.6g
S-100（灰茶色土）	001	9-31-1		須恵器	蓋3	17.4*	1.5+		ヘラ	○?		
S-100（灰茶色土）	002	9-31-4		須恵器	大皿c×大盤c		1.6+	22.4*		○		
S-100（灰茶色土）	003	9-31-2		須恵器	坏c		1.6+	7.0*	×			
S-100（灰茶色土）	004	9-31-3		土師器	坏c		2.1+		×	-	×	
S-110（茶褐色土）	001	9-32-5		製塩土器	煎熬土器		12.1+					
S-110（茶褐色土）	002	9-32-1		須恵器	蓋1	14.4*	1.7+		×	×		
S-110（茶褐色土）	003	9-32-2		須恵器	蓋1		2.4+					
S-110（茶褐色土）	004	9-32-3		須恵器	坏c		1.1+	6.4*	ヘラ	○		
S-110（茶褐色土）	005	9-32-4		須恵器	坏c		2.3+	8.0*	×	○		
S-110（黄茶色土）	001	9-32-8		須恵器	高坏	10.0*	2.9+					
S-110（黄茶色土）	002	9-32-6		須恵器	蓋1	14.2*	2.2+		-	-		
S-110（黄茶色土）	003	9-32-7		須恵器	坏c	10.8*	2.5+		ヘラ	-		
S-110（黄茶色土下層）	001	9-32-12		瓦	軒平瓦	5.7	14.5	14.1				老司II式
S-110（黄茶色土下層）	002	9-32-9		須恵器	坏c	10.1*	4.3	7.2*	ヘラ	○		
S-110（黄茶色土下層）	003	9-32-10		土師器	坏c		3.9+	9.6*		○		
S-110（黄茶色土下層）	004	9-32-11		須恵器	坏片		2.95+					
S-130（茶灰色土）	001	9-15-10		土師器	椀c		2.0+	6.8	ヘラ	○?	-	
S-130（灰茶色土）	001	9-15-9		土師器	椀c		2.4+		-	-	-	
S-142	001	9-33-3		石製品	砥石	5.1	3.8	2.0				砂岩　60.7g
S-142	002	9-33-2		瓦	丸瓦	16.6*	8.9*	1.7				縄目
S-142	003	9-33-1		瓦	丸瓦	38.2	17.9	2.3				ナデ消し
S-150	001	9-18-8		須恵器	壺		10.4+	13.9*		○		
S-150	002	9-18-6		須恵器	蓋3	3.2+	0.65+					
S-160	001	9-17-1		須恵器	小蓋a1	10.9	2.7		ヘラ	○		ヘラ記号
S-164	001	9-47-2	16	石製品	不明製品	4.7+	2.4	0.6				滑石　10.1g
S-170	001	9-34-1		須恵器	蓋1		1.8+					
S-170	002	9-34-2		須恵器	蓋3		1.3+		ヘラ	○		
S-170	003	9-34-3		須恵器	蓋b		1.2+		ヘラ	○		
S-170	004	9-34-4		土師器	甕a		5.1+					
S-170	005	9-34-5		瓦	軒平瓦	9.3*	12.1*	7.0				老司II式
S-175（暗赤褐色土）	001	9-17-5		土師器	甕		1.9+		-	-	-	ヘラ記号
S-175（赤褐色土）	001	9-17-6	13	土師器	甕a	23.6*	33.8					
S-194	001	9-15-11		土師器	皿c		1.7+	13.0*	-	-	-	
S-194	002	9-15-12		瓦	軒平瓦	13.3	6.5					老司II式
S-200（上層）	001	9-39-5	12	土師器	甕a	12.2*	12.3	6.7				
S-200（上層）	002	9-39-2		須恵器	壺×鉢	10.6*	5.1+					
S-200（上層）	003	9-39-1	12	須恵器	坏蓋	11.8*	3.5		ヘラ			
S-200（上層）	004	9-39-3		須恵器	高坏	11.7*	7.2+		ヘラ	○		
S-200（上層）	005	9-39-4	12	土師器	坏	14.6	5.3		-	-	-	
S-209	001	9-16-6		土師器	坏c		2.0+	7.8		-	-	御9SB215関連
S-230（灰茶色土上層）	001	9-35-2		須恵器	坏c		2.1+	9.0*	ヘラ	○		

遺　構　名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種　別	器　種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底 ナデ	板状 圧痕	備　考 (+は欠損,*は復原値)
S-230（灰茶色土上層）	002	9-35-1		須恵器	蓋3	15.0*	2.4+			○		
S-230（灰茶色土）	001	9-35-7	14	須恵器	蓋c3	14.4*	1.9			○		
S-230（灰茶色土）	003	9-35-8		須恵器	蓋a		1.1+			-		
S-230（灰茶色土）	004	9-35-3		須恵器	蓋2	15.0*	2.2+		ヘラ	○		
S-230（灰茶色土）	005	9-35-4	14	須恵器	蓋c2	16.3*	2.1			○		
S-230（灰茶色土）	006	9-35-6		須恵器	蓋c3	14.4*	2.3			○		
S-230（灰茶色土）	007	9-35-5		須恵器	蓋3	14.4*	2.1			○		
S-230（灰茶色土）	008	9-35-9		須恵器	坏c		1.7+	9.0*	ヘラ	○		
S-230（明茶色土）	001	9-35-14		須恵器	坏c		1.5+	8.6*	ヘラ?	○		
S-230（明茶色土）	002	9-35-12		須恵器	蓋3	12.6*	1.1+			○		
S-230（明茶色土）	003	9-35-13		須恵器	蓋3	15.0*	1.6+			○		
S-230（明茶色土）	004	9-35-11		須恵器	蓋c		1.4+			○		
S-230（明茶色土）	005	9-35-15		須恵器	坏c		3.8+	8.7*	ヘラ	○		
S-230（明茶色土）	006	9-35-16		土師器	小甕a	13.0*	4.8+					
S-230（明茶色土）	007	9-35-17		土師器	甕a		7.6+					
S-230（明茶色土）	008	9-35-18		製塩土器	煎熬土器		5.8+					
S-230（灰褐色土）	001	9-35-20		須恵器	小坏c	8.5*	3.7	6.4*	ヘラ	○		ヘラ記号
S-230（灰褐色土）	002	9-35-21		土師器	蓋3	18.8*	1.1+		×	×		
S-230（灰褐色土）	004	9-35-22		土製品	不明製品	6.5	2.0	1.8				
S-230（灰褐色土）	005	9-35-19		須恵器	蓋3	13.5*	1.4+		ヘラ?	○		
S-230（茶灰色土）	001	9-36-4		須恵器	壺b	12.6*	7.4+					
S-230（茶灰色土）	002	9-36-1		須恵器	蓋c		1.4+			○		
S-230（茶灰色土）	003	9-36-3		須恵器	坏c	12.6*	4.5	8.7*	ヘラ	○		
S-230（茶灰色土）	004	9-36-2		須恵器	蓋1		1.1+					
S-230（茶灰色土）	005	9-36-5		土師器	甕a	15.7*	9.2+					
S-230（淡茶色土）	001	9-37-11		土師器	甕a	29.6*	1.2+					
S-230（淡茶色土）	002	9-37-12	12	瓦	丸瓦	10.2	10.8	2.0				ナデ消し
S-230（淡茶色土）	003	9-37-6		須恵器	坏c		3.2+	9.1*	ヘラ?	○		
S-230（淡茶色土）	004	9-37-7		須恵器	坏c		3.2+	9.0*	ヘラ	○		
S-230（淡茶色土）	005	9-37-1		須恵器	蓋1	14.4*	2.2+					
S-230（淡茶色土）	006	9-37-4		須恵器	蓋3	18.0*	1.7+		ヘラ	○		
S-230（淡茶色土）	007	9-37-9		土師器	手づくね鉢	8.0*	3.4		-	-		
S-230（淡茶色土）	008	9-37-5		須恵器	坏c		2.1+	8.9*	ヘラ	○		
S-230（淡茶色土）	009	9-37-2		須恵器	蓋1	14.6*	2.2+					
S-230（淡茶色土）	010	9-37-10		土師器	甕a	24.9*	7.2+					
S-230（淡茶色土）	011	9-37-8		土師器	坏c		0.7+	9.1*		○		
S-230（淡茶色土）	012	9-37-3		土師器	蓋3	15.6*	1.9+		×	×	×	
S-289	001	9-47-3	16	石製品	鏃	2.3+	1.7+	0.5				安山岩　1.6g
S-300（茶褐色土）	001	9-17-4		製塩土器	煎熬土器	21.0+	12.4+					
S-300（茶褐色土）	002	9-17-2		須恵器	坏身	12.3*	2.75+			○?		
S-300（茶褐色土）	003	9-17-3		土師器	小甕a	11.6*	6.3+					
S-348	001	9-18-3	12	須恵器	蓋c1	14.6	2.4		○	○		
S-348	002	9-18-5		須恵器	蓋1		1.6+					
S-348	003	9-18-1		須恵器	小蓋a1	11.4*	2.0		ヘラ?	-	-	
S-348	004	9-18-7		須恵器	高坏		5.0+					
S-349	001	9-40-1		須恵器	蓋3	16.3*	1.7+			○		
S-361	001	9-15-2		土師器	坏a	11.3	1.2+	8.0*	ヘラ	-	-	
S-413	001	9-18-2		須恵器	蓋1	14.2*	1.9+					
S-413	002	9-18-4	12	須恵器	蓋2	14.6*	1.7+					
S-434	001	9-47-4		石製品	砥石	9.2+	5.0	2.7				結晶片岩か　152.0g
S-441	001	9-40-4	15	土師器	坏	12.2*	3.4		-	-	-	
S-441	002	9-40-2		須恵器	坏		1.3+	8.7	ヘラ	○		ヘラ記号
S-441	003	9-40-3		須恵器	壺a		4.5+					

御笠団印出土地周辺遺跡第９次調査　遺物観察表　(6)

遺構名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種別	器種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底ナデ	板状圧痕	備考 (+は欠損,*は復原値)
S-463	001	10-16-4		土師器	坏c		3.3+	11.1*	ヘラ	-	-	御10SB205関連
S-464	001	10-16-2		須恵器	坏c	10.9*	3.3	7.2*	ヘラ	○		御10SB205関連
S-467	001	9-18-9		須恵器	蓋l		1.6+					
S-467	002	9-18-10		須恵器	蓋l		1.7+		-	-		
S-503	001	9-47-5		石製品	叩石	12.3	8.4	4.8				540.8g
S-550	001	9-19-3		石製品	砥石	11.3	4.4	3.3				砂岩。埋土出土遺物 321.7g
S-550（茶褐色土）	001	9-47-6	16	石製品	鏃	2.1	1.7	0.5				安山岩　1.0g
S-550（カマド西横）	001	9-19-1		土師器	壺×甕		6.0+	5.7				埋土出土遺物
S-550（カマド東横）	001	9-19-2	13	土師器	甕a	20.1	40.3	9.2				埋土出土遺物
S-600（茶灰色土）	001	9-20-7		土師器	高坏	15.4	4.9+			-		
S-600（茶灰色土）	002	9-20-6	12	須恵器	大皿a	26.4*	3.3	22.0*	ヘラ	○	○	
S-600（茶灰色土）	003	9-20-5		須恵器	高坏	13.3*	5.1+		-	○		
S-600（茶灰色土）	004	9-20-1		須恵器	坏蓋	14.1	3.3+			○		
S-600（茶灰色土）	005	9-20-10		土師器	甕a		5.1+					
S-600（茶灰色土）	006	9-20-12	12	瓦	丸瓦	10.0	6.5	1.6				ナデ消し
S-600（茶灰色土）	008	9-20-2		須恵器	蓋l		2.7+			○	-	
S-600（茶灰色土）	010	9-20-8		土師器	甕	16.7*	6.8+					
S-600（茶灰色土）	011	9-20-11	12	瓦	丸瓦	12.6	7.1	1.5				ナデ消し
S-600（茶灰色土）	013	9-20-4		須恵器	高坏		5.3+		-	○	-	
S-600（茶灰色土）	014	9-20-3		須恵器	蓋l		3.0+		ヘラ	○	-	ヘラ記号
S-600（茶灰色土）	015	9-20-9		土師器	把手	-	-	-				
S-600（茶灰色土）	016	9-20-13		鉄製品	刀子	12.5	1.3	0.6				
S-705（茶褐色土）	001	9-47-7	16	石製品	紡錘車	3.5	3.7	1.5				滑石　33.4g
S-710	002	9-47-8		石製品	管玉	1.25+	0.38	0.38				0.1g
表土	001	9-41-1		須恵器	小蓋a1	10.0	2.0		ヘラ	○		
表土	002	9-41-6		瓦	軒平瓦	18.7*	28.1	4.7				老司式
表土	003	9-41-5		瓦	軒平瓦	7.3*	9.6*	3.8*				
表土	004	9-41-4	15	土師器	皿a	12.2	1.3	7.6	ヘラ	○	○	
表土	005	9-41-2		須恵器	甕	23.2*	6.0+					
表土	008	9-41-3		須恵器	鉢	12.2*	7.0	9.0		○		
茶色土	002	9-42-9		土師器	皿b	14.8*	2.6	12.6*		-	-	
茶色土	003	9-42-2		須恵器	坏蓋×坏身		2.2+		ヘラ?	○		ヘラ記号
茶色土	006	9-42-3		須恵器	坏c		1.4+	9.4*	ヘラ	○		ヘラ記号
茶色土	008	9-42-1		須恵器	坏蓋×坏身		2.4+			○		ヘラ記号
茶色土	011	9-42-6		須恵器	壺		6.7+	8.3*	ヘラ	○		
茶色土	012	9-42-8		須恵器	壺		10.7+	8.6*	×	○		
茶色土	013	9-42-7		須恵器	壺e		7.7+					
茶色土	014	9-42-4		須恵器	小壺×椀	13.8*	3.7+					
茶色土	015	9-43-22	15	須恵器	硯	4.5+	5.2+	1.9				
茶色土	018	9-43-20		土製品	紡錘車	3.8	3.6	1.1				土師質
茶色土	019	9-43-21		土製品	紡錘車	4.7+	5.0+	1.7+				須恵質
茶色土	020	9-43-19		土製品	土錘	2.7	1.5	1.7				
茶色土	022	9-43-13		越州窯系青磁	椀I-1a類		2.1+	6.2*				
茶色土	023	9-43-18		越州窯系青磁	坏I-1類		1.5+	4.3*				
茶色土	024	9-43-14		越州窯系青磁	椀I-2ア類		2.4+	7.7*				
茶色土	025	9-43-17		越州窯系青磁	椀II-2b類		3.0+	7.3*				
茶色土	026	9-42-5		須恵器	壺		1.2+	10.0		○		ヘラ記号
茶色土	028	9-42-10		土師器	小甕×鉢		11.0*	4.4+				
茶色土	029	9-42-12		土師器	大皿c		1.8+	21.4*	-	-	-	
茶色土	030	9-42-11		土師器	大皿a	29.1*	2.4		-	-	-	
茶色土	031	9-43-15		越州窯系青磁	椀I-5		2.9+	8.7*				
茶色土	032	9-43-16		越州窯系青磁	小椀I-3類	12.8*	3.5+					

遺　構　名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種　別	器　種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底ナデ	板状圧痕	備　考 (+は欠損,*は復原値)
茶色土	038	9-43-29	16	鉄製品	鍵	5.8	1.5	1.8				
茶色土	039	9-43-24		鉄製品	刀子	4.9	1.2	0.7				
茶色土	040	9-43-23	15	鉄製品	刀子	20.4+	2.1	0.8				
茶色土	041	9-43-25	15	鉄製品	刀子	7.6+	1.5	0.4				
茶色土	042	9-43-26	15	鉄製品	不明製品	3.2	1.8	0.3				
茶色土	043	9-43-27		鉄製品	釘	4.8+	0.8	0.6				
茶色土	044	9-43-28		鉄製品	釘	3.7+	0.5	0.6				
茶色土	045	9-46-7	16	石製品	権	13.3	7.4	2.2				滑石　365.8g
茶色土	046	9-46-5	16	石製品	石匙	6.3+	5.6	1.0				安山岩　25.3g
茶色土	047	9-46-6	16	石製品	石匙	10.3+	4.0	0.7				安山岩　22.1g
茶色土	048	9-46-3	16	石製品	鏃	1.8	1.5	0.4				黒曜石　0.8g
茶色土	049	9-46-1	16	石製品	鏃	2.3	1.5*	0.3				黒曜石　0.5g
茶色土	050	9-46-2	16	石製品	鏃	1.0+	1.2	0.4				黒曜石　0.4g
茶色土	051	9-46-4	16	石製品	鏃	2.4	1.8+	0.2				安山岩　1.2g
茶色土	052		巻頭図版	石	玉石	4.0	2.6	2.0				翡翠?　35.4g
茶灰色土	001	9-44-5		須恵器	坏c		2.7+	10.2*	ヘラ	○		
茶灰色土	002	9-44-6		須恵器	高坏		5.9+			○		
茶灰色土	003	9-44-4		須恵器	坏c		1.65+	8.9*	ヘラ	○		
茶灰色土	004	9-44-2		須恵器	蓋2		1.2+		×	×	×	
茶灰色土	005	9-44-3		須恵器	坏c		2.2+	7.5*	ヘラ	○		
茶灰色土	006	9-44-1		須恵器	蓋1		0.9+		×	×	×	
茶灰色土	007	9-44-7		瓦	丸瓦	13.3	6.8	1.5				ナデ消し
暗茶色土	001	9-45-6		須恵器	坏c		2.2+	7.0*	×	×	×	
暗茶色土	002	9-45-7		須恵器	坏c		2.1+	9.6*	ヘラ	○		
暗茶色土	003	9-45-3		須恵器	蓋1		2.3+		ヘラ	○		
暗茶色土	004	9-45-1		須恵器	蓋1	13.6*	1.8		ヘラ	○		
暗茶色土	005	9-45-2		須恵器	蓋1	12.6*	2.2+					
暗茶色土	006	9-45-4		須恵器	大蓋c 1	25.0*	3.5		ヘラ	○		
暗茶色土	007	9-45-9		土師器	甕	20.0*	3.2+					
暗茶色土	008	9-45-10		土師器	甕a	23.0*	6.4+					
暗茶色土	009	9-45-5		須恵器	蓋c 3	15.0*	0.95+		ヘラ	○		
暗茶色土	010	9-45-11		弥生土器	甕	26.0*	7.1+					
暗茶色土	011	9-45-8		須恵器	大甕		14.5+					

遺構名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種別	器種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底ナデ	板状圧痕	備考 (+は欠損,＊は復原値)
S-5暗茶色土	002	10-13-1		須恵器	皿a	18.4*	2.8+	16.0*	ヘラ	○	-	
S-5暗茶色土	003	10-13-2	23	土師器	坏c		2.0+	9.5*	×	×		
S-5暗茶色土	005	10-13-3	23	緑釉陶器	椀c	16.7*	4.0	6.6*	-	-	-	洛北
S-5暗茶色土	024	10-13-4	23	鉄製品	刀子	5.5+	1.4	0.6				
S-5暗茶色土	026	10-41-13		石製品	砥石	11.6+	7.8+	3.8				砂岩。 505.7g
S-5暗茶色土	027	10-41-14		石製品	砥石	9.5+	9.0+	3.8				砂岩。 453.2g
S-5暗茶色土	028	10-40-10		石製品	柱状片刃石斧	6.9+	2.7	3.6+				泥岩。 93.9g
S-5灰色砂	004	10-13-5	23	鉄製品	釘	3.0+	0.5	0.5				
S-5灰色砂	005	10-13-6	23	鉄製品	釘	2.4+	0.6	0.5				
S-5茶褐色土	001	10-13-7		土師器	甑		13.6+					
S-5茶褐色土	002	10-13-8	23	鉄製品	不明	7.2	0.8	0.8				
S-7	001	10-37-8		鉄製品	釘	2.9+	0.9	0.7				
S-7	002	10-37-7		鉄製品	釘	3.5+	0.5	0.5				
S-10	001	10-29-2		瓦	軒平瓦	20.5	7.2					老司II式
S-10	002	10-29-1		土師器	椀c		1.8+	7.4	ヘラ	-	○?	
S-15	001	10-30-1		須恵器	坏蓋	13.8	4.2		ヘラ	○		ヘラ記号
S-15	002	10-30-2		須恵器	坏蓋	12.2	3.8		ヘラ	○		ヘラ記号
S-15	003	10-30-3		土師器	甕	19.6	7.15+					
S-25	002	10-21-10		土師器	甕a		3.5+					
S-25	003	10-21-12		製塩土器	煎熬土器		6.9+					
S-25	004	10-21-11		土師器	甑	9.2+	5.6+					
S-25	005	10-21-9	27	土師器	椀	16.5	6.2+		×	×	×	
S-25	009	10-21-1		須恵器	坏蓋	12.7*	4.1+			○	-	ヘラ記号
S-25	010	10-21-3		須恵器	坏身	11.2*	3.3+	5.8*	ヘラ	○?	-	ヘラ記号
S-25	011	10-21-2		須恵器	坏身	11.2*	2.9	6.9*	ヘラ	○	-	ヘラ記号
S-25	012	10-21-5		須恵器	鉢		2.9+			○	-	ヘラ記号
S-25	013	10-21-6		須恵器	椀？		5.2+		×	×	×	
S-25	015	10-21-4		須恵器	鉢	9.0*	4.2+	7.8*		-	-	ヘラ記号
S-25	016	10-21-7		須恵器	壺		6.8+			○	-	ヘラ記号
S-25	017	10-21-8		須恵器	小壺	5.8*	4.6	5.6*	-	○	-	ヘラ記号
S-30	001	10-40-4	29	石製品	鏃	1.7+	1.6+	0.5				黒曜石 0.8g
S-35（茶褐色土）	001	10-31-1		須恵器	円面硯		1.8+					
S-40	001	10-32-1		瓦	平瓦	28.0	17.6					
S-62	001	10-16-3		須恵器	坏c		2.3+	9.7*	ヘラ	-	-	
S-62	002	10-16-6		土師器	甑		10.0+					
S-65（茶灰色土）	001	10-31-2		須恵器	坏c		2.0+	8.4*	ヘラ	○	-	
S-70	001	10-34-1	28	須恵器	蓋c3	19.1*	3.7			-		
S-70	002	10-34-2	28	須恵器	坏c	17.0	5.9	11.0	ヘラ	-	-	
S-75（茶灰色土）	001	10-22-4	27	土師器	小椀c	8.8	3.6	5.1	ヘラ	○?	×	
S-75（茶灰色土）	002	10-22-1	27	土師器	小皿a	11.0	2.0	7.5	ヘラ	-	×	
S-75（茶灰色土）	003	10-22-2		土師器	小皿a	11.0*	2.1	8.1*	ヘラ	-	×	
S-75（茶灰色土）	004	10-22-3	27	土師器	小皿c	11.5*	2.1	6.2*	ヘラ	○	○	
S-75（茶灰色土）	005	10-22-5		土師器	椀c		3.1+	9.25*	-	-	-	
S-75（炭層）	001	10-22-10	27	土師器	坏c	12.3	4.2	7.5	ヘラ	-	-	
S-75（炭層）	002	10-22-9		土師器	坏c		2.95+	6.8	ヘラ	-	-	
S-75（炭層）	003	10-22-8	27	土師器	小皿a	11.6	1.9	7.8	ヘラ	○	○	
S-75（炭層）	004	10-22-6		土師器	小皿a	11.0*	2.3	8.0*	-	-	-	
S-75（炭層）	005	10-22-7		土師器	小皿a	11.4*	2.1	8.0*	-	-	-	
S-75（炭層）	006	10-22-17		黒色土器B類	椀	13.8*	4.0+		×	×	×	
S-75（炭層）	007	10-22-11		土師器	甕	23.0*	6.1+					
S-75（炭層）	008	10-22-13		黒色土器A類	椀c		1.9+	9.1*	-	-	-	
S-75（炭層）	009	10-22-15		黒色土器A類	椀c		3.0+	8.7*	ヘラ	-	-	
S-75（炭層）	010	10-22-14		黒色土器A類	椀c		2.5+	8.0*	ヘラ	-	○	

遺構名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種別	器種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底ナデ	板状圧痕	備考 (+は欠損,＊は復原値)
S-75（炭層）	011	10-22-12		土師器	脚付鉢	20.0*	11.0	11.4*	-	-	-	
S-75（炭層）	013	10-22-16		黒色土器B類	椀c		2.4+	7.2*	ヘラ	-	-	
S-75（炭層）	014	10-22-18	27	越州窯系青磁	浅形椀×皿Ⅰ-2類	13.4	4.1	7.0	-	-	-	
S-75（炭層）	015	10-22-19		石製品	砥石	9.3+	6.5	2.3				砂岩　166.1g
S-75（褐色土）	001	10-23-20		土師器	坏a	11.0*	2.5	7.7*	ヘラ	○	○	
S-75（褐色土）	002	10-23-21		緑釉陶器	椀		1.2+					近江産
S-75（茶褐色土）	001	10-23-23		土師器	坏a	14.0*	3.5+	9.8*	ヘラ	-	×	
S-75（茶褐色土）	002	10-23-22		土師器	坏c		3.0+		ヘラ?	-	-	
S-75（茶褐色土）	003	10-23-24		黒色土器B類	椀c		3.9+	8.8*	ヘラ	-	○	
S-80（暗茶色土）	001	10-33-17		須恵器	皿a		2.4+		×	×	×	
S-80（暗茶色土）	002	10-33-14	27	須恵器	坏c	13.1	3.4	10.2	ヘラ	○	×	
S-80（暗茶色土）	003	10-33-15		須恵器	坏c	14.6*	4.3	11.2*	ヘラ	○	×	
S-80（暗茶色土）	004	10-33-16		須恵器	坏c		4.2+	10.7*	ヘラ	○	×	
S-80（暗茶色土）	005	10-33-10		須恵器	蓋c3	13.3*	2.3			○		
S-80（暗茶色土）	006	10-33-11	27	須恵器	蓋c3	17.2	2.8		ヘラ	○		
S-80（暗茶色土）	007	10-33-13		須恵器	蓋3	17.0*	2.1+			○		
S-80（暗茶色土）	008	10-33-12		須恵器	蓋3	15.0*	1.1+		ヘラ	○		
S-80（暗茶色土）	009	10-33-19		土師器	大坏c		2.95+	13.7*	-	-	-	
S-80（暗茶色土）	010	10-33-18		土師器	大蓋3		1.6+					
S-80（暗茶色土）	011	10-33-21		土師器	高坏		2.0+					
S-80（暗茶色土）	012	10-33-23		土師器	甕a	26.0*	5.1+					
S-80（暗茶色土）	013	10-33-22		土師器	甕	15.7*	6.3+					
S-80（暗茶色土）	014	10-33-20		土師器	大皿a		2.4+			-		
S-80（明橙色土）	001	10-33-24		須恵器	蓋3	17.4*	1.6+			○		
S-80（明橙色土）	002	10-33-25		須恵器	蓋3	17.6*	2.2+			○		
S-80（淡黄色土）	001	10-33-7	27	須恵器	皿a	19.6*	2.5	12.7*	ヘラ	-	-	
S-80（淡黄色土）	002	10-33-8	27	須恵器	皿a	23.0*	3.3	21.6*	ヘラ	-	-	
S-80（淡黄色土）	004	10-33-6		須恵器	坏c		2.3+	12.9*	ヘラ	-	-	
S-80（淡黄色土）	006	10-33-9		土師器	坏c		1.9+		-	-	-	
S-80（淡黄色土）	008	10-33-2		須恵器	蓋3	15.2*	1.5+		ヘラ	○		
S-80（淡黄色土）	009	10-33-3		須恵器	蓋c3	15.2*	1.5+			○		
S-80（淡黄色土）	010	10-33-1		須恵器	蓋c		1.6+					
S-80（焼土層）	001	10-33-26		須恵器	坏a	13.0*	3.0	9.2*	ヘラ	○	×	
S-90	001	10-13-10		土師器	把手	8.0+	3.1	4.4				
S-90	002	10-13-9		土師器	坏a		2.9+		-	-	-	
S-91	001	10-40-2	29	石製品	鏃	2.0	2.0	0.3				安山岩　0.6g
S-95b	001	10-17-3		須恵器	蓋1		1.8+		ヘラ?	○	-	
S-95（茶黄色土下層）	001	10-17-1		須恵器	蓋1		1.5+					
S-95（茶黄色土下層）	002	10-17-2		須恵器	高坏		4.5+	11.4*		○		
S-100（黒茶色土）	001	10-14-7		須恵質土器	鉢		4.5+					篠窯産
S-100（黒茶色土）	002	10-14-2	24	土師器	坏c		2.6+	6.4*	×	○?	×	
S-100（黒茶色土）	003	10-14-3	24	土師器	坏c		1.8+	8.7*	-	○?	-	
S-100（黒茶色土）	004	10-14-6	24	黒色土器B類	椀c		2.8+	8.3*	-	-	-	
S-100（黒茶色土）	005	10-14-1	24	土師器	坏	12.2*	3.3+		×	○	×	
S-100（黒茶色土）	006	10-14-5	24	黒色土器A類	椀c		2.4+	8.7*	-	-	-	
S-100（黒茶色土）	007	10-14-4	24	土師器	甕	21.6*	9.0+					
S-100（黒茶色土）	008	10-14-9		越州窯系青磁	椀Ⅰ-2類		2.0+	6.6*				
S-100（黒茶色土）	009	10-14-10		越州窯系青磁	椀Ⅰ-2類		3.8+	7.8*				
S-100（黒茶色土）	010	10-14-8		越州窯系青磁	椀Ⅰ-2類		2.7+	6.2*				輪花あり
S-100（黒茶色土）	017	10-14-16		鉄製品	釘	4.5+	0.5	0.5				
S-100（黒茶色土）	018	10-14-14		鉄製品	釘	1.4+	0.4	0.4				
S-100（黒茶色土）	019	10-14-17		鉄製品	釘	3.3+	0.5	0.5				
S-100（黒茶色土）	020	10-14-13		鉄製品	釘	2.2+	0.6					

遺　構　名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種　別	器　種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底ナデ	板状圧痕	備　考 (+は欠損,＊は復原値)
S-100（黒茶色土）	021	10-14-12		鉄製品	鏃?	2.5+	0.9					
S-100（黒茶色土）	022	10-14-18		鉄製品	釘	5.5+	0.6	0.6				
S-100（黒茶色土）	023	10-14-15		鉄製品	釘	7.4+	0.8	0.7				
S-100（黒茶色土）	024	10-14-11		銅製品	不明(鏡片か?)	4.7+	2.6+	0.5				
S-100（黒茶色土）	025	10-14-19		鉄製品	釘	3.7+	0.6	0.5				
S-100（黒茶色土下層）	001	10-15-12		陶器	蓋3		1.8+					
S-100（黒茶色土下層）	002	10-15-6		黒色土器B類	椀c		3.4+	11.0*	×	×	×	
S-100（黒茶色土下層）	003	10-15-5		黒色土器B類	椀c		2.5+	19.0*	ヘラ	-	-	
S-100（黒茶色土下層）	005	10-15-14		瓦	軒丸瓦	4.8+	11.6+	2.2				鴻臚館式
S-100（黒茶色土下層）	006	10-15-3	25	土師器	椀c		2.0+	7.6	ヘラ?	-	-	
S-100（黒茶色土下層）	007	10-15-4	25	土師器	椀c		2.3+	7.4	ヘラ	-	-	
S-100（黒茶色土下層）	008	10-15-1	25	土師器	坏a	10.5*	2.1	6.6*	-	-	-	
S-100（黒茶色土下層）	009	10-15-2	25	土師器	坏a	10.8*	2.3	6.3*	ヘラ	○	-	
S-100（黒茶色土下層）	010	10-15-13	25	土製品	不明製品	13.8	8.2	2.3				
S-100（黒茶色土下層）	011	10-15-7		越州窯系青磁	椀I-2aウ類		3.5+	10.4*				
S-100（黒茶色土下層）	012	10-15-8		越州窯系青磁	椀I-5類		4.2+	7.5*	ヘラ	-	-	
S-100（黒茶色土下層）	013	10-15-9		越州窯系青磁	椀I-1類		1.2+	7.0*		-	-	
S-100（黒茶色土下層）	014	10-15-10		越州窯系青磁	椀I-2a類		2.7+					
S-100（黒茶色土下層）	015	10-15-11		越州窯系青磁	メンコ状加工品（I類）	2.0	1.9					
S-100（黒茶色土下層）	040	10-15-15		鉄製品	釘	6.7	1.4	1.3				
S-100（黒茶色土下層）	041	10-15-16		鉄製品	釘	3.2+	0.9	0.5				
S-100（黒茶色土下層）	042	10-15-17		鉄製品	鉄塊	3.5	2.2	2.1				
S-100（黒茶色土下層）	043	10-15-18		鉄製品	鉄塊	2.7+	1.4	1.1				
S-105（茶黄色土上層）	001	10-18-1		須恵器	壺		3.2+	8.6		○	-	ヘラ記号
S-105（茶黄色土上層）	002	10-40-11		石製品	石匙?	8.0	4.2	0.8				安山岩　31.6g
S-105（茶黄色土下層）	001	10-18-2		土師器	甕		4.8+					
S-105（茶黄色土下層）	002	10-40-12		石製品	石匙?	3.7	2.7	1.3				安山岩　11.4g
S-115（茶黄色土）	001	10-17-4	26	須恵器	大蓋1		2.5+		-		-	
S-115（茶黄色土）	002	10-17-5	26	須恵器	大蓋1		2.2+		-		-	
S-115（茶黄色土）	003	10-17-6	26	須恵器	坏c		2.0+	7.5*	ヘラ	○	-	
S-115（茶黄色土）	004	10-17-7	26	須恵器	坏c		3.0+	9.6*	ヘラ	○	-	
S-150（明茶色土）	001	10-19-2		土師器	甕		5.7+					
S-150（明茶色土）	002	10-19-1		須恵器	坏蓋	11.2*	3.5				-	ヘラ記号
S-150（茶褐色土）	001	10-19-4	26	須恵器	坏	12.4	3.2	7.4	ヘラ	-	×	ヘラ記号
S-150（茶褐色土）	002	10-19-3	26	須恵器	坏蓋	12.3	3.7			○	×	ヘラ記号
S-150（茶褐色土）	004	10-19-7	26	製塩土器	煎熬土器		8.0+					
S-150（茶褐色土）	006	10-19-6	26	土師器	坏	11.3	4.8	9.0	-	-	-	
S-150（茶褐色土）	007	10-19-5	26	須恵器	鉢	14.0	6.4	8.4		-	-	ヘラ記号
S-150（茶褐色土）	008	10-40-6	29	石製品	鏃	1.9	1.7	0.4				安山岩　0.9g
S-150（茶褐色土）	009	10-40-5	29	石製品	鏃	2.3+	1.6+	0.5				黒曜石　1.1g
S-150b	001	10-20-1		須恵器	坏身	11.0*	2.4+					
S-179	001	10-36-3		須恵器	蓋1		1.9+					
S-179	002	10-36-2		須恵器	蓋1		1.5+					
S-179	003	10-36-4		土師器	甕a		6.0+					
S-183	001	10-36-5		須恵器	蓋1		2.2+					
S-183	002	10-36-6		須恵器	坏蓋	10.8*	3.0+			○	-	ヘラ記号
S-183	003	10-36-7	28	須恵器	坏	9.3	3.5	4.9	ヘラ	○	-	ヘラ記号
S-196	001	10-40-7	29	石製品	鏃	2.0	1.8	0.4				安山岩　1.1g
S-200（茶黄色土上層）	001	10-40-1	29	石製品	鏃	2.0	2.0	0.3				黒曜石　0.7g
S-202	001	10-16-5		土師器	甕a		7.8+					御10SB205関連
S-202	002	10-16-1		須恵器	蓋c3	9.0*	2.7+			○		御10SB205関連
S-212	001	10-16-8		土師器	椀c2		2.6+	9.8*	ヘラ	-	-	御10SB215関連

遺 構 名	R番号	図版番号 (Fig.)	写真番号 (Pl.)	種 別	器 種	口径 cm	高さ cm	底径 cm	切離し	内底ナデ	板状圧痕	備 考 (+は欠損,*は復原値)
S-212	002	10-16-7		土師器	坏a		1.1+	8.6*	ヘラ	-	-	御10SB215関連
S-229	001	10-36-1		須恵器	蓋a1	12.4	2.4		ヘラ	○	○	
S-271	001	10-35-1		須恵器	蓋4	19.0*	2.3+			○	-	
S-286	001	10-37-6		製塩土器	煎熬土器		8.3+					
S-287	001	10-37-5		製塩土器	煎熬土器		6.4+					
S-329	001	10-37-1	28	須恵器	平瓶	7.5	14.7	8.8		○	-	ヘラ記号
S-335	001	10-35-3		須恵器	壺		5.0+			○		
S-335(黒茶色炭層)	001	10-35-4		土製品	羽口		5.0+	1.7				
S-343	001	10-37-2		緑釉陶器	坏c		1.7+					防長産
S-343	002	10-37-3		緑釉陶器	蓋		1.2+					防長産
S-357	001	10-37-4		緑釉陶器	坏c		1.7+					防長産
S-377	001	10-40-3	29	石製品	鏃	1.8+	1.1+	0.5				黒曜石 0.6g
S-416	001	10-35-2		土製品	羽口	6.7*	8.4+	2.1				
表土	001	10-38-1	28	緑釉陶器	皿c	15.6*	2.9	7.0*			×	洛西。ヘラ彫りあり
表土	003	10-38-2		白磁	椀V-2b×V-3b類		4.9+	6.4*			×	
撹乱	001	10-38-3	29	須恵器	小坏c	9.2*	3.9	6.7*	ヘラ		○?	内外にミガキあり
黒茶色土	001	10-38-9		土師器	坏a	13.0*	3.2+	7.0*	-	-		
黒茶色土	002	10-38-10		土師器	坏a		2.1+	7.8*	ヘラ	○	○	
黒茶色土	003	10-38-11		土師器	皿a	14.6*	1.8	10.8*	ヘラ	-		
茶色土	001	10-39-10		須恵器	坏c	13.3*	3.8	10.1*	ヘラ	○	-	
茶色土	002	10-39-11		須恵器	皿a	21.2*	2.0	16.4*		○	-	
茶色土	003	10-39-9		須恵器	坏a	14.7*	3.6	11.3*	ヘラ	○	-	
茶色土	005	10-39-8		須恵器	椀		3.0+					内面にミガキa
茶色土	006	10-39-7		須恵器	蓋c		0.7+			○	-	内面に擦痕
茶色土	007	10-39-12		須恵質土器	鉢		1.7+	9.3*	糸		-	篠窯産
茶色土	008	10-39-2		須恵器	坏蓋	11.6*	2.9+		ヘラ	○	-	ヘラ記号
茶色土	009	10-39-3		須恵器	坏身	11.2*	3.0	5.8	ヘラ	○	-	ヘラ記号
茶色土	010	10-39-1		須恵器	小蓋a1	11.8*	1.7		ヘラ	○	-	ヘラ記号
茶色土	012	10-39-6		須恵器	蓋c3	16.2*	1.5			○	-	
茶色土	013	10-39-4	29	須恵器	小蓋c1	10.2*	2.9			○	-	
茶色土	014	10-39-5		須恵器	蓋c3	14.6*	1.7		ヘラ	○	-	
茶色土	015	10-39-14		瓦質土器	鉢	23.4*	7.6+					
茶色土	016	10-39-13		黒色土器A類	椀		3.3+		×			搬入品か
茶色土	018	10-39-15		土製品	紡錘車	5.7	5.5	0.9				土師質
茶色土	052	10-39-17		鉄製品	釘	2.7+	0.8	0.6				
茶色土	053	10-39-19	29	鉄製品	不明製品	5.3	2.2	0.3				
茶色土	054	10-39-16		鉄製品	釘	2.1+	1.0	1.3				
茶色土	056	10-39-18	29	鉄製品	鏃	9.1+	5.8	0.8				
茶色土	058	10-40-9		石製品	磨製石斧	5.7+	2.4+	2.3+				玄武岩 29.5g
茶色土	059	10-40-8	29	石製品	鏃	2.6+	2.1	0.5				安山岩 1.7g
暗褐色土	001	10-38-5		須恵器	坏c	13.4*	3.6	9.1*	ヘラ	○	-	
暗褐色土	002	10-38-6		須恵器	皿a	18.2*	2.1	14.9*	ヘラ	○	-	
暗褐色土	003	10-38-4		須恵器	蓋c3	20.9*	1.4			○		
暗褐色土	004	10-38-7	28	白磁	椀I類	16.0*	3.2+			×		
暗褐色土	006	10-38-8		鉄製品	刀子	3.4+	1.1	0.2				
Z	001	10-41-15	29	石製品	権	9.1	5.5	1.9				滑石 143.9g

御笠団印出土地周辺遺跡第７次調査　出土遺物一覧表（1）

S-1a

土　師　器	坏

S-1c

須　恵　器	甕
土　師　器	坏

S-1d

土　師　器	坏a
黒色土器A類	破片
黒色土器B類	椀

S-1d灰色砂

須　恵　器	坏
土　師　器	坏×皿

S-1e

土　師　器	破片

S-1f

須　恵　器	甕
土　師　器	破片

S-1f掘方

須　恵　器	蓋1
土　師　器	甕

S-2

須　恵　器	破片
土　師　器	坏c、蓋3、甕
越州窯系青磁	椀；II片
灰　釉　陶　器	破片

S-3

土　師　器	坏a（ヘラ）、甕

S-4

須　恵　器	甕
土　師　器	坏a

S-5灰色砂

須　恵　器	坏
土　師　器	破片
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-5茶灰色砂

須　恵　器	坏c、蓋3
土　師　器	坏d、坏×皿、甕a
製　塩　土　器	製塩土器、煎熬土器
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-6

須　恵　器	蓋3、甕
土　師　器	坏（薄手・赤色塗彩）、甕、小甕
黒色土器A類	椀c
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-7

須　恵　器	坏
土　師　器	坏a、坏d
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-8

土　師　器	坏a、甕

S-9

須　恵　器	蓋3
土　師　器	坏、甕

S-10

須　恵　器	破片
土　師　器	破片

S-11

須　恵　器	坏c、蓋3
土　師　器	坏

S-12

土　師　器	破片
黒色土器A類	椀c
瓦　　　類	破片

S-13

須　恵　器	蓋3、甕
土　師　器	坏、蓋c
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-14

須　恵　器	蓋3、甕
土　師　器	椀c1、中椀c2、甕

S-15

土　師　器	甕

S-15茶色土

須　恵　器	坏、蓋1、蓋c1、蓋、長頸壺？
土　師　器	皿b、甕、高坏、蓋c1
石　製　品	鏃（黒曜石）

S-16

須　恵　器	坏×皿、壺
土　師　器	坏、蓋4、甕
黒色土器A類	破片
瓦　　　類	破片

S-17

須　恵　器	坏
土　師　器	坏、甕

S-18

須　恵　器	破片
土　師　器	甕、高坏（赤色塗彩）

御笠団印出土地周辺遺跡第7次調査　出土遺物一覧表 (2)

S-19

土師器	甕

S-20

土師器	破片
土製品	カマド

S-21

須恵器	坏c、蓋c、甕、壺f
土師器	甕、蓋c

S-22

須恵器	坏c
土師器	破片
製塩土器	製塩土器

S-23

須恵器	坏a、小坏c、蓋4、甕
土師器	甕
瓦類	破片

S-24

須恵器	蓋、甕
土師器	甕

S-26

土師器	甕a、破片

S-27

須恵器	坏、甕
土師器	破片
石製品	黒曜石片

S-28

須恵器	破片
土師器	坏a、甕

S-29

土師器	坏×皿、甕

S-30灰褐色砂

須恵器	坏蓋
土師器	甕a、甕

S-31

土師器	坏、甕

S-32

須恵器	甕
土師器	破片

S-33

土師器	破片

S-34

土師器	坏d
縄文土器	縄文土器

S-35茶黒色土

須恵器	坏c、蓋c、甕
土師器	蓋c、蓋3、甕、皿b、カマド、把手
瓦類	破片（縄目叩）
石製品	安山岩片

S-35灰茶色砂

須恵器	蓋3
土師器	甕

S-36

土師器	破片
瓦類	破片

S-37

須恵器	坏
土師器	甕

S-38

土師器	破片

S-40黒褐色土

須恵器	坏c、椀、壺蓋、甕
土師器	坏、蓋3、皿a、甕、小甕
製塩土器	焼塩壺II－b類
瓦類	破片

S-40黒灰色土

須恵器	坏c、蓋c、蓋3、甕、坏c×皿c
土師器	坏c、坏d、蓋3、皿a、甕a
製塩土器	製塩土器
土製品	土錘
瓦類	破片

S-41

土師器	坏×皿、坏d
製塩土器	煎熬土器

S-42

須恵器	坏、坏c、蓋3、甕
土師器	坏、甕

S-43

土師器	破片
石製品	黒曜石片（姫島）

S-44

須恵器	坏、破片
土師器	甕
瓦類	破片

S-45

須恵器	坏c、蓋3、皿a、甕、壺
土師器	坏a、坏d、甕
弥生土器	甕か？

S-46

須恵器	蓋c 3
土師器	皿

S-47

須恵器	坏身
土師器	甕

S-48

須恵器	坏a（墨痕あり）、甕
土師器	坏d、坏、甕a

S-49

土師器	坏、甕

S-50

須恵器	坏c、坏、
土師器	破片

S-50灰茶色土

須恵器	坏c、蓋3、蓋c、甕、大坏c
土師器	坏、坏×皿c、甕、破片
製塩土器	焼塩壺II－b類
製塩土器	煎熬土器、製塩土器か？
瓦類	破片

S-50茶褐色土

須恵器	坏、坏c、蓋3、皿a、甕、高坏
土師器	甕
製塩土器	製塩土器か？

S-51

須恵器	蓋
土師器	坏

S-52

須恵器	蓋3、甕
土師器	破片

S-53

土師器	破片

S-54

須恵器	坏
土師器	坏c、高台片

S-56

須恵器	甕
土師器	坏a、甕
越州窯系青磁	椀；I-1b
瓦類	破片（格子叩）

S-57

須恵器	蓋3
土師器	坏

S-58

須恵器	破片
土師器	坏×皿

S-59

土師器	甕
瓦類	丸瓦
石製品	安山岩片

S-61

須恵器	破片
土師器	坏、皿b、甕

S-62

須恵器	坏c、大坏、甕
土師器	坏、甕
黒色土器A類	椀

S-63

須恵器	甕
土師器	坏a、破片
黒色土器A類	破片

S-64

須恵器	坏、蓋×坏
土師器	甕a

S-67

土師器	甕

S-68

須恵器	坏c、甕
土師器	坏a、坏d、坏、蓋a4、皿、皿a、蓋a 3
土製品	焼土塊
瓦類	破片（縄目叩）

S-69

須恵器	壺
土師器	坏×皿、甕a

S-71

須恵器	破片
土師器	破片

S-72

土師器	甕

S-73

須恵器	坏c
土師器	甕
瓦類	破片（格子叩）

S-74

須恵器	坏、高坏、壺
土師器	坏、甕、把手

S-76

土　師　器	甕、破片

S-77

須　恵　器	蓋3
土　師　器	甕

S-78

須　恵　器	坏
土　師　器	坏
石　製　品	黒曜石片

S-79

須　恵　器	坏a、小坏c、蓋3、蓋c
土　師　器	坏a、坏c、坏d

S-81

土　師　器	破片

S-82

須恵器	破片
土　師　器	坏、破片

S-83

土　師　器	坏、甕

S-86

須　恵　器	蓋3、壺蓋、甕
土　師　器	甕、カマド、把手
白　　　磁	椀；I×XI
瓦　　　類	破片（格子叩）、（縄目叩）

S-87

須　恵　器	破片
土　師　器	甕

S-88

須　恵　器	坏c、蓋3、皿
土　師　器	蓋3、甕

S-89

須　恵　器	壺（古墳時代）

S-91

須　恵　器	坏c、蓋3、甕
土　師　器	坏、甕
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-92

須　恵　器	甕
土　師　器	甕

S-93

須　恵　器	破片
土　師　器	坏d、甕、高坏

S-94

須　恵　器	坏a、蓋3、甕
土　師　器	坏d、蓋3、甕

S-96

須　恵　器	坏a、蓋3
土　師　器	坏、甕a

S-97黒褐色土

須　恵　器	坏c、蓋3
土　師　器	坏c、坏d、蓋、甕

S-97黒灰色土

須　恵　器	蓋3、甕
土　師　器	甕a

S-98

須　恵　器	蓋3
土　師　器	坏d、甕

S-99

須　恵　器	坏c、蓋3、蓋c
土　師　器	坏、蓋4
製　塩　土　器	製塩土器

S-101

須　恵　器	蓋3
土　師　器	甕

S-102

須　恵　器	蓋3、蓋4、壺
土　師　器	甕

S-102灰褐色土

須　恵　器	坏、大蓋3

S-103

須　恵　器	坏a
土　師　器	甕a

S-103暗茶色土

土　師　器	坏

S-103黄褐色土

土　師　器	坏、蓋3、甕a

S-103灰褐色土

須　恵　器	蓋3
土　師　器	坏、蓋3

S-104

須　恵　器	破片
土　師　器	甕（弥生土器か？）、破片

S-106灰褐色土

須　恵　器	坏、蓋3
土　師　器	破片

S-107

須恵器	蓋3、壺b
土師器	坏、破片

S-108暗褐色土

土師器	甕a、高坏

S-108黄褐色土

須恵器	蓋3
土師器	坏、蓋3
製塩土器	製塩土器
瓦類	破片（縄目叩）
石製品	安山岩片

S-109

土師器	破片

S-112

須恵器	破片
土師器	甕

S-113

須恵器	坏、甕、壺
土師器	坏a、甕、坏d

S-114

須恵器	甕
土師器	破片

S-116

須恵器	坏
土師器	坏d？

S-117

須恵器	坏
土師器	大坏×大皿
瓦類	破片（縄目叩）

S-118

須恵器	坏、蓋
土師器	破片

S-119

須恵器	坏c
土師器	坏×皿、甕

S-121

須恵器	坏、蓋、甕、壺
土師器	甕
製塩土器	煎熬土器

S-122

須恵器	蓋3
土師器	甕a
瓦類	破片

S-123

須恵器	甕
土師器	破片
製塩土器	煎熬土器

S-124

土師器	坏、破片

表土

須恵器	甕、坏c、大蓋、坏a、蓋3、大椀c
土師器	甕、坏d、坏
瓦類	平瓦（縄目叩）

攪乱

須恵器	蓋3、甕、坏c
土師器	甕
石製品	黒曜石片

灰色砂層

須恵器	坏a、坏c、小坏c、蓋1、蓋3、蓋c、壺蓋、壺、甕 甕b、皿a、坏身、鉢（東播系）
土師器	坏a、坏c、坏d、大椀c（灯明？）、蓋3、蓋4、高坏、 甕、把手、脚、小甕a
黒色土器A類	椀c、破片
製塩土器	破片
緑釉陶器	皿片（長門）
瓦類	平瓦（縄目叩）、軒平瓦（鴻臚館式）
石製品	鏃（黒曜石）、安山岩片

茶灰色砂礫層

須恵器	坏c、蓋、甕、壺
瓦類	破片

黄色砂層

須恵器	壺b、大蓋、蓋c、蓋3、壺、坏c、坏a、甕、蓋1、皿a 蓋c3（転用硯）
土師器	坏a（9c中）、甕a、蓋1、把手
越州窯系青磁	椀；I、II
龍泉窯系青磁	椀；IV
同安窯系青磁	椀；III-2、破片
白磁	椀片
弥生土器	弥生土器か？
瓦類	破片（縄目叩）、破片（格子叩）
石製品	碁石
金属製品	刀子

茶色砂層

須恵器	坏c、高坏、甕
土師器	蓋c
越州窯系青磁	椀；I-2（小椀）
瓦類	破片

青灰色砂層

須　恵　器	坏a、坏c、小坏c、皿a、蓋1、蓋3、蓋c、蓋c3、椀a 甕、小甕、甕a、壺b、壺f、横瓶、椀c
土　師　器	椀c1（9c後）、甕、皿、把手、カマド
製 塩 土 器	煎熬土器
緑 釉 陶 器	破片
土　製　品	土錘
瓦　　　類	軒平瓦（老司II式）、軒丸瓦、破片（縄目叩）
金 属 製 品	鏃

S-50濃茶褐色砂土

須　恵　器	坏
土　師　器	坏×皿、甕a

S-50茶褐色砂土

須　恵　器	坏c（7c末）
土　師　器	甕
製 塩 土 器	煎熬土器

S-50明黄色粘質土

須　恵　器	蓋3

S-50暗茶褐色砂土

須　恵　器	破片
土　師　器	甕

S-50淡茶褐色砂質土

須　恵　器	破片
土　師　器	坏、蓋3、甕a
製 塩 土 器	煎熬土器

御笠団印出土地周辺遺跡第9次調査　出土遺物一覧表（1）

S-1黒色土

須恵器	甕、皿
土師器	坏a、甕b、椀c
越州窯系青磁	壺；破片（青磁褐彩×長沙窯系青磁）
瓦類	破片（縄目叩）

S-1灰黄色土

須恵器	坏蓋
土師器	坏a、甕b、耳皿（薩摩）、坏c、坏
黒色土器A類	椀1
土製品	カマド

S-1灰色土

土師器	坏a、甕
黒色土器A類	坏c
瓦類	破片

S-2

須恵器	坏c、甕
土師器	甕a、坏a
黒色土器A類	破片
石製品	鏃（安山岩）

S-3

土師器	坏、坏a、甕
黒色土器A類	破片

S-4

土師器	破片
白磁	皿；III-2

S-5黒色土

須恵器	坏蓋、甕
土師器	甕a、坏×皿

S-5炭色層

須恵器	甕

S-6

土師器	坏、甕
黒色土器A類	破片

S-7

土師器	破片
青花	近世

S-8

須恵器	鉢か？、甕
土師器	甕a、破片

S-9

須恵器	蓋1、蓋c
土師器	甕、坏

S-10淡茶色土

須恵器	坏、甕、蓋1
土師器	把手（甑？）、甕a、坏a、坏c
土製品	カマド

S-11灰色土（御9SB220の一部）

須恵器	蓋1、坏c、甕
黒色土器A類	破片

S-11茶色土（御9SB220の一部）

土師器	破片

S-12

須恵器	蓋3、坏c、甕、高坏
土師器	甕、坏c、椀c
黒色土器A類	破片
越州窯系青磁	椀；II
瓦類	破片（縄目叩）（格子叩）、軒丸瓦（鴻臚館式）

S-13

須恵器	破片
土師器	破片

S-14

土師器	破片

S-15

須恵器	甕、蓋1、坏
土師器	破片

S-15灰色土

土師器	破片

S-15灰色土（S-20も含む）

須恵器	甕、破片
土師器	甕a

S-16

土師器	破片

S-17（御9SB220の一部）

須恵器	甕
土師器	坏a、坏c

S-18

須恵器	甕、蓋3
土師器	皿a、甕

S-19

土師器	破片

S-20

須恵器	坏蓋、甕、小蓋
土師器	甕、破片

S-21

須恵器	蓋1、坏
土師器	甕
製塩土器	煎熬土器

S-22

土師器	甕、坏
黒色土器A類	破片

S-23

須恵器	壺、坏、甕
土師器	坏、蓋3
土製品	カマド
石製品	黒曜石片

S-24a（御9SB220の一部）

土師器	坏a
黒色土器A類	破片
瓦類	破片（縄目叩）

S-24a掘方（御9SB220の一部）

須恵器	破片
土師器	破片

S-24b（御9SB220の一部）

須恵器	破片
土師器	坏a、甕
黒色土器A類	破片

S-24b掘方（御9SB220の一部）

土師器	甕、坏

S-24c

土師器	破片

S-25

須恵器	坏c、蓋1、蓋3、甕、坏蓋、坏蓋×坏身
土師器	坏a、坏d、甕、皿a、鉢
黒色土器A類	破片
瓦類	破片

S-25下層

須恵器	甕、坏×皿
土師器	甕

S-26a

土師器	破片

S-26a埋土

須恵器	破片
土師器	甕

S-26a柱痕

須恵器	甕、坏？

S-26a掘方

須恵器	破片
土師器	破片

S-26b

土師器	破片

S-26b灰黄色土

土師器	甕

S-26b黄茶色土

土師器	破片

S-26c

土師器	破片

S-27

須恵器	甕、蓋3
土師器	坏a

S-28

須恵器	蓋1、甕、坏
土師器	甕

S-29

土師器	破片

S-30淡灰色土

土師器	破片

S-30茶黄色土

土師器	破片

S-30（1）

土師器	甕a

S-30（2）

土師器	甕

S-30（3）

土師器	甕

S-30（4）

土師器	甕a

S-30（5）

土師器	甕

S-31

須恵器	甕
土師器	甕

S-32

須恵器	坏、蓋
土師器	破片

S-33

須恵器	蓋1
土師器	破片
瓦類	破片（縄目叩）
石製品	黒曜石片

S-34（御9SB225の一部）

須恵器	甕a
土師器	甕a、破片
土製品	カマド
瓦類	破片

S-35暗茶色粘土（S-35灰褐色粘と同層）

須恵器	坏c、破片
土師器	坏c、破片
黒色土器A類	破片
灰釉陶器	坏c（須恵器か）
瓦類	破片

S-35灰褐色土

須恵器	甕、坏c、坏cか？、坏、蓋3、破片
土師器	坏c、坏、甕、椀c
黒色土器A類	椀、椀c、破片
土製品	焼土塊
越州窯系青磁	椀；I、II
瓦類	破片（縄目叩）
金属製品	鉄釘

S-35茶褐色土（S-35黄茶色土と同層）

須恵器	蓋3、甕、坏c、壺か？
土師器	甕a、高台片（坏×皿）、坏a、坏c
黒色土器A類	椀c、破片
製塩土器	煎熬土器、破片
瓦類	丸瓦
石製品	砥石
金属製品	鉄釘

S-35黄茶色土

須恵器	甕、坏c、坏身、蓋4、平瓶か？
土師器	椀c、甕、皿、大椀c
黒色土器A類	椀2、椀c
黒色土器B類	椀c1、椀c2、椀c
越州窯系青磁	椀；I
緑釉陶器	椀c（洛西産）
瓦類	破片、破片（縄目叩）、丸瓦、破片（格子叩）
金属製品	鉄釘、刀子（鉄）、用途不明品

S-35暗茶褐色土（S-35暗茶色土と同層）

須恵器	蓋、蓋1、蓋3、甕、壺、坏c、破片
土師器	坏×皿、坏a、椀×坏c、甕、破片、坏c
黒色土器A類	破片
弥生土器	破片
瓦類	破片

S-35暗灰茶色土（S-35暗茶色土と同層）

須恵器	坏c、甕、壺
土師器	坏c、椀c、坏a
黒色土器A類	破片、椀c
黒色土器B類	椀c

S-35暗茶色土

須恵器	甕、壺、坏a、坏c、坏、蓋3、
土師器	坏a、甕b、坏c、椀c
黒色土器A類	椀c、甕、破片
黒色土器B類	椀c
瓦類	平瓦（縄目叩）、丸瓦（無文）
石製品	黒曜石片
金属製品	鉱滓（銅）

S-36

須恵器	甕
土師器	甕、破片

S-37（御9SB225の一部）

須恵器	蓋c、破片
土師器	坏a
黒色土器A類	破片

S-38

須恵器	甕、壺？、蓋3、坏蓋
土師器	坏c、坏
黒色土器A類	破片
土製品	焼土塊

S-39

土師器	甕

S-40

土製品	焼土塊

S-40a柱痕

須恵器	坏a、甕
土師器	坏

S-40a掘方

須恵器	甕
土師器	坏？
黒色土器A類	破片

S-40c柱痕

土師器	破片

S-41

須恵器	甕、坏c、蓋1
土師器	坏c
石製品	黒曜石片

S-42

須恵器	甕
土師器	甕、破片
黒色土器A類	破片？

S-43

須恵器	坏、甕、破片
土師器	坏a、甕

S-44

須恵器	甕、坏a、破片
土師器	甕、破片

S-45上層

須恵器	甕、高坏、蓋1、坏
土師器	甕、破片

S-45茶灰色土

須恵器	甕、坏か？
土師器	椀（暗文）、把手、甕、坏か？、破片
石製品	黒曜石片

S-45茶色土

須恵器	甕、蓋1、坏蓋、坏、坏c、坏身、壺
土師器	甕、皿か？、高坏、椀（暗文）、坏c
土製品	焼土塊
石製品	黒曜石片

S-46（御9SB225の一部）

土師器	破片

S-47

須恵器	甕
土師器	甕

S-48

須恵器	甕
土師器	皿か？、甕

S-49

須恵器	蓋c、蓋3
土師器	坏、甕b、破片

S-50黄黒色土

須恵器	破片
土師器	破片

S-50灰茶色土

須恵器	椀c、壺蓋、蓋1、甕、皿a、坏c
土師器	甕、坏、破片
石製品	黒曜石片

S-50黄灰色土

須恵器	皿a、蓋1
土師器	高台片、破片

S-51

須恵器	蓋1、甕、坏身、壺
土師器	甕、坏、坏×皿

S-52

須恵器	壺（平底）、坏、甕、坏蓋
土師器	甕、坏cか？、坏

S-53

須恵器	甕
土師器	甕、坏
黒色土器A類	高台片？

S-54

須恵器	坏蓋、蓋1
土師器	甕、坏

S-55

須恵器	甕
土師器	破片
黒色土器A類	破片
瓦類	破片

S-56

須恵器	坏、甕×壺、蓋1
土師器	坏、甕

S-57

須恵器	破片
土師器	破片

S-58

須恵器	高台片、破片
土師器	甕、坏

S-59

須恵器	破片
土師器	甕、坏

S-60茶灰色土

須恵器	甕、坏c、蓋1
土師器	甕、坏a
黒色土器A類	破片
土製品	生産用具片
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-60茶黄色土

須恵器	甕、壺か？、蓋4
土師器	甕a、甕、皿b
黒色土器A類	破片？
瓦類	破片
石製品	黒曜石片

S-60灰色砂

須恵器	甕
土師器	坏a、甕、坏
瓦類	破片

S-61

須恵器	坏、甕、蓋1
土師器	甕、坏

S-62

須恵器	甕、坏aか？
土師器	甕

S-63

須恵器	甕、蓋1、坏
土師器	甕？

S-64

須恵器	蓋1、高台片、甕
土師器	坏、甕

S-65上層（茶褐色土）

須恵器	坏c、蓋3
土師器	坏、甕
黒色土器A類	破片？
瓦類	破片（擦り消し）

S-65下層（淡黄茶色土）

須恵器	坏c
土師器	甕
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-66

須恵器	皿、甕
土師器	破片

S-67

須恵器	甕、甕か？
土師器	甕、坏a
瓦類	平瓦（格子叩）

S-68

須恵器	坏a

S-69

須恵器	坏a
土師器	甕

S-70（御9SB210の一部）

須恵器	蓋c3、坏c、蓋1、蓋3、坏、壺、甕
土師器	甕a、高坏、坏c、坏
瓦類	平瓦（縄目叩）、破片

S-71

土師器	破片

S-72

須恵器	坏身、甕
土師器	甕、破片

S-73

土師器	破片

S-74

須恵器	坏c
土師器	甕、破片
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-75

須恵器	坏、坏c
土師器	皿b

S-75灰茶色土

須恵器	皿か？、破片
土師器	甕
製塩土器	煎熬土器？

S-75淡灰色土（S-75淡灰茶色土）

須恵器	小壺か？、坏
土師器	坏a

S-75鉢内埋土

土師器	甕か？

S-75茶褐色土

土師器	甕、皿b、鉢、大皿a

S-75赤橙色土

土師器	破片

S-75淡灰茶色土

須恵器	坏、壺、坏蓋、蓋3、蓋、坏、甕
土師器	甕、坏a

S-75カマド内小穴

須恵器	破片

S-75カマド北裾

土師器	破片
土製品	焼土塊

S-76

須恵器	甕、坏、長頚壺
土師器	甕a

S-77

須恵器	甕、坏c、坏、蓋1
土師器	坏身？、甕、破片
土製品	焼土塊

S-78

須恵器	甕
土師器	甕、破片

S-79

須恵器	坏a？、坏、長頸壺
土師器	甕、破片

S-80黒茶色土

須恵器	蓋、蓋1、蓋3、蓋c、甕、坏c、壺
土師器	椀c、坏c、甕、破片
黒色土器A類	椀c、破片
越州窯系青磁	壺；破片（I類。壺×水注）
瓦類	破片（格子叩）、（縄目叩多い）
金属製品	銅鐸

S-80灰茶色土

須恵器	壺、坏c、蓋3
土師器	坏c
黒色土器A類	椀c
瓦類	破片（縄目叩）

S-81

須恵器	坏c、甕
土師器	破片

S-82

須恵器	甕、破片
土師器	破片

S-83

須恵器	甕、坏
土師器	坏、甕、破片

S-84

土師器	甕、破片

S-85

須恵器	蓋1、壺、甕
土師器	坏c、甕、把手、坏a
瓦類	破片（格子叩）

S-86

土　師　器	破片

S-87

須　恵　器	蓋1、坏
土　師　器	甕

S-88

土　師　器	甕、破片

S-89

須　恵　器	坏、坏c、甕
土　師　器	甕、破片

S-90

須　恵　器	皿、皿cか？、蓋c3、蓋3、蓋c（転用硯か？）、坏c 小蓋3、大皿c、蓋c
土　師　器	甕、把手、破片
瓦　　　類	丸瓦、平瓦（縄目叩）

S-91

須　恵　器	坏、蓋3
土　師　器	破片
黒色土器A類	椀c
土　製　品	焼土塊

S-92

須　恵　器	甕、破片
土　師　器	坏c、甕a
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-93

須　恵　器	坏蓋
土　師　器	坏、破片

S-94

土　師　器	甕a

S-95

須　恵　器	皿a、坏c、蓋c3、蓋3
土　師　器	甕、皿b、小甕a、坏a

S-96

須　恵　器	蓋3、蓋c3
土　師　器	甕

S-97

土　師　器	甕、坏

S-98

須　恵　器	皿aか？
土　師　器	甕a、甕
製 塩 土 器	煎熬土器

S-99

須　恵　器	甕、蓋1、坏、破片
土　師　器	甕a
製 塩 土 器	破片

S-100上面

須　恵　器	蓋c3、坏c、壺蓋、皿a、蓋3、坏a、壺蓋a
土　師　器	甕a、坏a
製 塩 土 器	焼塩壺II類

S-100茶色土

須　恵　器	坏c、蓋c3、皿a、壺蓋、甕、壺、蓋c、蓋3、高坏
土　師　器	甕、大甕a
製 塩 土 器	煎熬土器
瓦　　　類	平瓦（縄目叩）
石　製　品	黒曜石片

S-100茶灰色土

須　恵　器	高坏、大皿a、鉢b？、壺a、壺、大高坏、大皿c、皿a 坏a、小坏c、坏c、大椀c、蓋3、蓋c3、平瓶、壺蓋 大皿c×大盤c、蓋c、破片（「山」の墨書あり） 坏c（「祐」？の墨書あり）、大椀a、大坏c、高坏a 大蓋c3、高坏b、平瓶、鉢、甕
土　師　器	甕a、坏a、把手、甕
製 塩 土 器	焼塩壺II類、焼塩壺II-a類、焼塩壺II-b類、煎熬土器 破片（縄目叩）
石　製　品	砥石
金 属 製 品	鉱滓、刀子（鉄）、用途不明鉄製品

S-100灰茶色土

須　恵　器	大皿×大坏c、坏c、蓋3、甕
土　師　器	甕a、坏c
製 塩 土 器	煎熬土器、破片
瓦　　　類	破片

S-101

土　師　器	破片

S-102

須　恵　器	坏
土　師　器	甕、坏
土　製　品	焼土塊
瓦　　　類	平瓦（縄目叩）

S-103（御9SB220の一部）

須　恵　器	壺、坏
土　師　器	坏、甕、破片
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-104

須　恵　器	坏蓋か？、小蓋a1

S-105

須　恵　器	高坏、坏c、坏
土　師　器	甕、破片
土　製　品	焼土塊

S-106

須　恵　器	蓋1、坏c
土　師　器	甕、破片

S-107

須恵器	破片
土師器	甕

S-108

須恵器	破片
土師器	破片

S-109

須恵器	壺、坏a
土師器	甕、小甕

S-110茶褐色土

須恵器	甕、蓋1、蓋3？、椀c、坏身、坏c、坏
土師器	甕、高坏？
製塩土器	煎熬土器
石製品	黒曜石片

S-110黄茶色土

須恵器	椀か？（黄茶土下層と接合）、蓋か？、壺蓋、蓋1 高坏（低いタイプ）、坏c
土師器	甕、高坏、皿bか？
石製品	チャート片

S-110黄茶色土下層

須恵器	坏c、蓋1、甕、椀か？、高坏（低いタイプ）、坏片
土師器	甕（ミガキ有り）、甕、坏c、壺
製塩土器	煎熬土器
土製品	焼土塊
瓦類	軒平瓦（老司II式）、平瓦（縄目叩）、

S-110茶灰色砂

須恵器	壺蓋か？、甕
土師器	甕（外面にヘラミガキ有り）、破片

S-111

土師器	椀c、破片

S-112

須恵器	甕、蓋
土師器	甕、坏
黒色土器A類	破片
瓦類	破片（縄目叩）

S-113

須恵器	破片
土師器	破片

S-114

須恵器	蓋c
土師器	甕

S-115

須恵器	坏、甕
土師器	甕、甕（赤色塗料）、椀、椀c
黒色土器A類	破片

S-116

須恵器	坏
土師器	甕、破片
黒色土器A類	破片

S-117

須恵器	破片？
土師器	破片

S-118

土師器	甕

S-119

須恵器	坏、坏片、蓋1、蓋1（土師質）
土師器	破片、甕？

S-120茶褐色土

須恵器	破片
石製品	安山岩片

S-120壁内

土師器	破片

S-122

須恵器	破片
土師器	甕、破片
黒色土器A類	破片

S-123

須恵器	坏c（作りがいい）、破片
土師器	破片

S-124

土師器	破片

S-125

須恵器	蓋c3、蓋3、坏c、短頚壺、壺、皿、甕、皿a、壺a
土師器	甕、蓋、坏d、高坏
瓦類	丸瓦、平瓦

S-126

須恵器	甕、蓋c、蓋1、蓋3、坏c
土師器	坏a、甕
製塩土器	製塩土器

S-127

須恵器	甕、蓋1
土師器	甕
瓦類	破片（格子叩）

S-128

須恵器	甕、坏c
土師器	甕、坏c、坏a
黒色土器A類	破片
黒色土器B類	破片
瓦類	破片（格子叩）

S-129

須恵器	坏
土師器	甕、坏、破片

S-130灰色土

須恵器	坏身、坏c、甕、転用硯？、蓋c、坏a、蓋3、壺 小壺か？、高坏
土師器	甕、坏a、坏c、蓋3、坏d
黒色土器A類	破片
黒色土器B類	破片
製塩土器	煎熬土器か？
土製品	生産用具（羽口か？）
瓦類	破片（格子叩）、破片（縄目叩）
石製品	滑石片

S-130茶灰色土（灰茶色土）

須恵器	坏c、壺か？、蓋c、蓋3、甕
土師器	坏c、甕、把手、高坏脚か？、椀c
黒色土器A類	破片
土製品	焼土塊
越州窯系青磁	椀；I 鉢他；破片
瓦類	破片（縄目叩）、丸瓦、破片（格子叩）

S-130灰色砂

白磁	椀；II（椀×皿。内面のみ化粧土あり。） 壺他；破片（化粧土あり）

S-130淡茶色土

須恵器	甕、坏、高坏
土師器	坏c、坏、破片
龍泉窯系青磁	壺×（同安窯系青磁の可能性もある）
瓦類	破片（格子叩）

S-131

須恵器	蓋3、破片
土師器	高台片、破片
黒色土器A類	破片
瓦類	破片？

S-132

須恵器	皿か？
土師器	甕、甕a、坏、破片

S-133

須恵器	甕、破片
土師器	破片
越州窯系青磁	椀；I

S-134

須恵器	坏蓋か？
土師器	甕、破片

S-135

須恵器	甕、蓋、坏
土師器	高坏、甕、破片
瓦類	平瓦（縄目叩）、丸瓦（玉縁）

S-135茶褐色土

須恵器	坏c、坏、甕、蓋、椀c×坏c
土師器	坏cか？、皿（ミガキ有り）、甕、皿×高坏、坏c

S-135灰黄色土

須恵器	坏
土師器	甕

S-136

須恵器	坏、甕、破片
土師器	坏c、甕、破片

S-137（御9SB225の一部）

須恵器	坏c、甕
土師器	甕

S-138

須恵器	蓋1、破片
土師器	破片

S-139

須恵器	破片
土師器	坏a

S-140

須恵器	坏c、蓋3、蓋（転用硯）、蓋c、甕、坏、長頸壺 壺（高台なし）、椀c
土師器	甕、坏c、甕×壺
縄文土器	破片、鉢（精製）
瓦類	丸瓦（縄目叩、玉縁）

S-141

須恵器	壺（高台）、坏a（平底）、坏c、坏、蓋c、蓋3、甕 高坏
土師器	甕、破片
瓦類	破片（縄目叩）

S-142

須恵器	坏c、坏、破片
土師器	甕、坏（ミガキa）、破片
瓦類	丸瓦（縄目叩、玉縁、擦り消し、行基葺き、 ナデ消し）
石製品	砥石（砂岩）

S-143

須恵器	甕
土師器	甕？、破片
黒色土器A類	破片

S-143柱痕

土師器	破片

S-143掘方

土師器	坏a、甕、破片

S-144

土師器	甕、皿、破片

S-145淡黒褐色土

須恵器	蓋c3、蓋3、坏（煤付着）、蓋1
土師器	把手、高坏、甕
瓦類	破片

S-145淡黄灰色土

土師器	甕、破片

S-146

土師器	破片

S-147

須恵器	甕、坏
土師器	破片

S-148

須恵器	破片
土師器	破片
瓦類	破片（縄目叩）

S-149

須恵器	坏c、甕
土師器	甕、破片

S-150

須恵器	甕、蓋3（一部8c中～後半のものも含む）、坏 坏a（平底）、蓋c、壺
土師器	甕、坏c
瓦類	平瓦（縄目叩）
石製品	黒曜石片、安山岩

S-151

須恵器	甕×壺、坏c、坏
土師器	坏a、坏、坏c
瓦類	破片（縄目叩）

S-152

須恵器	破片
土師器	甕、破片
瓦類	破片

S-153

須恵器	蓋1
土師器	坏、破片

S-154

須恵器	破片
土師器	甕

S-155（暗茶色土）

須恵器	坏c、坏、蓋3、甕、壺
土師器	坏c、甕、破片
瓦類	無文塼

S-155下層（灰茶色土）

須恵器	坏、坏c、蓋3、蓋
土師器	甕、坏

S-156

土師器	甕、坏？

S-157（御9SB225の一部）

土師器	高坏、甕
越州窯系青磁	椀；I

S-158

須恵器	破片
土師器	破片

S-159

須恵器	蓋1、甕
土師器	甕、破片

S-160

須恵器	蓋、小蓋a1

S-160黄色土

須恵器	破片
土師器	甕、破片
製塩土器	煎熬土器

S-160暗茶色土

製塩土器	煎熬土器

S-162

須恵器	破片
土師器	破片

S-163

須恵器	甕
土師器	破片

S-164

土師器	甕、破片
石製品	黒曜石片、滑石製品、用途不明品（滑石）

S-165赤褐色土

土師器	甕

S-165灰色砂

土師器	甕a、坏
製塩土器	煎熬土器

S-167

須恵器	甕
土師器	破片

S-168

須恵器	坏蓋、蓋1、蓋3、甕
土師器	甕
黒色土器A類	破片（黒色土器A類か？）
石製品	鏃（安山岩）

S-169

須恵器	坏、坏c、蓋3
土師器	甕、坏a、破片

S-170

須恵器	蓋1、蓋3、蓋b
土師器	甕、坏c、甕か？
製塩土器	煎熬土器
瓦類	軒平瓦（老司II式）、破片（縄目叩）
石製品	黒曜石片

S-171

須恵器	甕、蓋1、蓋3、皿、坏c
土師器	坏c、甕、破片

S-172

須恵器	皿か？、坏c、破片
土師器	皿×坏d（ミガキ有り）、破片
瓦類	破片（縄目叩）

S-173

須恵器	壺×甕、破片
土師器	破片

S-174

須恵器	甕
土師器	破片

S-175暗茶褐色土

土師器	甕？、破片

S-175暗赤褐色土

土師器	椀c？、甕

S-175赤褐色土

土師器	甕a
製塩土器	煎熬土器

S-175暗茶色土

土師器	甕

S-175カマド壁内

土師器	甕

S-176

土師器	破片

S-177

須恵器	坏
土師器	破片

S-178

須恵器	甕
土師器	甕

S-179

須恵器	坏c、蓋3、高坏
土師器	甕、坏

S-180茶褐色土

須恵器	坏、破片
土師器	椀c、高台片、破片、椀c2

S-180黄茶色土

須恵器	坏
土師器	甕、破片

S-181

須恵器	壺b、甕（土師質）
土師器	甕

S-182

土製品	焼土塊

S-183

土師器	甕

S-184

須恵器	蓋1、坏
土師器	甕

S-186

土師器	把手
石製品	鏃（黒曜石）

S-187

須恵器	蓋4、坏c
土師器	坏a、甕

S-188

須恵器	坏a、蓋c
土師器	甕a

S-189

土師器	破片
石製品	黒曜石片

S-191

須恵器	壺、甕
土師器	破片
越州窯系青磁	椀；I
龍泉窯系青磁	椀；破片（椀？）

S-192

土師器	破片

S-193

須恵器	甕、壺
土師器	破片

S-194

須恵器	坏、皿a
土師器	坏c、甕、蓋、大皿c×大椀c、高坏、皿c
瓦類	軒平瓦、軒丸瓦

S-196

土師器	破片

S-197

須恵器	甕
土師器	甕

S-198

須恵器	蓋3
土師器	甕

S-199

土師器	破片

S-200（S-200上層）

須恵器	高坏、坏蓋、坏、壺？、蓋1、壺×鉢
土師器	坏、甕、甕a
石製品	黒曜石片

S-201

須恵器	壺、甕、蓋3
土師器	坏、甕
瓦類	破片

S-202

須恵器	破片
土師器	甕、坏、破片
黒色土器A類	破片（黒A？）
瓦類	破片

S-203（御9SB215の一部）

須恵器	壺、坏
土師器	坏×皿

S-204

須恵器	蓋（古墳時代）、蓋3
土師器	甕、破片

S-206

須恵器	破片
土師器	坏a、甕（煎熬土器か）
石製品	砥石

S-207

須恵器	甕
土師器	甕、坏
石製品	黒曜石片

S-208

須恵器	甕、蓋3
土師器	甕、坏a
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-209（御9SB215の一部）

須恵器	坏
土師器	椀c1、坏a、坏c
黒色土器A類	破片
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-211

須恵器	坏a、甕×壺、蓋3
土師器	甕、坏d
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-212

土師器	坏a、坏c、甕

S-213

土師器	坏a、坏c、甕

S-214

土師器	坏a、甕

S-216

須恵器	坏c
土師器	甕

S-217

須恵器	坏c、甕

S-218

土師器	坏、甕
瓦類	平瓦（縄目叩）、丸瓦

S-219

土師器	甕a
黒色土器A類	破片

S-221淡橙色土（御9SA255の一部）

土師器	甕、坏

S-221淡茶色土（御9SA255の一部）

土師器	破片

S-222

製塩土器	破片

S-223

須恵器	蓋
土師器	破片

S-224

須恵器	甕
土師器	甕

S-226

土師器	坏a

S-227

須恵器	坏
土師器	坏、甕a

S-228

須恵器	甕
土師器	甕（7c頃）

S-229

須恵器	甕、壺a×鉢a
土師器	甕

S-230灰茶色土上層

須　恵　器	壺、蓋3、坏c
土　師　器	甕、坏

S-230灰茶色土

須　恵　器	蓋c3（転用硯有り）、蓋3、坏a、坏c、壺b、甕、高坏 蓋a、蓋2
土　師　器	甕、皿a、小壺×高坏（須恵器か？）、把手 坏（丹塗有り）
石　製　品	黒曜石片

S-230暗茶色土

須　恵　器	甕、蓋3
土　師　器	甕、破片

S-230茶褐色土

須　恵　器	坏c、破片，蓋3
土　師　器	甕
瓦　　　類	平瓦（縄目叩）、破片

S-230e茶褐色土

須　恵　器	蓋3、甕、坏、小蓋3
土　師　器	甕（煎熬土器か？）、甕a、坏a

S-230黄色土

土　師　器	甕

S-230明茶色土

須　恵　器	坏c、壺、甕、蓋c、蓋3、坏
土　師　器	小甕a、甕a、甕b、甕
製 塩 土 器	煎熬土器
土　製　品	不明土製品
石　製　品	黒曜石片

S-230灰褐色土

須　恵　器	蓋c、蓋3、坏、坏c。小坏c、高坏
土　師　器	甕a、脚、蓋？、蓋3、甕
土　製　品	用途不明品

S-230茶灰色土

須　恵　器	坏c、蓋c、蓋1、甕、壺、小蓋3、壺蓋か？、破片 壺b
土　師　器	甕、高坏、坏c、坏、甕a
黒色土器A類	破片？（黒色土器Aなら混入）
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-230茶灰色土以降・北半分

須　恵　器	高坏、蓋3、甕か？
土　師　器	甕a
製 塩 土 器	煎熬土器

S-230淡茶色土

須　恵　器	蓋1、蓋3、坏蓋、坏、壺、坏c、小蓋1、蓋c
土　師　器	坏×皿c（ミガキ有り）、甕、坏（手持ち）、甕a 把手付甕、手ずくね鉢、坏c、蓋3
瓦　　　類	破片、丸瓦（擦り消し）

S-230淡茶色砂

須　恵　器	蓋3
土　師　器	破片（ミガキa有り）

S-230茶黄色土

須　恵　器	坏c、蓋
土　師　器	甕、皿か？（内面回転ヘラミガキ）
製 塩 土 器	煎熬土器か？

S-230灰色砂

須　恵　器	破片

S-231

須　恵　器	甕
土　師　器	甕

S-231黄色土

土　師　器	破片
黒色土器A類	破片

S-231茶灰色土

土　師　器	甕

S-232

土　師　器	甕、破片

S-233

須　恵　器	破片
土　師　器	甕

S-234

須　恵　器	破片
土　師　器	破片、甕、坏c、甕a
石　製　品	黒曜石片

S-235

須　恵　器	蓋3、甕、坏、蓋1、蓋c3
土　師　器	甕a、破片（ミガキ有り）

S-236

須　恵　器	坏、破片
土　師　器	坏

S-237

土　師　器	蓋3、甕
石　製　品	黒曜石片

S-238

土　師　器	破片

S-239

須　恵　器	甕、坏c、坏
土　師　器	坏c
瓦　　　類	丸瓦

S-240

土　師　器	甕

S-241

須恵器	甕、壺
土師器	坏、甕、坏a
黒色土器A類	坏a、椀c
製塩土器	煎熬土器
瓦類	平瓦（擦り消し）

S-242

須恵器	皿a、蓋1、坏c
土師器	甕、坏

S-243

須恵器	甕、蓋c3、蓋3
土師器	甕、破片

S-244

須恵器	坏蓋？、坏、蓋3
土師器	坏c、坏
瓦類	破片（縄目叩）

S-246

須恵器	蓋3、甕、坏
土師器	坏c、坏a
瓦類	丸瓦

S-247

須恵器	甕、坏
土師器	坏a

S-248

須恵器	坏、蓋c3
土師器	坏

S-249

須恵器	破片
土師器	甕a、坏d、坏c、甕

S-250

須恵器	蓋c、坏a
土師器	甕、坏

S-251

須恵器	坏
土師器	甕、坏？
黒色土器A類	椀c

S-252（御9SB215の一部）

須恵器	坏
土師器	破片
瓦類	破片（縄目叩）

S-253

土師器	坏c、坏
黒色土器A類	破片
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-254（御9SB215の一部）

須恵器	坏蓋、坏a、坏
土師器	甕、坏
黒色土器A類	椀c

S-256

須恵器	壺
土師器	坏c、甕b、坏
黒色土器A類	椀？
瓦類	丸瓦

S-257

須恵器	甕
土師器	甕、坏

S-258

須恵器	蓋3、坏c
土師器	甕
瓦類	破片（縄目叩）

S-259

須恵器	蓋3
土師器	破片

S-261

須恵器	甕
土師器	甕、破片

S-262

須恵器	壺、甕か？、坏
土師器	甕
瓦類	破片（格子叩）

S-263

須恵器	甕
土師器	坏、甕

S-264

須恵器	甕
土師器	甕、坏
石製品	黒曜石片

S-266

須恵器	甕、坏c、坏、坏身
土師器	把手、甕、坏

S-267

須恵器	坏c、蓋1、坏、甕、甑？
土師器	甕、甕a
瓦類	破片（縄目叩）、丸瓦（王縁）

S-268

須恵器	甕、壺、坏c
土師器	坏、甕

S-269

土　師　器	坏、破片
黒色土器A類	椀c

S-271（御9SB215の一部）

須　恵　器	坏、蓋3、坏c、甕
土　師　器	甕、甕a、坏

S-272

須　恵　器	坏c、高坏、破片
土　師　器	甕、破片

S-273

須　恵　器	破片

S-274（御9SB210の一部）

須　恵　器	坏c
土　師　器	甕

S-276

土　師　器	甕

S-277

須　恵　器	蓋3、坏a
土　師　器	甕

S-278

土　師　器	破片

S-279

土　師　器	坏、破片

S-281

須　恵　器	甕、坏c、蓋
土　師　器	甕

S-282

須　恵　器	坏、坏c、蓋
土　師　器	甕

S-283（御9SB210の一部）

須　恵　器	破片
土　師　器	甕

S-284

土　師　器	甕
製　塩　土　器	煎熬土器

S-286

土　師　器	破片

S-287

須　恵　器	甕、坏蓋
土　師　器	甕、破片

S-288

須　恵　器	皿a
土　師　器	甕

S-289

須　恵　器	蓋3、坏
土　師　器	甕
石　製　品	鏃（安山岩）、黒曜石片

S-291

須　恵　器	蓋、坏、坏a
石　製　品	黒曜石片

S-292

須　恵　器	蓋3、坏
土　師　器	甕a、坏
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-293

土　師　器	坏、甕a

S-294

須　恵　器	坏a

S-296

須　恵　器	甕、蓋3、壺b×高坏脚
土　師　器	甕a、坏
黒色土器A類	破片
石　製　品	黒曜石片、碁石

S-297

土　師　器	甕a

S-298

須　恵　器	坏×皿c、蓋3、坏、坏×皿a、甕
土　師　器	甕a
石　製　品	碁石

S-299

土　師　器	甕

S-300茶褐色土

須　恵　器	坏、蓋、坏身、蓋1
土　師　器	甕a、高坏、小甕a
製　塩　土　器	煎熬土器

S-301

須　恵　器	蓋、坏
土　師　器	甕

S-302

須　恵　器	坏
土　師　器	皿
瓦　　　類	破片

S-303

土　師　器	甕
瓦　　　類	破片

S-304

須　恵　器	蓋3

S-306

須恵器	坏e、坏a

S-307

須恵器	甕（平行叩）

S-308

須恵器	坏c、坏、蓋3
土師器	甕a
黒色土器A類	椀c

S-309

須恵器	蓋3
土師器	甕a

S-311

須恵器	甕、蓋1
土師器	皿b（赤色塗彩）

S-312

須恵器	坏×皿c、高坏、甕
土師器	甕a

S-313

須恵器	蓋3、甕
土師器	坏c？、甕
石製品	黒曜石片

S-314

須恵器	坏c、蓋1、甕
土師器	坏c、坏a、甕
黒色土器A類	椀c
越州窯系青磁	椀；破片（I類）
瓦類	破片（縄目叩）、丸瓦

S-316

須恵器	坏c、甕
土師器	坏、甕
製塩土器	煎熬土器
瓦類	破片（縄目叩）
石製品	黒曜石片

S-317

須恵器	坏、壺
土師器	坏a、甕a

S-318

土師器	坏a（VII）

S-319

須恵器	蓋3、蓋c、高坏、甕
土師器	皿b、甕a
越州窯系青磁	壺；破片（I類。壺×水注）

S-320a

石製品	黒曜石片

S-320b掘方

土師器	破片

S-320e灰茶色土

土師器	甕

S-320f橙赤色土

土師器	甕a

S-320h橙赤色土

須恵器	甕
土師器	甕

S-321

須恵器	坏、坏c
土師器	甕a

S-322

須恵器	坏、甕
土師器	甕a、小甕

S-323

須恵器	坏、蓋c、蓋3、甕、把手付壺
土師器	坏、甕a

S-324

須恵器	甕
土師器	坏a、坏c、皿a

S-326

須恵器	蓋、蓋c
土師器	破片

S-327

須恵器	蓋1
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-328

須恵器	坏a、小坏c、蓋c
土師器	坏、甕a
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-329

須恵器	坏c、蓋3、高坏、壺、甕
土師器	坏a
瓦類	丸瓦
石製品	破片（滑石）

S-331

須恵器	破片、甕
土師器	坏、甕
瓦類	平瓦（格子叩）

S-332

須恵器	坏
土師器	甕a

S-333

須恵器	蓋1

S-334

土師器	坏、甕

S-336

須恵器	坏c、蓋1
土師器	坏c、甕a

S-337

須恵器	坏、蓋c、甕
土師器	甕

S-338

土師器	甕

S-339

須恵器	坏
土師器	甕

S-341

須恵器	坏c、蓋c（転用硯）、蓋c
土師器	坏c
製塩土器	煎熬土器

S-342

須恵器	坏c
土師器	坏、甕a
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-343

須恵器	坏c

S-344

須恵器	坏、甕
土師器	甕a

S-346

須恵器	坏a
土師器	破片

S-347

須恵器	蓋1
土師器	甕a
瓦類	破片

S-348

須恵器	小坏a1、高坏、甕、蓋c1、蓋1、小蓋a1
土師器	皿b、甕
石製品	黒曜石片

S-349

須恵器	坏c、小坏c、蓋3、壺か？
土師器	甕

S-351

須恵器	坏a、坏c、蓋3、蓋c3、高坏、大坏c
土師器	甕a、甕
土製品	焼土塊
瓦類	破片（縄目叩）

S-352

須恵器	坏、蓋
土師器	甕
製塩土器	煎熬土器
瓦類	破片（格子叩）

S-353

土師器	甕
製塩土器	煎熬土器

S-354

土師器	破片
製塩土器	煎熬土器

S-356

石製品	黒曜石片

S-357

須恵器	坏、蓋3、皿、甕
土師器	甕

S-358（御9SA245の一部）

須恵器	破片
土師器	蓋3、甕
製塩土器	煎熬土器

S-359

須恵器	蓋
土師器	破片

S-359黒茶色土

須恵器	蓋、甕

S-361

須恵器	坏c、甕
土師器	坏a、甕
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-362

須恵器	甕、壺
土師器	坏a？、甕
瓦類	平瓦（格子叩・縄目叩？）

S-363

須恵器	甕
土師器	坏、甕
龍泉窯系青磁	椀；破片
同安窯系青磁	皿；I-1

S-364

須　恵　器	坏c
土　師　器	坏、甕
瓦　　　類	破片

S-366

須　恵　器	壺
土　師　器	破片

S-367

土　師　器	甕、破片

S-368

須　恵　器	破片
土　師　器	坏c、蓋3

S-369

土　師　器	破片
製 塩 土 器	煎熬土器

S-371

須　恵　器	坏c、甕
土　師　器	甕
瓦　　　類	平瓦（縄目叩）

S-372

須　恵　器	甕
土　師　器	破片
瓦　　　類	平瓦（擦り消し）、破片

S-373

須　恵　器	壺a（短頸壺）、破片
土　師　器	甕、破片

S-374

土　師　器	破片

S-376

土　師　器	坏（ミガキあり）、甕

S-377

土　師　器	甕、破片

S-378

土　師　器	甕、破片

S-379

須　恵　器	甕
土　師　器	甕、破片
石　製　品	黒曜石片

S-381

土　師　器	甕、破片

S-382

須　恵　器	蓋a3
土　師　器	甕

S-383

須　恵　器	破片
土　師　器	蓋3×4、甕
瓦　　　類	平瓦（縄目叩）

S-384

須　恵　器	蓋1、蓋3
土　師　器	甕、破片

S-386

須　恵　器	蓋、壺
土　師　器	甕、破片
土　製　品	カマド

S-387

土　師　器	甕、破片

S-388

須　恵　器	坏c、甕
土　師　器	甕、破片
製 塩 土 器	煎熬土器
石　製　品	黒曜石片（姫島）

S-389

須　恵　器	坏、坏a、高坏か？
土　師　器	甕、破片
製 塩 土 器	煎熬土器

S-391

土　師　器	甕a
瓦　　　類	平瓦（擦り消し）

S-392

須　恵　器	坏c、蓋、壺b（長頸壺）、小壺蓋
土　師　器	甕、破片

S-393

須　恵　器	蓋、蓋3
土　師　器	坏

S-394

須　恵　器	坏、坏c、蓋、蓋3、坏蓋か？
土　師　器	坏、大坏c、甕

S-396

須　恵　器	坏、蓋3、甕
土　師　器	坏、甕
瓦　　　類	丸瓦（玉縁）

S-397

須　恵　器	坏、蓋
土　師　器	蓋3、甕
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-398

須　恵　器	坏c
土　師　器	甕

S-399

土師器	破片

S-401（御9SA245の一部）

須恵器	坏c、蓋、蓋3、壺b
土師器	甕、破片
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-402

須恵器	坏、破片
土師器	甕、破片

S-403

土師器	甕

S-404

須恵器	坏c、坏身
土師器	破片

S-406

須恵器	蓋c、小壺、破片
土師器	坏、坏d、甕

S-407

須恵器	蓋1

S-408

須恵器	蓋1
土師器	甕、破片

S-409

須恵器	蓋
土師器	甕

S-411

須恵器	蓋1、甕
土師器	甕、破片

S-412

須恵器	坏、坏c
土師器	甕

S-413

須恵器	坏、蓋1、蓋3、蓋2？、蓋1（土師質）
土師器	甕

S-414

須恵器	坏、壺
土師器	甕

S-416

須恵器	蓋3
土師器	甕

S-417

須恵器	皿、甕
土師器	蓋c、甕、甕a

S-418

須恵器	坏蓋、甕
土師器	皿b、甕

S-419

土師器	甕

S-421

須恵器	蓋3
土師器	坏a、蓋3、甕

S-423

須恵器	甕
土師器	蓋3、甕

S-424

須恵器	坏、蓋
土師器	甕

S-426

須恵器	破片
土師器	破片
土製品	焼土塊

S-427

須恵器	坏
土師器	甕

S-428

須恵器	坏a、蓋、蓋1
土師器	甕、把手

S-429

須恵器	破片
土師器	坏、甕

S-431

土師器	破片

S-432

須恵器	坏？
土師器	甕、破片

S-433

須恵器	蓋、蓋3、甕
土師器	甕
製塩土器	煎熬土器

S-434

須恵器	壺b（長頸壺口縁か？）
石製品	砥石

S-436

土師器	甕

S-438

須恵器	破片
土師器	甕

S-439

土師器	破片

S-441

須恵器	坏a、甕、壺
土師器	皿b、甕、坏

S-442

須恵器	蓋c、皿？
土師器	坏d、甕、甕a

S-443

土師器	甕
石製品	黒曜石片（使用痕あり）

S-444

土師器	甕

S-446

須恵器	坏c

S-447

須恵器	破片
土師器	坏、破片

S-448

須恵器	破片
土師器	甕、破片

S-449

土師器	把手付壺a×甕

S-451（御9SB205の一部）

須恵器	坏c、蓋3
土師器	破片
黒色土器A類	破片

S-452

須恵器	坏
土師器	甕a

S-453

須恵器	坏、坏a、甕、壺
土師器	坏、甕
瓦類	破片（縄目叩）

S-454

須恵器	坏a
土師器	甕a
瓦類	破片

S-457

須恵器	坏c×壺
土師器	破片
製塩土器	煎熬土器

S-458

土師器	破片

S-459

須恵器	坏、蓋3、小甕
土師器	蓋3、甕a
製塩土器	煎熬土器
瓦類	破片（縄目叩）
石製品	黒曜石片

S-461

須恵器	坏c
土師器	坏、甕

S-462

須恵器	甕
土師器	甕a
石製品	鏃（黒曜石）

S-463（御10SB205の一部）

須恵器	蓋3、甕
土師器	坏c（赤色塗彩）、甕a

S-464（御10SB205の一部）

須恵器	甕、坏c
土師器	甕a

S-466（御10SB205の一部）

須恵器	坏、甕
土師器	甕a
製塩土器	煎熬土器

S-467

須恵器	坏、蓋1、蓋1（土師質）

S-468

土師器	破片

S-469

石製品	安山岩片

S-471

須恵器	小甕
土師器	蓋か？

S-472

土師器	甕a

S-474

土師器	壺？（底部のみ）

S-476

土師器	蓋3、甕、坏×皿（内面赤色塗彩）

S-477

須恵器	破片
土師器	甕a

S-478

須恵器	坏、甕、小壺
土師器	坏c、坏a、甕a
石製品	鏃（黒曜石）

S-479

土　師　器	坏、甕

S-481茶黄色土（御9SB205の一部）

土　師　器	坏a、甕a、破片

S-482茶黄色土

土　師　器	甕a

S-483茶黄色土

土　師　器	甕a
製 塩 土 器	煎熬土器

S-484

須　恵　器	破片
土　師　器	坏、甕a

S-486（御9SB205の一部）

須　恵　器	蓋1
土　師　器	坏、甕a

S-487

須　恵　器	蓋
土　師　器	蓋4、甕a、鉢

S-488

土　師　器	甕a

S-489

須　恵　器	坏
土　師　器	坏、甕
製 塩 土 器	煎熬土器

S-491

須　恵　器	坏c、蓋3
土　師　器	坏
緑 釉 陶 器	破片（防長）

S-492

須　恵　器	蓋、蓋1
土　師　器	甕

S-493

土　師　器	皿b（赤色塗彩）、甕

S-494

土　師　器	皿b（赤色塗彩）、甕

S-496

須　恵　器	小壺、甕
土　師　器	甕a

S-497

須　恵　器	坏c
土　師　器	甕

S-498

土　師　器	甕、破片

S-501

須　恵　器	坏、蓋3、甕
土　師　器	坏、甕a
黒色土器A類	破片
瓦　　　類	平瓦（縄目叩）

S-502

須　恵　器	蓋1、蓋3、甕
土　師　器	甕
黒色土器A類	破片

S-503

石　製　品	叩石

S-504

土　師　器	甕a

S-506

須　恵　器	蓋
土　師　器	坏、甕a
石　製　品	黒曜石片

S-507

須　恵　器	蓋3、破片
土　師　器	甕、甕a、高坏
土　製　品	焼土塊
瓦　　　類	破片

S-508

須　恵　器	蓋1、甕、壺
土　師　器	甕

S-509

須　恵　器	皿、甕
土　師　器	坏×皿、甕a

S-511

須　恵　器	坏、蓋、甕
土　師　器	甕a

S-512

土　師　器	坏、坏×皿a、甕b（煎熬土器か）

S-513

須　恵　器	坏、甕
土　師　器	坏a
瓦　　　類	丸瓦

S-514

土　師　器	坏（赤色塗彩）

S-516

須　恵　器	坏身、蓋
土　師　器	甕a

S-518

須　恵　器	壺
土　師　器	甕、盤か？

S-519

土師器	坏c？、甕a

S-520

須恵器	坏c
土師器	甕

S-521

須恵器	蓋1
土師器	坏、甕

S-522

須恵器	坏c、蓋3、甕
土師器	坏、甕a
黒色土器A類	破片
製塩土器	煎熬土器
石製品	安山岩片

S-523

土師器	坏c、甕

S-524

須恵器	破片
土師器	坏
黒色土器A類	坏c
黒色土器B類	椀

S-526

須恵器	甕
土師器	坏、甕a

S-527

須恵器	破片
土師器	坏a、甕

S-528

須恵器	蓋3、蓋c、甕、壺
土師器	坏a、蓋c、甕
石製品	安山岩片

S-529

須恵器	坏、蓋c、蓋3、壺
土師器	坏d、坏、蓋3、甕a

S-531

須恵器	甕
土師器	甕
石製品	黒曜石片

S-532

須恵器	坏c、蓋3、蓋c
土師器	坏、甕

S-533（御10SB205の一部）

須恵器	蓋3、甕
土師器	甕、カマド

S-534

須恵器	甕
土師器	坏、甕a
石製品	黒曜石片

S-536

須恵器	坏a、甕
土師器	坏c、甕a

S-537

石製品	石匙

S-538

須恵器	坏、蓋3、甕
土師器	甕
製塩土器	破片
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-539

須恵器	坏c、蓋1、皿a、壺
土師器	坏d？、甕a
黒色土器A類	椀c

S-541

須恵器	坏
土師器	甕

S-542

土師器	甕

S-543

須恵器	甕
土師器	甕a

S-544（御9SB215の一部）

須恵器	破片
土師器	破片

S-546

須恵器	坏c
土師器	坏（煤付着）、甕a
黒色土器A類	破片

S-547

須恵器	壺

S-550（埋土）

須恵器	破片、坏、坏身
土師器	坏×皿c、甕a
石製品	砥石（砂岩）、黒曜石片

S-550茶褐色土（埋土）

須恵器	坏、蓋3、壺
土師器	皿b、甕a
石製品	鏃（安山岩）

S-550カマド東横（埋土）

土師器	甕a、甕

S-550カマド西横（埋土）

土師器	甕a、壺×甕

S-550橙色土

土師器	甕a

S-550暗赤色土

須恵器	蓋3
土師器	坏、甕a

S-550カマド本体

土師器	甕a

S-551

須恵器	坏
土師器	甕a

S-552

須恵器	蓋3、甕
土師器	皿a
製塩土器	煎熬土器

S-553

須恵器	坏×皿a
土師器	坏×皿a、甕
縄文土器	深鉢
瓦類	破片

S-554

須恵器	甕
土師器	破片

S-556

須恵器	坏
製塩土器	煎熬土器
瓦類	破片

S-557

須恵器	坏c
土師器	坏、甕

S-558

須恵器	坏
土師器	甕
製塩土器	煎熬土器

S-559

須恵器	破片
土師器	破片
石製品	黒曜石片

S-560

土師器	甕a

S-561

須恵器	坏c、蓋c、甕
土師器	坏a、蓋c、皿b、甕a
瓦類	破片

S-562（御9SA245の一部）

須恵器	坏、蓋
土師器	甕

S-563

須恵器	坏蓋、蓋3
土師器	坏c、坏d、甕a

S-564

須恵器	蓋3
土師器	甕a、把手
瓦類	破片

S-565

須恵器	坏c、蓋1、蓋3
土師器	蓋3
瓦類	破片（縄目叩）

S-567

須恵器	坏、坏c
土師器	甕a

S-568

須恵器	坏、蓋3、甕
土師器	坏、甕、高坏

S-569

須恵器	坏
土師器	破片
土製品	焼土塊

S-571

須恵器	蓋c、甕
土師器	坏c、坏d、甕a
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-572

瓦類	破片

S-573

須恵器	坏身、坏c、甕
土師器	甕

S-574

須恵器	坏片
土師器	甕、破片、提瓶
長沙窯系青磁	椀片

S-576

須恵器	甕
土師器	坏a
黒色土器A類	椀c

S-577

須恵器	坏c、坏（内面煤あり）
土師器	甕a

S-578

土師器	坏、甕

S-579

須恵器	坏c、蓋1、蓋3、壺
土師器	甕a、小甕（精製）
石製品	黒曜石片

S-581

須恵器	甕
土師器	坏a
製塩土器	煎熬土器

S-582

須恵器	蓋3
土師器	甕

S-583

土師器	破片

S-584

須恵器	破片
土師器	破片

S-586

須恵器	坏c
土師器	坏a、坏c、甕
石製品	黒曜石片

S-587

須恵器	蓋c3、蓋b、壺
土師器	坏、甕a
瓦類	破片
石製品	黒曜石片

S-588

須恵器	坏
土師器	破片

S-589

須恵器	甕

S-591

須恵器	坏a、坏c、蓋3、甕
土師器	坏、甕a

S-592

須恵器	坏、蓋3、皿a
土師器	坏、甕

S-593

須恵器	壺蓋
土師器	甕

S-594

須恵器	坏a
土師器	甕a

S-596

須恵器	破片
土師器	坏、甕

S-597

須恵器	蓋3
土師器	大甕a
瓦類	破片（縄目叩）

S-598

須恵器	破片
土師器	坏c、甕

S-599

須恵器	蓋1、破片
土師器	甕a

S-600茶灰色土

須恵器	坏a、坏身、小坏a、坏蓋、盞、大皿a、高坏、壺、甕 蓋1、坏c
土師器	皿b、高坏、甕a、小甕（精製）、把手、甕
製塩土器	煎熬土器
縄文土器	縄文土器か？、深鉢
瓦類	破片、丸瓦
石製品	黒曜石片
金属製品	刀子（鉄）

S-600淡灰色土

須恵器	坏a
土師器	甕a

S-600淡灰色シルト

土師器	甕a

S-601

須恵器	蓋3、破片
土師器	坏d、甕a
製塩土器	煎熬土器

S-602

土師器	甕

S-603

土師器	甕a

S-604（御9SA245の一部）

須恵器	甕
土師器	甕a

S-606（御9SA245の一部）

須恵器	破片
土師器	破片

S-607

須恵器	坏c、蓋c、甕
土師器	甕
製塩土器	煎熬土器か？
石製品	碁石

S-608

須恵器	坏、坏c、蓋3、皿a
土師器	坏、坏d、甕a
製塩土器	煎熬土器、片
土製品	カマド
瓦類	破片（縄目叩）

S-609

須恵器	破片
土師器	破片

S-611

須恵器	坏c、蓋3、甕（窯着資料）
土師器	坏a、甕a
黒色土器A類	椀c、椀c1
製塩土器	煎熬土器

S-612

須恵器	破片
土師器	破片

S-613

須恵器	破片
土師器	破片

S-614（御9SB210の一部）

須恵器	蓋3、甕
土師器	甕a
製塩土器	破片

S-616

土師器	坏c、大坏c

S-617

須恵器	甕
土師器	甕a

S-618

土師器	甕a

S-621

須恵器	蓋1
土師器	破片

S-622

須恵器	蓋（ヘラ記号）、甕
土師器	坏c、坏d、蓋3、甕a
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-623

須恵器	坏
土師器	甕a
製塩土器	煎熬土器

S-701

須恵器	破片

S-702

須恵器	坏c
土師器	甕

S-703

石製品	黒曜石片

S-704

須恵器	甕、蓋1
土師器	皿、甕a
瓦類	破片

S-705茶色土

須恵器	甕
土師器	坏、蓋1、甕
製塩土器	煎熬土器

S-705茶褐色土

須恵器	甕
土師器	甕a
製塩土器	煎熬土器
石製品	紡錘車（滑石）

S-706

須恵器	蓋1
土師器	破片

S-707

須恵器	小坏a
土師器	破片

S-708

土師器	破片

S-709

須恵器	蓋、甕
土師器	甕a

S-710

須恵器	坏か？、甕
土師器	坏（混入）、皿b、甕a
製塩土器	煎熬土器
石製品	碁石？、管玉、黒曜石片
金属製品	鉄釘か?

S-712

須恵器	小蓋、坏
土師器	甕a、鉢、破片（赤色塗彩）、坏d（混入？）
製塩土器	煎熬土器

S-713

須恵器	甕、破片
土師器	甕a、鉢
製塩土器	煎熬土器

S-714

須恵器	蓋1、甕、壺
土師器	甕a、破片

S-715赤色土

須恵器	蓋
土師器	甕、破片、甕a

S-716

須恵器	坏、壺
土師器	破片

S-717

須恵器	甕
土師器	破片
石製品	安山岩片

S-718

須恵器	堤瓶か？

S-719

土師器	破片
弥生土器	破片（中期）

S-720

土師器	高坏

S-721

須恵器	破片
土師器	破片

表土

須恵器	蓋a1、蓋1、蓋3、蓋c3、壺蓋、壺、甕a、甕、坏c、坏 高坏、鉢、小蓋a1、鉢か？
土師器	蓋a4、坏c、坏c1、把手、甕、皿a
黒色土器A類	椀c2
龍泉窯系青磁	椀；破片（I-2×I-3）
瓦類	丸瓦（格子叩、縄目叩）、軒平瓦（鴻臚館式） 軒平瓦

撹乱

須恵器	鉢b、蓋3、蓋c、坏c、甕
土師器	坏、坏d、椀c、甕（煤付着）
緑釉陶器	坏×皿片（防長？）
白磁	椀；破片（IV×V×VII×VIII）、壺×水注III系
瓦類	破片（縄目叩）

黄色土層

須恵器	蓋c、蓋1、蓋3、坏c、甕、破片
土師器	大坏c
瓦器	破片（近世～）
瓦類	破片（縄目叩）

茶褐色土層

須恵器	甕、甕a、壺、坏c、蓋1
土師器	大坏c、蓋c、甕a、坏a
黒色土器A類	椀c
土製品	土錘
瓦類	破片（縄目叩）（格子叩）、丸瓦

茶色土層

須恵器	坏、坏a、坏c、坏d、坏蓋、蓋1、蓋3、高坏、長頸壺 破片、蓋c3、坏蓋×坏身、椀a、小壺×椀、壺e、壺 甕、甕（ミニチュア）、硯、風字硯
土師器	皿a（浅い）、皿b、皿bか？、盤c、把手、椀c、蓋3 小甕×鉢　大皿c、大皿a
黒色土器A類	椀c、破片
黒色土器B類	椀c
製塩土器	煎熬土器、破片
越州窯系青磁	椀；I、I-1a、I-2、I-3（小椀）、I-5、II-2b 坏；I-1
灰釉陶器	壺
白磁	椀；I
土製品	生産具か？、カマド、メンコ、紡錘車、焼土塊
瓦類	破片（縄目叩）、塼、平瓦、平瓦（格子叩）
石製品	鏃（黒曜石・安山岩）、滑石、紡錘車（滑石） 安山岩片、石匙（安山岩）、玉石（翡翠）、碁石
金属製品	鉄釘、刀子（鉄）、鍵（鉄）、用途不明鉄製品

茶灰色土層

須恵器	高坏、坏c、甕、蓋1、蓋1（土師質）、蓋a、蓋3 小坏c、椀c×坏c、蓋2
土師器	甕a、高坏、蓋1
瓦類	破片、丸瓦
石製品	安山岩片、碁石？、黒曜石片

暗茶色土層

須恵器	甕、坏、坏c、壺蓋、蓋c、蓋1、蓋3、壺、長頸壺 大蓋c1、蓋c3、大甕
土師器	甕、皿bか？、高坏、把手、甕a
弥生土器	甕（中期）
瓦類	瓦（縄目叩）
金属製品	刀子（鉄）

Z1

須恵器	蓋1、破片
土師器	高坏脚×壺口縁、破片
製塩土器	破片

Z2

須恵器	蓋1、蓋3、坏c、甕
土師器	坏c、甕
黒色土器A類	破片
越州窯系青磁	壺；破片（青磁褐彩×長沙窯系青磁）

Z3

須恵器	坏、坏c、蓋、蓋c3、蓋1、蓋3、甕、壺、壺蓋
土師器	甕、壺

Z4

石製品	黒曜石片

御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査　出土遺物一覧表（1）

S-1

須　恵　器	甕、坏c
土　師　器	破片
越州窯系青磁	椀；破片
肥前系陶磁器	破片

S-2

須　恵　器	甕、蓋3
瓦　　類	破片
石　製　品	黒曜石片

S-3

須　恵　器	蓋3、
土　師　器	甕a、椀c、坏a
黒色土器A類	破片
製　塩　土　器	煎熬土器
瓦　　類	破片（縄目叩）

S-4

土　師　器	坏a

S-5

金　属　製　品	鉄釘

S-5暗茶色土

須　恵　器	皿a、蓋1、高坏、坏a、坏c、蓋c、蓋3、蓋、甕、甕b 小坏c
土　師　器	甕a、坏×皿c、大椀c、椀c、坏c、皿a、把手、小把手
黒色土器A類	椀
黒色土器B類	椀c
製　塩　土　器	煎熬土器
越州窯系青磁	椀；I、I-2、II
長沙窯系青磁	把手
緑　釉　陶　器	椀c（洛北）、皿c（洛西）、坏c（近江） 破片（防長）
灰　釉　陶　器	壺
白　　磁	椀；片（白磁？）
瓦　　類	破片（縄目叩）、丸瓦（玉縁）（格子叩）
石　製　品	柱状片刃石斧、黒曜石片、砥石（砂岩）
金　属　製　品	鉱滓、刀子

S-5灰色砂

須　恵　器	大椀c、壺、甕a、高坏、蓋、蓋1、蓋4、蓋c、小壺
土　師　器	椀a、甕、鉢
黒色土器A類	破片
越州窯系青磁	椀；I片、I-2、I-5、II、
越州窯系青磁	壺；破片（越州窯系青磁×長沙窯系青磁） 破片（I類）
緑　釉　陶　器	破片（防長？）、破片（洛西）
灰　釉　陶　器	破片
土　製　品	カマド
瓦　　類	破片（格子叩）（縄目叩）、平瓦（格子叩）
金　属　製　品	鉄釘

S-5茶褐色土

須　恵　器	甕a、蓋3、高坏、坏c、壺、蓋1、蓋c、坏a
土　師　器	甕a、皿a、甑
製　塩　土　器	煎熬土器
土　製　品	カマド
瓦　　類	破片（縄目叩）
石　製　品	黒曜石片
金　属　製　品	用途不明鉄製品

S-5茶色砂

須　恵　器	甕、蓋3、坏
土　師　器	甕a、坏、坏d
製　塩　土　器	煎熬土器
石　製　品	黒曜石片

S-6

須　恵　器	破片
土　師　器	甕、坏a
製　塩　土　器	煎熬土器

S-7

須　恵　器	供膳具（坏×蓋×皿）、蓋1、蓋3、甕
土　師　器	甕
黒色土器A類	破片
製　塩　土　器	煎熬土器
土　製　品	カマド
金　属　製　品	鉄釘

S-8

土　師　器	甕a
製　塩　土　器	煎熬土器

S-9

須　恵　器	甕
瓦　　類	破片

S-10

須　恵　器	蓋1、蓋3、坏a、坏c、皿a、大蓋1、壺
土　師　器	甕a、椀c
土　製　品	カマド
瓦　　類	平瓦（縄目叩）、丸瓦、軒平瓦（老司II式）

S-11

須　恵　器	坏a
土　師　器	坏×皿a、甕

S-12

須　恵　器	蓋4、甕、坏c
土　師　器	椀c2、甕

S-13

須　恵　器	壺蓋1、蓋1、甕
土　師　器	大甕a
製　塩　土　器	煎熬土器

御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査　出土遺物一覧表（2）

S-14

須恵器	坏c、甕
土師器	甕a

S-15

須恵器	甕、坏蓋
土師器	甕a、甕b、甕
製塩土器	煎熬土器、焼塩壺
石製品	黒曜石片

S-16

須恵器	甕
土師器	甕a

S-17

須恵器	破片
土師器	甕、破片

S-18

須恵器	蓋3
土師器	破片

S-19

須恵器	坏c、高坏×壺
土師器	甕a
瓦類	破片（縄目叩）

S-20

須恵器	蓋3、坏、坏c、高坏、甕
土師器	把手、甕a
土製品	カマド、焼土塊
瓦類	平瓦
石製品	黒曜石片

S-21

須恵器	甕、蓋3
土師器	甕、坏×皿
瓦類	破片（縄目叩）

S-22

須恵器	坏×皿、壺
土師器	甕a
瓦類	破片（縄目叩）

S-23

須恵器	坏c、坏×皿
土師器	甕
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-24

須恵器	高台、壺
土師器	坏c
瓦類	平瓦（格子叩）

S-25

須恵器	椀、椀c、大甕、坏身、坏蓋、坏、壺、小壺
土師器	椀、甕a、皿bか？、把手、甑
製塩土器	煎熬土器
弥生土器	弥生土器？
石製品	黒曜石片

S-26

土師器	破片

S-27

須恵器	甕、坏
土師器	甕、坏a
瓦類	破片

S-28

土師器	坏a、甕

S-29

須恵器	破片
土師器	破片

S-30

須恵器	甕、蓋1、蓋3、坏c、壺
土師器	甕a、坏c×皿c
瓦類	平瓦（縄目叩）
石製品	黒曜石片、鏃（黒曜石）

S-31

須恵器	破片
土師器	破片

S-33

須恵器	坏c、坏×皿a、蓋3、甕
土師器	坏c、皿a、甕a
黒色土器B類	破片

S-34

須恵器	破片
土師器	破片

S-35茶褐色土

須恵器	甕、円面硯、壺、坏
土師器	椀c、甕a、坏×皿
黒色土器A類	椀c
瓦類	丸瓦（格子叩）、破片（縄目叩）

S-35炭層

須恵器	甕
土師器	カマド

S-36

須恵器	蓋3
土師器	破片
黒色土器A類	椀c2

S-37

須恵器	坏c、甕
土師器	小皿a（平安中～）
黒色土器A類	破片
土製品	瓦玉

S-38

須恵器	坏
土師器	甕a

S-39

須恵器	甕、椀、高台
土師器	坏a、甕a、高台
黒色土器B類	破片
瓦類	破片（縄目叩）

S-40

須恵器	高坏、大蓋3、蓋3、坏c、甕
土師器	蓋3（丹塗）、坏a、坏c、甕a
土製品	焼土塊
瓦類	破片（縄目叩）、平瓦（縄目叩）

S-40炭層

土師器	破片

S-41

須恵器	坏c、甕、大甕
土師器	破片

S-42

須恵器	甕、高台、蓋a
土師器	甕a、坏×皿

S-43

須恵器	坏a、甕
土師器	坏、甕a

S-44

須恵器	蓋？
土師器	坏（丹塗あり）

S-45

須恵器	破片
土師器	甕a

S-46

須恵器	蓋1
土師器	甕a
製塩土器	煎熬土器

S-47

須恵器	壺、坏×皿
土師器	甕（縄文かも？）、高台、坏
土製品	焼土塊
石製品	叩石

S-48

須恵器	小坏c、蓋3
土師器	甕a、坏×皿
石製品	碁石

S-49

須恵器	甕、坏×皿、坏c
土師器	甕a、坏
黒色土器B類	破片
瓦類	破片（縄目叩）

S-50暗茶色土

須恵器	蓋1、甕、坏、高坏、蓋c
土師器	甕a、坏d

S-50炭層

須恵器	坏c
土師器	甕a、坏dか？

S-50茶褐色土

須恵器	坏×皿
土師器	甕a
土製品	焼土塊

S-51

須恵器	蓋3
土師器	破片

S-52

須恵器	壺、甕（古墳）、鉢b、高坏、坏c、大皿
土師器	甕、坏×皿

S-53

須恵器	蓋3

S-54

須恵器	甕、　破片（S-54外から追加）
土師器	甕、　破片（S-54内・S-54外から追加）
製塩土器	煎熬土器

S-55

須恵器	鉢b×壺
土師器	破片
土製品	焼土塊

S-56

須恵器	壺、坏×皿、甕、蓋1、甕、坏×蓋
土師器	甕a、坏c
黒色土器A類	破片
瓦類	破片

S-57

須恵器	甕、蓋3、坏、蓋1、高台片
土師器	甕a
黒色土器A類	椀

S-58

須恵器	甕、坏
土師器	坏×皿、甕a、坏c
黒色土器A類	破片
瓦類	破片

S-59

須恵器	蓋3、坏c、甕
土師器	甕a、坏c
黒色土器A類	椀
土製品	焼土塊
瓦類	破片（縄目叩）

S-60

土師器	甕

S-60灰褐色土

須恵器	壺、甕
黒色土器A類	椀c
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-60灰色粘

須恵器	甕
土師器	坏
製塩土器	煎熬土器
瓦類	平瓦（縄目叩）（格子叩）、丸瓦（縄目叩）

S-61

須恵器	甕、蓋3
土師器	甕a
製塩土器	煎熬土器
土製品	焼土塊

S-62（御10SB205の一部）

須恵器	壺、甕、坏c
土師器	甕a、甑、皿a

S-63

須恵器	甕、蓋1
土師器	甕、坏a×皿a
黒色土器A類	椀
土製品	焼土塊

S-64

須恵器	甕
土師器	丸椀、坏c
瓦類	破片

S-65茶灰色土

須恵器	坏c、蓋3、坏a×皿a
土師器	破片、甕、甕a
緑釉陶器	片（防長産か）
瓦類	破片

S-65炭層

須恵器	坏
土師器	坏c、坏a×皿a、甕a
黒色土器B類	椀c
緑釉陶器	皿×椀（防長×京都）

S-66

須恵器	甕、坏cか？
土師器	高坏、高台、坏×皿、甕a
黒色土器B類	破片
瓦類	破片（格子叩）

S-67

須恵器	甕、蓋
土師器	甕a

S-68

須恵器	小坏c、甕a、坏a、蓋3
土師器	大皿×盤c、坏a、皿b
製塩土器	煎熬土器
瓦類	破片（縄目叩）

S-69

須恵器	坏蓋
土師器	破片、坏c、甕a
黒色土器A類	破片

S-70

須恵器	蓋c3、坏c

S-71

須恵器	坏身×坏蓋、壺bか？
土師器	破片
製塩土器	煎熬土器

S-72

須恵器	甕、蓋、坏蓋
土師器	坏a、甕a
瓦類	破片
石製品	黒曜石片

S-73

須恵器	蓋1、皿、坏、坏蓋
土師器	甕、甕a
製塩土器	煎熬土器
土製品	焼土塊

S-74

須恵器	甕
土師器	甕

S-75上層

須恵器	皿a、甕
土師器	坏a、甕a、坏c
黒色土器A類	破片
越州窯系青磁	鉢×（I類）
瓦類	平瓦（格子叩）（縄目叩）

S-75茶灰色土

土師器	小椀c2、小皿c、坏a、小皿a、小椀c、椀c
黒色土器A類	椀c
黒色土器B類	椀a
瓦類	破片（格子叩）（縄目叩）、平瓦、丸瓦

S-75炭層

須恵器	甕、壺（高台付・高台無し）
土師器	脚付椀、甕b、小皿a、椀c2、鉢、坏a、坏c、小坏a 甕、脚付鉢坏
黒色土器A類	椀c2、椀c
黒色土器B類	椀c2、椀、椀c
越州窯系青磁	椀；I-2（浅形椀×皿）
瓦類	破片（格子叩）（縄目叩）、丸瓦（格子叩）
石製品	砥石

S-75褐色土

須恵器	甕、坏c、蓋1
土師器	坏a、甕a、椀c
黒色土器A類	椀
黒色土器B類	破片
緑釉陶器	椀（近江）
瓦類	平瓦（格子叩）

S-75茶褐色土

須恵器	坏c
土師器	椀c2、鉢、坏a、坏c
黒色土器A類	破片
黒色土器B類	椀c、椀c2
越州窯系青磁	壺；破片（青磁褐彩×長沙窯系青磁）
緑釉陶器	壺？
灰釉陶器	壺？
瓦類	破片

S-75暗茶褐色土

黒色土器A類	椀

S-75瓦積み（2段目）

土師器	甕b、坏d
黒色土器A類	甕、椀c、小甕

S-76

須恵器	甕、蓋4
土師器	甕、椀
黒色土器A類	破片
木製品	炭化物

S-77

須恵器	蓋1、甕
土師器	坏c
黒色土器A類	椀c

S-78

須恵器	甕、坏蓋
土師器	椀c、甕、甕b、坏a×皿a
石製品	黒曜石片

S-79

須恵器	蓋3
土師器	坏c、甕b、甕a
黒色土器A類	高台、破片

S-80淡黄色土

須恵器	坏c、蓋3、甕、大皿a、坏a、大坏c、皿a、大蓋3、蓋c
土師器	蓋c、大皿×大椀c、甕a、坏c
製塩土器	焼塩壺I類
土製品	瓦玉
瓦類	破片

S-80茶黄色土

石製品	安山岩片

S-80暗茶色土

須恵器	大蓋c3、壺b、高台、甕、蓋3、坏c、皿、皿a、蓋c3
土師器	甕a、大甕、高坏、皿b、蓋3、坏c、大蓋3、甕、大皿a
製塩土器	焼塩壺I類
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-80明橙色土

須恵器	蓋3、坏aか？
土師器	甕a、小甕
土製品	焼土塊

S-80暗赤色土

須恵器	坏、甕
土師器	甕a
黒色土器A類	破片

S-80焼土層

須恵器	坏蓋、蓋3、皿a、坏a
土師器	甕a

S-81

須恵器	小蓋a1、甕、蓋1
土師器	甕
瓦類	平瓦

S-82

須恵器	小壺、甕、蓋3
土師器	坏a、甕a、坏c
瓦類	破片（縄目叩）

S-83

須恵器	壺、蓋3
土師器	椀、坏a
土製品	瓦玉
瓦類	破片

S-84

須恵器	蓋1、壺、甕
土師器	坏a、椀c、甕a

S-85

須恵器	甕a、坏c、蓋3、蓋c、蓋4
土師器	椀c、甕a、椀（7c代）
土製品	カマド

S-86

須恵器	甕
土師器	甕a、坏a、坏c

S-87

須恵器	蓋1
土師器	甕

S-88

須恵器	蓋、坏、甕
土師器	甕

S-89

須恵器	蓋1
土師器	坏a、甕a

S-90

須恵器	坏c、甕、壺、蓋1、蓋c、坏a
土師器	甕a、坏a（VII～VIII）、把手（甕b）
瓦類	平瓦（格子叩）（縄目叩）

S-91

石製品	鏃（安山岩）

S-92

須恵器	甕、蓋3、
土師器	甕、坏

S-93

須恵器	小蓋1、大甕、蓋3、蓋1
土師器	坏、椀×皿c、甕a
瓦類	破片

S-94

須恵器	甕、坏、蓋
土師器	椀c、甕a、坏a
瓦類	破片

S-95茶黄色土

須恵器	大甕、蓋1、坏
土師器	甕a

S-95茶黄色土上層

須恵器	甕、蓋1
土師器	甕

S-95茶黄色土下層

須恵器	大甕、高坏、壺、小蓋1、壺a蓋、蓋1
土師器	甕a

S-95カマド埋土

土師器	甕a

S-95カマド北横

須恵器	高坏a

S-95カマド内

土師器	甕

S-95カマド本体

土師器	甕a

S-95a

須恵器	壺、甕
土師器	破片、甕a
石製品	安山岩片

S-95b

須恵器	蓋1
土師器	甕
製塩土器	煎熬土器

S-95c

須恵器	蓋c
土師器	破片

S-95d

土師器	甕

S-96

須恵器	坏c、蓋3
土師器	甕

S-97

須恵器	坏c、甕
土師器	破片、甕

S-98

須恵器	蓋c、皿
土師器	甕a
瓦類	軒丸瓦

S-99

須恵器	甕、蓋4
土師器	甕a
黒色土器A類	破片
瓦類	破片（格子叩）

S-100黒茶色土

須恵器	坏c、甕、壺、蓋3、高坏、蓋1、坏身
土師器	坏a、坏c、甕a、椀c2、把手、小椀c、坏
黒色土器A類	椀c
黒色土器B類	椀c
越州窯系青磁	椀；I、I-2、I-2（輪花）、II 皿；I
長沙窯系青磁	水注×壺
須恵質土器	鉢（篠窯産）
緑釉陶器	坏片（近江）
陶器	蓋
瓦類	丸瓦（格子叩）、平瓦（縄目叩）（格子叩）
石製品	石鍋？、安山岩片、黒曜石片
金属製品	鉄釘、鏡片か?（銅製品）、用途不明鉄製品、鉄鏃

S-100黒茶色土下層

須恵器	蓋c、甕、大甕、坏c、坏a、坏×皿、蓋3、壺、高坏
土師器	坏a、坏c、甕、把手、甕a、椀c
黒色土器A類	破片（壺か？）、椀c、椀
黒色土器B類	椀c
製塩土器	煎熬土器
越州窯系青磁	椀；I、I-2、I-2a、I-2a（浅形椀）、I-2a、I-5、II メンコ状加工品（I類）、托（I類）
須恵質土器	篠か？
緑釉陶器	坏（洛西）、坏×小椀（洛西）
灰釉陶器	壺
土製品	生産道具？、カマド、用途不明土製品
瓦類	平瓦（縄目叩き・格子叩き）、丸瓦（縄目叩き・ 格子叩き）、軒丸瓦（鴻臚館）、軒丸瓦（老司式）
石製品	磨製石斧（結晶片岩系）、石鍋、安山岩片
金属製品	鉄釘、鉄塊

S-101

須恵器	甕
土師器	破片
瓦類	破片（縄目叩）

S-102

須恵器	甕
土師器	甕、蓋3

S-103

土師器	蓋3、坏
瓦類	平瓦？

S-104

須恵器	甕
土師器	甕
弥生土器	弥生土器

S-105茶黄色土上層

須恵器	坏×壺、坏、蓋、壺
土師器	甕
石製品	石匙か？（安山岩）、安山岩片（使用痕あり） 黒曜石片

S-105茶黄色土下層

須恵器	高坏
土師器	甕a、甕
石製品	安山岩片

S-105明橙色土

土師器	甕a

S-105暗赤色土

土師器	甕a

S-106

須恵器	坏×蓋、蓋1、甕
土師器	坏d、甕
黒色土器A類	椀
石製品	黒曜石片

S-107

須恵器	甕、壺、坏
土師器	甕

S-108

須恵器	甕、坏c、蓋3、蓋1
土師器	把手
瓦類	破片

S-109

須恵器	坏身
土師器	甕

S-110茶黄色土

須恵器	甕
土師器	甕a

S-110炭層

土師器	甕

S-110カマド本体

土師器	甕

S-110a

土師器	甕

S-111

須恵器	坏c
土師器	甕、坏

S-112

須恵器	破片
土師器	椀c、坏a

S-113

須恵器	壺、蓋1
土師器	皿b

S-114

須恵器	甕

S-115茶黄色土上層

須恵器	鉢、坏身、蓋1、坏c、大甕、壺
土師器	蓋3、甕

S-115茶黄色土

須恵器	大蓋1、坏c、小坏c、鉢、甕、蓋1
土師器	盤、甕a、甕b、椀c2、坏a
瓦類	破片、丸瓦

S-115茶黄色土下層

須恵器	坏、甕、蓋1、蓋c
土師器	甕a、坏c
黒色土器A類	破片
石製品	火山岩（basaltか？）

S-115a

土師器	甕a

S-115b

須恵器	破片
土師器	甕

S-115c

須恵器	破片、甕
土師器	甕

S-116

須恵器	蓋、坏c
土師器	甕a、坏a

S-117

須恵器	坏a、甕
土師器	破片、甕

S-118

土師器	破片

S-119

須恵器	大甕、坏、蓋1
土師器	甕a

S-121

須恵器	破片
土師器	甕a

S-122

須恵器	甕、蓋×皿、蓋、壺
土師器	甕a、坏、坏c
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-123

須恵器	蓋3、坏c、甕
土師器	甕a、坏×皿

S-124

須恵器	坏a、甕、坏c、蓋1
土師器	甕a、坏c

S-126

須恵器	蓋3、壺、甕
土師器	椀c、大椀c、坏a、坏×皿、高坏

S-127

須恵器	甕
土師器	把手、甕a
弥生土器	弥生土器（中期）

S-128

須恵器	壺
土師器	甕a、坏×皿a

S-129

須恵器	坏、蓋
土師器	甕a、坏a
黒色土器A類	破片

S-131

須恵器	坏c、甕、蓋c
土師器	甕a
瓦類	破片

S-132

須恵器	蓋c、蓋3、坏、甕
土師器	把手、甕a、椀c
瓦類	破片（縄目叩）

S-133

須恵器	甑、蓋1
土師器	甕a

S-134

須恵器	甕、蓋1
土師器	甕a

S-136

須恵器	蓋c、壺、坏c
土師器	甕a
瓦類	破片

S-137

須恵器	甕、蓋、蓋1、蓋3、坏×皿
土師器	甕a、坏

S-138

須恵器	甕、蓋3
土師器	甕a、坏×皿

S-139

須恵器	壺、大坏×大皿、小蓋3

S-141

須恵器	坏c
土師器	甕

S-142

須恵器	皿、坏
土師器	甕a、把手

S-143

須恵器	甕、坏
土師器	甕

S-144

須恵器	大甕、坏、蓋3×皿
土師器	甕
製塩土器	煎熬土器

S-146

須恵器	蓋1、甕か？
土師器	椀c、坏a

S-147

須恵器	甕、蓋3、坏
土師器	甕a、坏c

S-148

須恵器	甕、坏c、高坏、鉢
土師器	甕a

S-149

須恵器	坏c、蓋1、壺a
土師器	甕
瓦類	破片

S-150明茶色土

須恵器	壺、甕、坏身
土師器	甕a、甕
製塩土器	煎熬土器？
瓦類	破片
石製品	黒曜石片

S-150茶黄色土

須恵器	甕
土師器	甕a

S-150茶褐色土

須恵器	大甕、蓋3、椀a、坏、甕
土師器	甕a、椀a、甕、皿b
製塩土器	煎熬土器
石製品	鏃（黒曜石）、鏃（安山岩）、軽石

S-150赤橙色土

土師器	甕

S-150カマド本体（明黄色土）

土師器	甕

S-150b

須恵器	蓋1
土師器	甕a

S-150c

土師器	甕

S-150d

須恵器	大甕、坏
土師器	皿、甕

S-151

須恵器	坏
土師器	坏a、甕、坏×皿c

S-152

須恵器	甕、蓋
土師器	甕
黒色土器A類	椀
製塩土器	煎熬土器

S-153

須恵器	蓋3、甕
土師器	甕

S-154

須恵器	甕、坏
土師器	破片

S-156

土師器	甕、坏a

S-157

須恵器	甕
土師器	甕a、坏

S-158

須恵器	蓋c3、蓋3、坏c、甕
土師器	甕a、坏
瓦類	破片（縄目叩）

S-159

須恵器	壺
土師器	甕、坏
瓦類	破片（縄目叩）

S-161

須恵器	甕、坏
土師器	破片

S-162

須恵器	甕、坏
土師器	甕a
越州窯系青磁	椀；I

S-163

須恵器	甕、坏
土師器	甕、坏

S-164

須恵器	甕
土師器	甕a、坏

S-167

須恵器	甕、蓋3、坏
土師器	甕a、椀（丹塗）
黒色土器A類	破片
製塩土器	煎熬土器

S-168

須恵器	蓋1、坏、甕
土師器	坏c×皿a、甕
土製品	羽口か？

御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査　出土遺物一覧表（10）

S-169

須　恵　器	蓋3、甕、高坏
土　師　器	甕a、甕b、坏a、坏d
黒色土器A類	破片

S-171

須　恵　器	甕、坏c
土　師　器	甕、坏×皿
黒色土器A類	破片
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-172

須　恵　器	蓋、坏
土　師　器	甕、坏

S-173

須　恵　器	甕、蓋3
土　師　器	甕a
黒色土器A類	椀c
石　製　品	黒曜石片

S-174

須　恵　器	蓋c、蓋3
土　師　器	甕

S-176

須　恵　器	破片、坏
土　師　器	破片

S-177

須　恵　器	小壺、高坏、甕
土　師　器	甕a、破片
瓦　　　類	破片（格子叩）

S-178上層

須　恵　器	壺、甕
土　師　器	破片

S-178下層

土　師　器	椀c2、破片

S-179

須　恵　器	坏蓋×坏身、坏身、甕、蓋1
土　師　器	高坏、小甕a、椀か？、甕a

S-182

須　恵　器	小壺、蓋、坏
土　師　器	甕、破片
製　塩　土　器	煎熬土器
土　製　品	焼土塊

S-183

須　恵　器	坏蓋、坏身、壺、坏、蓋1
土　師　器	甕a
瓦　　　類	破片
土　製　品	カマド

S-184

須　恵　器	坏c、甕、坏
土　師　器	蓋4

S-186

須　恵　器	甕
土　師　器	椀c、甕a

S-187

須　恵　器	破片、坏蓋
土　師　器	甕a、破片
製　塩　土　器	煎熬土器か？

S-188

須　恵　器	蓋3、坏、坏×皿b
土　師　器	甕

S-189

須　恵　器	破片
土　師　器	破片、甕a、甕b

S-191

須　恵　器	蓋3、破片
土　師　器	破片
土　製　品	焼土塊
瓦　　　類	破片

S-192

須　恵　器	坏身、蓋1、壺
土　師　器	甕a

S-193

須　恵　器	甕
土　師　器	破片

S-194

須　恵　器	蓋3、破片、壺
土　師　器	坏か？

S-196

土　師　器	破片
石　製　品	黒曜石片、鏃（安山岩）

S-197

土　師　器	甕a
製　塩　土　器	煎熬土器

S-199

瓦　　　類	破片
石　製　品	緑色石

S-200茶黄色土上層

須　恵　器	甕、坏身、蓋1、壺
土　師　器	破片
製　塩　土　器	煎熬土器か？
石　製　品	黒曜石片（姫島か？）、鏃（黒曜石）

S-200茶黄色土下層

須恵器	壺
土師器	甕a、破片

S-200a

須恵器	坏、坏蓋、蓋1、甕
土師器	坏×皿、破片、甕
土製品	焼土塊

S-200b

須恵器	破片、坏、甕
土師器	甕a

S-201

須恵器	蓋
土師器	甕a、坏
石製品	黒曜石片

S-202（御10SB205の一部）

須恵器	蓋c3、甕
土師器	甕a

S-203

須恵器	破片
土師器	破片、甕
石製品	黒曜石片

S-204

須恵器	甕、鉢か？
土師器	坏、暗文土器

S-206

須恵器	蓋1、坏、甕
土師器	甕a、坏×皿

S-207

須恵器	坏蓋、坏身、甕、蓋1
土師器	甕a

S-208

須恵器	破片
土師器	甕a、破片

S-209

須恵器	高坏、小坏c、坏
土師器	破片

S-211

須恵器	蓋3、坏c
土師器	甕a、破片

S-212（御10SB215の一部）

須恵器	甕、蓋3
土師器	椀c2、甕a、坏×皿、坏a

S-213

須恵器	坏c、甕、蓋3、蓋1、坏×皿a、小壺
土師器	坏d
黒色土器A類	破片
瓦類	平瓦（縄目叩）
石製品	黒曜石片

S-214

土師器	甕a、破片

S-216

須恵器	坏蓋、坏、蓋1
土師器	甕a、破片
石製品	安山岩片

S-217

須恵器	蓋3、蓋
土師器	蓋c、甕a、坏、皿、
瓦類	破片（縄目叩き？）

S-218

須恵器	蓋×坏、破片
土師器	破片
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-219

須恵器	甕、蓋1、蓋3、坏c
土師器	把手、甕a
製塩土器	煎熬土器

S-221

須恵器	坏c、壺、甕
土師器	甕a、破片

S-222

須恵器	甕
土師器	椀2、甕a

S-223

須恵器	甕、蓋、蓋3、坏
土師器	甕a

S-224

須恵器	甕、蓋×坏
土師器	甕a、坏×皿a
黒色土器A類	椀a
製塩土器	煎熬土器

S-226

須恵器	蓋1
土師器	坏×皿、甕a

S-227

土師器	甕、破片
土製品	焼土塊

S-228

須恵器	壺、甕、蓋、坏、壺b
土師器	甕a、甕、坏c、蓋3×高坏
製塩土器	煎熬土器
石製品	安山岩片

S-229

須恵器	蓋a1、甕、蓋1
土師器	甕、皿b

S-231

土師器	甕

S-232

須恵器	蓋1、甕、坏
土師器	甕、甕×壺

S-233

須恵器	甕
土師器	甕a

S-234

須恵器	破片
土師器	甕a

S-236

須恵器	甕、壺
土師器	坏×皿、甕

S-237

須恵器	甕
土師器	破片

S-238

土師器	破片

S-239

須恵器	甕、坏a
土師器	破片、甕

S-241

須恵器	蓋、蓋1、坏
土師器	甕a、坏×皿

S-242

須恵器	破片
土師器	甕b、椀c1、破片
瓦類	丸瓦（玉縁、格子叩）

S-244

須恵器	蓋、破片
土師器	甕
瓦類	軒平瓦（鴻臚館式）

S-246

須恵器	壺、甕
土師器	坏c、甕、壺

S-247

須恵器	蓋c3、甕a、坏c
土師器	破片
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-248

須恵器	蓋、破片
土師器	破片

S-249

須恵器	甕、蓋3
土師器	甕a、坏片
土製品	土錘
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-251

土師器	坏a、破片
越州窯系青磁	椀；II-2b×II-2e

S-252

須恵器	坏
土師器	坏
土製品	羽口
瓦類	平瓦（縄目叩）（格子叩）

S-253

須恵器	坏c
土師器	椀c、坏

S-254

須恵器	蓋3、甕
土師器	甕

S-256

須恵器	甕、壺、坏c、蓋3、坏×皿a、大坏×大皿c、坏蓋、坏壺蓋か
土師器	甕、坏×皿、甕a、坏
黒色土器A類	椀c？、破片
白磁	椀；片（IV×V×VII×VIII）
瓦類	破片、平瓦（縄目叩）
石製品	黒曜石片

S-257

須恵器	小壺、坏、蓋
土師器	破片、甕

S-258

須恵器	甕
土師器	甕a
瓦類	破片（縄目叩）

S-259

土師器	皿b、甕
瓦類	丸瓦

S-261

須恵器	坏a、甕
製塩土器	煎熬土器
瓦類	破片

S-262

須恵器	坏c、皿a
土師器	甕a

S-263

須恵器	坏a、甕
土師器	坏c、甕
瓦類	破片（縄目叩）

S-264

須恵器	小蓋a1、甕
土師器	甕a、坏a

S-267

須恵器	蓋3、坏、高坏、蓋c
土師器	甕a、坏c

S-268

須恵器	甕、高坏、坏c
土師器	甕a
瓦類	破片

S-269

土師器	破片
石製品	軽石

S-271

須恵器	鉢b、蓋a、坏c、甕、壺、高坏、蓋4
土師器	破片
瓦類	破片（縄目叩）

S-272

須恵器	坏
土師器	甕a
瓦類	破片

S-273

須恵器	壺
土師器	甕

S-274

土師器	甕a
瓦類	破片（縄目叩）

S-276

須恵器	甕、蓋×皿
土師器	甕a、坏a
製塩土器	煎熬土器
瓦類	破片

S-277

土師器	坏a

S-278

須恵器	大甕、蓋3
土師器	坏a、蓋c

S-279

須恵器	甕（精製）、坏、蓋c、坏×皿c
土師器	破片（甕か？）

S-281

須恵器	破片
土師器	甕a

S-282

須恵器	甕、蓋3、坏、坏×皿a
土師器	甕a

S-283

須恵器	坏、蓋、大皿×大坏
土師器	破片

S-284

土師器	甕a
黒色土器A類	椀片？

S-286

須恵器	坏c
土師器	甕a
製塩土器	煎熬土器

S-287

須恵器	蓋3、坏a
土師器	甕a
製塩土器	煎熬土器

S-288

須恵器	蓋3、甕、坏
製塩土器	煎熬土器

S-289

須恵器	高台
土師器	坏a
瓦類	破片

S-291

須恵器	坏、蓋3、甕
土師器	甕a
黒色土器A類	破片
瓦類	破片
石製品	安山岩片

S-291灰色砂

須恵器	坏c、甕、皿、蓋1（土師質）
黒色土器A類	破片
灰釉陶器	片（壺？）
瓦類	破片（縄目叩）

S-291茶色土

須恵器	高坏、甕、蓋c、蓋3
土師器	甕a、坏a、大椀×大皿c
黒色土器A類	破片
石製品	安山岩？片

S-291淡茶色砂

須恵器	甕、蓋1、壺×大椀c
土師器	小椀c2、甕a、椀c1、坏a
黒色土器A類	破片
白磁	椀；VIII
その他	陶器片

S-292

須恵器	坏c、蓋1、甕b
土師器	坏×皿、甕
越州窯系青磁	椀；破片（I類）
瓦類	丸瓦、平瓦（縄目叩）

S-293

須恵器	蓋
土師器	破片

S-294

須恵器	甕
土師器	破片
黒色土器A類	椀

S-296

土師器	坏a、甕a
黒色土器A類	破片、椀

S-297

須恵器	坏c、甕、坏×皿、壺、坏a
土師器	甕a
瓦類	破片
石製品	黒曜石片

S-298

須恵器	坏c
石製品	チャート

S-299

須恵器	甕
土師器	甕a

S-301

土師器	坏、甕

S-302

須恵器	坏a、甕、蓋、坏c
土師器	甕a、坏a
製塩土器	煎熬土器
白磁	椀；IV
瓦類	破片（縄目叩）

S-303

須恵器	蓋c
土師器	坏c、大甕a
龍泉窯系青磁	破片（椀？）
瓦類	破片（縄目叩）

S-304

須恵器	破片
土師器	坏、高台

S-306

須恵器	蓋、坏、蓋3
土師器	破片、坏c、甕a
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-307

須恵器	甕、蓋3、小蓋
土師器	甕a

S-308

須恵器	甕、坏、蓋3
土師器	蓋c、破片
瓦類	平瓦（縄目叩）、破片（格子叩）
石製品	チャート

S-309

須恵器	蓋3、甕、坏
土師器	破片

S-311

須恵器	高坏、坏×皿
土製品	焼土塊

S-312（御10SB210の一部）

須恵器	甕、坏
土師器	破片

S-313

須恵器	坏、甕、皿a
土師器	甕a、坏×皿
製塩土器	煎熬土器
瓦類	破片

S-314

須恵器	蓋3、坏×皿
土師器	甕a
瓦類	破片
金属製品	鉱滓

S-316

須恵器	坏×皿c、皿a、蓋、坏c
土師器	甕a

S-317（御10SB215の一部）

須恵器	壺
土師器	甕a

S-318

須恵器	甕、高坏、蓋c、蓋1、蓋3、坏c
土師器	甕a、蓋3
瓦類	破片

S-319

須恵器	甕、坏c、蓋3、甕b
土師器	甕a、坏a

S-321

土師器	坏a

S-322（御10SB215の一部）

須恵器	坏a、坏c、蓋3、皿、壺
土師器	甕a
瓦類	破片

S-323

須恵器	坏、甕
土師器	甕、坏

S-324

須恵器	坏c
土師器	甕a

S-326

須恵器	壺
土師器	坏、甕a、把手
瓦類	破片

S-327

須恵器	壺、坏c、蓋c、高坏、蓋3
土師器	甕a
製塩土器	煎熬土器
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-328

須恵器	壺
土師器	坏a
黒色土器A類	破片

S-329

須恵器	横瓶、蓋3、平瓶
土師器	破片、甕

S-331

須恵器	甕、蓋3、坏c
土師器	甕a、坏

S-332

須恵器	蓋3、甕
土師器	甕、坏×皿a

S-333

須恵器	蓋か？
土師器	甕

S-334

須恵器	蓋c、蓋1、蓋3、坏c、坏×皿、壺、大坏×大皿c
土師器	大甕a、坏c、
黒色土器A類	椀
越州窯系青磁	椀；I
瓦類	破片（格子叩）

S-334上層

須恵器	大坏c、甕

S-335

須恵器	壺、甕、坏
土師器	坏×皿a
土製品	羽口
瓦類	破片

S-335黒茶色炭層

須恵器	破片
土製品	羽口
瓦類	破片

S-336

須恵器	坏c、壺蓋
土師器	坏、甕
土製品	羽口
瓦類	平瓦（縄目叩）

S-337

土師器	甕a
土製品	羽口か？

S-338

須恵器	坏
土師器	甕
土製品	鞴羽口

S-339

土師器	甕、坏
土製品	焼土塊
瓦類	破片（縄目叩）

S-340上層

土師器	破片

S-340下層

土師器	坏×皿c、甕a
石製品	碁石

S-341

須恵器	甕、坏c、蓋3
土師器	甕a
製塩土器	煎熬土器
土製品	カマド

S-342

須恵器	甕、坏×皿×蓋
土師器	坏a、甕

S-343

須　恵　器	坏c
土　師　器	甕
緑 釉 陶 器	坏c（防長）、蓋（防長）

S-344

須　恵　器	坏×皿
土　師　器	坏a（平安前）
黒色土器A類	破片
土　製　品	焼土塊

S-346

土　師　器	破片
瓦　　　類	破片

S-347

須　恵　器	破片
土　師　器	甕、坏×皿

S-348（御10SB210の一部）

須　恵　器	壺
土　師　器	甕a、坏
土　製　品	焼土塊

S-349

須　恵　器	甕
土　師　器	坏、甕a
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-351

須　恵　器	蓋3、高坏、壺×甕
土　師　器	甕a、坏a
瓦　　　類	破片（縄目叩）
石　製　品	黒曜石片

S-352（御10SB210の一部）

須　恵　器	坏×蓋、甕
土　師　器	坏c、破片

S-353

須　恵　器	坏c、甕
土　師　器	坏×皿

S-354

土　師　器	破片

S-356

須　恵　器	坏、蓋
土　師　器	甕a、坏

S-357

須　恵　器	壺
土　師　器	甕a
黒色土器A類	破片
製 塩 土 器	煎熬土器
緑 釉 陶 器	坏c（防長）

S-358

須　恵　器	蓋3、大甕
土　師　器	甕a

S-359

須　恵　器	坏c、蓋、甕、壺
土　師　器	破片

S-361

土　師　器	破片

S-362

須　恵　器	坏、蓋3、甕、壺
土　師　器	甕、破片

S-363

須　恵　器	坏、蓋、甕
土　師　器	甕

S-364

須　恵　器	坏
土　師　器	甕a

S-367

土　師　器	破片

S-368

須　恵　器	坏、甕、壺
土　師　器	坏a、坏

S-369

須　恵　器	蓋1
土　師　器	甕a

S-371

須　恵　器	蓋、大甕、壺か？
土　師　器	坏、坏c、甕、甕a、破片

S-372

須　恵　器	坏c、蓋1、蓋3、皿、甕、壺bか？
土　師　器	坏a、椀c、甕a
瓦　　　類	破片（縄目叩）

S-372下層

須　恵　器	坏、坏c、蓋c、壺、小鉢
土　師　器	蓋3、甕、把手
瓦　　　類	丸瓦（格子叩）、平瓦（縄目叩）（格子叩） 軒平瓦

S-373

土　師　器	甕

S-374

土　師　器	坏（灯明）、坏×皿、椀c
瓦　　　類	破片（格子叩）

S-377

須恵器	破片
土師器	甕a
製塩土器	煎熬土器
石製品	鏃（黒曜石）

S-378

須恵器	坏c、蓋3、甕
土師器	坏×皿、甕
製塩土器	煎熬土器

S-379

須恵器	坏a、甕
土師器	坏a、坏×皿、甕

S-381

土師器	坏
瓦類	破片（格子叩）

S-382

須恵器	坏、坏c、甕
土師器	甕、破片

S-383

須恵器	甕、破片
土師器	坏a、破片

S-384

土師器	椀c

S-386

須恵器	坏
土師器	坏×皿、甕a

S-387

土師器	甕a

S-388

須恵器	蓋1、甕
土師器	甕a
土製品	焼土塊

S-389

土師器	破片

S-391

須恵器	坏、蓋c、蓋3、甕、壺
土師器	蓋3、甕a
瓦類	破片

S-392

須恵器	坏a、甕
土師器	甕a、坏

S-393

土師器	坏a、甕a、把手、甑

S-394

須恵器	蓋1、蓋3
土師器	甕、破片
緑釉陶器	破片（畿内系）
瓦類	破片（縄目叩）

S-396

土師器	坏c

S-397

須恵器	壺
土師器	甕a

S-398

須恵器	坏c、蓋、甕
土師器	甕
瓦類	破片

S-399

須恵器	坏、蓋1、坏×壺蓋、壺、甕、大皿か？
土師器	皿bか？、破片

S-401

須恵器	甕
土師器	甕a、破片

S-403

須恵器	坏蓋、甕
土師器	坏、蓋3、甕

S-404

須恵器	坏蓋
土師器	甕a

S-406

土師器	甕a

S-406下層pit

土師器	甕a

S-407

須恵器	蓋3
土師器	坏、甕a、壺か？
瓦類	破片（縄目叩）

S-408

土師器	破片

S-409

製塩土器	煎熬土器

S-411

須恵器	坏×皿
土師器	甕a
黒色土器B類	破片
瓦類	破片

S-412

土　師　器	破片（土玉状になっている）

S-413

須　恵　器	蓋1
土　師　器	甕
石　製　品	安山岩片

S-414

製 塩 土 器	煎熬土器
弥 生 土 器	甕（弥生×縄文）

S-414上層

須　恵　器	坏×蓋、壺
土　師　器	坏c、甕b
黒色土器A類	椀c
製 塩 土 器	煎熬土器

S-414下層

須　恵　器	坏身×坏蓋、高坏、甕×壺？
土　師　器	椀c

S-416

土　製　品	羽口

S-417

土　師　器	破片

表土

須　恵　器	坏c、小坏c、蓋c、蓋1、蓋3、蓋c3、甕a、大甕 高坏、壺b、壺fか？
土　師　器	椀c2、椀1、坏×皿、坏a、高坏、甕a、把手
黒色土器A類	椀c1
黒色土器B類	椀c
製 塩 土 器	煎熬土器
越州窯系青磁	椀；I、I-2
緑 釉 陶 器	皿c（猿投窯産）
国 産 陶 器	破片（近世肥前）
白　　　磁	椀；V、V-b、IX
国 産 磁 器	破片（近世？）
土　製　品	カマド
瓦　　　類	丸瓦（格子叩）、（縄目叩）、平瓦（縄目叩）
金 属 製 品	鉄塊

撹乱

須　恵　器	坏a、甕a、椀c2、蓋3、坏c、坏×皿a、蓋1、小坏c
土　師　器	破片、椀c
黒色土器A類	椀c
黒色土器B類	椀
越州窯系青磁	椀；I、II 片（青磁褐彩×長沙窯系青磁）
長沙窯系青磁	壺（長沙窯系青磁？）
瓦　　　類	破片（縄目叩）、軒平瓦

茶色土層

須　恵　器	小蓋a1、小蓋c1、蓋1、蓋1（土師質）、蓋片（擦痕あり）、大甕b、大坏×大皿c、小壺、小甕、坏a 鉢、壺a、甕a、壺b、蓋3、小蓋a1、坏c、小坏c 壺蓋、蓋4、皿a、高坏、把手、壺f（肥前的胎土） 甕b、椀、蓋、坏蓋、坏身、蓋c3、蓋c1
土　師　器	大皿c、蓋3、壺、坏d（赤色塗彩）、坏c、皿a、大甕 椀c1、　甕a、小坏×小皿a、坏a、高坏、丸椀a、鉢 把手
黒色土器A類	椀c（搬入）、皿c、椀
黒色土器B類	椀c
製 塩 土 器	煎熬土器、焼塩壺
越州窯系青磁	椀；I、I-1b、I-2a、II、II-2
龍泉窯系青磁	椀；I、破片 皿；I
同安窯系青磁	椀；破片（同安窯系青磁×）
高 麗 青 磁	椀；破片（高麗青磁？）
須 恵 質 土 器	鉢（篠窯産）
瓦 質 土 器	鉢
緑 釉 陶 器	壺（近江）、片（近江）、片（洛西？）
灰 釉 陶 器	壺
国 産 陶 器	染付（近世×近代）、蓋
白　　　磁	椀；I 破片（近世）、破片
肥前系陶磁器	皿（伊万里系磁器）
弥 生 土 器	破片（弥生×縄文）
土　製　品	不明、紡錘車、焼土塊
瓦　　　類	破片（縄目）、平瓦（縄目）（格子叩）
石　製　品	黒曜石片（姫島か？）、叩石、製紡錘車（滑石） はまぐり歯磨製石斧、石斧、鏃（安山岩・黒曜石）
金 属 製 品	鉄塊、鉄釘、鉄鏃、用途不明鉄製品

暗褐色土層

須　恵　器	甕（ヘラ記号あり）,高坏、小壺、蓋3、蓋c、坏c 甕、大甕、皿a、　大蓋c3、坏身、壺、蓋c3
土　師　器	蓋3、坏a、甕a、皿a、盤か？、坏×皿c、大甕a
黒色土器A類	椀、小椀c
製 塩 土 器	煎熬土器
緑 釉 陶 器	破片
白　　　磁	椀；I
土　製　品	焼土塊、羽口
瓦　　　類	破片（縄目叩）、平瓦（縄目叩）
石　製　品	叩石、黒曜石片
金 属 製 品	鉄塊、刀子（鉄）

黒茶色土層

須　恵　器	坏a、甕
土　師　器	坏a、皿a、椀c、甕a、坏c
製 塩 土 器	煎熬土器
瓦　　　類	平瓦(縄目叩)

Z

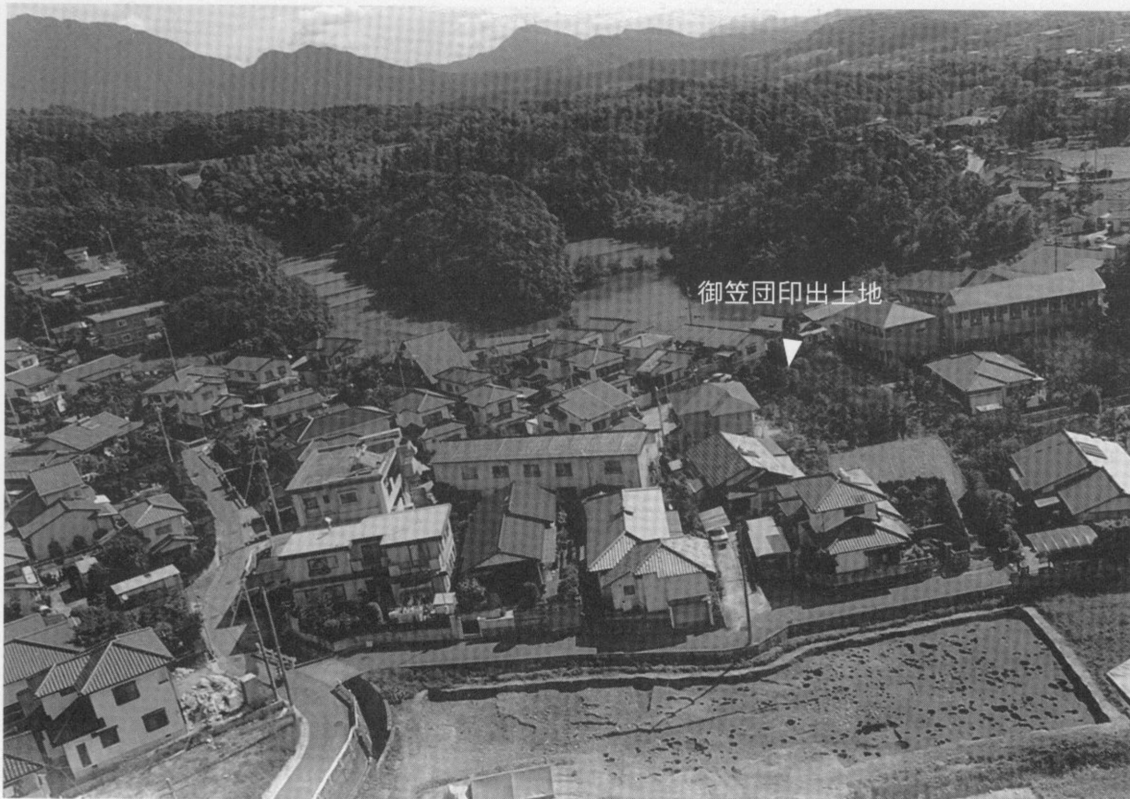
石　製　品	権（滑石）

写　真　図　版

※写真中の番号は、図版番号を示す。

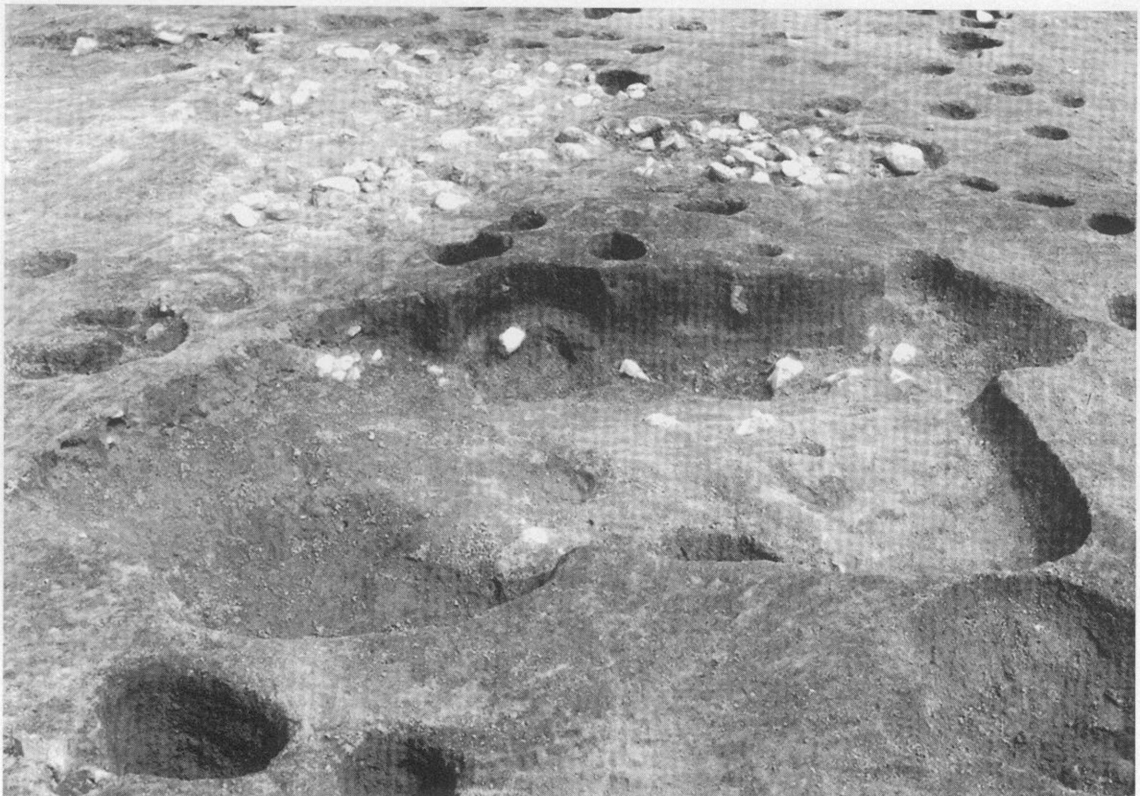
例　9-28-47

Fig.番号　挿図番号



御笠団印出土地を望む（西から撮影、手前は第７次調査）

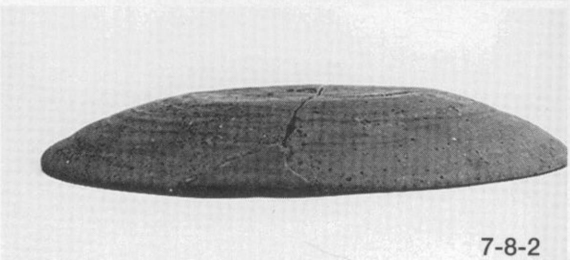
御笠団印出土地周辺遺跡第７次調査調査区全景（左が北）



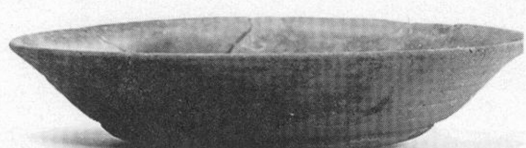
御7SK015（西から撮影）

御7SK050（西から撮影）

7-5-1

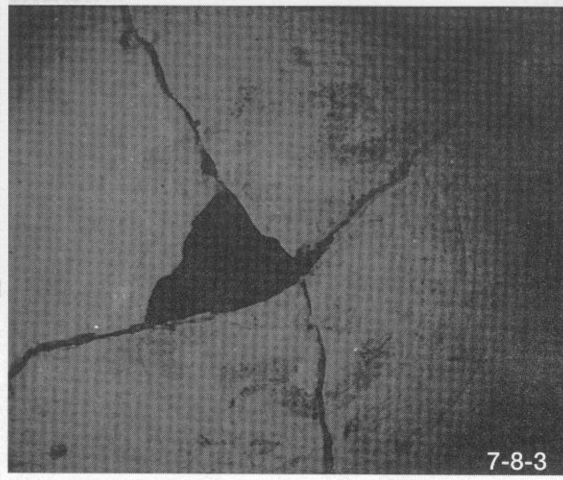


7-8-2

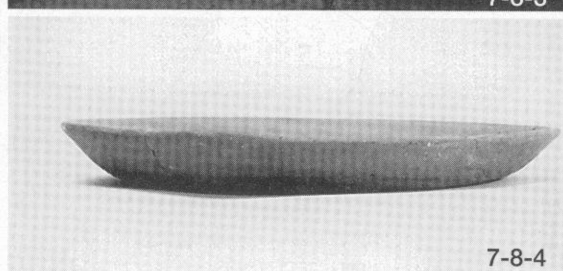


7-8-5

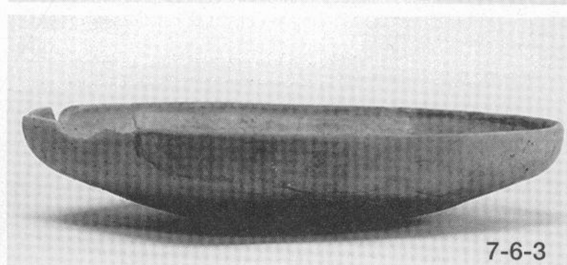
7-8-3



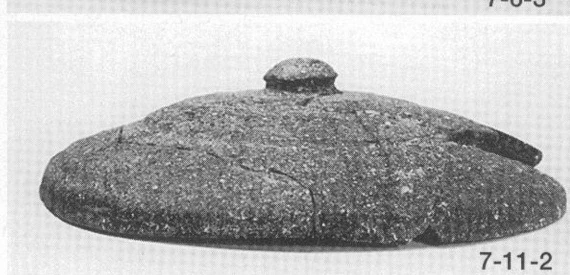
7-8-3



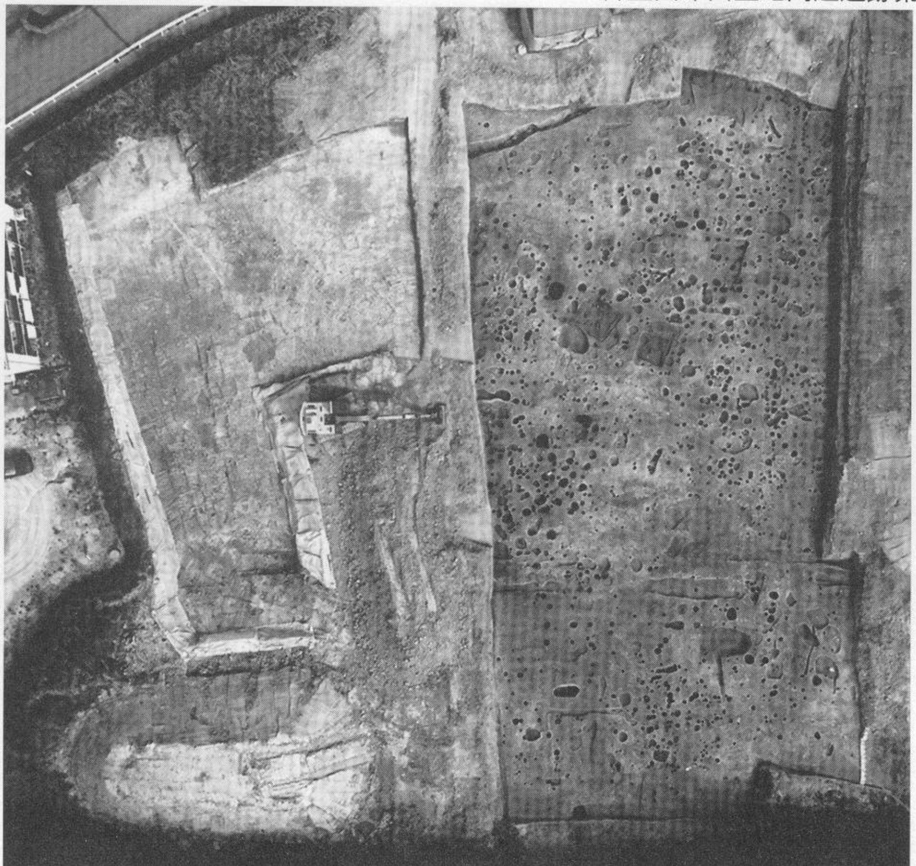
7-8-4



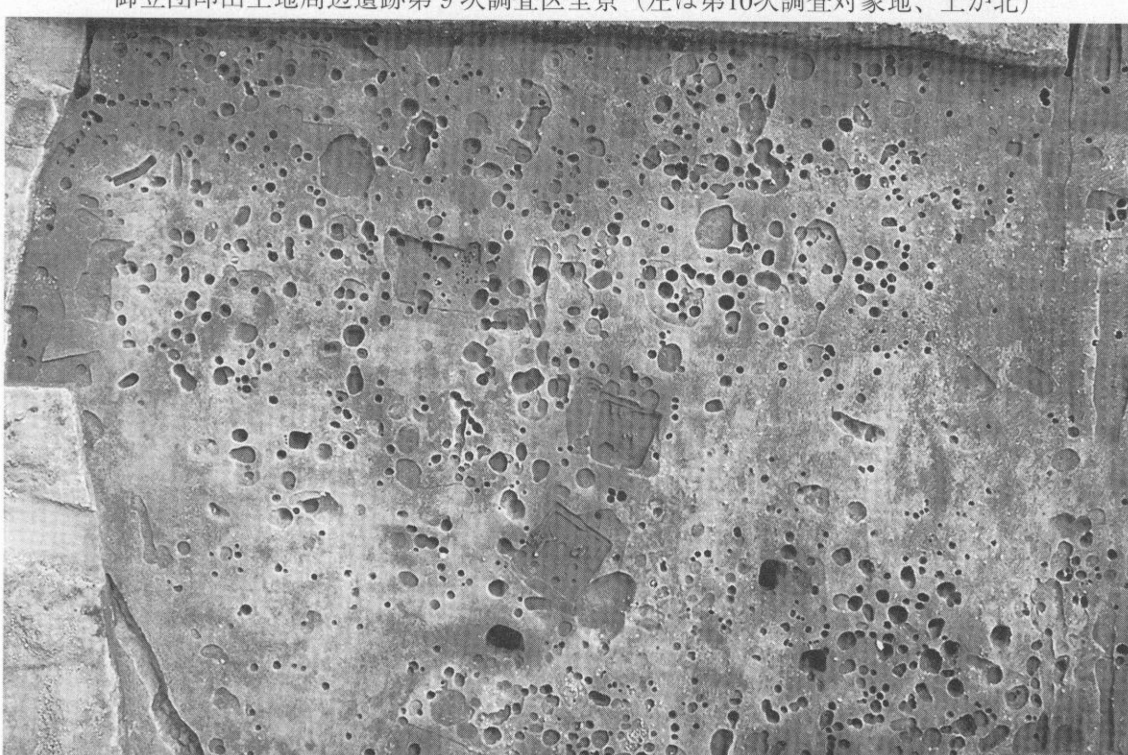
7-6-3



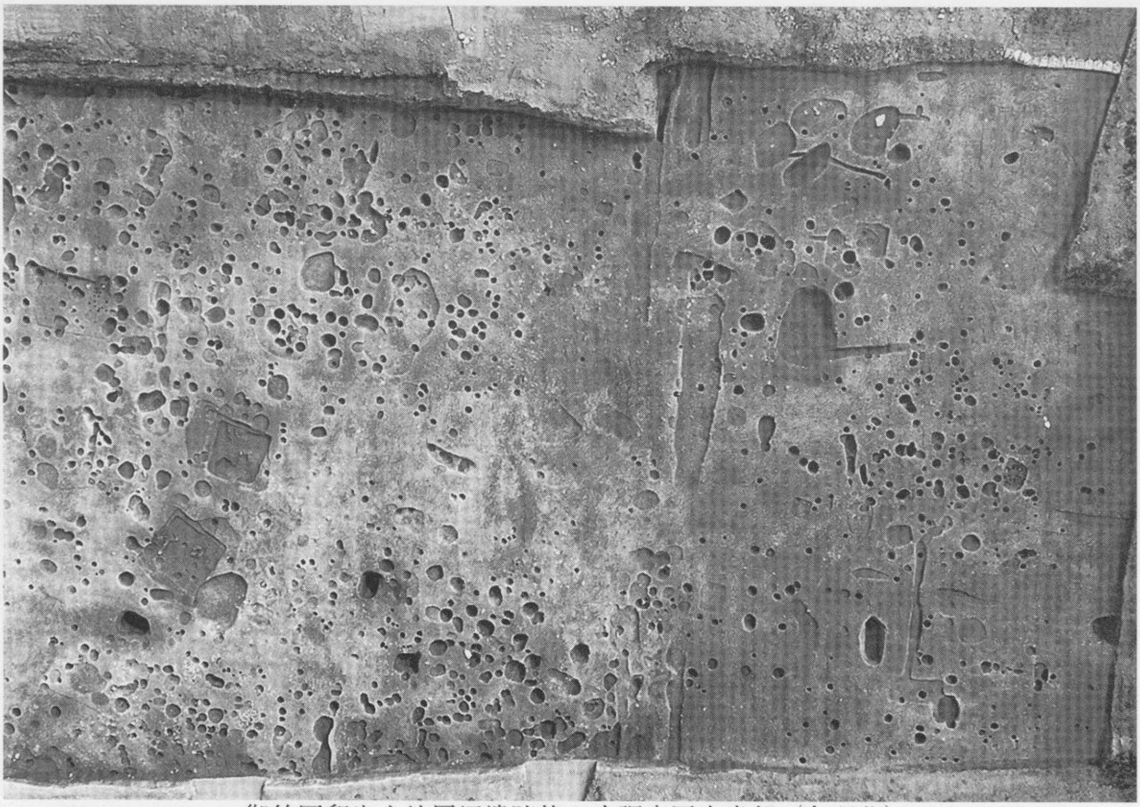
7-11-2



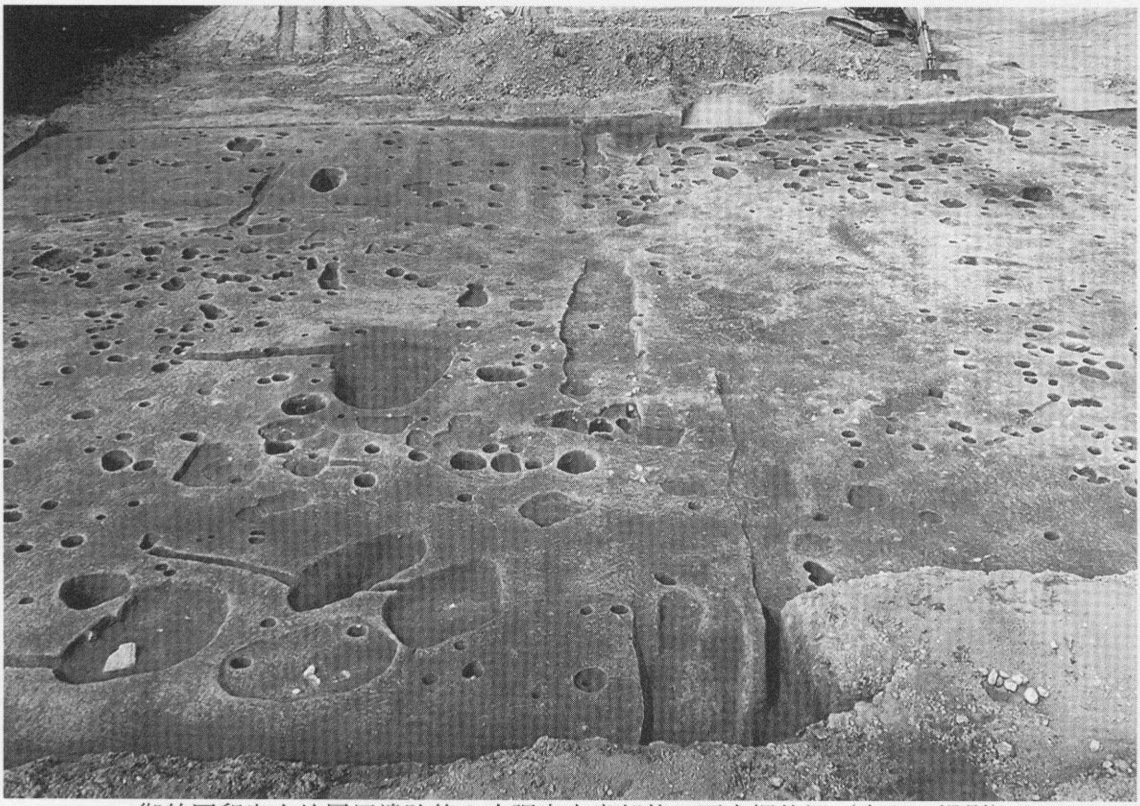
御笠団印出土地周辺遺跡第９次調査区全景（左は第10次調査対象地、上が北）



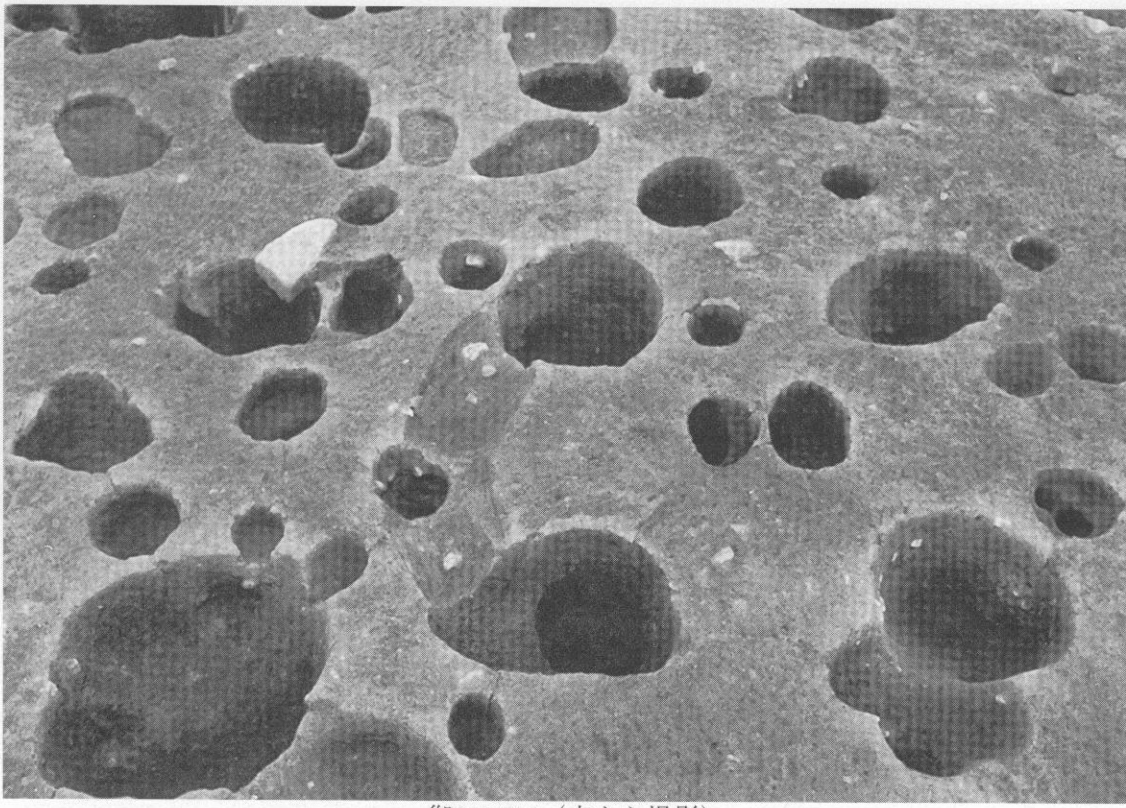
御笠団印出土地周辺遺跡第９次調査区北半部（9SK230は未掘、左が北）



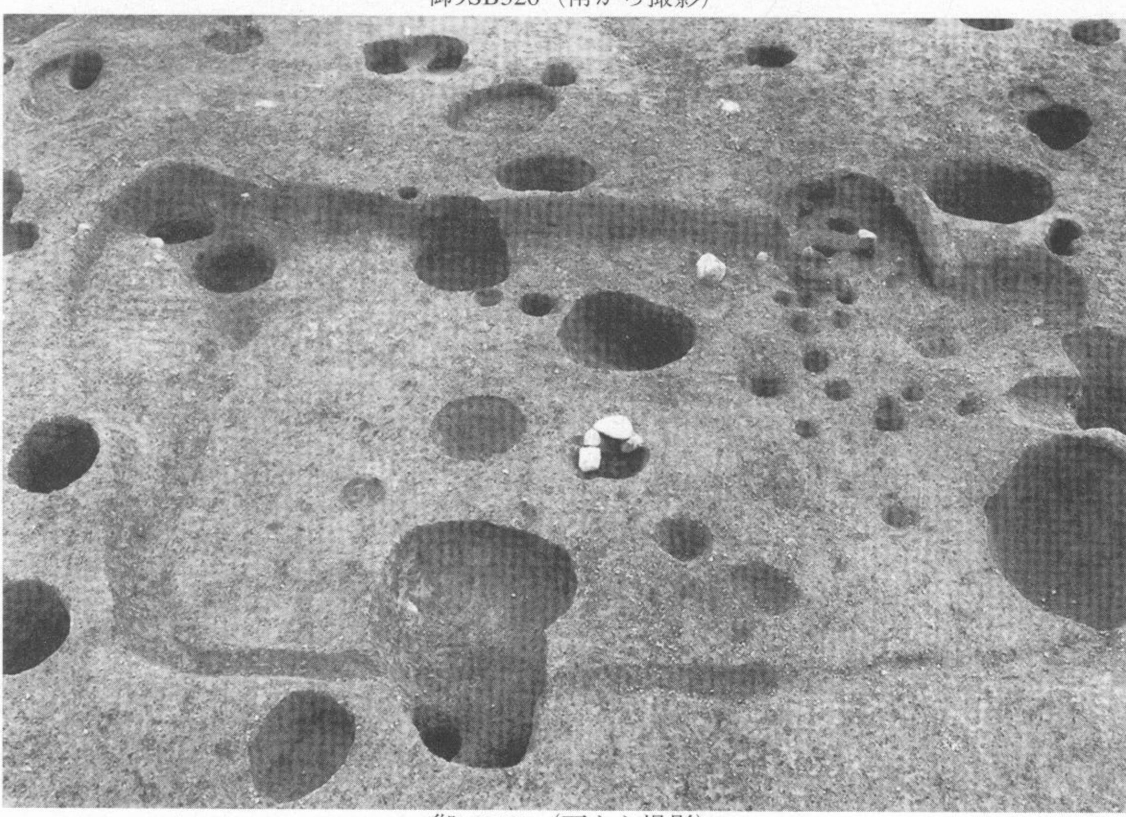
御笠団印出土地周辺遺跡第９次調査区南半部（左が北）



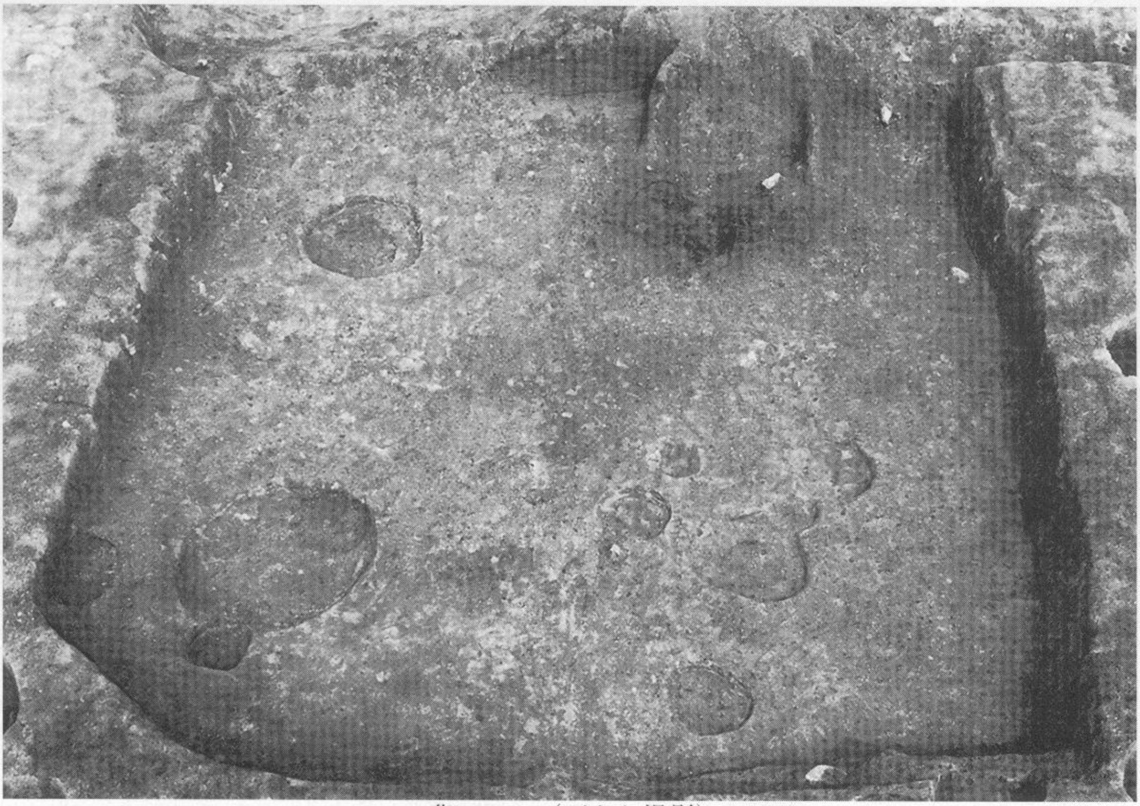
御笠団印出土地周辺遺跡第９次調査南半部第１面完掘状況（東から撮影）



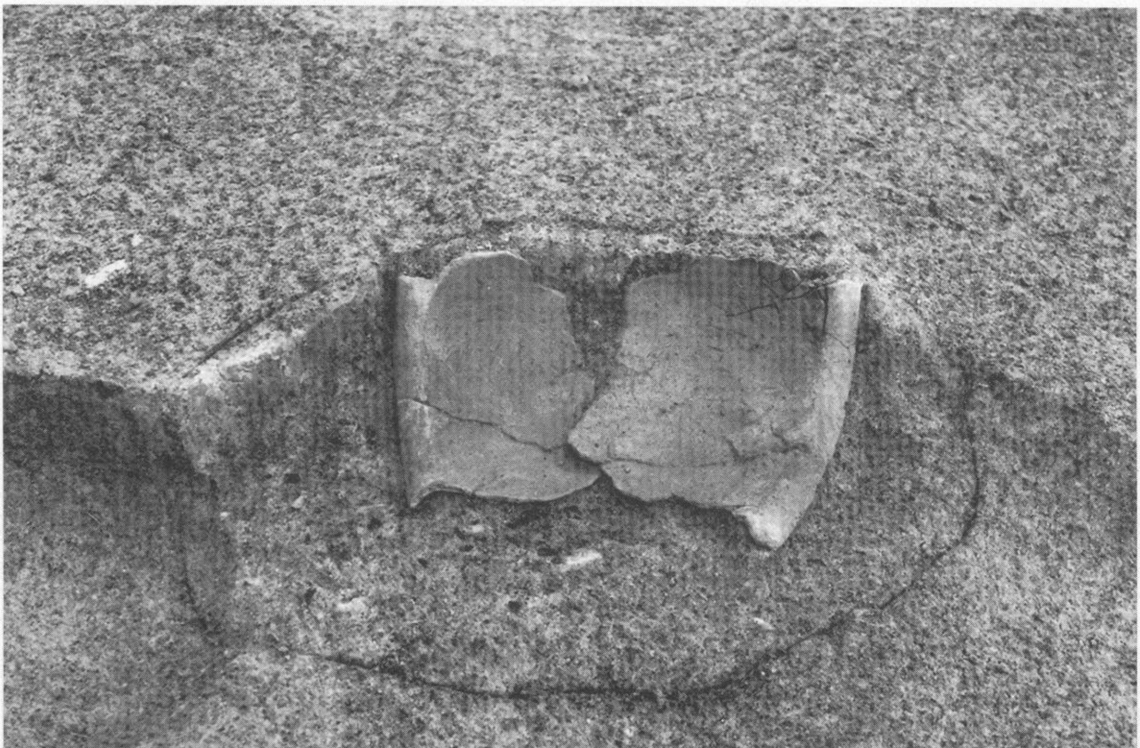
御9SB320（南から撮影）



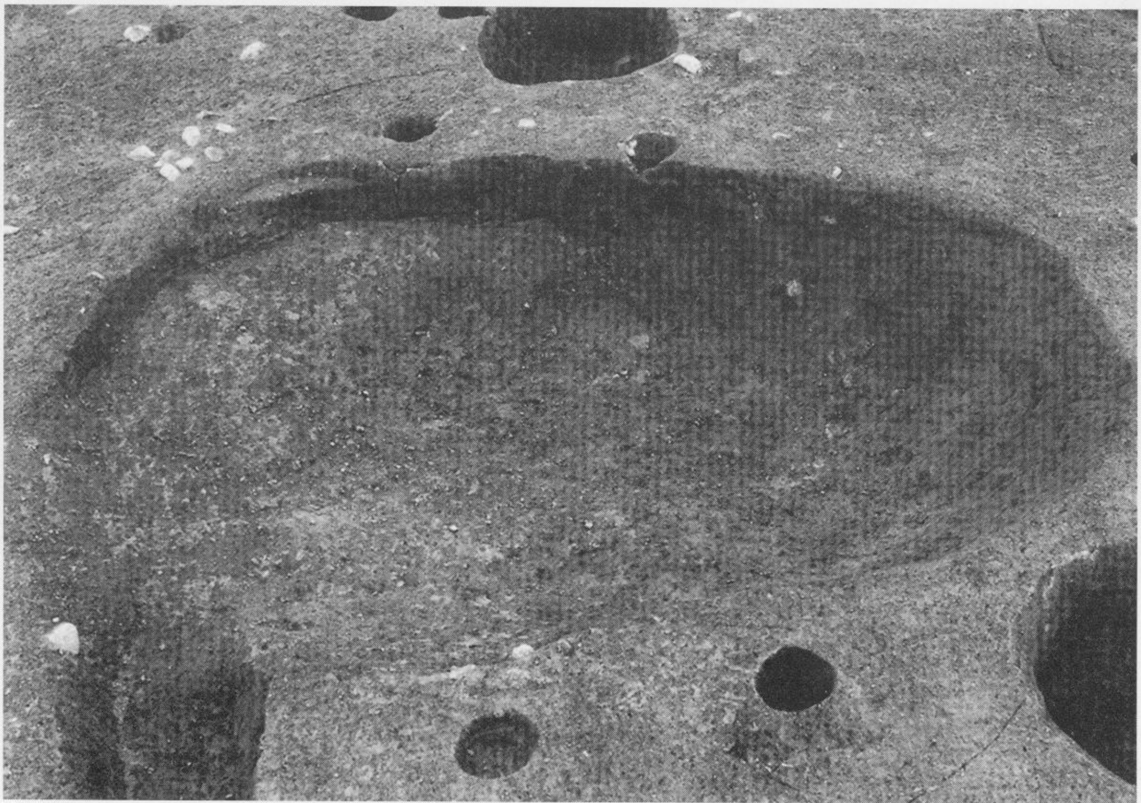
御9SI400（西から撮影）

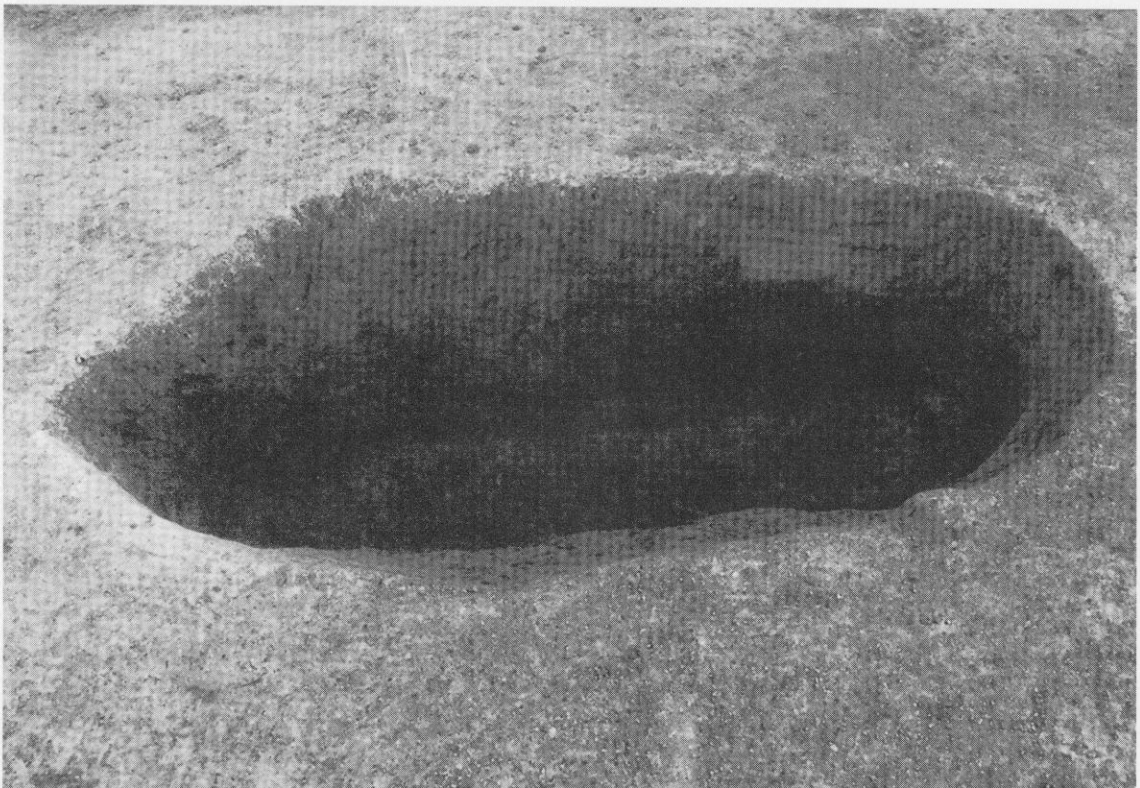


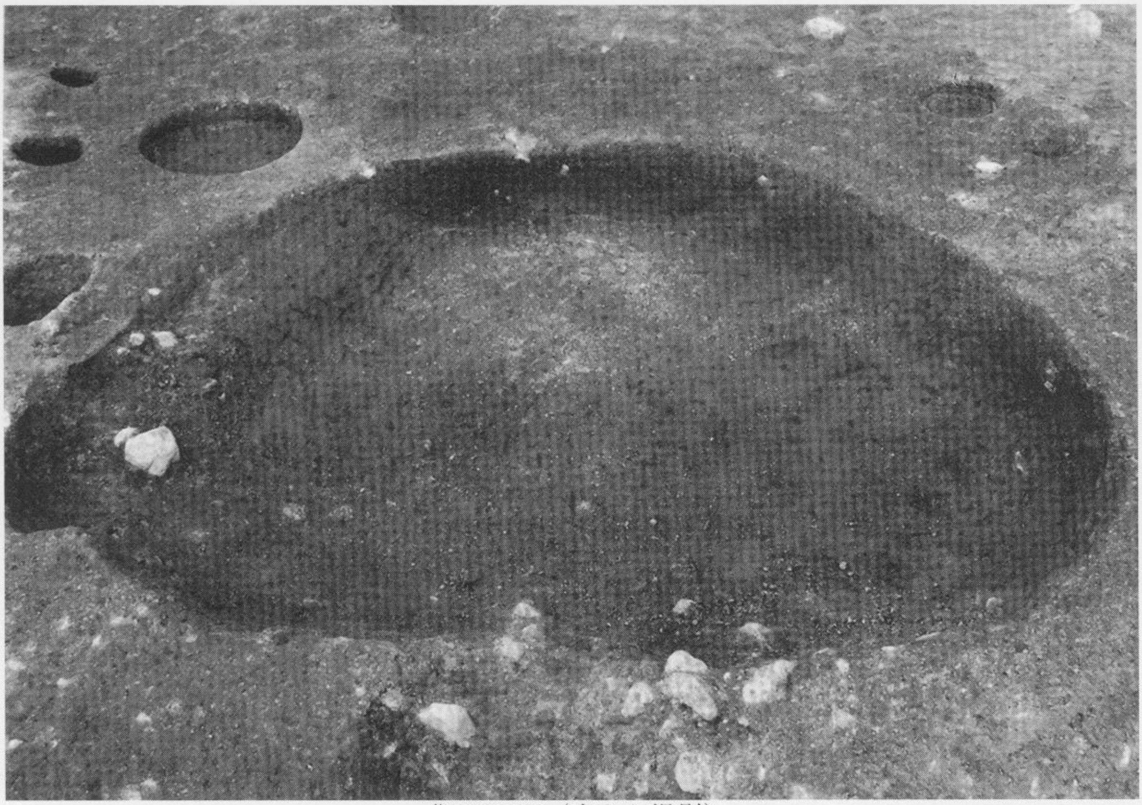
御9SI600（西から撮影）



御9SK030甕出土状況（南から撮影）


御9SK035（南から撮影）

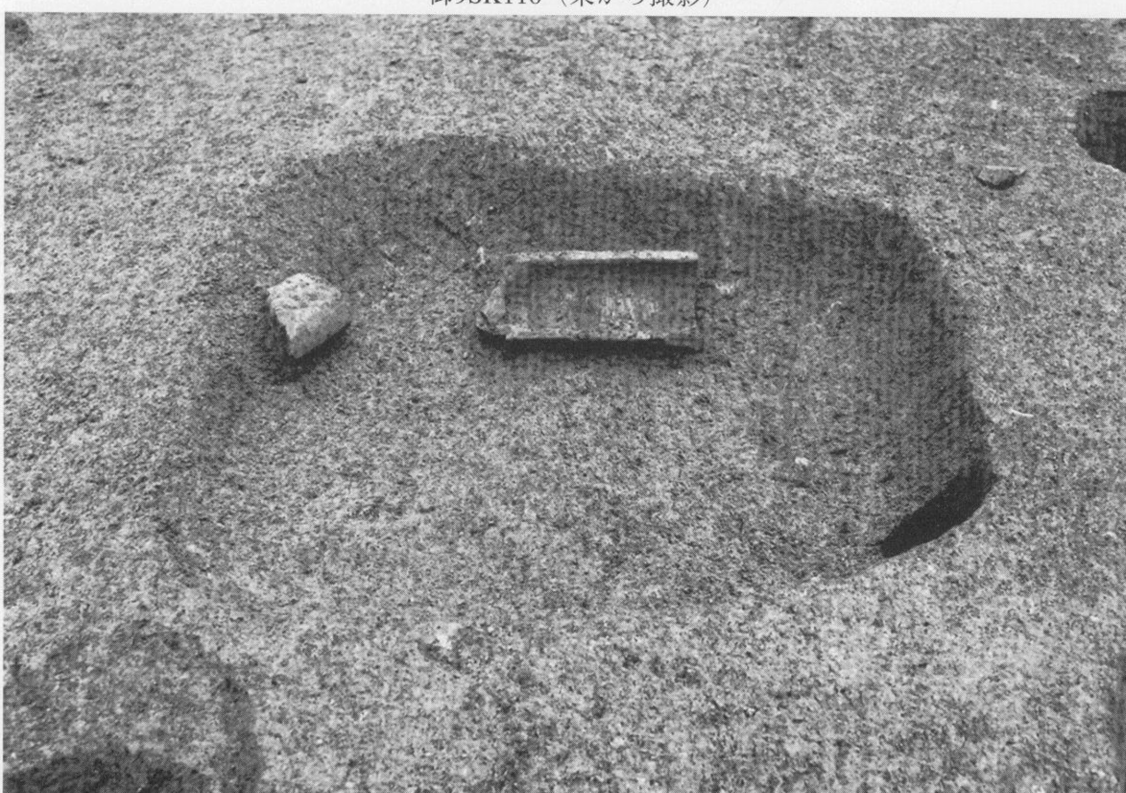

御9SK045（北から撮影）



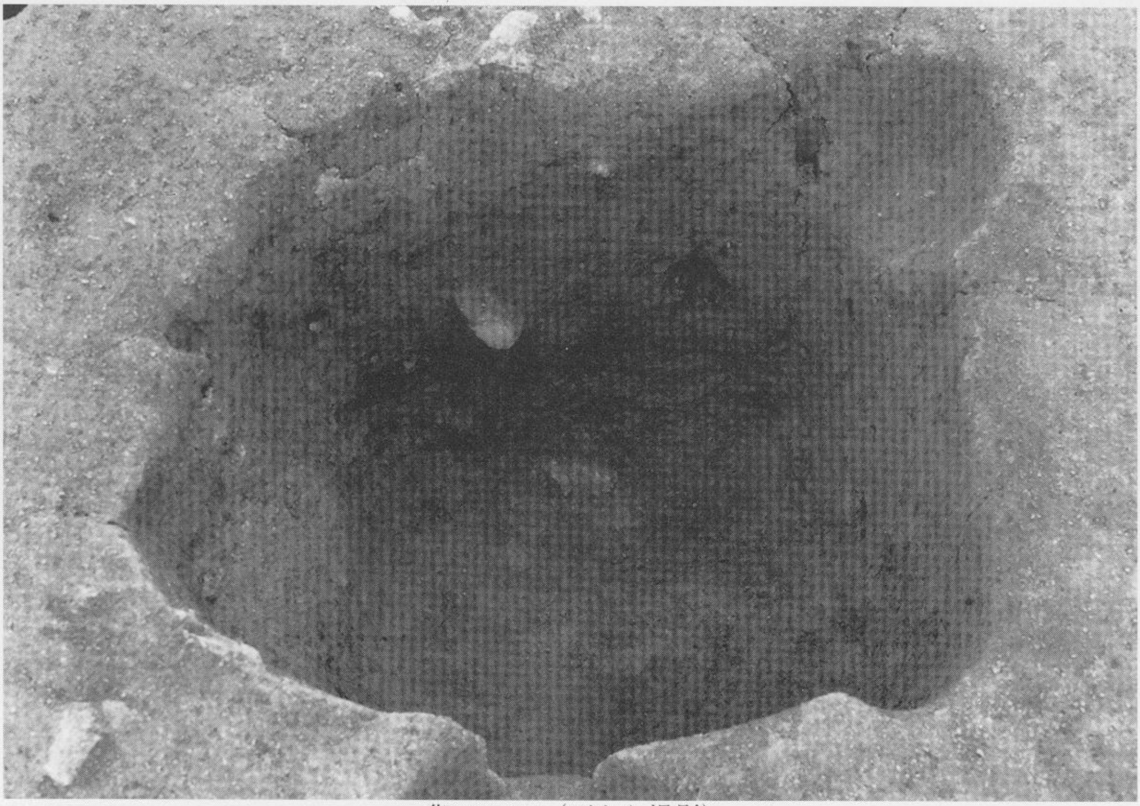
御9SK100（南から撮影）

御9SK100遺物出土状況（南東から撮影）

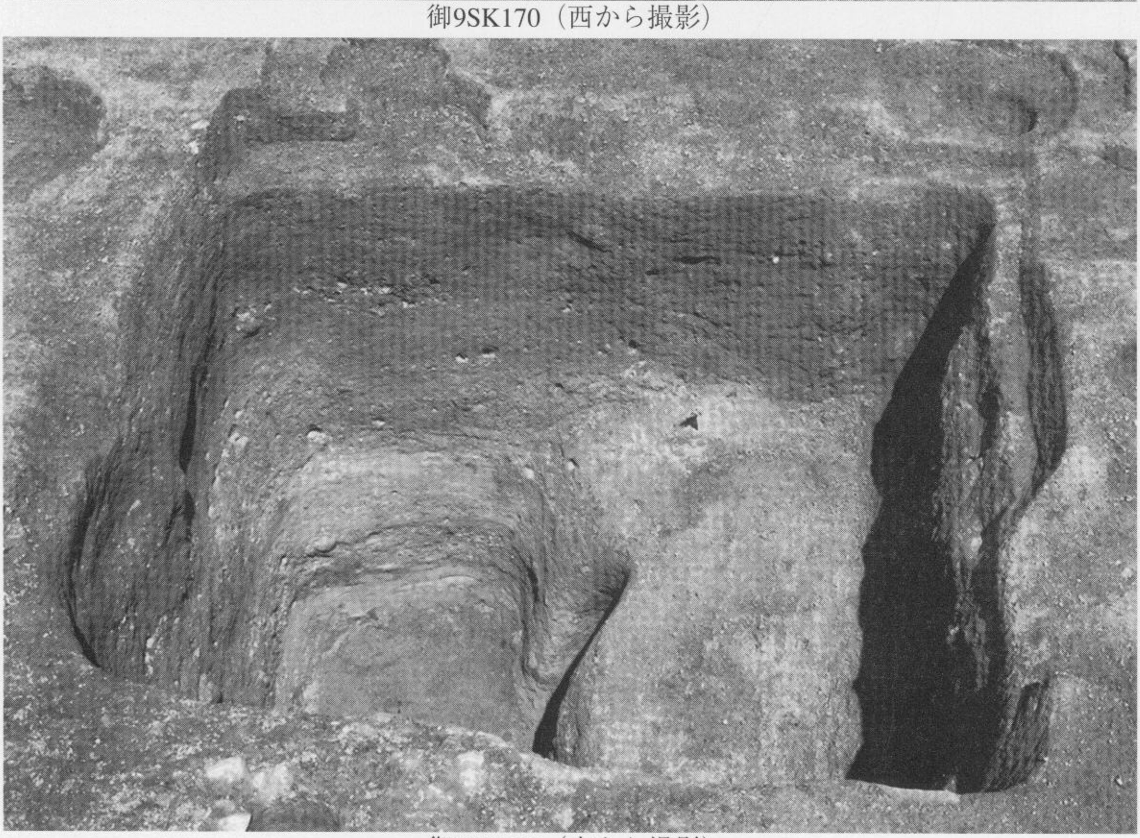
御9SK110（東から撮影）



御9SK142瓦出土状況（南西から撮影）

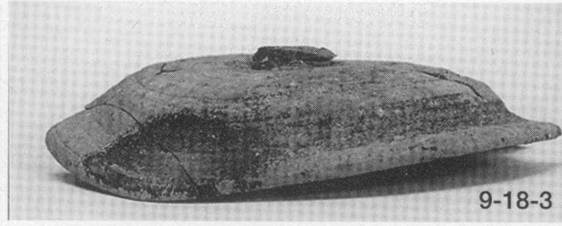


御9SK170（西から撮影）

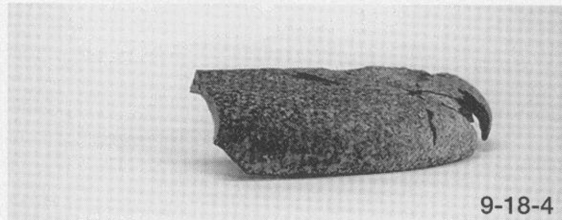


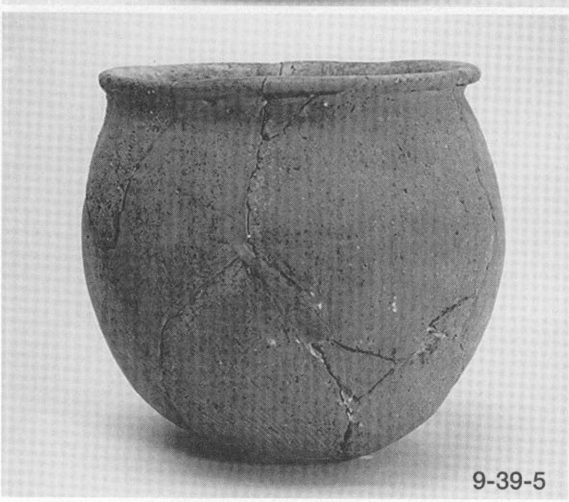
御9SK230（南から撮影）


9-39-1

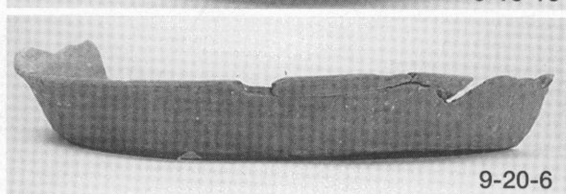

9-18-3

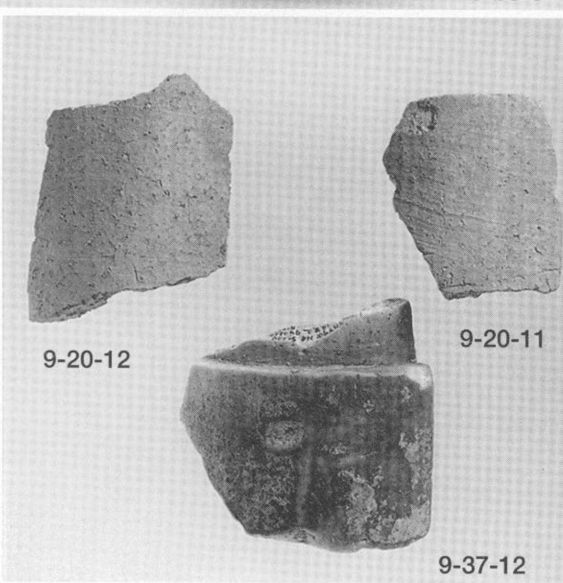

9-39-4

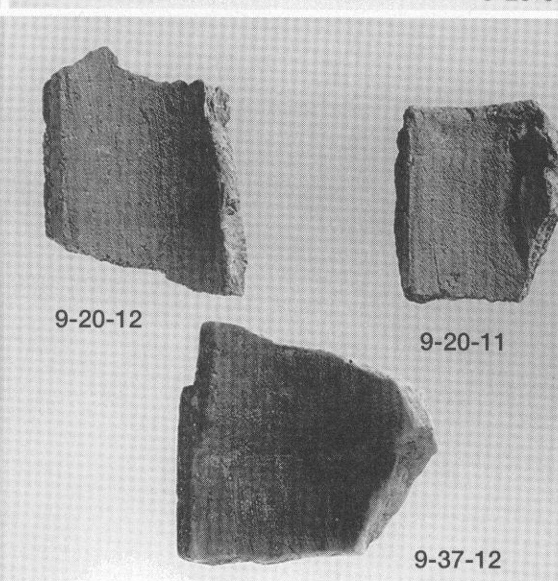

9-18-4


9-39-5

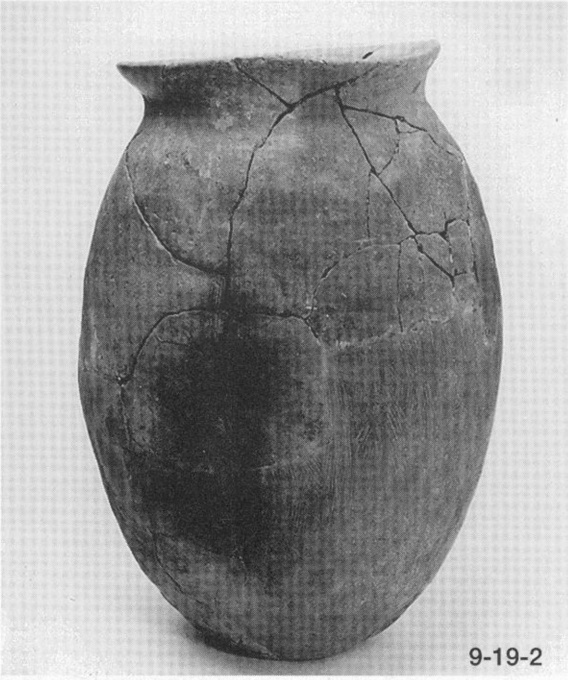

9-18-13


9-20-6


9-20-12 9-20-11 9-37-12

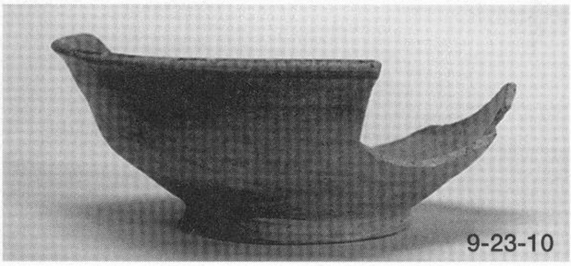

9-20-12 9-20-11 9-37-12

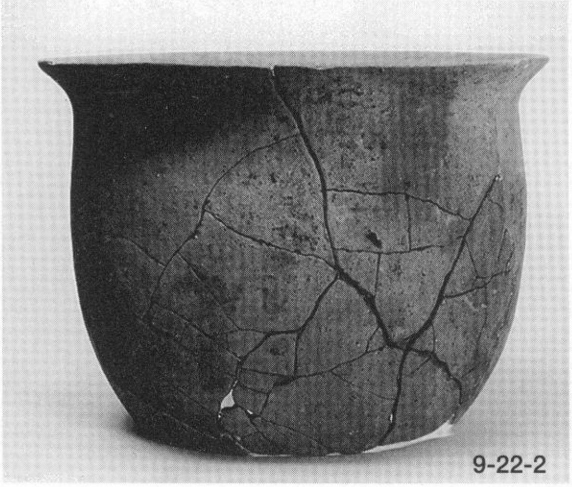

9-17-6


9-19-2

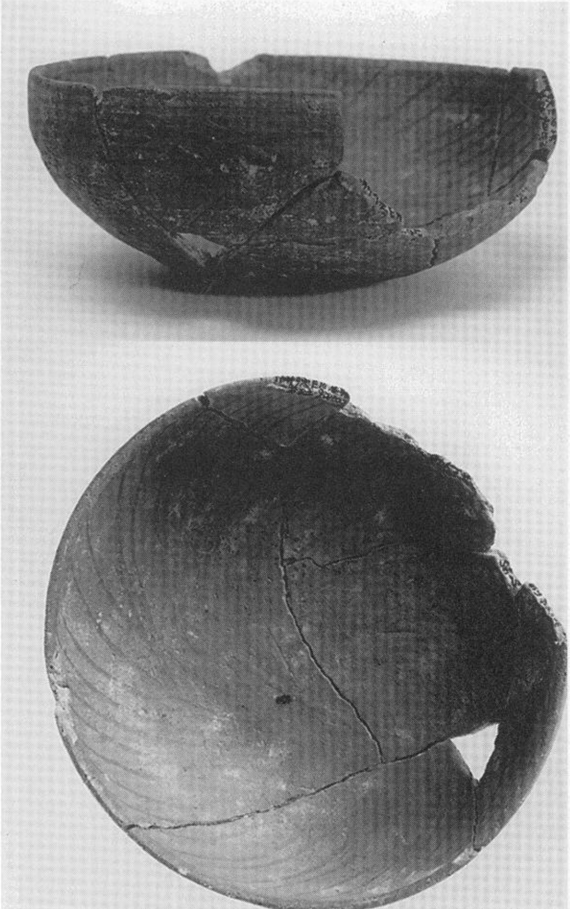

9-22-1

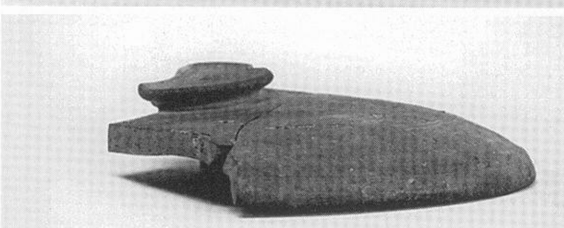

9-21-6

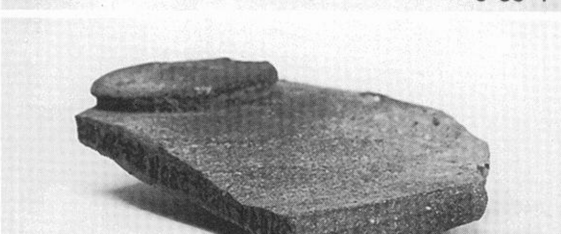

9-23-10

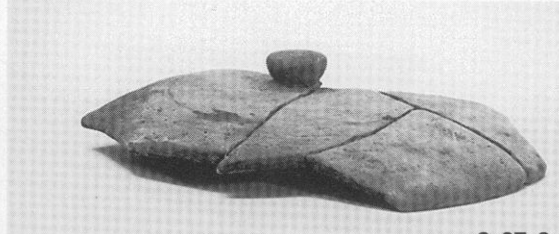

9-22-2

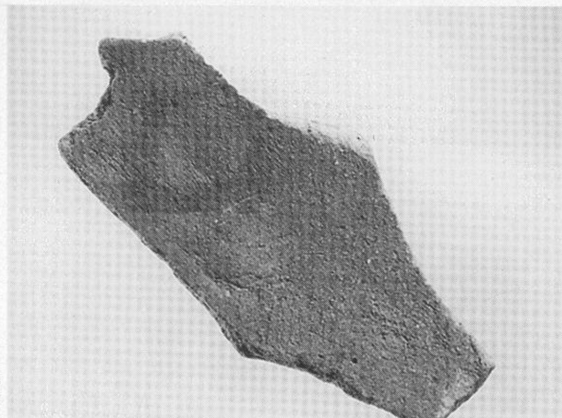

9-23-18


9-24-3


9-35-4

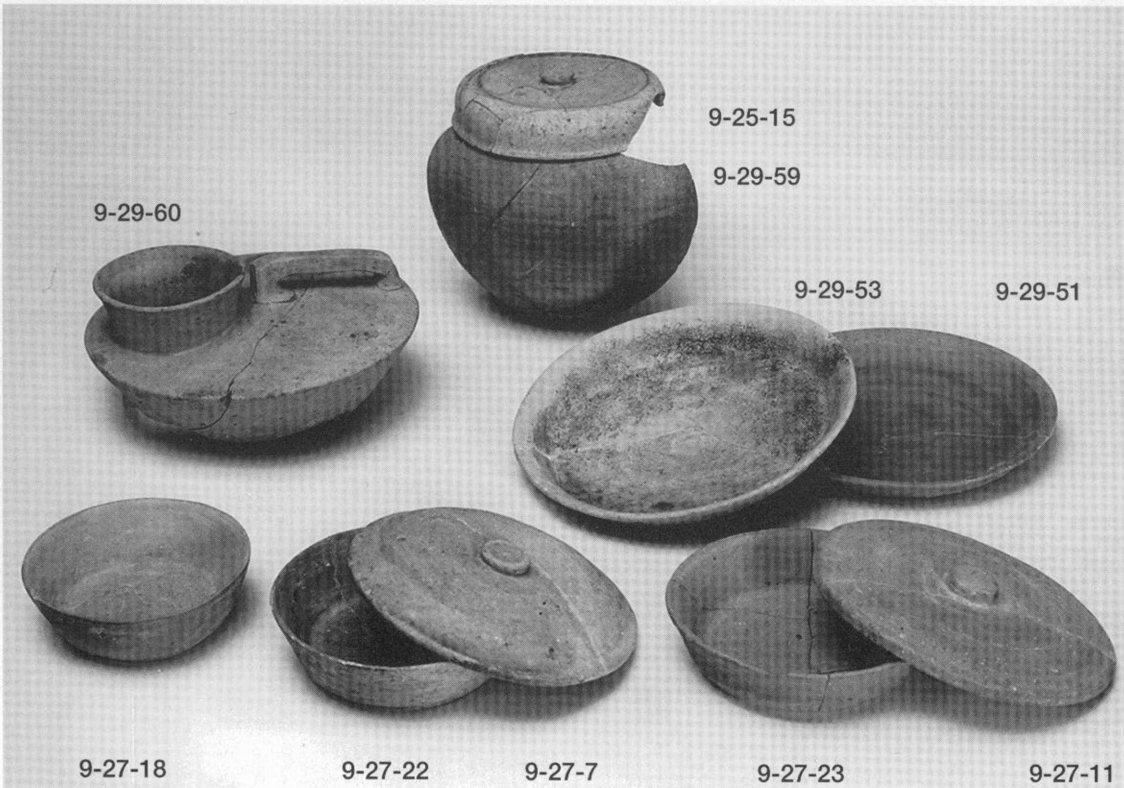

9-35-7


9-27-8

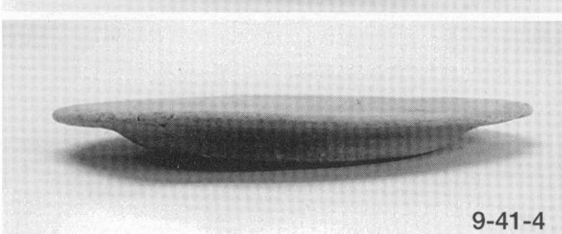

9-28-47

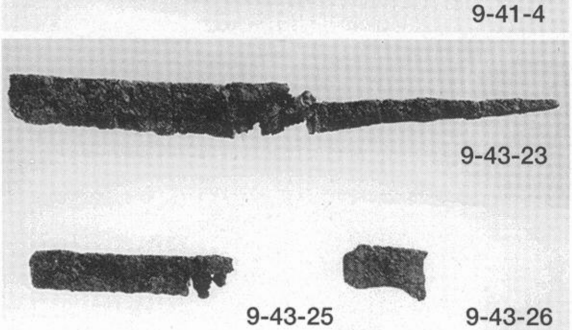

9-29-59


9-29-60

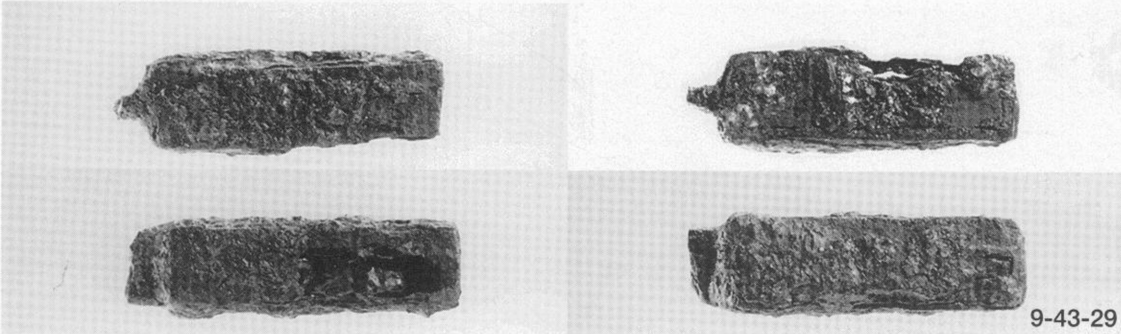

9-25-15
9-29-59
9-29-60
9-29-53
9-29-51
9-27-18
9-27-22
9-27-7
9-27-23
9-27-11


9-40-4

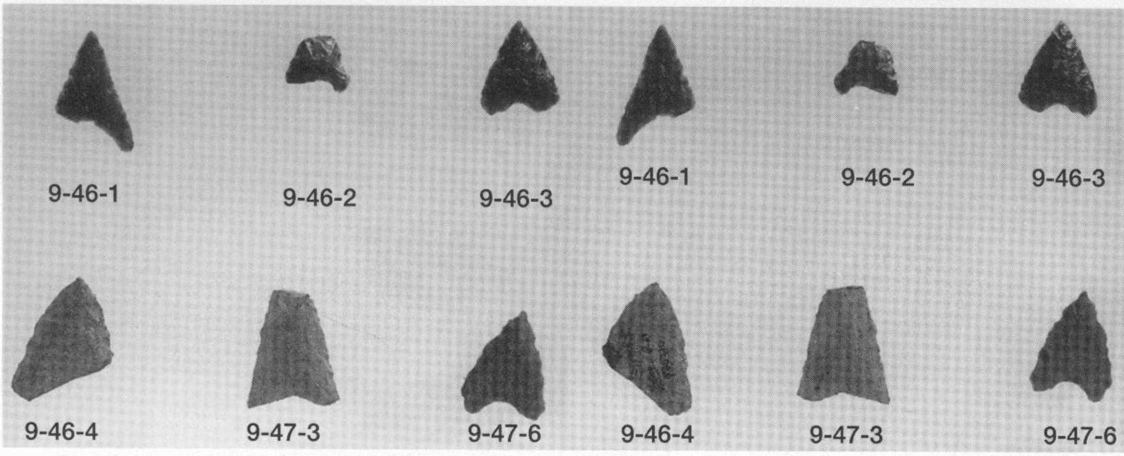

9-41-4


9-43-23
9-43-25
9-43-26


9-43-22
9-43-22

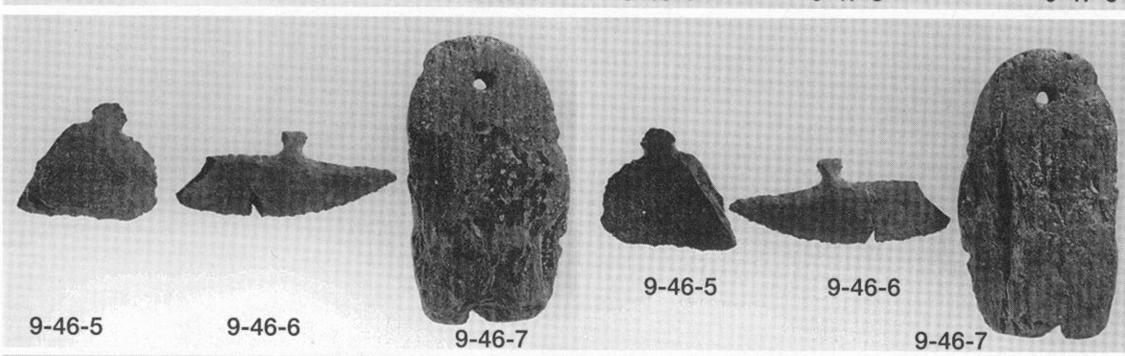


9-43-29

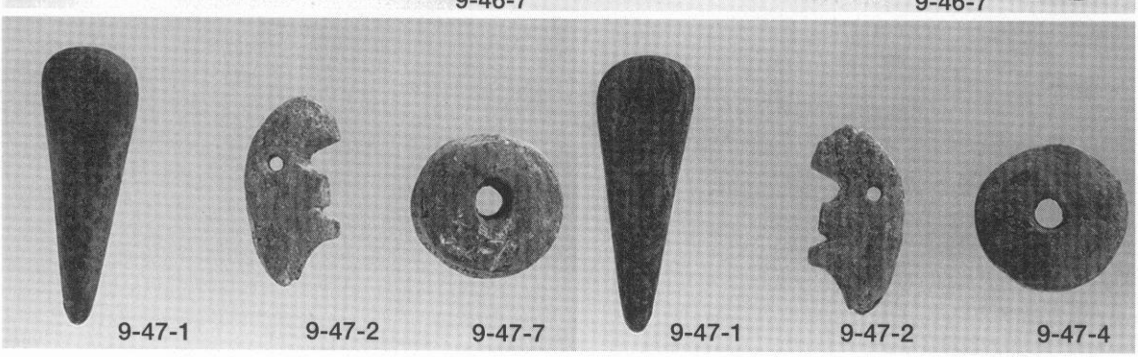


9-46-1　9-46-2　9-46-3　9-46-1　9-46-2　9-46-3

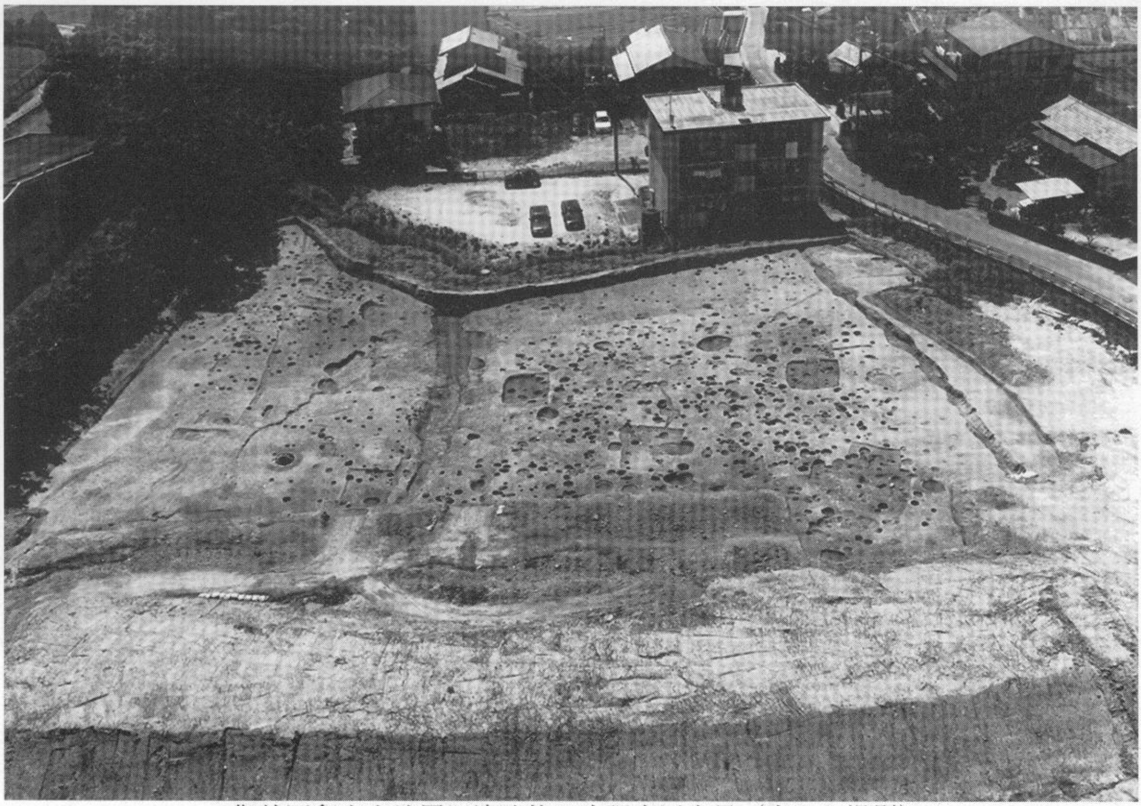
9-46-4　9-47-3　9-47-6　9-46-4　9-47-3　9-47-6



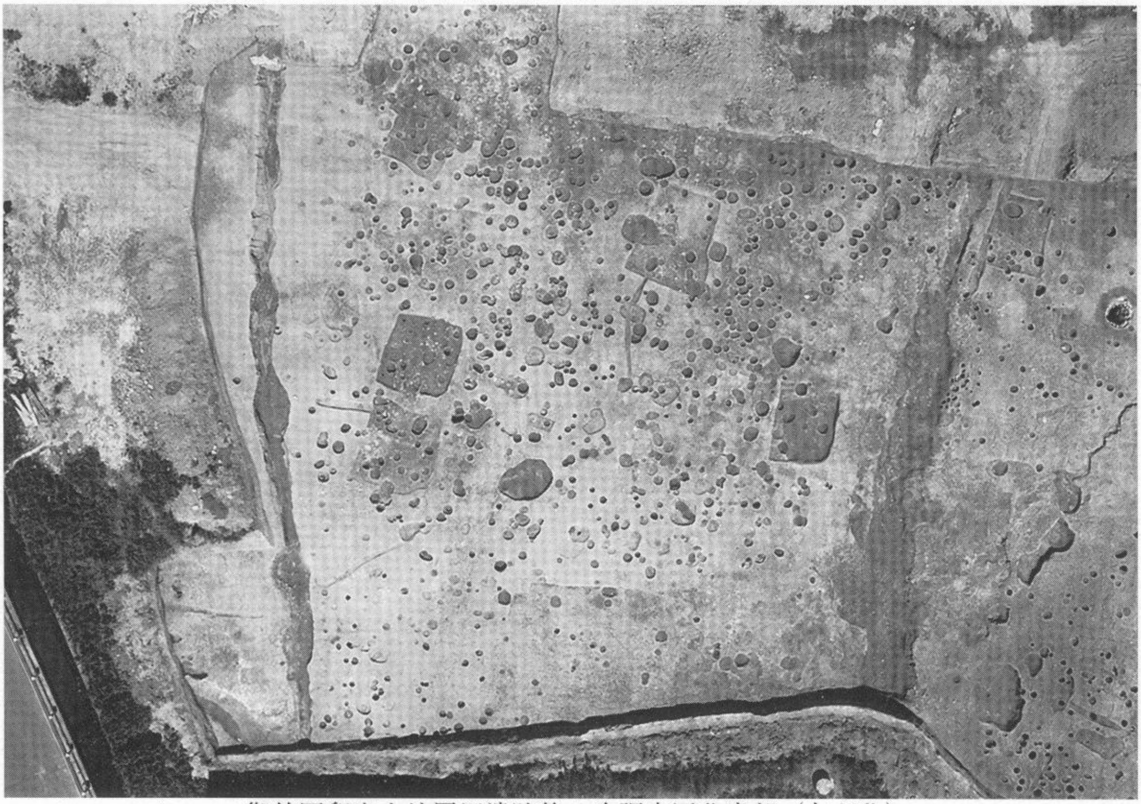
9-46-5　9-46-6　9-46-7　9-46-5　9-46-6　9-46-7



9-47-1　9-47-2　9-47-7　9-47-1　9-47-2　9-47-4

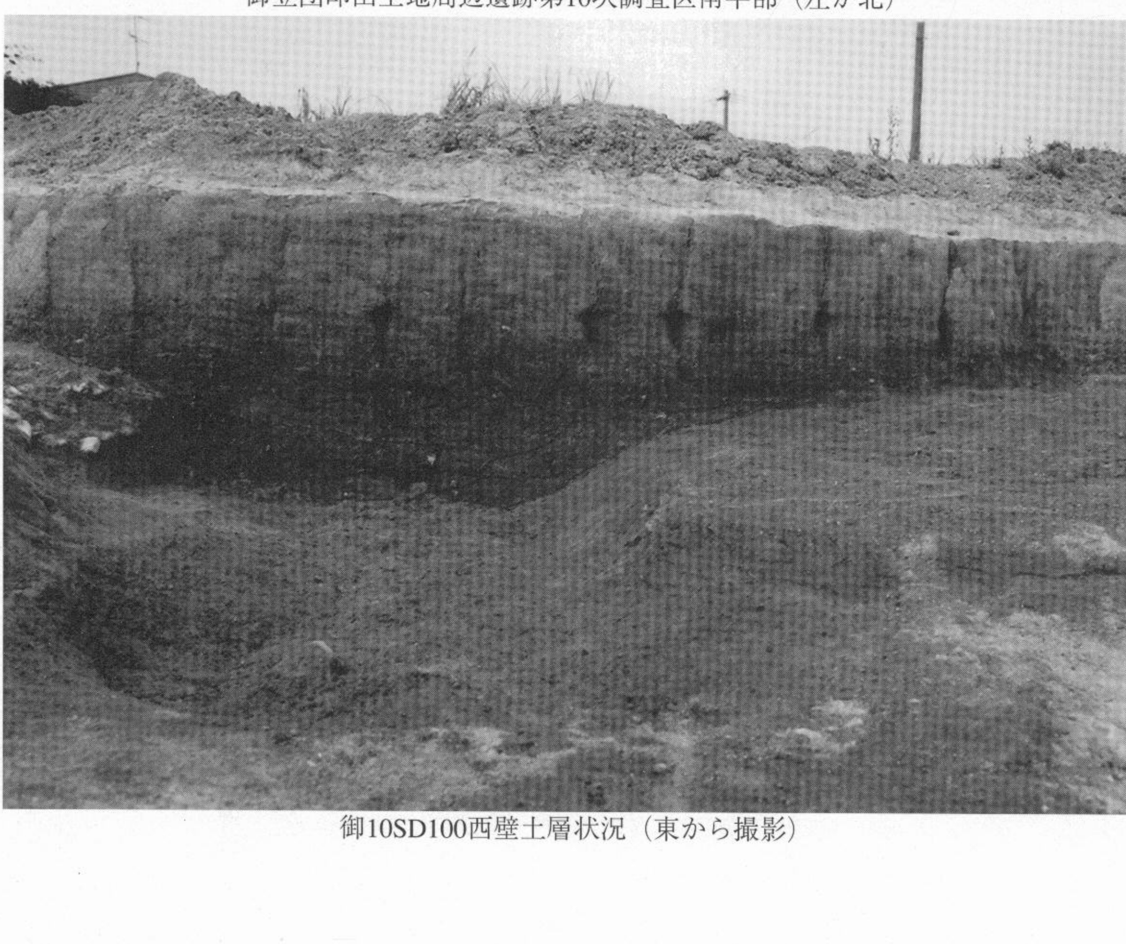


御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査区全景（東から撮影）

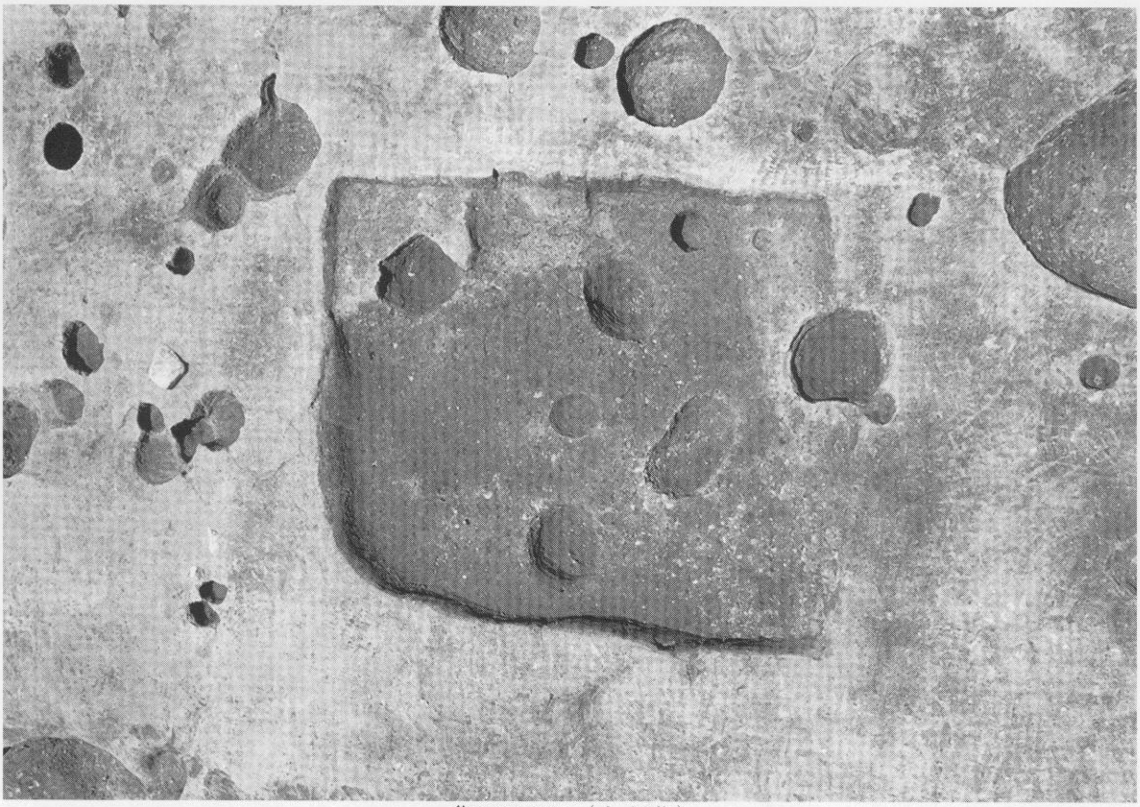


御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査区北半部（左が北）

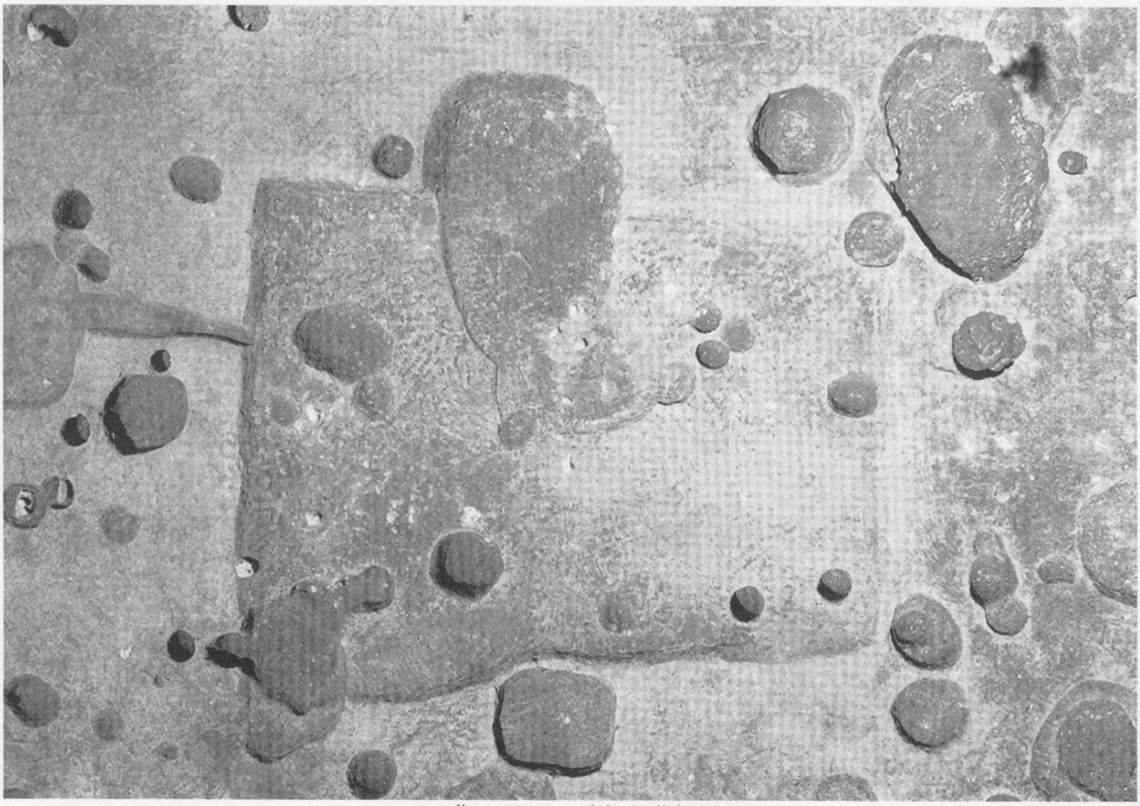
御笠団印出土地周辺遺跡第10次調査区南半部（左が北）



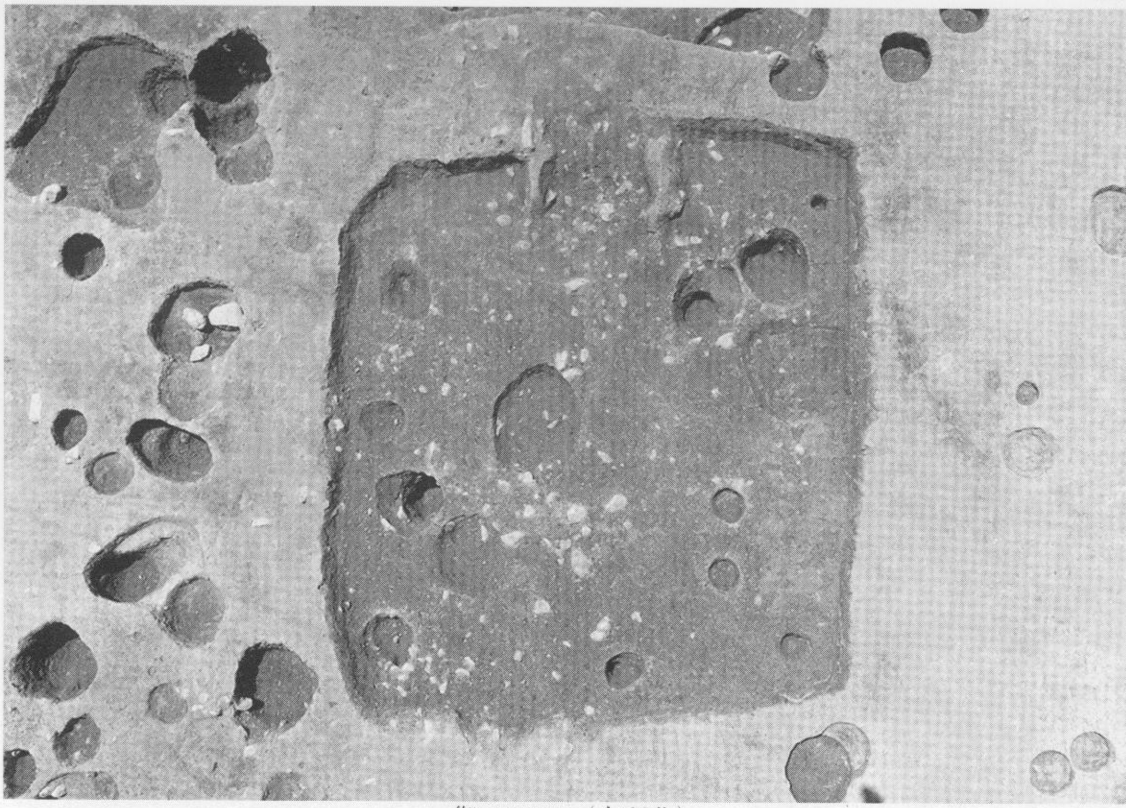
御10SD100西壁土層状況（東から撮影）



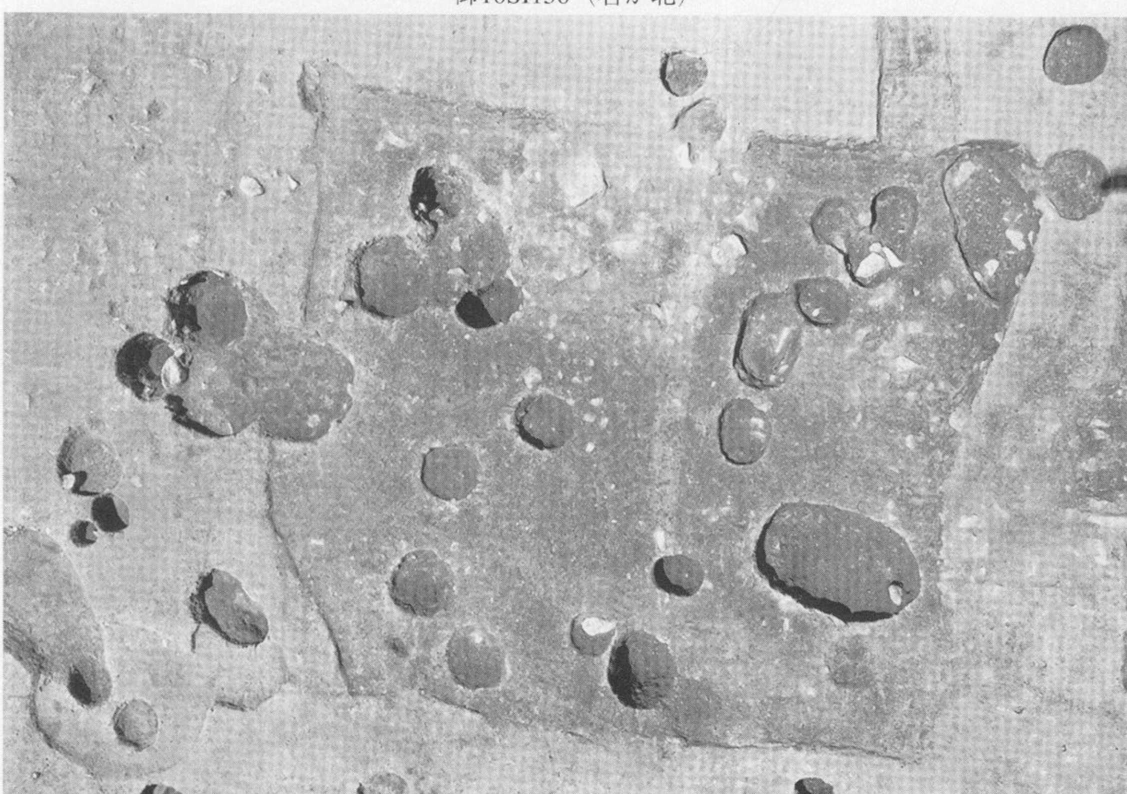
御10SI105（上が北）



御10SI115（上が北）

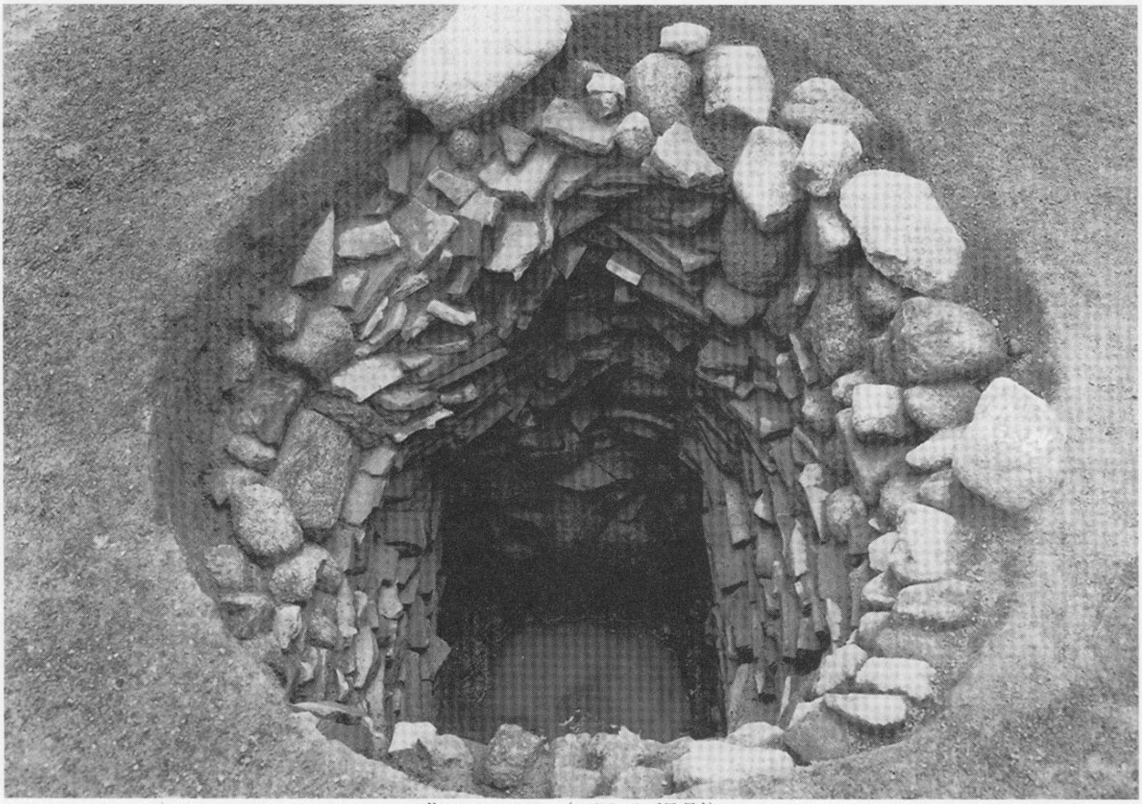


御10SI150（右が北）

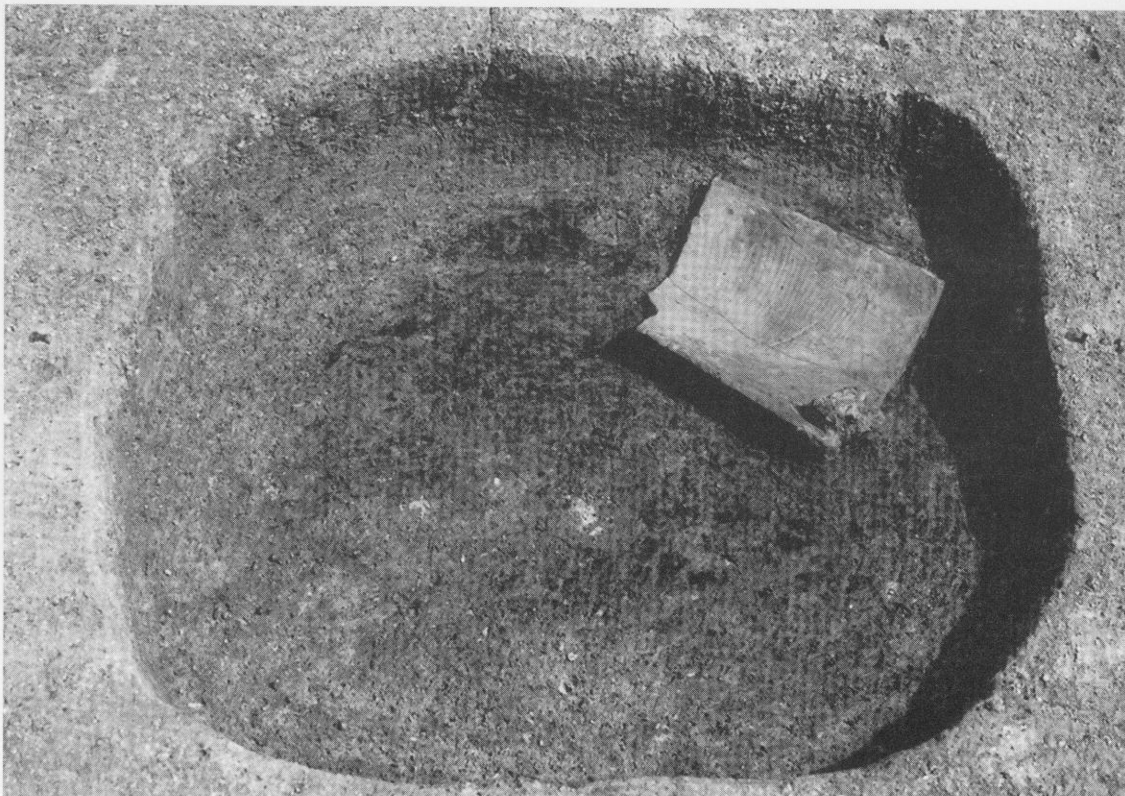


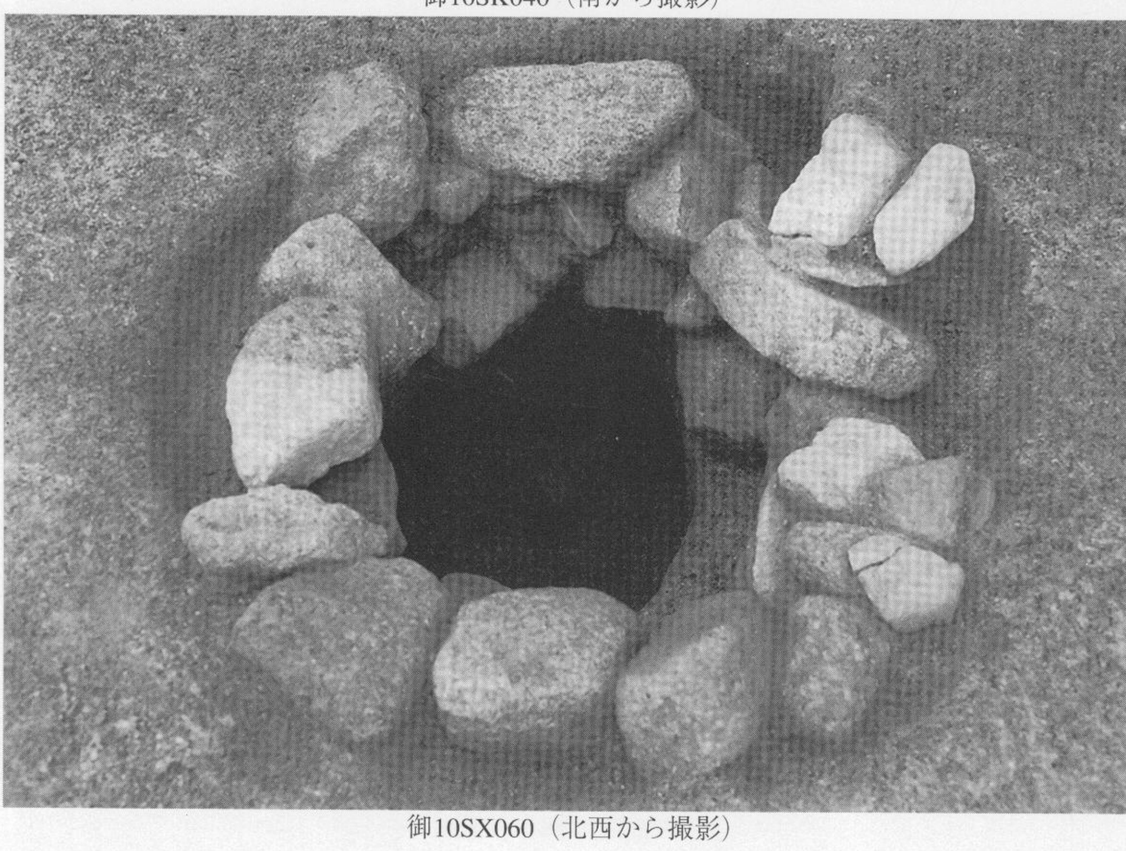
御10SI200（上が北）

御10SE075（南から撮影）

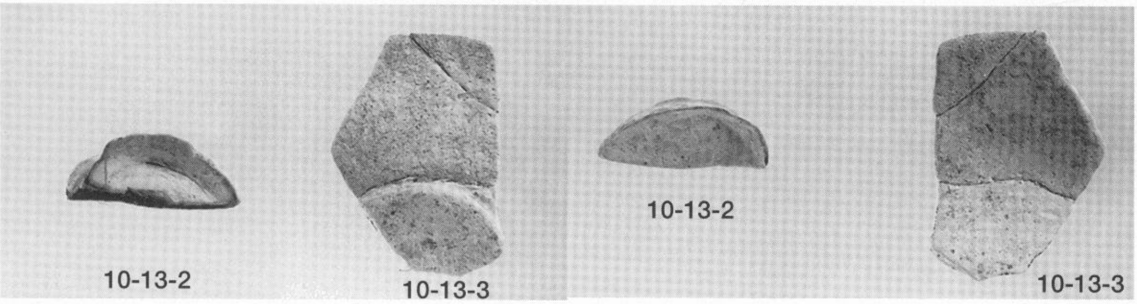


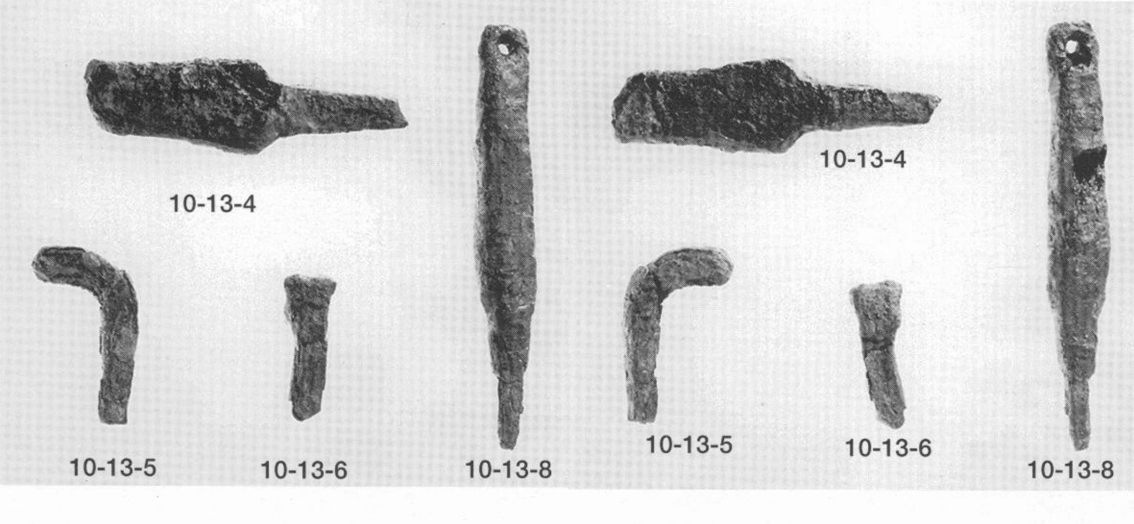
御10SE075（西から撮影）

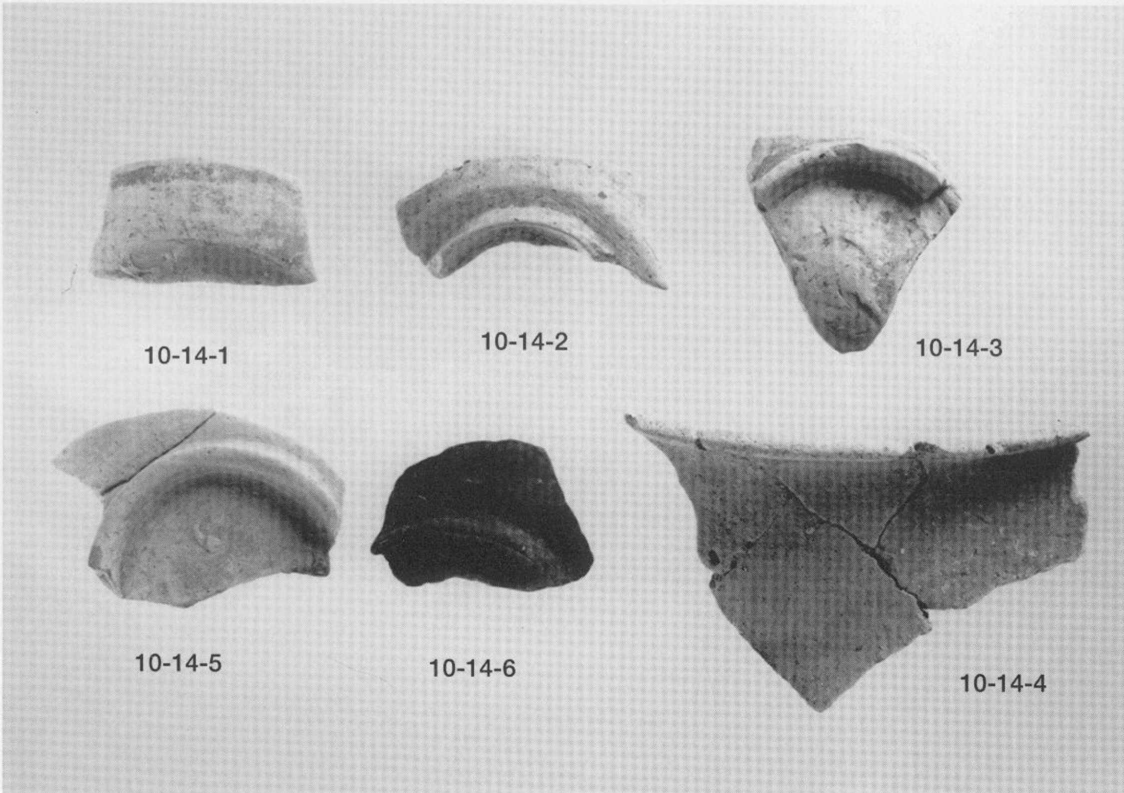

御10SK040（南から撮影）

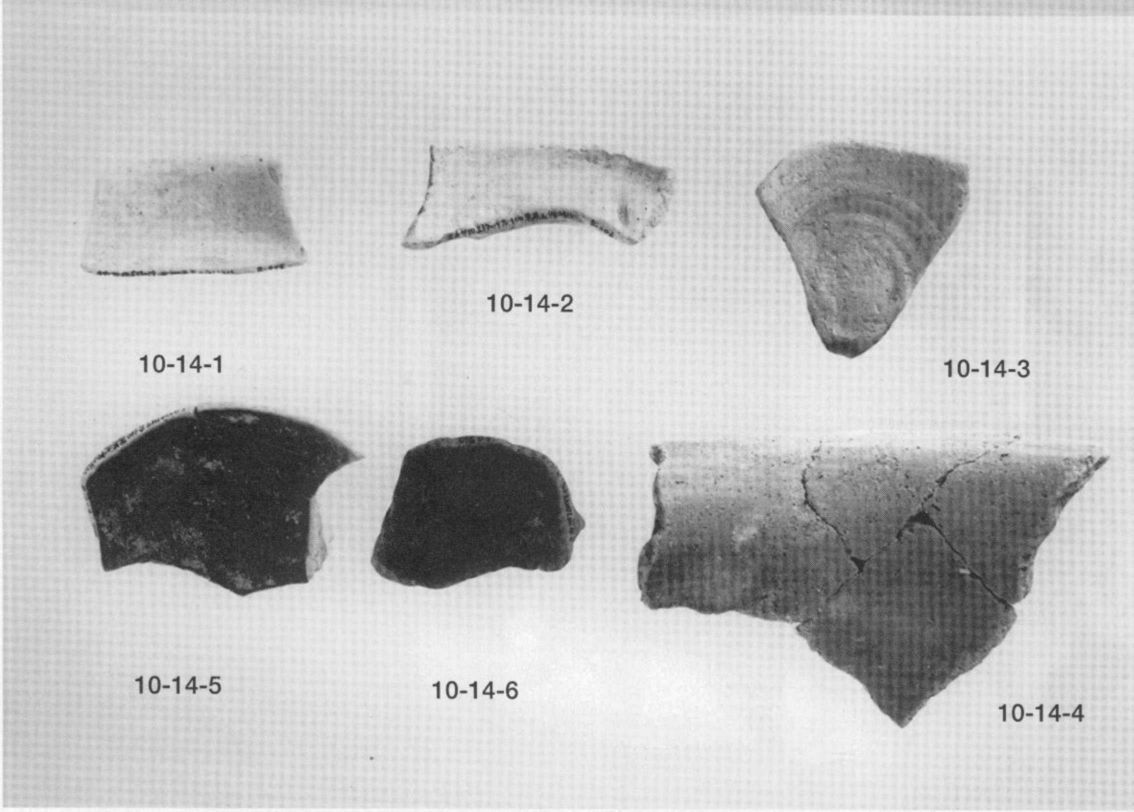

御10SX060（北西から撮影）

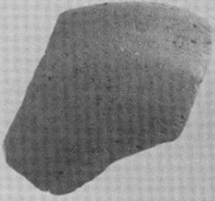
御10SX070（北東から撮影）



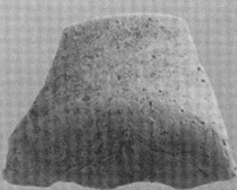



10-14-1
10-14-2
10-14-3
10-14-5
10-14-6
10-14-4


10-14-1
10-14-2
10-14-3
10-14-5
10-14-6
10-14-4



10-15-1

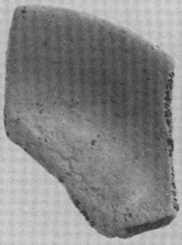


10-15-2

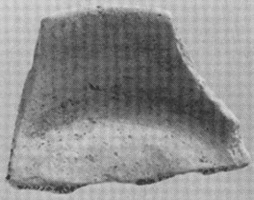
10-15-13

10-15-3

10-15-4

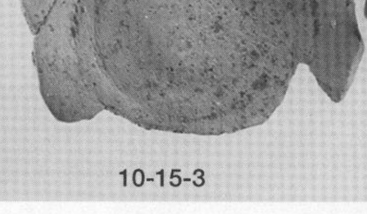


10-15-1

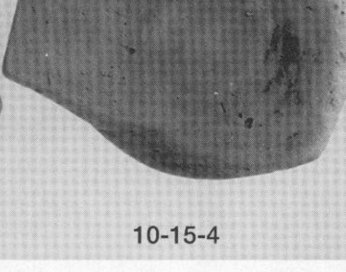


10-15-2

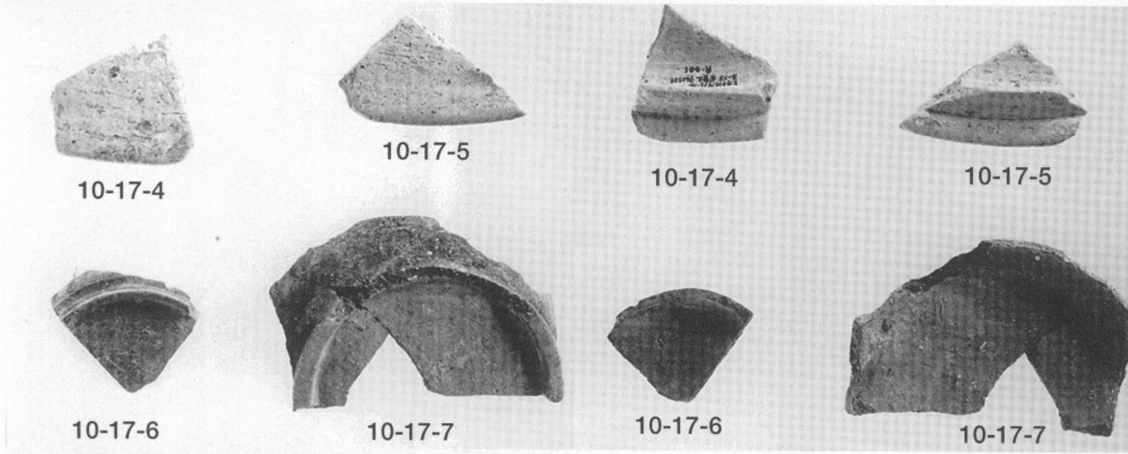
10-15-13

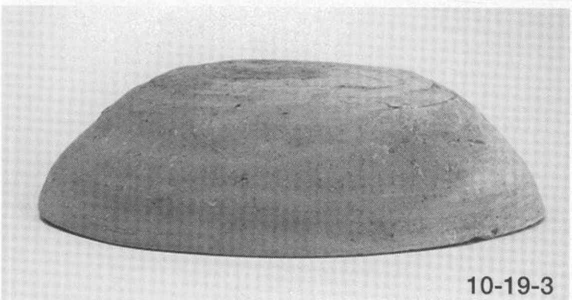


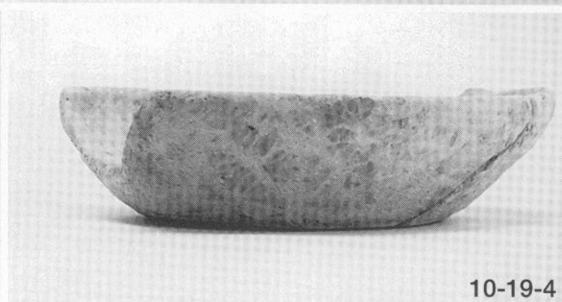
10-15-3

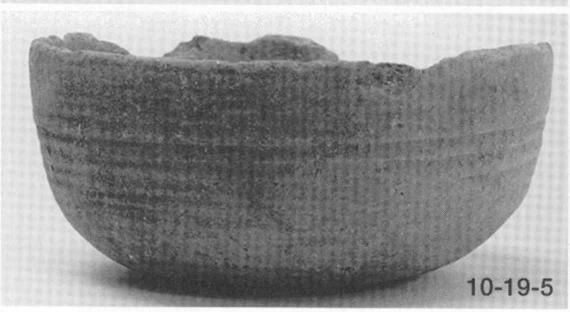


10-15-4

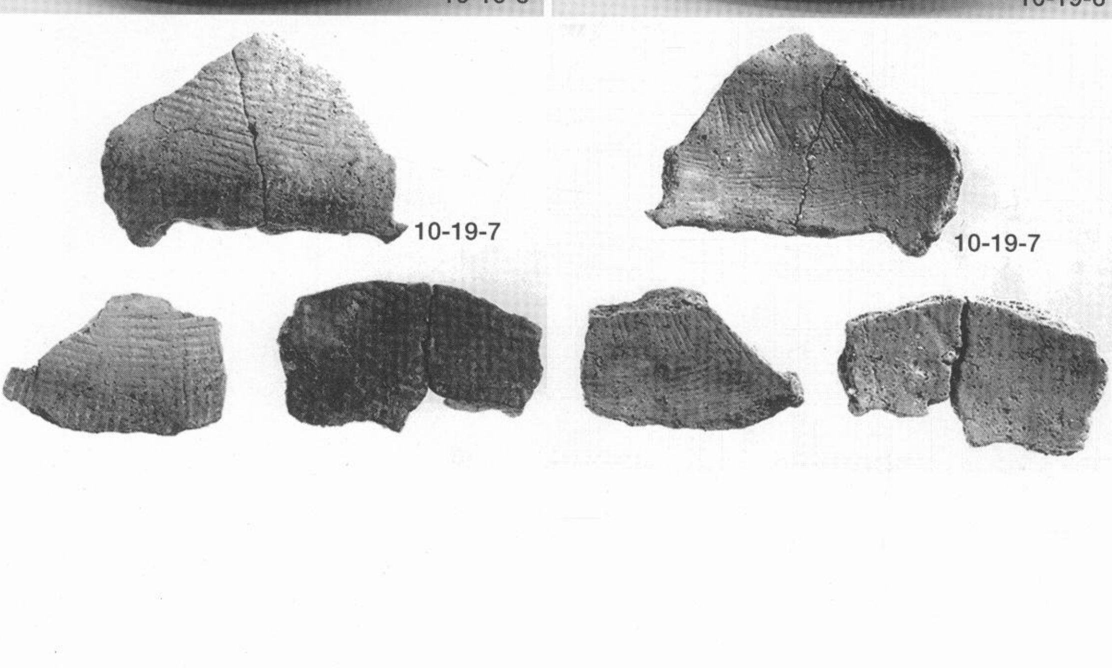

10-17-4 10-17-5 10-17-4 10-17-5
10-17-6 10-17-7 10-17-6 10-17-7

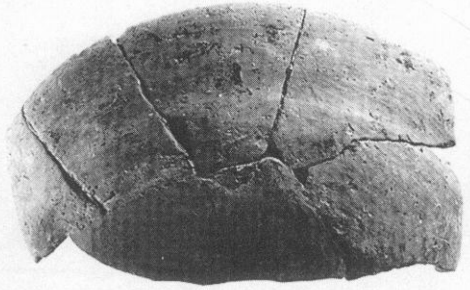

10-19-3

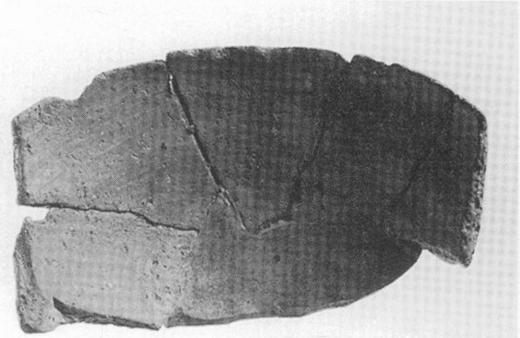

10-19-4


10-19-5

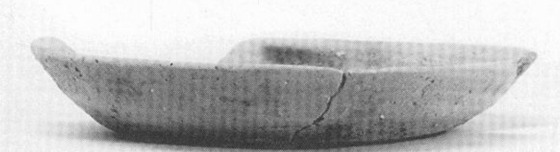

10-19-6

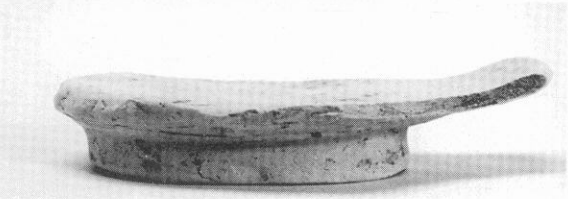

10-19-7 10-19-7

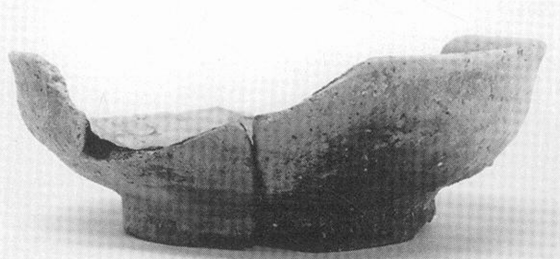

10-21-9

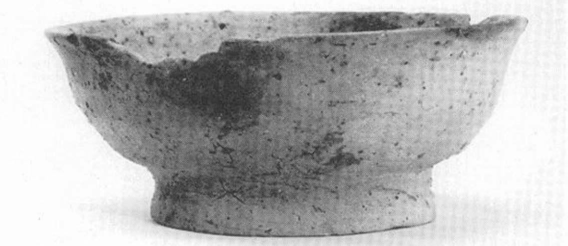

10-21-9

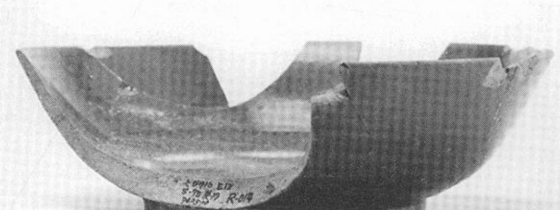

10-22-1


10-22-8


10-22-3


10-22-10


10-22-4


10-22-18


10-33-7

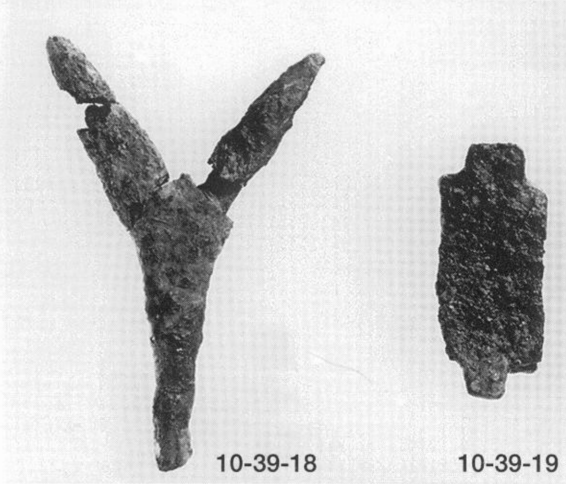

10-33-8

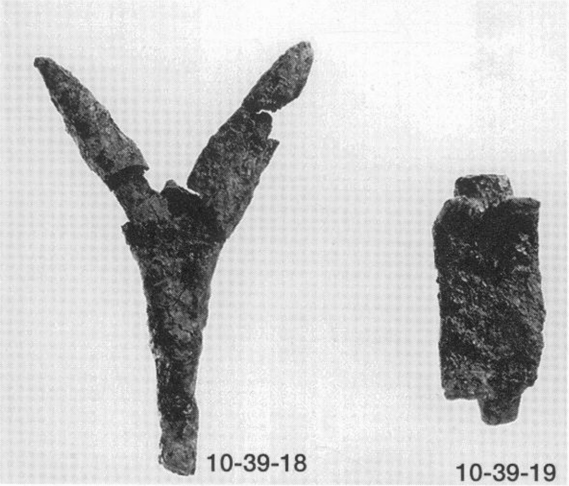

10-33-11

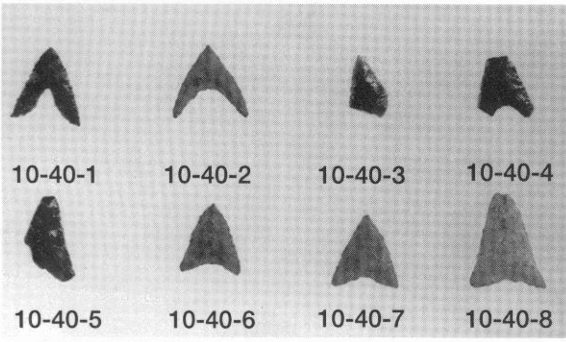

10-33-14

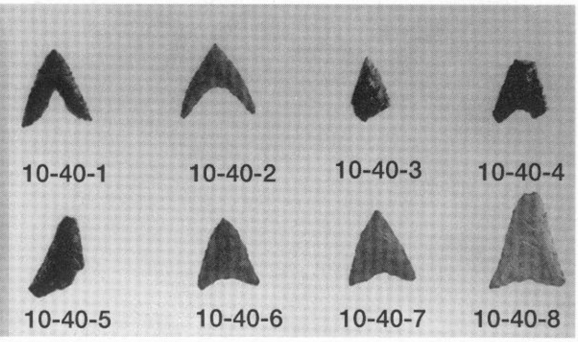

10-38-3


10-39-4


10-39-18　10-39-19

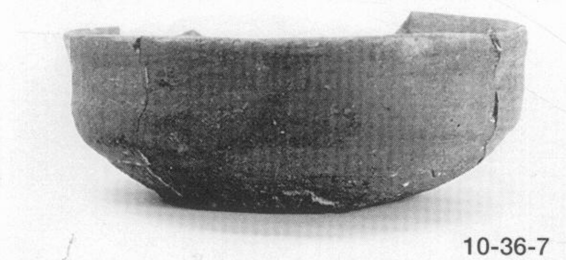

10-39-18　10-39-19

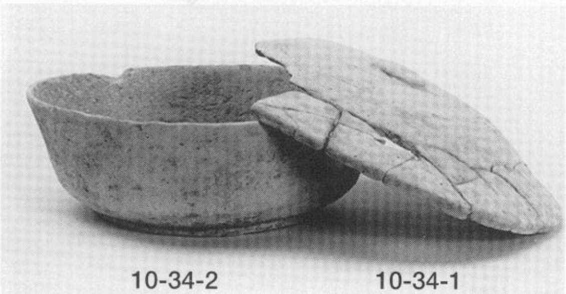

10-40-1　10-40-2　10-40-3　10-40-4
10-40-5　10-40-6　10-40-7　10-40-8


10-40-1　10-40-2　10-40-3　10-40-4
10-40-5　10-40-6　10-40-7　10-40-8

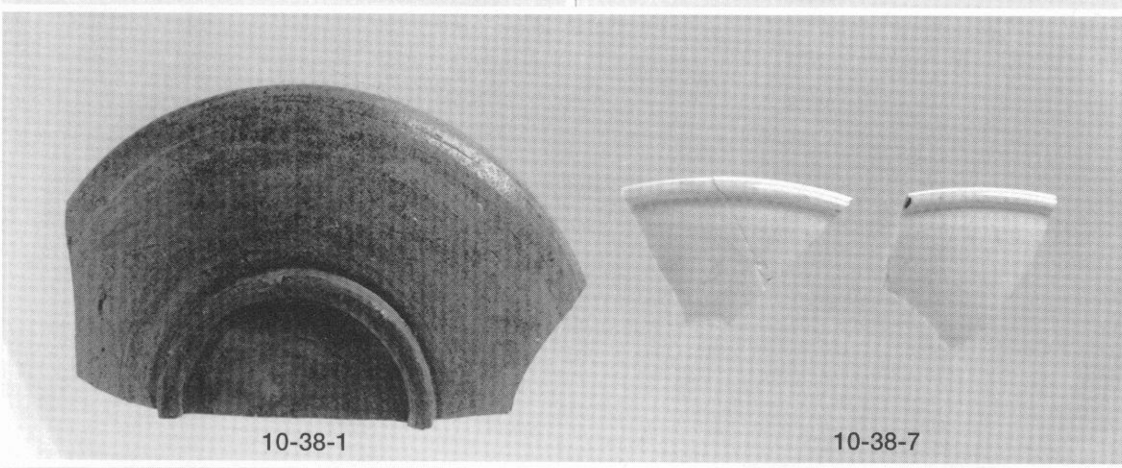

10-41-15

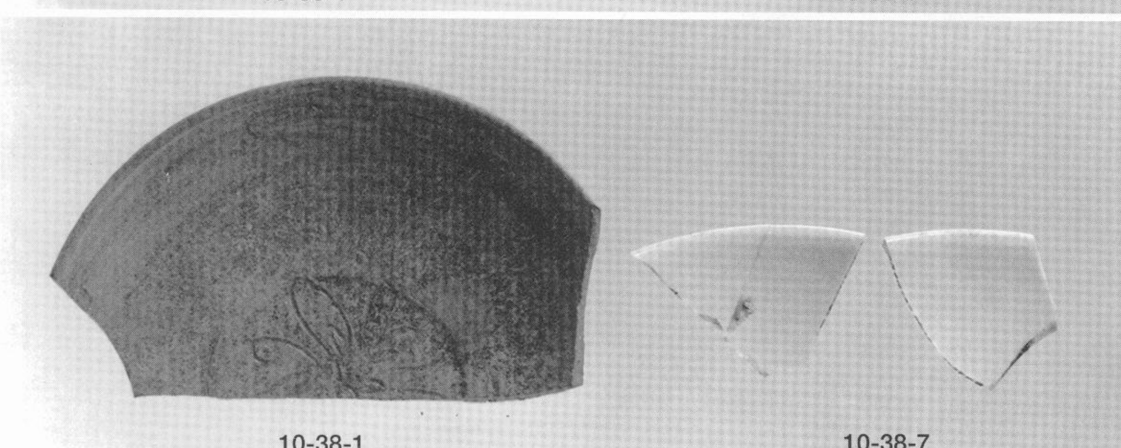

10-41-15


10-36-7


10-34-2　10-34-1


10-37-1


10-38-1　10-38-7


10-38-1　10-38-7

太宰府市の文化財　第47集
御笠団印出土地周辺遺跡　I

平成12年（2000）年３月

編集　太宰府市教育委員会
発行　〒818-0198
　　　福岡県太宰府市観世音寺１丁目１-１
印刷　株式会社 海援社
　　　〒816-0074
　　　福岡市博多区光丘町１丁目３-５

付 図　御笠団印出土地周辺遺跡 第７・９・10次調査区 遺構全体図（1/200）